Numazawa, Tatsuo
Nihon bungaku shi hyōran

沼澤龍雄編

日本文學史表覽

株式會社明治書院

はしがき

一、本書は十餘年以前より編纂中の日本文學大年表の一部をまづ單行出版したものである。

二、日本文學の主要な作者作品を簡便に一覽し得るやうに掲載した。

三、一時代(時に二時代以上)を見開き二頁に入れ、且つはじめ四六倍版に印刷したものを、携帶の便を考へ中途より變更して菊版に縮少したために、紙面の制限をうけて已むを得ず割愛したものもあり、隨つて各種目の繁簡の度は必ずしも同一でない。

四、多種多樣の作品を數種目に分類することは、嚴密に云へば不可能であり、また同一人にして數種目にわたるものあり、更に紙面の餘白を利用した場合もあり、分類排列は極めて大體のものであることを諒恕されたい。

五、文學以外に美術・風俗・宗教等を入れたのは、文學の研究に必要と信ずるが故である。

六、不備の點は大方の示教を仰ぎ逐次修正する積りである。

七、原稿整理と印刷の校正には意外の苦心があつた。助力して下さつた人々の熱心・出版書肆明治書院の努力・印刷所凸版會社の辛勞、三者の協力に對して特に甚深の謝意を表する。

昭和八年秋　明治節佳辰

杉並莫思莊に於て　沼澤龍雄識

日本文學史表覽 目次

（一時代に於ては各種目とも大體發達順により、五時代を通じては同一種類のものを一行に掲載する方針をとつたが、紙面の都合上然らざるものもある。）

歌謠

小説

宗教　書道

繪畫

（佛畫）（大和繪）（漢畫）（狩野派）（南畫）（浮世繪）（洋畫）（官展）

建築

風俗

別冊目次

時代區劃

時代	年間	起	訖
大和時代	1453年間	1 神武 紀元元 (橿原宮ニ即位)	50 桓武 紀元一四五三 延暦一二
平安時代	398年間	50 桓武 紀元一四五四 延暦一三 (平安奠都)	82 後鳥羽 紀元一八五一 建久二
鎌倉室町時代	411年間	82 後鳥羽 紀元一八五二 建久三 (鎌倉幕府創立)	107 後陽成 紀元二二六二 慶長七
江戸時代	265年間	107 後陽成 紀元二二六三 慶長八 (江戸幕府創立)	122 明治 紀元二五二七 慶應三
東京時代		122 明治 紀元二五二八 明治元 (東京行幸)(二年奠都)	

時代	期	年數	起訖	年號
大和時代	(原始期)		(一二五〇、三二代 崇峻天皇以前)	
	(飛鳥朝)			
	(藤原朝)			
	奈良朝	84年	一三七〇、和銅三 43 元明 —— 一四五三、延暦一二 50 桓武 〔山城長岡京一〇年間ヲ含ム〕	養老・天平・天平寶字
平安時代	前期	104	一四五四、延暦一三 50 桓武 —— 一五五七、寛平九 59 宇多	延暦・弘仁・貞觀・寛平
	中期	170	一五五八、昌泰元 60 醍醐 —— 一七二七、治暦三 70 後冷泉	延喜・天暦・長保・萬壽
	後期	124	一七二八、治暦四 71 後三條 —— 一八五一、建久二 82 後鳥羽	元永・保元・平治・治承
鎌倉室町時代	鎌倉期	145	一八五二、建久三 82 後鳥羽 —— 一九九六、延元元 96 後醍醐	承久・貞永・弘安・建武
	吉野朝	55	一九九七、延元二 96 後醍醐 —— 二〇五一、元中八 99 後龜山	延元・正平・元中・(應安 永和)
	室町期	211	二〇五二、明德三 100 後小松 —— 二二六二、慶長七 107 後陽成	嘉吉・應仁・天正・文祿
江戸時代	前期	133	二二六三、慶長八 107 後陽成 —— 二三九五、享保二〇 114 中御門	萬治・延寶・元祿・享保
	中期	53	二三九六、元文元 115 櫻町 —— 二四四八、天明八 119 光格	安永・天明
	後期	79	二四四九、寛政元 119 光格 —— 二五二七、慶應三 122 明治	文化・文政
東京時代	明治大正期	58	二五二八、明治元 122 明治 —— 二五八五、大正一四 123 大正	明治・大正
	昭和期			昭和

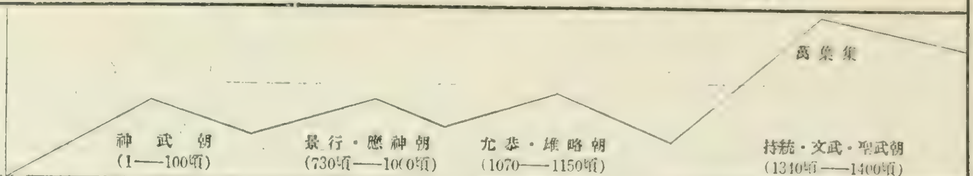
神代

大和

- 神武紀元元 — 神武天皇御製　宇陀の高城に　みづみづし　楯並めて
- 伊須氣余理比賣御歌　狹井川よ　畝火山
- 100
- 200
- 300
- 400
- 500
- 600
- 700 垂仁 — 日本武尊御歌　やつめさす　新治筑波を過ぎて　尾張にたゞに向へる　大和は　命の　はしけやし
- 800
- 900 應神・仁德 — 應神天皇御製　いざ子ども野蒜摘みに　此の蟹やいづくの蟹
- 1000
- 允恭 — 允恭天皇御製　あしびきの　さゝの葉に
- 1100
- 雄略 — 雄略天皇御製　日下部の　御諸の嚴白檮が本　引田の若栗栖原
- 1200

大和・平安・鎌倉室町・江戸 各時代歌道盛衰一覽表

大和時代

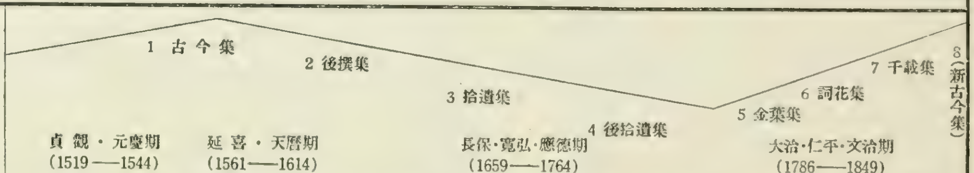


代表作者：伊邪那岐神　伊邪那美神　須佐之男命　八千矛神　沼河比賣　須勢理比賣　神武天皇　伊須氣余理比賣　日本武尊　應神天皇　磐姫皇后　仲天皇　允恭天皇　雄略天皇　柿本人麿　額田王　高市黒人　高橋連蟲麿　大伴旅人　山上憶良　元正天皇　聖武天皇　藤原皇后　山部赤人　橘諸兄　大伴家持　大伴坂上郎女　笠女郎　狹野茅上娘子

時代：記紀時代（仁德—推古・舒明）　萬葉時代（舒明—持統—淳仁）

代：神代　1 大和時代　1072 飛鳥朝　1354 藤原宮　1370 奈良朝　1453

平安時代



代表作者：業平・康秀　小町・黒主　遍昭・喜撰　紀貫之　凡河内躬恒　壬生忠岑　紀友則　清原深養父　大江千里　藤原興風　源順　清原元輔　大中臣能宣　坂上望城　紀時文　小野宮實頼　花山法皇　藤原公任　平兼盛　源道濟　藤原長能　恵慶法師　伊勢大輔　藤原實方　曾根好忠　藤原通俊　能因法師　道命　和泉式部　相模　赤染衛門　源俊頼　藤原顯季　源經信　永縁　藤原顯輔　藤原基俊　藤原俊成　清輔　後德大寺實定　藤原俊成　寂蓮

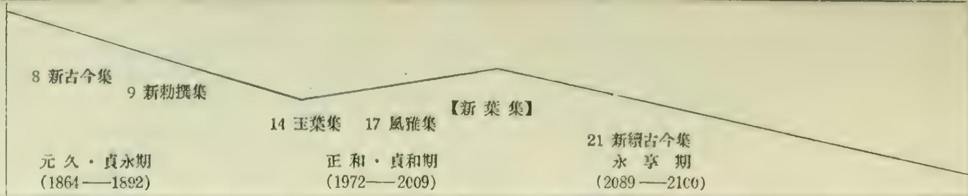
時代：三代集時代　八代集時代

代：1454 平安時代（前期・後期）1851　〔鎌倉時代〕(1865)

大和時代

時代	天皇	年	歌集
大和時代	欽明	1201	
	推古	1250	
	天智・弘文・天武	1300	
	持統	1350	
	文武		
	元明	1369	
奈良時代	元正		〔古事記成る〕和銅五年（1372）
	聖武		〔風土記撰進の詔下る〕和銅六年（1373）
			〔日本書紀成る〕養老四年（1380）
	孝謙	1400	**歌集**
	淳仁		萬葉集（廿巻）天平寶字三年（1419）？ 橘諸兄初撰　大伴家持續撰？
	稱德	1430	
	桓武	1453	

鎌倉室町時代

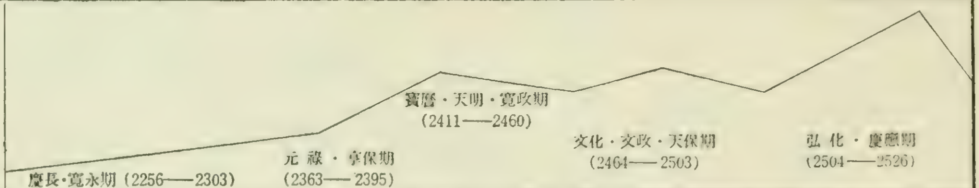


代表作者：後鳥羽天皇・土御門天皇・順德天皇　藤原定家・藤原家隆　源通具・藤原有家・藤原雅經　藤原良經・西行法師・慈鎮僧正　源實朝　藤原爲家・藤原行家・藤原爲基・藤原爲氏・鴨長明・二條爲世・冷泉爲相・京極爲兼・二條爲藤　花園上皇・後醍醐天皇・後村上天皇・宗良親王・二條爲定・二條爲明・二條爲遠・二條爲重・花山院長親・二條良基・宗祇・堯孝・頓阿法師・飛鳥井雅世・兼好法師・淨辨・慶運・釋正徹　東常縁　今川了俊　太田道灌　後柏原天皇・冷泉爲政・三條西實隆・中院通勝

時代：（八代集時代）｜十三代集時代（四條・花園・（光明）後村上・長慶・後花園）｜傳授尊重時代（後陽成）

代：1852　前期｜吉野朝｜後期　鎌倉室町時代　2262

江戸時代



代表作者：後水尾天皇・智仁親王　細川幽齋　木下長嘯子　烏丸光廣・北村季吟・加藤盤齋・望月長好　下河邊長流・僧契沖　戸田茂睡　荷田春滿・荷田在滿・蒼生子　加茂眞淵　宗武・魚彦・土滿・古道・美樹・倭文子・餘野子・筑波子・千蔭・春海・本居宣長・上田秋成・加納諸平・雅澄・蒼臣　小澤蘆庵　伴蒿蹊・慈延・澄月　香川景樹　熊谷直好　木下幸文　穗井田忠友・菅沼斐雄・忠秋・知紀　良寛和尚　井出曙覽　大隈言道　平賀元義・伴林光平　望東尼　蓮月尼

時代：繼承時代（後陽成）｜傳統打破期｜萬葉風復興期｜古今風復興期｜獨自風競立期　復興時代（靈元・桃園・光格・仁孝）

代：2263　前期｜中期｜後期　江戸時代　2526

神代
天鈿女命天岩戸の前に舞を奏す〔神樂の起原〕

大和時代

天皇	紀元	神樂	上古歌舞	外來舞樂
神武	紀元元			
垂仁		632 此頃神樂行はる（古語拾遺）		
				1113允恭天皇崩御に際し新羅より樂人八十を奉る〔外來樂の始〕
				1280此頃呉より伎樂を傳へ樂人味摩之歸化す〔外來舞樂傳習の始〕
			1331田儛を再奏す（日本紀）	
			1344小墾田儛を大極殿前に奏せしむ（日本紀）	
				1358五常太平樂を奏せしむ
				1391雅樂寮樂生人員改正〔外來舞樂全盛となる〕
				1395吉備眞備唐より樂器及樂書を持ち歸る
				1396天竺僧佛哲林邑樂〔菩薩迦陵頻等〕を傳ふ
聖武			1403聖武天皇五節儛を親製さる（續紀）	
			1423隼人舞行はる（續日本紀）	
			1430由義宮に倭舞及歌垣を奏す（續日本紀）	
		1433神琴生二人を置き神樂を奏す〔神前歌舞明文の始〕（類聚三代格）		
桓武	1453			

上古歌舞：隼人舞　久米舞　吉志舞　田舞　歌垣　倭舞　小墾田舞　五節舞　夷曲　來目歌　天語歌　御葬歌　酒樂歌　國栖歌　志都歌

1646　琴歌譜
2482　歌舞品目（小川守中）
明治31　日本歌謠類聚上（帝國文庫）
昭和 3　校註國歌大系〔卷一〕

平安時代

天皇	紀元	神樂	催馬樂	外來舞樂	聲明
		1459神笛生二人を置く（類聚三代格）	平城天皇〔1466—1469〕の頃催馬樂行はる	嵯峨天皇〔1470—1483〕頃唐樂の改正行はる	此頃僧實忠聲明を唱ふ（?）
		1467此頃神樂を奏させるものあり（古語拾遺）		仁明天皇〔1494—1510〕頃新樂を親製さる	平城・嵯峨兩天皇〔1466—1483〕頃空海いろは歌を作る（?）
淸和		貞觀年中〔1519—1526〕神樂歌撰定さる（中右記）		宇多天皇〔1549—1557〕北庭樂を作らる	1507 慈覺唐より天台聲明を傳ふ
宇多	1550				

神樂
【採物】榊・幣　弓・杖　劍・鉾　葛　韓神
【大前張】宮人　木綿志天　難波潟　前張　脇母古

催馬樂
【呂】安名尊　新年　梅枝　席田　葛城　紀伊國　美作　總角　難波海　鈴之川

外來舞樂
【高麗樂】古鳥蘇　新鳥蘇　納蘇利　登天樂　新靺鞨
【伎樂】獅子舞　崑崙　醉胡
【唐樂】春鶯囀　萬秋樂　五常樂　太平樂
【林邑樂】迦陵頻　菩薩　陪臚
【度羅樂】婆理舞　耶禁女舞

本朝新製舞樂
拾翠樂　應天樂　河南浦　長生樂　承和樂　壽春樂　海青樂　央宮樂　夏引樂　北庭樂

聲明
【梵讚】四智梵讚　大日讚　百八名讚　諸天讚　吉慶讚
【漢讚】四智漢讚　悉曇・梵音　散華・錫杖　文殊讚
【和讚】いろは歌（空海?）　舍利讚嘆（慈覺）　天台大師和讚（源信）

安時代

天皇	皇紀
宇多	1551
醍醐	
圓融	
一條	
後朱雀	
白河	
後鳥羽	1851

（神樂歌）

醍醐天皇〔1558—1590〕の頃神樂歌を撰定す

1581神樂歌勅定成る（天治本神樂譜）

1644一條雅信神樂歌を撰す

傳道長筆神樂和琴秘譜（近衞公藏）

源信義自筆神樂歌（安倍家藏）

1662内侍所に神樂を行ふ〔以後隔年十二月に行ふ〕（一代要記）

白河天皇〔1730—1746〕頃より毎年神樂を行ふ（中右記）

〰〰〰

明治31 日本歌謠類聚上（帝國文庫）

明治36 古事類苑（樂舞部）

大正 4 古代歌謠集（有明堂文庫）

昭和 3 校註國歌大系〔卷一〕

昭和 3 日本歌謠集成〔卷二〕

【小前張】
早歌
閑夜
殖春
總角
千歳

【雜歌】
星歌
篗目
朝倉
其駒
酒殿

（催馬樂）

天治 2 奥書 催馬樂抄（博物館藏）

催馬樂〔古寫〕（鍋島侯藏）

〰〰〰

明治31 日本歌謠類聚上（帝國文庫）

大正 4 古代歌謠集（有明堂文庫）

昭和 3 校註國歌大系〔卷一〕

昭和 3 日本歌謠集成〔卷二〕

【律】
澤田川
我駒
高砂
夏引
更衣
伊勢海
我門
飛鳥井
挿櫛
庭生

延喜樂
春庭樂
胡蝶

雜藝・今様

匡衡・花山兩天皇〔1620—1646〕の頃雜藝起る

一條天皇〔1647—1671〕の頃今様流行す

後朱雀院〔1697—1705〕の頃今様最盛（吉野樂書）

〰〰〰

保元3—建久3 梁塵秘抄（後白河院）

惟心房集（寂然）

嘉應二年書寫本

【雜藝】
片下
黒鳥子
大曲
沙羅林
法文
足柄
神歌
古柳
早歌

【今様】
蓬萊山
靈山御山
大宮權現
古き都
佛も昔は
佛の方便
松の嵐の
月影のみ

風俗・東遊

醍醐天皇〔1558—1590〕の頃風俗歌行はる

1580一條雅信東遊の歌を勅定す（樂章類語抄）

1602石淸水臨時祭に始めて東遊舞用ひらる

〰〰〰

明治31 日本歌謠類聚上（帝國文庫）

大正 4 古代歌謠集（有明堂文庫）

昭和 3 校註國歌大系〔卷一〕

昭和 3 日本歌謠集成〔卷二〕

【風俗歌】
小筑波
小山流支
玉垂
鴛鴦
君乎置天
筑波山
伊勢人
荒田
越方
常陸
東路

【東遊歌】
一歌
二歌
駿河歌
求子歌
大唐歌

（和讃）

〰〰〰

魚山蠆芥集

應永3 聲訣書（慈鏡撰）

大正6 新義聲明大全（内山正如）

昭和3 日本歌謠集成〔卷四〕

昭和3 校註國歌大系〔卷一〕

空也和讃
本覺讃（慈恵）
阿彌陀和讃（千觀）

朗詠

醍醐天皇〔1558—1590〕の頃より隆盛となる

1629一條雅信小野宮に嘉辰令月を詠ず（文机談）

1673和漢朗詠集成る（公任撰）

白河天皇〔1730—1746〕の頃藤原忠實九十首を撰定す（文机談）

1773(?) 新撰朗詠集成る（基俊撰）

〰〰〰

御物和漢朗詠集（傳藤原行成筆）

文永 2 朗詠要集

昭和 3 日本歌謠集成〔卷三〕

八月九月
春過
德是北辰
嘉辰令月
東岸西岸
新豐酒色
池冷
紅葉
二星適逢
曉梁王
九夏三伏
花明上苑

時代	天皇	紀元	詩文集	修辭書・日記・其他
大和時代	神武	紀元元		
	孝謙		懷風藻 天平勝寶三年 (1411) 淡海三船？ 葛井廣成？編	1216 憲法十七條 (聖德太子) 1380 日本書紀 (三十卷) {舍人親王 太安麻呂} 1410 日本靈異記 (三卷) (僧 景戒)
	桓武	1453		
平安時代		1454		1457 三教指歸 (三卷) (僧 空海) 1470頃 文鏡祕府論 (六卷) (同 上)
	嵯峨		【勅1】凌雲集 撰進 弘仁五年 (1474)頃 撰者 {小野岑守 菅原淸公 勇山文繼 賀陽豐年}	
	淳和		【勅2】文華秀麗集 (三卷) 撰進 弘仁九年 (1478) 撰者 {藤原冬嗣 仲雄王 滋野貞主 菅原淸公 勇山文繼 桑原腹赤}	1480 文筆眼心抄 (同 上)
			【勅3】經國集 (十四卷 現存六卷) 撰進 天長四年 (1487) 撰者 {良岑安世 南淵弘貞 滋野貞主 菅原淸公 安野文繼 安部吉人}	
			1495頃 性靈集 (十卷) (僧 空海)	
	陽成			1508頃 入唐求法巡禮記 (慈覺大師圓仁)
	宇多			1513頃 行歷抄 (智證大師圓珍)
	醍醐		1539頃 都氏文集 (六卷 現存卷三・四・五) (都良香)	
			1550頃 田氏家集 (三卷) (島田忠臣)	1552 新撰字鏡 (十二卷) (僧 昌住)
			1560 菅家文草 (十二卷) (菅原道眞)	
		1600	1563頃 菅家後草 (同 上)	

支那		主要人物・書
周 秦		五經、四書、老莊、孔孟、先秦、花偉
漢		賈誼、相如、史記、揚雄、漢書、鄭玄
三國		
六朝		七賢、羲之、淵明、沈約、興嗣、文選
隋		
唐時代	初唐	歐陽詢、顏師古、孔穎達、
	盛唐	王維、李白、玄宗、高適
	中唐	杜甫、顏眞卿、柳宗元、韓退之、賈島、白樂天
	晩唐	杜牧、溫庭筠、李商隱
—1567 後梁 後唐 後晉	遼	

大和・平安・鎌倉室町・江戸各時代漢文學變遷表

時代			主要事項
大和時代	朝紳文學時代	講習時代	945 文教傳來 (王仁來朝)
			1338 漢文ノ國史成ル (日本書紀)
		隆盛時代	1411 詩集ノ撰集始マル (懷風藻)
			1474 勅撰詩集始マル (凌雲集)
平安時代			1454—1565 延暦・延喜ノ頃詩文大ニ流行ス
		繼承	1563 菅原道眞薨ズ

【漢文學變遷表】

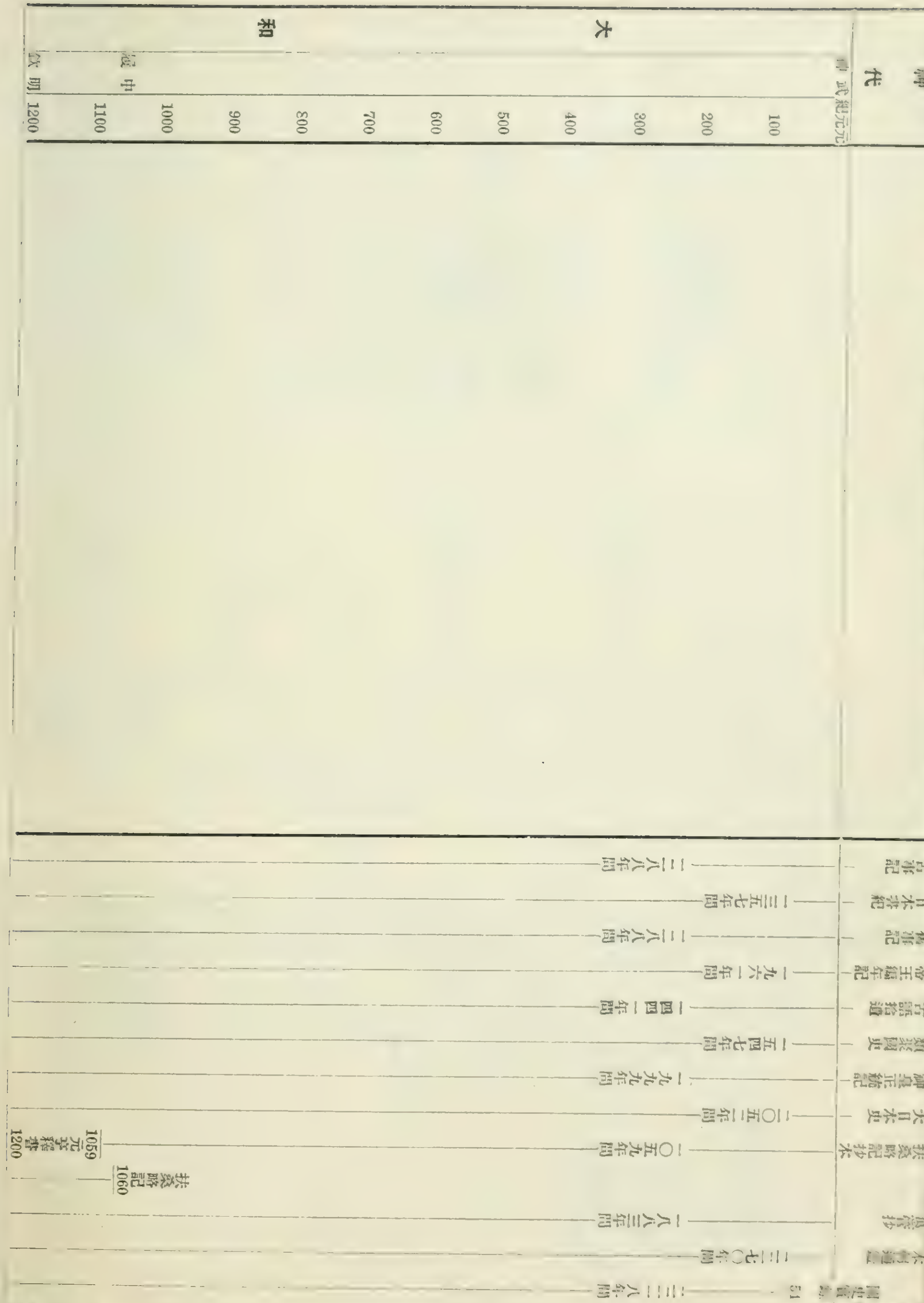
時代	天皇	年	詩文集	年	修辭書・日記・其他
平安時代	朱雀 村上	1600頃	本朝麗藻（高階積善編）（二卷）		
		1620	闘詩行事略記 天德三年八月十六日		
	圓融 一條	1650頃	扶桑集（紀齊名編）（現存七・九兩卷）		
		1673頃	和漢朗詠集（藤原公任編）（二卷）		
		1672頃	江吏部集（大江匡衡）（三卷）		
	後一條	1716	殿上詩合 天喜四年		
		1718頃	本朝文粹（藤原明衡編）（十四卷）	1718頃	雲州消息（藤原明衡）（三卷）
		1773頃	新撰朗詠集（藤原基俊編）（二卷）		
		1776	朝野群載（三善爲康編）（三十卷・現存二十一卷）		
	鳥羽	1800頃	續本朝文粹（藤原季綱編）（十三卷）	1799頃	童蒙頌韻（三善爲康）
		1800頃	本朝無題詩（編者未詳）（十三卷・現存十卷）		
	近衞	1805	法性寺關白御集（藤原忠通）		
	後鳥羽	1851			

時代		人物
宋時代（1620）	時代	蘇老泉
		歐陽修 周茂叔
		程明道 司馬光（資治通鑑） 王安石
		蘇東坡 程伊川 蘇轍
		岳飛
南宋時代（1787）	金時代	王十朋
		呂祖謙
		通鑑綱目

時代	漢文學	時代	
鎌倉室町時代	緇流文學時代	時代	入宋僧ニヨリ宋學輸入
		再興時代	五山文學隆盛（絕海・義堂等）
江戸時代	儒者文學時代	註疏時代	諸學派 ―朱子學派
			陸王學派
			古文辭學派
			古學派
			折衷學派
			調和學派
			獨立學派
			―批評學派

卷數ヲ記サザルハ一卷

【史書包括年數】


神代
大和
神武紀元元
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
欽明
古事記　一二八八年間
日本書紀　一三五七年間
舊事記　一二八八年間
帝王編年記　一九六一年間
古語拾遺　一四四一年間
類聚國史　一五四七年間
神皇正統記　一九九九年間
大日本史　二〇五二年間
扶桑略記抄本　一〇五九年間
1059 元亨釋書 1200
扶桑略記 1060
愚管抄　一八八三年間
本朝通鑑　二二七〇年間
二二二八年間
上宮聖德法王帝說 1200
水鏡　一五一〇年間

時代		年
時	欽明	1201
		1250
	推古	
		1300
代	天武	
	持統 文武 元明	1350
奈良時代	元正	
	聖武	1400
	光仁	
		1453

正　史

【六1】日本書紀（三十卷）
養老四年（1380）
編者　舍人親王　太安麻呂等

雜　史

天皇紀・國紀
推古天皇二十八年（1280）
編者　聖德太子　蘇我馬子

帝　紀
天武天皇九年（1341）

古事記（三卷）
和銅五年（1372）
編者　太安麻呂

播磨風土記
和銅六年（1373）

常陸風土記
同上（同上）

出雲風土記（二卷）
天平五年（1393）

古　日　舊　帝　古語　類　神　大　元　扶　愚　木　國　聖　水

古：1288　一三七二年成　續日本紀 1357　九五年間　1451
日：1357　一三八〇年成
舊：1288　日本後紀 1452
古語：1441
元：六八〇年間
扶：六九五年間
聖：八九年間　1288　日本紀略 1357　三四〇年間

時代	天皇	年	神道　神社・教派	神道　祭祀・制度沿革・其他
大和	神武	紀元元	? 天皇安房神社創建	1 天皇八神祭祀 4 天皇鳥見山中ニ天神祭祀
		100		
		200		
		300		
		400		
		500		
	崇神		569 天皇神器ヲ笠縫邑ニ奉遷 579 天皇熊野本宮創建 ? 天皇龍田・廣瀬ノ兩社創建	570 天皇天社・國社ヲ定メラル
		600		
	垂仁		657 天皇神器ヲ伊勢國五十鈴川上ニ奉遷	
		700		
	景行		780 尾張氏熱田神社創建	770 日本武尊神劍ヲ奉ジテ討夷
		800		
	仲哀		862 神功皇后菟原郡ニ住吉神社創建	
		900		
	應神		973 天皇住吉神社ヲ攝津住吉ニ遷サル	? 竹田川邊連氏神ヲ祀ル
		1000		
		1100		
	雄略		1137 天皇豐受宮ヲ丹波ヨリ伊勢山田ニ奉遷	
		1200		

時代	天皇	皇紀	神道（神社・教派）	神道（祭祀・制度沿革・其他）	佛教 寺院・宗派	佛教 名僧・傳道事蹟	佛教 典籍
時代	欽明	1201	·	1227 天皇加茂神祭祀 (加茂祭ノ始)	1212 佛教傳來 百済王釋迦像・經論ヲ獻上 1244 馬子佛殿ヲ石川宅側ニ建立 1247 四天王寺建立 1248 馬子法興寺*(後ノ元興寺)建立	1212 尾輿・鎌子佛像ヲ難波ニ投ズ 1213 勅シテ佛像ヲ造ル 1222 呉人智聰經・像ヲ獻上ス 1234 聖德太子生誕 1237 勅シテ信佛ノ可否ヲ群議ス	
	推古	1250	? 推古天皇嚴島神社創建		1256 成實宗 慧慈・慧聰元興寺（法興寺改稱）ニ成實論ヲ說ク 1262 彌陀三尊ヲ信乃國ニ移ス（後ノ善光寺） 1277 大和ニ皇太子寺*(後ノ大安寺)建立 1283 大和ノ法隆寺*竣工 1285 三論宗 高麗僧慧灌三論宗ヲ傳フ	1254 三寶興隆ヲ詔ス 1257 遣隋使妹子法華經ヲ求ム 1281 聖德太子薨去 1284 僧正・僧都・法頭ノ僧官始設 1289 道昭河内ニ生ル 1292 僧旻歸朝 1293 小角大和ニ生ル	1271 勝鬘經義疏 現存 一卷(聖德太子) 1273 維摩經義疏 現存 三卷(聖德太子) 1275 法華經義疏 現存 四卷(聖德太子)
	天智 持統	1300	1328 天皇大比叡神社創建 ? 天智天皇鹿島・香取兩社創建 1348 天皇神劍ヲ再ビ熱田神宮ニ納メラル	1334 大來皇女ヲ齋宮トナサル (齋宮ノ始) 1336 天皇龍田・廣瀨ノ風神ヲ祭ル 1337 天皇悠紀主基ノ國郡ヲ制定 1348 天皇兩大神宮造營ヲ制定	1305 政教相關ノ發達 1309 僧旻等ヲ登用・天皇八省設置 1313 法相宗 道昭入唐傳法(南傳―元興寺) 智鳳入唐傳法(北傳―興福寺) 1317 鎌足山階寺建立(後ノ興福寺*) 1318 俱舍宗 智通・智達入唐俱舍・唯識ヲ傳フ 1326 修驗道 小角葛城山ニ登籠 修驗道ヲ開ク 1330 下野ニ藥師寺建立 法隆寺火災	1313 道昭入唐 1317 盂蘭盆會修行 (盂蘭盆會ノ始) 維摩會修行 (維摩會ノ始) 1320 仁王般若會修行 (仁王會ノ始) 1331 皇太子大海人剃髮(皇族出家ノ始) 1336 行基和泉ニ生ル 1345 詔シテ家毎ニ佛像ヲ安置ス 1349 良辨生ル	1333 一切經書寫 逸亡 弘福寺(川原寺)ニテナス
代	文武 元明	1350	1366 陰陽道ノ感化 陰陽道ニ依リ追儺式ヲ始ム 1369 藤原不比等春日神社創建	1354 天皇新益京ヲ鎮祭 (鎮地祭ノ始) 1355 藤原宮造營ヲ大神ニ告グ (奉幣ノ始) 1356 神祇官設置		1358 道昭大僧都トナル (大僧都ノ始) 1360 道昭寂 (火葬ノ始) 1361 小角西國ニ去ル 1363 智鳳入唐	
奈良時代	元正	1369	1371 秦公伊侶具稻荷神社創建 1375 神佛混淆ノ先驅 藤原武智麿・氣比大神神宮寺建立	1381 天皇神嘗祭ヲ始メラル	1370 法光寺(元ノ山階寺)ヲ新京ニ移轉シ興福寺ト改稱ス 1378 元興寺新京移轉新元興寺建立 *藥師寺新京移轉 1387 大和ニ長谷寺建立 1396 華嚴宗 唐僧道璿華嚴宗ヲ傳フ	1377 玄昉入唐 1395 玄昉歸朝 1396 菩提僊那(印度僧)・佛哲(林邑僧)來朝 1397 玄昉僧正トナル (僧正ノ始)	
	聖武	1400	1401 公ノ神佛混淆 天皇八幡神宮ニ納經造塔 1403 本地垂迹說起ル 行基本地垂迹ヲ唱ヘ東大寺建立ヲ奏ス	1425 僧俗混ジテ大嘗會ヲ行フ 1426 淸麿宇佐ニ神勅ヲ請フ	1401 勅シテ國每ニ國分寺・同尼寺建立 1412 金銅盧舍那佛並ニ東大寺*建立 1414 律宗 唐僧鑑眞東大寺ニ戒壇院建造授戒ス 1419 唐招提寺建立 1425 大和ニ西大寺*建立	1405 行基大僧正トナル (大僧正ノ始) 1406 玄昉寂 1408 天皇・皇后落飾 (落飾ノ始) 1409 行基寂・賜號大菩薩 1420 道璿寂 1423 鑑眞寂 1427 道鏡法王トナル 1427 最澄近江ニ生ル	
	桓武	1430 1453		1451 平安奠都ヲ伊勢並ニ諸神ニ告グ	1432 良辨石山寺建立	1433 良辨寂・任僧正 1434 空海讃岐ニ生ル 1448 最澄叡山ヲ開ク	1441 因明入正理論明燈鈔 現存 十二卷(善珠)

＊ハ南都七大寺

神代	紀元	時代	(作品)	書体	(筆者)	(年代)	(所在)
神武	紀元元	周 恵王17					
	100	周時代					
	200						
大	300						
			石鼓文	篆		(周末？)	直隷
	400	412 秦	瑯琊臺碑	篆	〔李斯〕	(始皇二八 442)	山東
孝霊			泰山刻石	篆	〔李斯〕	(始皇二八 442)	山東
	500	455 漢時代 前漢					
崇神	600		魯孝王刻石	隷		(五鳳二 605)	山東
			萊子侯刻石	隷		(天鳳三 676)	山東
垂仁	700	685 後漢	漢祀三公山碑	隷		(元初四 777)	直隷
			楊孟文石門頌	隷		(建和二 808)	陝西
和			孔廟禮器碑	隷		(永壽二 816)	山東
	800		李翕西狹頌	隷		(建寧二 831)	甘肅
			石經	隷			
			張遷碑	隷		(中平三 846)	山東
成務 仲哀	900	880 三國 蜀魏呉	九眞大守谷朗碑	楷		(鳳凰元 932)	湖南
			天發神讖碑	篆		(天璽元 936)	江蘇
應神	1000	六朝 呉	蘭亭序	行	〔王羲之〕	(永和九 1013)	
			樂毅論・黃庭經・聖敎序・十七帖・九月十七日帖・喪亂帖・秋中帖				
		東晉	洛神賦十三行	楷	〔王獻之〕	廿九日帖	
	1100		爨龍顏碑	楷		(大明二 1118)	雲南
			鄭文公下碑	楷	〔鄭道昭〕	(永平四 1171)	山東
		宋	張猛龍碑	楷		(正光三 1182)	山東
	1200	朝	焦山瘞鶴銘	楷	〔華陽眞〕		江蘇

時代	天皇	紀元	王朝	作品	書体	筆者	年代	所在
時代	欽明	1201	時代 齊	修太公廟碑	楷	〔穆子容〕	(大統一六1210)	河南
				菩薩處胎經	楷	〔陶作虎〕	(大統一六1210)	知恩院
			梁	天柱山銘	隷	〔鄭述祖〕	(天統元 1225)	山東
				徂徠山佛號摩崖	隷	〔王子椿〕	(武平元 1230)	山東
			陳	石經峪金剛經	隷			山東
				龍藏寺碑	楷	〔張公禮〕	(開皇六 1246)	直隷
	崇峻 推古	1250	隋	元公山墓志	楷		(大業十一1251)	陝西
				啓法寺碑	楷	〔丁道護〕		
				眞草千字文		〔智永〕		陝西
		1278	唐時代 初	孔子廟堂碑	楷	〔虞世南〕	(武德九 1286)	山東
				九成宮醴泉銘	楷	〔歐陽詢〕	(貞觀六 1292)	
	舒明	1300		裴鏡民碑	楷	〔殷令名〕	(貞觀十一1297)	山西
				孟法師碑	楷	〔褚遂良〕	(貞觀一六1302)	
				晉祠銘	行	〔太宗帝〕	(貞觀二一1307)	山西
				雁塔聖教序	楷	〔褚遂良〕	(永徽四 1313)	陝西
				道因法師碑	楷	〔歐陽通〕	(龍朔三 1323)	陝西
				義之聖教序	行	〔懷仁集字〕	(咸亨三 1332)	陝西
				書譜	草	〔孫過庭〕	(垂拱三 1347)	
	持統	1350	唐	千字文	草	〔孫過庭〕		
	元明 元正	1369		遊石淙詩	楷	〔薛曜〕	(久視元 1360)	河南
奈良時代		1373	盛	雲麾將軍碑	行	〔李北海〕	(開元八 1380)	陝西
				岳麓寺碑	行	〔李北海〕	(開元一八1390)	湖南
				千字文	草	〔張旭〕		
				郞官石柱記	楷	〔張旭〕		
				孝經	草	〔賀知章〕	(開元天寶頃?)	御物
		1400	唐	多寶塔碑	楷	〔顏眞卿〕	(天寶十一1412)	陝西
				爭坐位帖	行	〔顏眞卿〕		
		1423	中	城隍神記	篆	〔李氷陽〕	(乾元二 1419)	浙江
				李氏三墳碑	篆	〔李氷陽〕	(大暦二 1427)	陝西
		1430	唐	麻姑仙壇碑	楷	〔顏眞卿〕	(大暦六 1431)	陝西
				自叙帖	草	〔懷素〕	(大暦十二1437)	湖南
				顏氏家廟碑	楷	〔顏眞卿〕	(建中元 1440)	陝西
		1453		不空禪師碑	楷	〔徐浩〕	(建中二 1441)	陝西

唐様 (作品)	(筆者)	(年代)	(所在)	金石文 (作品)	(年代)	(所在)
				道後溫泉碑	(1256)	伊豫
法華義疏	〔聖德太子〕	(1275)	御物	藥師光背銘造像記	(1267)	法隆寺
				釋迦光背銘造像記	(1283)	法隆寺
				宇治橋〔斷〕碑	(1306)	山城
				船首王後墓誌	(1328)	河内
				山名村碑	(1341)	上野
金剛場陀羅尼經		(1346)	小川爲次郎	鰐淵寺觀音造像記	(1348)	近江
				妙心寺鐘銘	(1358)	山城
				那須國造碑	(1360)	下野
宸翰雜集	〔聖武天皇〕	(1391)	正倉院	多胡郡碑	(1371)	上野
賢愚經	〔聖武天皇〕					
過去現在因果經	〔未詳〕	(天平中)	報恩院 久邇宮	興福寺鐘銘	(1387)	大和
樂毅論	〔光明皇后〕	(1404)	正倉院	銅版勅書〔聖武天皇〕	(1409)	東大寺
杜家立成雜書要略	〔光明皇后〕		正倉院	佛足石碑	(1413)	大和
封戸議定勅書	〔惠美押勝〕		正倉院	多賀城碑	(1422)	陸前
造東大寺司牒署名	〔僧良辨〕	(1416)	正倉院	唐招提寺鐘銘	(1423)	大和
顯無邊佛土功德經	〔僧良辨〕		知恩院			
施藥院請物文書	〔孝謙天皇〕		正倉院			
南部燒切	〔傳吉備眞備〕			劍御子寺鐘銘	(1430)	越前
虫喰切	〔傳吉備眞備〕					
經切	〔傳中將姫〕					
大般若經	〔傳朝野魚養〕		藥師寺			
聾瞽指揮	〔僧空海〕	(1451)	高野山	高屋連墓誌	(1436)	河内

大和時代

時代	紀元	年號	摘要
上古時代（一―一二〇〇）	1	紀元元	○日本繪畫ノ揺籃時代 ○僅カニ古墳石槨内ノ模様ヲ存スルノミ
	1200	欽明帝	
飛鳥時代（一二〇一―一三〇〇）	1201		○佛敎文化ノ輸入ニヨル劃期的展開 ○佛畫誕生
	1232	敏達帝	
	1246	用明帝	
	1248	崇峻帝	
	1253	推古帝	○畫工渡來（白加・曇徵等） ○密陀繪行ハル
	1289	舒明帝	○遺品ニ乏シ
	1300		

佛畫　【唐畫】

壁畫・厨子繪（裝飾畫）

（作品名）	（所藏者）
玉蟲厨子密陀繪　1280頃	（奈良　法隆寺藏）
二天圖	（正面扉）
多寶塔圖	（後壁）
菩薩圖	（左右側面扉）
舍利供養圖	（須彌座正面）
須彌山圖	（同　背面）
施身聞偈圖	（同　右側）
捨身飼虎圖	（同　左側）

佛像畫・肖像畫・其他

（作名）	（作者）	（所藏者）

曼荼羅類

（作名）	（所藏者）
【天壽國曼荼羅】（刺繡）1282	（奈良　中宮寺藏）

（畫）東漢末賢・高麗加西溢・漢奴加己利
（繡）推古帝ノ采女等
推古帝卅年成ル

主要作家

（人名）	（年代）
白加	百濟畫工　崇峻帝御代來朝
僧曇徵	「高勾麗人」　推古十八年來朝

時代	年紀・年號		（壁畫・厨子繪）	（佛像畫・肖像畫・其他）	（曼荼羅類）	（主要作家）
時代 白鳳時代〔奈良前期〕（一三〇一——一三八〇）	1301 〃05 大化 〃10 白雉 〃15 齊明帝 〃22 天智帝 〃32 弘文帝 〃33 天武帝 〃46 朱鳥元 〃47 朱鳥 〃57 文武帝 〃61 大寶 〃64 慶雲 〃68 和銅 〃75 靈龜 〃77 養老	○唐風ト印度風ノ混合——橘夫人厨子繪 ○印度風ノ作品多シ（法隆寺壁畫・聖德太子像等） ○唐ト直接交通ニヨリ其影響著シ——寫實的具體的	法隆寺金堂壁畫 傳曇徵筆・或云鳥佛師作 四佛淨土・菩薩羅漢 天人圖・其他 製作年代・白鳳中葉・天智帝御宇 橘夫人厨子繪 （奈良 法隆寺藏）	聖德太子像 天武帝二年 1334頃作 （法隆寺舊藏・現御物・東京帝室博物館模本） 此畫ハ元推古朝ノ作ト傳ヘラレ、黑川博士ハ白鳳時代ノ作ト推定ス、現在通說ハ白鳳ヨリ更ニ下ルモノトス 【釋迦如來說法圖】（刺繡） （京都 勸修寺藏）		狛竪部子麿 鯽魚戸直
天平時代〔奈良後期〕（一三八一——一四五三）	〃84 神龜 〃89 天平 1409 天平勝寶 〃17 天平寶字 〃25 天平神護 〃27 神護景雲 〃30 寶龜 〃41 天應 〃42 延曆 1453	○鑑賞的繪畫ノ先驅——正倉院御物 ○天平藝術——唐朝美術ノ消化、平安藝術ノ淵源 ○彌陀信仰ニヨル「淨土變畫」行ハレ「過去現在因果經」物多ク描カル ○大和繪ノ源泉、因果經繪	東大寺戒壇院屏繪 一卷十六圖（松田氏藏） 八角圓堂裝飾天人圖 （奈良 榮山寺）	過去現在因果經繪 報恩院本 八卷中二卷現存 久邇宮家・醍醐報恩院分藏 興福寺本 二卷現存 東京美術學校藏 正倉院御物 鳥毛立女屏風 俗稱樹下美人圖 素畫菩薩像 阮咸撥面圖 彈弓ノ墨畫 銀壺ノ繪 麻布山水圖 藥師寺吉祥天女像 寶龜四年 1433頃作 （奈良 藥師寺藏） 東大寺二月堂本尊光背毛彫畫像 東大寺大佛蓮瓣毛彫佛畫	當麻寺極樂曼荼羅 （奈良 當麻寺藏） 外ニ文龜年間ニ模寫セル文龜曼荼羅ヲ藏ス	息長丹生眞人大國 河內畫師次萬呂 竹志麻呂 黃文連乙萬呂 上村主牛養 秦連稻村 簀秦麻呂

【備考】(1)下線ヲ施セルハ特ニ著名ナモノ　(2)數字ハ紀元年數　(3)△ハ後世再造

時代	紀元	年號	摘要
大和 上古時代（一——一二〇〇）	1	紀元元年	○其特色ハ一般ニ率直デ調和的（考古的價値） ○我國太古ノ彫刻——埴輪土偶
	1200	欽明帝	
飛鳥時代（一二〇一——一三〇〇）	1201		○所謂推古佛 ○我國最初ノ佛像彫刻家多須奈ト飛鳥代表止利佛師 ○造佛彫刻ノ輸入（我國彫刻ノ一大飛躍）
	1232	敏達帝	
	〃46	用明帝	
	〃48	崇峻帝	
	〃53	推古帝	
	〃89	舒明帝	
	1300		

佛像彫刻（所藏者）	（彫刻名）	（年代）	肖像彫刻	其他	主要作家
舊法興寺 現安居院	金銅釋迦如來坐像 傳我國最古佛像	1265			
帝室御物	金銅如意輪觀音像	1266			
法隆寺金堂	藥師如來銅像	1267			鞍作多須奈 用明帝ノ朝
同上	金銅釋迦三尊像 法隆寺本尊・鞍作鳥作	1283			
法隆寺	四天王像（木彫） 日光・月光・觀音・勢至				鞍作止利 推古帝ノ朝
法隆寺夢殿	救苦觀音像（木彫）				
法輪寺金堂	藥師像（木彫）				百濟御太
法隆寺金堂	觀世音菩薩像（俗稱百濟觀音）（木彫）				
中宮寺	彌勒菩薩像（木彫） 一說　如意輪觀音像				
廣隆寺	彌勒及如意輪觀音像（木彫）				
御物	摩耶夫人及釆女像（金銅）				
御物	金銅菩薩像 法隆寺獻納四十八體佛ノ內				

時代

白鳳時代〔奈良前期〕(一三〇五—一三七〇)

年	年號
//05	大化
//10	白雉
//15	齊明帝
//22	天智帝
//32	弘文帝
//33	天武帝
//46	朱鳥
//47	朱鳥
//57	文武帝
//61	大寶
//64	慶雲
//68	和銅
//75	靈龜
//77	養老

○天平盛觀ノ先驅
○特ニ鑄金術ニ勝レ
○隋唐及印度・波斯ノ影響著シク、豐ニ衣褶流ル、如シ
○佛像ノ肉付
技術ハ長足ノ進步

（佛像彫刻）

所在	佛像	備考
御物	觀世音菩薩像 (金銅)	1311　法隆寺獻納四十八體佛ノ内
法隆寺繪殿	聖觀音立像	(金銅)俗稱夢違觀音
藥師寺東院堂	聖觀音立像	(金銅)傳養老中百濟貢獻
法隆寺	橘夫人念持佛彌陀三尊	
長谷寺	千佛多寶塔	(鎚起像)　1346
鶴林寺	聖觀音像	(金銅)
深大寺	釋迦如來倚像	(金銅)
蟹滿寺	釋迦如來坐像	(金銅)
法隆寺	五重塔內釋迦八相塑像	俗稱法隆寺泣佛　和銅中成ル

※ ——→※

所在	佛像	備考
藥師寺金堂	藥師三尊像	(金銅)
新藥師寺	藥師如來立像	(金銅)　俗稱香藥師
法隆寺	押出金銅彌陀三尊像	(鎚起像)

（肖像彫刻）

（其他）

（主要作家）
山口直大口
木閉
藥師德保
鐵師𠮷古
稽文會
稽首勳

天平時代〔奈良後期〕(一三七一—一四五三)

年	年號
//84	神龜
//89	天平
1409	天平勝寶
//17	天平寶字
//25	天平神護
//27	神護景雲
//30	寶龜
//41	天應
//42	延曆
1453	

○材料多樣ヲ極メ塑像・乾漆ハ當代獨自ノ技○鑄佛無比ノ大作(奈良大佛)
○彫刻史上空前ノ黃金時代○佛像彫刻ノ理想主義確立、佛教美術ノ精華

（佛像彫刻）

所在	佛像	備考
東大寺法華堂	本尊 不空羂索觀音像	(乾漆)
同	脇侍 梵天・帝釋天像	(同上)
同	四天王像	(同上)
同	日光・月光菩薩像	(塑像)
同	執金剛神像	(同上)　東京帝室博物館ニ模造品有リ
同	吉祥天・辨才天像	(同上)
同	金剛力士二像	(乾漆)
△東大寺本尊	毘盧舍那佛	(銅)　俗稱奈良大佛　1412開眼
東大寺戒壇院	四天王像	(塑像)
法華寺	十一面觀音像	(木彫)或云弘仁初期ノ作
興福寺	天龍八部衆諸像	(乾漆)
唐招提寺本尊	盧舍那佛坐像	(同上)
同脇侍	千手觀音・藥師如來像	(同上)
當麻寺	彌勒佛像	(塑像)
大安寺	楊柳觀音像	
秋篠寺	梵天・帝釋天・技藝天像	(乾漆)
法隆寺	梵天・帝釋天像	(塑像)

※—— ——→※

所在	佛像	備考
法隆寺傳法堂	勢至菩薩像	
大龍寺	菩薩像	(木彫)
聖林寺	十一面觀音像	(木心乾漆)
高山寺	藥師如來像	(乾漆)
新藥師寺	本尊(木彫)及十二神將像	(塑像)

（肖像彫刻）

所在	肖像	備考
東大寺開山堂	良辨僧正坐像	(木彫)
興福寺	釋迦十大弟子像	六體現存(乾漆)
法隆寺夢殿	行信僧都坐像	(乾漆)
唐招提寺	僧鑑眞坐像	(紙塑)
岡寺	聖僧文殊像	傳義淵像(木心乾漆)
法華寺	維摩居士坐像	(乾漆)

（主要作家）
國中連公麻呂
高市眞國
高市眞麻呂
柿本男王
將李魚成
太田和麻呂
志坂福貴
基永師
安勅島足
田邊國持
秦祖父
佐爲尺萬呂
物部廣足
沙彌淨福

時代	摘要	金工	陶工 (附) 玻璃・七寶工	漆工 (附) 螺鈿工	染織工	木工 (附) 石工・其他
		(品名)　(所藏者)	(品名)　(所藏者)	(品名)　(所藏者)	(品名)　(所藏者)	(品名)　(所藏者)
大和 上古時代 (一——一二〇〇)	○發掘古陶器(素燒土器・埴輪・陶棺・齋瓶) ○刀劍甲冑馬具等ノ製作盛ン　○木・漆・織工ノ遺物無シ ○工藝ハ鑄造・彫刻ヨリ發達シ、就中金工最モ著ハル ○神武朝既ニ織・陶・玉・漆ノ專門工アリト云フ	當代發掘遺物 (種類)　(發掘地) 鈴鏡 (銅) 下野 刀劍 (靑銅鍍金) 武藏 劍頭 (銅製鍍金) 上野 同 (〃〃) 攝津 同 (〃〃) 駿河 兜 (鐵・銅鍍金) 上總 轡 (鐵製鍍金) 肥後 馬鈴 (〃〃) 上野 銅鐸 (靑銅) 近江 (以上　帝室博物館藏) 兜 (靑銅) 筑後 (筑後　若宮八幡宮藏)	當代發掘遺物 (種類)(發掘地)(所藏者) 陶棺 美作 宮內省 〃 備前 帝室博物館 齋瓶 筑前 伊勢徵古館 同 三河 帝室博物館 同 備前 同上			
大和 飛鳥時代 (一二〇一——一三〇〇)	○佛像裝飾精緻トナル 透彫・象嵌等) ○鑄・彫・鍍金著シク發達シ精巧ヲ極ム(鑄出・打出・毛彫・ ○佛教ト共ニ朝鮮ヨリ各種ノ技工傳來	御物大銅幡 銅製鍍金　長サ二丈三尺 舊法隆寺藏　現御物 法隆寺金堂天蓋金具 同　玉蟲厨子金具 金銅光背(奈良　法隆寺藏) 御物　釋迦如來像光背 (奈良　法隆寺舊藏)		法隆寺玉蟲厨子	天壽國曼荼羅繡帳 (奈良　中宮寺藏) 御物　繡佛殘缺 獅子狩模樣錦一面 (奈良　法隆寺藏)	法隆寺金堂木造天蓋 同　玉蟲厨子 同　夢殿本尊光背

時代		（金工）	（陶工）	（漆工）	（染織工）	（木工）
白鳳時代〔奈良前期〕（一三〇一——一三七〇）	○金工依然盛ンニ、織工大イニ進歩（文様配色ノ發達） ○大寶中朝廷ニ織部司、鍛冶司、典鑄司、筥陶司、漆部司ヲ置ク	**龍首水瓶** 御物（奈良 法隆寺舊藏） 橘夫人念持佛光背・障屏・座板（奈良 法隆寺藏） 藥師寺金堂本尊臺座 同 三重塔水煙（奈良 藥師寺）		御物赤漆文欟木御厨子（重出）（奈良 正倉院）	刺繍釋迦如來說法圖（京都 勸修寺藏） 御物 蜀江錦（奈良 法隆寺舊藏）	**海龍王寺五重小塔**（現奈良帝室博物館陳列） 橘夫人厨子（奈良 法隆寺） **御物赤漆文欟木御厨子**（奈良 正倉院） 極樂院五重小塔（現奈良帝室博物館陳列）
天平時代〔奈良後期〕（一三七一——一四五三）	○玻璃器ノ製作精巧ヲ加フ ○金工藝ノ精粹三千餘點 ○工藝ノ極盛期（天平時代） ○當代鑄銅ノ名品華原磬 ○錦綾・染色ノ技進ミ彩繪大イニ行ハル ○世界無比ノ寶庫正倉院	**正倉院御物** 白銅圓鏡 白銅八葉鏡 平螺鈿圓鏡 七寶十二稜鏡 金銀鈿裝大刀 金銀平文横刀 紫檀金銀平文柄 香爐 金銅盤 **華原磬**（鉦鼓及磬）（奈良 興福寺） **東大寺大燈籠**（銅製） 同 法華堂本尊寶冠（奈良 東大寺）	**正倉院御物** 陶製花瓶 陶器鼓胴 玻璃皿 玻璃椀	**正倉院御物** 染牙紫檀琵琶 五絃琵琶 阮咸 箜篌 〔彩繪〕 緑地彩繪箱 蓮花形彩繪盤 花形〃 八角〃	**正倉院御物** 狩獵錦裂 山羊文錦裂 蔓葉紋錦裂 鳥獸草花錦 長斑錦御軾裂 鳳形錦御軾 唐花斜文錦裂 暈繝錦 鳥獸草花文夾纈屛風 花鳥文夾纈机褥 鳥獸草花文﨟纈屛風 龜甲花形﨟纈裂	**正倉院御物** 伎樂面 木彫象 牙尺 尺八 笙 紫檀碁局 火舍・鎭子（大理石） 東大寺寺門扁額 般若寺寺門扁額

時代	紀元 年號	摘要	神社建築	佛寺建築	宮殿建築	邸宅建築
大和 上古時代 (一—一二〇〇)	1 神武帝元年 1200 欽明帝	○最古ノ建築様式—天地根元宮造 ○建築史上ノ暗黒時代 ○上代神社建築ノ四様式	(社名) (所在)(年代)(美術) 【大社造】△出雲大社 出雲杵築 大國主命ヲ天孫族新造、後出雲大社トナル〔江戸參照〕 △鹿島神宮 常陸 神武帝即位後創建 【大鳥造】△大鳥神社 難波 景行帝御子創建 △熱田神宮 尾張 景行帝四 770 【住吉造】△住吉神社 難波 應神帝十一年創 940 〔江戸參照〕 【唯一神明造】△伊勢大神宮 伊勢 雄略帝廿二1138外宮創建		(宮殿名) (年代) 【天地根元宮造】×橿原宮 神武帝御所、紀元元 ×難波高津宮 仁德帝御所 973 ×宮殿造營 仁德帝十年 982 ×大和朝倉宮 雄略帝御所 1128	×大國主命邸 出雲
大和 飛鳥時代 (一二〇一—一三〇〇)	1232 敏達帝 1246 用明帝 1248 崇峻帝 1253 推古帝 1289 舒明帝 1300	○聖德太子建立七ヶ寺（四天王・法隆・蜂岡・法起・中宮・葛城・橘） ○世界最古ノ木造建築—法隆寺金堂（强勁ノ建築美） ○佛寺建築ノ輸入—日本建築史ノ黎明（百濟式七堂伽藍）		(寺名) (所在) (年代) (美術) 【百濟式七堂伽藍】△四天王寺 難波 用明帝二1247攝津玉造ニ創、推古元1253現在地ニ移建 ×法興寺(飛鳥寺・元興寺) 大和 崇峻帝元1248創建 【彫】 △橘寺(菩提寺) 大和 推古帝十四創 1266 法隆寺金堂 大和 推古帝十五年(繪)成1267 【彫】〔工〕 同 五重塔 〃 〃 〃 △法輪寺 大和 推古卅三年成1285 ※1330 ※1282 【彫】 同 三重塔 〃 1285建 明治修理 △法起寺(岡本寺・池後尼寺) 大和 舒明帝十年ヨリ慶雲三年間ニ成ル 同 三重塔 〃 天武帝十創、慶雲三落成 1342—1366 △蜂岡寺(現 廣隆寺) 京都 推古十二創、1264 △中宮寺 大和 推古十五創、1267 〔工〕	×敷島金刺宮 欽明帝御所 1200 ×小墾田豐浦宮 推古帝御所 1252	

時代

白鳳時代〔奈良前期〕（1301—1370）

1305	大化
1310	白雉
1315	齊明帝
1322	天智帝
1332	弘文帝
1333	天武帝
1347	朱鳥
1357	文武帝
1361	大寶
1364	慶雲
1368	和銅
1375	靈龜

○平城京ノ出現（宮殿建築ノ一大進歩）
○城廓建築續出
○氷レル音樂——藥師寺東塔

天平時代〔奈良後期〕（1371—1452）

1384	神龜
1389	天平
1409	天平勝寶
1417	天平寶字
1425	天平神護
1427	神護景雲
1430	寶龜
1342	延暦
1453	

○輪奐ノ美ヲ集メタ興福寺（藤原氏ノ氏寺）　○世界無比ノ東大寺大佛殿
○唐式七堂伽藍制ノ完成（雄麗豐滿古今ニ冠絶）　○宇内ノ寶庫正倉院
○大伽藍ノ經營相次グ—聖武帝ノ政教一致政策　○貴重ナ遺構唐招提寺金堂

（社名）（所在）（年代）（美術）

△松尾神社　京都　大寶元創建 1361　現存社殿ハ天文十九2210成ル　【彫】

△春日神社　大和　神護景雲二年創建 1428　〔平安・江戸參照〕　【彫】

（寺名）（所在）（年代）（美術）

【唐式七堂伽藍】

- △弘福寺（川原寺）　大和　敏達帝十三創 1244※齊明帝元1315
- ×崇福寺　近江　天智帝七竣工 1328
- △龍蓋寺（岡寺）　大和　天智帝二建立 1323　【彫】
- ×下野藥師寺　下野　天智帝三1330
- ×大官大寺　大和　天武帝二1334
- △當麻寺　大和　白鳳十 1342（繪）【彫】〔工〕
- 同東塔西塔　〃　年代未詳
- △南法華寺（壺坂寺）　大和　大寶三年建 1363
- *△藥師寺　大和　養老二現在地移建1378　（繪）【彫】（書）
- 同東塔　〃　天平二成ル 1390

【南都七大寺】　*印

- *△元興寺　大和　靈龜二1376 ※1378　【彫】
- *△大安寺　大和　天平元移建 1389　【彫】
- *△興福寺東金堂　大和　神龜三創建 1386　【彫】〔工〕
- △同五重塔　〃　天平二建1390〔鎌倉・室町・江戸參照〕
- △長谷寺　大和　神龜四創1387
- 海龍王寺五重塔　現奈良博物館陳列
- *法隆寺東院夢殿　〃　天平十一創建 1399　【彫】
- 同傳法堂　〃　橘夫人邸ヲ東院創建ニ當リ施入　【彫】
- *△東大寺大佛殿　〃　天平勝寶四竣 1412　【彫】〔工〕
- 同法華堂　〃　天平五、金鐘寺改稱　【彫】〔工〕
- 同正倉院　〃　東大寺創建時遺構〔鎌倉・江戸參照〕　〔工〕（書）
- 唐招提寺金堂　〃　天平寶字三建 1419　【彫】
- 同講堂　〃　平城京朝集殿遺構
- *△西大寺　大和　天平神護元創 1429　【彫】
- △秋篠寺　大和　寶龜六創建 1435 ※1440　【彫】
- 榮山寺八角堂　〃　年代不詳　〔工〕

（宮殿名）（年代）

- ×飛鳥板蓋宮　皇極帝御所 1303
- ×岡本宮　齊明帝御所
- ×近江宮　天智帝御所
- ×大津宮　弘文帝御所
- ×飛鳥淨見原宮　天武帝御所
- ×藤原宮　持統文武兩帝御所
- ×平城京　元明帝和銅三年 1370
- ×藤原恭仁京　聖武帝御所

城廓建築

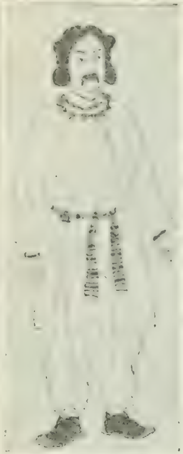
- ×上代ノ稻城
- ×對島壹岐ノ築城　天智帝三1324
- ×筑紫海岸ノ水城　同上
- ×大和高安城　天智帝六1327
- ×讃岐屋島城　同上
- ×對島金田城　同上
- ×陸前多賀城　神龜元年1384

橘夫人邸　後ニ法隆寺東院傳法堂トナル

【△奈良極樂院禪堂】　鎌倉初期再建

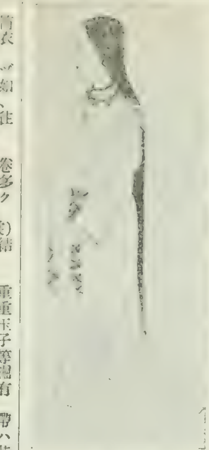
【備考】(5)※ハ異說　(6)(繪)【彫】〔工〕(書)ハ繪畫彫刻工藝書道ノ名作所藏　(7)數字ハ建築年代(皇紀)ヲ示ス　(8)【 】ハ參考品

神代



上古ノ男裝
衣・褌・裳・帶

〔衣〕(キヌ) 上着筒袖ノ短衣
〔褌〕(ハカマ) 太キヅボンノ如キモノ、女子ハ往々着ク
〔裳〕腰ニ卷ク短シ多クハ着ク
〔帶〕衣(裳)ノ上ニ結ブ
〔頸玉〕一重二重三重等、勾玉子持勾玉管玉切子玉丸玉等古墳發掘品中ニ有
衣褌裳帶ノ文字ハ記紀伊弉諾尊ノ條ヲ初見トス



上古ノ女裝
衣　裳・帶・領巾

〔裳〕女子ハ必ズ着ス長ク地ニ曳クモノモアリ、腰(紐)ハ左側ニ結ブ
〔領巾〕(ヒレ) 比禮肩ニカケル裝飾用ノキレ、蟲ヲ逐ヒ塵ヲ拂ヒ別離ノ際ニ振ル等ノ記事アリ、記ニ大國主命ガ須勢理姫ヨリ渡サレタル記事初見



袈裟式原始衣　倭人傳ニヨル男子想像圖

〔袈裟式原始衣〕長イ布ヲ衣ニ纏セ又帶ニ結ビトメル古代埃及アッシリア波斯希臘印度等ニ行ハレタリ現代ハ緬甸(方布衣)フィリッピン印度印度支那南アフリカ東北アフリカ等ニ見ル
〔頸飾〕貝輪石器時代遺物中ニアリ古史所載ノ釧(クシロ)ハ金屬其他ノ物質ニ進化シタルモノ
〔槍ホコ〕磨製石劍ニ木ノ柄
〔美豆良〕男子結髮法左右ノ耳邊ニ結ビ胸ノ近クマデ垂ラス
〔髻カツラ〕髮卷裝飾禮裝後世ハ武裝、木ノ枝ニテ髻髮ヲ結ブ歌萬葉集ニアリ

〔貫頭衣〕短イ原始的ナ裳ノ上ニ布ノ中央ヲ穿ッタ衣ヲ頭ヲ貫イテ着ル、古代埃及アッシリア希臘羅馬現代南洋方面カロリン群島南米ニコノ系統ノモノアリ



貫頭衣　倭人傳ニヨル女子想像圖

應神・仁德朝

〔垂領(タリクビ)〕袵、紐ニテ結ブ今ノ和服ノ襟ノ如キ形、男女共ニ領ノ合セ方左



左衽垂領ノ衣ニ赤紐ヲ著ケタ男
下野國芳賀郡中村
發掘埴輪土偶



美豆良ニ結ヒ頸玉手纏ヲ懸ケタ男
上野國群馬郡上輪村
發掘ノ埴輪土偶

〔手繦〕タスキ・手次・禮裝ナリ、今ノ襷ト同ジ形式ノモアリ

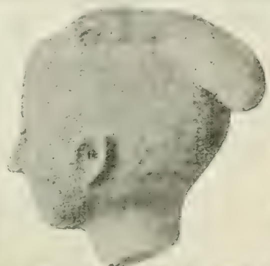


髻ヲシタ男
上野國佐波郡剛志村發掘
埴輪土偶ノ首



對生式結髮ニ髻ヲシタ女ノ背面
武藏國北埼玉郡上中條村發掘
埴輪土偶ノ首

〔女子結髮〕後ニ搔キツケ折リマゲテ結ブ



← 島田式結髮ノ女
和泉國仁德天皇御陵發掘埴輪土偶首

【備考】
原始服飾文獻ハ支那晉時代ノ書陳壽ノ三國志中ノ魏志ノ倭人傳ニ「男子皆露レ紒、以ニ木緜一招レ頭、其衣橫幅、但結束相連、略無縫。婦人被髮屈レ紒、作レ衣如ニ單被一、穿ニ其中央一、貫レ頭衣レ之。」トアルニヨル(高橋健自氏說)三國志ノ成リシハ我應神天皇ノ十六年紀元九四五年ナル故當時一部ニ行ハレ居リシ服裝ナラン袈裟式衣モ貫頭衣モ南洋系統ノモノナル故上古我民族中ニコノ系統ノ存在ヲ推定シ得

雄略 繼體朝

一二五〇年頃



上古ノ武裝　衣・褌・短甲・脚結

〔短甲〕短キ甲ト冑龍手ヨリナル武裝ヲ短甲ト云フ、甲冑共ニ薄キ鐵板ヲ矧ギテ製ス、冑ハ衝角附（前方軍艦ノ衝角ノ如ク尖ル）

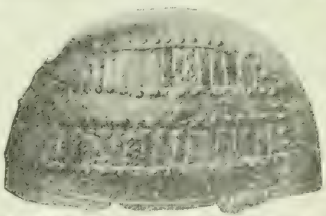
〔脚結(アユヒ)〕脚部ヲ褌ノ上ヨリ紐デ結ブ雄略記初見

〔太刀〕鐵裝ノ頭椎（カブツチ）コノ時代ノモノニハ反（ソリ）ナシ柄頭塊狀ヲナシ倒卵形ノ大キナ鐔アリ



鐵板ヲ鋲留メニシタ短甲　備後國雙三郡吉舍村發掘

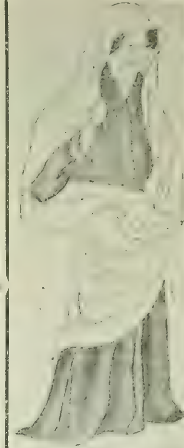
【備考】
支那胡族ノ記錄ニ短衣大袴トアリ北魏ノ正光二年石刻ノ畫像中ニ衣褌ト同ジキ服裝ヲナシ脚結ヲトナセルアリ北魏ハ我紀元千百六十年頃ニ當ル我上古ノ服裝ガ又北方民族ノ其ト一致セルコト推セラル



鐵製衝角附冑　日向國西諸縣郡眞幸村發掘

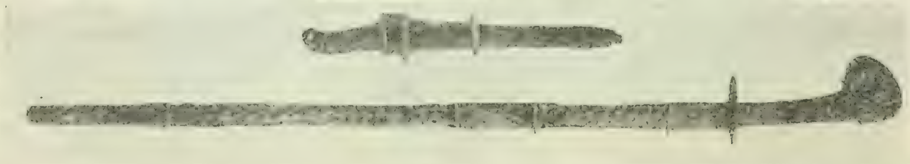


甲冑ヲ着シ太刀ヲ佩キ脚結セル男
上野國新田郡世良田村發掘



淤須比(オスヒ)

押日忍比等ノ文字アリ頭ヨリ被リ衣ノ上ヲ蓋ヒ下ハ裾マデ垂ル、記ノ宮簀媛着用ノ條有名、コノ形式ノモノハアフリカ黒人印度フイリツピン島ニ行ハル、南洋系ノ原始服飾ナルコト推セラル



(上)頭椎(カブツチノタチ)太刀
武藏國北埼玉郡荒木村發掘

(下)蕨手太刀
信濃國小縣郡禰津村發掘

上古ノ織物

地質

〔絁〕アシギヌ、蠶糸製ナレド絲ニ太細アリ粗惡ナル故コノ名アリ

〔綺〕カンハタ、大和錦、帶用縞物丹白黃ナル文字ニヨリ三色以上ノ縞物ト推定セラル

〔木綿〕ユフ樹皮製ノ布ノ總稱

〔荒妙〕麻布

〔白妙〕〔照妙〕〔和妙〕等ハ栲布

〔倭文布〕シヅリ常陸産、縞物ノ初メ、帶用、倭文幡帶之ナリ

染色　植物性染料浸染法

〔赤〕茜草　〔綠〕山藍ノ葉

〔黑〕蔓ツルバミ　〔黃〕刈安草

〔紫〕紫草ノ根

文樣

凸版模樣ヲ彫ツタ型木ノ上ニ布帛ヲ貼附シ上述草木ノ花葉支根等ヲ以テ其上ヲ木片デ摺ル方法ノミ行ハル

〔信夫文字摺〕亂レ模樣ヲ忍草ヲ以テ摺ツタモノ

〔青摺衣〕貴人ハ錦服民ハ布ヲ青摺ニシタル衣、紅ノ紐ヲツケタルコト記紀ニ見ユ、褌モ同ジキレ

上　古　ノ　食　物

主食物

穀物ナリ天照大神蒼生ノ食ヒテ活クベキモノト云ハレシ事初見、貴人ハ精米一般ハ玄米ヲ炙リ又ハ甑(コシキ)デ蒸シタ、庶民ハ麥粟稗等ノ雜穀ヲ常食トシタ

副食物

〔野菜〕甘菜　辛菜　人參　蕪

〔海草〕沖ツ藻　邊ツ藻

〔肉〕鹿　猪　兎

〔魚〕鰭ノ廣物　鰭ノ狹物

〔果物〕山野ニ自生スル桃　栗　葡萄　胡桃

〔酒〕ミキト云ヒシ濁酒

推古・天武朝

一三五〇年頃

隋制摸倣

推古天皇十一年隋制ニ倣ヒ位階ヲ設ケ冠服ノ制ヲ定メラル

〔冠位〕	〔冠服色〕	
大小 徳	紫	
大小 仁	青	木
大小 禮	赤	火
大小 信	黄	土
大小 義	白	金
大小 智	黒	水

紫ハ五行ヲ攝スト云ヒテ上位ニ置ク冠ト上衣トハ同色絁〔アシギヌ〕製ナリ

褶ヒラミ
同十三年服制中ニ加ヘラル右圖及其說明參照



推古朝制定冠服
髻・冠・上衣・帶・褶・褌

〔髻〕
総髪ノ髪ヲ頭ノ上ニ被セ上緒ト稱スル紐ニテ括ル

〔上衣〕
盤領アゲクビ（圓領マルエリトモ云フ）今ノ洋服ノ詰襟ノ如キ形、右衽絁製無文

〔帶〕
倭文布

〔褶〕
上衣ノ下方褌ノ上ヘツケル上古男裝ノ裳ニ似タリ、色ハ上衣ニ準ズ

大化三年
冠位服色ノ改制

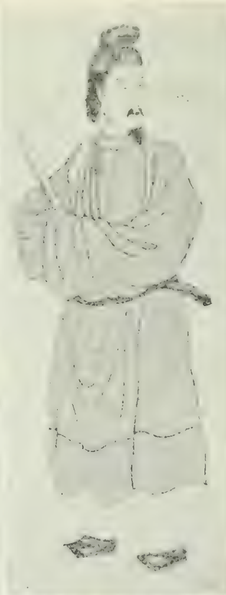
〔冠位〕	〔服色〕
大小 織	深紫
大小 繡	同上
大小 紫	淺紫
大小 錦	眞緋(コキアケ)
大小 青	紺(コキハナダ)
大小 黒	綠
建武	黒

蟬冠(ハナミカウブリ)
(大化三年制定)
錦綾等ニテ製シ背ニ漆羅ト稱スル羅ニ漆シタル蟬ノ羽ノ如キ枝ヲ挿ス



蟬冠着用

天武天皇十三年服制　(官吏ノ參朝・平時ノ服ヲ制定セラル)



天武朝制定　大禮用　服裝
漆紗冠・有襴衣・長紐　表袴
腰帶

〔漆紗冠〕
紗ニ漆ヲ塗リシモノ、背後ニ燕尾ノ如ク二條ノ垂緒アリ、兩側ノ上緒ト稱スル紐ニテ頭上ニ結ブ

〔有襴衣〕
上衣ノ裾ヘ横幅ノ同ジキレノ襴ヲツケル、脇ハ縫合ス

〔長紐〕
上衣ノ領ノ紐ノ長キモノ

〔腰帶〕コシオビ
革製ノ胴締鉸具(カコ)ト云フビジョウニテトメル、天武天皇ノ五年ニ之ヲ用ヒ始ム

〔表袴〕
(ウヘノハカマ)
括緒褌ニ對シテノ名稱ナリ、從來ノ形ト同ジ

〔烏皮履〕
(クリカハノクツ)
黒革製淺ク爪先反櫓ス



天武朝制定　平時　服裝
圭冠　無襴衣　結紐　括緒褌
綺帶

〔圭冠〕
(ハシハカウブリ)
絁製黒色、端ヲ白イ絹デ絡メル

〔無襴衣〕
襴ヲツケヌ上衣、脇ヲ縫合セズ

〔括緒褌〕
褌ノ裾ニ紐ヲツケ絞ツテハク

〔結紐〕
上衣ノ領ノ紐ノ短キモノ

〔綺帶〕
綺製ノ帶

【備考】 平時參朝ニハ有襴衣無襴衣長紐結紐イヅレニテモヨシ

新輸入織物

(新羅ノ朝貢ニヨル)

〔綾〕
針ニ綾目アリ色ハ二樣ニテ文樣アリ

〔羅〕ウスハタ
緯ハ平行シ經ハ立涌ノ如ク薄クシテ文樣アリ

〔絹〕カトリ
堅緻ノ意、細カク織リタル絹

〔絹〕
從來ハ絁ノ如キ粗末ナルモノノミナリ

文樣ノ進步

〔描染〕
刷毛ニテ畫ク

〔纐纈〕
絞リ染、鹿子

〔摺染〕
大ニ發達シ二色三色ノ染分ヤ直線文樣ニハ三角四角菱等、曲線文樣ニハ蕨形・隋圓・圓渦卷等出來タリ

天武天皇十四年位階服色ノ制改マル

明淨正直勤務追進ノ八級三十階

位階	明位二階	淨位四階	諸臣正位四階	同直位四階	同勤位四階	同務位四階	同追位四階	同進位四階
服色	朱華(ハネズ)		深紫(コキムラサキ)	淺紫(ウスムラサキ)	深綠	淺綠	深葡萄(コキエビ)	淺葡萄(ウスエビ)

〔明位二階〕
明大壹位
明廣壹位
明大貳位
明廣貳位

〔淨位四階〕
淨大壹位
淨廣壹位
淨大貳位
淨廣貳位
淨大參位
淨廣參位
淨大四位
淨廣四位
(四階ノ稱之ニ準ズ)

持統・文武朝

奈良朝

一三七〇年頃



傳阿佐太子筆　聖德太子御畫像
漆紗冠・朱華色ノ無襴衣・白袴・腰帶・烏皮履
(美豆良ハ此頃少年ノ髪トナリシガ民間ノ成年男子ニハ未ダ保守的ニ之ニ結ブモノアリ)

持統天皇四年位階服色制改マル(皇族明位ハモトノマヽ朱華色)

位階	淨大壹以上ト廣弐以上	淨大参以下廣四以上	正八級	直八級	勤八級	務八級	追八級	進八級
服色	黒(コキ)紫	赤(ウス)紫		緋	深緑	淺緑	深縹	淺縹

〔地質〕直位以上冬ハ綾、夏ハ羅、以下ハ年中絁
〔文様〕淨廣弐以上ハ一幅一部、淨大参以下直廣肆以上一幅二部

同七年百姓奴ノ服制

公事ニ奉仕スル百姓ノ服色ハ黄奴(賤民)ノハ皂クリ(黒)トナス

唐制摸倣　(禮(ライ)服・朝服・制服ノ制定)

大寶元年從來ノ朝服ノ上位ニ更ニ唐風ヲ摸シタル禮服ノ制ヲ設ケ、同二年ノ朝賀ニ初メテ親王大納言以上着用シ王及ビ他ノ諸臣ハ朝服ヲ以テシタ

制服ハ民衆ガ朝廷ノ公務ニ携ハル時ノ服制デアル

禮服ハ五位以上ノ官人即位朝賀蕃客接待大嘗祭等ニ著ス

朝服及制服ハ我國古來ノ服裝ニ基キタル所多シ

之等ノ制ハ養老二年ニ至ツテ令ニ記載セラレタ

〔服色等差〕

白 1	黄丹 2	紫 3
蘇芳 4	緋 5	紅 6
黄橡 7	纁 8	蒲萄 9
緑 10	紺 11	縹 12
桑 13	黄 14	楷 15
蓁 16	柴 17	橡 18
墨 19		

禮服 (養老二年衣服令所載 親王諸王諸臣ノ服制)

〔冠〕 毎品毎位各別制(二六頁記載)

〔衣〕

深紫	親王 王一位 臣一位	淺紫	王自二位至五位 臣二三位
深緋	四位	淺緋	五位

〔褶〕 (深緑紗) 親王諸王
(深縹紗) 諸臣

〔玉佩〕 親王及ビ王一位ノミ着用

〔笏〕 牙　〔袴〕 白

〔帶〕 絛(ウチヒモ)　〔襪〕 錦

〔舃〕 烏皮　〔綬〕



文官禮服

〔衣〕上衣ヲ大袖ト云ヒ垂領、上衣ノ下ニ小袖ヲ著ス盤領

〔玉佩〕ギョクハイ 玉ヲ鏤メタ瓔珞ノ如キモノ右ノ腰ニ吊ス

〔舃〕鼻高履ト稱シ尖端三山形ヲナス、淺沓

〔綬〕ジュ 絛帶(クミオビ)ト等シク唐組ト稱スル手組ノ紐ニテ白綾ニ色糸ヲ組ミ交ゼシモノ絛帶デシメタ後綬ヲ帶ニ吊ス

大寶元年位階服色ノ制改マル

位階	親王 自一品至四品	諸王 正從一位	諸臣 正從一位	諸王 自正二位至從五位下	諸臣 正從二位三位	諸臣 正從四位上下	同 正從五位上下	同 同六位上下	同 同七位上下	同 同八位上下	同 同初位上下
冠	漆			同		同	同	同	同	同	同
衣	黒紫			淺紫		深緋	淺緋	深緑	淺緑	深縹	淺縹
帶	綺			同		同	同	同	同	同	同
袴	白縛口			同		同	同	脛裳白	同	同	同
襪	白			同		同	同	同	同	同	同
舃	黒革			同		同	同	同	同	同	同

〔冠〕 漆ハ漆紗冠ノ略

〔白縛口〕 白キククリグチ　括緒褌ト同ジ

〔襪〕 シタウヅ　指ノ股ノナイ紐足袋

〔舃〕 クツ

〔脛裳〕 ハギモ　脛巾ハバキト同ジキヤハン

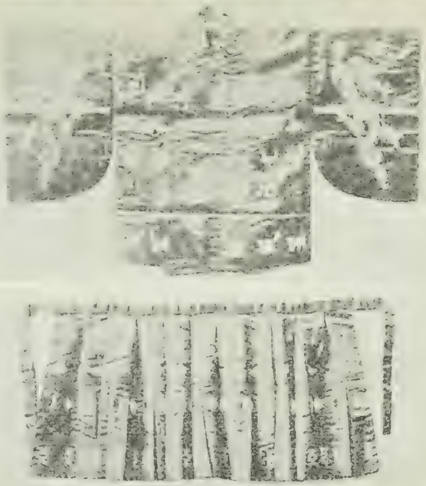
天平時代

袞龍御衣

天皇ハ古來典禮ニ清淨ヲ意味スル帛衣(白衣)ヲ用ヒラレタガ天平四年ヨリ舜ノ創意ニナルト云フ袞龍ノ御衣及冕(ベン)冠ヲ召サレル事ニナツタ(女帝ハ白衣ニ寶冠ヲ召サル)

袞龍ノ御衣ハ緋色大袖ノ衣ト同色褶トヨリナル、衣ニハ日・月・星辰・山・龍・華蟲(雉子)火・宗彝(蜼〔サル〕虎)等ノ象ヲ繡ヒタルモノ

褶ニハ藻・粉米・黼・黻ノ繡ヲナシ上下合セテ袞晃十二章トス、帝王ノ御德ヲ表象スル文樣ナリ



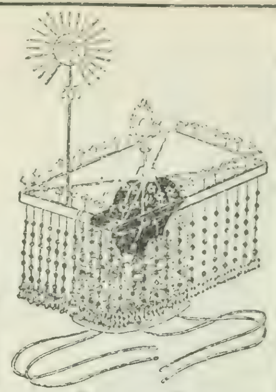
袞龍御衣ト褶

冕(ベン)冠(クワン)

天皇ノ禮冠、巾子〔コジ〕(髻ヲ包ム袋狀ノ所)ノ漆羅(羅ニテ製シ漆シタル背板)ノ前後ニ金ノ押鬘アリ、冠頂ニ火焰ヲ立テ方形ノ枠ニ珠玉ヲ垂ラシ、日輪ヲ表象シタル烏文樣ノ前立ヲツケ華麗莊嚴ナリ

寶冠

女帝ノ禮冠、圓形鬘形ノ冠ニ鳳凰ガ据エラレ上ニ日形ト瑞雲ヲ立テ斧附屬ス



冕冠



寶冠

女子禮服

養老二年制

〔寶髻〕

〔衣〕
深紫 { 内親王四品 / 女王一位 / 内命婦一位 }
淺紫 { 女王五位マデ / 内命婦二三位 }
深緋（内命婦四位）
淺緋（同五位）

〔紕帶〕（ヒタイヌハソヘ）
蘇芳深紫 { 内親王 / 女王 / 内命婦三位マデ }
淺紫深綠 } 四位　淺紫淺綠 } 五位

〔褶〕
淺綠（内親王　女王）
淺縹（内命婦）

〔裙〕（モ）
蘇芳深淺紫綠纈 { 内親王　女王 / 内命婦一位 }
蘇芳淺紫深淺綠纈 { 内命婦二位 / 三・四・五位 }

〔襪〕錦

〔舃〕
綠金銀飾 { 内親王女王 / 内命婦三位マデ }
烏銀飾　（四位五位）

（裙ハ上古ノ裳ト同ジ紕帶ハ P27 ニ説明）



大和國
← 藥師寺
吉祥天畫像

寶龜年中ノ作品ニテ當時ノ貴婦人ノ服飾ニ據ル、髮ハ寶髻、衣ハ大袖、上ニ背子（カラキヌ）ヲ着、縵襠ノ裙前垂ノ如キ褶ヲツケ、鼻高履ヲハキ、比禮ヲカケテ居ル

〔寶髻〕ハウケイ
頭上ノ髮ヲ瘤立ツヤウニ結ビ黃金珠玉ヲ以テ飾ル

〔背子〕カラキヌ
隋制擬敷ノ服袖ノナイ短イ襦袢ノ如キモノ、和銅頃ニハ貴婦人間ニ禮服トシテ私ニ用ヒラレ天平二年以來公ノ禮服トナル

禮(ライ)冠(クワン)

〔構造〕玉ヲ鏤ムルニヨリ玉冠トモ云フ、三山形(P50)ノ冠ノ周圍ニ櫛形ト稱スル金屬性ノ縁邊ト其上ニ押鬘ト稱スル唐草透ノ金屬ノ裝飾ガアル、冠ノ後ニ漆羅アリ共ニ珠玉ヲ附シ又草莖狀ノモノヲ周圍ニ立テ上ニ珠玉ヲ含マセ動物ノ徽(四神鳳凰麒麟)前方ニツク、紫色ノ組左右二筋ヅツ櫛形ニツキ頤ノ下ニテ結ブ

〔親王四品ノ禮冠〕
漆地、金裝、水精三顆・琥珀三顆・靑玉五顆ヲ冠頂ニ据エ、白玉八顆ヲ櫛形上ニ立テ、紺玉廿顆ヲ前後押鬘ニ、徽ヲ額上ニ立テル
徽　一品靑龍・二品朱雀・三品白虎・四品玄武(蛇ガ龜ヲ卷ク形)

〔諸王諸臣〕
一位ヨリ三位マデ漆地金裝、四位ノ王ハ金裝、臣下ハ銀裝、五位ハ銀裝、珠玉ノ種類及ビ數ハ毎位異ナル、四位五位ハ櫛形上ニ珠玉ヲ附ケズ、王ノ徽ハ鳳凰、臣下ノ徽ハ麒麟
（諸王諸臣用珠玉ハ水精琥珀ヲ用ヒズ綠玉黑玉赤玉ナリ）



禮冠

一四四〇年頃

武官禮服

養老二年制

衞門督 佐／左右衞士督 佐／左右兵衞督

〔冠〕皂羅（クリノウスバタ）

〔笏〕牙

〔緌〕（オイカケ）皂

〔位襖〕（オアオ）淺緋

〔裲襠〕（ウチカケ）正五位 繡／從五位上 雲錦／從五位下 纈

〔腰帶〕金銀裝

〔横刀〕金銀裝

〔袴〕白

〔靴〕正五位 烏皮／從五位上 赤皮／從五位下 烏皮

〔行縢〕（ムカバキ）錦



武官禮服

〔皂羅〕黑色羅製、羅ニハ小菱形ノ織文アリ

〔緌〕耳ノ兩脇ニ當テルモノ、後世ハ馬毛ニテ製シタルガコノ時代ニハ不明

〔位襖〕脇ノアキタル上衣

〔裲襠〕長方形ノ綾錦ニ縁ヲトリ中央ノ圓キ穴ヨリ頭ヲ通シテ着シ帶デシメル

〔腰帶〕黑色ノ革帶ニ金銀ノ金具ヲツケ銙ヲ飾ル

〔銙〕（クワ）長方形又ハ半圓形ノ金屬・玉・石・角等ノ裝飾用品、鋲留ニナス

〔靴〕深沓

〔行縢〕長方形ノ前垂ノ如キモノヲ二枚連續シソノ紐ヲ腰ニ括リ各大腿部ヲ蔽フ

武官朝服

養老二年制

五位ハ禮服ト同ジ　衞門大小尉志・醫師／左右衞士大小尉志醫師左右兵衞佐及ビ大小尉志・醫師

〔頭巾〕皂縵カトリ

〔緌〕皂

〔位襖〕

六位（佐大尉）深緑／七位（大小尉）淺緑／八位（大小志／醫師）深縹

〔笏〕木

〔腰帶〕烏油（クロヅクリ）

〔横刀〕烏裝（クロヅクリ）

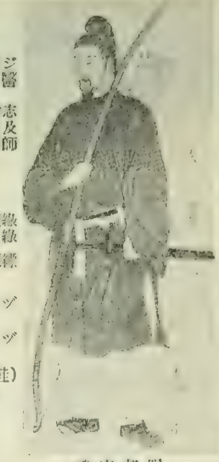
〔履〕烏皮（會集日鞋）

〔裲襠〕錦（會集日）

〔脛巾〕（ハバキ）赤（會集日）

〔弓箭〕（會集日）

〔袋〕文官ニ准ズ



武官朝服

兵衞 主帥 衞士 朝服

養老二年制

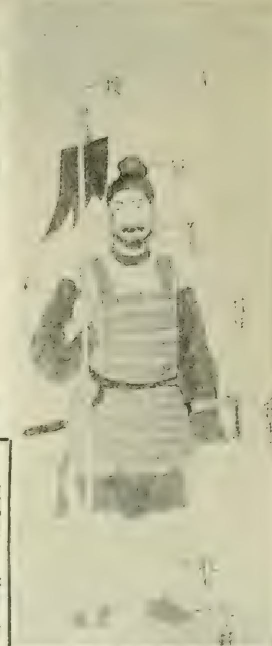
〔兵衞〕平日ニハ武官ノ朝服ニ同ジ、會集日ニハ紺襖　赤脛巾　鞋　挂甲（カケヨロヒ）ヲ着シ弓箭ヲ帶シ槍ヲモツ

〔主帥〕兵衞ト同ジ、會集日ニハ襟襖ヲ着シ槍ハモタズ

〔衞士〕

〔頭巾〕皂縵
〔緌〕朱末額
〔位襖〕桃染衫（會集日皂衫）
〔腰帶〕白布　〔横刀〕
〔履〕草鞋（ワラグツ）
〔弓箭或ハ槍〕會集日
〔脛巾〕白
〔挂甲〕會集日

【備考】朱末額ハ赤キ鉢卷　衫ハ布製闕腋袍（ワキノアケル上衣）



衞士會集日服

甲冑

〔挂甲〕東大寺獻物帳ノ記錄ニヨレバ甲板ハ金屬領ト緣トハ錦　裏ハ緋革ニテ製シ威絲ハ平打丸緒等ノ事知ラル

〔綿甲〕續日本紀天平寶字ノ條ニ綿襖冑　綿甲冑ノ名アリ綿入ノ鎧ナラン綿ハ輕クテヨク矢石ヲ防グニヨル

朝服

養老二年制　親王諸王諸臣

〔頭巾〕皂羅六位以下皂縵（カトリ）

〔衣〕大寶元年ノ制ニ同ジ

〔笏〕牙　〔袴〕白

〔腰帶〕金銀裝六位以下烏油（クロヅクリ）

〔襪〕白

〔履〕烏皮

〔袋〕（スイ）色ハ衣ニ準ズ、緒ノ色ト結ビ方ハ位階ノ正從ニ準ジテ別ニ細ク規定ス

【備考】袋ハ宮中出入ノ門鑑魚形ノ符ヲ袋ニ入レシモノ、左腰ニ下ゲル唐制隨身魚符ニ倣ツテ隨身符ト云ヘリ

女子朝服

養老二年制

内親王　女王　内命婦五位

衣　紕帶　裙ノミ記載シアレド然モ禮服ト少シモ變ラズ

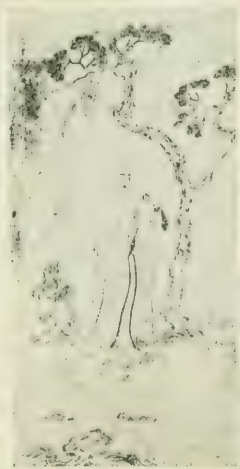
内命婦六位七位八位

〔義髻〕〔衣〕男夫ニ準ズ

〔紕帶〕深緑・淺緑〔裙〕纈裙

〔襪〕白　〔履〕烏皮

【備考】義髻ハカモジヲ用フルナラン　紕帶ハ縁ヲトツタ帶ヲ前ニ結ビ垂ラス、蘇芳深紫トアルハ深紫ノ帶ノ蘇芳デ縁ヲトリタルナラン



正倉院御物
← 鳥毛屏風
樹下美人圖

鳥毛ハ殆剝落シ下繪ノミ存ス　髮ハ四ツニ分ケテ結ビ合セタモノラシク衣・裙・背子・紕帶等窺ヒ知ラル

唐風摸倣服裝トシテ定説アリ

制服

養老二年制

男子

〔頭巾〕皂縵　〔衣〕黄袍
〔腰帶〕烏油　〔襪〕白
〔履〕麻又ハ草鞋
〔袴〕白

女子

〔宮人〕深緑以下淨紺以上及紅緒ヲ普通トシ紫以下ハ少シク用フルヲ聽サル

〔五位以上女〕父ノ朝服以下ノ色

〔庶女〕無位ノ官人ニ同ジ

庶民服裝

甚シク保守的デ男女共上代ノ衣褌帶・衣裳帶ト同ジ形式

附屬品ニ頸玉・手玉　脚結・襷ガ行ハレテ居ル

通貨ト其値

顯宗天皇ノ朝稻一斛ノ價銀錢一文ト紀ニ初見

〔和銅開珎〕和銅年間ニ鑄造セル銀錢及銅錢ナリ、銀錢一文穀六升　五文布一常ト續紀ニ見ユ

〔開基勝寶〕金錢　〔太平元寶〕銀錢

〔萬年通寶〕銅錢ノ三種天平寶字年間ニ鑄造、金一ハ銀十、銀一ハ銅十、銅一ハ舊銅錢十ニ當ル

正倉院記錄ニ天平寶字六年米一斛六百乃至九百文　布一端百六十文トアリ

〔神功開寶〕銅錢　天平神護鑄造

食物

萬葉集ニアル植物性食品其他

〔穀物〕米　麥　粟　黍　稗　豆

〔菜〕芋（イモ）　瓜　葛　芹　茸　蕗　蕺　草蒿（ウハギ）　薤韮（ニラ）　蔓菁（アヲナ）　薺　萵苣（チサ）　冬薯（トロロ）　水葱（ナギ）　蓼　蓴（ヌナハ）　蓮　蘘　蒜　百合　蕨（エグ）　等

〔果物〕梅　栗　李　橘　柘榴　梨　棗　桃

〔調味料〕鹽　醬（ヒシホ）　酢　飴

調（ミツギモノ）ノ記事ニ魚類　貝類　海草類　肉類各數種或ハ十數種ノ品名アリ　之等ガ焼物　煮物　漬物トシテ用ヒラレタルナラン

〔乳〕乳ヲ煮シテ酥ヲ製ス

〔糒〕（ホシイ）大寶令ニ兵士一人ニ六斗鹽二升給フト有

〔酒〕白酒（シロキ）　黑酒（クロキ）　吉備酒

時代	天皇	年	勅撰歌集	私撰集・家集	歌論
平安	桓武	1454–1470–1500		大和時代：※柿本集　※赤人集　※家持集	和歌四式：-歌經標式〔濱成式〕傳藤原濱成 -和歌作式〔喜撰式〕傳喜撰法師 -孫姫和歌式〔孫姫式〕傳菅原道眞 -石見女式〔安倍清行式〕傳柿本人麿 或云安倍清行
	清和	1530		※猿丸大夫集　※小町集 ※業平集 ※遍昭集	1553 新撰萬葉集序〔漢文〕(道眞)
	醍醐	1560	**勅撰歌集** 【勅1】古今集 (廿卷) 撰進 延喜五年 (1565) 撰者 紀貫之 凡河内躬恒 紀友則 壬生忠岑	※友則集　※敏行集　※躬恒集 ※素性法師集 1573 亭子院歌合 ※興風集　※是則集	1565 古今集序 (貫之) 1567 秘藏抄 (傳躬恒) 1573 亭子院歌合判詞
	村上	1590	【勅2】後撰集 (廿卷) 撰進 天暦五年 (1611) 撰者 源順 大中臣能宣 清原元輔 紀時文 坂上望城	亭子院御集　※伊勢集　元良親王御集　※敦忠集　※貫之集　古今和歌六帖(貫之女) ※兼輔集　※宗于集　※公忠集　※忠見集　※清正集 1620 天徳内裡歌合　※頼基集	1591 新撰和歌序 (貫之)
	一條	1620–1650		※忠岑集　天暦帝御集　※仲文集　西宮左大臣集(源高明)　※源順集　※元輔集　※高光集 ※朝忠集　※齋宮集　※信明集　※元眞集　※兼盛集　※中務集	

備考
※——三十六人集
○——六家集
×——五家髄脳
【特1】——勅撰第一歌集
年代ノ記入ナキモノハ總テ歿年ニ従フ

時代	年	勅撰集	私撰集・家集	歌論	連歌
一條 後一條	1651–1680	【勅 3】拾遺集（廿巻） 御撰　年次未詳 撰者　花山上皇親撰（或ハ公任？）	※源重之集　※能宣集 實方朝臣集 發心和歌集（選子内親王） ※小大君集 御堂關白集（道長）	1679 十體和歌（源 道濟）	拾遺集　巻十八雑賀ノ中六首 （國歌大觀　1179—1184）
後朱雀	1680–1710		紫式部集　馬内侍集 祭主輔親卿集 三十六人撰（公任） 藤原公任集 和泉式部集 權中納言定頼卿集	1701×新撰髓腦（公任） 和歌九品（同上）	
白河	1710–1740		三十六人集〔歌仙家集〕 年代{三十六人撰ヨリ千載集マデノ間} 編者未詳	×能因歌枕（能因）	
堀河	1740–1770	【勅 4】後拾遺集（廿巻） 撰進　應德三年（1746） 撰者　藤原通俊	高陽院歌合 大納言經信集 讃岐入道集（顯綱）	×俊頼無名抄（源 俊頼） 別名{俊秘抄　俊頼口傳　山木髓腦}	
崇德	1770–1800	【勅 5】金葉集（十巻） 撰進　大治二年（1787） 撰者　源 俊頼	1787 散木奇歌集（源俊頼）	1781×綺語抄（藤原仲實） 悦目抄（傳 基俊）	1787 金葉集　巻十雑下〔連歌部〕 1787 散木奇歌集　巻十雑下〔連歌部〕
近衛	1800–1830	【勅 6】詞花集（十巻） 撰進　仁平元年（1811） 撰者　藤原顯輔	藤原基俊家集 故刑部卿集（平忠盛） 續詞花集（藤原清輔撰） 萬載和歌集（藤原家良撰）	×奥儀抄（藤原清輔） 和歌初學抄（同上） 袋草紙（同上） 和歌童蒙抄（藤原範兼）	
後鳥羽	1830–1851	【勅 7】千載集（廿巻） 撰進　文治四年（1848） 撰者　藤原俊成	清輔朝臣集　源三位頼政集 前大納言實國卿集　平忠度集 ○山家集（西行法師）	袖中抄（僧 顯昭） 建久年中（1850—58）和歌色葉集（上覺上人）	

時代	天皇	皇紀	現存物語	散逸物語	備考	佛教説話
平安	桓武	1451				
		1470			枕—枕草子 源—源氏物語 更—更級日記 狹—狹衣物語 濱—濱松中納言物語	日本現報善惡靈異記（三卷） 弘仁頃（1470—1483） 僧　景戒
		1500				
	清和					
	陽成	1530				
	光孝					
	宇多					
	醍醐		竹取物語（一卷） 貞觀—延喜（1519—1582）			
		1560	伊勢物語（二卷） 元慶年中（1537—1544）			
		1590				
	朱雀					
	村上		大和物語（二卷） 天曆年中（1607—1616）			
		1620				
	冷泉		宇津保物語（卅卷） 安和—長保（1628—1663） 落窪物語（三卷） 安和—長保（1628—1663）			
	一條	1650				

散逸物語

梅壺少將物語（枕）	交野の少將物語（枕・源）
埋木物語（〃）	狛野物語（〃 〃）
國ゆづり物語（〃）	住吉物語（〃 〃）
道心すゝむる物語（〃）	正三位物語（源）
月待女物語（〃）	かともり（源）
殿うつり物語（〃）	はこやのとじ物語（源）
ひとめ物語（〃）	せり川物語（源・更）
松が枝物語（〃）	

時代	天皇	年	現存物語	散逸物語		雑纂	
時	一條	1651	源氏物語 (五四卷) 長保——寛弘 (1659——1671) 紫式部	みづからくゆる物語 (狹) あしびたくや物語 (〃) 大津の王子物語 (〃) かはほり物語 (〃) かくれみの物語 (〃)	たまのを物語 (狹) 袖ぬらす物語 (〃) ふせご物語 (〃) おほゐ物語 (狹・濱) からくに物語 (〃 〃)		
		1680					
	後冷泉		狹衣物語 (八卷) 永承年中 (1706——1712) 著者異說アリ 1. 大貳三位 2. 丹後の局 3. 禖子内親王宣旨				
		1710	夜半の寢覺物語 (五卷 現存一卷) 天喜年中 (1713——1717) 菅原孝標女				
			濱松中納言物語 (四卷) 康平年中 (1718——1724) 菅原孝標女？				
		1740					
	堀河		堤中納言物語 寛治年中 (1747——1753)	あさうづ物語 (更) しらら物語 (〃) かはねたづぬる宮物語 (〃) こほきみ物語 (〃)		今昔物語 (卅一卷) 康平——寛治 (1718——1747) 源隆國？	〔江談抄 (五卷)〕 内容 第一 佛神事 / 第二 雜事 / 第三 雜事 / 第四 詩事 / 第五 詩事 / 第六 長句事 治曆——天永 (1725—1770) 大江匡房
	鳥羽	1770					
	崇德						
代	近衛	1800	とりかへばや物語 (四卷) 古本 (源氏・濱松ヨリ後鎌倉以前) 今本 (鎌倉初期ニ改作サレタル物)				
		1830					
	後鳥羽	1851					

時代	天皇	年	歴史物語	軍記物語
平安時代	桓武	1454		
	白河 鳥羽		榮華物語〔一名　世繼物語〕（四十卷） 上篇　萬壽五〔長元元〕—長元七（1688—1694） 下篇　寛治六————嘉承二（1752—1767）	
			大鏡〔一名　世繼物語〕（八　卷） 榮華物語ヨリ稍後	
	崇德 高倉 後鳥羽	1851	今鏡〔一名 小鏡・續世繼〕（十　卷） 嘉應二年（1830） 源　通　親？	
鎌倉時代			水鏡（三　卷） 久安—建久六（1805—1855） 中山忠親	保元物語（三　卷）
			彌世繼（二卷）（佚亡） 藤原隆信	平治物語（三　卷）
			秋津島物語（一卷？） 建保六年（1878）	平家物語（流布本十二卷） 建仁—承久（1861—1881）
				源平盛衰記（四八卷）
	後醍醐 （光嚴）	1996		

時代	天皇	年	歴史物語	軍記物語	軍談
吉野時代	吉(光明) 後村上	1997	増鏡 元弘三—永和二 (1992—2036)	太平記 (四十卷) 貞治—應安 (2022—2034) 小島法師	
			吉野拾遺 (二卷) 正平十三年 (2018) 松翁 (侍従吉房)	義經記 (八卷)	
室町時代				曾我物語 (十二卷)	
	後水尾		信長記 (十五卷) 天正十五年 (2247) 太田資房		
江戸時代		2262			
	明正		豐鏡 (四卷) 寛永八年 (2291) 竹中重門		太閤記 (廿卷) 元和三年 (2277) 作 萬治四年 (2321) 刊 小瀬甫庵
	桃園		藩翰譜 (十三卷 廿册) 元祿十四年 (2361) 新井白石		通俗武王軍談 (五卷)
	後桃園		池の藻屑 (十四卷) 明和八年 (2431) 荒木田麗女		通俗漢楚軍談 (十五卷) 元祿三年 (2350) 夢梅軒章峯 (七卷迄)
			月の行方 (二卷 三册) 安永八年 (2439) 荒木田麗女		通俗三國志 (十五卷) 天明五年 (2445) 湖南文山
					繪本漢楚軍談 (十卷) 享和元年 (2461) 瀧澤馬琴
	孝明	2526			甲越軍記 文化四年 (2767)

平安時代（桓武 1454 — 1851）：村上、圓融、一條、後冷泉、鳥羽

鎌倉（1852 — 2051）：土御門、四條、後深草、伏見、花園

吉野時代：後村上、後龜山

日記

年	書名	作者
1622頃	高光日記〔一名・多武峯少將物語〕	藤原高光
1634	蜻蛉日記	右大將道綱母
1664	和泉式部日記	和泉式部
1670	紫式部日記	紫式部
1718	更級日記	菅原孝標女
1768	讃岐典侍日記	讃岐典侍
1861—1868頃	家長日記	源家長
1840—1895	〔明月記〕〔漢文〕	藤原定家
1912	辨内侍日記	藤原信實女
1952	中務内侍日記	藤原永經女

紀行

年	書名	作者
1596	土佐日記	紀貫之
1605頃	熊野紀行	釋增基
1870頃	伊勢記	鴨長明
1883頃	海道記	源光行？
1902	東關紀行	源親行？
1918	南海流浪記	僧道範
1936	うたゝねの記	阿佛尼
1940	十六夜日記	阿佛尼
1973	熊野行幸日記	後宇多院
2010—2011	都のつと	僧宗久
2013	小島の口ずさみ	二條良基
2024	住吉詣記	足利義詮
	道ゆきぶり	今川了俊
2024	十樂庵の記	僧頓阿

隨筆

年	書名	作者
1650頃	枕草子	淸少納言
1876頃	方丈記	鴨長明
1955頃	野守鏡	源有房
1990—2000？	徒然草	僧兼好
2044頃	高野日記	僧頓阿

評論〔歌論・藝術論・史論〕

年	書名	作者
1470	文鏡祕府論	僧空海
1599	作文大體	作者未詳
1701	新撰髓腦	藤原公任
	悅目抄	藤原基俊？
1837頃	奥儀抄	藤原淸輔
同	袋草子	同上
	袖中抄	僧顯昭
1861	古來風體抄	藤原俊成
1880	愚管抄	僧慈鎭？
1893	教訓抄	狛宿禰近眞
	糸管抄	守覺法親王
1899	後鳥羽院御口傳	後鳥羽院
1901頃	詠歌大概	藤原定家
1902頃	八雲御抄	順德院
1935頃	詠歌一體〔八雲口傳〕	冷泉爲家
	無名草子〔一部分〕	作者未詳
2003	神皇正統記	北畠親房
2023	愚問賢註	二條良基
2031	筑波問答	二條良基

室		2052				2078 花傳書（世阿彌）
				2078 なぐさめ草（僧　正徹）		世子六十以後
						2082 申樂談儀（世阿彌　秦元能聞書）
						2083 能作書（世阿彌）
	後花園			2093 伊勢紀行（僧　堯孝）		2090 正徹物語（僧　正徹）〔徹書記物語〕
		2100				
				2125 善光寺紀行（僧　堯惠）	2110頃 文明一統記（一條兼良）	
				2133 正廣日記（僧　正廣）	2110頃 小夜の寢覺（同　上）	
町				藤川記（一條兼良）	2139頃 樵談治要（同　上）	
				2140 筑紫道の記（僧　宗祇）	2141頃 東齋隨筆（同　上）	
				〃 平安紀行（太田道灌）		
				2145 北國紀行（僧　堯惠）		
				2146 廻國雜記（道興准后）		
				2147 富士歷覽記（飛鳥井雅康）		
		2150				
				2169 東路のつと（柴屋軒宗長）		
時	後柏原			2182 宗長手記（同　上）		
				2184 高野山參詣記（逍遙院實隆）		
				2191 宗長日記（柴屋軒宗長）		
				2193 東の道の記（僧　尊海）		
		2200				
				2205頃 東國紀行（宗　牧）		
				2206 武藏野紀行（北條氏康）		
代				2213 吉野詣記（稱名院公條）		
				2214 三塔巡禮記（同　上）		
				2227 富士見道記（里村紹巴）		
	正親町			2247 九州道の記（細川幽齋）		
	後陽成	2250				
				2252 蒲生氏郷紀行（蒲生氏郷）		
				2256 玄與日記（黑齋玄與）		
		2262				

時代	天皇	年	國史〔正史〕	〔雜史〕	記錄
平安	桓武・平城・嵯峨	1454	【六2】續日本紀（四十卷）延暦十六年（1457）初撰 藤原繼繩・菅野眞道・秋篠安人 再撰 菅野眞道・秋篠安人 中科巨都雄	古語拾遺 大同二年（1467）齋部廣成；新撰姓氏錄 弘仁六年（1475）萬多親王・藤原冬嗣；弘仁格式 弘仁十一年（1480）藤原冬嗣等；新撰格式 天長七年（1490）；令義解 天長十年（1493）清原夏野等	
	淳和・仁明	1470	【六3】日本後紀（四十卷）現存十卷 承和七年（1500）藤原冬嗣・緒嗣・良房等		
	清和	1500	【六4】續日本後紀（廿卷）貞觀十一年（1529）藤原良房・春澄善繩	貞觀格 貞觀十一年（1529）藤原氏宗	
	陽成・宇多	1520	【六5】文德實錄（十卷）元慶二年（1538）菅原是善・大江音人 都良香・島田良臣	貞觀式 貞觀十三年（1531）藤原氏宗；類聚國史（二百卷）寛平四年（1552）菅原道眞	
	醍醐	1560	【六6】三代實錄（五十卷）延喜元年（1561）藤原時平・大藏善行	延喜格（十卷）延喜元年（1561）藤原時平等；風土記〔再進ノ勅〕延長三年（1585）；延喜式 延長五年（1587）藤原忠平	
	朱雀	1590			將門記 天慶三年（1600）
	村上	1620		新國史〔續三代實錄〕天德元年（1617）藤原實頼	李部王記 天暦八年頃（1614）重明親王
		1650			

一四五七年續日本紀成　三代實錄 1518 ― 一三〇年間 ― 1547 一五六一年成　百錬抄 1608

文德實錄 1510 ― 1518 一五三八年成　李部王記 1586 ― 二七年間 ― 1612 一六一四年頃成

續日本後紀 1493 ― 1510 一五二九年成　本朝世紀 1595 ― 二一九年間

四二年間 1493 一五〇〇年日本後紀成　九記 1597 ― 二四年間 ― 1620

〔類聚國史〕 1547 一五五二年成　將門記 1594 ― 1600

〔帝王編年記〕

〔神皇正統記〕

〔大日本史〕

〔日本紀略〕

〔元亨釋書〕

〔扶桑略記〕

〔愚管抄〕

〔本朝通鑑〕

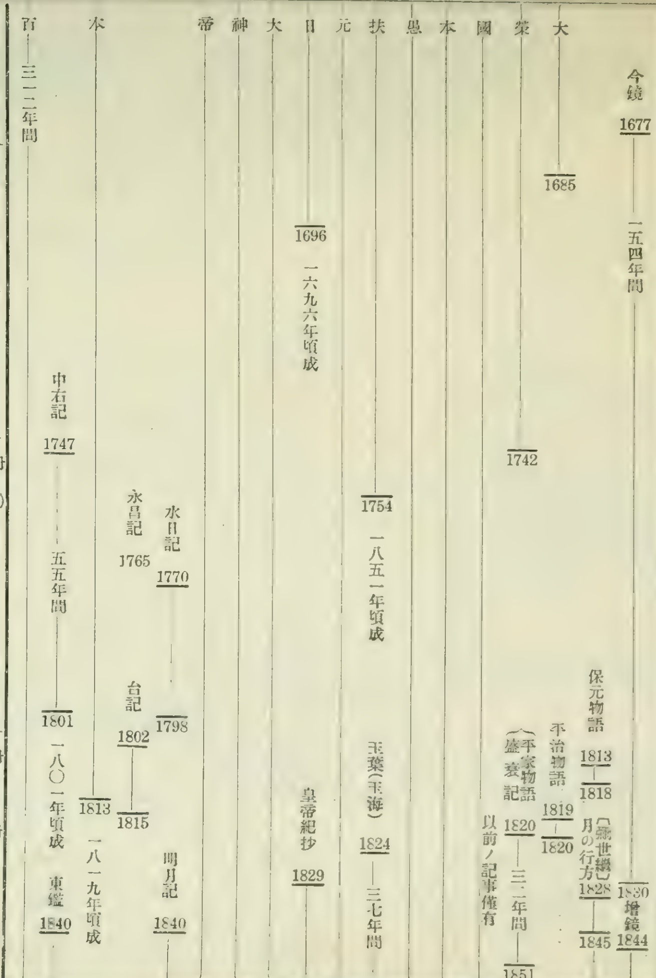
〔國史實錄〕

榮華物語 1548 ― 一九五年間

大鏡 1510 ― 一七六年間

〔水鏡〕 1510 ― 一八〇五 ― 一八五五年成

時代		年		正史・雑史	記録
時		1651			
		1680			
	朱雀			日本紀略（十四卷） 長元九年（1696）頃	
		1710			
		1740			1747—1801 中右記　寫本百九册 寛治元年—永治元年 藤原宗忠（中御門右大臣）
					1770—1798 水日記 天永元年—保延四年 源　師時
		1770			
代	崇德				
	近衛	1800			1802—1815 台記　寫本十四册 天永元年—久壽二年 藤原頼長
				本朝世紀　寫本廿四册或十七册 平治元年（1819） 藤原通憲	1824—1860 玉葉　祕閣本六八册 長寛二年—正治二年 九條兼實
	二條	1830			
				扶桑略記（三十卷） 建久二年（1851） 阿闍梨皇圓	1840—1895 明月記（九六卷）（群書一覽） 治承四年—嘉禎元年 藤原定家
	後鳥羽	1851			



時代	天皇	年代	〔神社、教派〕	〔祭祀、制度沿革、其他〕	〔寺院、宗派〕	〔名僧、傳道事蹟〕	〔典籍〕
平安	桓武 平城	1470	1454 桓武天皇平野神社創建	1468 平城天皇平安宮ニ始テ大嘗祭ヲ行ハセラル	1465 天台宗 最澄歸朝天台宗ヲ傳フ 1466 眞言宗 空海歸朝眞言宗ヲ傳フ	1464 最澄・空海入唐	1457 三教指歸三卷(空海撰) 1461 末法燈明記一卷(最澄撰) 1466 中觀論疏記廿卷(最澄撰)
	嵯峨 淳和	1500	1475 山王一實神道 所依典(耀天記・山家要略記) 最澄山王大權現(日吉神) 本地垂迹ヲ唱フ 1476 兩部神道 所依典(麗氣記・兩部神道二圖) 空海丹生都姫ノ神託(金剛峯寺) 本地垂迹ヲ唱フ	1480 弘仁式制度 1490 天皇新嘗祭ヲ始メラル	1476 空海高野山金剛峯寺建立 1483 嵯峨天皇空海ニ東寺ヲ賜フ	1482 最澄寂 1484 宮中眞言院ニ御修法修行(御修法ノ始) 1485 空海寂	1480 顯戒論三卷(最澄撰) 1482 祕密曼荼羅十住心論十卷(空海撰) ? 顯密二教論二卷(空海撰)
	清和	1530	1519 清和天皇僧行教ノ奏請ニヨリ男山ニ宇佐八幡ヲ勸請ス 1521? 藤原山蔭吉田神社創建 1525 甲斐ニ淺間神社創建	1511 天下ノ諸神ヲ正六位以上ニ敍ス		1507 慧運・圓仁歸朝 1518 圓珍歸朝	1520 顯揚大戒論八卷(圓仁撰)
	陽成 宇多	1560	1536 僧圓如祇園神社創建	1531 貞觀式制定 1549 加茂臨時祭ヲ始ム	1539 圓覺寺建立 1547 仁和寺建立 1560? 天皇勸修寺勅願建立・承俊(眞言)住	1559 宇多上皇落飾	1531 大日經指歸一卷(圓珍撰) 1540 悉曇藏八卷(安然撰) 1541 一切經闕本百餘卷唐人李達圓珍ニ贈ル 1545 菩提心義十卷(安然撰)
	醍醐	1590	1563 味岡安行太宰府天神創建 1581 醍醐天皇筥崎宮創建	1587 延喜式制定	1563 仁和寺門跡(御室宮・眞言宗) 宇多法皇仁和寺入御 ? 山伏ノ起原 東大寺聖寶・大峯ヲ再開シ先達人峯ス 1566 聖寶醍醐寺建立(眞言修驗道々場トナル) 1570 信貴山毘沙門堂建立		1563 天皇宸筆法華經ヲ勸修寺ニ覆ス
	村上	1620	1607 多治比奇子北野神社創建	1599 諸社ニ天慶亂ノ平定ヲ祈ル 1607? 内宮・外宮ノ對稱見ユ	**淨土思想ノ興起** 空也・源信(天台僧)元杲・深覺(眞言僧)等淨土往生ヲ勸ム 1598 空也念佛 空也上人入京シテ念佛ヲ唱導ス 1602 武藏ニ淺草寺建立		
	圓融	1650			1639 山・寺二門ノ分裂抗爭 山(叡山・圓仁門流) 寺(園城寺・圓珍門流) 餘慶圓珍門徒千餘人ヲ率ヰ園城寺ニ入ル	1631 空也上人寂	1665 往生要集六卷(源信撰)

時代	天皇	年	神道（神社・教派）	神道（祭祀・制度沿革）	佛教（寺院・宗派）	佛教（名僧・傳道事蹟）	佛教（典籍）
時代	一條	1651		1662 内侍所ニ神樂ヲ奏ス（内侍所神樂ノ始）	1665 藤原道長淨明寺建立	1666 興福寺僧徒源頼親ヲ强訴	1665 大乘對倶舍抄 十四卷（源信撰）
	三條	1680		1665 神宮ニ宸筆宣命ヲ奉リ内裏炎上ヲ告グ（宸筆宣命ノ始）	1679 道長法成寺建立	1677 源信寂	1666 一乘要訣三卷（源信撰）
	後三條	1710	1696 **卜部神道ノ唱導** 卜部兼延神道ヲ鼓吹ス 名法要集 一卷（兼延撰）				
	後冷泉	1740	1723 源頼義由比濱ニ八幡宮ヲ勧請ス		1712 頼通宇治平等院ヲ廢ス	1722 良忍尾張ニ生ル	1733 大藏經（宋主・在宋僧成尋ニ贈ル）
	堀河				1747 **大乘院門跡**（飛鳥御殿・法相宗） 隆禪門跡ニ補セラル **舊宗教ノ弊害極ニ達ス**	1755 山徒神輿ヲ奉ジ入京强訴	1754 東域傳燈目錄 一卷（永超撰）
	鳥羽	1770			1769 良忍大原ニ来迎院建立	1756 白河上皇落餝	
	崇德				1775 **三寶院門跡**（眞言宗） 勝覺門跡ニ補セラル 1784 **融通念佛宗** 良忍融通念佛宗ヲ開ク 1786 平泉ニ中尊寺建立 1790 覺鑁・高野ニ傳法院建立（後根來ニ移ル） 金剛峯寺ノ古義ニ對シ新義眞言ヲ創唱	1772 良忍寂 1773 源空美作ニ生ル	
	近衛	1800					
	二條		1820 二條天皇東山ニ新熊野・新日吉兩社創建		**佛教ノ革新ト淨土教ノ隆盛**	1801 榮西備中ニ生ル 1828 榮西入宋	1812 因明入正理論疏抄 四 一卷（藏俊撰）
	高倉	1830	1840 源頼朝鶴岡八幡宮ヲ鎌倉ニ遷ス	1840 陰陽道ノ祭法行ハル（平兼盛追討祈願）	1835 **淨土宗** 源空（法然）淨土宗ヲ開ク 1837 圓融院門跡（梶井宮・天台宗） 最雲法親王御入室 1840 青蓮院門跡（天台宗）覺快法親王御入室	1832 清盛福原ニ法華道場建立 1833 親鸞京都ニ生ル	
代	後鳥羽	1851	1844 後白河上皇粟田宮ヲ創建シ崇德院ヲ勧請ス	? 一宮・總社ノ制始マル	1851 **臨濟宗** 榮西歸朝・臨濟宗ヲ傳フ	1847 源頼朝善光寺ヲ修造	

平安 (淳和・仁明・醍醐・村上・一條)

1454 / 1470 / 1500 / 1530 / 1560 / 1590 / 1620 / 1650

〔支那〕

時代	(作品)	(筆者)
唐時代	龍城刻石 (元和元 1477)	行〔柳宗元〕陝西
唐時代	平西王神道碑 (太和三 1489)	楷〔柳公權〕陝西
唐時代	玄祕塔碑 (會昌元 1501)	楷〔柳公權〕陝西
五代	神仙起居位	草〔楊凝式〕
五代	韭花帖	行〔楊凝式〕
宋	澄清堂帖	〔徐鉉撰〕

〔唐様〕

(作品)	(筆者)	(所藏者)
三十帖册子	〔空海〕(1459)	仁和寺
灌頂記	〔空海〕(1472)	神護寺
風信帖	〔空海〕(1472)	護國寺
天台法華宗年分學生式	〔最澄〕(1479)	比叡山
李嶠詩	〔嵯峨天皇〕	御物
伊都内親王願文	〔橘逸勢〕(1493)	御物
山門切	〔傳小野篁〕	
百錬鏡	〔傳菅原道眞〕	益田孝
讃岐切	〔傳菅原道眞〕	
智證大師賜號勅書	〔道風〕(1588)	高松宮
屛風土代	〔道風〕(1589)	御物
玉泉帖 (一名・白詩帖)	〔道風〕	
靈岸帖	〔傳道風〕	御物
詩懐紙	〔藤原佐理〕	松平伯爵
本能寺切	〔藤原行成〕(1646)	本能寺

和様

(作品)	(筆者)	(所藏者)
高野切	〔傳貫之〕	古今集 卷五・實富太郎 / 卷八・毛利侯爵 / 卷廿・山内侯爵 / 其他諸家分藏
寸松庵色紙	〔傳貫之〕	田中親美複製
桂宮萬葉集切	〔傳貫之〕	御物
秋萩歌卷	〔傳道風〕	高松宮
繼色紙	〔傳道風〕	田中親美複製
栂尾切	〔傳源順〕	御物

〔金石文〕

(作品)	(筆者)	(所在)
南圓堂銅燈臺銘	〔逸勢〕(1476)	興福寺
叡山西塔寶幢院鐘銘	(1518)	山城
神護寺鐘銘	〔藤原敏行〕(1535)	山城
道澄寺鐘銘	〔道風〕(1577)	榮山寺
金胎寺八萬四千塔	(1615)	山城
波上社朝鮮鐘銘	(1616)	琉球
照蓮寺朝鮮鐘銘	(1623)	安藝

一條 後一條	1651	淳化閣帖 〔王著撰〕 絳帖 〔潘思旦撰〕	龍華樹院板額〔傳行成〕(1677)御物 白樂天詩卷〔行成〕(1678)高松宮	御藏切〔傳小大君〕 御堂關白記〔道長〕1664近衛公爵 久海切〔紫式部〕福岡子爵 太田切〔傳公任〕岩崎家 倭漢朗詠集〔傳公任〕股野家	三佛寺鏡 (1657)伯耆 金峰神社經筒 (1667)御物 王祐寺朝鮮鐘 (1679)攝津
	1680	潭帖 (慶曆八 1708)		古今集切〔傳行成〕 倭漢朗詠集〔傳行成〕御物 大江切〔傳藤原定頼〕 烏丸切〔傳定頼〕	大山寺經筒 (1686)阿波 鰐淵寺鏡 (1686)出雲
白河	1710	洛陽橋碑 楷〔蔡襄〕 蔡忠惠帖 楷〔同上〕 萬安橋碑 楷〔同上〕	鳳凰堂扉題字〔傳源俊房〕平等院	朗詠集切〔傳藤原行經〕 御堂關白記〔藤原頼通〕 北山抄〔傳伊房〕(1736)前田侯爵	
	1740	赤壁賦 (元豐六 1743) 行〔蘇東坡〕 景蘇園帖 行〔同上〕 白雲居米帖 〔米芾〕 伏波神祠 楷〔黄山谷〕	詩文〔源頼政〕(1745)近衛公爵	柏木切〔傳藤原忠家〕 仁和寺切〔傳忠家〕福井氏 端白切〔傳大弐三位〕	
鳥羽	1770	戲魚堂帖 (元祐年間) 〔劉次莊〕 祕閣續帖 (元祐年間) 大觀帖 (大觀三 1769)		多賀切〔藤原基俊〕(1776)近衛公爵 歌合切〔傳藤原俊忠〕 東大寺切〔傳俊頼〕(1781) (一名・三宝絵詞) 三十六人集 本願寺 住吉歌合〔傳西行〕(1788頃)	
崇徳 近衛	1800		白樂天詩卷奥書〔藤原定信〕 屏風土代奥書〔同上〕	和漢朗詠集斷簡〔藤原定信〕石川氏 和漢朗詠集〔藤原伊行〕(1820)原氏 元暦萬葉集〔傳伊行〕古河家 鶉切〔傳藤原頼輔〕 消息〔藤原忠通〕近衛公爵	國魂社銅版經 (1801)豐前 立石寺經碑 (1804)羽前 廣隆寺鐘銘 (1810)京都 徳照寺鐘銘 (1824)攝津
二條 後鳥羽	1830 1851		一品經緣起〔榮西〕(1838)大泉坊	古今和歌集〔傳藤原清輔〕前田公爵 一品經和歌〔西行〕福井氏	佛土寺佛銘 (1832)伊賀 金剛證寺經筒 (1833)伊賀

時代	紀元 年號	摘要	佛畫【唐繪】壁畫・厨子繪 (作品名) (所藏者)	佛畫【唐繪】佛像畫・肖像畫・其他 (作品名) (作者) (所藏者)	佛畫【唐繪】曼荼羅類 (作品名) (所藏者)	鑑賞畫【大和繪】	主要作家 (人名) (年代)
平安 弘仁時代（貞觀）（一四六一―一五五〇）	1454 延曆 〃66 大同 〃70 弘仁 〃84 天長 〃94 承和 1508 嘉祥 ―― ―― 〃19 貞觀 〃37 元慶 〃45 仁和 〃49 寛平	○斯道ノ巨匠弘法大師 ○當代ノ特色森嚴沈鬱ノ表現ニ高野赤不動） ○入唐名僧ノ唐畫將來 ○裝飾的鑑賞畫ノ發生（大和繪ノ源流） ○專門畫家河成、金岡出ヅ ○密教ノ輸入ト密教美術ノ全盛	室生寺金堂壁畫 帝釋天曼荼羅 同 地藏菩薩光背佛畫 (奈良 室生寺)	眞言七祖像 (京都・敎王護國寺藏) 龍猛・龍智ノ二幅ハ空海筆、金剛智・不空・善無畏・一行・惠果ノ五幅ハ唐ノ李紳筆 勤操僧都像 傳空海筆 (高野山・普門院藏) 赤不動像 智證大師筆 (高野山・明王院藏) 黃不動像 畫僧空光筆 (原本 近江・園城寺藏) (模本 京都・曼殊院藏) 黃金剛童子像 智證大師筆 (近江・園城寺藏) 十二天像 傳空海筆 (奈良・西大寺藏) 多聞天像・蓮花屏風 (奈良・法隆寺藏) 二天王像 (奈良・興福寺藏) 不動像 傳巨勢金岡筆 (京都・知恩院藏)	兩界曼荼羅 高尾曼荼羅 天長年間・空海筆ト傳フ (京都高尾・神護寺藏) 子島曼荼羅 空海唐ヨリ將來・一條天皇之ヲ僧眞興ニ賜フト傳フ (奈良・子島寺藏)	【肖像畫・山水畫】 百濟河成 遺作傳ハラズ	僧最澄 (傳敎大師) 僧空海 (弘法大師) 承和二年歿・六二 僧勝道 弘仁頃 僧智泉 天長二年歿・三七 僧守敏 天長中 僧圓仁 貞觀歿・七八 僧實慧 承和十六歿・六二 僧空光 承和頃 百濟河成 仁壽三年歿・七二 僧圓珍 (智證大師) 寛平三年歿・七八 ◉巨勢派祖 巨勢金岡 延喜廿一歿・
藤原前期	―― 〃61 延喜 〃83 延長 〃91 承平 〃98 天慶 1607 天曆 〃17 天德 ―― ―― ―― 〃30 天祿 ―― ―― 〃38 天元	○當代ノ特色—纖致流麗、 ○佛畫ノ巨匠惠心僧都 賦彩豐麗、截金彩色 ○藤原式佛畫全盛 ○畫題ニ淨土圖、來迎圖多	醍醐五重塔初重壁畫 胎藏界曼荼羅 眞言八祖像等 (京都 醍醐寺)	閻魔天像 傳會理僧都筆 (京都・觀智院藏) 彌陀三尊來迎圖 三幅 (奈良・法華寺藏) 金棺出現圖 釋迦再生說法圖 (京都・長法寺藏) 十一面觀音像 (奈良・法起寺舊藏) (現東京・益田孝男藏) 孔雀明王像 (横濱・原氏藏) 聖衆來迎圖 惠心僧都筆 阿彌陀如來廿五菩薩來迎圖 (紀伊・高野山藏)	東大寺俱舍曼荼羅 (奈良・東大寺藏)	那智瀑布圖 傳金岡筆 (赤星氏舊藏) 山水屏風 六曲一双 傳弘法大師將來 通說ハ藤原後期ノ作 (京都・敎王護國寺) 高僧像 (天台祖師像) (兵庫・一乘寺)	會理律師 承平五歿・八四 飛鳥部常則 延喜・天曆頃 巨勢公望 惠心僧都 寛仁元歿・七六

時代	年表		(壁畫・廚子繪)	(佛像畫・肖像畫・其他)	(曼荼羅類)	(大和繪肖像畫・山水畫)	(主要作家)
時代 期 (一五五一—一七三〇)	1643 永觀 〃47 永延 〃50 正暦 〃64 寛弘 〃77 寛仁 〃88 長元 〃97 長暦 1700 長久 〃06 永承 〃13 天喜 〃29 延久 〃34 承保 〃37 承暦 〃44 應徳	(聖衆來迎圖ハ佛畫ノ最高峰) ク行ハル ○大和繪畫系ノ濫觴春日基光 ○佛畫ノ專門宅磨派確立(宅磨爲成)	×法成寺金堂壁畫 八相成道圖　兩界曼荼羅 天人奏樂圖　其他 ×法成寺阿彌陀堂扉繪 極樂淨土九品蓮台圖 (京都　舊法成寺現存セズ) 淨瑠璃寺吉祥天廚子扉繪　(東京　美術學校藏) 法界寺阿彌陀堂壁畫 十二光佛及梵畫　天人・樂器圖　十二天・菩薩坐像 (京都日野　法界寺) 鳳凰堂壁畫及扉繪 宅磨爲成筆 (京都宇治　平等院)	山越阿彌陀如來像　傳惠心僧都筆1654 (京都・金戒光明寺藏) 山越阿彌陀圖　傳惠心僧都筆 (京都・禪林寺藏) 不空三藏像　傳張思恭筆 (京都・高山寺藏) 普賢菩薩像　(東京帝室博物館) 閻魔天像　(横濱・原氏藏) 五大尊像　傳空海筆 (京都・醍醐寺藏) 涅槃圖　應徳三・1746 (紀州・金剛峯寺)		慈恩大師像 (奈良・藥師寺藏) 同銘ノ一幅興福寺ニ有	宅磨爲氏　永延頃 巨勢弘高　寛弘頃 ◉宅磨派 宅磨爲成　長暦・永承頃 ◉春日派祖 藤原基光　寛弘・寛仁頃或ハ應徳・康和頃ト云 教禪　承保二年歿・七三
藤原後期 (一七三一—一八五一) 〔平家時代〕	〃56 永長 〃59 康和 〃64 長治 〃66 嘉承 〃68 天仁 〃70 天永 〃80 保安 〃91 天承 〃95 保延 1801 永治 〃11 仁平 〃14 久壽 〃16 保元 〃19 平治 〃26 仁安 〃46 文治 〃50 建久 1851 建久二年	○當代ノ逸品源氏物語繪卷ト信貴山緣起、經卷口繪ノ神作平家納經 ○大和繪卷誕生—古土佐ノ活躍、國風藝術ノ完成 ○天衣無縫ノ鳥羽僧正、土佐三筆ノ一人藤原光長	富貴寺本堂壁畫 (大分　富貴寺)	普賢延命像　(京都・松尾寺藏) 孔雀明王像　傳張思恭筆 (京都・仁和寺藏) 釋迦如來像　(京都・神護寺藏) 五大明王像 十二天像　十二幅　京都・敎王護國寺) 閻魔天像　(京都・醍醐寺) 佛涅槃圖　(奈良・新藥師寺) 藥師十二神將像 (和歌山・櫻池院) 船中湧現觀音像 (和歌山・龍光院) 十六羅漢圖　(滋賀・來迎寺) 大般若經筥蓋表繪 (名古屋・七寺)	最勝王經曼荼羅 (中尊寺大長壽院藏) 寶樓閣曼荼羅 (神戸・川崎男爵藏) 高野山血曼荼羅 傳平清盛筆 (紀州・金剛峯寺藏)		珍海　仁平元年歿・六二 藤原隆能　天仁頃 鳥羽僧正(覺猷)　保延六歿・八八 藤原光長　文治五年歿

大和繪卷物	經卷口繪
〔春日派〕 藤原隆能 源氏物語繪卷 4 鳥羽僧正 鳥獸戲畫 4 志貴山緣起 3 藤原光長 ×年中行事繪 60 原本安永中燒失・住吉家模本十六卷現存 伴大納言繪詞 3 粉河寺緣起 1 (紀伊・粉河寺) 寺傳鳥羽僧正筆 通說光長作	久能寺經 6 (武藤山治・徳田孝男分藏) 中尊寺經卷 (岩手・中尊寺) 嚴島經卷　平家納經 33 (廣島・嚴島神社) 扇面古寫經 (大阪・四天王寺外數ヶ所ニ分散) 法華經冊子 2 (上野精一・前山久吉兩氏分藏) (鎌倉時代ハ繪卷欄ニ續ク)

(鎌倉時代大和繪欄へ續ク)

【備考】(3)大和繪欄ノ數字ハ卷數　(4)×ハ滅失現存セズ

平安時代　彫刻

時代・紀元・年號・摘要

平安時代　弘仁（貞觀）時代（一四五四――一五五〇）

紀元	年號
1454	延曆十三
〃66	大同
〃70	弘仁
〃84	天長
〃94	承和
1508	嘉祥
〃11	仁壽
〃19	貞觀
〃39	元慶
〃45	仁和
〃49	寬平

（摘要）
○前代佛像ノ白眉九面觀音
○當代特色―重厚、豐麗、神秘、像嚴
○前代ノ乾漆、塑像衰ヘ木彫全盛（一木彫・寄木式）
○神像ノ遺作始メテ現ル
○密教藝術ノ巨人空海
○密教ニヨル忿怒部行ハル
○石佛ノ遺品

藤原前期

紀元	年號
〃58	昌泰
〃61	延喜
〃83	延長
〃91	承平
〃98	天慶
1607	天曆
〃17	天德
〃30	天祿
〃38	天元

（摘要）
○當代佛像ノ特色―相好圓滿、表現高雅
○弘仁・貞觀ノ強剛遒勁サ一變シ、淨土信仰ニ
○鉈彫ノ好例寶城坊藥師三尊

佛像彫刻

所藏者	彫刻名	摘要
【檀像系刻佛像】		
京都・觀智院	五大虛空藏菩薩像	一木彫五軀、承和十四年、惠運唐ヨリ將來
奈良・室生寺	彌勒菩薩像	木彫、寺傳空海唐ヨリ將來
奈良・法隆寺	九面觀音像	一木彫・養老三年[illegible]將來
紀州・金剛峯寺	枕本尊（白檀刻小佛龕像）	傳空海將來
（以下本朝ノ製作ニ係ル佛像・凡テ木彫）		
京都・神護寺	藥師如來檣像	金堂本尊・天長前ノ像
奈良・橘寺	日羅（地藏尊）像	我國最古ノ地藏菩薩
唐招提寺金堂	大日如來坐像	寄木造・一部分乾漆最古ノ大日如來像
教王護國寺	不動明王像	傳空海作
東大寺開山堂	彌勒菩薩坐像	
奈良・法華寺	十一面觀音立像	寺傳、工人問答師光明皇后御影ヲ寫スト
紀州・金剛峯寺	×金剛薩埵・降三世明王像	弘仁十頃作 昭和元・燒失
廣隆寺講堂	阿彌陀如來坐像	講堂本尊・貞觀頃作 一木造・皮漆
河內・觀心寺	如意輪觀音坐像	本尊・天長承和頃作
室生寺金堂	釋迦如來立像	
奈良・元興寺	藥師如來立像	
近江・渡岸寺	十一面觀音像	
會津・中央藥師	藥師如來像	* ――→
京都・岩船寺	阿彌陀如來坐像	天慶九年 1606 頃作
奈良・新藥師寺	十一面觀音像	（通稱月光菩薩）
醍醐寺藥師堂	藥師如來坐像	會理律師作
興福寺東金堂	四天王像	頭髮天衣等ハ乾漆製
神奈川・寶城坊	藥師如來三尊像	鉈彫
奈良・興福寺	板彫十二神將像	
法隆寺大講堂	藥師三尊像	正曆二・1651
大阪・道明寺	十一面觀音像	傳菅原道眞作

神像及肖像彫刻

所藏者	彫刻名	摘要
【神像】		
滋賀・小津神社	宇迦乃御魂命坐像	
京都・松尾神社	男神女神像	三軀
三重・金剛證寺	雨寶童子立像	
奈良・藥師寺	僧形八幡神像	
同　同	神功皇后御像	
同　同	仲津姬命像	
滋賀・園城寺	新羅明神像	
【肖像】		
東大寺開山堂	良辨僧正像	
法隆寺夢殿	道詮律師坐像	（塑像）

→＊【石佛】

所藏者	彫刻名
栃木・大谷寺	石佛
大分縣臼杵	磨崖諸佛諸尊像
大分縣高瀨	五大尊窟
大分市元町	藥師如來坐像

【神像】

所藏者	彫刻名	摘要
京都 石淸水八幡宮	男神坐像・女神坐像	
滋賀 吉御子神社	木造吉彥命坐像	
滋賀 竹田神社	木造男神坐像	
德島 八鉾神社	大已貴命立像	
香川 水主神社	倭迹々日百襲姬命像	
滋賀 大島神社	木造神像	傳素盞嗚尊像

其他

主要彫刻家

人名	年代
傳教大師（最澄）	弘仁十三歿・五六
弘法大師（空海）	承和二歿・六二
智證大師（圓珍）	寬平三歿・七八
僧興運	
僧仁算	
會理律師	承平五歿・八四
僧延祚	天曆・天德頃
僧感世	應和頃

平安時代 彫刻

藤原時代

期（一五五一—一七五〇）

年表：1643 永観・〃45 寛和・〃47 永延・〃50 正暦・〃64 寛弘・〃77 寛仁・〃88 長元・1700 長久・〃06 永承・〃13 天喜・〃29 延久・〃34 承保・〃37 承暦・〃44 應徳

○建築彫刻擡頭
○當代ノ第一人者定朝ニヨル清朝ナ樣法—穩雅秀妙
○斯界ノ一大勢力、圓派、院派

（佛像彫刻）

京都・淨瑠璃寺	阿彌陀如來像	九軀・俗稱九品佛
同	護法四天王像	
同	吉祥天女像	
嵯峨・清涼寺	釋迦如來立像	本傳、永延二年唐ヨリ將來
平等院鳳凰堂	阿彌陀如來像	定朝作 1713 年成ル
日野・法界寺	阿彌陀如來像	定朝作ト傳フルモ、覺助又ハ長勢ノ作ナラント
大分・眞木大堂	阿彌陀如來像	
奈良・不退寺	五大明王像	五軀
法隆寺金堂	毘沙門天像・吉祥天像	承暦二年作

（神像肖像彫刻）

【肖像】

滋賀・園城寺	智證大師像	
法隆寺繪殿	聖徳太子像	圓快作 1729成

藤原後期（一七五一—一八五一）（平家時代）

年表：〃54 嘉保・〃56 永長・〃59 康和・〃66 嘉承・〃70 天永・〃80 保安・〃86 大治・〃91 天承・〃95 保延・1801 永治・〃11 仁平・〃14 久寿・〃19 平治・〃20 永暦・〃23 長寛・〃26 仁安・〃31 承安・〃35 治承・〃46 文治・〃50 建久・1851 建久二年

○動物彫刻、舞樂面彫刻行ハル
○彩色、截金）
○定朝式佛像ノ流行
○當代ノ特色—優美華麗、著シク裝飾的、耽溺
○玉眼嵌入ノ嚆矢（長岳寺阿彌陀）

（佛像彫刻）

醍醐寺藥師堂	閻魔天像・吉祥天像	大治年間作
福岡・觀世音寺	馬頭觀音像	大治年中成
京都・法金剛院	阿彌陀如來像	院覺作　大治五年
鳥取・大山寺	阿彌陀如來像	良圓作　天承元年成
滋賀・泉福寺	地藏菩薩半跏像	
京都・神童寺	愛染明王像	
大原・三千院	阿彌陀三尊像	
奈良・長岳寺	阿彌陀三尊像	玉眼嵌入最古ノ遺品　仁平元年成ル
高知・豐樂寺	藥師如來・釋迦如來・阿彌陀如來像	
滋賀・長命寺	千手觀音像	
愛知・七寺	阿彌陀如來像	
京都・峰定寺	千手觀音像	
岩手・中尊寺	一字金輪像	俗稱生膚ノ大日、雲慶作
白水阿彌陀堂	阿彌陀如來像	永暦元年頃作
大分・富貴寺	阿彌陀如來像	

（神像肖像彫刻）

法隆寺聖靈院	聖徳太子三十五歳御像	寺傳保安二年作
同上	山背大兄王・殖栗王・茨田王・惠慈法師肖像	
京都・聖護院	智證大師像	

【神像】

紀伊熊野速玉神社	夫須美神像	外五神像
紀伊阿須賀神社	速玉神坐像	外二神像

建築裝飾彫刻

- 京都宇治上神社本殿蟇股
- 鳳凰堂虹梁彫刻　寶相華唐草透彫（宇治平等院）

動物彫刻

- 木造飾馬 一軀（廣島・嚴島神社）
- 木造狛犬 一對（滋賀・大寶神社）
- 木造狛犬 一對（奈良・八幡神社）

舞樂面彫刻

- 舞樂面廿三面（奈良・手向山神社）
- 舞樂面九面　貴徳・散手・二舞・抜頭・採桑老・納曾利・陵王・還城樂（廣島・嚴島神社）承安三 1833 清盛寄進
- 納曾利・陵王 二面（大阪・四天王寺）

（主要作家）

僧康尚	長保・寛弘頃
◉七條佛所祖　法眼定朝	天喜五歿
◉三條佛所祖（圓派）法印長勢	寛治二歿・八二
僧覺空	寛仁頃
法眼覺助	康平頃
◉七條大宮佛所祖（院派）法眼院助	嘉承頃
法印院朝	
法眼院覺	天承頃
法印圓勢	寛治・大治頃
法印良圓	天承仁安頃
法印院尊	建久九歿・七九
法眼康慶	文治・建久頃

時代		摘要	金工 (作品名)　(所藏者)	陶工 (附) 玻璃工・七寶工 (作品名)　(所藏者)	漆工 (附) 螺鈿工 (作品名)　(所藏者)	染織工 (作品名)　(所藏者)	木工 (附) 石工・其他 (作品名)　(所藏者)
平安	弘仁時代 (一四五四—一五五〇)	○工藝遺品頗ル乏シ ○漆工初メテ精美ヲ顯ハス（平塵・末金鏤・平蒔繪） ○新都移轉ノ爲、工藝振ハズ ○專ラ唐朝美術ノ移植 ○密教佛具ノ秀作（嚴島神社藏品）	御物　金銅唐草文如意 銅燈籠　弘仁七年作（奈良　興福寺南圓堂） 金銅佛具　五箇　傳弘法大師將來品（廣島　嚴島神社藏）		水草蒔繪經唐櫃（金剛峯寺藏） 佛功德蒔繪經筥（伊勢　乾氏舊藏） 蒔繪法文册子筥　延喜十八年銘 蒔繪寶珠筥　傳宇多御物（以上　京都　仁和寺）		五獅子如意（玳瑁）（奈良　東大寺）
	藤原前	○染織工ノ一大變革（夜遊ノ宴ト夜會服ノ進歩） ○藤原氏ノ榮華ト貴族趣味 ○工藝ノ日本化（國風發揚）	銀裝革帶　一條　傳菅公遺物　延喜頃（大阪　土師神社） 榮山寺鐘　延喜十七年作　銘小野道風書　舊山城道澄寺鐘（奈良　榮山寺藏） <u>梵鐘</u>　日本三名鐘ノ一（滋賀　三井寺圓滿院）			寶珠文・七寶文倭錦（京都　仁和寺藏）	

時代	期		(金　工)	(陶　工)	(漆工螺鈿)	(染織工)	(木　工)
時	期 (一五五一——一七五〇)	○日本三名鐘（形ハ平等院、銘ハ神護寺、音ハ三井寺） ○當代美術ノ粹ヲ集メタ鳳凰堂	金銅經筒（滋賀　延暦寺藏） 唐草千鳥鏡 萩薄蝶鳥鏡（東京　高橋氏藏） 平等院鐘 日本三名鐘ノ一 鳳凰堂扉ノ金具 同　屋上銅鳳 （以上　宇治　平等院）		鳳凰堂佛壇及天蓋 （宇治　平等院）		鳳凰堂天蓋 （宇治　平等院）
代	藤原後期 (一七五一——一八五一)	○藤原朝最高ノ工藝、精巧華麗ノ極致（中尊寺金色堂） ○當代ノ特色裝釘（經卷ノ表裝、軸、見返） ○繪畫ノ工藝化（扇面寫經、摺佛）	金色堂裝飾金具 同須彌壇裝飾金具 經藏須彌壇裝飾 一字金輪寶冠透彫 華鬘・幡頭 （以上　岩手　中尊寺） 彌陀三尊光背及臺座 （福島　白水阿彌陀堂） 大日如來光背天人浮彫 （金剛峯寺大會堂） 阿彌陀如來光背透彫 （名古屋　七　寺） 阿彌陀如來光背及臺座 （京都　法金剛院） 平家納經卷裝飾金物及筐 （廣島　嚴島神社）		金色堂及須彌壇裝飾 螺鈿八角須彌壇 七寶莊嚴蒔柱 螺鈿燭臺・磬架及磬 （以上　岩手　中尊寺） 倶利伽羅龍蒔繪經筥 （奈良　當麻寺） 大般若經唐櫃 六基 安元二年 一切經唐櫃 卅基 治承二年 （以上　名古屋　七　寺） 松喰鶴蒔繪小唐櫃 二基 壽永二年頃 （廣島　嚴島神社） 梅蒔繪櫛筥 傳政子用 （伊豆　三島神社） 籬に菊蒔繪硯筥 （鎌倉　鶴岡八幡宮）		天蓋二面 （岩手　中尊寺）

時代	紀元	年號	摘要	神社建築 (社名)(所在)(美術)	佛寺建築 (寺名)(所在)(建築年代)(美術)	宮殿建築	邸宅建築
平安 弘仁時代 (一四五一—一五五〇)	1454	延暦十三年	○史上空前ノ一大都市計畫事業（平安京經營） ○代表的伽藍—延暦寺ト金剛峯寺 ○山地伽藍建築ノ隆盛 ○邸宅建築般達（寝殿造出現） ○當代唯一ノ遺構—室生寺金堂及五重塔	【春日造】△<u>春日神社社殿</u> 奈良 和銅二年創 神護景雲二年現在地移建 文久二年改築現存 〔大和〕〔江戸〕參照 【彫】	【密教建築】△<u>延暦寺</u> 滋賀 延暦七・創建1448(繪)【彫】〔江戸參照〕(書)	△平安京經營 延暦廿四・完成 宮城（朝堂院 豐樂院 紫宸殿 清涼殿）	【寝殿造】×亭子院（亭子院・東七條宮）宇多帝中宮溫子第
	1466	大同		△大原野神社 京都 桓武帝遷都後創建 現存社殿ハ慶安中建築	△東寺（敎王護國寺） 京都 延暦十五・建1456(繪)【彫】〔桃山參照〕(書)	×朱雀院（四條後院） 嵯峨皇太后・宇多・朱雀兩太上天皇御所	×<u>閑院</u>（後ノ閑院內裏） 藤原冬嗣第
	1470	弘仁		【流造】△<u>加茂御祖神社</u> 京都 創建年代不詳 白鳳六年改造 文久三年改築現存 〔江戸〕參照	△鞍馬寺 京都 寶龜元年開基 延暦年中堂宇建立【彫】	×冷然院弘仁亭 弘仁中御造營 嵯峨・冷泉兩上皇仙洞	×染殿（後ノ盛壁寺） 藤原良房第
	1484	天長		【八幡造】△<u>宇佐八幡宮本社殿</u> 大分 第一殿神龜二創建 第二殿天平元創建 第三殿弘仁十一創建 〔江戸〕參照	△清水寺 京都 寶龜九草創、延暦十二伽藍造營、大同元清水寺ト改稱 1466	×嵯峨院（後ノ大覺寺） 嵯峨天皇離宮	×<u>堀河院</u> 藤原基經第
	1494	承和		△八坂神社 京都 貞觀十八・創建1536 モト祇園社ト稱シ感神院ト號ス 〔江戸〕參照	△<u>金剛峯寺</u> 和歌山 弘仁七・創1476(繪)【書】弘仁十・伽藍竣工〔工〕	×雲林院 淳和天皇離宮	×九條殿 同上
	1508	嘉祥			<u>室生寺金堂</u> <u>同五重塔</u> 奈良 白鳳中創、寶龜中開基天長元・空海再興（壁畫）【彫】	×淳和院 淳和上皇仙洞	×<u>河原院</u> 左大臣源融第
	1514	齊衡			△天安寺（法金剛院） 京都 天安二 1518	×河陽宮 初メ嵯峨帝離宮、後皇弟河陽親王ニ傳リ更ニ河陽大納言ニ賜ヲ	×栖霞館（後ノ栖霞寺） 源融山莊
	1517	天安			△醍醐寺 京都 貞觀十六・創建（繪）		×<u>宇治院</u>（後ノ平等院） 源融山莊
	1519	貞觀			△大覺寺 京都 貞觀十八・創建		
	1527	元慶			△仁和寺 京都 仁和二・創建1546 〔本堂〕天正造營紫宸殿ヲ寛永十四年御下賜 〔御影堂〕天正造營清涼殿ヲ寛永十一年御下賜		
	1545	仁和					
	1549	寛平					
藤原	1561	延喜	○當代ノ特色—阿彌陀堂建築（唐風ノ日本化、纖麗優雅） ○神社建築様式ノ諸派大成	【日吉造】△<u>日吉神社</u> 滋賀 傳延暦初最澄建立 神社草創ハ崇神天皇御代 天正十四年改築現存 〔桃山〕參照		【里內裏】×堀河院 圓融・花山・堀河三帝御所	
	1583	延長					
	1598	天慶					
	1607	天暦		△北野神社 京都 天暦元年創建1607〔桃山〕參照（繪）	【阿彌陀堂建築】<u>醍醐寺五重塔</u> 京都 天暦五 1611 ※天暦六 1612	×三條院 圓融帝御所	
	1617	天徳					
	1620	天祿		【王子造】△<u>熊野神社</u> 紀伊 創建年代・建築年代未詳	三千院本堂（往生極樂院） 京都 寛和元 1645	×一條院 一條・三條・後一條・後朱雀・後冷泉五帝御所	

時代（約四百年間）

前期（一五五一—一七五〇）

年	年號
1643	永觀
1645	寛和
1647	永延
1650	正暦
1672	長和
1677	寛仁
1700	長久
1706	永承
1713	天喜
1718	康平
1734	承保
1737	承暦
1741	永保

○當代遺構中ノ双絶——鳳凰堂ト金色堂

○京都ニ六勝寺出現

藤原後期（一七五一—一八五一）

年	年號
1747	寛治
1759	康和
1768	天仁
1773	永久
1778	元永
1784	天治
1786	大治
1795	保延
1801	永治
1804	天養
1805	久安
1811	仁平
1816	保元
1819	平治
1820	永暦
1826	仁安
1831	承安
1837	治承
1846	文治
1850	建久
1851	建久二年

平家時代

○宮廷建築盛ンニ行ハル——里内裏ト仙洞御所

（神社建築）

前期

宇治上神社本殿 【彫】
京都　天喜頃建　現存神社建築最古ノモノ

△鶴岡八幡宮 【彫】
鎌倉　康平六　1723

後期

【比翼春日造】

△平野神社
京都　延暦中創建、社殿ガ比翼春日造トナリシ年代未詳　現存社殿ハ寛永中再建

△嚴島神社 （繪）【彫】
廣島　推古帝御宇創建【工】
安二・清盛再建　1827
〔鎌倉室町〕參照

春日神社南門及廻廊
奈良　治承三・建　1839

春日若宮神樂殿
奈良　治承年間建

（佛寺建築）

前期

名稱	所在	年代	皇紀	備考
法隆寺大講堂	奈良	正暦元・京ヨリ移建		【彫】
同　西院鐘樓	奈良	正暦元・建	1650	
×法成寺	京都	治安二・金堂成ル　竣工後三八年ニ燒失		
淨瑠璃寺（九體寺）	京都	天平十五・創建　永承二・再建現存	1707	【彫】
法界寺阿彌陀堂	京都	永承六・創建　※永承元年頃	1711	（壁畫）【彫】
平等院鳳凰堂	京都	天喜元・建	1713	（壁畫）【彫】【工】

【六勝寺】

名稱	所在	年代	皇紀	備考
×法勝寺	京都	承暦元・※承保二		
×同　八角九重塔	同	永保三	1743	
石山寺本堂	滋賀	承暦三	1739	（繪）

後期

名稱	所在	年代	皇紀	備考
×尊勝寺	京都	康和四	1762	
×最勝寺	京都	元永元	1778	
中尊寺金色堂	岩手	天治元　※天仁二	1784　1769	（壁畫）【彫】【工】
×圓勝寺	京都	大治三	1788	
×成勝寺	京都	保延五	1799	
×延勝寺	京都	久安五	1809	
豐樂寺藥師堂	高知	仁平元	1811	【彫】
白水阿彌陀堂	福島	永暦元	1820	【彫】
三佛寺投入堂　同　納經堂	鳥取	年代不明		
富貴寺本堂	大分	年代不明		（壁畫）
鶴林寺太子堂　同　常行堂	兵庫	年代不明		
△知恩院	京都	承安五・創	1835	（繪）
高藏寺阿彌陀堂	宮城	治承二	1838	

（宮殿建築）

前期

×近衞枇杷殿
三條・後朱雀・後冷泉三帝御所

×二條內裏　永延二年頃成ル
後朱雀・鳥羽二帝御所

×高陽院
後冷泉・後三條・白河・堀河諸帝御所

×六條內裏　承保三　1736
白河帝御所

×白河殿　白河法皇離宮
白河南殿　承保頃・離宮御營
白河北殿　元永元・離宮御營

×大炊殿
堀河・鳥羽二帝御所

×鳥羽離宮　寛治元　1747
鳥羽法皇離宮

後期

×土御門內裏　永久五　1777
鳥羽・崇德・近衞三帝御所

【仙洞後院建築】

×東三條內裏　大治元　1786
（三條烏丸殿）白河・後白河法皇仙洞

×西三條內裏（三條室町殿）
白河・鳥羽兩法皇仙洞

×高倉殿內裏　二條・六條帝御所

×高松殿內裏　後白河帝御所

×押小路內裏　二條帝御所

×白河離宮　天養元　1804

×五條內裏　安德帝御所

×閑院內裏
高倉・後鳥羽・土御門・順德・後深草諸帝御所

×福原京經營
治承四年六月遷都、同十一月還幸　1840

△源賴朝內裏御造營
文治五　1849

（邸宅建築）

前期

×枇杷殿　藤原道長邸
永延元?1647

×京極殿　藤原道長邸
長和五・再建1676

×高陽院　藤原賴通邸

後期

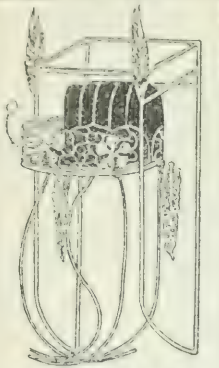
×東三條殿　藤原兼平邸

×小一條院（山吹野）
藤原師尹邸

×西八條殿　平清盛邸
仁安三・1828

×小松殿　平重盛邸

【備考】(5)※ハ異說　(6)(繪)【彫】【工】(書)ハ繪畫彫刻工藝書道ノ名作所藏　(7)數字ハ建築年代ヲ示ス皇紀　(8)…ハ年號省略

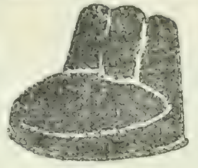

武禮冠　冠帽圖繪所載

武禮冠　平安初期ノ制定ナラン、貞觀延喜式ニ左右近衞ノ大中少將・左右衞門兵衞ノ督佐・中務省ノ輔等大儀ノ日ニハ禮服武禮冠ヲ着セシ記錄アリ

〔大將禮服〕淺紫闕腋袍（脇ノアキタル上衣）、纔着サイジヤク（裾が纔ニ地ニ曳ク）紫錦裲襠、將軍帶、金裝劒、靴

〔中將禮服〕深緋闕腋袍、金銀裝腰帶、金裝劒

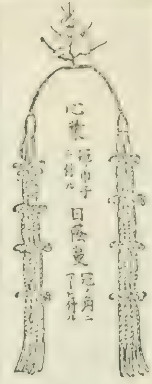
〔少將禮服〕淺緋、六位以下ハ三山冠ヲ被リ、白禮服ニ靑袴、又ハ緋服黑裳


三山冠　冠帽圖會所載

〔三山冠〕禮冠ノ裝飾ナキモノ、弘仁二年作ノ坂上田村麿ノ木像ハ挂甲ニ三山冠ヲ着ス


武　官　束　帶　　年中行事繪卷


細　纓　冠


心葉　日蔭蔓

冠　巾子（コジ）・簪（カンザシ）・甲（カフ）（又ハ額（ヒタヒ））・磯（イソ）・纓（エイ）ノ五部分ヨリナル

〔巾子〕髻ヲ入レル所　〔簪〕外ヨリ髻ニサシ冠ヲ留メルモノ後世ハ單ニ飾トナル

〔甲〕頂ノ所ヲ云フ、月形ノ穴ヲ明ケ薄絹ヲ張リテ透シニシタルヲ透額ト云フ

〔磯〕周圍ノ緣ナリ、高キヲ厚額、低キヲ薄額ト云フ

〔纓〕モト燕尾ト云ヒシモノニ當ル、初メハ巾子ノミ硬ク纓ハドノ方丸ク太イモノデアツタが鎌倉時代ニ至リ本圖ノ如キ近代用フルモノニ變ツタ、兩側ニ鯨髯ヲ入レ羅ヲ張ル、纓ノ變化ニヨリテ下記ノ四階級ガアル

〔立纓冠〕天皇ノ御料、纓ノタチシモノ

〔垂纓冠〕文官用　纓ヲ後ニ垂ラス、臣下ハ纓ノ曲リ目ヲ巾子ヨリ高クセズ

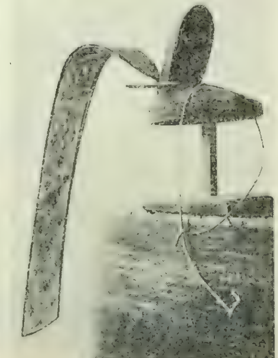
〔卷纓冠〕武官用　纓ノ端ヲ內側ニ卷キ夾木ニテ夾ム、緌(オイカケ)ヲツケル、緌ハ前代用ヒラレ居タリ馬毛ニテ製シ耳邊ニ當ツ

〔細纓冠〕纓ノ幅ノ細キモノ、後ニハ鯨鬚二筋ヲサス、六位以下ノ武官及六位藏人用

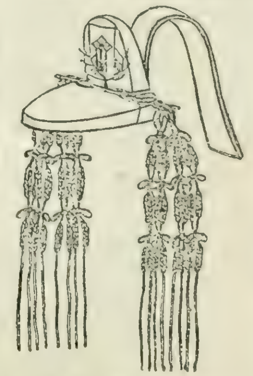
束帶　前代ノ朝服ハ平安朝デハ束帶ト改稱シ又晝(ヒ)ノ裝束トモ云フ、平安中期以後ハ公事典禮ニモ禮服ノ着用稀ニナリ專ラ束帶ヲ用ヒタ、束帶構成ノ各部分ハ前代ノ朝服ヨリ出デシモノナレドモ着用ノ容姿ハ唐風ヲ脫化シテ所謂國風トナリ面目ヲ一新シタ、爾來昭和ノ現代ニ至ルマデ皇室ノ典禮國家ノ重要ナル儀式ニハ束帶ヲ以テソノ儀裝トナスニ至ツタ

〔束帶構成要素〕冠・袍・半臂・下襲(裾)・衵（アコメ）・單・表袴（ウヘノハカマ）・大口袴・石帶・魚袋・襪・履ヲ着シ太刀・平緖ヲ佩ビ笏ヲ持ツヲ定則トナス


文　官　束　帶　　年中行事繪卷


垂　纓　冠


卷　纓　冠


心葉　日蔭蔓ヲ附ケタ冠

〔挿頭花（カザシ）〕祭ヤ節會ノ折又ハ舞人ノ冠ニ花ヲ挿ス、櫻・藤・山吹・龍膽・菊等ノ造花又季節ノ生花ヲモ挿ス

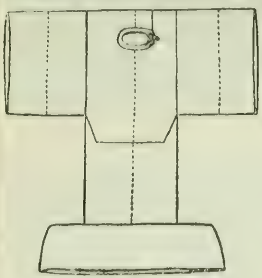
〔心葉　日蔭蔓〕神事ノ折冠ニツケル
心葉ハ平安朝ニテハ金銅製梅枝、鎌倉時代ニテハ二十歲以上ハ貝製ノ梅、以下ハ色絲製、夫々冠ノ正面ニツケル
日蔭蔓ハ祭ニハ實物、節會ニハ紅、萌黃等ノ絲製ノモノヲ冠ノ上ヨリ左右ニ垂ラス

袍（ハウ）　うへのきぬトモ云フ、領ハ上頸人レ紐、後世蜻蛉頭ト云フ、袖二幅、初期ニハ冠其他ト共ニ前代ノ如ク糊ヲツケズ〔萎裝束〕ナリシガ平安末期、鳥羽天皇ノ時ヨリ近代ノ如キ〔强裝束〕トナル

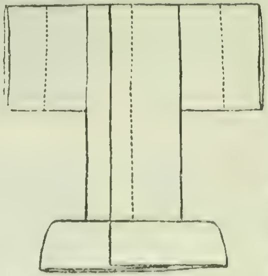
〔はこえ〕　後身ニ袋ヲ作リ身長ニヨル臟通ト石帶ヲツケルニ便ス

〔縫腋袍〕　文官用　脇ガ縫合サレ、下ニ横幅ノ襴ガツク、襴ノ左右ヲありさきト云フ

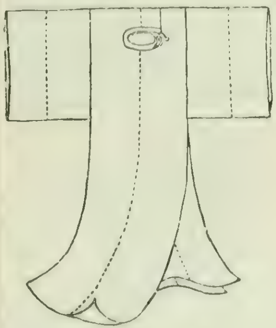
〔闕腋袍〕　武官用　脇ガアク、襴ナシ



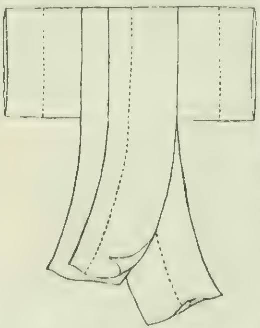
縫　腋　袍　(後)



縫　腋　袍　(前)



闕　腋　袍　(後)



闕　腋　袍　(前)

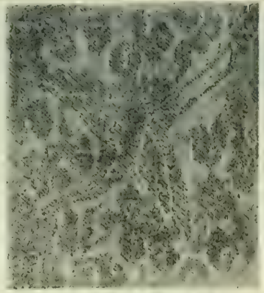
〔黃櫨染御袍〕　弘仁十一年天皇ノ御袍ヲ定メラル、文樣ハ桐・竹・鳳凰、後世麒麟ヲ加フ

〔麴塵御袍〕　綠色、文樣同上、輕キ儀式ニ召サル

〔色目〕　初期ニハ養老制ノ禮服ト同ジ、圓融・三條朝ニ稍變リ鳥羽朝ニ近代ノ制トナル、四位以上黑・五位緋・六位縹ノ三色

〔地質〕　五位以上冬表綾裏平絹、夏羅、六位以下絁、夏羅後ニ縠織

〔文樣〕　高位者雲鶴・雲立涌、他ハ花かつみ　立涌巴・唐草・菱・龜甲等



袍ノ文樣　雲　鶴



同　上　雲立涌

下襲　半臂ノ下ニ着ル、垂領、袖一幅、後ニ曳ク裂ヲ裾(キヨ)ト云フ、裾ハ襴ヨリ出ヅルコト漸次長クナリ天曆頃ハ親王一尺五寸大臣一尺納言八寸位ナリシガ、建曆ニハ大臣一丈大納言九尺中納言八尺參議七尺トナル

〔地質〕　公卿冬表裏共綾、夏顯文紗、殿上人冬表裏共平絹、夏縠

〔色目文樣〕　一般ニ冬ハ表白ナリ天皇ハ小葵、公卿浮線綾裏蘇芳（後ニハ黑）菱、夏ハ蘇芳、殿上人冬ハ同ジ夏ハ二藍

「大帷子」　後世下襲ヲ略シ帷子ニ下襲ノ襟ヲツケ、裾ヲ別ニ腰ニツケル事アリ

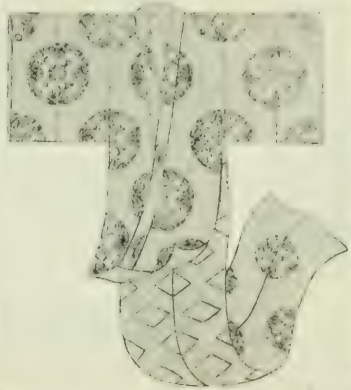


半　臂

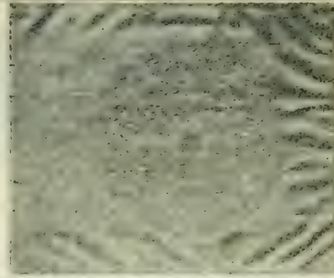
半臂　袍ノ下ニ着ル、後世略スコトアリ、領ハ垂領、袖幅二寸五分（臂ノ半ニ至ル意）、丈ハ袍ノ五分ノ三、襴ノ左右後方ニ六疊ヅツノ襞ヲツク

〔地質色目〕　公卿冬表黑綾裏水色平絹、夏黑紗、殿上人冬黑絹、夏二藍縠織

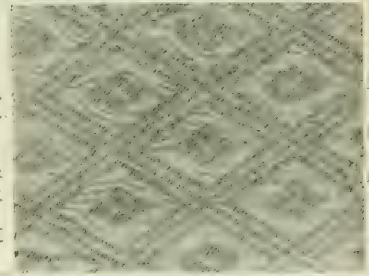
〔地文〕　公卿浮線綾、若年小葵、夏ハ三重襷、殿上人無文



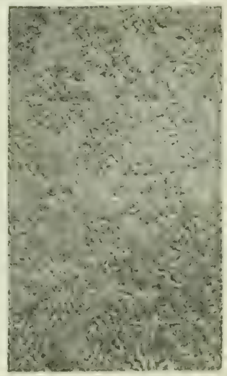
下　襲



浮　線　綾

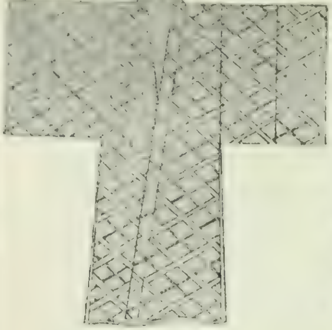


三　重　襷



小　葵

〔半臂ノ忘緒〕　平安中期ノ半臂ハ[illegible]

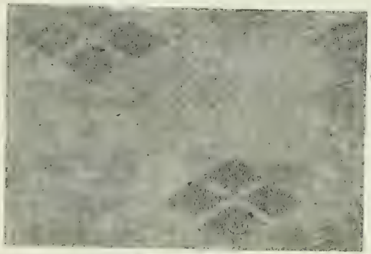


袙（アコメ）

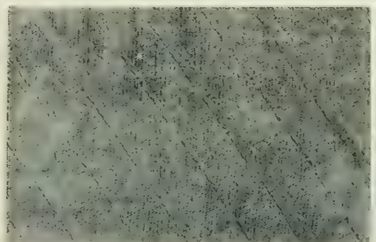
袙　下襲ト單衣ノ間ニ着ル、衣（きぬ）トモ云ヒ後世ノ小袖ニ當ル、寒キ時ハ綿ヲ入ル、垂頸、袖一幅、丈ハ袍ヨリ五六寸短シ、夏ハ引倍木（ひきへぎ）トテ單ナリ
〔地質〕　綾、裏平絹
〔色目〕　普通ハ紅、若年ハ染袙トテ萠黃薄色等、老年ハ白
〔地文〕　小葵、老年ハ遠菱（遠文）、若年ハ繁菱（繁文）

單　袙ニ似タル裏ナキ衣
〔地質色目〕　綾ノ張ツタモノ、紅萠黃等様々、老人ハ香染又ハ白
〔地文〕　繁菱、老年ハ遠菱

帷子（カタビラ）　夏單ノ下ニ汗取トシテ着ル、單ヨリ短シ、布製、後大帷子トテ下襲ト單トノ襟ヲツケ、袖ニハ單ノミヲツケテ二者ヲ省キ三者兼用ニナスモノ出來タリ



遠　菱



繁　菱

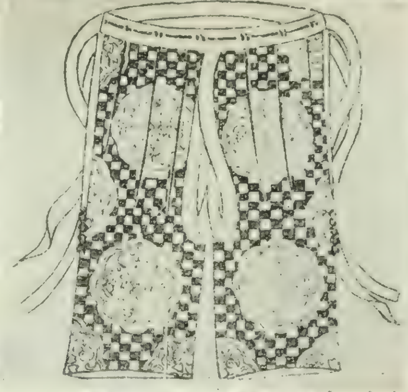
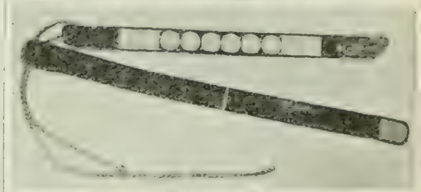


表　袴　地文窠ニ霰

表袴　形式ハ前代ノ白袴ト大差ナシ、腰ニ上刺ノ糸アリ（組緒ノ通シタ装飾）、夏冬共ニ表白裏紅、公卿ハ窠（クワ）ニ霰ノ文様、四位以下ハ白地ノ平絹
〔大口袴〕　下ニ着ク、紅ノ平絹、公卿殿上人地下人皆束帶ニハ着用ス
〔[illegible]〕　下襲、袙、表袴等裏ノ裂ヲ表ヘ三分バカリ出シテ仕立ルコトヲ云フ、女装ニモアリ



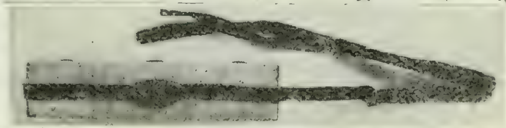
石　帶

石帶　袍ノ上ニ卷ク黒革製ノ帶ナリ、後ニ當ル所ニ方形又ハ圓形ノ白玉・瑪瑙・犀角等ノ飾ヲ白糸ニテツケル、方形ノヲ〔巡方〕他ヲ〔丸鞆〕ト云フ
鬼・獅子・唐花・唐草・蠻繪等ノ高彫、又ハ隱文ト云フ毛彫・或ハ無文ノモノ等アリ
前代ノ腰帶ハ一本ノ革帶デ鉸具（カコ）ニテ留メタガ之ハ二本デ二本共背後ニ當テ、前方ハ紐デ結ブ一本ハ左ヨリ右ニヘ狀ニ彎曲サセテ夾ム、之ヲ〔上手〕ト云フ、モト一本ノ帶ノ餘リヲ後ニ夾ミシ名殘ナリ

笏　禮服ノ時ノミ牙ヲ用ヒ他ハ五位以上モ木笏ヲ用フルニ至ツタ、柞ニテ製ス、モト唐ノ模倣デ其用途ハ公ノ場所ニテ備忘ノ爲ニ裏（自分ノ方ニ向ク面）ニ紙ヲ貼リ覺書ヲ書キ置クコト文獻ニアリ

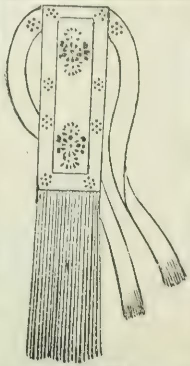
太刀　束帶ノ時佩用スルハ餝太刀ト云ヒ、鞘ヲ紫檀沈等ニシ、金銀蒔繪青貝等ニテ飾ル

弓箭　武官ノ束帶ニハ弓箭ヲ帶ス、箭ハ胡簶（ヤナグヒ）ニ盛リテ背負フ



魚　袋

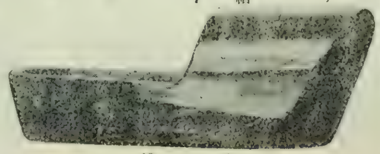
魚袋　五位以上節會大嘗祭等ニ佩用ス、石帶ノ後右方第一第二ノ石邊ニ吊ス、魚形ノ金製ナルヲ金魚袋、銀ナルヲ銀魚袋ト云フ、諸王五位以上臣下三位以上ハ金、四位五位ハ銀
衣服令ニアル袋ハ符節ナレド平安朝ノハ不明ナリ、後世ハ單ニ飾ニ過ギズ、鎌倉時代ニハ朱塗ニ紺又ハ紫ノ組紐ヲツケシ記錄アリ、近代ノハ長サ五寸許リノ厚キ長方形ノ板ニ磨イタ鮫皮ヲ張リ魚形ノ飾リヲ張リツケシモノナリ



平　緒

平緒　元太刀ノ帶ナリ、平タク組ミタル緒、貞觀ノ制ニ五位以上唐組・六位以下綺新羅組トアリ、近代ノハ幅三寸長サ二尺位ノ捻リ糸ニテ組ミ、色糸ニテ様々ノ模様ヲ刺繡シタモノ、太刀ノ緒トハ別ニ前ニ垂ラス、紫緂（タン）・靑緂・櫨緂・紺地・紅梅地等アリ、紫緂トハ紫ニ白色ヲ交ゼタモノ、桐・竹・鳳凰・唐花・孔雀・鴛・四季花・家ノ紋等ヲ繡フ

靴　普通ハ淺沓ニテ近代ノハ桐ノ木ヲ刳リ黒漆ヲ塗ツタモノ、深靴ハ奈良朝ニテハ武官ノミナリシガ平安朝ニテハ文官モ用フ、「クワノクツ」ト云ヒ下方ハ革、上方ハ靴氈ト云ヒテ薔薇ヲ織リ出シタル錦ヲ用ヒ、革製ノ細キ金具附ノ靴帶デ締メル



淺　沓



深　靴

男子略服

布袴(ホウコ)　非公式ノ正裝、束帶ノ表袴ノ代リニ奴袴(サシヌキ)ヲハク裝束ナリ、後世ハ行ハレズ

〔奴袴〕 括袴ニテ腰ニ上刺アリ、初メ奴僕ノ走リ使ニ便ヨキヤウ作ラレタモノ故コノ名アリ、後貴人モ用フルニ至リテ綾織物等ニテ製ス、括方ハ古クハ下括ト云ヒ足頸ノ所デ括リ紐ヲ引キズツテ居ル、後世ハ上括トナリ膝下デ括ル

〔色目文様〕 主上ハ窠ニ霰雲立涌、仙洞ハ八葉ノ菊雲立涌鳥襷、禁色ヲユリタル人少年紫二重織物龜甲ニ浮線綾、中年紫鳥襷又ハ薄色藤丸ノ織物、老年白藤丸、其他淺黃襷等四位五位平絹無文

衣冠　布袴ニツグ略裝、文武官トモ縫腋ノ袍ヲ着シ下襲大口袴石帶ヲ略シ奴袴ヲハキ腰帶ヲ締メ笏ヲモタズニ檜扇又ハ蝙蝠ヲモツ、平生參内ノ時ニ着用ス四方拜競馬春日詣等ノ時ニハ笏ヲモツ



← 奴袴地文藤丸



二重織物龜甲ニ浮線綾 →

直衣　衣冠ニツグ略裝、直ハタダノ意平常着ナリ、袍ト殆同ジ形式、帶ハ同ジキレニテ製ス、烏帽子ヲ被リ奴袴ヲハク、冠ヲ被ルコトモアリ冠直衣ト云フ

平安中期以後ハ直衣ガ廣ク普及シ上下ヲ論ゼズ家庭内ニ於テモ用ヒラル、ニ至ツタ

〔地質〕 志々良ノ綾、裏平絹、夏ハ縠

〔色目〕 一般ニ白、紫薄色淺黃等モアリ・老年ハ白

〔地文〕 小葵・浮線綾・夏ハ三重襷等

〔引直衣〕 天皇ノ御直衣、冠ヲ召シ緋ノ袴ヲハカル、直衣ノ丈長ク曳ク故ニコノ名アリ

〔小直衣〕 狩衣直衣トモ云フ、狩衣ニ襴ヲツケタモノ、地質地文色目等狩衣ニ略同ジク自由ニテ様々ナリ

〔無襴直衣〕 闕腋ノ袍ノ如キモノ
總テ直衣裝束ニテ參内スルニハ勅許ヲ要ス之ヲ〔雜袍ノ宣旨〕ト云フ、直衣ニハ太刀ヲハカズ



夏期冠直衣ノ姿　三重襷ノ直衣　浮線綾ノ奴袴
大阪四天王寺藏扇面古寫經下繪

狩衣　狩襖トモ云フ、武官ノ襖ニ似ル故ナリ、公卿等鷹狩旅行蹴鞠等ニ着ス、麻布ニテ製ス、又布衣トモ云フ、初メハ布ニテ製シ堂上ノ人ハ着用セザリキ
襟ハ上頸蜻蛉頭、袖ハ一幅半、兩脇ト袖附ノ前ガアキ袖括ノアルヲ普通トス、丈ハ袍ヨリ短ク、帶ハ同ジキレヲ以テセシガ後別ニ製スルニ至ル、公卿ノ着スルニ及ビテ絹綾ヲ用ヒテ華麗ヲ極ム、冬ハ裏ヲツケルモアリ、夏ハスヾシ、紗ハ四季通用ス

〔色目〕 様々ニテ 重ネ色目 ト稱シテ表裏ノ色ノ配合ニヨリ季節ノ花ヤ風物ヲ聯想セシムル名ヲツケタ、女裝ニモ同ジク用ヒラル

紅梅	(表紅梅	裏蘇芳)	若年用
柳	(表白	裏青　)	老若共
櫻	(表白	裏薄紫)	若年用
櫻萌木	(表萌黃	裏二藍)	若年用
海松	(表黑	裏黑青)	老年用
松重ネ	(表青	裏蘇芳)	祝用

此外白菊・黃菊・紅葉・女郎花・卯花・躑躅・楝・菫襖・枯色・香・氷等様々アリ

布狩衣ノ色目ニハ香・白・二藍・紺・萌黃・紅葉・女郎花・薄青等アリ

〔文様〕 色ニ相應シタモノ、松重ニハ松唐草・松葉・松鶴繪、柳重ニハ柳立涌等、布ニハ一閑ノ文様ヲ散シテツケル

〔帶〕 五位以上有文纐纈 夏ハ二藍、非禁色四位以下二藍、六位以下白生

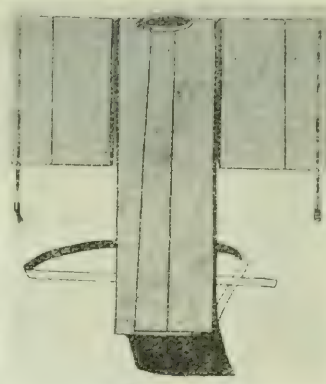
〔袖括ノ紐〕 〔薄平〕ハ薄キ平打ノ紐ニテ若年用ナリ、色ハ紫絞、青絞、〔厚細〕ハ厚ク細キ紐ニテ中年用、紫絞・黃・纐絞、老年ハ白縒紐二本

狩衣ニハ烏帽子ヲ被リ奴袴ヲハク、奴袴ハ淺黃平絹無文ヲ通常トシ、晴ノ折ニハ紫裾濃・紺村濃等ヲハク、六位以下ニハ正服トナリシガ、鎌倉時代ニハ頼朝以來武家ノ禮服トナレリ

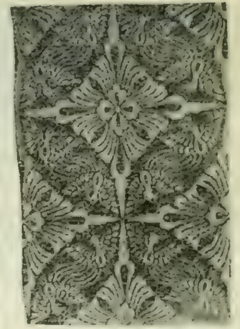
〔褐衣〕(カチエ) 狩衣ノ脇ヲフサギタルモノ、褐ハ褐色ニ非ズ濃藍色、衞府・檢非違使・馬寮等ノ兵士・鷹飼・隨身等ノ布衣ナリ

〔白張〕(シラハリ) 白粉張ノ布デ造レル狩衣袴、雜色・車副・檢非違使着用

〔退紅〕 布狩衣、一度使用シタ紅ノ糟デ染メル、黑布袴ヲ着ス



狩　　衣



鳥　　襷

↓ 褐衣着用ノ隨身
紺地・獅子ノ丸繪ノ表ハシタリ、細纓冠ニ老懸ヲ附ケ胡籙ヲ負フ
文永習裝繁草子所載



長烏帽子　北野緣起所載

烏帽子　前代ノ圭冠ヲ公卿ハ糊ヲ強クシ立テテ被ル、黑絹ニテ製シ正面ヲ少シ押シ込ム、緣ハ漆デ光ラス、常ニ着用シ家庭内ニモ寐ル時ニモ被ル

〔長烏帽子〕 特ニ長キモノノ稱

〔平禮〕 民間ニテハ糊ヲツケズ柔カキマヽ着用ス、ヘイライ又ハヒレト云フ



〔衣〕　衣冠・直衣・狩衣ノ下ニ着ル、袍ト同ジクシテ少シ長シ、浮織物・固織物、色ハ薄色・萌黄・紅・黄・蘇芳・紫・紅梅・山吹・白、文様ハ小葵・[illegible]形・[illegible]等



水干着用圖　[illegible]草子所載

〔出衣〕　衣袴ノ褶目ヨリ衣ノ裾ヲ少シ出シテ美ニシテ見セル風流

水干　狩衣ト同ジ形式、領ハ組紐ヲ用ヒテアハス長紐ナリ、丈短ク袴ノ下ニ着込ム、袴ハ其ノ色ハ別ニ、形ハ括袴ナレド（袴ヨリ簡単ナリ）、貴人モ内々ハ着、公武ノ少年・庶人・牛飼童等多ク用フ

地質ハ布ニ木綿ト云、色ハ白ノ外ニ紺・藍・黄等、文様ハ書描ガ、巴ノ合子・菱・海松等

鎌倉時代ニ入リテハ公卿・高級武人モ用ヒ、後ニ武家ノ禮服トナリ其ノ地質文様色目共ニ[illegible]

直垂　平安末ヨリ源平武士等ノ着用トナリ記録ニ見ユ、平安時代ニテハ地下人、無位無官ノ者ノ服ナリ、鎌倉時代ニハ武士ヨリ上ニ普及シ室町時代ニ至リテハ武家ノ主要ナル服装トナレリ

上下ニ分レ上ハ垂領ノ衣、袖ハ二幅半、脇ガアク、下ハ括袴ナリ、後世長袴トナル、胸紐ハ丸打紐ヲ用フ



折烏帽子ニ直垂着用圖

繪師草子所載

結髪

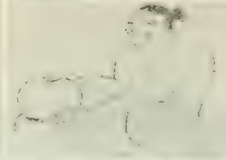


冠下髻　相撲節會圖

〔冠下髻〕　卷立トモ云フ、髪ヲ頭上ニ束ネテ三四寸位ノ長サニ先ヲ揃ヘテ切リ根元カラ堅ク棒ノヤウニ卷キ先ヲ房ノ様ニナス、主上ヨリ雜色ニ至ルマデ冠着用ノ時ハ總テ之ニ結ブ、高位者ハ卷ク所ヲ長クシ先ヲ短クス身分ノ低キモノハ之ニ反ス

〔垂髪〕　後ニ垂レ元結ニテ結ブ、雜色車副等ニ見ル

〔月代〕サカヤキ　冑ヲ被ル時逆上ヲ防グ爲頭ノ中央ヲ圓ク剃ツタモノ、後ニ武人ノ結髪様式ニ移ツテイツタ



放　髪　七十一番職人歌合

〔放髪〕　俗ニ茶筅髷ト云フ、本圖ハ室町時代ノモノデ一束ニシテ後ヘ垂レル部分ガ甚短イガ平安朝時代ノハ二三寸又ハ四五寸モ垂ラス

武人・車副・雜色・舍人・一般庶民ノ結ブ髪、侍烏帽子又ハ揉烏帽子ヲ被ル

〔亂髪・斷髪〕　共ニ賤民ノ頭髪前者ハ結バズニ散シテオキ、後者ハ短クカリ込ム所謂ザンギリ



東　髪

春日験記

〔東髪〕　髪ヲ頭上ニ束ネ丸ク結ブ身分ノ低キモノ又ハ一般庶民ノ結髪法ナリ

神事用儀服

御齋服　天皇御祭祀ノ時ノ御服、袍ノ形式ナリ、闕腋ノ如クニ石及後ニ襴アリ、他ハ束帯ト同ジ、地質ハ生平絹等ニテ全部白無垢

大嘗祭ノ時ハ廻立殿ニテ此御服ニ、悠紀主基ノ御殿ヘハ御祭服ヲ召サレテ行幸セラル、神今食（六月及十二月神嘉殿ニ於ケル御親祭）ニモ召サル、平安朝初期ヨリ用ヒラル

御幘（トンサク）　冠ノ纓ヲ立テ中央デ巾子ノ上ヲ引越シテ前ヘ折リ更ニ上ヘ折リ返シ白絹ヲ以テ結ビ其末ヲ後ニ垂ラス

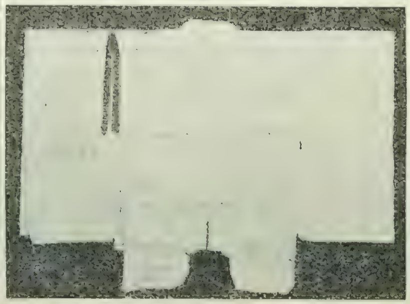


御　幘

淨衣　黄又ハ白ノ狩衣、布ヲ本體トシ絹モ用フ、裏ナシ、上皇・攝家・將軍家・諸家ノ神事ニ着ス、下ニ袙單・袴ヲ着ス

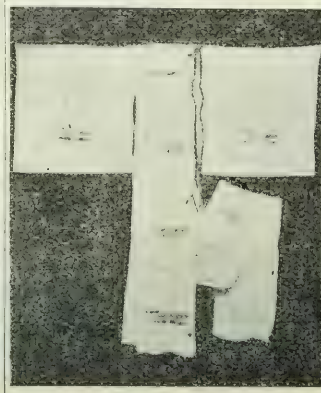
小忌衣（ヲミゴロモ）　束帯ノ上ニ着ル袍ノ一種、神事ヲ司ドル者ノ用、垂領白布（白粉[illegible]）ニ小草・梅・柳・松・[illegible]・[illegible]・菊・蝶・童子・小鳥・雷鳥・鶴等ノ文様ヲ青摺ニス

官位職掌ニヨリテ形ニ變化アリ、如形小忌・諸司小忌・出納小忌・別勅小忌・小忌[illegible]等



小　忌　衣

青摺衣　裾ノ長イ闕腋ノ袍ノ如キ形舞人ノ着用スルモノ、地質文様ハ小忌衣ト同ジ、赤キ紐肩ニツク、コレハモト襟ヲ合セル長紐ノ變化セシモノナリ



青　摺　衣

民衆用烏帽子



侍烏帽子　北野縁起



平禮　伴大納言繪詞

〔侍烏帽子〕　一名折烏帽子普通ノ烏帽子ノ變形デ形ハ一定セズ、鎌倉時代ニ至リ堅イ感ジノスル固定シタモノトナツタ



引立烏帽子　北野縁起

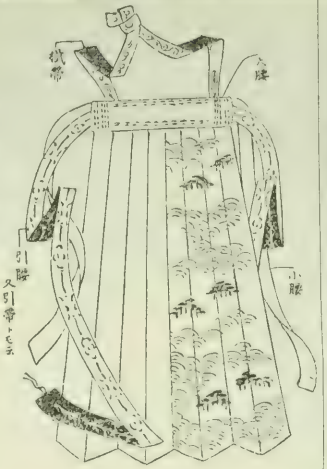
〔揉烏帽子〕　萎烏帽子トモ書キ共ニモミエボシト云フ、種々ノ形ガアルガ武人及ビ庶民ノ廣ク用ヒタノハ紙製ノ引立烏帽子デアラウ

女子正装　男子ノ禮服ニ相當スルハ下記晴ノ服ニ比禮・裙帯ヲツケ髪ニ釵子ヲサス

晴ノ服　男子ノ束帶ニ相當ス
唐衣・裳・表衣・打衣・袿・單袴ヨリ成ル

唐衣　垂領ノ丈裄短キ袷ノ衣、一番上ニ着ル袖巾狹キ廣袖ナリ、前身ノ方後身ヨリ長シ、唐風ノ模倣ナル故コノ名アリ、襟ト袖口ニ裝飾ヲツケタモノアリ、袖口ハ置口ト稱シ繪ヲカキ又ハ螺鈿・蒔繪・玉・金銀ノ板ニ透シノ彫刻ヲナセルモノ、金粉・金泥デ描キシモノ等意匠ヲ凝セシガ平安朝以後ハ止ミタリ


唐　衣



裳

裳　唐衣ノ下方後ニ蓋ヒ着ル、前代ノ裙ノ變化シタモノ、八幅ノ裂ニテ作ル、縮纈・目染・下濃・地摺等ノ種類アリ
〔大腰〕　裳ノ腰ニ當ル上方ノ部、同ジ裂又ハ別ノ裂ニテ作ル
〔引腰〕　下ニ曳キズル長イ帶狀ノモノ
〔小腰〕　別ニ短イ紐ヲツケテコレニテ結ブ
〔上刺〕　大腰小腰引腰ニ平組ノ緒ヲ以テ裂ニ通ス一種ノ裝飾
室町時代ニ至リ更ニ〔掛帶〕ガ加ハツタ

表衣(ウハギ)　唐衣ノ下ニ着ス、垂領袖一幅、ノメリアリ、平安後期ニハ略サル、ニ至ツタ

打衣(ウチギヌ)　表衣ノ下袿ノ上ニ重ネ着ルモノナレド略スコトアリ、砧ニテ打チテ光ヲ出ス故コノ名アリ、擣練・紅トモ云フ

袿(ウチキ)　打衣ノ下ニ着ル、重袿トテ五領七領重ネ多キハ十八領廿領ニ及ビシコトアリ
〔五衣〕　後五領ニ定メテコノ名アリ、表衣打衣袿ノ三者ヲ合セテ袿トモ云ヒ衣トモ云フ
〔十二單〕　袿十二領重ネ下ニ單ヲ着セシ時代ニ出來シ名ナラム

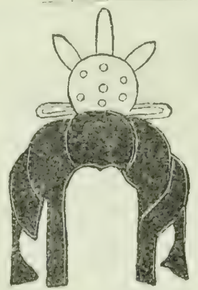

← 裙　　帶


表　衣

單　袿ノ下ニ着ス、形ハ袿ニ同ジ、裄丈共袿ヨリ長シ
〔單重〕　夏目單ノ二枚重ネ着シテ袿ノ代リトナセシモノナラン


袴

袴　表ノ袴・長袴・紅ノ張袴等云フ、袷ニテ襠アリ、後方ハ前方ヨリ長ク上ノ腰ニハ上刺ノ紅紐アリ、腰ノ下ニハ襞ヲトル


釵子ヲサシタ圖
(儀髻ト同ジ形式)

裙帯(クンタイ・クタイ)　モト裙ノ紐ノ殘ヲ前ニ結ビ垂ラシヽモノナルガ裙ハ後ノミノ裳ニ變リ紐ダケ別ニ殘リシモノナラントノ説及ビ衣服令ノ紕帶ノ變化ナラントノ二説アリ縫目ノ中央ニシテ左右二些線ノ裂ノ縫ヒ合セタル如キ記錄アリ

晴ノ服
着用女子
春日驗記 →



晴の服(地質　文様　色目)

	地質	文様	色目
〔唐衣〕	織物{緯糸デ文様ヲ織リダシタモノ 二重織物{地文ヲ織出シタ上ニ更ニ別糸ノ文様アルモノ 平絹	龜甲ニ花菱七寶つなぎ 小鹽山小松原ノ刺繡 繪ヤ歌ヲ書イタモノ 象眼・造繪トテ色彩等自然ト異レルモノ 裏ハ菱又ハ五瞹	赤・青ハ禁色 蘇芳・紫・萌黄 二藍・葡萄
〔裳〕	冬ハ綾夏紗縠又ハ平絹 高位者表浮織物・裏綾 夏ハ生浮織物・裏薄物	海賦(大海ノスリモノ) 小鹽山小松原ノ繡 白金ノ洲濱ニ鶴松枝繡 三重襷・洲濱ニ波	青下濃 海色 朽葉 紅・白
〔表衣〕	唐綾・綾・縑(カトリ) 薄物・裏平絹	龜甲・鶴丸・格子・菱形・花菱形・唐草・巴・菊等	赤・紅・萌黄・蘇芳 二藍 萌黄地 薄色 重色目ハ梅紅梅女郎花
〔打衣〕	平絹・綾	無文	紅ヲ普通トシ 青・蘇芳等アリ
〔袿〕	唐綾・綾・薄物・平絹 裏平絹	白浮文 泥繪	濃(コマ)・葡萄 紅・白・蘇芳
〔單〕	綾・絹・薄物	四菱・花菱・幸菱	白・紅・萌黄・蘇芳・黄 黄・香
〔袴〕	生絹・後世ハ精好地	始ハ無文後様々ノ文様又ハ織物アリ	紅ヲ普通トシ 濃・萌黄等

〔比禮〕　紗羅錦等・色ハ纐纈夾纈(アフチ)等・長五尺七尺九尺等ノ記錄アリ

女子略服 附兒童

小袿　晴ノ服ノ裳唐衣ヲトリ去リタル上ニ小袿ヲ着スル表着ヲ小袿ト云フ

表衣等ト同ジ形デ表裏ノ間ニ中倍（ナカベ）ト云フ裂ヲハサンデ仕立テル、之ガタメニ三重トナル

小袿ノ上ニ唐衣或ハ裳ヲ一ツノミ着シ又ハ裳ノ上ニ小袿ヲ着シ又ハ他ノ衣ヲ略シテ單ト袴ノミノ上ニ小袿ヲ着シタル記錄アリ

〔地質〕　浮織物・薄物・綾・二重織物等、中倍ト裏トハ平絹ヲ用フ

〔色目〕　二藍・葡萄・萠黄・蘇芳等重色目ノ柳・女郎花・黄菊等文樣ハ表衣ト同ジ



細長着用ノ男兒　伴大納言繪詞



單ニ切袴　扇面古寫經ノ下繪



民間女子姿　扇面古寫經下繪

汗衫（カザミ）　童女ノ儀服、闕腋ノ袍ノ如キ形上頸入紐束帶ノ如ク半臂下襲表袴ヲ帶ノ着ス

〔地質〕　綾物平絹

〔色目〕　麹塵・萠黄・青・白・櫻・葡萄・蘇芳ノ外重色目紅梅櫻・柳・白菊等文樣ハ少シ

袙　童女ノ表衣袿ノ寸法ノ短キモノナリ、下ニ單又ハ單重ヲ着ル

〔地質〕　綾・平絹

〔色目〕　蘇芳・薄色・薄青・紅

汗衫ト袙トハ成年男女ノ下着ガ童女ノ表衣トナレルナリ

細長　小袿ノ上ニ更ニ着ル袍ノ形式ノモノ、裾長ク後一幅前二幅

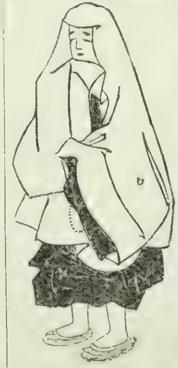
〔地質〕　綾物・唐織物・裏ハ平絹

〔色目〕　重色目ヲ主トシ櫻・山吹・梔子・紫苑等

〔文樣〕　白地龜甲三重襷ノ中ニ花菱等アリ

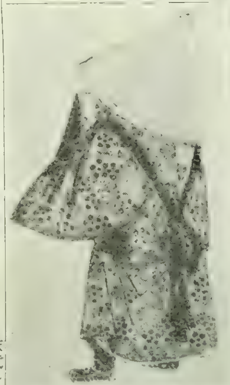


細長着用女子



衣かづき　北野緣起

外出姿ナリ廣袖ノ表衣ヲ頭ヨリ被ル江戸時代ノかつぎハ小袖ヲ被ルナリ



壺裝束　春日驗記

〔壺裝束〕　外出姿ナリ、長イ衣ヲタクシ上ゲ中結ヲナシ市女笠ヲ被ル、兩肩ニカケ後ニ垂レテ居ルノハ社寺ニ詣デル時ニ用フル掛帶デアル、靴ヲハクモアリ馬上沓トモ物射沓トモ云フ

切袴　コノ時代ノ女子ハ民間デモ平常切袴ヲ用ヒタ、貴人モ時ニ用フ

小袖　下層階級ノ男女ハ上着トナス、袖口ノ廣イ筒袖垂領ノ衣、男子ハ括袴ヲハキ、女子ハ褶ノ如キモノヲ腰ニ纏ヒ或ハ細帶ノミノモアル

貴人ハ小袖ヲ下着トシテ着ス、地質ハ布ヲ主トシ生絹ヲモ用ヒタ

文樣ハ簡單デ無地ガ多イ

履物

〔屐〕（アシダ）　僧兵少年民間ノ女子ガ愛用シタ

〔草鞋〕〔緒太〕〔金剛〕

〔尻切〕　樣々ノ形ノ草履デ各階級ニ用ヒラル



鬢批（ビンソギ）シタ垂髪ノ女

〔垂髪〕　頭上ニ分目ヲ作リ後ヘ自然ニ垂ラス、上流ハ長ク丈ニ餘ルヲ貴ビ庶民ハ腰ヨリ短キアリ共ニ末ヲ切リ揃ヘ途中ニテ結ブ、長キハ腰ノ邊デ短キハ上方ニテ結ブ

〔鬢批〕　頰ノ兩側ノ髪ヲ少シ二尺位ノ所ニテ切リソロヘル事



束ね髪　年中行事

後ヘ垂ラシ更ニ上ニ向ケテ勝手ニ束ネル庶民ノ間ニ廣ク行ハル

〔髫〕（メザシ）　三才位ヨリ十才位マデノオカッパ

〔喝喰〕カツジキ　髪ノ長クナツタ者

〔垂髪〕　一筋垂髪ハ後ニ垂シ襟元テ結ブ二筋垂髪・美豆良等モアリ



振分髪　扇面古寫經

後ヘカキ左右ヘ分ケテ結ブ



網　代　輿

輿　垂仁天皇頃既ク用ヒラレタ（書紀）唐制ニ倣ヒ天皇皇后齋王ノミノ御料ノリシガ平安朝ニ入リ上皇公卿ハ固ヨリ僧侶モ用ノルニ至ツタ

〔鳳輦〕 天皇ノ御料、金ノ鳳凰ガ輿ノ上ニ立ツ、節會ノ行幸・大嘗祭ノ御禊・御即位等ノ晴ノ御儀、野行幸・御方違等ニモ用ヒツル、皇后中宮等乘御ノ記録モアル

〔葱花輦〕 葱（ヒトモジグサ）ノ花ノ形ガ輿ノ上ニツク、主上ノ御料、神事ノ時用ヒラル常ノ行幸ニモ召サレタ記録ガアル

〔腰輿〕 手輿（タゴシ）ト云ノ、主上ノ御料、大嘗祭御禊行幸ノ時大政官ヨリ河原ノ頓宮マデ鳳輦ニ召サレソノ後ハ腰輿ナリ、又方違・天災時等ニモ召サル、上皇・攝關・大臣・高僧ニハ使用ヲ許サル

〔小輿〕 最勝會ノ講師讀師齋王ノ入京ノ途中等ニ使用ス

〔網代輿〕 主トシテ臣下ノ乘用、手輿ノ一種ナリ

〔屑輿〕 僧尼ノ用

車　奈良朝ニモ車ガ用ヒラレタコトハ書紀・令義解等ノ記錄デ察セラル、ガ平安朝ニナツテ非常ニ流行發達シ實用以外ニ美術的ニナリ意匠ヲ凝シ、遂ニハ金銀ヲ以テ飾ル等奢侈ヲ極メタ屢制限ガ行ハレ六位以下ノ使用ハ禁ゼラレタガ、華奢ノ風ハ容易ニ改ラナカツタ、多クハ牛ガ曳キ、貴人ノハ人ガ曳ク、乘法ニモ作法ガ出來タ

〔唐車〕（唐庇ノ車）形大キク棧（ハシダチ）ニヨツテ昇降ス、上首ノ唐棟ノ如クシタルニヨリコノ名アリ、太上天皇・皇后・親王女院・攝關ノ乘用

〔雨眉車〕 唐車ノ略式、屋形ノ上庇・袖等ノ白キ網代ニテ製ス、冠直衣ノ時、院・親王・攝關・太政大臣等ノ乘用

〔檳榔庇車〕 檳榔ノ葉ノ白クサラシテ押ス、太上天皇・親王・攝關大臣等ノ乘用

〔檳榔毛車〕 檳榔ノ葉ノ細ク絲ノヤウニ裂イテ押シタモノ院以下四位以上乘用、女官・僧正・法印・大僧都等モ用フ

〔靑絲毛車〕 絲毛車ハ種々ノ色絲ニテ飾レルモノ、靑ハ皇后・東宮・中宮・准后等ノ用

〔紫絲毛車〕 女御・更衣・典侍・尙侍等ノ用

〔赤絲毛車〕 加茂祭使ノ用

〔半蔀ノ車〕 物見ノ左右ヲ半蔀ニシタモノ、院・親王・攝關・大臣・大將或ハ女房ノ乘用

〔網代車〕 袖ノ表ヲ白ク塗リソノ上ニ繪ヲカキ、又ハ家々ノ紋ヲツケル、大臣・納言・大將等ノ直衣ニテ乘ル非公式ノ場合公卿・四位五位ノ殿上人・侍從・外衞・督・佐等階級ニヨリテ製作上ノ區別アリ

〔八葉車〕 大中小アリ、八曜ノ文樣ヲツケル、晴ノ時ニハ長物見平生ハ切物見ガ用ヒラレル、長物見ハ高位高官ノ人ノ用、切物見ハ上下ノ男女ノ間ハズ

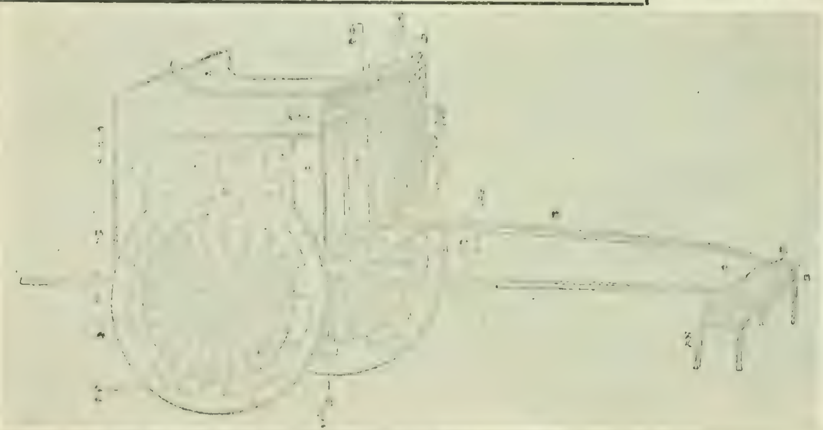
〔金作車〕（コガネヅクリ） 中宮以下女御代・五節舞姬・公卿四位殿上人ノ妻子・大臣ノ孫ナドノ乘用

〔餝車〕（カザリ） 加茂ノ祭使ノミノ乘用車デ美々シキモノ、後ニハ中宮東宮ノ使ヨリ近衞使マデ乘ルヤウニナツタ

〔黑莚車〕（クロムシロ） 公卿喪中ノ用

〔莚張車〕 五位六位ノ用ナリシガ伊周ガ流罪ノ時乘リシ故後罪人用トナル

〔板車〕 武人及下賤ノ專用



← 車

食物

〔主食〕 1. 强飯（コハイヒ） 2. 固粥・汁粥 3. 糒（ホシヒ） 夏時水ニ漬ケテ食ス水飯水漬等ト云ノ

〔副食物〕

〔魚類〕 鯛・鮪（シビ）・氷魚（宇治產）・鯉・鮒（近江產）等ノ常ニ用ノ
製法ハ鹽漬・酢漬或ハ乾燥
鮭ノ楚割（スハヤリ）・背腹・內子（コゴモリ）・鯛ノ楚割筰・年魚（アユ）ノ火乾煮乾・漬鹽・押年魚・醬鯛（ヒシホフナ）酢鯖・煮堅魚・堅魚煮汁・鮫・鰯筰・鰯醬・雜魚腊（ザコシホビキ）等

〔鳥卵〕

〔肉類〕 前代ノ食物中ニ述ベシ外雁鴨等

〔野菜〕 前記ノ外葱・大根・款冬・莧（ヒユ）葵・蜀椒（ハジカミ）・干薑・芥子

〔海草〕 紫菜（ノリ）・滑海藻（アラメ）・於期菜（オゴノリ）・鹿角菜・和布・昆布等

〔果實〕 前記ノ外ニ梅・柑（コウジ）・枇杷・椎子・蓮子・通草（アケビ）
栗ハ搗栗（カチグリ）・熇栗（アブリグリ） トシ、柿ハ干柿・熟柿・串柿等ニ製セラレタ

〔菓子〕 米麥ノ粉ヲ固メテ團子ニシ又餅ニシテ甘味ヲ加ヘタモノ、糫餅（萬加利）・捻頭（ムギカタ）・大豆餅・小豆餅・草餅・煎餅・餢飳（フト）・餛飩・麥縄（ソウメン）

〔茶〕 嵯峨天皇頃盛ニ用ヒタ記錄ガアル

〔乾燥物〕 燒米・鰹堅魚ノ干シ固メタモノガ嬉マレタ、祝儀用ノ熨斗鮑・鰹節・昆布・搗栗・串柿等ハ此時代ノ遺風ナラン

通貨ノ狀態 〔本朝十二錢〕

隆平永寶（延曆十五年）・富壽神寶（弘仁九年）・承和昌寶（承和二年）・其他和銅ノ鑄造ヨリ、乾元大寶（天德二年）ニ至ルマデ二百五十年間ニ十二種ノ銅錢ガ鑄造サレタ之ヲ本朝十二錢ト云フ

〔貨幣制度ノ失敗〕 當時猶經濟狀態幼稚ニシテ通貨ノ必要ナキモノ多ク、又富メルモノハ死藏シ、又ハ改鑄ニ品質劣惡ノモノアリテ其勘定不當ナルコト多ク、又私鑄行ハレテ不正ヲ生ズル等ノ原因ニヨリテ流通混亂シ物議盛ニ起リ遂ニ寬和二年ニハ錢通杜塞シ米穀絹布ヲ以テ財ノ尺度トシ準布・準絹・準米等貨幣ノ代用ヲナスニ至レリ、マタ唐錢開元通寶、宋朝ノ諸錢渡來シ我國ノ錢貨ヨリ精良ナル故國民ハ專外國錢ヲ歡迎セリ唐制摸倣ニヨリテ起レル我國貨幣制度ハ未ダ我國情ニ適ヤズ全ク失敗ニ終リ天德以後數百年ノ間マタ貨幣ノ鑄造行ハレザリキ

時代	天皇	皇紀	〔勅撰集〕	〔私撰集・家集〕	〔歌論〕	連歌集	連歌式目
鎌倉	土御門	1862	【勅 8】新古今集（廿卷） 撰進 元久二年（1865） 撰者 源通具 藤原定家 藤原家隆 同有家 同雅經	1853 六百番歌合 千五百番歌合 式子内親王集 長秋詠藻（俊成） ○秋篠月清集（良經）	1854 六百番陳狀（顯昭） 1857 古來風體抄（俊成） 無名秘抄（鴨長明） 1869 近代秀歌（定家）		
		1870					
	四條		【勅 9】新勅撰集（廿卷） 撰進 貞永元年（1892） 撰者 藤原定家	○金槐集（源實朝） ○拾玉集（慈圓和尚） 小倉百人一首 ○壬二集（壬生二位家隆）	詠歌大概（同上） 1879 毎月抄（同上） 詠歌大概（同上） 賢註密勘（同上） 和歌口傳（家隆） 後鳥羽院口傳		
		1900					
	後深草		【勅10】續後撰集（廿卷） 撰進 建長三年（1911） 撰者 藤原爲家	○拾遺愚草（定家） 同 員外（同上）	八雲御抄（順德院） 1913 奏覽狀（仙覺律師）		〔八雲御抄の内〕 （順德院）
	龜山		【勅11】續古今集（廿卷） 撰進 文永二年（1925） 撰者 藤原爲家	1924 瓊玉和歌集（宗尊親王）			
		1930					
倉	後宇多		【勅12】續拾遺集（廿卷） 撰進 弘安元年（1938） 撰者 藤原爲氏	1932 風葉和歌集（編者未詳）	よるの鶴（阿佛尼） 庭のをしへ（同上） 1955 野守鏡（千種有房）		1938 建治式（藤原爲相）
		1960					
	後二條		【勅13】新後撰集（廿卷） 撰進 嘉元元 撰者 藤原爲世	1961 隣女和歌集（雅有）			
	花園		【勅14】玉葉集（廿卷） 撰進 正和二 撰者 藤原爲兼		1975 歌苑連署事書		
	後醍醐		【勅15】續千載集（廿卷） 撰進 元應二 撰者 藤原爲世		1976 與儀抄刊（清輔）		
			【勅16】續後拾遺集（廿卷） 撰進 嘉暦元 撰者 爲藤・爲定				
		1990			1986 和歌庭訓抄（爲世）		
室	後村上		【勅17】風雅集（廿卷） 撰進 貞和二年（1996） 撰者 花園上皇			【准勅】 2016 菟玖波集（廿卷） 延文元年 二條良基撰	
吉			【勅18】新千載集（廿卷） 撰進 延文四年（2019） 撰者 藤原爲定				
野		2020					
時			【勅19】新拾遺集（廿卷） 撰進 貞治二年（2023） 撰者 藤原爲明 僧頓阿	【准勅】 2041 新葉集（廿卷） 弘和元年 宗良親王撰	2023 愚問賢註（頓阿） 2026 詞林釆葉抄（由阿） 2034 井蛙抄（頓阿） 〃 水蛙眼目（同上）		2032 菟玖波問答（良基）
代	後龜山	2051	【勅20】新後拾遺集（廿卷） 撰進 至徳元年（2044） 撰者 藤原爲遠 同爲重	李花集（宗良親王） 草庵集（頓阿法師）	2047 近來風體抄（良基）	玉梅集（良基）	2032 連歌新式（良基） 〔應安新式〕

町時代

後小松
稱光
2080
後花園
2110
2140
後土御門
後柏原
2170
後奈良
2200
正親町
2230
後陽成
2262

【勅21】 新續古今集 (廿卷)
撰進 永享十一年 (2098)
撰者 飛鳥井雅世

【和歌勅撰の最終】

2018 草根集 (正徹)
2026 宗良親王三百首
2154 東常緣集 (東常緣)
×碧玉集 (冷泉政爲)
×柏玉集 (後柏原天皇)
×雪玉集 (三條西實隆)
冷泉爲和卿集
稱名院集 (公條)
春霞集 (毛利元就)
慕景集 (太田道灌)
三光院實澄公集

2063 和歌所へ不審の條々 (今川了俊)
2066 言塵集 (同上)
2068 耕雲口傳 (藤原長親)
2069 辨要抄 (今川了俊)
2077 落書露顯 (同上)
2078 なぐさめ草 (正徹)
2090 正徹物語 (正徹)
2021 さゝめこと (心敬)
文明中東野州聞書(錄者未詳)
歌林良材集 (一條兼良)
梁塵愚案抄 (同上)
2246 詠歌大概抄 刊(幽齋)

應詞百韻 (梵燈庵)
馬上集 (心敬)
2129 河越千句 (心敬・宗祇)
2146 竹林抄 (宗祇)
2148 水無瀨三吟三百韻 (宗祇・肖柏・宗長)
2154 兼載公獨吟千句
2155 新莬玖波集 (宗祇)
2162 園塵 (兼載)
大原三吟 (宗祇・宗長・基佐)
2174 犬莬玖波集 (宗鑑)
春夢草 (肖柏)
2188 名號百韻 (宗長)
壁草 (同上)
2197 伊與千句 (守武)
2200 飛梅千句 (守武獨吟)
2209 荒木田守武句集
2223 紹巴獨吟千句
白髮集 (紹巴)
2254 雨吟千句 (紹巴・昌叱)

2077 梵燈庵主返答書 (梵燈庵)
2112 新式追加 (兼良・宗砌)
〃 花のまがき (宗砌)
2121 さゝめごと (心敬)
2130 吾妻問答 (宗祇)
老のくり言 (心敬)
2136 連珠合璧集 (南華老人)
2139 老のすさみ (宗祇)
2148 心敬僧都庭訓 (兼載)
2152 連歌本式 (同上)
2155 片端 (專順)
2158 若草記 (兼載)
和漢篇 (兼良)
2162 新式今案 (實隆・肖柏)
2179 雨夜記 (宗長)
2185 伊勢論語 (守武)
闇夜一燈 (宗牧)
胸中抄 (宗牧)
安養三卷集 (安養)
2246 連歌至寶集 (紹巴)
2260 千句の法度 (昌叱)

俳諧

2258 貞德花本の稱號を受く

【勅】ハ勅撰 【准勅】ハ准勅撰 ○ハ六家集 ×ハ三玉集

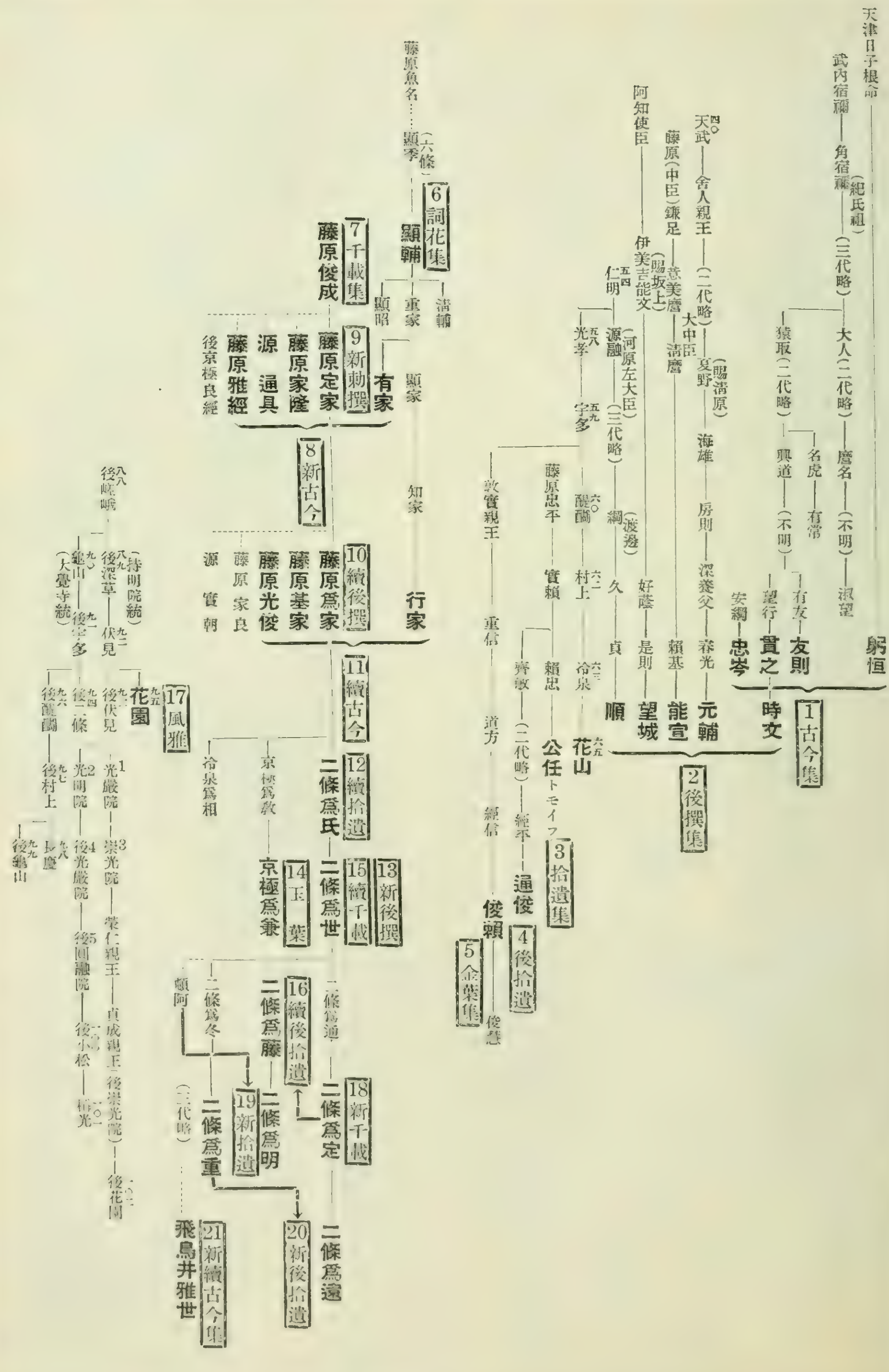
二十一代集一覽表

〔寂蓮〕〔爲明〕〔爲遠〕ハ中途死、(大)ハ大覺寺派、(持)ハ持明院派

八代集（1〜8）・三代集（1〜3）・二條家三代集（＊印）・十三代集（9〜21）

時代	集名	卷數	歌數	序	撰者	勅院宣	撰進年次	紀元	中間年數	部立	代表歌人（歌數）
平安時代（前期）	1 古今	二〇	一、一一一	假名・眞字	紀貫之・紀友則・凡河內躬恒・壬生忠岑	醍醐天皇	醍醐 延喜五	1565	萬葉ヨリ一四六	春上下、夏、秋上下、冬、賀、離別、羇旅、物名、戀五、哀傷、雜上下、雜體、御歌所歌	貫之九八、躬恒五五、友則四五、素性四三、忠岑三〇、業平三〇、伊勢二二、敏行一九、深養父一八、小町一八、遍照一六、
平安時代（前期）	2 後撰	二〇	一、四二六		源順・淸原元輔・紀時文・大中臣能宣・坂上望城	村上天皇 天曆五	村上 天曆五	1611	四六	春上中下、夏、秋上中下、冬、戀六、雜四、離別、羇旅、慶賀、哀傷、	貫之七五、伊勢六五、兼輔二四、躬恒二三、大輔一六、師輔一三、業平一一、忠岑一〇、實賴九、素性七
平安時代（中期）	3 拾遺	二〇	一、三五一		花山法皇 一說 藤原公任		一條 A長德長保頃 B長保三	1661	五〇	春、夏、秋、冬、賀、別、物名、雜上下、神樂、戀五、雜春、雜秋、雜賀、雜戀、哀傷、	貫之一〇七、人麿一〇三、能宣五九、元輔四八、兼盛三八、輔相三七、躬恒三四、順二七、伊勢二五、惠慶一八、公任一三、
平安時代（後期）	4 後拾遺	二〇	一、二二〇	假名	藤原通俊	白河天皇 承保二	白河 應德三	1746	B說八五	春上下、夏、秋上下、冬、賀、別、旅、哀、戀四、雜六、【神祇・釋教】	和泉式部六七、相模四〇、赤染衛門三二、能因三一、伊勢大輔二七、元輔二六、能宣二六、道濟二二、長能二〇、
平安時代（後期）	5 金葉	一〇	七一六		源俊賴	白河天皇	崇德 大治二	1787	四一	春、夏、秋、冬、賀、別、戀上下、雜上下、【連歌】	俊賴三五、經信二六、公實二五、顯季二〇、長實一五、忠通一五、顯輔一四、永緣一一、行尊九
平安時代（後期）	6 詞花	一〇	四一一		藤原顯輔	崇德天皇 天養元	近衞 仁平元	1811	二四	春、夏、秋、冬、賀、別、戀上下、雜上下、	好忠一七、道命一七、和泉一六、匡房一四、俊賴一一、花山院九、赤染八、能宣八、顯輔六、崇德上皇六、
平安時代（後期）	7 千載＊	二〇	一、二八五	假名	藤原俊成	後白河法皇 壽永二	後鳥羽 文治四	1848	三七	春上下、夏、秋上下、冬、離別、羇旅、哀傷、賀、戀五、雜上中下、釋教、神祇、	俊賴五二、俊成三六、基俊二七、崇德院二三、俊惠二二、道因二〇、淸輔一九、西行一七、實定一五、和泉二一、匡房一七、長能六、
鎌倉室町時代	8 新古今	二〇	一、九七九	假名・眞字	藤原定家・同家隆・同有家・同雅經・源通具・〔寂蓮〕	後鳥羽上皇 建仁元	土御門 元久二	1865	一七	春上下、夏、秋上下、冬、賀、哀傷、離別、羇旅、戀五、雜上中下、神祇、釋教、	西行九四、慈圓九一、良經七九、俊成七二、式子內親王四九、定家四七、家隆四二、寂蓮三九、後鳥羽上皇三五、貫之三二、
鎌倉室町時代	9 新勅撰＊	二〇	一、三七六	假名	藤原定家	後堀河天皇	後堀河 貞永元	1893	二七	春上下、夏、秋上下、冬、賀、羇旅、神祇、釋教、戀五、雜五、	家隆四三、良經三〇、俊成三五、公經三〇、道家二五、慈圓二四、實朝一九、實氏一六、定家一五、雅經二〇、相模一八、
鎌倉室町時代	10 續後撰＊	二〇	一、三六八		藤原爲家	後嵯峨上皇	後深草 建長三	1911	一九	春上中下、夏、秋上中下、冬、神祇、釋教、戀五、雜上中下、羇旅、賀、	定家四三、實氏三一、良經二七、俊成二六、後嵯峨院二〇、家隆一八、基俊一四、後鳥羽院一七、
鎌倉室町時代	11 續古今	二〇	一、九二五	假名・眞字	藤原爲家・同基家・同行家・同光俊	後嵯峨上皇	龜山 文永二	1925	一四	春上下、夏、秋上下、冬、神祇、釋教、離別、羇旅、戀五、哀傷、雜上中下、賀、	宗尊親王六七、實氏六〇、定家五六、後嵯峨帝五四、後鳥羽院四九、爲家四二、家隆四一、
鎌倉室町時代	12 續拾遺	二〇	一、四六一		二條爲氏(大)	龜山上皇	後宇多 弘安元	1938	一三	春上下、夏、秋上下、冬、雜春、雜秋、羇旅、賀、戀五、雜上中下、釋教、神祇、	爲家四一、後嵯峨院三三、定家二八、實氏二八、俊成二二、爲氏二一、龜山院二〇、
鎌倉室町時代	13 新後撰	二〇	一、六〇六		二條爲世(大)	後宇多上皇	後二條 嘉元元	1963	二五	春上下、夏、秋上下、冬、離別、羇旅、釋教、神祇、戀六、雜上中下、賀、	定家三三、爲家二八、爲氏二七、龜山院二五、後二條一八、爲世一一、後嵯峨院二五、家隆一八、
鎌倉室町時代	14 玉葉	二〇	二、七八七		京極爲兼(持)	伏見上皇	花園 正和元	1973	一〇	春上下、夏、秋上下、冬、賀、旅、戀五、雜五、釋教、神祇、	伏見院七六、定家六八、爲子五九、實兼五七、俊成五六、爲家五三、西行四九、永福門院四三、爲兼三三、
鎌倉室町時代	15 續千載	二〇	二、一五九		二條爲世(大)	後宇多上皇	後醍醐 元應二	1980	七	春上下、夏、秋上下、冬、雜體、羇旅、神祇、釋教、戀五、雜上中下、哀傷、賀、	後宇多院五〇、實兼四五、爲氏四一、爲世三四、爲家二七、定家二六、爲定六、
鎌倉室町時代	16 續後拾遺	二〇	一、三四七		二條爲藤・同爲定(大)	後醍醐天皇	後醍醐 正中元	1986	六	春上下、夏、秋上下、冬、物名、離別、羇旅、賀、戀四、雜上中下、釋教、神祇、	爲氏二四、爲家二一、定家二〇、後宇多院一七、後醍醐帝一七、爲藤一二、爲定七、
吉野時代	17 風雅	二〇	二、二〇一	假名・眞字	花園上皇(持)		光明 貞和二	1996	一〇	春上中下、夏、秋上中下、冬、旅、戀五、雜上中下、釋教、神祇、賀、	永福門院七一、伏見院六八、爲兼五一、定家三五、後伏見院三四、進子內親王三二、光嚴院三〇、爲子三〇、
吉野時代	18 新千載	二〇	二、三六四		二條爲定	後光嚴天皇	後光嚴 延文四	2019	二三	春上下、夏、秋上下、冬、離別、羇旅、釋教、神祇、戀五、雜上中下、哀傷、慶賀、	爲世四二、爲定三六、伏見院二七、爲氏二五、後醍醐帝二四、爲子二三、後宇多院二三、光嚴院二〇、尊氏二二、
吉野時代	19 新拾遺	二〇	一、九二〇		〔二條爲明〕死後僧頓阿	後光嚴天皇	後光嚴 貞治三	2023	四	春上下、夏、秋上下、冬、賀、離別、羇旅、哀傷、戀五、神祇、釋教、雜上中下、	爲藤二七、爲世二四、定家二四、爲家二三、伏見院二〇、尊氏一六、義詮一四、爲明一一、頓阿九、家隆一六、
吉野時代	20 新後拾遺	二〇	一、五五四	假名	〔二條爲遠〕死後同爲重	後圓融天皇 永和元	後小松 永德二(序) 至德元(成)	2044	二一	春上下、夏、秋上下、冬、雜春、雜秋、離別、羇旅、戀五、雜上下、釋教、神祇、	良基二八、爲定二七、爲重二三、義滿一九、尊氏一八、定家一八、爲遠八、宗尊親王一一、
吉野時代	21 新續古今	二〇	二、一四四	假名・眞字	飛鳥井雅世	後花園天皇 永享五	後花園 永享十(序) 同十一(成)	2098	五四（古今ヨリ五三六）	春上下、夏、秋上下、冬、賀、釋教、離別、羇旅、戀五、哀傷、雜上中下、神祇、	雅緣二七、良經二七、後小松院二四、俊成二一、雅世一八、後鳥羽院一八、定家一八、頓阿一八、雅經一七、義教一七、雅有一四、

二十一代集撰者系統表



天津日子根命
武内宿禰
角宿禰（紀氏祖）
（三代略）
大人（二代略）
麿名
（不明）
淑望
躬恒
猿取（二代略）
名虎
有常
興道
（不明）
有友
友則
望行
貫之
安綱
忠岑
時文
1 古今集
四〇 天武
舍人親王
（二代略）
夏野（賜清原）
海雄
房則
深養父
春光
元輔
藤原（中臣）鎌足
意美麿（賜坂上）
大中臣 清麿
頼基
能宣
阿知使臣
伊美吉能文
好蔭
是則
望城
2 後撰集
五四 仁明
源融（河原左大臣）
（三代略）
綱（渡邊）
久
貞
順
五八 光孝
五九 宇多
六〇 醍醐
六二 村上
六三 冷泉
六五 花山
藤原忠平
實頼
頼忠
公任トモイフ
齊敏
（二代略）
経平
通俊
3 拾遺集
敦實親王
重信
道方
経信
俊頼
俊恵
4 後拾遺
5 金葉集
藤原魚名
顯季（六條）
6 詞花集
顯輔
清輔
重家
顯昭
顯家
知家
行家
有家
7 千載集
藤原俊成
9 新勅撰
藤原定家
藤原家隆
源通具
藤原雅經
後京極良經
8 新古今
10 續後撰
藤原爲家
藤原基家
藤原光俊
藤原家良
源實朝
11 續古今
12 續拾遺
二條爲氏
京極爲教
冷泉爲相
13 新後撰
15 續千載
二條爲世
14 玉葉
京極爲兼
二條爲通
16 續後拾遺
二條爲藤
二條爲冬
頓阿
18 新千載
二條爲定
19 新拾遺
二條爲明
二條爲重
（三代略）
20 新後拾遺
二條爲遠
21 新續古今集
飛鳥井雅世
八八 後嵯峨
八九 後深草（持明院統）
九〇 龜山（大覺寺統）
九二 伏見
九一 後宇多
九三 後伏見
九五 花園
17 風雅
九四 後二條
九六 後醍醐
九七 後村上
九八 長慶
九九 後龜山
1 光嚴院
2 光明院
3 崇光院
4 後光嚴院
5 後圓融院
榮仁親王
貞成親王
後崇光院
一〇二 後花園
一〇〇 後小松
一〇一 稱光

時代	集名	巻數・歌數	序	撰者	撰輯年代	部立	摘要
奈良	萬葉集	二〇巻 四、四九六		橘諸兄・大伴家持（三三頁參照）	天平寶字三年（一四一九）	雜、相聞、挽歌、譬喩、四季雜、四季相聞・此外羈旅、悲別、問答、正述心緒、寄物陳思、東歌、防人歌	仁德帝より淳仁帝天平寶字三年迄の（長歌・短歌・旋頭歌）の三體を收む。代表作家は家持四六四、憶良[illegible]、坂上郎女七九、人麿七六、旅人七四、赤人四九、笠金村四〇、笠郎女二九首等。
平安	新撰萬葉集（一名菅家萬葉）	二巻 二六六	眞字	上巻 菅原道眞 下巻 源相公？	上巻、寛平五年 下巻、延喜十三年（一五五三―）	（上）（下）春、夏、秋、冬、戀、女郎	萬葉假名で記し、扶桑略記には上下二巻共道眞の撰とあるが、上巻のみ道眞の撰で下巻は別人の撰であらう。或云源相公の撰。
	新撰和歌集	四巻 三六〇	眞字	紀貫之	延長八年（一五九〇）	春秋、夏冬、賀哀、別旅、戀雜	醍醐天皇の勅命により貫之土佐守在任中に撰したるも、延長八年天皇崩御のため勅撰の列に入らず。本集の歌は悉く對偶連書の形に編纂されてある。
	古今和歌六帖	一〇巻 四、六九六		紀貫之女（一説兼明親王）	未詳	第一帖、春、夏、秋、冬、天、第二帖、山、田、野、都、田舍、宅、人、佛事、第三帖、水、第四帖、戀、祝、別、第五帖、雜思、服飾、色、錦綾、第六帖、草、虫、木、鳥	別名「紀氏六帖」又は「紀家六帖」、撰者には諸説あるも普通貫之女と云ふ。
	續詞花和歌集	二〇巻 九八八		藤原清輔	治承元年（一八三七）	春上下、夏、秋上下、冬、賀、神祇、哀傷、釋教、戀上中下、別、旅、雜上中下、物名、戲咲	二條天皇の勅命により父顯輔の「詞花集」に倣ひて撰したるも、完成せざるうち天皇崩御のため勅撰の列に入らず。
	月詣和歌集	一二巻 一、二〇〇	假名	賀茂重保	壽永元年（一八四二）	一月、二月、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月	別雷社の神主賀茂重保が俊惠法師等を語らひて十二月の宮詣の歌を列ね加茂社に奉納せるもの、法樂和歌の古きものとして有名。
鎌倉室町	現存和歌六帖	一巻 八五〇		未詳	建長元年（一九〇九）	無し	後嵯峨院の命により草木花鳥の詠を集めたもの、作家百九十七人。
	風葉和歌集	二〇巻 一、四七八	假名	未詳	文永八年（一九三一）	春上下、夏、秋上下、冬、神祇、釋教、離別、羈旅、哀傷、賀、戀五、雜三	勅撰集に倣ひ古今の物語中の歌を集めたもの、元祿三年露垂子の奥書・寶永四年野村尚房の跋文がある。
	新和歌集	一〇巻 八七二		二條爲氏	未詳	春、夏、秋、冬、賀、神祇、釋教、離別、羈旅、哀傷、戀上下、雜上下	爲氏宇都宮在中の撰、一名「宇都宮打聞新式和歌集」、古今以後百八十六人の歌を集む、代表作家は蓮生法師九九、藤原時朝五一、同景綱四八、泰綱四二、淨忍法師四〇首等
	續門葉和歌集	一〇巻 一、〇〇〇	眞字	吠若麿・嘉寶麿	嘉元三年（一九六五）	春上下、夏、秋上下、冬、戀、雜上下、釋教	文治年間に出來た「門葉和歌集」の後を次ぎ以後の僧侶の歌を集む。
	夫木和歌抄	三六巻 一六、〇三[illegible]		藤原長清	延慶三年頃（一九七〇）	春六、夏三、秋六、冬三、雜一八（植物上下・居所上下・雜物上下・人事）	自跋によれば、中古の勅撰・家集にもれたるものを集め、夫木の名は靈夢によりて扶桑の字より取ったと云ふ。
吉野時代	藤葉和歌集	六巻 六四四		未詳	吉野朝頃	春、夏、秋、冬、戀上下	「風葉和歌集」及「新葉集」と併せて南朝三葉集と云ふ。後醍醐天皇吉野の行宮に於ける御撰と傳ふるも、集中には北朝作家の作品が多い故疑はしい。
	新葉集	二〇巻 一、四二〇		宗良親王	弘和元年（二〇四一）	春上下、夏、秋上下、冬、離別、羈旅、神祇、釋教、戀五、雜上中下、哀傷、賀	南朝方の歌を傳へんため元弘より弘和迄の作を集め給へるもの、代表歌人は後村上帝一〇〇、宗良親王九九、長慶天皇五三、家賢五二、師賢四九、後醍醐帝四六、公泰四五、尊良親王四四等
江戸	類題和歌集	刊本三一冊 一二、〇〇〇		後水尾天皇	延寶中（二三三三―）	春、夏、秋、冬、戀、公事	二十一代集以後の諸家集から撰出し題によりて分類記列したもの。撰者に就ては異説あるも普通後水尾天皇御撰と云ふ。
	林葉累塵集	一〇巻 一、三六〇		下河邊長流	寛文十年（二三三〇）	春、夏、秋、冬、戀、雜	堂上和歌に對する反抗的機運から、武・農・僧・自詠一五〇餘首等官位なき者のみの歌を集む。

六條源家略系

- 敦實親王—重信
  - 通方
    - 經長
    - 經親
    - **經信**（後拾遺作者）
      - 通時（金葉作者）
      - **俊頼**「金葉撰者」（金葉作者）
        - 俊重（千載作者）—俊秀（千載作者）
        - **俊惠**（詞花作者）—頼圓（千載作者）
        - 俊盛—**惠慶**（千載・新古今作者）
        - 待賢門院新少將
    - 經隆（後拾遺作者）
  - 致方（拾遺作者）
  - 相方（拾遺・後拾遺作者）

御子左家略系

- 長家（後拾遺作者）—忠家—俊忠
  - **俊成**「千載撰者」（詞花作者）
    - **定家**「新古今撰者」「新勅撰撰者」（千載作者）
      - **爲家**「續後撰撰者」「續古今撰者」（新勅撰作者）
        - **爲氏**「續拾遺撰者」（續後撰作者）—**爲世**「新後撰撰者」「續千載撰者」（續拾遺作者）……【二條】
        - 爲教（續後撰作者）—**爲兼**「玉葉撰者」（續拾遺作者）……【京極】
        - 爲顯
        - **爲相**（新後撰作者）—爲秀（風雅作者）
          - 爲邦
          - 爲尹（新後拾遺作者）
            - 爲之……【上冷泉】
            - 持爲……【下冷泉】
    - 定長（法名寂蓮）（千載作者）

六條藤家略系

- 顯季（後拾遺作者）
  - 長實
  - 家保—家成—實教
  - **顯輔**「詞花撰者」（金葉作者）
    - **清輔**（千載作者）—經家—家衡
    - 重家—顯家（千載作者）—知家（新古今作者）—**行家**「續古今撰者」（千載作者）
    - **顯昭**（千載作者）—**有家**「新古今撰者」（千載作者）—顯氏—實氏
    - 季經（千載作者）—保季

飛鳥井家略系

- **雅經**「新古今撰者」
  - 雅教（新勅撰作者）
  - 教定（續後拾遺作者）—雅有（續古今作者）
    - 雅顯—雅行（續後拾遺作者）
    - 雅孝（新後拾遺作者）
      - 經有
      - 雅宗（新千載作者）—雅光（新拾遺作者）
      - 雅冬（新千載作者）
      - 雅家（新千載作者）—雅縁（新後拾遺作者）
        - **雅世**「新續古今撰者」（新續古今作者）—雅親
        - 雅永（新續古今作者）

時代	天皇	紀元	延年舞	田樂	猿樂
平安時代		1451	1847 文治三年源頼朝信濃白拍子を召して延年舞を見る 1848 文治四年九月後白河院首楞嚴院にて延年舞を見給ふ	1756 永長元年京都に大田樂あり 洛陽田樂記（大江匡房） 近衛帝の頃專業の田樂法師出で本座新座の二に分る	1412 天平勝寶四年四月東大寺大佛開眼式の後唐散樂行はる 1521 貞觀三年六月靈相撲の後散樂行はる 1623 散樂策問（村上天皇） 1625 康保二年八月村上天皇清涼殿前にて猿樂を見給ふ 新猿樂記（藤原明衡） 1835 安元元年頃猿樂を專業とする猿樂法師あり
鎌倉	後鳥羽 土御門 後醍醐	1851	1854 建久五年若宮八幡の僧徒延年舞を舞ふ 1859 正治元年八月東大寺に延年會あり 1871 建曆二年東大寺華嚴會に延年舞あり、延年舞流行す 1912 建長四年維摩會の後延年舞あり 1963 嘉元元年興福寺大會に延年風流あり	1976—1993 北條高時の頃田樂盛行す	1860 正治二年十二月奈良猿樂法師御前に召さる 1862 建仁二年二月猿樂法師御召に依りて參朝し藝を演ず
吉野時代	後村上 長慶 後龜山	1996	2000 曆應三年八月奈良法隆寺に延年風流開口あり	2003 康永二年十一月京都祇園に社頭田樂あり 2009 貞和五年六月四條河原勸進田樂の時一忠・花夜叉等戀の立合をなす	2009 貞和五年六月四條河原猿樂棧敷崩壞す
室	後小松	2051		2013頃 文和年中京都祇園勸進田樂の時四匹の鬼の能演ぜらる 2034 文中三年南都法園院裝束賜の能の時喜阿炭燒の能を演ず 2051 明德二年九月足利義滿田樂猿樂を見る 2076 應永二十四年八月足利義持南都にて田樂を見る	2034 應安七年義滿新熊野にて猿樂を見る、此時觀阿彌翁を演ず、當時大社寺奉仕の猿樂座に奈良の觀世・金剛・寶生・金春四座、比叡の日吉・山階・下阪三座、伊勢の和屋・勝田・主司の三座、住吉の矢田・榎並・法成寺の三座あり 2044 至德元年駿河淺間權現に猿樂能あり、五月觀阿彌歿（52歲） 2060 花傳書（世阿彌） 2068 應永十五年義滿北山別莊にて猿樂能を天覽に供す 2070 應永十七年六月足利義持島津元久邸に觀世大夫の猿樂を見る 2079 別紙口傳（世阿彌） 2080 至花道書（世阿彌） 此頃能樂大成、曲目も漸次增加し猿樂能盛行す

謡曲
一番目
〔脇能・神事物〕
翁
高砂
鶴亀
龍田
竹生島

狂言
脇狂言
〔祝言物〕
夷大黒
福の神
末廣がり
〔百姓物〕
勝栗
三人百姓
昆布柿

平曲
後鳥羽院の時信濃前司行長平家物語を作り生佛に語らしむ

1861 建仁元年十月熊野御幸池田王子にて琵琶法師に賜物

鎌倉末頃平曲の名手城一あり、其門弟に城元・如一出で八坂一方の二流に分る

1978 文保二年八坂流祖城元歿す

2031 應安四年明石檢校（覺一）歿す

應永・永享頃椿一檢校・城竹檢校等出で平曲盛行す

室町末頃波多野檢校孝一・前田檢校九一出で波多野・前田の二流起る

宴曲
鎌倉中頃より室町へかけて宴席の間に流行す

1956 眞曲抄（程明空）
1961 宴曲集・宴曲抄
究百集（程明空）
1966 拾菓集（同上）
1974 拾菓抄・別紙追加曲（作者不明）
1979 玉林苑（作者不明）

曲目
〔四季物〕
春野遊
郭公
月
雪
〔祝言物〕
嘉辰令月
不老不死
花亭祝言
優曇華

幸若舞
2053 明德四年幸若丸生る

町 時 代

2262 後陽成

2125 寛正六年九月足利義政奈良一乗院にて夜延年を見る

曲目

〔連事〕
事不死薬
事潯陽江
事清涼山
事補陀落
成曲水宴

〔大風流〕
西王母事
大佛殿事
太公望事
神仙苑事
蘇武事

〔小風流〕
竹生島事
天人下事
佐保姫事
七賢事
荘子事

2081 應永二八・九兩年增阿彌祇園に田樂を興行す

2106 文安三年三月貞常親王・足利義視等伏心院にて田樂能を見る **文安田樂能記**（院主大僧正賢意）

2125 寛正六年九月足利義政春日社にて田樂猿樂を見る、此時永阿彌女能を勤む、以後田樂能次第に衰微す

曲目

玉津島
羊
菊水
二星
合浦
雪鬼
箱崎
松巴
しのぶ
經政
綾井
ふるごほり

2081 **二曲三體繪圖**（世阿彌）
2083 **能作書**（世阿彌）
2084 應永三十一年四月世阿彌樂頭職となる
2089 永享元年五月室町御所に觀世寶生出合猿樂能あり此年觀世十郎世阿彌仙洞御所出入禁止さる
2090 永享二年三月後崇光院能御覽 **申樂談儀・習道書**（世阿彌）
2092 **夢跡一紙**（世阿彌）
2093 永享五年觀世三郎糺河原に勧進能興行四月音阿彌樂頭職となる **七十以後口傳**（世阿彌）
2094 永享六年世阿彌佐渡へ流さる
2096 **金島集**（世阿彌）
2115 嘉吉三年世阿彌歿（81歳） 五音次第（金春禪竹）
2116 **六輪一路・拾玉德花**（禪竹）
歌舞髓腦記（禪竹）
2120 **五音三曲集**（禪竹）
2124 寛正五年四月音阿彌勧進能を糺河原に興行す、此時狂言二〇番演ぜらる、此頃狂言盛行す **糺河原勧進猿樂記**
2128 **圓滿井座法式**（禪竹）
2165 永正年中金春大夫粟田口に勧進能を興行す **粟田口猿樂記**（僧尊應）
2184 **能本作者註文**（吉田兼將）
2242 天正十年五月織田信長安土惣見寺に梅若大夫を召し能を見る
2445 天正十三年七月豐臣秀吉猿樂能を天覽に供す
2453 文祿二年十月紫宸殿前に大能樂あり、此時秀吉、家康前田利家等と狂言（耳引）を演ず
文祿二年禁裏御能組

二番目

〔修羅物〕
田村
八島
箙
兼平
清經

三番目

〔鬘物〕
熊野
松風
羽衣
采女
井筒

四番目

〔狂物・現在物〕
隅田川
橋弁慶
七騎落
鉢木
安宅

五番目

〔鬼物〕
石橋
紅葉狩
船弁慶
鞍馬天狗
土蜘蛛

六番目

〔祝言物〕
岩船
金札
猩々

二番目狂言

〔大名物〕
萩大名
靱猿
二人大名

雑狂言

〔冠者物〕
栗燒
附子
棒縛

〔坊主物〕
宗論
無布施經
魚說法

〔聟物〕
水論聟
折紙聟
船渡聟

〔座頭物〕
三人片輪
井礑
聾座頭

〔盗人物〕
瓜盗人
子盗人
文山賊

〔鬼物〕
鬼養子
神鳴
節分

〔連歌物〕
盗人連歌
大國連歌
歌相撲

〔参詣物〕
鞍馬詣
竹生島詣
清水

〔系圖物〕
薺薬煉
酢薑
牛馬

〔山伏物〕
柿山伏
蟹山伏
梟山伏

曲目

〔讀物〕
勧進帳
腰越
請文
八島院宣
康頼

〔五句物〕
城南離宮
都遷
高野巻
還亡(玄昉)
大塔建立

〔炎上物〕
清水炎上
三井寺炎上
善光寺炎上
奈良炎上
内裏炎上

〔揃物〕
公卿揃
源氏揃
大衆揃
朝敵揃
三草勢揃

〔灌頂五句〕
女院御出家
小原入御
小原御幸
六道沙汰
女院御往生

〔小秘事〕
祇園精舍
延喜聖代

〔大秘事〕
宗論
劍巻
鏡巻

〔頌德物〕
明王德
筆德
五明德
馬德

〔釋教物〕
少林訣
法華
浄土宗
無常

〔神祇物〕
熊野参詣
三島詣
江島景
鶴岡靈威

〔道行物〕
留餘波
海道
旅別秋情
海路

〔物語物〕
伊勢
源氏
狹衣
狹衣袖妻

〔戀愛物〕
遅々春戀
源氏戀
名所戀
龍田川戀

〔詩文物〕
長恨歌
仙家道
文武
朋友

〔雑物〕
六
嬰
風
心
車

2119 長祿三年三條殿にて幸若舞あり
2125 寛正六年八月幸若丸將軍家出入禁止
2127 應仁頃京都を中心として幸若舞流行す
2130 文永十二年五月幸若舞の祖桃井直詮歿（46歳）
室町末頃幸若家は八郎九郎・彌二郎・小八郎の三家に分る
2242 天正十年五月織田信長安土惣見寺に幸若八郎九郎を召して幸若舞を見る

舞の本

〔源平物〕
文覺
敦盛
景清
鎌田

〔曾我物〕
夜討曾我
元服曾我
劍讃歎
和田酒盛

〔義經物〕
鞍馬出
四國落
高館
烏帽子折

〔雑物〕
入鹿
大職冠
信田
張良

時代	天皇	皇紀	〔物語〕	實錄物語	飜譯物語	〔雜纂類〕	〔佛教說話〕	佛教文學	繪卷・繪詞
鎌倉	後鳥羽 土御門	1852				古事談（六卷） 建暦―建保(1871―78) 源　顯兼	寶物集（六卷） 治承二年（1838）以後 平康頼入道		
	順德	1870				續古事談（六卷） 承久元年（1879） 宇治拾遺物語（十五卷） 建保―仁治(1873―1900)	撰集抄（九卷） 承久年中（1879―　） 西行法師？	元久法語　法然 元久年中（1864―65）	
						十訓抄（三卷） 建長四年（1912） 六波羅二﨟 左衞門入道	閑居の友（二卷） 承久四年（1882） 證明房慶政？	教行信證　親鸞 元仁元年（1884）	
	四條 後嵯峨	1900	住吉物語（二卷） 承久―文永（1879―1935） 石清水物語（二卷） 寶治―文永（1907―35）			古今著聞集（廿卷） 建長六年（1914） 橘　成季	發心集（三卷） 承久―正嘉(1879―1918) 鴨　長　明？	三帖和讃　親鸞 康元元年（1916）	
	後深草		苔の衣（二卷） 建長年中（1909―16）	鳴門中將物語（一卷） 建長年中(1909―16)			私聚百因緣集(一卷) 正嘉元年（1917） 住信法師	開目鈔　日蓮 文永七年（1930）	
	龜山	1930	山路の露（一卷） 文永―（1924―　） 世尊寺伊行？		唐鏡（十卷） 文永元年(1924) 茂範			如說修行鈔　日蓮 文永十年（1933）	
	後宇多				唐物語（寫本二卷） 文永年中(1924―35)		沙石集（十卷） 弘安六年（1943） 無住法師	新池御書　日蓮 弘安二年（1939）	
	伏見							身延山御書　日蓮 弘安五年頃(1942)	親鸞上人繪傳 永仁二年（1954）
	後二條	1960	松浦宮物語（二卷）	多武峯少將物語（一卷） 〔一名高光日記〕 （日記部ニモ出ヅ）			雜談集（十卷） 嘉元二年（1964） 無住法師		法然上人繪傳 嘉元・德治頃（―1965―）
	後醍醐		風につれなき物語（一卷）						
		1990							
室（吉野時代）	後村上							三部假名抄　向阿 內容｛歸命本願抄(三卷)　西要抄(二卷)　父子相迎(二卷)｝ 興國四年（2003）	最須敬重繪詞 正平七年（2012） 諏訪大明神繪詞 正平十一年(2016) 繪師草紙 地獄草紙 稚兒の草紙 男衾三郎繪詞 志貴山緣起繪詞 伴大納言繪詞 一遍上人繪詞 異本天神緣起（信光）
		2020							
		2051							

御伽草子

室町時代　後小松 2052 ― 後陽成 2262　（製作年代スベテ不明）

戀愛物

〔戀愛・嫉妬物語〕
忍音物語
櫻姫中將物語
若草物語
雨やどり（時雨の縁）
横笛草紙
のせ猿草子
藍染川
佐伯（さかき）
七人比丘尼
橋姫物語
〔三人法師〕

〔繼子物語〕
鉢かづき
岩屋の草子
落窪草子（小落窪）
秋月物語
美人くらべ
小夜衣
つきみつ草子（月日本地）
花よの姫草子
朝顔の露の宮（寛永整版）
ふせやの物語
〔中將姫本地〕

〔兒物語〕
秋の夜の長物語
鳥部山物語
松帆浦物語
嵯峨物語
辨の草紙
花みつ
足びき
宗祇法師兒教訓
〔幻夢物語〕

傳說物

〔武家物〕
土蜘蛛草紙
酒呑童子
大江山繪詞
浦島太郎
判官都ばなし（鬼一法眼）
御曹子島渡り
田村草子
立烏帽子
俵藤太物語
猿源氏草子
藤袋草紙
淨瑠璃十二段草子
〔毘沙門本地〕
〔梵天國〕

〔仇討物〕
あきみち物語
堀江物語
てこくま物語
はもち中將物語
幻夢物語

本地物

梵天國
天稚みこ物語
貴船本地
青葉の笛
さゞれ石
釋迦の本地
毘沙門本地
熊野本地
嚴島本地
加茂の本地
小町草子
物臭太郎（をたぎの本地）
おもかげ物語
さよひめ

教訓物

三人法師
福富草子
唐絲草子
廿四孝
法妙童子
蛤草子
周防內侍
木村朝治
若草物語
富士の人穴草子
〔鴉鷺合戰〕
〔七草草子〕

擬人物

鴉鷺合戰物語
精進魚類物語（魚鳥平家）
化物草子
付喪神繪詞
柿本系圖
歌に關するもの ― 十二類合戰繪詞 ― 調度歌合 ― 蟲歌合 ― 鳥歌合 ― こうろ（ほ）ぎ草子
精靈物 ― かざしの姫 ― 玉もの前 ― 狐の草子 ― 木幡狐

其他

一寸法師
文正草子
九けつのかひ
祝儀物 ― 濱出草子 ― 梅津長者物語 ― 七草草子 ― 大悅物語 ― 鶴の草子
法談物 ― 大佛供養物語 ― 胡蝶物語
十番物爭
四十二物爭
酒食論
常盤の嫗物語

享保頃　繪入御伽草子　橫本・廿三種輯錄　大坂書肆澁川版
明治二十四年　御伽草子　二卷・前書複刻　今泉定介　畠山健
明治三十四年　新編御伽草子　二卷・二十一種新輯　萩野由之
明治四十一年　室町時代小說集　一卷・十七種新輯　平出鏗二郎
大正三年、有朋堂文庫　御伽草子　一卷・三十九種輯錄　今泉本ニ新加十六種　藤井紫影
昭和三年　近古小說新纂　一卷・十五種新輯　島津久基

（收錄書目）	（刊行年代）
1 朝顔の露の宮	寛永
◎2 ふせやの物語	｜
3 かくれざと	明暦二
4 ほうらい物語	寛文以前？
5 おもかげ物語	萬治三
6 さよひめ	｜
◎7 はもち中將	寛文
8 まんじゆのまへ	寛文十三
◎9 小式部	｜
10 天狗の內裏	萬治二
11 判官みやこばなし	寛文十
12 日本紀	寛永以前？
◎13 九けつのかひ	｜
14 いづみが城	寛文以前？
15 笛の卷	寛永？

〔◎四種ハ從來全ク知ラレザリシモノ〕

明治四十一年　近古小說解題（一四六種）　平出鏗二郎
明治三十六年　〔古代小說史　長谷川福平〕

〔備考〕
御伽草子本「酒顛童子」の原本と思はれるものに「酒顛童子双紙」といふ繪卷がある。この繪卷が轉寫せられる間に、大江山繪詞と伊吹山繪詞との二種が出來た。前者の詞書筆者は兼好法師（或は二條爲世）と云はれて居る。また「猫の草紙」には慶長七年の文見え、最近島津氏發見の近古小說新纂所收「かくれざと・ほうらい物語」は江戶初期の作らしい（著者說）。されば御伽草子は吉野朝の頃より江戶の初頃まで作られたやうである。が多くは作者も年代も未詳なるを以て室町時代に一括する。

時代	天皇	年	詩文集	日記・抄物等
鎌倉	後鳥羽	1852		
	土御門			1824—1860 玉葉（九條兼實）
				1840—1895 明月記（藤原定家）
				1840—1926 吾妻鏡
	四條			1876 後鳥羽帝御記
	龜山			1881 順徳帝御記
	後宇多		1940頃 和漢兼作集（編者未詳）	1970—1992 花園帝御記 四七卷
	花園 後醍醐			
				1982 元亨釋書 卅卷（虎關師錬）
				1994 中正子（中巖圓月）
	後村上	1995		
吉野時代		1996	2000頃 岷峨集 二卷（雪村友梅）	
			〃06頃 濟北集 廿卷（虎關師錬）	
			〃08頃 天柱集（竺仙梵僊）	2011頃 夢窓語錄（夢窓疎石）
			〃23 資實長兼兩卿百番詩合	
			〃24頃 南遊集（別源圓旨）	
	後龜山		〃25頃 松山集（龍泉令）	
			〃34頃 旱霖集 二卷（夢巖祖應）	2002—2048 日工集 四八卷（義堂周信）
室			〃35頃 東海一漚集 三卷（中巖圓月）	
			〃43頃 了幻集 二卷（古劍妙快）	
			〃48頃 空華集 廿卷（義堂周信）	2048頃 三體詩抄（義堂周信）
			〃50頃 隨得集 三卷（龍秋周澤）	
		2051		

中國時代	人物・作品
南宋時代・金時代	陸象山
	朱熹
	陸游
	葉適
	趙秉文
金 1894	元遺山
南宋 1939	
元時代	文天祥
	文章軌範（謝枋得）
	趙子昂
	漢宮秋（馬致遠）
	×西廂記（王實甫）
	×琵琶記（高則誠）
	※×水滸傳（施耐庵）
	※×三國志演義（羅貫中）
2027	
明	高青邱
	劉基
	宋濂

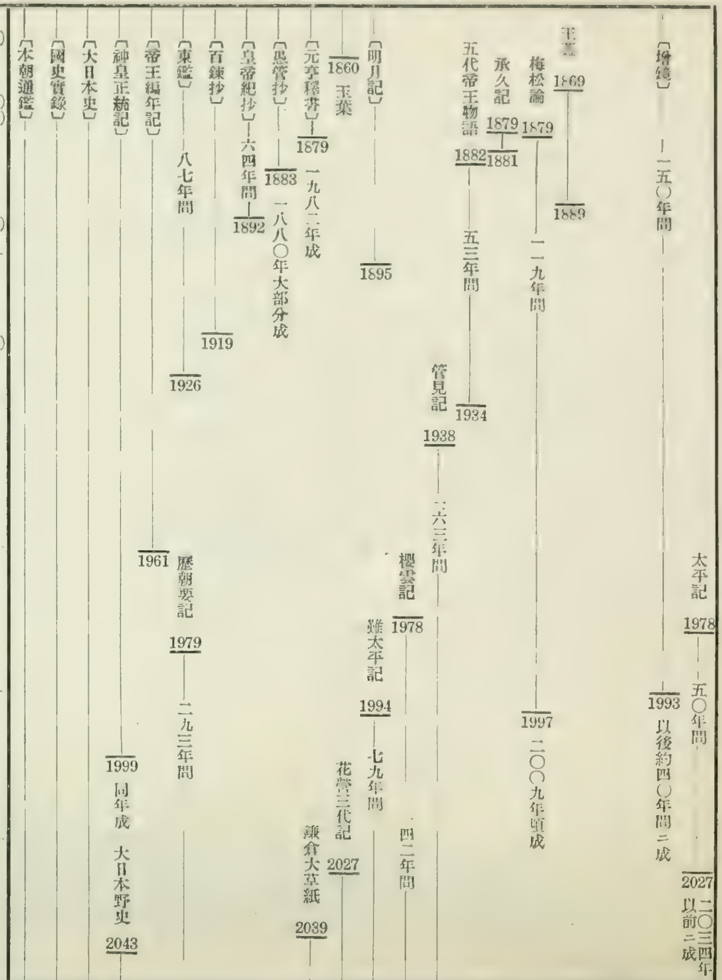
時代	天皇	年	詩文集	日記・抄物・其他	中國	
室町時代	後小松	2052	2061頃 蕉堅稿 二巻（中津絶海）	2066—2112 看聞御記（後崇光院）	明時代	
			2094頃 東海璚華集 四巻（惟肖得巖）	2084頃 前漢書抄（太岳周宗）		方孝孺
		2100	2100頃 花上集（文擧契緘）			
			2106頃 豩菴集（續翠詩集）（江西龍派）	2106頃 天馬玉津沫（江西龍派）		
				2106 臥雲日件錄 二巻（瑞溪周鳳）		
				2110—2187 大乘院寺社雜事記（尋尊・政覺・經尋等）		
	後土御門		2126頃 竹居清事 二巻（慧鳳翔之）	2130 善鄰國寶記 三巻（瑞溪周鳳）		
				2137頃 百衲襖 廿二巻（桃源瑞仙）		
				2137頃 史記抄 廿一巻（同上）		
			2148頃 村菴小稿（村菴靈彥）	2142頃 天下白 廿五巻（萬里周九）		※西遊記（吳承恩）〔宋末元初長春眞人（丘處機）西遊記トハ別本〕
		2150	2153頃 京華集 六巻（横川景三）			
	後柏原			2168頃 家法和點（桂菴玄樹）		何景明
						王陽明（傳習錄） 李夢陽
	後奈良			2190頃 古文眞寶抄 一三巻（笑雲淸三）		
						文徵明 唐順之
						唐詩選（李攀龍） 歸有光
	後陽成			2259 四書集註文之點（文之玄昌）		※金瓶梅（王世貞）
						牡丹亭還魂記（湯臨川）
		2262				

＊ハ小說四大奇書、×ハ元代四大奇書

〔記　録〕巻數ヲ記サザルハ一巻

【史書包括年數】

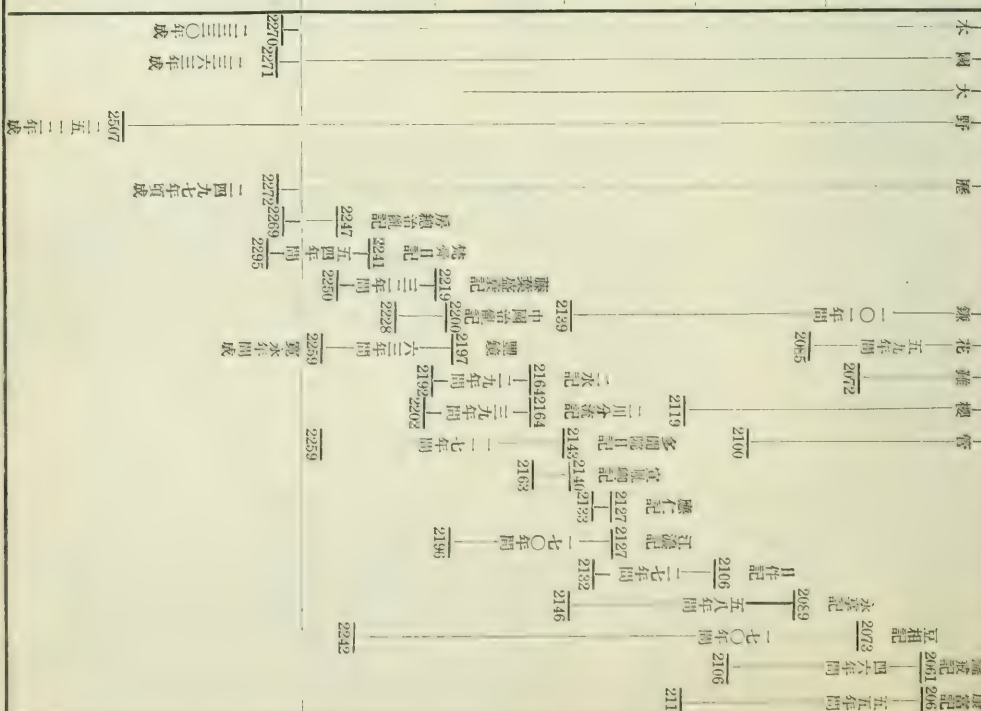
時代	天皇	年	〔雑　史〕	〔記　録〕
鎌倉	後鳥羽	1852		玉葉（六八巻）長寛二年—正治二年(1824—1860) 九條兼實
	土御門	1870		明月記（九六巻）（群書一覧ニヨル）治承四年—嘉禎元年(1840—1895) 藤原定家
	順徳		愚管抄（七巻）承久二年（1880）慈鎮和尚	玉蘂（三〇巻）承元三年—寛喜元年(1869—1889) 藤原道家
		1900	皇帝紀抄	東鑑（五二巻）〔現存五一巻〕治承四年—文永三年(1840—1926) 鎌倉幕府日記〔但前半ハ追記〕
	後深草		百錬抄（十七巻）正元元年（1917）頃	
	亀山	1930	五代帝王物語	
			承久記（二巻）	
		1960	帝王編年記（二七巻）	
	後醍醐		元亨釋書（三〇巻）元亨二年（1982）虎關師錬	
室町 吉野時代	後村上	1990	神皇正統記（六巻）延元四年（1999）北畠親房	梅松論（二巻）正平四年（2009）頃
		2020	〔職原抄〕（二巻）—有職　興國二年（2001）北畠親房	
	長慶			
	後亀山	2051		



時代	天皇	年
室町時代	後小松	2052
		2080
	後花園	2110
		2140
	後奈良	2200
	後陽成	2262
江戸時代	靈元	2263
	東山	
	仁孝	
	孝明	2527

本朝通鑑（二三七巻）寛文十年（2330）林恕
國史實錄（七〇巻）元祿十六年（2363）林恕
大日本史（二四六巻）寶永六年（2369）徳川光圀
歷朝要記（一五〇巻）天保八年（2497）松平賴恕
大日本野史（二九一巻）嘉永五年（2512）飯田忠彦

難太平記 應永九年（2062）今川了俊
花營三代記 貞治六年—應永三二年（2027—2085）室町幕府政所右筆
康富記（中原康富）
薩戒記（中山定親）
櫻雲記
應仁記
鎌倉大草紙
永享記
宣胤卿記（中御門宣胤）
二水記
江濃記
二川分流記
中國治亂記
豆相記
藤葉盛衰記
多聞院日記
房總治亂記
梵舜日記



【備考】(1) 各欄ニ位ノ數字ハ紀元ノ千位百位ヲ略シタルモノ　(2) 一・二・八一卷二卷　(2) ×京都五山　*鎌倉五山

時代	天皇	紀元	〔神社、教派〕	〔祭祀、制度沿革、其他〕	〔寺院、宗派〕	〔名僧、傳道事蹟〕	〔典籍〕
鎌倉	後鳥羽 土御門	1852 1870			**佛教界第二ノ改新**（禪風鎌倉ニ入ル） 60 政子 *壽福寺建立・榮西住 22 頼家×建仁寺建立・榮西住 ? 妙法院門跡（新日吉門跡・天台宗）後白河法皇中興・尊性法親王御入室	59 文覺佐渡ニ配流サル 61 道元京都ニ生ル・叡尊生ル 67 二新宗教ノ迫害 專修念佛ヲ禁ジ・源空ヲ土佐ニ配流 覺心土佐ニ生ル	? 興禪護國論（三・榮西） 58 選擇本願念佛集（三・源空）
	順徳 後堀河	1900	? 唯一神道 卜部兼直神道獨立ヲ計ル 神道大意（一・兼直撰） 81 **淨土眞宗起リ本地垂迹説衰フ**	73 天皇日吉山王ニ行幸（日吉祭ノ盛大） 95 興福寺僧徒岩清水別當ヲ强訴（社寺ノ爭奪起ル）	72 實朝肥後大慈寺建立 84 淨土眞宗 親鸞淨土眞宗ヲ開ク 86 親鸞高田ニ專修寺建立 88 曹洞宗 道元歸朝曹洞宗ヲ傳フ ? *極樂寺（後ノ淨妙寺）建立 ? **大陸交通ト支那僧ノ來朝**	72 源空寂 75 榮西寂 82 日蓮安房ニ生ル 83 道元入宋 89 一遍伊豫ニ生ル	72 一枚起請文（一枚・源空遺誡） 74 喫茶養生記（二・榮西） 84 教行信證（六・親鸞）
	後深草 龜山	1930	13 日蓮番神説ヲ唱フ 番神問答 （一・山王神道ノ繼承）		03 道家 ×東福寺建立・圓爾（臨濟）住 04 波多野義重大佛寺（後ノ永平寺）建立・道元住 11 時頼 *建長寺建立・道隆（臨濟）住 13 日蓮宗 日蓮日蓮宗ヲ開ク 14 普化宗 覺心宋ヨリ普化宗ヲ傳フ 21 六條御堂改築 ×萬壽寺ト改稱 29 師時 *淨智寺建立・正念（臨濟）住	06 宋僧道隆（臨濟）來朝 13 道元寂 20 宋僧普寧（臨濟）來朝 21 日蓮ヲ伊豆ニ配流 22 親鸞寂 29 宋僧正念（臨濟）來朝	06 永平清規（二・道元） 08 高僧和讃（一・親鸞） 11 律宗作持羯磨（一・叡尊） 13 正法眼藏（九五・道元） 20 立正安國論（一・日蓮） 22 八宗綱要抄（二・凝然）
	後宇多	1960	51 伊勢神道 伊勢ノ度會行忠唱導 古老口實傳（一・行忠撰） 五部書・倭姫命世紀・豐受皇大神宮御鎭座本紀・造伊勢二所大神宮寶紀本紀・伊勢二所皇大神御鎭座次第記・同傳記	31 天皇神宮ニ奉幣シ國難ヲ告ゲ給フ	32 覺信・孫如等大谷ニ本願寺建立 34 池上宗仲池上ニ本門寺建立 波木井實長久遠寺建立 36 時宗 一遍時宗ヲ開ク 42 時宗 *圓覺寺建立・祖元（臨濟）住 48 頼瑜（古義眞言）・道範（新義眞言）宗義ヲ爭フ 51 天皇 *南禪寺建立・普門（臨濟）住	31 日蓮ヲ佐渡ニ配流（四年赦免鎌倉ニ歸ル） 40 宋僧祖元・覺圓・徳悟（臨濟）來朝 42 日蓮寂 49 一遍寂 50 叡尊寂 56 幕府寺社奉行ヲ置ク（寺社奉行ノ始） 58 覺心寂 59 宋僧一寧來朝・伊豆ニ幽セラル	32 開目鈔（二・日蓮） 47 華嚴孔目章發悟記（二三・凝然） 55 寶鑰勘註（八・頼瑜） 60 傳光錄（二・紹瑾）
	後醍醐	1990	? 度會家行伊勢神道ヲ鼓吹ス 類聚神祇本源 （十五・家行撰）	? 庶民神宮參拜ノ風起ル	67 南禪寺五山ノ列ニ入ル ? **幕府ノ凋落ト臨濟禪ノ衰運** 81 紹瑾（曹洞）總持寺建立 82 鎌倉極樂寺ヲ淨妙寺ト改稱 84 他阿上人（時宗）清淨光寺（遊行寺）建立 86 赤松圓心大德寺建立 ? **鎌倉禪風京都ニ入ル**	66 後宇多法皇落飾 81 法明融通念佛宗ヲ弘ム 凝然（華嚴）寂 82 勅シテ總持寺ヲ曹洞宗出生道場トス 85 疎石（夢窓國師・臨濟）南禪寺ニ住ス	82 元亨釋書（三〇・虎關師錬）
室町（吉野時代）	後村上	2020	? 北畠親房神器ヲ基トシテ神道ヲ唱導 東家秘傳（一・親房撰） 元々集（八・同上）	91 戰亂ト共ニ齋宮退下	92 大聖寺門跡（御寺御所・臨濟宗）光嚴帝妃入御 94 天皇五山ヲ制定シ南禪寺ヲ五山上位トス 97 天皇花園離宮ニ妙心寺建立・慧玄（臨濟）住 勸修寺門跡（南山科御殿・眞言宗）醍醐天皇勅願所・寬胤法親王御入室 98 十刹ヲ定ム 99 尊氏 ×暦應寺（後ノ天龍寺）建立・疎石（臨濟）住 24 足利直義諸國ニ安國寺建立	92 中巖圓月（臨濟）歸朝 16 無文元選（臨濟）歸朝	93 原民原僧（二・圓月） 04 夢中問答（三・夢窓） 11 補教篇（三・妙葩翻刻） 18 景德傳燈錄（三〇・刊行）
	長慶 後龜山	2051	? 忌部正通神道説ヲ立ツ 神代口訣（五・正通撰）		28 義滿五山十刹ヲ定ム (35) **曹洞禪ノ盛運** 寂靈僧錄ニ任ゼラレ門徒雲集 40 義滿十刹ノ寺班ヲ定ム 43 義滿 ×相國寺建立・妙葩（臨濟）住 46 義滿鎌倉・京都ノ五山班別ヲ定ム 南禪寺ヲ五山ノ上位トシ大德寺ヲ貶ス	40 幕府僧錄司ヲ置ク	25 五燈會元（二〇・夢窓）

時代	天皇	皇紀	神道	神道	佛教	佛教	典籍
室町時代	後小松	2052			53 西譽(淨土)增上寺建立 61 義滿相國寺ヲ五山第一位トス	65 相國寺絶海(臨濟)寂	83 朝鮮王大藏經ヲ獻上 義持朝鮮ニ大藏經梓板ヲ求ム
	稱光	2080			75 聖冏(淨土)傳通院建立		05 壒嚢鈔(七卷・聖冏撰)
	後花園	2110		92 神宮造營(以後停廢)	91 日隆(日蓮)本能寺建立	88 青蓮院座主義圓還俗シテ義教ト改名	20 正信偈大意(一卷・蓮如撰) 24 建仁寺ニ書庫建設
	後土御門	2140	44 唯一宗源神道 卜部兼倶吉田齋場ヲ創建シ卜部神道ヲ大成 三部本書・舊事記・古事記・日本書紀	16 後花園天皇大嘗祭ヲ行フ(以後停廢) 17 應仁ノ亂起リ諸祭祀停廢 46 外宮炎上ニヨリ該朝廷ニ改元	? 眞宗ノ盛運 31 蓮如越前ニ吉崎御坊建立	31 蓮如(眞宗)北國ヲ巡化ス 41 大德寺一休(臨濟)寂	
	後柏原	2170	54 天皇水無瀬宮ヲ創建シ後鳥羽院ヲ勸請	? 卜部ノ神道行事・切紙傳授起ル			
	後奈良	2200	? 一條兼良神儒佛三道ヨリ神道ヲ說ク 日本紀纂疏(二・兼良撰)		81 本願寺門跡(西六條・眞宗) 光教御即位ノ資ヲ獻上ノ功ニヨリ門跡トナル		92 [illegible]
	正親町	2230				30 光佐(眞宗)信長ト戰フ(40年勅命ニ依リ和ス)	
	後陽成	2262	51 家康紅葉山ニ山王權現ヲ祀ル 58 愛宕神社創建 59 豐國神社創建	58 吉田兼見勅命ニヨリ神道護摩ヲ行フ	44 秀吉比叡山ヲ再興 46 秀吉方廣寺建立 55 瑞龍寺門跡(村雲御所・日蓮宗) 秀次ノ母天富下嶋ノ地ニ造寺入庵 62 光壽東本願寺建立・東西本願寺分立	31 信長叡山ヲ燒ク ? 信長本願寺一向一揆ト戰フ 長島(31)・越前(35)・紀伊(37)等 42 信長惠林寺快川(臨濟)等ヲ燒殺ス	

五山

建武元年・暦應四年・至德三年制定 [illegible]

南禪(別格) [illegible]

建仁・東福・[illegible]

十刹

[illegible]

時代	天皇	年代	支那
鎌倉	後鳥羽	1852	宋
	順徳	1870	
	後深草	1900	時代
	亀山	1930	
	後宇多		1939 元
		1960	
室	後醍醐	1990	時
吉野時代	後村上		代
		2020	2028
	長慶		
	後亀山	2051	

支　　那

(作　品)	(筆者)	(年代)
劉公神道碑	〔趙子昂〕	
清華齋帖	〔趙子昂〕	
聖教序	〔臨趙子昂〕	

〔唐　　様〕

(作　品)	(筆　者)	(年代)	(所在)
消息	〔藤原良經〕	(1859)	九條公
處分狀案	〔傳藤原兼實〕	(1869)	九條公
佛舍利奉納願文	〔傳藤原兼實〕		
勸進疏	〔俊　芿〕		泉涌寺
明全戒牒識語	〔道　元〕	(1885)	永平寺
書狀	〔日　蓮〕	(1931)	本滿寺
觀心本尊鈔副狀	〔日　蓮〕	(1933)	法華經寺
御讓狀案	〔伏見天皇〕		伏見宮
弘法大師傳	〔後宇多天皇〕	(1976)	大覺寺
御遺告	〔後宇多天皇〕	(1981)	大覺寺
聯福	〔夢窓國師〕	(1988)	鹿王院
誡太子御書案	〔花園天皇〕	(1990)	伏見宮
御消息	〔後醍醐天皇〕	(1993)	大德寺
詩偈	〔夢窓國師〕	(2005)	
御消息	〔尊圓親王〕	(2014)	谷森氏
大覺寺結夏衆名單	〔尊圓親王〕		帝室博
新札	〔素　眼〕	(2027)	

〔和　　様〕

(作　品)	(筆　者)	(年代)	(所在)
和歌懷紙	〔寂蓮法師〕	(1860)	前田侯
熊野懷紙	〔後鳥羽天皇〕	(1860)	酒井伯・田中伯・近衛公
懷紙	〔藤原家隆〕	(1860)	酒井伯
和歌懷紙	〔藤原公經〕		酒井伯
和歌懷紙	〔藤原雅經〕		
和歌懷紙	〔慈鎭和尚〕		保阪氏
和歌懷紙	〔藤原定家〕	(1884)	酒井伯
小倉色紙	〔藤原定家〕	(1895)	
御置文	〔後鳥羽天皇〕	(1899)	水無瀬宮
寛平歌合	〔傳宗尊親王〕		前田侯・帝室博
深窓秘抄	〔傳宗尊親王〕		大閤堂
告文	〔藤原道家〕	(1906)	九條公
歌仙切	〔藤原爲家〕		原氏・關戸氏
鯉切	〔傳阿佛尼〕		
角倉切	〔傳阿佛尼〕		
筑後切	〔伏見天皇〕		
吉野切	〔後醍醐天皇〕		德川侯
和歌短册	〔兼好法師〕		前田侯
家集	〔兼好法師〕		前田侯
七首御懷紙	〔光嚴院〕		
和歌短册	〔頓　阿〕		前田侯

〔金　石　文〕

(作　品)	(筆　者)	(年代)	(所在)
笠置寺鏡		(1856)	山城
聖天社錫杖		(1857)	武藏
觀心寺鐵燈籠		(1893)	河内
淨橋寺鐘		(1904)	攝津
八幡社銅佛		(1910)	武藏
石手寺鐘		(1911)	伊豫
法華堂前石燈籠		(1914)	東大寺
建長寺鐘		(1915)	相模
般若寺鏡		(1935)	常陸
蓮華寺鐘		(1944)	近江
新田社銅鏡		(1954)	薩摩
光明寺銅佛		(1955)	武藏
圓覺寺鐘		(1961)	相模
古河板碑		(1966)	帝室博
松島御島碑	〔寧一山〕	(1966)	陸前
長谷寺懸佛		(1986)	相模
永平寺鐘		(1987)	越前
輪王寺鐵鋺		(1996)	下野
立川普濟寺碑		(2004)	武藏
風浪神社五重石塔		(2015)	筑後
日部社石燈籠		(2029)	和泉

町	後小松	2052					一向寺銅佛 (2064) 下野
	稱光	2080	明				
	後花園					佛光寺切〔傳堯孝〕	
		2110					
					法華要品講説奥書〔一條兼良〕(2120) 本能寺	古今和歌集奥書〔東常縁〕 伊達伯	香取社鏡 (2126) 下總
					七絶詩〔一休〕 北白川宮		輪王寺鐵塔 (2130) 下野
	後土御門	2140					
時			時	寶賢堂帖（弘治九 2156）	書状〔飯尾宗祇〕 淺野侯	小色紙〔傳太田道灌〕	聖福寺朝鮮鐘 (2162) 筑前
		2170					
					孝經奥書〔三條西實隆〕 御物		關ケ原斷碑 (2189) 美濃
				赤壁賦〔文徴明〕（嘉靖八 2199）	般若心經〔後奈良天皇〕(2200) 三寶院		
	後奈良	2200					
	正親町			停雲館帖〔文徴明〕 草書千字文〔同上〕（嘉靖三〇 2211） 眞賞齋帖〔華氏〕		發句色紙〔後奈良天皇〕 毘沙門堂	
代		2230	代				
				鬱岡齋堂帖〔王肯堂〕	書状〔近衛前久〕(2236) 相良子		春光院洋鐘 (2237) 山城
				餘清齋帖〔吳江村延〕	書状〔細川幽齋〕 酒井伯		日吉社石狛犬 (2237) 美濃
		2262					

時代・紀元・年號

時代	紀元	年號
鎌倉時代	1852	建久三
	〃59	正治
	〃61	建仁
	〃64	元久
	〃67	承元
	〃73	建保
	〃82	貞應
	〃87	安貞
	〃89	寬喜
	〃93	天福
	〃95	嘉貞
	〃99	延應
	1900	仁治
	〃03	寬元
	〃09	建長
	〃19	正元
	〃20	文應
	〃24	文永
	〃38	弘安
	〃53	永仁
	〃59	正安
	〃63	嘉元
	〃68	延慶
	〃72	正和
	〃77	文保
	〃79	元應
	〃81	元亨
	〃89	元德
(一八五二—二〇〇〇)		
室町	1991	元弘 (91 元弘)
	〃94	建武 (94 建武)
		(98 曆應)
	2000	興國
	2006	正平 (2002 康永)
		(15 貞和)
	2030	建德 (16 延文)

摘要

○住吉派出現
○繪卷全盛—當代第一人者光長
繪卷文化ノ完成者土佐派
○宅磨派復興(宅磨四代)
○鎌倉佛畫ノ特色—精巧華麗
○似繪ノ名手信實
○合戰繪卷ノ三名作(平治・蒙古襲來・後三年)
○漢畫ノ新興
○新樣式ノ開拓者明兆
○繪卷佛畫ノ衰退

大和繪 (繪卷物)

土佐派

【土佐正系】

<u>藤原光長</u>（再出）
- 伴大納言繪詞 ——
- 文治五・寫 餓鬼草子 2
- 地獄草子 4 他ニ殘缺
- 病草子 1
- 〔吉備大臣入唐繪詞〕 1

土佐經隆 寬喜中 初メテ土佐ノ唱フ
- 〔雪見御幸繪卷〕 1
- 百鬼夜行繪卷ノ模寫 正和五・成ル
- 西行物語繪卷 2

土佐長隆 文永・永仁頃
- <u>蒙古襲來繪詞</u> 2
- 〔住吉物語繪卷〕 2
- 〔土蜘蛛草子〕 1

土佐吉光 正安中
- <u>法然上人繪傳</u> 48
- ×一遍上人繪傳 10

土佐隆相 正和頃
- 伊勢新名所歌合繪卷 1
- 男衾三郎繪詞 1

土佐行長 元應頃
- 荏柄天神緣起 3 元應元・成
- 〔兒觀音緣起〕 1

土佐光顯 貞和頃
- 直幹申文繪詞 1
- 弘法大師行狀繪傳 1

【土佐別派】

藤原隆信（似繪欄參照）

<u>藤原信實</u>（1837—1925）
- 紫式部日記繪卷 4
- <u>北野天神緣起</u> 8 傳承久中作・根本緣起
- <u>三十六歌仙繪卷</u> 2 天福元年成
- 〔華嚴緣起〕 六卷現存
- 〔繪師草子〕 1
- 〔上げ疊歌仙〕殘缺

法眼 <u>僧圓伊</u> 傳不詳
- <u>一遍上人繪傳</u> 12 正安元年
- 法華經曼荼羅緣起 廿一幅

<u>高階隆兼</u> 延慶・元德頃
- <u>春日權現驗記</u> 20 延慶二年成ル
- 石山寺緣起 7 七卷ノ中初三卷作
- 〔伊勢物語繪卷〕 1

住吉派

<u>住吉慶恩</u> 傳不詳
- <u>平治合戰繪卷</u> 3
- 當麻曼荼羅緣起 2
- 過去現在因果經繪卷 4 建長六年成
- 小柴垣草子 1
- 法華經緣起 殘缺

巨勢支流 <u>飛驒守惟久</u> 元亨貞和頃
- <u>後三年合戰繪卷</u> 3
- 〔破來頓等繪卷〕 1

肖像畫（似繪）

藤原隆能（再出） 平安後期參照

藤原隆信 1801—1864 平重盛・源賴朝外二像

<u>藤原信實</u>
- 三十六歌仙繪卷
- 中殿御會圖 1

藤原爲家 1858—1935
- 〔時代不同歌合〕 殘缺 一說ニ良經筆ト
- 〔隨身庭騎圖〕 1 杉岡映丘氏ハ信實筆トス

作者不詳
- 馬醫繪卷 1 文永四・成
- 東北院職人盡歌合 1
- 後白河法皇御影
- 明惠上人坐禪像
- 柿本人麻呂像

僧豪信 建武曆應
- 花園天皇御影
- 大臣影 2 原本今不傳

後醍醐天皇御影
金澤貞顯像
足利尊氏像

（牛馬似繪）

藤原良經 1829—66

藤原基通 1820—93

法眼任經 乾元頃

同　幸增

僧　能（時代未詳）

藤原實忠 1964—2067
- 駿牛繪詞 殘缺

山水畫

<u>山水屛風</u> 六曲一双 傳康房作 鎌倉中期成ル

那智瀧圖 一幅 鎌倉末葉作

佛畫【唐畫】

佛像畫（前代ヨリ續ク）

- 普賢菩薩像　鳥取 豐乘寺
- 虛空藏菩薩　醍醐 三寶院
- 清瀧權現像　横濱 原富太郞氏
- 不空羂索觀音像　京都 觀智院
- 八宗論大日如來像
- 傳吉海作 聖衆來迎圖　高野山 善集院
- 聖衆來迎圖　奈良 興福院
- 山越彌陀圖　大阪 上野精一氏
- 聖衆來迎圖　京都 知恩院
- 俗稱早來迎 聖衆來迎圖　奈良 長谷寺
- 五秘密　醍醐 三寶院

宅磨派再興

宅磨澄賀 建仁中
宅磨勝賀 元久・建保頃
- 十二天圖屛風

宅磨榮賀 永仁・正和頃
- 濡見布袋圖
- 十六羅漢圖
- 大明國師像
- 人丸像

【鎌倉壁畫遺物】
- 海住山寺五重塔壁畫
- 淨瑠璃寺三重塔壁畫
- 興福寺三重塔壁畫

- 普賢十羅刹女像　鳥取 常忍寺
- 聖德太子像 孝養圖 京都 仁和寺
- 童形大師像　大阪 村山龍平氏
- 佛涅槃圖　鎌倉 圓覺寺
- 不動明王像　東京 井上侯藏 「走リ不動」傳土佐長隆筆
- 愛染明王像　京都 寶菩提院
- 地藏菩薩像　東京 帝室博物館
- 朝熊山 虛空藏菩薩像　東京 帝室博物館

- 如意輪觀音像 乾元元年作
- 十界圖
- 文殊菩薩像 豪信筆
- 閻魔王像
- 庭曼荼羅
- 十王像

水墨畫【漢畫】

（宋風道釋人物畫）

- 寧一山　渡來僧 文保元年
- 僧可翁（良詮） 文保頃
  - 白鷺圖
  - 豐干禪師圖
  - 白衣觀音圖
  - 十六羅漢圖
  - 寒山圖

【明兆派】

<u>僧明兆</u>（2012—2091）
- 大涅槃圖
- <u>聖一國師像</u>

町時代

室町時代（二〇〇一——二二三三）

2032 文中
〃35 天授
〃41 弘和
〃44 元中

2022 貞治 應安 永和——永德——嘉慶——明德

2053 明德四
〃54 應永
〃88 正長
〃89 永享
2101 嘉吉
〃09 寶德
〃15 康正
〃20 寬正
〃26 文正
〃29 文明
〃47 長享
〃52 明應
〃64 永正
〃81 大永
〃88 享祿
〃92 天文
2215 弘治
〃18 永祿

○東山墨林ノ先驅者周文
○巨材輩出（宗丹、蛇足、正信、眞能）
○肖像畫ニ頂相行ハル
○東山畫風ノ代表者畫聖雪舟
○古土佐ノ殿將光信
○畫壇ノオーソドックス狩野派
○鑑賞主義ノ藝術狩野
○關東ノ墨畫家（祥啓、雪村）
○漢畫ノ獨立大成者
○近代主義ノ第一歩

桃山時代（約三十年）

2230 元龜
〃33 天正
〃52 文祿
〃56 慶長
2262慶長七年

○群雄割據（諸派林立）
○永德、山樂ノ桃山屛風
○桃山藝術（豪華ナ障屛畫時代）

（前頁ヨリ續ク）
〔物語繪卷〕 殘缺 1
狹衣物語繪卷 殘缺

土佐行光 延文・貞治
高館合戰繪 1
高野大師行狀圖繪
聖德太師繪傳 三幅
〔誓願寺緣起〕 三幅

土佐光信 2094—2185
石山寺緣起 5
五卷ノ中第四卷ヲ描ク
百鬼夜行圖 1
多武峰古緣起 4
融通念佛緣起 2
寬正四・成
淸水寺緣起 3
鶉圖六曲屛風 一双
北野天神緣起 3
文龜三・成

土佐光茂 天文年間
當麻寺緣起 3
享祿四・成
桑實寺緣起 2

（土佐別派）

粟田口隆光 應永頃
融通念佛緣起 2
行應・寂濟・光國・行秀等ト合作
一遍上人繪傳 2
市屋道場繪詞
石山寺緣起 5
全九卷ノ中第五卷ヲ描ク

土佐以外諸家

藤原久國
眞如堂緣起 3
大永四・成
慕歸繪詞
2142成

海田相保
明應頃
西行物語繪卷 4

芝琳賢 天文頃
東大寺大佛殿緣起 二卷現在
2196成

（肖像畫欄）

足利義持像
應永廿四年成
【頂相】
大燈國師像
聖一國師像（再出）
夢窓國師像
無等周位筆
喜江禪師像
益田兼堯壽像 雪舟筆
楊岐・養叟和尙像
二幅 文淸筆
宗祇法師像
玉隱和尙壽像
永正五年頃作
桃井安直像
土佐光信筆

狩野派〔和漢折衷〕

周文・宗丹門人
狩野正信 2113—2156
山水畫双幅
竹石白鶴圖
虎溪三笑圖

狩野元信 2136—2219
山水花鳥圖 四十九幅
神馬圖額 二面
淸凉寺緣起繪卷 6
大江山繪卷
瀟湘八景圖 四幅

狩野永德 2203—50
唐獅子圖屛風
洛中洛外圖
梅花小禽圖襖繪
柳櫻春草圖襖繪
松下秋草圖屛風
四曲一双

海北派

永德門人
海北友松 2193—2275
梅花・牡丹圖屛風 一双
網干圖屛風・松原圖屛風 二双

京狩野派

永德養子
狩野山樂 2219—2295
四季花鳥屛風 一双
梅花遊禽圖襖繪 十八面
車爭圖屛風

【雪村風】

僧雪村 文龜中
花鳥圖 双幅
呂洞賓圖
虎圖屛風
山水人物圖屛風 一双

長谷川派

狩野門人
長谷川等伯
2169—2270
杉林屛風
猿猴圖 二幅
南山四皓圖襖繪 八面

【雪舟風】

僧雪舟 2080—2166
山水畫長卷
山水屛風
夏冬山水圖 双幅
花鳥圖屛風

僧秋月 永正頃
花鳥圖屛風 一双
山水圖
瀑布圖

雲谷派

雲谷等顏 天正頃
四季山水圖屛風 一双
山水圖 襖繪 十四面
蘆雁圖 〃〃 十四面
竹林七賢襖繪 十六面
山水圖屛風 二双
步廊人物圖襖繪

（佛像畫）
地藏菩薩圖
託磨筆 至德元・成
（高野 寶壽院）

曾我派

周文門人
曾我蛇足 文明頃
苦行釋迦圖
山水圖 廿九面
臨濟和尙像
達磨・德山・臨濟圖 三幅

眞藝門人
僧祥啓（啓書記）
達磨圖
山水圖
山水圖

蛇足六代孫
曾我直庵 慶長中
花鳥圖・架鷹圖屛風 各一双
鶏圖屛風 一双

曾我二直庵
慶長・元和頃
柏木蘆鷺圖屛風 一双

（明兆派續キ）
五百羅漢圖 四十五幅
四十祖像 四十幅

僧如拙（如雪）應永文安頃
瓢鮎圖
三教圖

周文（越溪）文安五年歿
山水圖
竹齋讀書圖
三益齋圖
四季山水屛風

小栗宗丹 寬正五・歿 六七
×花鳥圖 双幅

【阿彌家（三阿彌）】

周文門人
能阿彌（眞能） 寶德二・歿
觀音圖
猿猴圖

藝阿彌（眞藝） 文明頃
觀瀑僧圖
觀音圖

相阿彌（眞相） 大永三・歿
寒山拾得圖 二幅
米法山水圖襖繪 二十面
水墨山水圖

時代	紀元 年號
鎌倉時代（[illegible]）	1852 建久三年
	1861 建仁
	1866 建永
	1867 承元
	1873 建保
	1879 承久
	1885 嘉祿
	1892 貞永
	1895 嘉禎
	1900 仁治
	1909 建長
	1919 正元
	1924 文永
	1938 弘安
	1953 永仁
	1963 嘉元
	1972 正和
	1979 元應
	1984 正中
	1991 元弘
	1994 建武
	2000 興國
室町時代	2006 正平
	2030 建德

摘要

○定朝以後稀世ノ名工—運慶 快慶
○慶派大活躍—古奈良ノ復興　○彫刻史上ノ第三黄金期
○當代彫刻特色—唐宋風ト寫實的雄健　○肖像彫刻流行（頂相ノ影響）
○建築裝飾彫刻ノ獨立
○色彩偏重ト工藝的技巧
○世紀末的纖弱趣味ヘ頽落（鎌倉末）
—正慶—暦應
康永—貞和—文和—延文—
○能面彫刻興ル

佛像彫刻

(所藏者)	(彫刻名)	(作者・年代)
興福寺南圓堂	不空羂索觀音像	康慶作 1849成
同上	四天王像 四軀	康慶作
奈良・圓成寺	大日如來坐像	運慶作 1835頃成
東大寺南大門	二王像（金剛力士）	運慶快慶合作1863成
小泉策太郎氏	愛染明王像	傳運慶作
興福寺北圓堂	彌勒菩薩像	運慶作 1868成
ボストン博物館	彌勒菩薩像	快慶作 1848成
丹波・金剛院	執金剛神像	快慶作
東大寺	地藏菩薩像	快慶作
京都蓮華王院	本尊千手觀音像	湛慶作
土佐雪蹊寺	毘沙門天及脇侍三軀	湛慶作
興福寺東金堂	帝釋天・梵天立像二軀	定慶作・1862頃成
鞍馬寺	聖觀音像	定慶作・1886
興福寺	天燈鬼・龍燈鬼像二軀	康辨作・1875
法隆寺金堂	阿彌陀三尊銅像	康勝作 1892
川崎武之助氏	廣目天眷屬像	康圓作・1927
久原房之助氏	不動明王像	康圓作・1927
奈良秋篠寺	技藝天像	
鎌倉高德院	阿彌陀如來銅像（鎌倉大佛）	大野五郎右衛門作・1912
京都法金剛院	十一面觀音坐像	1979
藥師寺	四天王像	
圓覺寺	地藏菩薩像	
法隆寺上堂	四天王像 四軀	順慶・寬慶・幸禪合作・2015
法隆寺護摩堂	不動明王・二童子立像 三軀	舜慶等作・2040

神像・肖像彫刻

(彫刻名)	(作者年代)	(所藏者)
法相六祖像 神叡・玄昉・善珠・常騰・行賀・玄賓 六軀	康慶作	（奈良 興福寺南圓堂）
世親・無著立像 二軀	運慶作 承元二 1868	（奈良 興福寺北圓堂）
僧形八幡神像	快慶作 1861成	（奈良 東大寺）
俊乘坊重源坐像		（奈良 東大寺俊乘堂）
維摩居士坐像	定慶作 1856成	（興福寺東金堂）
玉依姬命像	1910	（奈良 吉野水分神社）
空也上人像	康勝作	
運慶・湛慶像	傳各自作	（京都 六波羅密寺）
泰山王・閻魔王像 二軀	康圓作 1919成	（奈良 白毫寺）
辨才天坐像	1926成	（鎌倉 鶴岡八幡宮）
後白河法皇御像		（京都 長講堂）
上杉重房像		（鎌倉 明月院）
女神坐像	1972	（熊本 藤崎八幡宮）
夢窓國師坐像		（鎌倉 瑞泉寺）

建築裝飾彫刻

(所在)	(寺名)	(建築裝飾)	(年代)
紀伊	淨妙寺本堂	蟇股裝飾	
同	同 多寶塔	同上	
和泉	慈眼院多寶塔	同上	1931
近江	大野神社樓門	同上	
同	西明寺本堂	同上	
廣島	嚴島客神社	同上	
紀伊	長保寺本堂	同上	
同	同 多寶塔	同上	1971
愛媛	太山寺本堂	同上	1965
同	石手寺樓門	同上	
廣島	淨土寺多寶塔	同上	1989
鎌倉	建長寺食堂	須彌壇彫刻	
同	圓覺寺舍利殿	同上	2000
岐阜	永保寺開山堂	手挾彫刻	2006
滋賀	善水寺本堂	同上	
兵庫	彌勒寺本堂	繪樣・繰形・蟇股彫刻	
兵庫	鶴林寺本堂	裝飾・繰形	
奈良	法隆寺南大門	木鼻彫刻	
大阪	觀心寺訶梨帝母天堂	蟇股・欄間・左右入口・手挾・木鼻彫刻	

舞樂面彫刻

(名稱)	(所藏者)
舞樂面 五面 地久・皇仁・納曾利・崑崙八仙・新鳥蘇	（奈良 春日神社）
舞樂面 三面 散手・貴德・陵王	（奈良 東大寺）
舞樂面 六面 貴德・散手・納曾利・新鳥蘇・菩薩・採桑老	（奈良 手向山神社）

動物彫刻

石獅子 一對	（東大寺南大門）
狛犬 一對	（滋賀 御上神社）
狛犬 十四軀	（廣島 嚴島神社）
狛犬 一對	（奈良 藥師寺）
狛犬 一對	（滋賀 大寶神社）
狛犬	（兵庫 高賣布神社）

能面彫刻

(作者)	(作品)
【十作】赤鶴	「武惡」
龍右衛門	「中將」
福來	

主要作家

康慶（法眼）
運慶（備中法印）
快慶（安阿彌・法眼）
定覺（法橋）
湛慶（尾張法印）
定慶
康辨
康勝
康圓
院信（法印）

町時代 / 室町時代（一三〇一―一五七二）· 桃山時代（約三十年）（一五七三―一六〇二）

年紀

- 2032 文中 ‖ 貞治・應安
- 2035 天授 ‖ 永和
- 2041 弘和 ‖ 至徳
- 2044 元中 ‖ 明徳
- 2054 應永
- 2088 正長
- 2089 永享
- 2101 嘉吉
- 2117 長祿
- 2120 寛正
- 2127 應仁
- 2129 文明
- 2152 明應
- 2164 永正
- 2188 享祿
- 2192 天文
- 2215 弘治
- 2218 永祿
- 2230 元龜
- 2233 天正
- 2252 文祿
- 2256 慶長
- 2262 慶長七年

○能面彫刻流行（六作）
○繪畫的技巧（金色燦爛）ト巧緻ナル肢體
○彫刻ノ墮落時代（足利中期）
○天下・是閑ト左甚五郎
○式建築彫刻（豪放華麗）
○彫刻界ノ一新境地―桃山

（佛像彫刻）

- 東京帝室博物館　**觀音像**
- 同上　釋迦如來立像
- 神奈川寶戒寺　地藏菩薩像　憲圓作・2025
- 奈良海龍王寺　**愛染明王像**　椿井丹波公作　2100
- 京都金地院　地藏菩薩像　良辨作・2102
- 法隆寺　五髻文殊像　春慶作・2119
- 奈良如意輪寺　藏王權現立像
- 奈良霙輪寺　地藏菩薩像　2195
- 京都岩船寺　普賢菩薩像
- ×京都方廣寺　大佛像　秀吉建立　木彫十六丈　2249
- ×同上　大佛銅像　秀頼改鑄　六丈三尺　2261

（神像・肖像彫刻）

- 物外和尚像　朝宗作（立川　普濟寺）
- 弘法大師像　慶秀作　2035（奈良　法隆寺護摩堂）
- **達磨大師像**　周文・集慶合作　2090（奈良　達磨寺）
- 一遍上人立像　2135（愛媛　寶嚴寺）
- 足利義滿像（京都　金閣寺）
- 足利義政像（京都　銀閣寺東求堂）
- 孔子像　2194頃成（足利市　聖堂）
- 豐臣棄丸像（京都　妙心寺麟華院）

（建築裝飾彫刻）

- 福井　神宮寺本堂｛蟇股・手挾・繪様・繰形彫刻
- 愛媛　大山祇神社本殿　蟇股彫刻
- 大阪　建水分神社本殿　木鼻彫刻
- 滋賀　春日神社本殿　蟇股彫刻
- 愛知　八幡宮本殿｛蟇股・小壁・破風下彫刻
- 京都　十八神社本殿　蟇股・手挾
- 滋賀　地主神社本殿　蟇股彫刻
- 京都　相樂神社本殿　蟇股・欄間
- 大阪　意賀美神社本殿｛蟇股・頭貫肚梁彫刻

2229
2230

- 高知　**土佐神社社殿**　蟇股・繋虹梁
- 岐阜　久津八幡神社拜殿　蟇股・繰形
- 京都　**大德寺唐門彫刻**（聚樂第遺構）
- 同　勅使門
- 同　黄梅院本堂及元關
- 京都　二條城唐門彫刻（伏見桃山城遺構）
- 同　西本願寺書院及唐門彫刻（同上）
- 滋賀　**都久夫須摩神社拜殿**（同上）
- 同　寶嚴寺觀音堂彫刻（同上）
- 京都　**豐國神社唐門彫刻**（同上）
- 同　南禪寺方丈虎間彫刻（同上）
- 滋賀　八幡神社社殿｛蟇股・手挾・頭貫彫刻
- 奈良　吉野水分神社社殿　蟇股・持送
- 滋賀　園城寺本堂　蟇股・手挾

* 右欄下ヨリ←

- 松島　**瑞巖寺本堂**｛唐戸・欄間・蟇股彫刻
- 仙臺　**大崎八幡神社**｛繪様・破風下・蟇股・向拜柱
- 京都　北野神社社殿　蟇股彫刻

左欄下へ

（能面彫刻）

- 【六作】寶來
- 千種
- **三光坊**　文明頃「三光尉」「笑尉」
- 二郎左衞門滿照（越前出目派）
- 上總介親信（近江井關派）
- 大光坊幸賢（大野出目派）
- **是閑吉滿**（大野出目）
- 源助秀滿（古源助）（越前出目）「萬媚」
- 備中掾（近江井關家）

（主要作家）

- 憲圓（法印）貞治頃
- 慶秀（法眼）
- 康秀（法眼）應安應永頃
- 椿井丹波公
- 春慶　長祿頃
- 康永（法印）寛正頃
- 康珍（法印）明應頃
- 康秀（法印）天文頃
- 康正（法印・七條佛所）
- **左甚五郎**　建築彫刻家

時代	摘要	金工	陶工・玻璃工	漆工・螺鈿工	染・織工	木工其他
鎌倉時代	○當代工藝ノ特色＝宋元風ノ模倣、地方的ニ分散シ素朴 ○當代末葉、根來塗ト鎌倉彫出ヅ（工藝ノ中心ハ依然漆工） ○藤四郎陶器（古瀬戸）ノ出現（我國陶工中興ノ祖） ○刀劍三作ト甲冑ノ明珍家 ○鑄金亦頗ル盛ニ和鏡ノ製作最モ發達 ○甲冑刀劍工ノ進歩（實用的堅甲利刀・裝劍未ダ盛ナラズ）	【刀劍工】 來國行 （三作）粟田口吉光 五郎正宗 1924—2003 郷義弘 【刀劍裝飾工】 大進法祐慶 吉野朝頃 【甲冑工】 增田出雲守 明珍家祖 【鑄金工】 宋人陳和卿 草部是助 〔金工遺品〕 兵庫鎖太刀 （熱田神宮藏） 金銅飾鞍（奈良手向山八幡） 緋縅甲冑 （奈良春日神社） 浮牡丹文銅花瓶 正中二年 （奈良法華寺） 舍利塔 （奈良西大寺） 牡丹蝶鳥鏡 （帝室博物館） 牡丹獅子蝶鳥鏡 （滋賀淨信寺） 銅燈籠（日光二荒山神社） 銅燈籠正嘉二年銘（京都鞍馬寺） 鐵燈籠 （河内觀心寺）	【古瀬戸】 初代藤四郎景正 尾張國・貞應頃 （遺品）九重茶入（帝室博物館） 獅子香爐（德川義親侯） 二代 藤四郎 文永頃 三代 藤四郎 永仁中 四代 藤四郎 建武頃	【鎌倉彫】 【春慶塗】 （泉州堺・堺春慶） 【根來塗】 當代中期 〔漆工遺品〕 長生殿蒔繪手筥 （德川義親侯） 住江蒔繪手筥 （日光輪王寺） 千鳥文手筥 （帝室博物館） 牡丹文螺鈿鞍 （加賀・白山比咩神社） 文臺・硯箱 （相模・早雲寺）		〔木工遺品〕 建長寺 髹漆須彌壇 圓覺寺 舍利殿須彌壇 當麻寺 本堂佛壇・厨子 東大寺 法華堂須彌壇 法隆寺 聖靈院厨子 長保寺 本堂厨子 中尊寺 笈 南禪寺 牡丹香盒
室町時代	（高蒔繪・梨子地法ノ完成・截金ノ使用） ○漆工最モ發達、精巧驚ク可シ ○絕代ノ名工祐乘出ヅ（彫金界ノ一新紀元） ○甲冑刀劍裝飾、鑄金陶工異常ニ發達ス	【刀劍裝飾工】 法印 後藤祐乘 永正九年歿 倶利加羅龍三所物 濡烏目貫・三番叟目貫 （以上 前田侯藏） 法眼 後藤宗乘 永祿七年歿 三代 後藤乘眞 永祿五年歿 蓬萊圖小柄 （前田侯藏） 瓢簞鰻目貫 （東京今村氏） 【鍔工】 三條重吉 京都・義滿頃 埋忠重宗 應永頃	【志野燒】 志野宗信 尾張・文明中 【信樂燒】 武野紹鷗 永正中 【備前燒】 應永中大イニ進歩ス 【美濃燒】 加藤景延 天正中 【樂燒】（京燒・今燒） 宗慶 永正中 【唐津燒】 根拔 建武文明頃 奥高麗 文明天正頃	【南部塗】 【會津塗】 〔當代名工〕 奈良秀次 泰阿彌 清阿彌 羽田五郎 幸阿彌道長 二代 道清 三代 宗全		

町時代

○當代工藝ノ粹熊野神社神寶（義滿寄進、當代代表作網羅）
○名人明珍信家
○明珍家中興ノ祖宗安
○織工進歩甚ダ遲々、多ク支那ヨリ輸入ス
○茶道流行ト茶釜鑄造ノ進歩（東山物）
○兜ノ専門工早乙女信康

金工

中井光恒　山口・明德中
初代金家　伏見・當代初期
明珍信家　後出
園幽軒山吉　桑名・元龜天正

【甲冑工】
明珍宗安　明珍家　十代
三作・〃　義長　同　十四代
〃　義通　同　十七代
〃　信家　天正・文永頃
早乙女信康　信家弟子
〃　家次
〃　家親

〔甲冑工遺品〕
兜　鉢　義通作　（今村氏藏）
兜　鉢　信家作　（同　上）
鯰　形　兜　（田中伯藏）
藍革赤威甲冑　（嚴島神社藏）

【茶釜】
古蘆屋　筑前
古天明　下野
浪越彌七郎　（名越彌阿彌）文明頃

陶工

〔陶工遺品〕
杏形茶腕　（祥瑞作）
壺　（同）
（帝室博物館藏）

漆工

四代　宗正
五代　宗伯
五十嵐信齋

〔漆工遺品〕
蔦細道蒔繪文臺・硯箱　（御物）
菊蒔繪手筥　（熱田神宮）
扇面蒔繪手筥　（帝室博物館）

木工

〔木工遺品〕
東禪寺　藥師堂厨子　唐様
同　同　須彌壇　唐様
三佛寺　文殊堂厨子　和様新派
常樂寺　本堂厨子・須彌壇
鶴林寺　本堂厨子　觀心寺様
合　津　藥師堂厨子・佛壇　唐様
瑠璃光寺　五重塔須彌壇　唐様

桃山時代（一五七三——一六〇三）

○與次郎ノ釜、盛阿彌・善鏡ノ棗塗、平十郎ノ推朱
○陶磁工ノ發展——陶業各地ニ起リ名人輩出
○建築用金具ト蒔繪ノ發達
○後藤家ノ技術完成者光乘
○工藝圖案ノ泰斗光悅（放膽・優雅）
○鍔ノ専門工埋忠家

金工

【刀劍裝飾工】
後藤光乘　四代　元和六・歿
同　元乘　光乘弟子
同　德乘　五代　天正頃
同　榮乘　六代
野村正時　阿波府祖

【甲冑工】
明珍宗家　十九代　天正中
同　宗信　廿代　元和頃
早乙女家春
同　家則

【鍔工】
埋忠重吉　（明壽）
埋忠正知　岡田家祖・慶長中
岡本友治　岡本家祖・慶長中
小田原正次　小田原鍔ノ祖　慶長中

右欄へ續ク※ ⟫⟫——

陶工

【樂燒】
初代長次郎　（田中長祐）

【唐津燒】
繪唐津

【織部窯】
慶長中古田織部正尾張ニ創

【備前燒】
三日月六兵衛　（古備前）

〔陶工遺品〕
獅子香爐　初代長次郎作　（松平伯、福井貞憲氏藏）
玄翁　（赤樂茶器）長次郎作　（帝室博物館）
鷹峰　（赤樂茶器）　光悅作　（帝室博物館）

漆工

【烏丸物】
【高臺寺蒔繪】
高臺寺靈屋厨子
〔當代名工〕
棗塗師盛阿彌
野路善鏡　（二代秀次）
五十嵐道甫
幸阿彌長晏
堆朱平十郎　（堆朱彫）
本阿彌光悅

〔漆工遺品〕
蒔繪手文庫・豐太閤膳部・八足机　（京都高臺寺藏）
忍草蒔繪硯箱　光悅作
子の日蒔繪硯　同　上　（蜂須賀侯藏）
船橋圖硯箱　光悅作
左義長圖硯箱　同　上
（以上帝室博物館）

染織工

【西陣織】
糸錦・唐織錦・毛宇留織・綴子・繻子等

——→ ※左欄ヨリ
【茶釜】
名越彌七郎　文祿頃
西村道仁　紹鷗ノ釜師
櫻山・光風呂・霰釜・車日釜ノ名作アリ
辻與次郎　利休ノ釜師
丸釜・阿彌陀堂・尻張雲龍ノ名品アリ

【鑄金工】
名越三昌　（彌右衞門古淨味）
〔金工遺品〕
鐵燈籠　（與次郎作）（京都豐國神社藏）
倶利加羅龍守刀　（京都妙心寺藏）

木工

【木工遺品】
法華寺本堂厨子

時代	紀元年號	摘要	神社建築	佛寺建築	宮殿建築	邸宅建築
鎌倉時代 (一八五二——二〇〇〇)	1852 建久三年 〃59 正治 〃61 建仁 〃67 承元 〃79 承久 〃87 安貞 〃92 貞永 〃95 嘉禎 〃99 延應 1900 仁治 〃03 寛元 〃09 建長 〃24 文永 〃38 弘安 〃53 永仁 〃63 嘉元 68 延慶 〃72 正和 〃77 文保 〃79 元應 〃94 建武 〃98 暦應	○神社建築ノ唐樣化 ○三派鼎立・唐樣最モ優勢　建築界ノ一大勢力 ○宋風新樣式ノ輸入(唐樣・天竺樣) ○武家造起ル ○和唐折衷式(觀心寺樣)流行 ○五山建築唯一ノ遺構(圓覺寺舎利殿)	(社名)(所在)(年代)(美術) 宇治上神社社殿　京都　藤原朝建立　當代ニ補葺〔藤原前期參照〕 圓成寺春日堂・白山堂　奈良　鎌倉初期現存最古ノ春日造ト云フ 嚴島神社客神社社殿　廣島【建彫】　仁治二 1901 白山神社拜殿　京都　傳稱宇治離宮遺構　久安二創　建治二修 石上神宮拜殿　奈良　年代不詳 春日神社本殿　滋賀　文保三1979【建彫】 建水分神社社殿　大阪　建武中再建【建彫】 園城寺新羅善神堂　滋賀　暦應三2000	(寺名)(樣式)(所在)(年代)(美術) 【天竺樣】 淨土寺淨土堂(阿彌陀堂)〔天〕兵庫　建久三 同　藥師堂(本堂)〔天〕同　建久四 醍醐寺經藏〔天〕京都　建久六 △東大寺大佛殿〔天〕奈良　建久六再建【彫】　三好松永亂ニ燒失〔江戸時代參照〕 東大寺南大門〔天〕奈良　正治元1859【彫】 同　鐘樓〔天〕同　延應元再建1899 【唐樣】 △建仁寺〔唐〕京都　建仁二1862 (繪) △東福寺〔唐〕京都　嘉禎二1896〔室町參照〕(繪) 【和樣】 興福寺北圓堂〔和〕奈良　承元元※仁治元【彫】 同　三重塔〔和〕同　康治二建,寛元元再【壁畫】 石山寺多寶塔〔和〕滋賀　建久中頼朝建立 當麻寺曼荼羅堂〔和〕奈良　嘉元元1963【彫】 同　講堂〔和〕同　嘉元元※元應二【彫】 【鎌倉五山】 建長寺本堂〔唐〕鎌倉　正保三移建 蓮華王院本堂(三十三間堂)〔和〕京都　文永三再建【彫】 正福寺佛殿〔唐〕東京府下　弘安元頃 圓覺寺舎利殿〔唐〕鎌倉　弘安五1942【建彫】 △南禪寺〔唐〕(江戸參照)京都　永仁元1953 (繪) 【和樣新派】 法隆寺聖靈院〔和新〕奈良　弘安七1944 同　南大門〔和新〕同　永享十一2099 太山寺本堂〔和新〕愛媛　嘉元三1965 室生寺灌頂堂〔和新〕奈良　年代鎌倉中 ※右欄へ →	(宮殿名)(年代) ×嵯峨殿離宮　記錄不詳 ×伏見殿離宮　建長頃　後嵯峨・後深草・伏見帝離宮 ※【觀心寺樣】 永保寺觀音堂〔觀〕岐阜　正和三1974 長保寺本堂〔觀〕和歌山　延慶四1971 觀心寺本堂〔觀〕大阪　建武元再建1994【彫】	【鎌倉時代變形寢殿造】 ×鎌倉御所 大藏幕府 (1840—1885) 宇津宮幕府 (1885—1896) 若宮大路幕府 (1896—1993) 【武家造】 實例タルベキ遺構無シ
室町	2002 康永 〃12 文和 〃16 延文 〃28 應安 〃35 永和 〃47 嘉慶	○善美ヲ盡シタ足利 ○神社建築ノ一新機軸(吉 ○權現造ノ先驅(永保寺開	住吉神社本殿　山口　應安三再建2028 吉備津神社本殿　岡山　明德元再建2050	永保寺開山堂〔唐〕岐阜　文和元2012【建彫】 常樂寺本堂〔和新〕滋賀　延文五2020 安樂寺八角四重塔〔唐〕長野　寺傳安和二建 道成寺本堂〔和新〕和歌山　天授四2038		×二條高倉邸　足利尊氏 ×一條今出川邸　高師直

室町時代 (二〇〇一——二二三三)

2050 明德
〃54 應永
〃89 永享
2101 嘉吉
〃15 康正
〃27 應仁
〃29 文明
〃52 明應
〃64 永正
〃92 天文
2215 弘治
〃18 永祿

將軍邸 ○庭園建築(例金閣)ト書院造ノ勃興 ○根來大塔(建築價値莫大)
備津神社)ト共寺院化、佛寺建築影響濃厚(好例、大笹原神社)
山堂) ○唐様全盛 ○和様建築ノ復古的遺物(興福寺東金堂)

(神社建築)

大笹原神社本殿 滋賀 永應廿一2074

嚴島神社本社本殿 廣島 弘治二改造2216 【建彫】

(佛寺建築)

鶴林寺本堂 〔觀〕兵庫 應永四年2057
東福寺三門 〔唐〕京都 應永中建立
興福寺東金堂 〔和〕奈良應永廿八年再建 【彫】
同 五重塔 〔和〕同 應永卅三年再建
法觀寺五重塔(八坂塔) 〔和〕京都永享元年再建2089
金峰山寺本堂 〔和新〕奈良康正元再建2115
酬恩庵本堂(薪一休寺) 〔唐〕京都 永正三2166
大傳法院多寶塔(根來ノ大塔) 〔觀〕和歌山永正十二成ル

(宮殿建築)

信長皇居造營 永祿十一——十三

(邸宅建築)

×三條坊門萬里小路邸 足利義詮

【庭園建築】
×花御所 義滿室町邸 永和2037
鹿苑寺金閣 義滿山莊 應永八年成ル2061 【彫】

【書院造】
慈照寺銀閣 義政山莊
同 東求堂 文明十五年頃成 【彫】

妙心寺靈雲院書院 京都 天文十二

桃山時代 (二二三三——二二六三) 約三十年

2230 元龜
〃33 天正
〃52 文祿
〃56 慶長
2262 慶長七年

ノ粋瑞巖寺玄關 ○茶室建築ノ發展ト書院造ノ完成
○當代建築ノ中心、宮室及城堡 ○一大傑作東寺金堂ト唐様
○豪壯雄偉ナ桃山建築ノ標本(北野神社)ト權現造

(神社建築)

土佐神社社殿 高知 元龜元再建2230 【建彫】
稻荷神社本殿 京都伏見 天正十七※明應三
吉野水分神社 奈良 慶長十再建 【彫】【建彫】
吉田神社齋場太元宮 京都 慶長六2261
淺間神社 静岡 慶長九2264

【權現造】
大崎八幡神社 仙臺 天喜五源義家創 慶長十二政宗移建2268 【建彫】
北野神社 京都 天曆元創・慶長十二秀頼再建 (繪)【建彫】

(佛寺建築)

×方廣寺大佛殿 〔天〕京都天正十四秀吉建 慶長十七秀頼再建
大德寺三門 〔唐〕京都 天正十七2249
園城寺本堂 〔和〕滋賀慶長四2259※2261 (繪)【彫】【建彫】
法華寺本堂 〔和〕奈良 慶長六2261 (繪)【彫】
石山寺本堂 滋賀内陣藤原時代・外陣慶長 (繪)
高臺寺開山堂 〔唐〕京都 慶長十・建 〔工〕
教王護國寺金堂 〔和新〕京都 慶長十一2266※2265 (繪)【彫】
相國寺法堂 〔唐〕京都 慶長十二再建※慶長十
瑞巖寺本堂及玄關 〔唐〕宮城慶長十四 【彫】【建彫】

〔註〕相國寺以下ノ年次ハ江戸時代ナルが建築様式上ヨリ當代ニ編入ス

(宮殿建築)

秀吉内裏修補 天正十八年

【遺構】
皇居南門(現大德寺勅使門)
清涼殿 (現南禪寺方丈)
紫宸殿 (現仁和寺本堂)

桂院離宮 天正十九年頃 秀吉ノ命ニヨリ小堀遠州建

城廓建築

×安土城 天正四・信長・築
姫路白鷺城 天正九・池田輝政
大阪城 天正十一・秀吉・築
岡山城 天正中・宇喜田秀家
×伏見桃山城 文祿三・秀吉・築
熊本城 慶長六・清正・修築

【桃山茶室建築】

妙喜庵茶室 京都山崎 天正末年千利休作
南宗寺實相院茶室 堺・千利休作
高臺寺時雨亭・傘亭 京都 桃山城ヨリ移建
西芳寺湘南亭 京都

(邸宅建築)

×聚樂第 天正十五成
飛雲閣 聚樂第遺構・元和元移建
西本願寺書院 桃山城遺構・寛永九・移建
醍醐三寶院表書院 慶長三
園城寺勸學院客殿 慶長五
東寺觀智院客殿

【備考】(5)※ハ主ナ異說 (6)(繪)【彫】〔工〕【建彫】(書)ハ繪畫・彫刻・工藝・建築彫刻・書道ノ名作ヲ所藏スルモノ
(7)數字ハ皇紀 (8)年代欄ノ——ハ年號省略

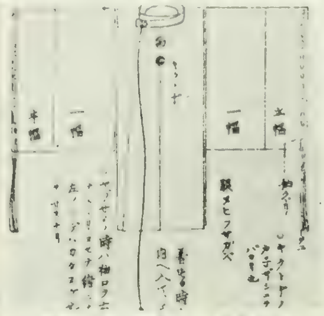
鎌倉時代

男子儀裝

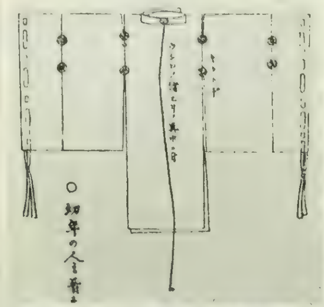
束帶ハ即位式ニノミ用ヒラレ他ノ場合ハ衣冠モシクハ束帶ヲ用ヒタ
此時代ニ武家ノ實權ヲ得リ地位向上セル武家ハ武家ノミノ儀式ニハ狩衣ヲ着シ、下級ノ武士ハ直垂ヲ用ヒタ、但シ武將ト雖參内及軍事ニ關スル時ハ束帶ヲ用ヒタ

衣紋道

禮服・束帶ノ着裝ニ法則ヲ定メテソレヲ重要トスル故實家ガ現ハレ世襲シテ流派ヲ稱スルニ至ツタ、其最初ノモノハ大炊御門氏デ鎌倉時代ニナツテ山科流・高倉流ガ出來タ



水干　前　服飾圖解



水干　後　服飾圖解

半尻

小狩衣トモ云フ狩衣ノ丈一尺程短キモノ、浮線綾ニ白青格子水干袴・小袖・帷子ヲ着シタ記錄ガアル、袖括ニ青・紫・紅・薄紅・黄・白ノ六筋ノ色糸ヲ華鬘ニシテツケル



金澤貞顯　狩衣姿畫像　武藏金澤稱名寺藏

水干

狩衣ノ變化シタモノ、狩衣ニツグ禮裝トシテ用ヒラレタ、長サハ狩衣ヨリ短ク領ノ前後ニ紐ヲツケテ前へ結ビタラス

〔菊綴〕縫目ノ綻ビヌヤウニ糸デカガツタ所ヲ隱ス爲ノモノ、前ニ一個所後ニ四個所二ヅツ縦ニ列ベテツケル、袴ニモ相引ト腰ニ二箇ツケル

此時代ニハ公家・武家・民衆ニ廣ク普及シ地質色目文樣等樣々ナモノガ出來タ

〔水干ノ着方〕單ヲ着シ袴ヲハク次ニ水干ヲ着テソノ裾ヲ袴ノ中へ前後トモ入レ込ム之ガ狩衣ト異ナル點、夏ハ領ヲ折ツテ垂領ニ着ルコトガアル

〔地質〕葛布・貲布(サヨミ)・唐綾・紗・綾・絹等

〔色目〕公家ハ白・赤・青・紺・木蘭・練(黄ノ白バンダモノ)淺黄・褐・萌黄・蘇芳等　武家ハ白・紺・朱・練・木蘭・柿・香等民衆ハ香・二藍・朽葉・萌黄等

〔文樣〕纐纈・擂染等ノ方法デ横ニ白ク縞ノ出ルモノ・又丸文ガ新シク考案サレ武家デハ滋目結(鹿子)取染(所々絞ツテ染メル)小取括・平文(紋文トモ書ク幾色モノ縞)等室町時代ニナリ公家デハ金銀箔押・描繪等ヲ以テ意匠ヲ凝ラスヤウニナツ、直垂ノ勢力ガ擴大シテカラ後ハ專ラ少年用ノ儀服トナリ赤地錦・金襴等ガ用ヒラレタ

〔水干ト袴〕同色ト異色トアリ、異色ニハ香水干ニ二藍袴・二藍水干ニ褐袴・萌黄水干ニ紅梅練貫袴・萌黄水干ニ紫末濃等

〔菊綴ノ房〕紫・朽葉等ニテ色ノ調和ヲ考ヘテ用ヒタ

〔袖括〕少年ハ置括(毛抜形)青白・黄白等壯年ハ伏組・單組等水干獨特ノ紐ヲツケタ



文永賀茂祭草子中ノ直垂著用者

直垂

當代ニ入ツテハ武士ノ常服トナリ公家デハ地下・諸大夫・醫師・陰陽師等ガ着用シタ、內々ニハ上流ノ人モ着ルヤウニナリ〔露〕ト稱スル飾リヲ袂ニ下ゲタ、袷ト單トアル、室町末期ヨリ鎧直垂ニ倣ツテ菊綴ト稱シテ胸紐ト同ジモノヲ上ニ五ケ所袴ノ相引ニ左右二ケ所ツケタガ又胸紐・露・菊綴皆革ヲ用ヒルモノモアツタ、民間ニハ胸紐・露菊綴ノナイ粗野ナモノガ行ハレタ

〔地質〕長絹・生絹・貲布・唐貲布・太布・金襴・紗・精好等武家ハ主ニ布ヲ用フ

〔色目〕黒・白・赤・紺・緑・褐・淺黄・香・朽葉・紫・木蘭地・紅等

〔染色法〕浸染・型紙摺込・纐纈・曳柿等ノ外金銀箔押・描繪・繍等、浸染ノ中ニハ平文・氷點括等ノ絞染ガ全盛デアツタ

〔文樣〕圖案風・自在畫風ノ二樣、二ツ引ノ如キ横縞・三鱗・丸・龜甲形・立涌・三星等ハ前者デ、笹・紅葉・撫子・櫻・菊・雁・千鳥・鶴・蝶ノ丸・秋草・扇・車等ハ後者ニ屬ス、武士モ次第ニ華美ナ直垂ヲ用フルニ至リ白地ニ金銀箔ノ四目結・黒地ニ銀箔ノ二雁・香地ニ金箔デ大菱・黄地ニ銀泥ノ水等ノ記錄ガアル、大キナ文樣ノモノハ大紋ノ先驅ト見ルベキデアラウ

鎧直垂

袖口小サク袖括ノ紐アリ、袴モ下ヲ括ル、初期ニハ鎧ノ上ニ着タヤウナ記錄モアルガ後ニハ全ク下ニ着ルモノトナツタ、菊綴ノ數ハ直垂ヨリモ多イ

〔地質〕錦・唐織・綾・長絹・魚綾・練緯・呉綾・金紗・金襴・生絹・唐貲・花鳥子等

〔色目〕華ヤカナ色ヲ用ヒタ、赤・紫・紺・黒・青等

〔文樣〕格子・菱・青海波・巴・檜垣・三星・丸・撫子・紅葉・菊・海松・有職文樣等

女子儀裝

平安朝ノ唐風禮服ノ使用ハ著シク減ジ即位式ノ際ノ后妃モ著用セラレザル記錄ガ澤山アル、晴ノ服モ一般ニ表着ヲ省クニ至リ(主上ニ奉仕スル女官ノミ之ヲ用フ)時ニ唐衣ノ省キ袴ノ長サヲ減ズル等總テ省略主義デアル、袿ハ五衣ト稱シ裾ニ綿ヲ入レルコトアリ、裳ハ「小腰」ヲ長クシテ「懸帶」ト稱スル之ヲ肩ヲ越シテ前へ下ゲ腹部ノ邊ニ結ビ留ル風ガ行ハレタ

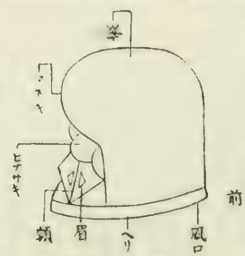
〔采女ノ服裝〕天皇陪膳ノ采女ハ他ノ高級者ノ如ク晴ノ服ヲ用ヒズ、唐衣ニ似タ「掛衣」ヲ上ニ着、衣ハ「繪衣」ト稱シ顏料ヲ以テ描イタモノ、裳ヲツケズ稍短キ袴ヲハク

衣袴ト小袖

衣ヲ帶ヨリ上ニ被リ着シ小袖ハ下着ラシキ地質色目文樣ヲ持シナガラ外ヨリ見ユル程度ニ表ニ着シ袴ヲツケタ姿ハ小袿姿ニ似テ更ニ簡略デアルガ當時ノ一種ノ公服トナツタ



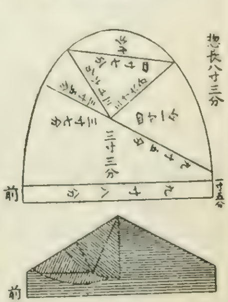
衣ヲ被リ着タル新裝　春日驗記繪詞



大さびノ立烏帽子

〔立烏帽子ノ變化〕立烏帽子ニさびト稱スル凹凸ノ型ヲツケルコトガ行ハレタ、紙ニ黒漆ヲ塗ツテ堅クシタ立烏帽子ニハ正面ニ大さびヲツケル、公卿・將軍等ノ用

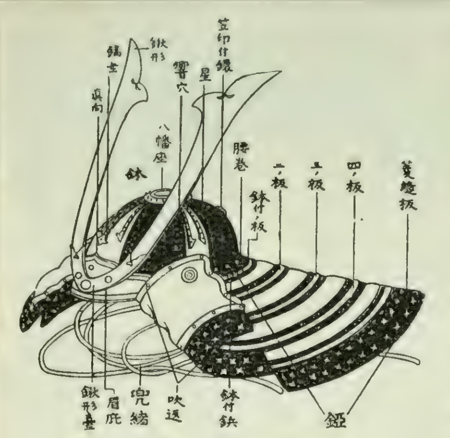
〔柳さび〕柔カキ紙ニ柳ノ葉ヲ横ニ並ベタヤウニ高低ノ皺ヲツケル立烏帽子ノママ、又ハ折ツテ被ル前者ハ白丁等ヲキテ供ヲスル者、後者ハ軍陣ノ平士等ノ用



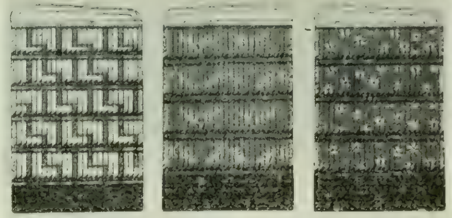
佐々木折

〔横さびの折烏帽子〕横ニ平行ニ細キ筋ヲ打チ出シタ立烏帽子ヲ樣々ノ折方ニ折リシモノ主トシテ武士用、古式折・京極折・新田折等

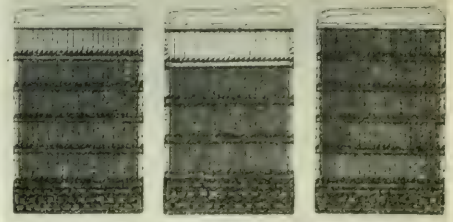
鎌倉時代



五枚兜



縅糸目縅　品革縅　小櫻縅

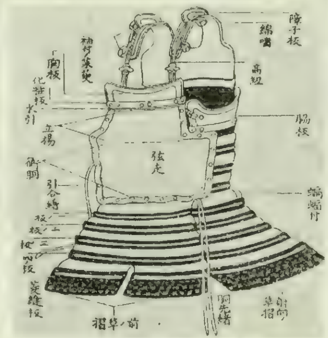


萌黄末濃　卯花縅　澤瀉縅

鎧威毛（オドシゲ）〔革威〕ニ小櫻威(小櫻模様ニ染メタ革デ威ス)品革威（歯朶ノ葉模様ノ革）縅細目威(葛折〔ツヾラオリ〕模様ノ革)等〔絲威〕ニ澤瀉威・逆澤瀉威・卯花威（上ハ白ク下ハ萌黄）、萌黄末濃（スソゴ・下程萌黄が濃イモノ）等、末濃ノ反對ニ上濃ク下淡キヲ何ノ匂ト云フ、緋威・黒革威・黒糸威・櫨ノ匂・紫末濃・紺村濃等ノ名多ク見ユ



大鎧後



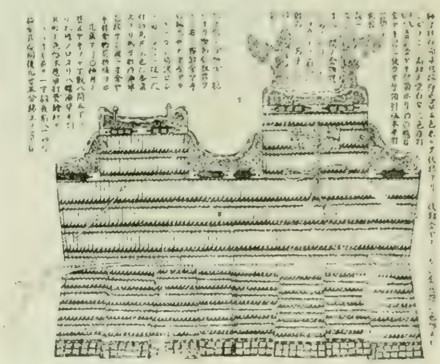
大鎧前

兜　鉢ヲ主部トシ錏(シコロ)ヲ附ス、鉢ハ鐵板ヲ縦ニ矧ギソノ數ニヨリ八枚張・三十六間張等ト云フ、板ヲトメル鋲ノ裝飾シタモノヲ星ト云フ、錏ノ段數ニヨリ三枚兜・四枚兜・五枚兜等ト云フ、鍬形ハ金屬製ノ平板ヲ普通トシ龍頭・鹿角等アリ、鍬形ノナイノモアル

大鎧　胴・綿嚙・草摺・袖ノ四部ヨリナル、右脇ノ脇楯(ワイダテ)ハ別ニツク、小札ヲ革又ハ絲デ威シ、ソノ威毛ノ種類ニヨリ鎧ノ名ガキマル、胴ノ弦走ト脇楯ノ上ノ壺板トハ必染革デ包ム、綿嚙ヘ袖ガツク、草摺ハ前後左ノ三ヶ所及脇楯ノ下部ニツク



小具足ヲツケタ武士　十界圖



胴丸　本朝軍器考

胴丸　鎧ノ一種、右脇デ引合セテ着ル、弦走モ脇楯モナク草摺ハ八間ニ分レル、モトハ袖ガナク杏葉ヲツケタが後ニハ袖ヲツケルヤウニナツタ

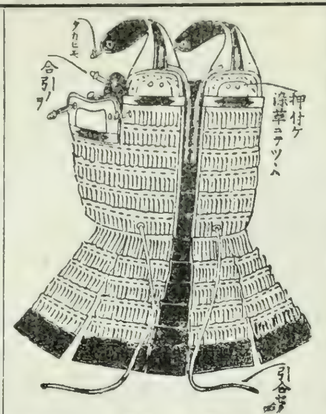
小具足　鎧ノ附屬品ヲ云フ、脇楯・籠手（左ダケニカケルモノヲ片籠手）・脛當・貫（毛皮ノ靴）

〔鎧着用順序〕小袖・大口袴ノ上ニ直垂・袴ヲ穿チ裾ヲ括ル、烏帽子鉢巻ヲナシ弓懸(手袋)脛巾(布製)ヲツケル、次ニ小具足ヲツケ、後ニ鎧ヲ着ル

鎌倉室町時代



〔栴檀板〕〔鳩尾板〕
上圖ハ逆澤瀉大鎧デ胸部ニ栴檀板・鳩尾板ヲ吊ス、前者ハ右ノ綿嚙ニカケ高紐ヲキラレヌ爲ニ覆フモノ、後者ハ左ニテ同ジ目的、前者ハ袖ニ似後者ハ一枚ノ板ヲ革ニテ包ミシモノ、後世ノ鎧ニハ附屬セズ



腹　卷

腹卷　最簡單ナ鎧、後デ引合ス、草摺ハ前三枚後左右二枚、袖モ杏葉モナシ、モト大鎧ノ下ニ着タモノ、鎧ノ代用ニ上ニ着ル時ハ袖ヲツケル大將モ郎等モ時ニ隨ッテ用ヒタ、腹卷ノ上ニ衣狩衣水干束帶等ヲ着ルコトアリ



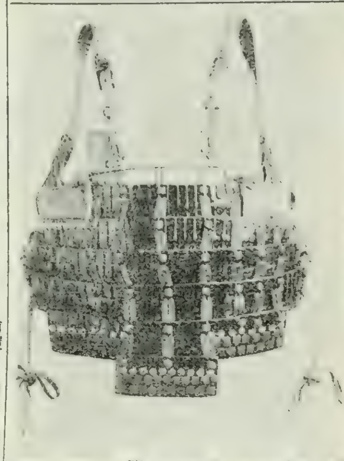
素　襖　　酒飯論繪詞



大　紋

直垂ノ禮装化　上流武家ノ禮装トシテ直垂ガ參內

大紋　大キナ家紋ヲツケタ直垂、鎌倉時代ニハ下級用デアッタガ此時代ハ武士禮装トナッタ諸大夫卽五位ノ者モ用フ年始・射禮・狩獵・元服・社參・凶事ニ用ヒラレ長袴ヲ着シ禮装ラシクシタ、參內スルトキハ途中直垂ニテモ宮中ニ至ッテ冠・袍・指貫ニカヘタ



腹　當

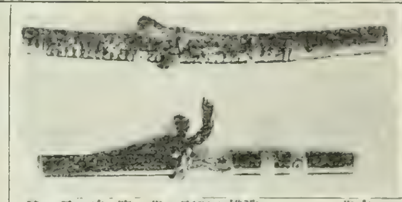
腹當　袖モ草摺モナク最簡單ナ武具ニテ雜兵ノ用ナリ



襖ニ四幅袴ヲハイタ男子　法然上人行狀圖繪



←兵庫鎖太刀



上・赤木柄　腰刀↓
下・藤丸刀

武器

〔弓箭〕上代ノ弓ハ丸木ニ弦ヲカケ白木作リデ梔弓・槻弓・眞弓・檀弓・梓弓等ノ種類ガアッタ、之時代ニハ木ヲ心ニシ竹ヲ合セテ作リ丹漆ヲ塗リ又ハ糸・籐ヲ巻キ堅固ナ構造トナッタ、巻方ニヨリ滋籐・笯籠籐・二ケ所籐・三ケ所籐等ノ名ガアル、五人張・十人張ト云フノハ弦ヲ一人ノ力ヲ以テカケルコトノ出來ナイ强イ弓デアル〔箭〕ハ矧イダ羽ニヨリテ名ヲ異ニス、中黑・中白・上下・切文・本黑・本白・妻白・妻黑等、〔筈〕ハ銀筈・ヌタ筈・(鹿ノ角製)、〔鏃〕ハ雁股・尖矢・劍尻・柳葉・蟇目・ヌタメノ鏑・神頭等、當時ノ武人ガ射術ヲ勵ミ競ッタ事ハ軍記物語ニ著シク記サレテ居ル

〔太刀〕軍用ニハ怒物造・兵庫鎖(足金物ト帶取トヲ兵庫鎖ニテクナグ)、裝飾用ニハ細太刀、衞府ノ太刀等、初ハ二三尺位デアッタガ戰國時代ニハ男ヲ誇リ長大ナモノヲ振ヒ敵ヲ斃シタ、六尺・七尺ノモノガアル、腰刀ハ帶ニサス小刀デ單ニ刀トモ云フ、刀匠ニ粟田口國綱・備前國宗・鎌倉一文字助眞・五郎入道正宗・村正・宗近・虎徹等ノ名工輩出シ其鍛錬法ハ世界ニ冠絶スルニ至ッタ

〔小銃〕　元寇ノ亂ニ始メテ現ハル、種子島ヲ經テ外國ヨリ傳來シタモノデアラウ、天正年間ニハ外國ヘ火術鐵砲ノ法ヲ習ヒニユキシ者アリ大砲モ用ヒラル、ニ至リ、家々ノ流派モ頗多クナッタ、德川ノ治世ハ太平二百年ニ及ンダノデ總テノ武器ガ疎拙トナッタガ維新前後ノ戰亂ニ銃砲ノ術ハマタ進歩シ初メタ



長絹姿ノ牛若丸　　鞍馬寺藏

長絹　チヤウケン緯ノ高イ絹ノ名デ初メソレヲ以テ作ッタ直垂ノ一種デコノ名ガアル、直垂ト水干ノ折衷デ房ノ菊綴ヲ襟・背・鰭袖・袴ニ二ヅツツケ袖括・胸紐ガアル〔地質〕練ノ平絹・生(スヽシ)・紗〔色〕白、菊綴ハ黑、上流武家ノ子息元服前ノ正服、髮ハ垂髮、

素襖　モト下級武人ノ着用シタ直垂系統ノモノ、直垂ノ如ク組紐デナク革紐デアルコト・直垂ヤ大紋ハ袴ノ腰ガ白デ練絹ノ上刺ヲナスガ素襖ハ共裂デ上刺ヲシナイコトガ相異點デアル、高級武士ガヨイ織物ノ直垂ヲ着スルニヨリ下級者ガ布デ製シタノガ素襖ノ名ノ由來デアラウ、之モ準禮装トナリ江戸時代ニハ家紋ヲツケルニ至ッタ、文様ニハ紅巻・豹文等ガアル無位無官ノ武士ノ正服、有位ノ人モ着ス、少年用ノモアル

鎌倉室町安土桃山時代

女子禮裝



淺井長政夫人畫像　史林聚芳

湯卷　一名〔腰卷〕、平安時代浴室ニテ貴人ノ世話ヲスル下級ノ女房ガ衣服ヲヌラサヌ爲紅袴ヲヌギ小袖ノ上ニ腰ヨリ下ニ衣ヲ卷イタノガ起原デアル、鎌倉初期ニハ白絹デ作リ前代同樣衣服ノ汚損ヲ防グ爲ニ用ヒラレタガ室町時代ニハ正服用ノ裝飾トナツタ、形ハ小袖ノ樣ナ廣袖デ袖モ身モ小袖ヨリ稍大キク地質モ色モ華美ナモノニ變リ上臈マデ袴ヲ廢シテ之ヲ用ヒタ



小袖打掛姿　桃山時代

小袖ノ進展　下着ラシキモノヨリ變ジテ色・模樣共ニ鮮カニ地質モ唐織物・二重織物等ヲ用ヒルニ至リ女官モ平常ハ白小袖ニ緋袴ノミ簡單ナ服裝トナリ、袴ノ腰ヲ括ラズ綻ク結ンデ肩ニカケル風ガ行ハレタ、下級ノ女官ハ公ニモ袴ヲ用ヒズ小袖ノ上ニ袿ヲ一枚被リ着ル之ヲ〔打掛〕又ハ〔掻取〕ト稱シタ、夏ハ之ヲ腰卷トスル桃山時代ニハ民間ノ女子ノ小袖ニ刺繡ヲスルヤウニナリ打掛ハ小袖ト同ジ形ノモノヲ用ヒタ

→男子民衆服

襖(アヲ)　窄袖ノ短衣ニテ袴ノ中ニ着籠ムヲ普通トシ又外ニ出シテ細キ帶デシメルノモアル武士ノ直垂ニ相當スル庶民勞働者ノ服裝デ室ノ、內外ヲ問ハズ烏帽子ヲ被リ袴ハ前後二幅ヨリナル「四幅袴」ヲハク



肩衣袴著用ノ少年　酒飯論繪詞



道服　職人盡歌合繪

道服　帶ヲセズ被リ着ル短衣道中服ヨリ轉ジタト云フ說ト胴部ヲ掩フ故胴服ト云フ說トアリ、後世ノ羽織ノ起原デ此時代ノ末ニ具足羽織(陣羽織)ノ名ガ見エル

肩衣　素襖・直垂等ノ袖ヲトツタヤウナモノ、長袴又ハ小袴ヲハク、下級ノ者ガ着ハジメ後ニハ高級者モ着用シタ、肩衣袴又ハ上下ト云ヒ衣ト袴ハ共裂デ作ル



十德着用男子　裝束著用圖

十德　僧侶ノ直綴ヨリ變化シタモノラシク脇下ニ襞アリ、此時代ノ末ニ素襖ト折衷シタヤウニ定紋・胸紐・露・菊綴ヲツケ、帶ヲ用ヒ袴ナシニ着スル武士用ノモノガ出來タ、茶人醫師等ハ定紋等ヲツケズ、帶モ袴モ省イテ用ヒタ、精好・紗・絽等、色ハ黑染ヲ主トシタ、中間・小者等ハ四幅袴ヲハク、布製淺黃ガ普通デアル

女子結髮





繪元結　　兵庫髷

〔垂髮ノ變化〕　應仁亂以後ノ垂髮ハおすべらかしトテ長髮ヲ白髮ニツナギ頸ノ邊デ下括ヲナシ其上ニ繪元結ヲカケル、繪元結ハ圓ク太サ直徑四分乃至五分表面ハ金箔デ押シ之ニ松竹梅等ノ彩色繪ヲ描ク

〔兵庫髷〕肩ノアタリデ髮ヲ切リ揃ヘ頭上ニ束ネル

〔桂包〕一名〔髮卷〕布ニテ髮ヲ卷キ込ミ包ム勞働ノ際ノ便宜ノ爲ナラム

貨幣ト物價

鎌倉時代ニハ貨幣ノ鑄造ナク主トシテ永樂通寶洪武錢・宣德錢等ノ支那錢流入シ我國在來ノ錢貨ヲ凌賀シタ、之ニ不足シテソノ模造ノ私鑄錢ガ出來輸入錢ノ中ニモ劣惡ナモノガ混ジテ居タ〔砂金〕ヨリ〔切遣ヒ〕ヘ、平安朝末進物用、祿物トシテハ砂金ヲ袋ニ入レテ用ヒタガ貨幣トシテハ煉治シテ延金・竹流金・棹金・板金等トナシ必要ニ應ジテ分割秤量シテ使用シタ之ヲ切遣ト云フ〔花降銀〕銀ハ十兩判(四十三匁)一兩判トシテ用ヒタ　〔大判小判〕切遣ヒハ取扱上不便ナノデ天正元年ニ信長ガ大判ヲ鑄造シ、秀吉モ大判小判ヲ鑄造シタ、金一兩(四匁―五匁)ハ銀十兩・銅錢二貫文ニ相當スル、米五斗四升ハ一貫文、鯛四十文鮭十六文　赤カハラケ五文、布一反二百文等ノ記錄ガアル　〔金銀鑛ノ發見〕室町末期ニ甲斐・佐渡・但馬・石見ノ鑛山發見サレ金銀貨幣ノ鑄造ガ盛ニナリ秀吉ガ京都御所ノ小御所ニ金ノ茶座敷ヲ造リシヲ代表トシテ建築・什器・衣服等夥シキ金銀ヲ使用スル豪奢ガ行ハレタ　〔丁銀〕室町末期ニ行ハレタ海鼠形(四十三匁)ノモノ　〔金銀ノ私鑄〕諸侯ニ行ハレタ、大規模ニテ品位ノヨキハ〔甲州金〕デ信玄治世ノ頃ヨリ秩序的ニ行ハレ大判・小判・切遣・異石等七八種アリ

食物

鎌倉時代ハ極メテ質素デ時頼ガ味噌ヲ肴ニシテ客ト酒ヲクミ、又足利義氏ヲ訪ネテ饗應ヲウケタ時一獻打鮑・二獻海老・三獻かいもちひ(ソバカキ)ニテ止ムト云フ記錄ガアル

〔主食〕　强飯ヲ普通トシ、武家ノ饗ニハ〔垸飯〕(ワウバン)トテ釜デ煮タ飯ヲ垸ニ盛リツケタモノヲ出シタ、之ハ平安朝ノ下司ニ供スル辨當食ノ類デアル

〔副食物〕　普通ノ鮮魚ノ外鮎ノ白干・鯛ノ黑作リ・蟹味噌・海鼠腸・干鳥・干兎・干鹿・熊ノ掌・納豆・松茸・茄子・胡瓜・うご等

〔果物〕　甲州葡萄ヲ此時代ヨリ栽培シ初メタ

〔精進料理〕　點心ト共ニ佛敎ノ興隆ニ隨ヒ發達シタ

(一)齋ノ汁・豆腐飯・辛辣飯・雪林菜・薯蕷餅・山葵寒汁

(二)菜・獨薺葡・煮染牛蒡・昆布・烏頭布・荒布・黑煮蕗・酢漬茗荷・茄茄子・胡瓜甘漬・納豆・煎豆・茸・圍豆・芹・蒜・蒸酢和布・青苔・甘苔・鹽苔・酒煮松茸等

〔點心〕　朝夕二食ノ間ニ食スル間食、後世おやつノ起原デアラウ、還糟・水纖・羊羹・饅頭・菓子麵・卷餅等

〔茶〕　平安時代ニ輸入サレタ茶ハ中絕シタガ此時代ニ再ビ僧侶ニヨリ輸入サレ遂ニ一般ノ嗜好品トナリ抹茶トシテ用ヒ室町時代ニハ〔茶道〕創始サル

〔武家獨特ノ肴〕　初獻肴ニ海月・熨斗鮑・梅干等ノ記錄ガアル、削物ト稱シテ干魚類・生物・鹽肴等ガ用ヒラレタ

〔料理法ノ秘傳及作法〕　室町時代ニナツテ料理法ニモ奧秘・秘傳等ガ出來四條家・大草家ガ庖丁ノ家ト定マリ世襲シタ、俎ノ高サ・長サ・脚ノ大小・庖丁箸等モ流儀ニヨツテ寸法異リ、器ノ據方・持方ニモ規則ガ出來、饗膳ニモ本膳・二膳三四五膳等ノ種別ヲ作リ、禮儀ヲ重ンジ式三獻七五三等ノ式ガ行ハレタ　〔主食〕强飯ハ此時代ニハ主トシテ儀式ニ用ヒラレ平常ハ釜デ炊ク飯ヲ用ヒタ、平安時代ニハ之ヲ粥ト稱シタ、此時代ノ粥ハ今日ノト等シク柔ク煮タモノデアル、雜穀ヲ入レタリ・七草粥・尾花粥等儀式ニモ用ヒタ　〔副食物〕南蠻燒(油デアゲタモノ)蒲鉾・宇治丸(鰻蒲燒)豆腐・味噌漬等、〔點心〕ニ冷むぎ・蕎麥・砂糖菓子等ガ加ハツタ

〔料理及食器ノ美的趣味〕　桃山時代ニ至ツテハ食器ニ金銀ノ箔ヲ用ヒ、山吹膾・卯花膾等ノ風流ナ名ガツケラレ、盛リ方ニモ鮑ニ海草・鱸ニ蓼ノ葉・鯉ニ水草・鶴ニ薄・鴨ニ澤瀉等考案サレタ

〔副食物〕　针鱧・汁・ふぐ汁等ガ加ハツタ

鎌倉室町時代 (2262)

- 二條爲世—頓阿…(二代略)…
- 東常縁…(三代略)…
- 冷泉爲相—爲秀
- 爲尹—爲之【上冷泉】…(九代略)…冷泉爲村
- 爲尹—持爲【下冷泉】
- 了俊—正徹—心敬／宗砌
- 三條西實枝—細川幽齋（衆妙集）

2263 慶長8

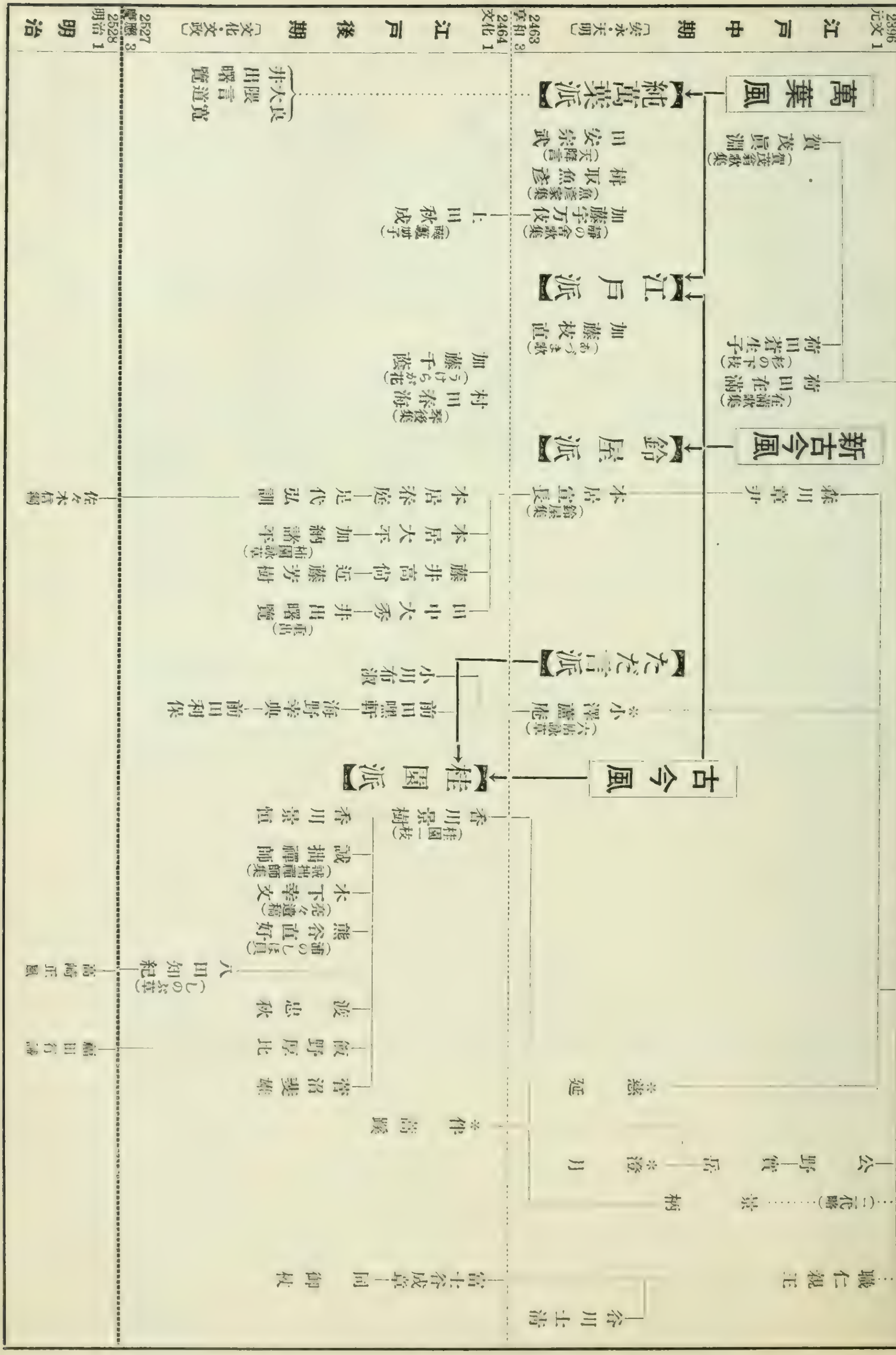
江戸前期（萬治・延寶、元祿・享保）

- 細川幽齋—中院通勝
- 細川幽齋—智仁親王—後水尾院…(二代略)…
- 細川幽齋—烏丸光廣（黄葉集）
- 細川幽齋—三條西實條—同公勝—清水谷光榮—同實業—香川宣阿（號梅月堂）…
- 三條西實條—武者小路公種—同實陰
- 細川幽齋—木下長嘯子（擧白集）
- 細川幽齋—松永貞德

復古派

- 下河邊長流
- 釋契沖
- 荷田春滿
- 戸田茂睡

2395 享保20


2396 元文1
江戸中期
〔安永・天明〕
2463 享和3
2464 文化1
江戸後期
〔文化・文政〕
2527 慶應3
2528 明治1
明治
萬葉風
縣居派
江戸派
鈴屋派
大江戸派
桂園派
新古今風
古今風
賀茂眞淵
加藤宇万伎
楫取魚彦
田安宗武
上田秋成
加藤枝直
荷田春満
荷田在満
村田春海
加藤千蔭
本居宣長
本居大平
本居春庭
※小澤蘆庵
前田夏蔭
香川景樹
香川景恒
木下幸文
熊谷直好
八田知紀
佐々木信綱
高崎正風
※慈延
※伴蒿蹊
※澄月
職仁親王
冷泉為村
谷川士清

【備考】※ハ平安四天王

時代	天皇	年	家集・私撰集	歌論
江戸	後陽成	2263		
	後水尾		衆妙集 (細川幽齋)	幽齋翁聞書 (佐方宗佐編)
			2275 入道中納言雅庸卿百首 (飛鳥井雅庸)	
		2280		
	明正			2289 古今集聞書 (桂宮智仁親王)
			2296 貞德百首 (松永貞德)	耳底記 (烏丸光廣)
		2300		耳底記別錄 (同上)
	後光明		2309 擧白集 (木下長嘯子)	2312 和歌七部之抄 (烏丸光廣)
			後十輪院集 (中院通村)	2313 歌林樸樕 (中院通村)
	後西	2320		
	靈元		2326 鷗巣集 (後水尾天皇)	2326 烏丸資慶卿口授
			類題和歌集 (後水尾院撰)	延寶中 後水尾院御詞留和歌聞書
			2328 草山集 (元政上人)	
			2331 林葉累塵集 (長流撰)	2337 新歌林良材集〔一名續歌林良材集〕 (下河邊長流)
	東山	2340	2339 萍水和歌集 (同撰)	2340 可祕抄 (後水尾院)
			2341 自撰晩花集〔一名長流延寶集〕	
			晩花集 (長流歌集契沖撰)	
			漫吟集 (僧契沖)	2352 歌枕秋の寢覺 (有賀長伯)
				2356 初學和歌式 (有賀長伯)
			常山詠草 (德川光圀)	2358 梨本集 (戸田茂睡)
		2360		2360 和歌八重垣 (有賀長伯)
	中御門		2362 和歌鳥の跡・さゞれ石 (戸田茂睡)	
			季吟子家集 (北村季吟)	
			隱家集 (戸田茂睡)	2370 溪雲問答 (中院通茂)
			老槐和歌集 (中院通茂)	
		2380	2367 梶の葉 (祇園梶子)	
	櫻町		通躬公集 (中院通躬)	
			三槐和歌集 (通村・通茂・通躬)	
		2400	2397 長伯集・秋葉愚草 (有賀長伯)	

時代

- 桃園 (2401)
- 後櫻町 (2420)
- 後桃園
- 光格 (2440)
- (2460)
- 仁孝 (2480)
- (2500)
- 孝明 (2520)
- (2527)

家集・私撰集

2418 文 布 (油屋倭文子)
佐 保 川 (鵜殿餘野子)
2420 芳雲和歌集類題 (武者小路實陰)
天 降 言 (田安宗武)
静 舍 歌 集 (加藤美樹)
北 邊 集 (富士谷成章)
楫取魚彦集 (楫取魚彦)
東 う た (加藤枝直)
2455 杉 の 下 枝〔刊〕 (荷田蒼生子)
2451 賀茂翁歌集 (賀茂眞淵)
2455 春 葉 集 (荷田春滿)
垂 雲 和 歌 集 (僧 澄 月)
2465 江戸職人歌合
2466 柃 野 集 (淸原雄風)
2468 閑 田 詠 草 (伴 蒿 蹊)
2469×つ づ ら ぶ み (上田秋成)
2470×琴 後 集 (村田春海)
2472 筑 波 子 集 (近藤茂子)
2476 後 鈴 屋 集 (本居春庭)
2480 亮 々 草 紙 (木下幸文)
2482×う け ら が 花 (加藤千蔭)
2484 稲 葉 集 (本居大平)
2488 桂 園 一 枝 (香川景樹)
2489×泊 洦 舍 集 (淸水濱臣)
2505 浦 の 汐 貝 初 編 (熊谷直好)
2509 橘守部歌集 (橘 守 部)
2509 桂園一枝拾遺 (香川景樹)
2511 明 倫 歌 集 (德川齊昭)
2515 し の ぶ 草 (八田知紀)
2527 柱 蔭 (渡 忠 秋)
〔2566刊〕元 義 集 (平賀元義)
〔2528刊〕海人の刈藻 (蓮 月 尼)
向 陵 集 (野村望東尼)
——歿年順

歌論

2402 國 歌 八 論 (荷田在滿)
2402 國歌八論餘言 (田安宗武)
2402 國歌八論餘言拾遺 (賀茂眞淵)
2402 國 歌 臆 說 (賀茂眞淵)
2406 歌 體 約 言 (田安宗武)
2421 國 歌 八 論 斥 非 (大菅 圭)
2423 石 上 私 淑 言 (本居宣長)
2424 歌 意 考 (賀茂眞淵)
2425 に ひ ま な び (賀茂眞淵)
樵 夫 問 答 (冷泉爲村)
六 運 圖 略 (富士谷成章)
2440 梅月堂和歌傳書 (香川宣阿)
2453 歌 袋 (富士谷成章)
2456 ふ り 分 髮 (小澤蘆庵)
2458 う ひ 山 踏 (本居宣長)
2460 ふ る の 中 道 (小澤蘆庵)
2468 歌 が た り (村田春海)
2471 新 學 異 見 (香川景樹)
2475 歌 道 御 答 書 (芝山持豐)
2477 新 學 加 雞 考 (本間素當)
北邊髓腦、眞言辨 (富士谷御杖)
2486 歌 の し る べ (藤井高尙)
2490 筆 の さ が 評 (八田知紀)
2492 古今集正義總論 (香川景樹)
2493 大 ぬ さ (中川自休)
歌 學 提 要 (内山眞弓編)
2499 歌學初訓、同二訓 (五十嵐篤好)
2502 古今集正義序註追考 (熊谷直好)
2505 歌 の 大 旨 (長野義言)
2506 千 代 の 古 道 (八田知紀)
2515 歌道祕事十五ヶ條 (前田利保)
2515 詠歌大事七ヶ條 (同 上)
2524 歌 學 新 論 (物集高世)

歌格研究

〔睽居すさみ草〕 (賀茂眞淵)
2439〔詞 の 玉 の 緒〕 (本居宣長)
2452〔玉 あ ら れ〕 (本居宣長)
2454〔玉 か つ ま〕 (同 上)
2461 長 歌 詞 珠 衣 (小國重年)
2472 日本紀謠歌解 (内山眞龍)
〃 古事記謠歌註 (同 上)
2473? 眞 葛 葉 (石塚龍雄)
2478 萬 葉 摘 翠 抄 (橘 守 部)
2479 長 歌 撰 格 (同 上)
〃 短 歌 撰 格 (同 上)
2495 古 風 三 體 考 (近藤芳樹)
2497 永 言 格 (鹿持雅澄)
2498 萬葉集長歌格 (西田直養)
2500 長 歌 大 意 (橘 守 部)
〃 歌 體 緊 要 考 (岡部東平)
2501 萬 葉 緊 要 (橘 守 部)
2502 寄 居 歌 談 (近藤芳樹)
2507 長 歌 私 編 (八樹美穗)
2509 旋 頭 歌 抄 (草鹿砥宣隆)
2514 千 木 の 片 そ ぎ (山田常典)
2521 長 歌 玉 琴 (六人部是香)
2584 國歌の胎生及び發達 (五十嵐力)
2509 長 歌 規 則 (中村知至)
2510 假 名 本 末 (伴 信友)
2512? 天 問 抄 (草鹿砥宣隆)
2517 六 句 歌 體 辨 (野々口隆正)
2525 歌 格 新 論 (井上淑蔭)
2526 歌 格 談 話 (同 上)
2532 旋 頭 歌 解 (橋本直香)

江戸

天皇：後陽成（2263）・後水尾・（2280）・明正・（2300）・後光明・後西・霊元（2320）・（2340）・東山・中御門（2360）・（2380）・櫻町（2400）

〔連歌〕

2287 連歌書（了意）
2309 花月千句（立圃）
2310 無言抄（應其）
2315 紅梅千句（貞德）
2327 續山の井〔卷五〕
2336 連珠合璧（瑞信）

俳諧

貞門

2287 追善九百韻（立圃）
2293 犬子集（重頼）
2293 發句帖（立圃）
2298 廣筑波集（西武）
2303 淀河（貞德）
2309 油糟（貞德）
2308 正章千句（正章）
2309 崑山集（令德）
2309 空礫（立圃）
2316 玉海集（貞室）
2317 けふの細布（安靜）
2318 鸚鵡集（梅盛）
2320 新續犬筑波集（季吟）
2322 身樂千句（元隣）
2324 小夜中山（重頼）
〃 俳諧雨吟集（季吟）
2325 小町踊（立圃）
2336 當世男（蝶々子）
2338 江戸三吟（信德・桃青）
〃 江戸新道（言水）
〃 江戸八百韻（幽山）
2341 七百五十韻（信德）
2341 東日記（言水）
2342 俳諧這林一句（調和）
2352 都のしをり（立志）
2355 鳥羽蓮花（和海）
月山發句合（鷺水）

談林

2316 大阪天満社萬句興行（宗因）
2333 西翁十百韻（宗因）
2335 大阪獨吟集（宗因）
2336 大矢數（西鶴）
〃 談林十百韻（松意編）
2338 夢づくし（松意）
2339 雨吟一日千句（西鶴）
〃 わたし舟（旨恕）
〃 俳諧中庸姿（高政）
2342 山海集（賀子）
2350 俳諧團袋（團水）
2351 我庵集（轍士）
2365 余花千句（沾德）
2371 枝葉集（沾德）
2381 續余花千句（沾德）
2394 今宮草〔刊〕（來山）

伊勢派

2308 守武千句〔刊〕
2309 望一千句（望一）
2310 伊勢山田俳諧集（同上）
2310 望一後千句（望一）
2339 仙臺大矢數（三千風）
2340 松島一色雨吟集（同上）

貞門三部書
　御傘・淀河・油糟

芭蕉七部集（一名、俳諧七部集）
　○印ヲ附セルモノ

其角七部集
　虛栗集・續虛栗集・新山家
　多識が家・萩の露・花つみ
　俳諧錦繡緞

蕪村七部集
　其雪影・明鴉・續明鴉・一夜四唫
　花鳥篇・桃季・五車反古

其他、雪門七部集・曉臺七部集・乙二七部集・道彥七部集・樗良七部集・士朗七部集・一茶七部集等あり。

蕉風

2332 貝おほひ（芭蕉）
2340 田舍の句合（其角）
2341 俳諧次韻（桃青）
2343 虛栗（其角七ノ一）
2344○冬の日（芭蕉）
2346○春の日・初懐紙（同）
2349○曠野（同）
2350○ひさご・○猿簑（同）
2350 新三百韻（其角）
2354○炭俵（芭蕉）
2357 俳諧錦繡緞（其角七ノ七）
2358○續猿簑（芭蕉歿後刊）
2349 有磯海（浪化）
2350 其袋（嵐雪）
2352 罌粟合（嵐蘭）
2353 曠野後集（荷兮）
2354 別座敷集（子珊）
2355 韻塞（許六・李由）
2358 泊船集（風國）
2359 皮籠集（凉菟）
〃 西華集（支考）
2360 東華集（同上）
2360 冬かつら（杉風）
2361 蕉尾琴（其角）
2363 青すだれ（短久）
2364 中山集（凉菟）
2370 粟津ヶ原（桃隣）
2372 千鳥掛（蝶羽）
2361 荒小田（舍羅）
2364 菜雀（正秀）
2365 枯野塚（野坡）
2372 正風彥根體（許六）
藤の實（惟然）
菊の塵（園女）
2390 父の恩（才牛）
2399 星月夜集（原松）
2383 六十賀集（園女）
2386 八鳥（野坡）
2387 初茄子（吾中）
〃 桃の首途（支考）
2391 五色墨（風葉・素丸）

伊丹派

2338 當流籠拔（宗旦）
2341 西瓜三ッ集（鬼貫）
2343 三人蛸（宗旦）
聯句百韻（鬼貫）
2378 遠千鳥
2387 俳諧七車（鬼貫）
2394 伊丹發句合（鬼貫）

葛飾派

2339 雨吟二百韻（芭蕉・素堂）
2371 とくとくの句合（素堂）
俳諧五十韻（素堂）
素堂句集（素堂）
2391 五色墨（素丸）

時代: 桃園 (2401) ／ 後櫻町 (2420) ／ 後桃園 ／ 光格 (2440) ／ 仁孝 (2460, 2480) ／ 孝明 (2500, 2520, 2527)

【古風】【貞門】松永貞徳（幽斎門）
- 野々口立圃 — 高井立志 — 二世立志 — 三世立志 — 雲津水國 — 炭太祇
  - 三世立志 — 四世立志
- 松江重頼 — 上島鬼貫（伊丹派祖）
- 安原貞室 — 池西言水
- 鶏冠井令徳 — 藤堂蟬吟
- 山本西武 — 山岡元隣
- 北村季吟
  - 松尾芭蕉（蕉風祖）
  - 山口素堂（葛飾派祖）
  - 北村湖春
- 石田未得
- 高瀬梅盛
- 荻野安静
- 宮川松堅

【談林】西山宗因（昌琢門）
- 西山宗春
- 岡西惟中 — 北條團水
- 井原西鶴 — 椎本才麿
- 内藤露沾 — 福田露言
  - 水間沾徳
- 前川由平 — 小西來山

【蕉風】松尾芭蕉
（1—10 蕉門十哲）
- 1 榎本其角（江戸座） — 松木淡々 ／ 鳥屋白雲
- 2 内藤丈草 — 桑岡貞佐
- 3 向井去來
- 4 森川許六（五老井） — 清水周竹
- 5 服部嵐雪（雪門） — 櫻井吏登 — 大島蓼太（三世雪中庵） — 川路宜麥 ／ 大島完來
- 6 杉山杉風（採荼庵） — 大場寥和
- 7 各務支考（美濃派） — 太田巴靜 ／ 仙石廬元坊
- 8 志田野坡
- 9 越智越人
- 10 立花北枝
- 稲津祇空（法師風） — 夏目宗成 — 夏目成美 ／ 雪堂心祇
- 河合曾良
- 岩田涼菟（伊勢派） — 中川乙由 — 三浦樗良 ／ 加賀千代
  - 神風館眷北 — 柳居 — 鳥酔 — 加舎白雄（二世春秋庵） — 道彦 ／ 巣兆 ／ 碩布

【葛飾派】素堂（其日庵一世） — 馬光（二世） — 素丸（三世） — 竹阿（二六庵） — 小林一茶（俳諧寺）

横井也有

【天明調】早野巴人 — 與謝蕪村 — 高井几董 ／ 春泥舎召波 ／ 江森月居

加藤曉臺（暮雨庵） — 白居 ／ 士朗

2403 古簾（二世湖十）
2407 五元集（旨原編）
2414 年賀集（淡々）
2424 夜半帖（蕪村）
2431 其雪影（蕪村七ノ一）
2433 明烏（同二几董編）
〃 一夜四歌仙（同三〃）
〃 花鳥篇（同四〃）
2436 續明烏（同六〃）
2437 春泥句集（召波）
2440 桃李（蕪村七ノ五）
2441 十番左右句合（蕪村）
2443 五車反古（蕪村七ノ七）
2444 新花摘（蕪村・月溪）
2447 其角七部集〔刊〕
2449 井華集（几董）
2459 三十六歌仙〔刊〕（蕪村）
2469 蕪村七部集〔刊〕
2482 俳諧玉藻集〔刊〕（几董）
2487 俳諧一葉集（湖中）
2488 月居七部集（月居）

2401 鳥無三吟（祇徳）
2410 玄峯集（旨原）
2411 雪おろし（蓼太）
〃 續五色墨（蓼太・宗瑞）
2415 百太郎（牧童）
2417 歳花集（紀逸）
2426 羅葉集（也有）
2429 蓼太句集（蓼太）
2430 しをり萩（曉臺）
新選（嘯山）
2431 芭蕉庵再興集（蓼太）
芭蕉翁發句集（蝶夢）
2434 俳諧七部集〔刊〕（子周編）
2443 樗良七部集〔刊〕
2447 吏登句集（三鶴）
〃 闌更句集（蟠水）
2448 夜のはしら（曉臺）
2453 白雄句集（碩布編）
2455 續七部集（闌更編）
2461 俳諧袋（大江丸）
2464 成美家集（包壽編）
2465 士朗七部集（士朗）
2467 發句五百題（白雄）
2469 曉臺句集（臥央編）
道彦七部集（道彦）
2483 乙二七部集（乙二）
2490 萩陀羅尼（花讃）
2492 北枝發句集（北枝）
2495 自然堂千句（鳳朗）
2496 梅室家集（梅室）
2499 蒼虬句集（蒼虬）
2513 晴霞句集（多代女）
2516 丈草句集（丈草）
2519 千代尼句集（大夢編）
2527 浪花發句集（野鶴編）

2428 鬼貫句選（太祇）

2427 馬光句集（素丸）
2468 一茶旅日記（一茶）
2470 我春集（同上）
2470—78 七番日記（同上）
2476 おらが春（同上）
2478—81 八番日記（同上）
2482—84 九番日記（同上）
一茶聯句集（乙左編）
俳諧田かり笠（魚淵）
2501 一茶發句集〔刊〕（一茶）

江戸

天皇・年代: 後陽成 2263／後水尾／2280／明正／2300／後光明／後西／2320／霊元／東山 2340／2360／中御門／2380／櫻町／2400

俳論

2303 俳諧初學抄 (德元)
〃 淀河 (貞德)
〃 花火草 (立圃)
2305 毛吹草 (重頼)
2307 山の井 (季吟)
2311 御傘 (貞德)
2316 俳諧埋木 (季吟)
2322 玉くしげ (是誰)
2323 茶杓竹 (一雪)
2337 俳諧風體抄 (惟中)
2339 俳諧破邪顯正 (隨流)
2340 俳諧顯正返答 (惟中)
〃 猿轡 (隨流)
〃 俳諧綾巻
〃 是天道 (高政)
2349 山中問答 (北枝)
2351 京羽二重 (林鴻)
2352 貞德永代記 (隨流)
〃 足揃へ (只丸)
〃 葛の松原 (支考)
2354 はせを翁十六篇 (芭蕉)
〃 篇突 (許六・李由)
2358 俳諧問答 (許六)
2359 湖東問答 (去來)
　　 旅寝問答 (去來・其角)
　　 去來抄 (去來)
2362 宇陀法師 (許六・李由)
2367 原俳論 (浮生)
2374 俳諧十論 (支考)
2378 ひとりごと (鬼貫)
2380 綾錦 (沾涼)
　　 杉風傳書 (杉風)
　　 野坡傳書 (野坡)
2396 烏山彦 (沾涼)
　　 星月夜集排難 (松佐)
2399 正風論 (原松)

紀行・俳文

2316 向榮文集 (宗因)
2331 寶蔵 (元隣)
　　 陸奥紀行 (宗因)
2344 以後芭蕉紀行五種 (106頁参照)
2349 日本行脚文集 (三千風)
2350 新山家 (其角)
〃 幻住庵記 (芭蕉)
〃 犬居士 (鬼貫)
2351 雜談集 (其角)
2354 枯尾花 (其角編)
〃 寢樽草 (丈草)
2366 風俗文選 (許六)
2371 それそれ草 (乙洲)
2375 歷代滑稽傳 (許六)
　　 素堂文集 (素堂)
2376 老の寢覺 (鬼貫)
2378 本朝文鑑 (支考)
2383 和漢文藻 (支考)
2390 三日月日記 (支考)
2397 椎の葉 (才麿)

雜俳川柳

2351 小田巻 (竹亭)
2352 難波みやげ
2357 江戸みやげ
2362 若えびす (鶯水)
2365 萬人講 (來山)

私選狂歌集

2325 古今夷曲集 (生白庵行風)
2331 後選夷曲集 (同上)

狂歌家集

鎌倉室町時代
2260頃 雄長老狂歌百首
同頃 新撰狂歌集 (雄長老)
2309 吾吟我集 (未得)
寛文年中 卜養狂歌集 (卜養)
雅莚醉狂集 (白玉)
難波家苞 (貞柳)
拾遺家苞 (同上)
置土産 (貞柳)

時代	桃園	2401	2408 俳諧問答抄 (羊素坊) 2408 南北新話 (涼袋) 2413 雙紐輪 (千梅)	2410 蕉門頭陀物語 (涼袋) 寶曆頃 芙蓉文集 (耳得)	2405 俳諧職人盡 (寥和) 2410 武玉川初篇 (紀逸) 2413 金砂子 (紀逸・湖十等) 2415 東からげ (未詳) 2419 紫苑草 (無有庵)		
	後櫻町 後桃園 光格	2420	2422 糸切歯 (春耕) 2423 片歌二夜問答 (涼袋) 2424 俳諧有耶無耶關 (千那) 2433 二弟準縄〔刊〕 (未詳) 2434 俳諧古學要談 (得甫) 2436 三冊子〔刊〕 (闌更) 2436 やきおほね (梅尺)	2433 芭蕉翁文集 (風德編) 2434 幣ふくろ (士朗) 〃 嵐雪文集 (蓼太編) 2435 佐渡日記 (蓼太)	2425 柳樽(初編) (川柳) 2426 相模振 (川柳花笠) 2428 俳風屋那支多留 (川柳) 2436 武玉川第十八編 (紀水) 2438 新撰筑波集 (素外)		
		2440	2443 歯がため (素外) 2446 附合手引蔓 (几董) 2447 發句小鑑 (蓼太)	2443 鶉衣 (也有) 2444 新花摘 (蕪村) 〃 蕪村終焉記 (几董) 2446 芭蕉翁消息集 (闌更編) 2450 俳諧懺悔 (大江丸) 2451 去來文 (岸芷)	2451 玉柳 (花洛庵一口) 2454 家名喜多留 (市中庵主) 2455 俳諧柳卸 (湖十) 2457 柳樽第廿七編 (和留) 2459 五十能神 (退住)	2443 萬載狂歌集 (四方赤良) 〃 狂歌角力草 (菅巣釣方) 2444 狂言鶯蛙集〔故混馬鹿集〕 (朱樂菅公・四方赤良) 2445 德和歌萬載集 (四方赤良) 2447 狂歌才藏集 (四方赤良)	2443 めでた百首夷歌 (赤良) 狂歌蜀山百首 (赤良) 朱樂舘家集 (菅公)
		2460	2462 俳諧芭蕉談〔刊〕 (文曉) 2464 俳瓢 (沙羅) 2468 俳論〔刊〕 (白露) 2472 俳諧寂栞 (白雄)	2461 俳諧袋 (大江丸) 2470 花屋日記〔刊〕 (文曉) 2476 俳家奇人談 (玄々一) 2476 蕪村文集 (忍雪編) 2476 おらが春 (一茶)	2466 柳多留第卅五編 (二世川柳) 2469 廻文俳諧 (素更) 2471 勝句(大坂・萬句集)	2464 狂歌武射志風流 (鹿都部眞顔) 類題俳諧歌集 (同上)	友なり猿 (白猿) 2466 狂歌蘆荻集 (便々舘) 2473 狂歌秋の野良 (裹住) 2474 我おもしろ (岡持) 2477 千紅萬紫 (赤良) 2478 萬紫千紅 (同上)
	仁孝	2480	2481 四山藁 (成美) 2489 俳諧正語抄〔刊〕 (渡化) 2490 俳諧一串抄 (亦夢) 2493 白雄夜話 (漣々) 2495 俳諧仕様帖 (是網) 2498 三四考 (北枝)	2485 消閑雜記〔刊〕 (惟中) 株番 (一茶) 木の葉集 (同上)			2492 巧樂亭詠漢廣陵集
代	孝明	2500	2501 俳諧七草 (天來) 〃 磯の波 (百足山人) 2502 葉わけの風 (和切)	2505 舍利風語 (梅通) 2510 伊勢紀行〔刊〕 (去來)	2508 柳樽〔第百篇完〕 (扇歌) 2514 俳諧戀の便り (氷壺) 2519 忠臣藏柳樽 (可樂齊)		
		2520	2522 蕉門蕉風師說錄〔刊〕 (越人) 2525 蕉風無格辨 (久安)				
		2527					

江戸時代

天皇：後陽成 2263／後水尾／明正／後光明 2300／後西／靈元／東山／中御門／櫻町 2400／桃園／後櫻町／後桃園／光格／仁孝／孝明 2527

〔延年舞〕

2399　元文四年三月奈良興福寺に延年舞あり
興福寺延年舞式

2503　天保十四年五月東叡山にて延年舞あり

〔田楽〕

2264　慶長九年豐國大明神臨時祭に田樂あり

2277　元和三年四月日光東照宮に田樂行はる

2302　寛永十九年二月禁中に田樂行はる

2415　寶暦五年二月幕府泉州の家原寺久藏院に命じ田樂法師由來及現狀を調査せしむ
田樂法師由來之事　（作者不詳）

2443　田　樂　考　（伊勢貞丈）

2478　文政元年七月武藏國王子權現に例行の田樂あり
觀　田　樂　記　（宮地仲枝）

〔能楽〕

2267　慶長十二年二月江戸城内に觀世金春勸進能興行

2276　元和二年幸橋外に觀世勸進能興行

家康秀忠猿樂愛好、秀忠の時喜多七太夫一流を起す

2287　學　謠　集　（觀世元頼）

2292　童　舞　抄　（下間少進）

2313　承應二年九月江戸神田明神に神事能あり

2318　舞　正　語　磨　（秋　扇　翁）

2319頃　猿　　　　　𮕩

2321　謠　　増　　抄　（加藤盤齋）

2347　舞　樂　大　全　（愛　水　子）

2357　能　の　圖　式

2359　舞樂蘂葉大全

2362　勸進能評判記

2374　法　音　抄　（僧　惠　空）

2378　謠祕傳之書　（福王宗碩）

2380頃　猿　樂　傳　記

2400　能辨惑大全　（高田平七）

2403　音曲玉淵集　（時中翁庚癸・今村義福）

2419　和　樂　辨　（溝口敬明）

2425　明和二年觀世元章謠本を改正す　明和改正本

〃　二百十番謠目錄　（觀世元章）

2432　謠曲拾葉抄　（犬井貞恕）

2439　八　拍　子　（龜　曳　子）

2521　洋　々　集　（梅若滿壽）

〔狂言〕

鷺流觀世流と共に將軍の扶託を受く

2320　狂　言　記

22　〃

25　〃

59　〃

2360　續　狂　言　記

〃　狂言記外篇

2390　狂言記拾遺

2494　間　狂　言　集

2495　狂言竝合裝束　（西村紀常寫）

2500　狂　言　𮕩　（同　上）

〔平曲〕

徳川家康將官の制度を擴張し平曲を保護す

家光將軍の時代々將軍の新喪祭祀に頓寫の法會を設け平家を演ずる式を定む

綱吉將軍檢校杉山和一の平家を聞き總錄の官名と屋敷とを與ふ

2379　平　家　吟　譜　（岡村玄川）

2402　寛保二年七月櫻町上皇平家を聽召す

2432—40（安永中）
平　家　正　節　（荻野檢校）

2448　平家詞曲記　（龜田安道）

2526　家茂將軍の喪の時檢校福住順賀平家を演ず

〔宴曲〕

〔幸若舞〕

江戸初期幸若舞一時流行す

2332　幸若由緒書　（僧大寛）

2371　正徳頃より幸若舞漸々衰微す

2451　寛政三年五月江戸城にて幸若舞あり

2508—13　嘉永年間柳河侯の邸に幸若舞あり

東京時代	明治	2528			明 9 四月前田公邸に天覽能あり 明11 青山御所にて能樂あり 明14 四月芝山内能樂堂に演能あり 明23 能樂蘊奧集（木下敬賢） 明37 能のしをり（大和田建樹） 明40 謠曲評釋（大和田建樹） 明41 四流對照謠曲二百番（芳賀矢一） 明42 能樂古典世阿彌十六部集（吉田東伍） 〃 謠曲全集（國民文庫12.13） 明43 觀世流大皷手附諸流異同辨（觀世元規） 改訂袖珍獨吟集大全（寶生九郎） 明44 喜多流十番綴（喜多六平太） 〃 改正喜多流小謠集（松郁知之）	明35 狂言獨習全書（内藤加我） 明36 狂言全集（幸田露伴） 明42 狂言全集（國民文庫14） 明44 新訂狂言記（大町芳衛）	明 4 十一月盲人官位制度廢止さる 明13 九月京口善運等日比谷大神宮にて平家會を開く 明16 平家統傳記（楠美晩翠） 明29 十二月高輪御殿に常宮周宮兩殿下深川照阿を召し平家を聽召さる 明40 十月東京音樂學校に邦樂調査保存課設置館山漸之進に平家音樂調査を囑託す 明43 平家音樂史（館山漸之進） 明44 平家物語史論（館山漸之進）		明22 筑後國大江幸若連中上京し曾我祐準子爵邸にて幸若舞を演ず 明37 舞の本（上田萬年） 明39 舞曲（新群書類從8）
	大正	2571	大 4 五月日光東照宮三百年祭に延年舞あり 大 4 延年唱歌（有朋堂文庫）	大10 熊野那智社田樂再興す	大 1 謠曲物語（和田萬吉） 大 3 謠曲集（有朋堂文庫） 大 3 校註謠曲叢書（佐々木信綱・芳賀矢一） 大 4 十二月御即位式天覽能 大 4 能樂古典禪竹集（吉田東伍） 〃 地拍子精義（山崎樂堂） 大 6 能樂全史（横井春野） 大 9 大正改版觀世流謠本（觀世元滋） 大12 大正改版寶生流謠本（寶生重英） 〃 大正改版喜多流謠本（喜多六平太） 大14 大正改版金春流謠本（金春光太郎） 〃 能樂盛衰記（池内信嘉）	大 3 狂言記（有朋堂文庫） 大 6 和泉流狂言大成 大 7 能間狂言全書 大 8 新譯狂言記（佐久間春山）	大 2 日本の音樂（兼常清佐）	大 1 宴曲十七帖（吉田東伍・野村八良） 大 4 宴曲（有朋堂文庫） 大 6 宴曲全集（吉田東伍）	大14 十月靖國神社能樂堂にて幸若舞あり
	今上	2586	昭 3 延年舞曲歌（日本歌謠集成） 昭 6 興福寺延年舞唱歌（校註國歌大系1）	昭 3 田樂歌謠（日本歌謠集成5）	昭 1 謠曲（校註日本文學大系） 〃 校註世阿彌十六部集（野々村戒三） 昭 3 謠曲文庫（同刊行會） 昭 4 梅若萬三郎梅若流を樹立す 昭 6 謠曲大觀（佐成謙太郎） 〃 能樂古今記（野々村戒三）	昭 1 狂言記（校註日本文學大系23） 昭 3 狂言二百番 間狂言二百三十番（謠曲文庫） 昭 3 狂言小歌集 狂言小舞集（日本歌謠集成5） 昭 6 狂言集成（野々村戒三・安藤常次郎）	昭 7 平曲（沼澤龍雄）	昭 6 宴曲（校註國歌大系1）	昭 1 舞の本（近代日本文學大系2） 昭 3 幸若舞曲小歌集（日本歌謠集成5）

時代	天皇		年号	純粋歌謡 流行歌	純粋歌謡 組歌・長歌・端歌	純粋歌謡 宗教的歌謡	踊歌	演劇歌謡 歌舞伎歌	演劇歌謡 浄瑠璃	歌謡集
室町時代	正親町	上方中心	2230 元龜							
			天正	隆達節（堺）			風流踊歌			2178 永正15 閑吟集
	後陽成		文祿 慶長				伊勢踊歌	お國かぶき歌	操ミ提携	室町時代小歌集（笹野堅氏藏 昭和5複製）
江戸			2263 元和		〔三味線箏組歌〕	御詠歌〔西國巡禮歌〕	柴垣踊歌	女歌舞伎歌（寛永六年禁）		
	後水尾		寛永	弄斎節（上方 江戸） 片撥 ほそり	琉球組（石村檢校） 本手と破手曲制定（虎澤檢校） 本手破手歌制定（澤住檢校 山野井〃）					
	明正			ぬめり（上方）						
	後光明			戀慕（上方）	組歌完成（柳川檢校）					
	後西		慶安	芝垣節（江戸）	箏組歌制定（八橋檢校）			若衆歌舞伎歌（承應元年禁）	近江節（江戸）	
			寛文	土手節（江戸） 籬節（上方）				踊口説 寛文以後歌舞伎は劇として發達し、歌は折々の插入に止まるに至れり	永閑節（江戸） 角太夫節（上方）	萬治頃 ぬれぼとけ 同 3 吉原小唄惣まくり 當世小歌揃
	靈元		延寶	小六節					土佐節（江戸）	寛文 4 糸竹初心集 延寶 4 淋敷座之慰
			2340 天和	投節（上方）						天和 4 長歌古今集
	東山		貞享 元祿	祭文模倣 たゝき	長歌 作曲者（淺利檢校 佐山檢校 朝妻勾當）	歌祭文 歌説教 歌念佛	古流簫歌（座敷踊） 踊歌（〃） 古今節（劇場踊）	丹前出端の歌 所作事の歌	外記節（江戸） 半太夫節（江戸） 文彌節（上方） 一中節（上方→江戸）	糸竹大全（知音之媒 大幣 紙鳶） 元祿16 松の葉
			寶永		端歌		伊勢音頭		義太夫節（上方）	寶永 1 落葉集 同 3 若緑〔續松の葉〕
	中御門		正德	加賀節（江戸）			名古屋音頭		河東節（江戸）	同 6 増補 絵入 松の落葉
			享保	間の山節			大阪音頭 道念節 大盡舞歌	大薩摩	豐後節（江戸）	
			2400							

時代	櫻町 桃園	江戸中心	2401						
	後櫻町		寶暦				江戸長唄 めりやす 唄浄瑠璃	常磐津節 新内節 薗八節 仲太夫節 繁太夫節 正傳節 富本節	寛延 3 和歌の絲 同 4 絲の調 寶暦 3 新曲唄歌 千世の友 同 12 三津の濱 同 13 宮薗都大全
			明和						明和 6 宮薗花扇子 同 8 山家鳥蟲歌 明和 天明 新大成絲の調
	後桃園		安永						安永 2 宮薗鸚鵡石 同 3 宮薗新曲集
			天明	潮來節					
	光格		寛政						
			2450						
			享和	とつちりとん					寛政 8 増補新成 鶴の聲
			文化	かんかんのう	箏 山田流出現 (山田檢校)			清元節	
	仁孝		文政	大津繪節 小倉潮來節 よしこの節 二上り新内 どどいつ節	八雲琴曲 (中山南海)				文政頃 歌曲習考
			天保						天保 6 中古雜唱集 同 6 巷謡集
			2500		江戸端唄 歌澤節				
			嘉永						
			安政						安政 3 端唄絲の綾 うた澤ぶし 端唄部類初編
	孝明		慶應 2525						同 6 端唄袖かゞみ

江戸

後陽成 2263　後光明 2300　2340　東山　2360　中御門　2380　櫻町 2400

上方古浄瑠璃

武勇物

2297 さもがら
2303 いけどり夜討
〃06 諏方本地兼家
〃19 にたん四郎
〃20 天狗羽打
〃23 酒呑童子
〃24 日本王代記
〃37 頼光跡目論
〃37 天狗内裏
2299 やしま
2318 紅葉狩
〃19 ふみあらひ
〃21 四天王最後
〃23 金平法問諍
2329 中將姫本地
〃38 善光寺

本地物

2285 月界長者
2304 阿彌陀本地
2325 八幡本地
〃27 鬼子母神
〃35 蔦義産宮詣
〃38 三社託宣由來
〃41 清水寺開帳

人情物

2305 明石
2338 信田妻

江戸古浄瑠璃

武勇物

2285 高館
2294 小袖曾我
2303 一谷逆落
〃17 咸陽宮
〃18 身替問答
〃20 箱根山合戰
金平化生問答
2296 泉がじやう
2310 浦の御曹司
〃18 中治姫切
〃20 頼光勇力諍

本地物

いけにへ
2311 清水御本地
〃14 日蓮記
愛宕の本地

人情物

2294 はなや
〃97 ならまつ

竹本座

時代物

2345 世繼曾我（近松）
〃46 出世景清（同上）
〃46 佐々木先陣（同上）
〃56 當麻中將姫（未詳）
〃57 百日曾我（近松）
〃62 傾城八花形（錦文流）
〃65 雪女五枚羽子板（近松）
〃66 傾城反魂香〔吃又〕（同上）
〃69 栬狩劒本地（同上）
〃70 百合若大臣野守鏡（同上）
〃72 五百番内 嫗山姥（同上）
〃75 父は唐土母は日本 國性爺合戰（同上）
〃78 曾我會稽山（同上）
〃78 日蓮上人記（同上）
〃79 平家女護島（同上）
〃80 井筒業平河内通（同上）
〃81 信州川中島合戰（近松）
〃83 大塔宮曦鎧（出雲・和吉）
〃85 大内裏大友眞鳥（出雲）
〃90 三浦大助紅梅靮（千四・文耕堂）
〃90 須磨都源平躑躅（文耕堂・千四）
〃91 鬼一法眼三略卷（同上）
〃92 壇浦兜軍記（同上）
〃94 芦屋道滿大内鑑（出雲）
〃96 敵討襤褸錦（文耕堂・松洛）
〃97 御所櫻堀川夜討（同上）
〃98 小栗判官車街道（文耕堂・千前軒）
〃99 逆櫓松 矢箙梅 ひらがな盛衰記（千前軒・文耕堂）

世話物

2360 長町女腹切（近松）
〃63 曾根崎心中（同上）
〃64 源五兵衞おまん薩摩歌（同上）
〃67 おふさ德兵衞心中重井筒（同上）
〃68 丹波與作 關の小萬 待宵小室節（同上）
〃68 高野山女人堂心中萬年草（同上）
〃69 おなつ清十郎五十年忌歌念佛（同上）
〃71 夕霧阿波鳴渡（同上）
〃71 忠兵衞 梅川 冥途の飛脚（同上）
〃75 おさん 茂兵衞 大經師昔暦（同上）
〃75 嘉平治おさが生玉心中（同上）
〃77 鑓の權三重帷子（同上）
〃78 山崎與次兵衞 壽の門松（同上）
〃78 博多小女郎浪枕（同上）
〃80 紙屋治兵衞 紀伊國屋小春 心中天網島（同上）
〃81 女殺油地獄（同上）
〃82 おちよ 半兵衞 心中宵庚申（同上）

豐竹座

時代物

2359 傾城懷子（海音）
〃62 末廣十二段（同上）
〃63 今様殺生石（同上）
〃68 山桝太夫戀慕湊（同上）
〃64 信田妻女占（同上）
〃73 仁德天皇萬年車（錦文流）
〃78 鎌倉三代記（海音）
〃79 義經新高館（同上）
〃86 北條時賴記（一風・宗助・蛙文）
〃87 攝津國長柄人柱（宗助・蛙文）
〃94 那須與市西海硯（宗助・丈助）
〃95 苅萱桑門筑紫𨏍（宗輔・丈助）
〃96 和田合戰女舞鶴（宗助）
〃97 釜淵雙級巴（宗助）
2400 鷹山姫捨松（宗輔）

世話物

2363 心中涙玉井（未詳）
〃65 八百屋お七 歌祭文（海音）
〃66 おなつ清十郎 笠物狂（同上）
〃68 椀久末松山（同上）
〃69 笠屋三勝廿五年忌（未詳）
〃71 油屋おそめ 袂の白絞り（海音）
〃73 傾城三度笠（同上）
〃82 おちよ 半兵衞 心中二腹帶（海音）
〃98 茜染野中隱井（由良助）

勃興隆盛期名人

22-0頃
薩摩淨雲　江戸ニ下リテ段淨瑠璃ヲ創ム

2308頃
丹後太夫
丹波太夫
長門太夫
淨雲門下四天王ト稱セラル
源太夫（京都開拓）

2320頃
井上播磨掾（大阪開拓）
竹本筑後掾（義太夫）操淨瑠璃ノ中心トナル（竹本座）

豐竹若太夫　竹本座ニ對抗シテ彼此繁盛ヲ極ム（豐竹座）
辰松八郎兵衞
吉田三郎兵衞　竹本座人形遣

竹本政太夫（二代目義太夫）

豐竹越前小掾（若太夫）
藤井小八郎（人形遣）

竹本播磨小掾（政太夫）
吉田文三郎（人形遣）

豐竹肥前掾　江戸ニ下リテ斯道ヲ繁盛ナラシム

時代

天皇	年
桃園	2401
後櫻町	2420
後桃園	
光格	2440
	2460
仁孝	
孝明	2527

2401 時代世話新薄雪物語（文耕堂・松洛等）
〃06 楠昔噺（千柳・松洛・小出雲）
〃06 菅原傳授手習鑑（出雲・小出雲等）
〃07 義經千本櫻（出雲・松洛・千柳）
〃08 假名手本忠臣藏（同上）
〃09 源平布引瀧（千柳・松洛）
〃14 小野道風青柳硯（出雲・冠子・半二等）
〃21 由良湊千軒長者（小出雲・二歩軒等）
〃22 奥州安達原（半二・和泉等）
〃26 本朝廿四孝（半二・松洛等）
〃26 高師直・鹽冶判官・太平記忠臣講釋（同上）
〃27 三日太平記（同上）
〃29 近江源氏先陣館（半二・平七・東南・松洛等）
〃43 伊賀越道中雙六（半二・加作）
〃46 彦山權現誓助劍（下風・保蔵）
〃56 加賀見山廓寫本（魚眼）

〃27 關取千兩幟（半二・松洛等）
〃28 傾城阿波鳴門（半二・平七・兵藏等）
〃31 十三鐘・絹懸柳 妹背山女庭訓（半二・ほく・善平・東南）
〃40 おそめ久松 新版歌祭文（半二）

2402 男作五雁金（出雲）
〃05 夏祭浪花鑑（小出雲・千柳・松洛）
〃09 双蝶々曲輪日記（出雲・松洛・千柳）
〃11 戀女房染分手綱（冠子・松洛）
〃19 日高川入相花王（小出雲・半二・後等）
〃20 三十三間堂平太郎縁起 祇園女御九重錦（笛躬・阿契）
〃22 岸姫松轡鑑（應律・笛躬・藤助等）
〃24 嬢景清八島日記（笛躬・黒藏主・阿契）
〃31 鳴呼忠臣楠氏旗（三郎兵衛・伊甫等）
〃53 蝶花形名歌島臺（魚眼）
〃59 繪本太功記（柳・湖水軒・千葉軒）

2401 播州皿屋敷（太郎兵衛・一鳥）
〃01 田村麿鈴鹿合戰（一鳥・正藏）
〃06 酒呑童子出生記（梁塵軒）
〃11 玉藻前曦袂（橘平・蛙桙等）
〃11 増補日蓮上人御法海（鯨兒・正三等）
〃11 一谷嫩軍記（宗輔・鯨兒・一鳥等）
〃17 祇園祭禮信長記（阿契・應律・黒藏主等）
〃31 梅野由兵衛 迎駕籠死期 茜染（三郎兵衛・兵藏）
〃32 艶容女舞衣（三郎兵衛・應律・平七）
〃33 櫻鍔恨鮫鞘（未詳）

北堀江座　時代物

2435 攝州合邦辻（専助・笛躬）
〃37 伊賀越乘掛合羽（東南）
〃49 木下蔭狹間合戰（笛躬・余七・千柳）
〃49 有職鎌倉山（専助・魚眼）
〃61 箱根靈驗躄仇討（芝叟）
〃61 日吉丸稚櫻（柳・梅枝軒等）

2404 潤色江戸紫（太郎兵衛・一鳥・珍平・仙鶴）
2409 八重霞浪花濱荻（一鳥・丈助・蛙桙等）
2420 清水清玄 櫻姫賤姫櫻（笛躬・應律・阿契等）

北堀江座

世話物

2427 染模様妹脊門松（専助）
〃27 紙子仕立兩面鏡（同上）
〃33 伊達娘戀緋鹿子（専助・和吉・笛躬）
〃36 おはん長右衛門 桂川連理柵（専助）
〃43 近頃河原達引（宗輔等）
〃49 博多織戀鑑（専助・魚眼）

江戸　肥前座・結城座 外記座・土佐座

時代物

2402 石橋山鎧襲（太郎兵衛等）〔肥〕
〃07 いろは日蓮記（宗輔）〔肥〕
〃10 新板累物語（良輔・三樂坊等）〔肥〕
〃24 吉野合戰名香兜（冠子・半藏等）〔土〕
〃30 神靈矢口渡（鬼外等）〔外〕
〃39 荒御靈新田神徳（鬼外・萬象等）〔結〕
〃39 白井權八・幡隨長兵衛 驪山比翼塚（藤橘等）〔肥〕
〃40 靈驗宮戸川（鬼外）〔外〕
〃42 加賀見山舊錦繪（楊鷹）〔外〕
〃47 東唄操文章（氏組）〔外〕
〃48 花上野譽の石碑（芝叟・半平）〔肥〕

世話物

2435 戀娘昔八丈（貴四・角丸）〔外〕
〃36 櫻姫操大全（貴四・友三郎等）〔肥〕
〃40 碁太平記白石噺（上太郎・楊鷹等）〔外〕
〃45 伽羅先代萩（貴四・武兵衛・角丸）〔結〕
〃57 含飴多賀譽（七五三助）〔土〕

其他ノ座

2467	八陣守護城	（藤太・魚岸）	〔道頓堀〕
〃68	勢州阿漕浦	〔田村麿改作〕	〔御靈境内〕
〃82	隅田川續俤	（歌舞伎上演2445）	〔座摩境内〕
〃98	生寫朝顔話	（德叟）	〔稲荷境内〕
〃92	伊勢音頭戀寢刃	（歌舞伎上演2457）	〔同上〕
2512	鐘は上野か淺草か 花雲佐倉曙	（松鳥軒・千和軒）	〔道頓堀〕
〃13	明烏雪の曙	（歌舞伎上演2508）	〔新築地〕

江戸

天皇	年	江戸歌舞伎脚本 時代物・御家物	江戸歌舞伎脚本 世話物	上方歌舞伎脚本 時代物・御家物	上方歌舞伎脚本 世話物	代表的名優
後陽成	2263					2263 出雲ノ阿国 [illegible]
	2300					〃77 若衆歌舞伎流行ス
		05 今川忍び草 (都伝内)				〃84 猿若座江戸ニ建ツ (中村座)
				21〔家〕非人仇討 (嵐五郎兵衛)	38 夕霧名残正月 (近松)	
東山	2340		40 不破伴左衛門 (団十郎)			〃89 女歌舞伎厳禁
		44 鳴神 (団十郎)		48 今源氏六十帖 (近松)	63 曽根崎心中 (近松)	〃94 村山座江戸ニ建ツ
		58 浅間嶽 (七三郎)	68 けいせい嵐曽我	51 水木辰之助餞振舞 (同上)	66 お七祭文 (三八)	2312 若衆歌舞伎厳禁
			70 一心二河白道 (治兵衛)	59 傾城仏ヶ原 (同上)	66 心中抱柱 (三八)	2320 森田座江戸ニ建ツ
中御門		68〔家〕曙曽我夜討	73 花館愛護桜 (同上)			市川団十郎〔江〕
		91〔家〕大角力藤戸源氏 (治兵衛)	76 傾式和曽我 (同上)	76 国性爺合戦 (近松)	78 日本振袖始 (近松)	坂田藤十郎〔上〕
		95〔家〕忠臣いろは軍記 (同上)	82 花毛氈二腰帯 (海音)			芳沢あやめ (女形)
桜町	2400					荻野八重桐 (同上)
		02 鳴神不動北山桜 (蛙文)				水木辰之助 (同上)
		06 新薄雪物語 (文耕堂)			05 夏祭浪花鑑 (小出雲)	生島新五郎
桃園		07 菅原伝授手習鑑 (出雲)				瀬川菊之丞 (女形)
		08〔家〕仮名手本忠臣蔵 (同上)				
		08 義経千本桜 (同上)	09 助六廓家桜 (斗文)			姉川新四郎
		13 ひらがな盛衰記 (文耕堂)	11 戀女房染分手綱 (冠子)	13 傾城天羽衣 (正三)		沢村宗十郎
		14 百千鳥曲輪曽我〔矢の根〕 (斗文)				
		14 由良湊千軒長者 (出雲)	16 心中宵庚申 (近松)			
		18 小野道風青柳硯 (同上)			18 三十石艠始 (正三)	二世 市川団十郎
	2420	19 蘆屋道満大内鑑〔葛の葉〕 (同上)				
		23 奥州安達原 (半二)			22 清水清玄六道巡 (治蔵)	
後桜町		24 平家女護島〔俊寛〕 (近松)				
		25〔家〕女大星霊夜小町〔皿屋敷〕 (千蝶)				
		27 太平記忠臣講釈 (半二)	29 関取千両幟 (半二)	27 本朝廿四孝 (半二)	27 世話料理鱸庖丁〔唐人殺〕 (正三)	中村新九郎
		33 御所桜堀川夜討 (文耕堂)		30 近江源氏先陣館 (同上)		
		33 御摂勧進帳 (治助)		35 競伊勢物語 (亀助)	28 無宿団七時雨傘 (正三)	四世 市川団十郎
				36〔家〕敵討襤褸錦 (文耕堂)		
		34 姫小松子日遊〔俊寛〕 (冠子)	34 双蝶々曲輪日記 (出雲)	37 天満宮菜種御供〔時平七笑〕 (五瓶)		
後桃園		37〔家〕和田合戦女舞鶴〔板額〕 (宗輔)	36 戀娘昔八丈 (貫四)		36 鐘もろとも恨鮫鞘〔お妻八郎兵衛〕 (五瓶)	
		38〔家〕伊達競阿国戯場〔累〕 (治助)		37〔家〕伽羅先代萩 (亀助)		
		38 妹背山婦女庭訓 (半二)	37 傾城反魂香〔吃又〕 (近松)	37〔家〕伊賀越乗掛合羽 (同上)	38 心中紙屋治兵衛 (半二)	
光格	2440	40 山姥四季英	40 碁太平記白石噺 (上太郎)	38 金門五三桐 (五瓶)		尾上菊五郎
		43 加賀見山旧錦絵 (楊黛)	41 おはん長右衛門 瀬川の仇浪 (治助)	41〔家〕加賀見山廓写本 (亀助)		
			44 天の網島 (近松)	41〔家〕天下茶屋聚 (同上)	44 隅田川続俤〔法界坊〕 (七五三助)	
		46 三十三間堂棟由来 (笛躬)		43 鬼一法眼三略巻 (文耕堂)		中村富十郎
		49 傾城阿波鳴門 (半二)		49 有職鎌倉山 (専助)	49 漢文韓文手管始〔唐人殺〕 (五瓶)	
		50 義経腰越状〔五斗兵衛〕 (永助)		49 花上野誉の石碑〔志度寺〕 (半幸・芝叟)		中村歌右衛門
		53 源平布引滝 (松洛)		54 けいせい青陽鶏〔釣天井〕 (七五三助)	53 傾城湯柳桜〔馬切〕 (萬作)	
		54 神霊矢口渡 (鬼外)				中村仲蔵
		55 三浦大助紅梅靮〔石切梶原〕 (千四)	55 五大力戀緘〔小まん 源五兵衛〕 (五瓶)			
		56 壇浦兜軍記〔阿古屋〕 (文耕堂)	56 隅田春妓女容性〔梅の由兵衛〕 (同上)		56 伊勢音頭戀寝刃 (徳三)	

江戸時代　歌舞伎劇（江戸・上方）、時代物、御家物、世話物、代表的名優

時		2460	56 彥山權現誓助太刀〔毛谷村六助〕（下風）	60 幡隨長兵衞〔鈴ヶ森〕（五瓶）	57 淺草靈驗記（德三）〔血達磨〕		
			64 天竺德兵衞韓噺（南北）	63 江戸紫由縁十德〔椀久〕（同上）	62 箱根靈驗躄仇討（司叟）	61 銘作切籠曙（德三）〔桜やおせん〕	四世 松本幸四郎
			65 木下蔭狹間合戰（笛躬）			68 色競かしくの紅翅（同上）〔お園六三〕	
			68 時桔梗出世請狀〔馬盥の光秀〕（南北）	70 心謎解色絲〔お糸佐七〕（南北）	68 柵自來也談（德三）	68 近頃河原達引（宗輔）	淺尾爲十郎
			68〔家〕彩入御伽草〔小平次〕（南北）				二世 嵐三五郎
			70 八陣守護城（魚眼）	73 於染久松色讀販（同上）	72〔家〕忠臣いろは四十七訓〔鎌腹〕（七五三助）	74 けいせい筑紫琴夫（嗜助）〔朝顔日記〕	中山文七
	仁孝		73 釜淵双級巴（宗輔）	79 小さん金五郎浮名の立額			
			74〔家〕隅田川花御所染〔女淸玄〕（南北）				
		2480		83 浮世柄比翼稻妻〔鞘當〕（南北）			
				86 新版歌祭文（半二）			
			85 東海道四谷怪談（南北）				二世 嵐吉三郎 三世 阪東彥三郎 七世 片岡仁左衞門
			87〔家〕獨道中五十三驛〔岡崎の猫〕（同上）	87 廓文章（近松）	92 扇屋熊谷（一鳳）		
			92 苅萱桑門筑紫轢（宗輔）	92 助六所縁江戸櫻	94 鎌倉三代記（海音）		
					96 花魁莟八總（一鳳）〔八犬傳〕	98 女猿曳闘鶏（一鳳）	五世 松本幸四郎
		2500	01 繪本太功記（柳）			07 明烏夢泡雪	
			01 坂閉帳三升花衣〔蓮生譚〕（壽阿彌）				五世 市川團藏
			08 月梅恵景淸（3治助）	10 風曲膝栗毛（鮒宿）			
				11 新版越白浪〔鬼神お松〕（3治助）			五世 岩井半四郎（女形）
			11 源氏模様娘雛形〔田舍源氏〕（同上）	11 東山櫻荘子〔佐倉宗吾〕（如皐）			三世 尾上菊五郎
			12 鵜山姬捨松〔中將姫〕（宗輔）	12 昇鯉瀧白旗〔閻魔小兵衞〕（默阿彌）			
				12 隅田川對高賀紋〔鈴木主人〕（3治助）			
			13 世界花小栗外傳（3如皐）	13 與話情浮名橫櫛（如皐）			十二世 市村羽左衞門
	孝明		13〔家〕花野嵯峨猫魔稿〔鍋島の猫〕（同上）	17 三世相錦繡文章〔お園六三〕（3治助）			
			13〔家〕しらぬひ譚（默阿彌）	17 松竹梅雪曙〔八百屋お七〕（默阿彌）			七世 市川團十郎
				17 鼠小紋春新形〔鼠小僧〕（同上）			
				17 網模様燈籠菊桐〔小猿七之助〕（同上）			八世 市川團十郎
代			18〔家〕假名手本硯高島〔赤垣德利別〕（同上）	19 小袖曾我薊色縫〔十六夜淸心〕（同上）			
				20 三人吉三廓初買（同上）			
		2520	20 金瓶梅曾我松賜（如皐）	20 八幡祭小望月賑〔縮や新助〕（同上）			
				22 勸善懲惡覗機關〔村井長庵〕（同上）			
				22 天砥稿花紅彩繪〔辨天小僧〕（同上）			四世 阪東三津五郎
				22 蔦紅葉宇都谷峠〔文彌殺し〕（同上）			
				22 岩倉宗玄戀慕琴（如皐）			
			24 鶴千歳曾我門松〔野晒悟助〕（默阿彌）	23 處江戸小腕達引〔腕喜三郎〕（默阿彌）			四世 市川小團次
			24 曾我模様侠御所染〔御所五郎藏〕（同上）	25 怪談月笠森（同上）			
				26 船打込橋間白浪〔鑄掛松〕（同上）			
				27 契情曾我廓亀鑑〔お静禮三〕（同上）			

江戸時代

後陽成 2263
2380
2400
桃園
2420
後櫻町
後桃園
2440
光格
2460

江戸長唄

〔俗稱〕（作者）

90 鐵五郎〔矢の根〕
91 傾城道成寺
94 風流相生獅子〔石橋〕
99 助六定紋英
01 初額早咲丹前
02 英獅子亂曲〔枕獅子〕
13 京鹿子娘道成寺
14 英執着獅子
22 分身草摺曳
22 柳雛諸鳥囀〔鷺娘〕
28 敵草吉原雀（初治助）
29 隈取安宅松
30 傀儡師鐘ノ門松
34 其面影二人椀久
40 山姥四季英
41 我背子戀合槌〔蜘蛛拍子舞〕（初治助）
45 女夫松高砂丹前
45 春昔由縁英〔羽根の禿〕
47 菊壽の草摺〔いきほひ〕
51 對面花春駒（金八）
52 杜若七重染衣〔手習子〕（同上）
55 五大力
57 姿花濃七種〔木賊刈〕
71 遲櫻手爾波七字〔越後獅子〕（五瓶）
71 七枚續花姿繪〔汐汲〕（2治助）
72 再春菘種蒔〔舌出三番〕（同上）
72 戀民寄掛合〔犬神〕（同上）
74 正札附根元草摺

常磐津

〔俗稱〕（作者）

19 鳴神鐘入櫻（良輔）
25 蜘蛛絲梓弦〔仙臺淨瑠璃〕（三笑）
35 垣衣戀寫繪〔双面〕（新七）
44 積戀雪關扉（劇神仙）
45 四天王大江山入〔山姥〕（如皐）
48 戻駕色相肩（初治助）
58 雨顏月姿繪〔葱賣〕
64 戀中車初音旅〔忠信〕（久助）
65 姿花鳥居彩〔お菊幸助〕（2治助）
73 閏茲姿八景〔水賣り〕（同上）

富本

〔俗稱〕（作者）

33 色手綱戀關札（初治助）
37 夫婦酒替らぬ中仲〔鞍馬獅子〕（重助）
39 其俤淺間嶽（金八）
40 十二段君色音
42 新曲高尾懺悔（初治助）
43 花川戸身替の段〔身替お俊〕（同上）
44 春夜障子梅〔夕霧〕
51 參らせ候連理の橘〔蟲賣〕
53 名酒盛色中汲〔女戻籠〕（如皐）
56 徒髮戀曲物〔松風〕
61 茂懺悔睦言〔高尾〕（初治助）
64 全盛操花車〔木遣〕（五瓶）
68 殘菊蝶初音道行〔忠信〕

清元

〔俗稱〕（作者）

76 其小唄夢廓〔權八小紫〕（久助）
78 深山櫻及兪樹振〔保名〕（南北）

創始者・名人

大薩摩主膳太夫
杵屋喜三郎
常磐津文字太夫
富本豐前掾
富士田吉次
荻江露友（長）
杵屋六三郎
富本齋宮太夫
同　大和太夫
中村兵治（長）
杵屋佐吉
松永忠五郎（長）
杵屋正次郎
清元延壽太夫

代	仁孝	2480	80 三升猿曲舞〔猿舞〕 80 石橋 80 涙枕月淺妻 (2治助)		79 再夕暮雨鉢木 (2治助)	79 梅の春 79 御名殘押繪交張〔鳥羽繪〕(2治助) 80 玉兎月影勝〔玉兎〕(同上) 80 詠梅松清元〔茶筌賣〕(由輔)	常磐津兼太夫
		2500	87 月雪花蒔繪屆〔月の巻〕(2治助) 88 供奴 88 八重霞賤機帶 89 吾妻八景 90 第二番目九變化〔官女〕(幸二) 92 姿花后雛形〔小鍛冶〕 94 俄獅子 500 勧進帳 (3五瓶) 500 花見弟十二月所作〔秋傾城〕(琴助)	82 其儘旅路嫁入〔八段目〕 85 寄罠娼釣髭〔釣狐〕(2治助) 88 恩愛瞔關守〔宗清〕(本助) 88 廓春酒宴島臺〔角兵衛〕(如皐) 93 節句遊戀手習〔三人生酔〕 95 關取千兩幟〔稻川內の段〕 96 忍夜戀曲物〔将門〕(壽助) 98 花舞臺霄猿曳〔靱猿〕 98 三幅對和歌姿繪〔俳諧師〕 99 狂亂廓三面〔椀久〕	88 拙筆力七以呂波 (2如皐)	83 色彩間苅豆〔累〕(幸三) 83 大和い手向の五字〔子守〕 84 復新三組盃〔傀儡師〕(南北) 90 江戸櫻衆袖土產〔土佐繪〕(幸三) 91 六歌仙容彩〔文屋・喜撰〕(同上) 92 彌生花淺草祭〔惡玉・三社祭〕(如泉) 93 道行旅路花婿〔おちうど 三段目〕(三升屋) 99 〆能色相圖〔神田祭〕(二三治)	清元太兵衛 同 お葉
	孝明	2520	01 八重九重花姿繪〔五郎〕(二三治) 08 望月 (3治助) 13 柳絲引御攝〔操三番〕(瑳助)	01 道行情三度笠〔梅川忠兵衛〕 03 乘合船惠方萬歲 05 戀弦結紙鳶〔須磨琴〕 06 神楽諷雲井曲毬〔どんつく〕(3治助) 06 邯鄲 (同上) 08 薪負雪間市川〔新山姥〕 09 箱人あやめ人形〔左甚五郎〕 11 勢獅子	05 雪解松操縷〔宗清〕(藤兵衛) 06 七重咲浪花土產〔稽古娘〕 11 田舍源氏露東雲 (3治助) 18 種々薩埵誓掛額〔一つ家〕	03 道行浮塒鷗〔お染〕 08 道行故鄉陽雨〔梅川〕 09 假名手本忠臣藏旅奴 (3治助) 11 田舍源氏露東雲 11 明烏花濡衣 19 梅柳中宵月〔十六夜清心〕	
		2527	21 連獅子 (黙阿彌) 23 常稻俄姿繪〔奴道成寺〕 24 時雨西行 (黙阿彌)	25 月雪花名歌姿繪〔蘭平〕	22 北花四季所作〔彌次喜多〕(3如皐) 23 市原野月朓 23 花曆三題噺〔八笑人〕(3治助)	23 隅田川浮世鏡〔乘合船〕(3如皐)	
東京時代	明治	2528 明治元 2540	明治元 橋辨慶 4 綱館の段 11 牡丹蝶扈彩〔元祿風花見踊〕(同上) 12 筑摩川 (同上)	明治7 道行垢仇浪〔日高川〕(黙阿彌)	明治2 能中富清御神樂〔三社祭禮〕(黙阿彌) 5 六歌仙狂畫墨塗 (3新七)	明治4 名大津繪劇交張〔大津繪〕(黙阿彌)	
		明治14 2560 明治33	14 土蜘 (同上) 16 茨木 (同上) 16 伊勢音頭 (同上) 18 船辨慶 (同上) 25 菊慈童 (3新七) 26 鏡獅子 (櫻痴) 30 三人片輪 (共水) 30 二人袴 (櫻痴) 31 羽衣 (3新七)	16 戎詣戀釣針〔釣女〕(同上) 19 初霞空住吉〔かつぽれ〕(同上) 20 紅葉狩 (同上) 20 歌德惠山吹〔太田道灌〕(同上) 23 戻り橋 (櫻痴) 24 增補女鳴神 (同上) 25 釣狐廓掛罠 (3新七) 26 奴凧廓春風 (黙阿彌) 30 大森彥七 (3新七)		14 忍逢春雪解〔三千歲〕(同上) 18 柳櫻青楼噺〔男しやべり〕(同上) 24 風船乘評判高閣 (同上) 25 階子乘出初曠業 (同上)	

時代	天皇	紀元	假名草子　戀愛物	遊里物	軍書記錄物	怪談物	飜案物	教訓物	名所記	笑話
江戸	後陽成	2263								
	後水尾	2280	69 根之介（現存、寛永活字本）				伊曽保物語{ローマ字本文祿二年 國字本慶長活字本}			昨日は今日の物語（慶長活字本）
	明正		90 お茶物語 92 薄雪物語	99 そゞろ物語（木算）	82 信長記		92 當世尤の草子	95 七人比丘尼 96 可笑記（如儡子） 98 清水物語（意林庵） あだ物語（爲春）	99 竹齋物語（光廣）	83 醒睡笑（策傳）
	後光明	2300	03 若道物語（心友記）	02 吾妻物語（種久）	03 慶長見聞記（茂正）		11 棠陰比事 11 群慶物語	03 大佛物語	03 色音論（種久）（あづまめぐり）	
	後西	2320	21 錦木（了意）	15 桃源集 16 満佐利久佐 20 吉原鑑	14 大閤記（甫庵） 16 北條五代記（淨心） 16 朝鮮征伐記 21 武田一代記 22 水鳥記（樽次）		13 犬つれづれ 13 つるぎの卷 18 瀧口横笛の草紙 21 十帖源氏（立圃）	13 八幡御本地 15 假名列女傳（季吟） 16 法華安心私物語 17 他我身の上（元隣） 20 可笑記評判（了意） 20 孝行物語（同上） 21 因果物語（正三） 21 ひめかゞみ（保齊）	18 京童（喜雲） 東海道名勝記（了意） （萬治年間板） 22 江戸名所記	19 私可多咄（喜雲） 19 百物語
	霊元	2340	26 花の緣物語	26 吉原よぶこ鳥 27 吉原すゞめ 27 吉原讃嘲記	{朝倉始末記 大坂物語 お安物語 おきく物語}	26 伽婢子（瓢水子） 續伽婢子（寛文年間版）	26 釋迦八相物語 26 伽婢子（前出） 30 稚源氏（立圃）	24 堪忍記再判（了意） 24 二人比丘尼（正三） 24 百八町記（松意） 25 日本廿四孝（了意） 30 浮世物語（同上）	25 京雀	28 一休はなし 32 狂歌咄（松雲）
	東山	2360	46 薄雪物語（第五版）	41 都風俗鑑（都色欲大全）		42 新伽婢子？ 52 狗張子（了意） 55 玉櫛笥（文會堂） 58 怪談全書（道春譯）				46 鹿の卷筆（武左衛門） 51 輕口露がはなし（五郎兵衛）
	中御門	2380			66 室町殿物語	61 御前伽婢子（都の錦）		1397（元文二年）續可笑記（浮世物語解題） 2417（寶暦七年）續可笑記（元文二年木版本再摺）		61 露の五郎兵衛新はなし（〃） 65 露休置土産（〃）
	櫻町	2400								

草雙紙			
行成表紙	赤本	黑本	青本

時代		
桃園	2401	
後櫻町	2420	
後桃園		
光格	2440	
	2460	
仁孝	2480	
	2500	
孝明	2520	
	2527	

01 鼠年中行事
02 たから鼠

06 五節句始 (鱗形屋版)
06 萬歳治 (〃)
12 夫婦繪讃 (奥村版)
15 はんじもの (鶴屋版)

05 敵討御法度
06 渡邊綱物語
07 錦戸合戰 (甚四作)
07 化物曾我物語
10 金平化物退治
12 姨捨山物語
12 猿蟹物語 (丈阿作)
18 風流一對男
18 子子子子子子五百八十七曲
22 風流鬼瘤昔咄 (房信畫)
25 東山獅谷物語 (清滿畫)
26 新文學繪づくし
27 金時一代記
29 辨慶一代記 (丈阿作)
33 四天王化物退治 (吟雪畫)
34 咸德物語

05 なすの與市舟遺恨
06 義經堀川夜討
07 景清兩面鏡 (政房畫)
09 酒呑童子
11 忠臣刀箱
15 伊勢參宮御利生
17 役者名物略姿 (清倍畫)
18 竹田新からくり (重長畫)
20 粂平内石像物語 (房信畫)
21 勅宣養老水 (丈阿作)
25 石部金吉金兜
30 金平龍宮物語 (吟雪畫)

年代不明

行成表紙

鼠の嫁入
朝顔姫
桃太郎物語
酒顚童子
大黒夷草紙

年代不明

赤本

金平武者修行(大和屋版)
ぎおんまつり (木下版)
桃太郎昔咄 (鱗形屋版)
ぶんぶく茶釜 (同 上)
猿蟹合戰 (西村屋版)
悪方馬づくし (清滿畫)
武者づくし (重長畫)
鼠のゑんぐみ (重信畫)
狼の聟入 (村田版)
枯木に花さかせ親仁 (清滿畫)

黄表紙

〔滑稽諷刺物〕

35 金々先生榮花の夢(春 町)
36 高慢齊行脚日記 (同 上)
39 案内手本忠臣藏 (喜三二)
39 楠無益委記 (春 町)
43 御ゝ癖下手横好 (可 笑)
43 長生見度記 (喜三二)
44 大從以來記 ([illegible])
45 莫切自根金生木
45 大悲千祿本 (全 交)
48 文武二道萬石通 (喜三二)
49 鸚鵡返文武二道 (春 町)
49 天下一面鏡梅鉢
51 京鹿子娘泥汁 (全 交)
51 [illegible]川而二分狂言 (馬 琴)
54 天道浮世出星操 (三 馬)
58 貧福蜻蛉返 (一 九)
60 稗史憶說年代記 (三 馬)

〔教訓物〕

42 御存商賣物 (京 傳)
45 江戸生艶氣樺焼 (〃)
46 [illegible]正札付 (通 笑)
49 孔子縞于時藍染(京 傳)
50 心學早染草 (京 傳)
52 [illegible]幼稚講釋(京 傳)
53 福德果報兵衛 (〃)
53 堪忍袋緒〆善玉(〃)
55 心學時計草 (一 九)

〔怪談敵討物〕

37 親敵討也腹鼓 (喜三二)
39 怪談豆人形 (文浮堂)
40 娘敵討故郷錦 (京傳?)
41 化物世櫨餅 (可 笑)
42 敵討染分手綱 (〃)
44 怪物[illegible] (通 圓)
44 [illegible]手本忠臣藏 (春英畫)
44 復讐二葉松 (眉壽亭?)
48 怪談小夜嵐 (春英畫)
55 敵討美女英 (楚滿人)
56 案内の狐狸 (阜 樹)
59 俠太平記向鉢卷 (三 馬)
59 殿下茶屋聚仇討 (一 九)
62 虛空太郎武者修行咄 (楚滿人)
62 虛空太郎舍弟仇討 (〃)
63 敵討播州皿屋敷 (桑 秋)
66 敵討安達太郎山 (三 馬)

江戸

後陽成 2263 / 靈元 / 2340 / 東山 / 2360 / 中御門 / 2380 / 櫻町 / 2400



【備考】

(1) 各欄ニ位ノ數字ハ紀元ノ千位百位ノ略

(2) 自・共ハ自笑其碩

(3) 瓢水子、松雲、如儡子ハ了意ノ別號

浮世草紙

（端物）　（續物）

西鶴物

〔好色物〕	〔町人物〕	〔武家物〕
42 好色一代男		
44 好色二代男		
46 好色三代男		47 武道傳來記
46 好色一代女	48 日本永代藏	48 武家義理物語
46 好色五人女		48 新可笑記
47 男色大鑑		
53 西鶴置土產		
54 西鶴織留	54 世間胸算用	

西鶴系統

63 風流今平家（與　志）	67 晝夜用心記（團　水）	66 御伽百物語（鷲　水）
65 堂大門屋敷（錦文流）	69 今樣廿四孝（月尋堂）	
65 傾城武道櫻（與　志）	69 兄弟善惡車（〃）	72 源氏一統志（信　意）
66 熊谷女編笠（錦文流）		
69 御前二代曾我（朝　義）	72 日本新永代藏（團水）	太閤記大全（白龍子）
78 後宮色縮緬（一　風）	72 本朝智惠鑑（〃）	
78 亂脛三本鑓（〃）		

八文字屋本

〔傾城物〕	〔氣質物〕	〔町人物〕	〔實錄物〕
59 役者口三味線			
61 傾城色三味線（自笑）			
65 傾城連三味線（〃）			72 賴朝三代鎌倉記（自笑）
68 野傾友三味線（由志）			
70 傾城傳授紙子（自笑）	75 世間息子氣質（共碩）		73 百姓盛衰記（〃）
70 野白內證鑑（〃）	76 世間娘氣質（〃）		75 風流諸平家（〃）
70 傾城曲三味線（〃）	78 役者不斷氣質（〃）		77 傾城野軍談（〃）
71 傾城禁短氣（〃）	78 寬濶大臣氣質（一洞）		77 民朝太平記（共碩）
			79 義經倭軍談（〃）
｛傾城二挺三味線（自笑） 傾城繼三味線（〃） 傾城伽羅三味線（〃）（寬永年間版）	90 世間手代氣質（共碩）	82 手代袖算盤（自笑） 82 商人世帶藥（〃） 93 商人軍配扇（共碩） 95 渡世身持談義（〃）	90 契情お國歌舞伎（自・共）
野傾旅葛籠（共碩）（正德年間版）	96 浮世親仁氣質（自・共） 96 諸商人世帶形氣（共碩）	97 渡世傳授車（都塵舍）	94 都鳥妻戀笛（自・共） 98 御伽名代紙衣（共碩）
92 傾城歌三味線（自・共）			

時代

皇紀	天皇
2401	桃園
2420	後櫻町
	後桃園
2440	光格
2460	
2480	仁孝
2500	孝明
2520	
2527	

洒落本

16 異素六帖(澤田東江)
16 聖遊廓
29 廓中奇譚(白岡先生)
30 遊子方言 (多田爺)
30 辰巳の園(夢中山人)
33 南閨雜話 (〃)
36 風流裸人形
38 當世虎の卷 (金魚)
38 十八大通百手枕 (〃)
(傾城買指南所)
44 令子洞房(京傳所作)
46 客衆肝照子 (〃)
47 古契三娼 (〃)
47 通言總籬 (〃)
50 傾城買四十八手 (〃)
51 仕懸文庫 (〃)
51 錦の裏 (〃)
51 娼妓絹篭 (〃)
58 傾城買二筋道(谷峨)
62 祇作評判花折紙 (自恐)
洒落本 171 部ノ評判記
96 意氣客初心(山月庵)

讀本

09 英草紙 (近路行者)(本名、都賀庭鐘)
26 繁々夜話 (〃)
28 西山物語 (綾足)
33 本朝水滸傳 (〃)(芳野物語)
36 雨月物語 (秋成)
46 莠句册 (近路行者)
49 通俗大聖傳 (京傳讀本の初作)(孔子一代記)
67 繪本太閤記 (玉山)
68 忠臣水滸傳前編 (京傳)
63 安積沼 (京傳)
64 優曇華物語 (〃)
65 櫻姫全傳曙草紙 (〃)
66 四季物語春の卷(振鷺亭)
66 自來也說話 (鬼武)
66 昔話稻妻表紙 (京傳)
66 梅花氷裂 (〃)
66 善知鳥安方忠義傳(〃)
68 復仇女實語敎 (一九)
69 本朝醉菩提 (京傳)
73 双蝶記 (〃)
74 筑志船物語 (春海)
82 源平外記染分草 (東里山人)
85 忠孝比語傳 (養拙庵)
87 千代物語 (鼻山人)
88 玅婦孝義錄 (春水)
90 嫩髻蛇物語 (金亭主人)
92 復仇遠女傳前編 (種春)
95 繪本西遊記 (丘山)
99 大晦日曙草紙 (京山)
11 宗吾一代記 (花成)
22 神稻水滸傳廿五編 (松旭)
24 清正一代記 (二世春水)

〔馬琴代表作〕

54 高尾船字文 (馬琴讀本の初作)
63 月光奇緣 (馬琴)
66 椿說弓張月
67 勧善家々記
68 三七全傳南柯夢
68 稚枝阿闍梨怪傳
68 俊寬僧都島物語
69 夢想兵衛胡蝶物語
70 昔語質屋庫
73 皿々鄉談
76 里見八犬傳初編
76 朝夷巡島記初編
88 新世美少年錄初編
90 開卷驚奇俠客傳
01 里見八犬傳完結 (106 卷)
05 玉石童子訓初編

滑稽本

12 當世下手談義(好阿)
23 根無草前編 (風來山人)
32 當世滑稽談義 (伽藍堂)
38 和莊兵衛 (遊谷子)
47 田舍芝居 (萬象亭)
50 田舍談義 (京傳)
62 東海道中膝栗毛 (一九)
66 浮世風呂初編 (三馬)
69 江の島土產 (一九)
70 續膝栗毛初編 (一九)
71 浮世床初編 (三馬)
71 串戲二日醉 (一九)
71 四十八癖初編 (三馬)
74 古今百馬鹿 (〃)
80 花暦八笑人初編 (鯉丈)
82 痴癖談 (秋成)
83 滑稽和合人初編 (鯉丈)
85 白痴物語 (瓶望)
88 滑稽水滸傳 (陽春)
90 滑稽三寶荒神 (登鯉)
92 大山道中膝栗毛 (鯉丈)
94 國上業番早合點 (德升)
97 昔々百物語 (林宅正穢)
17 妙竹林話七偏人初編(金鵞)
24 新編膝栗毛 (狗々山人)

##

06 和國小性氣質(隣長)
12 世間母親容氣(南嶺)
14 世間旦那容氣(其磧)
14 世間妾形氣(升鳳)
23 風流俳人氣質(龜友)
26 世間妾氣質 (秋成)
28 世間學者氣質 (無物散人)
30 風流茶人氣質(龜友)
30 世間化物氣質(大梁)
33 世間姑氣質 (龜友)
36 世間仲人氣質(龜友)
41 當世宗匠氣質(其鳳)
56 諸國武道容氣

03 鎌倉諸藝袖日記 (南嶺)
10 敎訓我儘育 (其磧、瑞磧)
26 諸道聞耳世間猿 (秋成)
36 瑞術器粟散國(其鳳)

人情本

77 譚の花 (鼻山人)
78 廓の鶯 (〃)
74 清談峰の初花 (一九)
83 明烏發端 (二世楚滿人)
83 玉情意味張月 (鼻山人)
84 於保呂月 (一九)
89 敎訓二筋道 (春水)
91 假名文章娘節用 (曲山人)
92 春色梅曆 (春水)
93 春色辰巳の園 (春水)
96 春色惠の花 (〃)
96 いろは文庫初編(二世春水)
97 英對談話 (春水)
97 春告鳥 (〃)
98 春色籬の梅 (〃)
24 春色江戶紫 (山々亭有人)
26 お七吉三花暦封文 (鶯月亭)

合卷物

66 雷太郎强惡物語 (三馬)
67 於六櫛木曽仇討 (京傳)
67 繪本大內家軍談 (一九)
71 偐紫後稻妻物語 (京山)
71 身振いろは藝 (東西庵南北)
75 正本製初編 (柳亭種彥)
81 敵討二挺三味線 (東西庵南北)
81 浮世形六枚屛風 (種彥)
82 庭訓栗塢物語 (京山)
85 傾城水滸傳初編 (馬琴)
86 蛙歌春土手節 (種彥)
86 四谷怪談 (文京)
89 偐紫田舍源氏初編 (種彥)
90 浮世源氏繪合編 (京山)
91 天下茶屋仇討文庫 (一九)
91 正本製十二編 (種彥)
94 備前潟雪物語 (〃)
95 今昔伊勢物語 (東里山人)
98 江戶名所紋初編 (京山)
04 白縫八州傳文庫初編 (戀賀)
04 敎訓浮世目鏡 (〃)
05 代討道中双六 (種員)
08 假名讀八犬傳初編 (魯文)
08 八犬傳の草子 (仙果)
09 白縫物語初編 (種員)
27 金儲萬智圖四編 (魯文)

時代	天皇	皇紀	日記	紀行	隨筆	評論 {文學論 中[illegible]論 藝術論}
江戸	後水尾	2263				2298頃 耳底記（烏丸光廣）
				2276 丙辰紀行（林道春）		
	明正	2300				
	後光明					2311 御傘（松永貞德）
	後西					
	靈元					
	東山			2344～45 野晒紀行〔甲子吟行〕（松尾芭蕉）		
				2347 鹿島紀行（〃）		
				2347～48 芳野紀行〔卯辰紀行・笈の小文〕（〃）		
				2348 更科紀行（〃）		
		2350		2349 奥の細道（〃）		
			2351 嵯峨日記（松尾芭蕉）	2356 大和廻（貝原益軒）	2350 幻住庵記（松尾芭蕉）	2351頃 源氏外傳（熊澤蕃山）
			2354? 花屋日記（傳去來等）		2355 河社（僧契沖）	2356 源註拾遺（僧契沖）
			2354〔芭蕉翁終焉記〕（寶井其角）			2358 俳諧問答（森川許六）
						2359 梨本集（戸田茂睡）
				2369 岐蘇路之記（〃）	2368頃 多波禮具佐（雨森芳洲）	2363 去來抄（向井去來）
	中御門				2370 樂訓（貝原益軒）	
					2371 文訓（〃）	
						2374 俳諧十論（各務支考）
						2375頃 紫女七論（安藤爲章）
				2376 歸家日記（井上通女）	2376 折焚く柴の記（新井白石）	2378 ひとり言（上島鬼貫）
	櫻町				2389 經濟錄（太宰春臺）	2384 讀史餘論（新井白石）
				2398 旅のなぐさ（賀茂眞淵）	2392 駿臺雜話（室鳩巢）	2397頃 長伯七部集（有賀長伯）
				2400 岡部日記（〃）		2398 難波土産（木下希聲）

	桃園	2401				2402 國歌八論 (荷田在滿)
				2405 後岡部日記 (賀茂眞淵)	2407 獨語 (太宰春臺)	
				2410 伊香保の道行ぶり (油谷倭文子)	2418頃 雲萍雜誌 (柳澤淇園)	
					2418頃 さはすがたり (中井甃庵)	
						2423 石上私淑言 (本居宣長)
	後櫻町					2425 にひまなび (賀茂眞淵)
				2432 菅笠日記 (本居宣長)		2431 直毘靈 (本居宣長)
				2437 奥の荒海 (岡田小磯)		2438 馭戎慨言 (〃)
				2437 初午の日記 (荒木田麗女)	2440 風來六々部集 (平賀源内)	
時	後桃園			2440 庚子道の記 (鈴木武女)	2443頃 鶉衣 (横井也有)	
					2443頃 小革籠 (〃)	
				2442 西遊記 (橘南谿)	2443頃 野夫談 (〃)	
	光格			2444 東遊記 (〃)	2444 新花摘 (谷口蕪村)	
					2449頃 草茅危言 (中井竹山)	
				2450頃 寛政紀行 (小林一茶)		
		2450				
					2461 閑田耕筆 (伴蒿蹊)	2460 ふるの中道 (小澤蘆庵)
					2464 藤簍冊子 (上田秋成)	
				2462 羇旅漫錄 (瀧澤馬琴)	2468 四方のあか (太田南畝)	
			2469 柳亭日記 (柳亭種彦)	2466 旅の命毛 (土屋斐子)	2468 都の手ぶり (石川雅望)	
					2469 燕石雜志 (瀧澤馬琴)	
					2470 琴後集 (村田春海)	2471 新學異見 (香川景樹)
					2471 玉勝間 (本居宣長)	
					2471 松舍文集 (藤井高尙)	2472 靈能眞柱 (平田篤胤)
	仁孝				2471 春波樓筆記 (司馬江漢)	
			2475頃 市隱月令 (村田了阿)		2473 あづまなまり (石川雅望)	
			2470—78 七番日記 (小林一茶)		2473 わかおもしろ (手柄岡持)	
			2478—81 八番日記 (〃)		2476 北邊隨筆 (富士谷御杖)	
			2482—84 九番日記 (〃)		2476 擁書漫筆 (小山田與淸)	
					2478 年々隨筆 (石原正明)	
					2479 おらが春 (小林一茶)	
代			2490 全樂堂日記 (渡邊崋山)		2479 四方の留粕 (太田南畝)	
					2482 うけらが花 (加藤千蔭)	
					2485頃 梧窓漫筆 (太田錦城)	
					2489 泊洦舍集 (淸水濱臣)	
		2500			2489頃 花月草紙 (松平定信)	
	孝明			2508 箱根日記 (橘守部)	2501 用捨箱 (柳亭種彦)	2506 歌學提要 (內山眞弓)
				2516 2518 } 蝦夷日誌 (松浦武四郞)	2504 芍藥亭文集 (芍藥亭長根)	
					2516 筆のすさび (菅茶山)	
				2521 上京日記 (野村望東)		
		2527			2524頃 橿園文集 (中島廣足)	

江戸時代

紀元・天皇: 2263 後陽成 / 2300 後光明 / 櫻町 / 2400 / 仁孝 / 2500 / 孝明 / 2527

程朱學派

詩文集

- 74 羅山集（林 羅山）
- 86 惺窩集（藤原惺窩）
- 02 杏陰稿（堀 杏庵）
- 26 活所遺稿（那波活所）
- 31 覆醬集（石川丈山）
- 34 草山集（釋 元政）
- 49 鵞峯林學士文集（林 鵞峯）
- 62 赤穗義人錄（室 鳩巣）
- 72 白石詩草（新井白石）
- 72 舜水文集（朱 舜水）
- 02 蛻巖集（梁田蛻巖）
- 12 韞藏錄（佐藤直方）
- 24 東遊篇（那波魯堂）
- 32 日本詩選（江村北海）
- 43 六如庵詩鈔（釋 慈周）
- 44 南海集（祇園南海）
- 50 錦里文集（木下順庵）
- 53 橘窓文集（雨森芳洲）
- 77 精里文集抄（古賀精里）
- 80 日本詩紀（市河寛齋）
- 01 山陽遺稿（賴 山陽）
- 02 栗山文集（柴野栗山）
- 04 穀堂遺稿（古賀穀堂）
- 07 黃葉夕陽村舍詩（菅 茶山）
- 13 艮齋文略（安積艮齋）
- 15 近古史談（大槻磐溪）

經書註釋等

- 63 四書集註抄（林 羅山）
- 26 近思錄備考（貝原益軒）
- 37 朱易衍義（山崎闇齋）
- 46 大學章句新疏（室 鳩巣）
- 54 學問源流（那波魯堂）
- 68 史記雕題（中井履軒）
- 08 四書彙註（篠崎小竹）
- 25 管子纂詁（安井息軒）
- 31 左傳輯釋（〃）
- 32 論語集說（〃）

陽明學派

詩文集

- 08頃 藤樹文集（中江藤樹）
- 22 東里文集（中根東里）
- 89 愛日樓文集（佐藤一齋）
- 93 洗心洞詩文（大鹽中齋）

經書註釋

- 88 大學啓蒙（中江藤樹）
- 10頃 論語小解（熊澤蕃山）
- 16 四書句讀大全（山鹿素行）
- 05頃 傳習錄標註（三輪執齋）
- 22 論語徵解（中根東里）
- 95 孝經彙註（大鹽中齋）
- 01 吳子副詮（佐藤一齋）

復古（古學 古文辭）學派

詩文集

- 77 古學先生文集（伊藤仁齋）
- 87 南郭集（服部南郭）
- 88 金華文集（平野金華）
- 96 紹述先生詩文集（伊藤東涯）
- 00 徂徠集（荻生徂徠）
- 07 西溟餘稿（僧 大潮）
- 09 東野遺稿（安藤東野）
- 12 紫芝園稿（太宰春臺）
- 13 草廬集（龍 草廬）
- 14 金蘭詩集（草廬交友ノ詩）
- 18 蘭亭先生詩集（高野蘭亭）
- 20 周南文集（山縣周南）
- 15頃 遠思樓詩抄（廣瀨淡窓）

經書註釋

- 23 論孟古義（伊藤仁齋）
- 60 論語徵（荻生徂徠）
- 92 聖學問答（太宰春臺）
- 31 周易釋言通解（伊藤東所）
- 09 老子摘解（廣瀨淡窓）

折衷（註考 疏證 調和）學派

詩文集

- 46 蘭臺遺稿（井上蘭臺）
- 52 淇園文集（皆川淇園）
- 63 大峯詩文集（塚田大峯）
- 67 嚶鳴館遺稿（細井平洲）
- 67 北禪遺草（僧 大典）
- 78 西遊詩草（大窪詩佛）
- 86 鵬齋文集（龜田鵬齋）
- 16 星巖集（梁川星巖）

經書註釋

- 24 經義折衷（井上金峨）
- 40 詩經繹解（皆川淇園）
- 47 周易集解疏義（山本北山）
- 51 中庸考草（太田錦城）
- 59 大學私衡（龜田鵬齋）

修辭書・日記其他

- 59 文章達德錄（藤原惺窩）
- 91 辛未手錄（堀 杏庵）
- 69 日用心法（三輪執齋）
- 85 名物六帖（伊藤東涯）
- 07頃 文論（太宰春臺）
- 19頃 燈下書（服部南郭）
- 60 冬讀書餘（尾藤二洲）
- 72 作文志彀（山本北山）
- 90 丙丁烱戒錄（鹽谷宕陰）
- 15 省諐錄（佐久間象山）
- 16 經籍訪古志（海保元備）
- 19 坐獄日錄（吉田松陰）

東京時代

明治（2528 明治元）— 大正（2571 大正元）— 昭和（2585 昭和元）

註釋書

明治
- 15 解 莊 宇都木鉎大
- 17 註釋韓非子全書 藤澤南岳
- 23 支那文學全書 二四卷 博文館
- 24 少年叢書 漢文學講義 二四卷 興文社
- 26 左氏會箋 竹添進一郎
- 30 漢文講義全書 一二卷 伊藤岩次郎編
- 35 四書新釋 久保天隨
- 39 論語講義 根本通明
- 42 先哲遺書 漢籍國字解全書 三六卷 早大出版部

大正
- 1 新譯漢文叢書 一四卷 至誠堂
- 3 和漢名詩類選評釋 簡野道明
- 5 四書講義(大學・中庸) 宇野哲人
- 8 漢文註釋全書 二〇卷 明治出版社
- 11 日本名家 四書註釋全書 一三卷 東洋圖書刊行會
- 11 本朝文粹註釋 柿村重松

昭和
- 1－3 詳解全譯 漢文叢書 一二卷 幸田露伴監修
- 1 支那文學大觀 八卷 同刊行會
- 2 懐風藻新釋 稀 清 [illegible]
- 4－6 昭和漢文叢書 二四卷 弘道館
- 6 蘇東坡詩集 久保天隨

叢書

明治
- 33 支那文學大綱 一五卷 大日本圖書會社
- 39 五山文學全集 四卷 裳華房
- 42 漢文大系 二四卷 富山房
- 43 和譯漢文叢書 一二卷 田岡嶺雲

大正
- 1 校註漢文叢書 博文館
- 8 對譯 漢文叢書 四〇卷 有朋堂
- 9 譯註 國譯漢文大成 四〇卷 國民文庫刊行會
- 9 日本詩話叢書 一〇卷 文會堂
- 14 現代語譯 支那哲學叢書 一二卷 同刊行會

昭和
- 3－5 續國譯漢文大成 四五卷 國民文庫刊行會

漢文學史

明治
- 9 近世詩史 太田眞琴
- 11 儒林小史 東條琴臺
- 11 明治詩史 高井長能
- 30 支那文學史 古城貞吉
- 31 支那文學史 笹川種郎
- 33 支那哲學史 遠藤隆吉
- 36 支那思想發達史 遠藤隆吉
- 37 日本儒學史 久保天隨
- 39 五山文學小史 上村觀光
- 42 日本宋學史 西村時彥
- 42 支那大文學史 兒島獻吉郎
- 43 支那哲學史 高瀨武次郎
- 45 支那文學史綱 兒島獻吉郎
- 45 五山詩僧傳 上村觀光

大正
- 3 支那哲學史講話 宇野哲人
- 8 支那文學概論講話 鹽谷溫
- 9 支那文學考 散文考 兒島獻吉郎
- 11 同 上 韻文考 同 上
- 14 支那詩論史 鈴木虎雄
- 14 支那文學研究 同 上

昭和
- 2 支那文藝論叢 青木正兒
- 2 支那經學史論 本田成之
- 3 日本漢文學史 芳賀矢一
- 3 支那文學史概說 西澤道寬
- 4 日本漢文學史 岡田正之
- 5 支那近世戲曲史 青木正兒
- 7 日本漢文學史 小野機太郎
- 7 支那文學史 水野平次

研究其他

明治
- 33 漢書解題集成 佐村八郎
- 36 漢文讀方集成 赤堀又次郎
- 内容 {訓點復古 日尾荊山 / 和讀要領 太宰春臺 / 點例 貝原益軒}
- 37 孔子研究 蟹江義丸
- 38 漢籍解題 桂湖村
- 42 儒學大觀 岩垂憲德

大正
- 1 詩經研究 諸橋轍次
- 5 論語年譜及附錄 林泰輔
- 10 四書索引 森本角藏
- 4 周公と其時代 林泰輔
- 6 孔子及孔子教 服部宇之吉
- 9 支那哲學の研究 宇野哲人

昭和
- 1 支那學論叢 内藤博士還曆記念論文集
- 1 老子原始 武内義雄
- 2 朱子研究 秋月胤繼
- 2 支那學文藪 狩野直喜
- 3 支那學論叢 狩野博士還曆紀念論文集
- 3 支那學論叢 高瀨博士 同 上
- 4 儒學の目的と宋儒 諸橋轍次
- 5 儒學概論 北村澤吉
- 6 支那哲學思想叢書 (三省堂)
  - 新譯孟子 内野台嶺、新譯墨子 西田長左衞門
  - 新譯論語 山口察常、新譯大學中庸 宇野・飯島

詩文集 日記

明治
- 8 箕山文鈔 鹽谷 [illegible]
- 9 金陵文鈔 芳野金陵
- 10 近世名家文粹 東條永胤編
- 11 西鄉詩文 阪東一平編
- 11 息軒遺稿 安井息軒
- 11 寧靜閣集 大槻磐溪
- 12 棧雲峽雨日記 竹添進一郎
- 14 鶴梁文鈔 林鶴梁
- 16 青萍詩存 末松謙澄
- 17 明治詩文 佐田白茅編
- 16 晚晴樓詩鈔 土屋弘
- 23 方谷遺稿 三島中洲編
- 23 十洲詩鈔 細川潤次郎
- 25 蒼葭廣錄 今北洪川
- 26 朗廬全集 阪谷芳郎編
- 31－44 成齋文集 重野安繹
- 32 省齋遺稿 平山成信編
- 32－大正6 中洲文稿 三島中洲
- 34 晚晴樓文鈔 土屋弘
- 35 檜蕘集 岩溪裳川
- 35 明治二百十家絕句 岸上操
- 36 敬宇文集 中村敬宇
- 38 青山文集 鹽谷時敏
- 43 槐南集 森槐南
- 43 藤公詩存 伊藤博文
- 44 作詩法講話 森槐南

大正
- 1 獨抱樓詩文稿 竹添進一郎
- 3 佛山堂遺稿 村上佛山
- 3 十洲文鈔 細川潤次郎
- 4－5 大正詩文 雅文會編
- 8 漱石詩集 夏目漱石
- 11 中洲詩稿 三島中洲
- 13 鹿友莊文集 日下勺水

昭和
- 4 昭和詩文 雅文會
- 4 現代日本漢詩集 現代日本文學全集第三七卷
- 7 蘇州詩存 福原鐐二郎

江戸時代

年號	紀元	期
慶長八	2263	
延寶元	2333	【前期】
元祿		【前期】
寶永		【前期】
享保		【前期】
享保二〇	2395	【前期】
寶暦		【中期】
明和		【中期】
安永		【中期】
天明		【中期】
寛政		【中期】
享和三	2463	

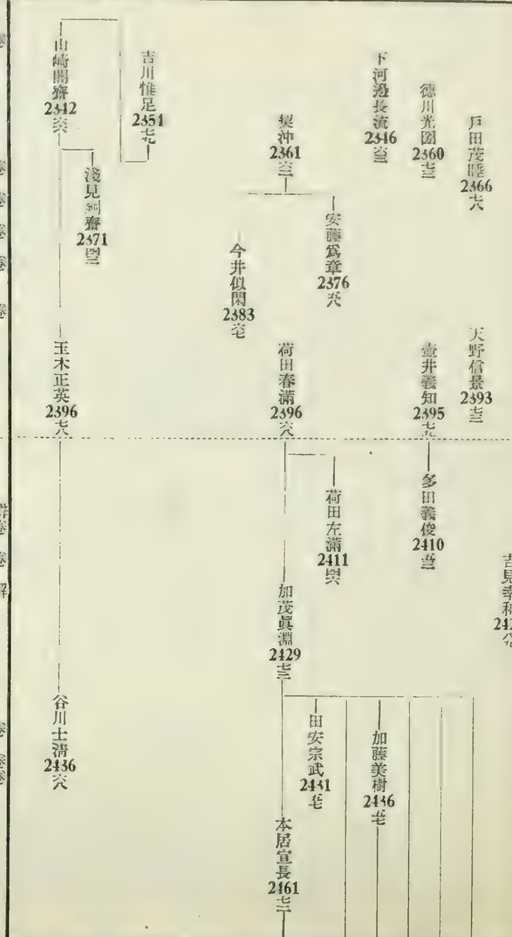
學風

〔人名〕		〔著書〕
下河邊長流	古學ノ開拓者	萬葉名寄　四卷 枕詞燭明抄　三卷 續歌林良材集　二卷
徳川光圀	江戸彰考館ニ京都ノ古學者ヲ招イテ古典ノ註釋ヲナサシメ特ニ萬葉集ニツイテハ安藤爲章ヲシテ契沖ニ教ヲ乞ハシム	釋萬葉集　五十卷
契沖	中世以來ノ學説ヲ超越シテ自由研究ヲナス、國學發達ノ先驅者	萬葉集代匠記　二十卷 勢語臆斷　四卷 和字正濫鈔　五卷 古今餘材鈔　二十卷 源註拾遺　八卷
戸田茂睡	歌道革新ヲ唱ヘ復古思想ヲ促進ス	梨本集　四卷
荷田春滿（四大人1）	博學高識、幕府及諸侯ニ厚遇セラル	萬葉集童蒙抄　八十卷 伊勢物語童子問　五卷 出雲風土記考 齊明紀童謠考
荷田在滿	博學多才、有職故實制度ノ學ニ委シ、幕府及田安宗武ニ用ヒラル、中世歌學ノ弊ヲ矯メ後世ノ反響大ナリ	大嘗會具釋　九卷 大嘗會便蒙　二卷 國歌八論 合三辨
賀茂眞淵（四大人2）	田安宗武ニ仕フ、古學ノ宗トシテ一世ヲ風靡ス、歌文ニモ天才アリ、歌學語學ノ研究モ總テ國粹思想ノ發揚ニツトム、致仕後門人數名ヲ從ヘ近畿ニ國學ヲ宣傳ス	萬葉考　語意考 歌意考 冠辭考　十卷 神樂歌考 催馬樂考 祝詞考　三卷 風俗歌考
谷川士淸	日本書紀ヲ以テ國體研究ノ中心トナス、國語辭典ヲ編纂ス	日本書紀通證　五卷 和訓栞　九三卷 大日本史私記
本居宣長（四大人3）	國學ヲ大成ス、古事記ニヨル古道ノ闡明ヲ一生ノ業トシ語學歌學ノ研究註釋文學論隨筆等夥シキ述作ヲナス、紀州侯徳川治貞ノ保護ヲウケテ奥醫師ニ列シ國學ヲ講ジ政治財政ノ諮詢ニ答フ、近畿ニ國學ヲ講ジ弘メタル功績最モ大ナリ	古事記傳　四八卷 石上私淑言　二卷 字音假字用格 詞玉緒　八卷 國歌八論斥非評語 玉勝間　一五卷 源氏玉小櫛　九卷 玉箒　玉匣

國粹主義

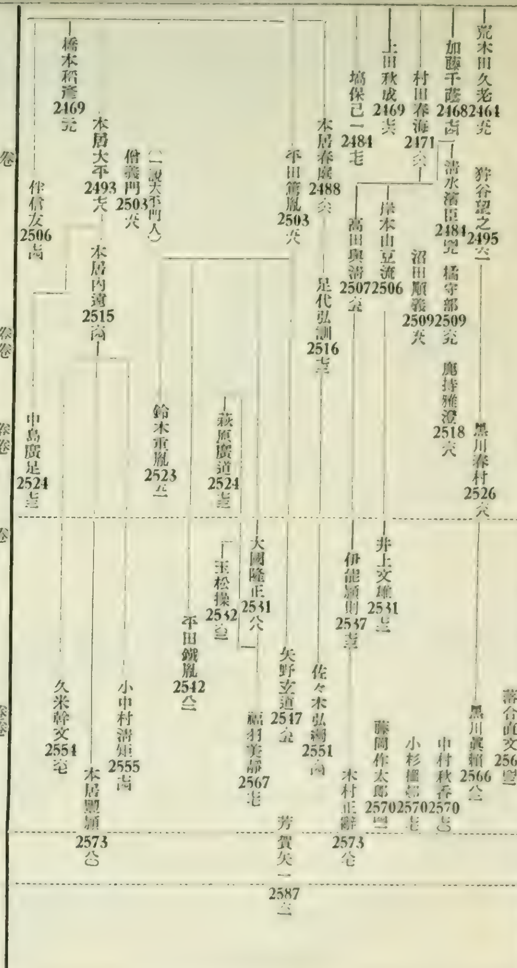
〔人名〕		〔著書〕
山崎闇齋（漢）	吉田流神道ニ朱子學的説明ヲ加ヘテ垂加神道ヲ創始シ儒學者ノ支那崇拜ノ僻見ヲ打破ス	神代卷風葉集　十卷 中臣祓水草 垂加草
吉川惟足	日本中心主義吉川流神道ヲ創始ス	神道大意講談
徳川光圀	朱子學ヲ主トシタレド古學者ヲ招聘シテ國史ノ編輯・古學ノ研究ヲナシ大義名分ヲ明ニシテ日本主義水戸學ヲ大成ス	禮儀類典　五一五卷 大日本史　二五〇卷 扶桑拾葉集　三五卷
淺見絅齋（漢）	勤王思想日本主義ヲ力説ス	靖獻遺言　八卷
天野信景	神佛習合即チト部神道ノ類篤胤ガ俗神道ト名ヅケタルモノヲ論駁ス	鹽尻　第十四卷
荷田春滿	古學ヲ以テ我國ノ道ヲ說キ慨世ノ志最厚ク、國學ノ語ヲ始メテ用フ享保中幕府ニ國學校創立ヲ建議シ地ヲ伏見ニ賜ハリタレドモ成ラザリキ	創學校啓文
多田義俊	ト部神道垂加神道ノ妄ヲ說破シ舊事記僞書說ヲ唱フ、博學多才故實古典ニ通ジ八文字屋本ニモ執筆ス	舊事記剝僞 宮川日記
吉見幸和	神道ハ天皇ノ道ナリ神學ハ國學ナリト說キ俗神道ヲ論破ス	神道五部書說辨　十二卷 宗廟社稷問答　二卷 五十鈴川記 増益辨ト抄俗解
賀茂眞淵	儒學ヲ排斥シ外國文化輸入以前ノ道ヲ以テ我國民ノ據ルベキモノトナシ自己ノ日常生活ニモ之ヲ體驗セントセリ、古學ノ研究モ其目的ハ之ガ爲ナリトナス	國意考
本居宣長	神ノ道ハ太古以來自ラ備ハリ仁義ノ文字ナクトモソノ實ハアリ、天皇ノ大御心ヲ心トシ祖神ヲ祭リツツ分ニ應ジタル生活ヲナスコトコレ神ナガラノ道ナリト說ク、即チ儒學ヲ排斥シ皇國優秀論ヲ立テ以テ現代偏歌說ヲ唱フ、直毘靈ニ對スル反駁（市川匡麻呂「末賀能比連」）ニ對シテ「葛花」ヲ著ハシテ辯駁シ、藤貞幹ノ「衝口發」ニ對シテ「鉗狂人」ヲ著ハシテ反駁シ、秋成ノ反駁（鉗狂人評）ニ對シ書簡往復ノ論爭二十一回（呵刈葭ハソノ集）ナルガ如キ實ニ學ニ忠ナルモノト云フベシ	直毘靈 葛花　二卷 鉗狂人 呵刈葭　二卷 馭戎慨言　三卷

國學者學統表



時代	年號	皇紀	學者	事蹟	著書
代	文化元	2464	上田秋成	宣長ノ古事記實證ヲ否定ス、萬葉研究及創作ニ名アリ	萬葉集會說 冠辭考續貂七卷
	文政		塙保己一	幕府ニ請ヒテ和學講談所ヲ開ク	群書類從
	天保				
	弘化	【後期】	本居春庭	宣長ノ語學方面ヲ繼承ス、皇道ニツイテノ論モアリ	詞八衢 二卷 道のさき草
	嘉永		平田篤胤(四大人4)	歌論ハ宣長ノ說ヲ本トシ萬葉ヲ重ビ中世ノ歌學ヲ難ジ和歌ハ修身治國ノ基ナリトマデ論ズ語學・神代文字・史學等多方面ヲ研究シ自由主義ヲ主張ス	歌道大意 二卷 古史本辭經 古史徵 十五卷 古史成文十五卷 古史傳 二八卷
			伴信友	考證學ノ大家神代文字ヲ否定ス	神名帳考證 神代文字辨
	文久	2527	橘守部	記紀ノ歌萬葉ノ語釋其他幾多ノ研究ニ自說ノタテ頗ル創見ニ富ム	稜威言別 十卷 萬葉集墨繩八卷 神樂歌入文三卷
東京時代	明治元	2528			
	15		東京帝國大學古典科設置		
	〃		皇典講究所設立		
	23		國學院設立		
	30		國學三遷史		中野虎三
	33		國學史概論		芳賀矢一
	37		國學者傳記集成		大川茂雄・南茂樹
	44		國學史(34—35帝大講義)		藤岡作太郎
	大正元	2572			
	15		國學者史傳(三遷史ノ增補改題)		逸見仲三郎
	昭和元	2586			
	2		國學發達史		淸原貞雄
	〃		近世史の發展と國學者の運動		竹岡勝也
	3		國學全史		野村八良
	7		國學の研究		河野省三
	〃	2592	國學の史的考察		伊東多三郎

學者	事蹟	著書
野村公臺	儒學排斥說ヲ難ズ	讀國意考
橋本稻彥	儒學ト國學トノ論爭ニツキ更ニ論ズ	辨讀國意考
本居大平	宣長ノ思想方面ヲ繼承ス	古學要
平田篤胤	儒敎佛敎及中世ノ兩部神道・儒學者ノ神道ヲ俗神道ト稱シテ排斥シ專ラ皇國ノ優秀ヲ論ジテ古道ヲ尊重ス、幕府ノ忌ム所トナリ扶桑國考ノ絕版ト鄕里秋田ニ隱退ヲ命ゼラル明治維新ノ際四周皆佐幕ヒトリ佐竹藩ノミ勤王ノ旗ヲ飜セルハ實ニ篤胤ノ感化ニヨル	呵妄書 出定笑語 六卷 俗神道大意 古道大意
沼田順義	儒學排斥說ヲ難ズ	國意考辨妄 級長戶風
橘守部	宣長ニ反對シ日本書紀ヲ以テ古道ヲ闡明ス、古事記ヲ絕對信仰スル態度及儒佛ヲ排斥スル偏狹ヲ難ズ皇國第一主義ハ同ジ	稜威道別十二卷 難古事記傳五卷 神道辨
鈴木重胤	日本書紀ノ解釋中ニ武家ノ政權掌握ヲ否定セルコトハ總テノ國學者中最徹底セル勤王論者ニテ不幸暗殺セラル、大國隆正ノ門人ナルガ篤胤ノ風ヲ師ヨリ聞キテ之ヲ慕ヒ秋田ニ至ル沒後ナリシガ弟子ノ禮ヲトル	日本書紀傳 三十卷 祝詞講義十五卷
大國隆正	國學ヲ京阪ニ唱ヘテ名聲高ク播磨ニ歸正館・京都ニ報本學舍ヲ開キテ敎授ス、尊王愛國思想ヲ鼓吹シ烈公ニ引見サル、建武中興ノ失敗ヲ論ジタル說ハ門人玉松操ヲ通ジテ岩倉公ニ用ヒラレ神武創業ノ宏謨ガ維新大業ノ大方針トナルニ至ル	本學擧要 二卷 馭戎問答 やまとごゝろ
玉松操		
矢野玄道	岩倉具視ヲ輔ケテ維新ノ裏面ニ活動シ刑死生ノ養ニ出入ス、新政府ガ神祇官ヲオキ祭政一致ノ古制ニ復シタルハ幾多先輩ガ多年苦心ノ總結トシテ有終ノ美ヲナセルモノト云フベシ、皇學所御用掛・太政官修史館御用掛・皇典講究所文學部長・宮內省御用掛等ニ歷任ス	獻芹詹語 神典翼 四十卷 皇典翼 三十卷 玉鉾物語 古史傳續編



江戸

後陽成 2263 ／ 2280 ／ 明正 ／ 2300 ／ 後光明 ／ 後西 ／ 2320 ／ 靈元 ／ 2340 ／ 東山 ／ 2360 ／ 中御門 ／ 2380 ／ 櫻町 ／ 2400

〔神社・教派〕

2264 家康鶴岡八幡宮造營
2266 理學神道 本朝神社考六卷（羅山撰）
林羅山兩部・唯一神道ヲ排斥ス
2272 兩部・唯一神道爭論
僧天海(兩部)ト部梵舜(唯一)ノ家康ニ神道傳授スルヲ防止ス
2277 家康日光ニ東照宮創建
2278 天社神道 土御門久脩陰陽道ニヨリ大成
2306 富士講 長谷川角行開教
2319 家綱山王權現ヲ赤坂溜池ニ遷ス
伊勢神道
度會(出口)延佳伊勢神道ヲ鼓吹ス
2311 垂加神道 山崎闇齋伊勢神道ヲ出口延佳ニト部神道ヲ吉川惟足ニ學ビ諸説ヲ折衷シテ大成
2242 吉川派神道
吉川惟足ト部神道傳受唯一神道ヲ革新ス
? 復古神道起ル
吉見幸和(垂加流神道繼承)唯一神道ヲ彈斥ス
神道五部書說辨十二卷 増益辨卜抄俗解（幸和撰）
2382 古學神道
荷田春滿國學校建設ヲ建白
2398 度會常彰純一神道ヲ說ク
神道明辨一卷（常彰撰）

〔祭祀・制度沿革・其他〕

2263 家康神宮ヲ造營
2269 吉田ノ社頭ヲ神祇官代トス
? 幕府諸祭式ヲ復興
2307 天皇伊勢例幣ヲ再興
? 庶民神宮拔參ノ風起ル
2318 內宮炎上
2325 禰宜神主法度ヲ發布
2326 家綱神宮造營ヲ舊制ニ復ス
2327 光圀社僧ヲ廢シ唯一宗源神道ヲ採用
2341 內宮炎上
? 秋葉祭世ニ行ハル
2347 大嘗祭再興
(後土御門帝以後中絕)
2348 加茂祭再興
2397 大嘗祭復興
(以後不易ノ大典トナル)
2400 新嘗祭再興

〔寺院・宗派〕

? 天海政教相關ヲ說ク
天海(天台)家康ニ山王神道ヲ說ク
2279 智恩院門跡 （華頂御殿・淨土宗）
家康後陽成皇子良純法親王御入室ヲ奏請
2284 家光東叡山寬永寺建立
家光目黑不動堂建立
2288 日蓮宗不受不施派
日樹・日賢等不受不施ノ義ヲ唱フ
2290 日乾・日遠等・不受不施ヲ日樹・日賢ト討論
2295 家光淺草寺ヲ再建
2298 家光東海寺建立・澤庵(臨濟)住
2314 家綱隱元ヲ用ヒ黃檗山ヲ創ス
2315 輪王寺門跡 （日光宮・天台宗）
東叡山ニ輪王寺賜號・守澄親王御入室・天海後見
2317 本所ニ回向院建立
築地本願寺建立
2321 黃檗宗
萬福寺竣工・隱元住シ黃檗宗ヲ傳フ
2337 光圀水戶ニ祇園寺建立・心越(曹洞)住
2341 綱吉護國寺建立・亮賢(眞言)住
2351 綱吉靈雲寺建立・淨嚴(眞言律)住
? 神國思想ノ鼓吹ト佛教ノ衰運

〔名僧・傳道事蹟〕

2266 木食上人(眞言)寂
2274 幕府家每ニ佛像安置ヲ令ス
2275 天海大僧正トナル
2283 宮中御修法ヲ再興
2295 幕府寺社奉行ヲ置ク
2303 天海寂
2311 後水尾上皇落飾
2314 明僧隱元(黃檗)歸化
2315 明僧木菴(黃檗)來朝
2333 隱元寂
2337 明僧心越(曹洞)來朝
2342 瑞龍寺鐵眼(黃檗)寂
2343 禪林寺桃水(曹洞)寂
2357 大乘寺月舟(曹洞)寂
2360 卍山(曹洞)宗弊嚴禁ヲ幕府ニ上書ス
2361 圓珠庵契沖(眞言)寂
2378 祐天寺祐天(淨土)寂

〔典籍〕

2297 天海版大藏經刊行着手
2308 天海版大藏經完成
2323 黃檗和尚扶桑語錄四卷（木庵編）
2341 鐵眼版大藏經（鐵眼翻刻）
2362 本朝高僧傳（七六卷 師蠻撰）
2376 正法眼藏涉典錄十一卷（面山撰）
2390 正法眼藏辨註廿二卷（天桂撰）
2391 本化別頭佛祖統記卅八卷（日諦撰）
2396 碧巖集種電鈔十卷（大智撰）

時代	天皇	年	神社・教派	祭祀制度沿革	寺院・宗派	名僧・傳道事蹟	典籍
時	桃園					2414 東本願寺高倉學寮竣工	
		2420					
	後櫻町					2423 了蓮寺文雄(淨土)寂	
			2425 賀茂眞淵復古神道ヲ說ク 國意考一卷祝詞考三卷 (2428) (眞淵撰)			2424 養光寺指月(曹洞)寂	
	後桃園		2431 本居宣長從來ノ神道說ヲ彈斥 直毘靈一卷國號考一卷 (2447) (宣長撰)			2428 松蔭寺白隱(臨濟)寂	
	光格	2440				2436 幕府宗門改帳法度ヲ改定	
			2442 伊勢貞丈純一神道ヲ說ク 神道獨語一卷 (貞丈撰)			2455 幕府 日蓮宗不受不施派ヲ禁ズ	
			2452 伯家神道 白井帶刀伯家神道ヲ唱フ			2457 慈雲(眞言律) 葛城山高貴寺ニ入ル	
		2460					
			2464 復古神道大成 平田篤胤既成神道ヲ俗神道トシテ排斥 俗神道大意四卷・靈の眞柱二卷 (篤胤撰)				
	仁孝		2474 黑住敎 黑住宗忠開敎 道の栞・七箇條鏡草(宗忠撰)				
		2480					
			2496 禊敎 井上正鐵開敎 唯一問答書(正鐵撰)				
代		2500					
							2503 國史佛法鈔三卷 (可庵撰)
	孝明			2517 水戶弘道館ニ鹿島神社ヲ勸請			2507 續日本高僧傳十一卷 (道契撰)
		2520					
				2522 勅シテ山陵ヲ修補ス	2521 京都ニ泉涌寺(眞言)建立	2527 內裏ノ佛事諸式ヲ廢ス 法親王悉ク復飾	
				2523 伊勢神宮竝ニ熱田神社ヲ警衞セシム			
		2527					

江戸

Era and year guide (left margin): 後陽成 2263 · 後水尾 · 2280 · 明正 · 2300 · 後光明 · 2320 · 東山 · 2340 · 2360 · 中御門 · 2380 · 櫻町 · 2400

〔支那〕

(作品)	(筆者)	(年代)	(所在)
明時代			
戯鴻堂帖	〔董其昌刻〕		
小玉煙堂帖	〔董其昌〕		
後赤壁賦	〔長瑞圖〕	(天啓三2283)	
七絶詩	〔盧象昇〕	(崇禎十二2299)	紀成河庭
快雪堂帖	〔馮相國撰〕	(崇禎十四2301)	
臨唐人帖	〔王鐸〕	(順治四2307)	高島菊次郎
擬山園帖	〔王鐸〕		
詩卷	〔吳偉業〕		菊池晋二
2321 清			
行書卷	〔龔鼎孳〕		山本悌二郎
行書詩卷	〔毛奇齡〕	(康熙二四2345頃)	永坂周二
王右軍筆陣圖	〔孫岳頒〕	(康熙三八2359)	河井荃廬
臨爭座位帖	〔高士奇〕		河井荃廬
東坡和陶詩帖	〔何焯〕	(康熙四五2366)	河井荃廬
小楷千字文	〔楊賓〕	(康熙五七2378)	中村不折
臨九成宮醴泉銘	〔王澍〕		山本悌二郎

〔唐様〕

(作品)	(筆者)	(年代)	(所在)
日記	〔近衛信尹〕	(2270)	近衛公爵
詩稿	〔藤原惺窩〕		大槻文彥
書狀	〔同上〕		京都帝大
書狀	〔林羅山〕	(2274頃)	鹿田靜七
書狀	〔烏丸光廣〕		桑原佐市郎
書狀	〔瀧本坊昭乘〕		朝吹常吉
書狀	〔近衛信尋〕	(寛永頃)	赤星鐵馬
日記	〔中院通村〕	(2297)	京都帝大
法語	〔澤庵〕	(2300)	祥雲寺
蘇東坡詩二首	〔中江藤樹〕		眞島氏
謝恩偈	〔隱元〕	(2319)	內閣記錄課
進山法語	〔同上〕	(2321)	黃檗山
黃檗十景詩	〔同上〕	(2331)	黃檗山
行書七律	〔石川丈山〕		高野辰之
尺牘	〔木庵〕	(2332頃)	淨住寺
書狀	〔熊澤蕃山〕	(2339)	井上通泰
書狀	〔烏山巽甫〕		久志本梅莊
垂加中訓	〔山崎闇齋〕		東京帝大
七言律詩	〔木下順庵〕	(2342)	瀧山政太郎
陶淵明詩卷	〔北島雪山〕		河合辰太郎
書狀	〔契沖〕		和田英松
題言	〔伊藤仁齋〕		伊藤孝彥
般若心經	〔近衛家熙〕	(2366)	黃檗山
辨疑錄	〔伊藤東涯〕	(2368)	伊藤孝彥
書簡	〔荻生徂徠〕	(2369)	眞光院
自筆語	〔貝原益軒〕	(2373)	萩野淑子
詩書	〔伊藤東涯〕	(2374)	高島菊次郎
七律詩	〔新井白石〕	(2378)	萩野淑子
行書易水別	〔同上〕		同上
草書詩卷	〔荻生徂徠〕		內野五郎三
七絶詩竝和歌	〔室鳩巢〕		櫻井錠二
七律詩稿	〔細井廣澤〕		萩野淑子
西湖十景	〔同上〕		帝室博物館

〔和様〕

(作品)	(筆者)	(年代)	(所在)
三十六歌仙屛風	〔近衛信尹〕		田中親美
和歌懷紙	〔同上〕		近衛公爵
假名消息	〔同上〕		大口鯛二
和歌卷物	〔本阿彌光悅〕		牧田環
百人一首	〔同上〕		大倉男爵
和歌懷紙	〔烏丸光廣〕	(2291)	吉田丹左衞門
三十五番歌合	〔瀧本坊昭乘〕	(2297)	益田孝
和漢朗詠抄色紙	〔同上〕		建仁寺
三十六歌仙卷物	〔同上〕		尾上八郎
新歌仙	〔同上〕		松方侯爵
懷紙	〔近衛信尋〕		近衛公爵
詠草	〔中院通村〕		工藤壯平
和歌卷	〔尾形宗謙〕	(2314)	森川勘一郎
茉家集	〔荒木素白〕		田中親美
詞花集賀歌	〔同上〕		同上
詩歌卷	〔烏山巽甫〕		大口鯛二
和歌懷紙	〔近衛家熙〕	(2350)	同上
幻住庵記	〔松尾芭蕉〕	(2350)	村田虎次郎
古今和歌集	〔契沖〕		工藤壯平
詩歌懷紙	〔北村季吟〕	(2353)	和田英松
和歌懷紙	〔近衛基熙〕		田中親美
委漢抄	〔近衛家熙〕		三井男爵
擇敎歌集	〔同上〕		坂正臣
和歌懷紙	〔荷田春滿〕	(2389)	羽倉信一郎
萬代帖	〔近衛家熙〕		田中親美
續古今集序	〔同上〕		同上
秀歌大體	〔同上〕		大口鯛二

〔金石文〕

(作品)	(筆者)	(年代)	(所在)
出雲大社鰐口		(2269)	出雲
由岐神社擬寶珠銘		(2270)	山城
方廣寺鐘銘	〔韓長老〕	(2274)	京都
黑田長政碑	〔林羅山〕	(2284)	福岡市
梅里先生碑	〔源光圀〕	(2350)	常陸
了翁僧都道行碑記	〔黃檗高泉〕	(2352)	武藏
八幡社鰐口		(2386)	近江
飛鳥山碑	〔成島錦江〕	(2397)	武藏

天皇	皇紀	時代	支那	唐様	和様	金石文
桃園	2401		少陵述古詩〔張　照〕山本悌二郎		和歌懐紙〔賀茂眞淵〕(2414)佐々木信綱 古言梯跋〔同　上〕伊能茂左衛門 春長歌〔同　上〕大口鯛二	鳥石碑記〔松下烏石〕(2401) 武藏 新田神君之碑〔松下烏石〕(2406) 常陸
後櫻町 後桃園	2420	時	春夜桃李園序〔梁詩正〕同　上 行書幅〔沈德潛〕(乾隆三〇2425)同　上 三希堂法帖・經訓堂帖(乾隆年間)	草書折手本〔池野大雅〕工藤壯平 論書帖・日東曲・篆書千字文〔松下烏石〕 論書尺牘〔趙陶齋〕小宮山信人 唐詩帖〔龍草廬〕高島菊次郎	和歌一首〔龍草廬〕工藤壯平	待乳山之碑 (2421) 武藏 吾嬬森碑〔澤田東江〕(2426) 下總 荷田在滿墓碑〔三井親和〕(2427) 武藏 高野山雉子塚碑銘 (2435) 紀伊 池野大雅墓碑〔韓天壽〕(2437) 山城
光格	2440		多寶塔碑題字〔程瑤田〕(乾隆五六2451)高島菊次郎 舊廬說詩圖跋〔劉墉〕(乾隆五八2453)同　上 赤壁賦〔王芑孫〕(嘉慶二2457)同　上 清愛堂帖〔劉墉〕	臨蘭亭叙〔韓天壽〕(2447) 正木直彥 書狀〔林子平〕(2452頃)大槻文彥 訥齋處士墓誌〔皆川淇園〕(2452) 工藤壯平 七律詩〔柴野栗山〕(2456) 大槻文彥 瑣言〔蒲生君平〕(2457) 荻野淑子	芭蕉庵再興記〔與謝蕪村〕(2441) 金福寺 古今集序〔橘千蔭〕大口鯛二蒐藏 色紙〔同　上〕尾上八郎 懐紙〔小澤蘆庵〕黑田大久馬 和歌〔同　上〕高野辰之	大島芙蓉墓表〔韓天壽〕(2446) 武藏 蛭島碑〔佐野東洲〕(2450) 伊豆
仁孝	2460		堂湖吳氏義田記〔梁同書〕(嘉慶九2464)同　上 焦山周鼎銘跋〔包世臣〕(嘉慶十二2467)同　上 蘭亭叙跋〔翁方綱〕(嘉慶十六2471)同　上 詩稿〔伊秉綬〕同　上	書狀〔本居宣長〕(2461) 植松安 新梅莊碑記稿本〔龜田鵬齋〕(2474) 龜田雲鵬 七絕詩並序〔大槻玄澤〕(2477) 大槻文彥 平足卿墓誌跋文〔狩谷棭齋〕(2480) 木村正	敷島の歌〔本居宣長〕三上參次 須磨帖〔橘千蔭〕(2461) 和歌〔皆川淇園〕大口鯛二	賀茂眞淵碑〔加藤千蔭〕2461) 武藏 大聖歡喜廟碑〔千柄秋堤〕(2464) 同上 芭蕉畫像碑〔龜田鵬齋〕2480) 同上 隅田堤七絕碑〔同　上〕(同上) 同上
	2480		臨九成宮醴泉銘〔林則徐〕(道光四2484)同　上 四時讀書樂〔同　上〕 咸陽縣城碑記〔郭　均〕(道光十三2493) 詩稿〔阮　元〕日下部鳴鶴	畫像贊〔佐藤一齋〕(2484) 河田烈 日本外史與書〔賴山陽〕(2488) 西澤行藏 唐詩帖・巖山帖・新居帖・杜詩帖〔賴山陽〕 稻川先生墓碑銘帖〔狩谷棭齋〕(2491)西東書房刊 岳陽樓記〔卷菱湖〕(2499) 精華堂刊 白玉井銘〔貫名海屋〕(2500)久志本梅莊	和歌草稿〔良　寛〕田代亮介 懐紙〔香川景樹〕尾上八郎 古今集正義序文〔同　上〕(2492)佐々木信綱 小倉百人一首〔卷菱湖〕(2500) 精華堂刊	上尾鄉二賢堂碑記〔市川米庵〕(2482) 武藏 乾山深省蹟碑〔抱一〕(2483) 同上 翠軒先生墓表〔立原杏所〕(同上) 常陸 隅田堤七律碑〔鵬齋〕2484) 武藏 山梨稻川墓碑〔棭齋〕2491) 靜岡 弘道館記〔源齊昭〕2498) 常陸 偕樂園記〔同　上〕2499) 同上 山田公雪冤碑〔海屋〕2500) 大和
	2500	代	御製續纂祕殿珠林石渠寶笈序〔同　上〕高島菊次郎 臨破羌帖〔包世臣〕河井仙郎 倦遊閣帖〔同　上〕	書狀〔佐久間象山〕(2504) 和田榮二 正氣歌〔藤田東湖〕(2504頃)田中伯爵 朱子治家格言〔中澤雪城〕(2507)河合辰太郎 蓼倉文庫藏書目錄〔貫名海屋〕(2516) 賀茂神社 朶雲帖・樂誌論・赤壁賦・三體千字文〔市川米庵〕 吉野懐古詩〔梁川星巖〕山本二峯	古今集序〔同　上〕(2501) 同　上 和歌〔平田篤胤〕平田盛胤	勿來關碑〔賀茂季鷹〕(2513) 磐城 墨多三絕碑〔大窪詩佛〕(2518) 武藏
孝明	2520 2527		富察公墓誌銘〔何紹基〕山本悌二郎 行書陸宣公語〔曾國藩〕(同治六2527)同　上	晴書檄〔吉田松陰〕(2519)久原房之助 松居遊見叟碑文稿〔貫名海屋〕(2520) 鈴木雲洞 草書千字文〔小島成齋〕篠田浩堂		小島成齋墓表〔內田正脩〕(2524) 武藏 楠正行墓塚碑〔三井高敏〕(2525) 吉野山

時代・紀元・年號・摘要

江戸期

江戸初期（慶長—萬治）

紀元	年號
2263	慶長八
〃75	元和
〃84	寬永
2304	正保
〃08	慶安
〃12	承應
〃15	明曆
〃18	萬治

摘要：
- ○不世出ノ巨人光悅筆致雄健・彩色華麗
- ○前代桃山ノ餘風ヲ逐ヒ
- ○江戸浮世繪ノ祖岩佐又兵衞
- ○新裝ノ大和繪宗達ニ
- ○狩野派宗國ニ君臨ス、○住吉再興
- 傑才探幽

江戸上期（寬文—元文）

紀元	年號
〃21	寬文
〃33	延寶
〃41	天和
〃44	貞享
〃48	元祿
〃64	寶永
〃71	正德
〃76	享保

摘要：
- ○明淸ノ畫風長崎ニ入ル
- ○探幽門四天王
- ○江戸浮世繪ノ大成者師宣（版畫創始）
- ○木挽町狩野最モ振フ（名人常信）
- ○獨自ノ新畫光琳兄弟
- ○土佐殿將光起
- ○初期南宗諸家

狩野諸派

江戸初期
- ◎宗家狩野：6 光信 2268（四四）— 7 貞信 — 興以
- ◎鍛冶橋狩野：探幽（守信）（七三）2334
- ◎木挽町狩野：孝信 2268（四五）— 尙信
- ◎余技派：松花堂昭乘 2299（五六）— 宮本二天 2305（六四）
- ◎諸國狩野
- ◎京狩野派：山樂（再出）— 山雪 2310（六三）
- ◎海北派：友松（再出）— 友雪 2337（八〇）

江戸上期
- ◎中橋狩野：8 安信 2345（七三）— 9 主信 — 10 憲信
- 桃田柳榮 — 久隅守景 2357（六七）— 神足高雲
- 尾形幽元 — 探雪 — 探信 — 探船
- 常信 2373（七八）— 周信（如川）
- ◎駿河臺狩野：益信（洞雲）2354（七〇）— 福信（洞春）
- ◎濱町狩野：岑信（隨川）2368（四七）— 甫信
- ○鶴澤探山（京都）— 高田敬甫（京阪）
- 永納 2360（六七）……（以下略ス）
- 友竹……

漢畫諸派

江戸初期
- ◎雲谷派：等益（元和・寬永）……
- ◎長谷川派：信春（慶長・元和）……
- ◎曾我派：二直庵（慶長・明曆）……

江戸上期
- ◎南畫：○祇園南海 2414 ※5（七五）— 彭城百川 2413（五六）— 服部南郭 2419（七七）— ○伊孚九（享保來朝）
- ◎明淸花鳥畫：○沈南蘋（享保來朝）
- ◎長崎派：○逸然（寬文渡來）— 河村若芝 — 渡邊秀石 — 小原慶山 ……

大和繪諸派

江戸初期
- ◎土佐派：光吉 — 光則
- ◎住吉派：○住吉如慶 2330（七二）
- ◎光琳派：本阿彌光悅 2297 ※1（八二）— ○俵屋宗達 2303（六八）

江戸上期
- 土佐派：光起 2351（七五）— 光成 ……
- 住吉派：具慶 2365（七五）
- 光琳派：尾形光琳 2376 ※3（五九）— 尾形乾山 2403 ※6（八二）— 渡邊始興

浮世繪諸派

（雜・美人畫・役者繪・風景畫）

江戸初期
- ○岩佐又兵衞 2310 ※2（七三）— 雛屋立圃 2329（七一）— 岩佐勝重

備考：浮世繪ノ類別ハ單ナル便宜ニヨル、嚴格ナル區劃ヲ示スモノニ非ズ

江戸上期
- 吉田半兵衞（貞享頃）— 宮崎友禪（天和・寶永）
- ○大津又平（元祿・享保）— 近藤淸春（正德・享保）
- ○英一蝶 2384（七三）— 小川破笠 2407（八五）
- ○懷月堂安度 — 懷月堂度繁
- ○菱川師宣 2374 ※4（七七）— 古山師重 — 古山師政
- ○西川祐信 2411 ※7（八一）— ○宮川長春 2412（七一）
- ○鳥居淸信 2389（六六）— 鳥居淸倍 2422

油繪

山田右衛門（寬永頃）

註

- 1 ※（八二）
- 2 ※（七二）
- 3 ※（六二）
- 4 ※ 2372（七〇）
- 5 ※ 2421 2411
- 6 ※（八二）
- 7 ※ 2414（七四）

年代	
2366	元文
2401	寛保
〃04	延享
〃08	寛延
〃11	寶暦
〃24	明和
〃32	安永
〃41	天明
〃49	寛政
〃61	享和
〃64	文化
〃78	文政
〃90	天保
2501	弘化
〃08	嘉永
〃14	安政
〃20	萬延
〃21	文久
〃24	元治
〃25	慶應
2527	慶應三

江戸中期（寛保—享和）

江戸末期（文化—慶應）

時代

○華麗ナ清畫流行(南畫派) ○南畫壇ノ双璧大雅・蕪村

○錦繪出現・春信 ○浮世繪黄金時代(天明・寛政) ○寫生派京都ニ興ル(円山・四條) ○徳川畫壇ノ最高潮 明和・寛政

○各派競ヒ起リ百花撩亂・徳川文化爛熟期 ○南畫全盛・関東ノ四大家 ○円山・四條・京畫ヲ風靡 ○八宗兼學南北合流ノ巨人文晁 ○風景畫ノ奇才北斎 ○古土佐派復興 二名手輩出

(宗家) 11 英信 — 12 高信 — 13 泰信 — 14 邦信 — 15 立信 ……

(鍛冶橋) 探常 — 探林 — 探牧 — 探信 ……

(木挽町) 古信(榮川) — 典信(榮川) — 惟信(養川) — 榮信(伊川) — 養信(晴川) — 雅信(勝川) ……

(駿河臺) 方信 — 美信(洞春) ……

(濱町) 幸信(常川) — 昆信(閑川) ……

(諸國) 佐久間洞巖 — 吳俊明(越後) ……

(南畫) 柳里恭 2418(五六) 宮崎筠圃 ○池大雅 2436(五四) ○與謝蕪村 2443(六八) 余凤夜 高芙蓉 皆川淇園 十時梅厓

◎文晁派 ○谷文晁 2500※8(七八) 野呂介石 岡田米山人 浦上玉堂 釧雲泉 田能村竹田 2495(五九) 頼山陽 2492(五三) 渡邊崋山 2501(四九) 高久靄厓 2503(四八) 金井烏洲 立原杏所 椿椿山 2514(五四) 岡田半江 貫名海屋 山本梅逸 中林竹洞 帆足杏雨 木下逸雲 中西耕石 日根對山 田能村直入 平野五岳 田崎草雲 ……

◎圓山派 ○圓山應擧 2455(六三) 山口素絢(六〇)※7 駒井源琦(五一) 長澤蘆雪(四五) 渡邊南岳 圓山應瑞 鈴木南嶺 大西椿年 ……

(花鳥畫) 熊代熊斐 2432(六二)※1 ○黒川龜玉 柳里恭(再出) 宋紫石 2446(七五)※2 建部綾足 ○伊藤若冲 2460(八五)※ ……

◎四條派 ○吳春 2471(七〇)※ (松村月溪) 岡本豐彦 2505(六八) 松村景文 2503(六五) ○鹽川文麟 横山清暉 柴田是眞 熊谷直彦 ……

(漢畫) ○望月玉蟾 2415(八三) ○曾我蕭白 2441(?) …… ○森狙仙 2481(七三) 岸駒 2498(九〇) 森徹山 岸岱 森一鳳 岸徳(蓮山) 森寛齋 岸竹堂 ……

(土佐派) …… ○原在中 2497(六五) ◎復興古土佐派 ○田中訥言 2483(六〇) 宇喜多一蕙 2519(六五) 渡邊清 高久隆古 岡田爲恭 2523(四三)※11 ……

(住吉派) 3 廣保 — 4 廣守 — ○粟田口慶羽 2451(六九) ○板谷廣當 2457(六九) — 5 廣行 — 6 廣尙 — 7 弘貫 ……

(光琳派) 立林何帠 酒井抱一 2488(六八)※9 鈴木其一 2518(六三) 酒井鶯浦 ……

(雜) 鳥山石燕 2448 ○月岡雲鼎 2446(七七) 戀川春町 (武者繪) ○歌川國芳 2521(六五) (歴史畫) ○菊池容齋 明治11(九一)

(美人畫) 宮川長龜 西村重長 2416(六〇) 羽川珍重 2414(七〇) ○奥村政信 2424(七九) ○石川豐信 2445(七五) ○歌川豐春 2473(八〇) 磯田湖龍齋 鈴木春信 2430(四六)※3 勝川春章 2452(六七) 一筆齋文調 鳥居清長 2475(六四)※7 ○北尾政演 北尾重政 2480(八三)※6 ○喜多川歌麿 2464(五三)※5 細田榮之 2489(七四)※4 窪俊滿 2480(六四) 歌川豐廣 葛飾北齋(再出) 溪齋英泉 2508(五九) 榮松齋長喜 ○菊川英山 2527(八一) 歌川國芳(再出) 歌川國貞 2524(七九) 大蘇芳年

(役者繪) 鳥居清長(再出) 一筆齋文調(再出) 東洲齋寫樂(?) 勝川春英 歌川豐國 2485(五七) 歌川國貞(再出)

(風景畫) 歌川豐春(再出) 勝川春章(再出) 鳥居清經 ○葛飾北齋 2509(九〇) 歌川豐廣 葛飾北壽 溪齋英泉(再出) ○安藤廣重 2518(六二)※10 二世廣重

(油繪) 平賀源内 2439(五二) 【銅版畫】司馬江漢 2478(七二) 亞歐堂田善 2482(七九)

(註) 1※(六〇) 2※2424(七七) ※(八八) 3※(四六) 4※(六二) 5※2465(五三) 2466(五四) 6※(八二) 7※2474(五九) 8※2501 9※(六六) 10※(六六) 11※(四二)

(8)【武者繪】(九八)[illegible]

【備考】(4)數字ハ歿年ヲ示ス皇紀、括弧内ハ年齢(左讀ミ) (5)……ハ以下略

時代	紀元 年號	摘要
江戸	2263慶長八	○建築裝飾彫刻ノ最高潮（日光東照宮）
	〃75 元和	○遺佛彫刻ノ衰頽
	〃84 寛永	○根付彫刻ノ出現
	2304 正保	
	〃08 慶安	
	〃12 承應	○黄檗式造佛法（范道生）
	〃15 明暦	
	〃18 萬治	
	〃21 寛文	
	〃33 延寶	○生駒風佛像彫刻（僧湛海）
	〃41 天和	
	〃44 貞享	
	〃48 元祿	○當代ノ代表的大製作（羅漢寺ノ五百羅漢）
	〃64 寶永	○風俗人形ノ名家清水隆慶
	〃71 正德	
	〃76 享保	

佛像彫刻

(所在)	(彫刻名)	(作者・年代)
京都 萬福寺	彌勒像	范道生作
同	十八羅漢像	同上
奈良 寶積寺	不動尊像	僧湛海作
唐招提寺	不動明王像	同上
東京 羅漢寺	五百羅漢像	松雲作 2355成

神像・肖像彫刻

（當代ニハ見ル可キ遺品ナシ）

根付・人形彫刻

(住所)	(作者名)	(年代)
京都	本阿彌光悅	
京都	野々口立圃（根付・人形）	寛文九年歿・七五 雛人形ヲヨクシ雛屋立圃トモ呼バル
奈良	岡野松壽（奈良人形）	初代松壽 寶永五歿
京都	清水隆慶（風俗人形）	遺作「風俗人形彫刻」

建築裝飾彫刻

(所在)	(寺・社名)(彫刻部分)	(年代)
静岡	久能山東照宮本殿・拜殿 臺股・唐戸・玉垣・腰羽目	元和二・三
茨城	鹿島神宮社殿 臺股・木鼻・脇障子ノ彫刻	元和五
栃木	日光東照宮社殿 唐戸・枓栱ノ間・欄間・小壁・脇障子・蟇緣下	元和・寛永
同	同 陽明門及唐門 柱・頭貫・勾欄・壁間	
同	同 廻廊 胴及腰羽目彫刻	
東京 芝	臺德院廟 拜殿欄間・本殿蟇緣下・奥院胴羽目	寛永十二
群馬	貫前神社本殿	寛永十二
仙臺	瑞寶殿 本殿欄間・唐門ノ扉	寛永十四
東京	淺草寺本堂 内陣裝飾・外陣欄間・向拜木鼻・臺股・手挾	慶安二
東京	上野東照宮 唐門・玉垣羽目・臺股	慶安四
栃木	日光大猷院廟	承應二
富山	瑞龍寺佛殿	萬治二
東京	根津神社拜殿 臺股・欄間・向拜木鼻	寶永三
東京 芝	文昭院廟拜殿 欄間彫刻	正德三
東京 芝	有章院廟拜殿	享保二

能面彫刻

(住所)	(作者名)	(作品・其他)
近江 江戸	河内大掾家重	井關家四世、河内彩色・打彩色ヲ創ム、(天下一河内)遺作「般若」「十六」「大喝食」 正保二年歿
江戸	友閑滿庸	大野出目二世 承應元年歿
江戸	大和眞盛	井關家五世、(天下一大和) 寛文十二年歿 遺作「武悪」
京都 江戸	元休滿永	越前出目四世 寛文十三年歿
京都	兒玉近江(滿昌)	兒玉家一世、(天下一近江) 寶永元年歿
京都	宮田筑後(朋滿)	兒玉家二世、遺作「長霊癋見」
江戸	洞白滿喬	大野出目三世 正德五年歿
江戸	洞水滿矩	大野出目四世 享保十四年歿

年代		事項	(佛像彫刻)	(根付・人形彫刻)	(神像・肖像)	(建築裝飾彫刻)	(能面彫刻)
2396 元文							
2101 寛保							
〃04 延享							
〃08 寛延 〃11 寶暦							
				難波 **吉村周山** (根付工) 法眼 安永五歿遺作「仙人根付」「鬼根付」			
〃24 明和		○根付專門工出ヅ					
〃32 安永	時			難波 **樋口舟月** (根付工) 法眼 明和中			
〃41 天明				紀伊 **小笠原一齋** (同上) 安永天明中「狸化根付」			
〃49 寛政				京都 **和泉屋友忠** (同上) 天明中「臥牛根付」			
				江戸 **三輪** (同上) 江戸根付祖「猿根付」「小兒根付」天明頃			
〃61 享和 〃64 文化							
				奈良 **岡野保伯** (奈良人形) 九代目松壽 文政七歿・七一			
〃78 文政				飛驒 **松田亮長** (人形作者) 「飛驒一刀彫」文化中			
				美濃 **上林牛加** (宇治人形) 明治三歿・七二			
〃90 天保		○徳川末期ノ代表的彫刻家 高橋鳳雲		江戸 **龍珪** (根付工)天保中 「布袋根付」「蛤根付」		長野 諏訪神社 天保九 上社拜殿建築彫刻 下社春宮拜殿 脇障子其他 下社秋宮 〃 木鼻・小壁・脇障子・欄間	
	代		鎌倉建長寺 五百羅漢銅像 六百二十餘體 高橋鳳雲作	京都 **山口友親** (根付工) 「醉仏根付」「丁稚根付」明治六歿・七七			
2501 弘化							
〃08 嘉永				京都 **長井蘭亭** (根付工) 安政中			
〃14 安政				奈良 **森川杜園** (奈良人形) 安政・明治初期			
〃20 萬延 〃21 文久 〃24 元治 〃25 慶應				東京 **福島親之** (淺草人形) 明治十五歿・四六			
				大阪 **懐玉齋正次** (根付工) 「猿根付」「刀豆根付」 明治二十頃歿			
2527 慶應三							

時代	年號	摘要	金工	陶工	漆工・螺鈿工	染色工	木工其他
江戸 江戸初期	慶長 元和 寛永 正保 慶安 承應 明暦 萬治 寛文	○織豊時代ノ延長——豪壯華麗 ○印申出デ後藤三作成ル(若乘・光乘・卽乘) ○名工仁清京窯盛大ノ基ヲ開ク	【裝劍彫金】 【後藤派】7後藤顯乘 8卽乘(寛文八) 9程乘 野村正時 【奈良派】○奈良利輝(寛永頃)(奈良派祖) 【吉岡派】○吉岡重次(承應二・85)(吉岡派祖) 【其他諸大家】○大森四郎兵衛 【鑄工】西川忠正(赤坂鍔)(明暦三) 埋忠重義 【鐔工】(釜師) ○金谷五郎三郎(京・寛永中)(道圓) 名越昌高 ○名越家昌(江戸釜師祖) 【甲冑工】21明珍宗家 22明珍宗信	後藤才次郎(古九谷焼)(加賀・寛永中) 【古九谷】田村權左衛門(加賀・寛永中) 【樂焼】本阿彌光悦(光悦樂焼)(寛永中) 【高取焼】新九郎・八藏(筑前・慶長頃) 古高取 【清水焼】茶碗屋久兵衛(京・寛永中) 【萩焼】高麗左衛門(長門・慶長頃) 【薩摩焼】朴平意(朝鮮)(慶長三歸化・寛永元) 【仁清焼】野々村仁清(京都・元和寛永頃) 【相馬焼】(盤城・明暦創) 五十嵐次郎左衛門・八郎右衛門(寛永頃) 遠州高取 吳洲權兵衛 【伊萬里焼】坂井田柿右衛門(初代)(肥前・明暦・天和) (古伊萬里) 【唐津焼】朝鮮唐津(寛永以後) 掘出唐津(肥前・寛永頃) 【粟田焼】錦光山茂兵衛(京・正保頃)	五十嵐道甫(加賀・元和頃) 椎原市太夫(印籠)(加賀・寛永中) 明人飛來一閑(一閑張)(明暦三・80) 幸阿彌長重(慶安四歿63) ○古満休意(江戸・寛文三歿) 田村長兵衛(京都・寛文頃) 梶川久次郎 印籠工(江戸・寛文、天和)	【有松絞】竹田庄九郎(尾張・慶長中) 【友禪染】宮崎友禪齋(京都・寛永中)	
江戸	延寶 天和 貞享 元祿 寶永 正德 享保	○江戸工藝ノ最盛期元祿時代——諸工藝ノ需要増大、名工輩出、新様式ノ案出、技巧益ゝ精緻、漆工ハ最大ノ技ニ達シ(常憲院物)光悦派益ゝ振フ(光琳・破笠) ○奈良三彫(利壽、安親、乘意) ○染織工ノ進歩——元祿模様ト花見小袖、風雅豪奢	10廉乘 11通乘(享保六・57) 津寺市 奈良利壽(太兵衛)(元文元・70) ○土屋安親(東雨)(延享元・75) 【横谷派】○横谷宗珉(横谷彫祖)(江戸・元祿三) 横谷宗珉(友常)(享保十八) ○柳川政次 柳川直政 後藤俊乘 大森重光 岡本友次 中井友恒 ○喜多川秀典(彫祖)(彦根) 伊藤正恒 ○宮崎寒雉(初代)(正德二) 名越正信 ○大西淨清 三典淨味(名越昌晴) 23明珍宗利 24明珍宗介 25明珍宗正 明珍吉久(越前明珍) 明珍宗察	三代道入(樂焼)(明暦三・58) 大樋長左衛門(樂焼)(加賀・正德二) 【今戸焼】白井半七(武藏・貞享中) 【乾山焼】尾形乾山(江戸・寛保三・81) 加藤民吉(尾張・享保)(瀬戸新製) 【尾戸焼】森田光久(土佐・延寶中) 【大河內焼】(鍋島焼) 【出雲焼】倉崎權兵衛(樂山焼)(延寶中)	中村宗哲(漆桶)(元祿八・79) 古満久藏(正德五) 11幸阿彌長房 尾形光琳(江戸・享保元・69) ○山本春正(京・天和二・73) 青海勘七(江戸・元祿頃) 鹽見政誠(鹽見蒔繪)(京都・享保中)	尾形光琳	

	江戸時代 中期	江戸時代 末期
年号	元文 寛保 延享 寛延 寶暦 明和 安永 天明 寛政 享和	文化 文政 天保 弘化 嘉永 安政 萬延 文久 元治 慶應
	○各藩ノ工藝益々發展シ其地方的分布更ニ擴大ノ先驅 ○手法漸ク傳統化シ獨創乏シ──過渡的沈靜期、化政隆盛	○桐生、伊勢崎、秩父等ノ機業漸ク盛 ○近代ノ名匠村田整珉 ○支那明淸ノ風尙樣式ト寫生的繪畫模樣ノ普及(南畫ト圓山四條派ノ影響) ○化政時代──德川工藝第二興隆期、江戸情趣旺盛
(後藤派)	12 壽乘　13 延乘　14 桂乘	15 眞乘　16 方乘……後藤一乘(京都・江戸・明治九・86)　船田一琴
(奈良派)	杉浦乘意(寶暦十一)(肉合彫祖)　二代利壽……二代安親(延享四)	
(諸派)	辻　光昌(江戸・安永五)　一宮長常(京都・天明六)　濱江武禪(大阪・天明頃)(毛彫)　岩本昆寛(享和元)　泰山元孚　○濱野政隨(明和六)　濱野矩隨(天明七)……大森英秀(寛政十)	大月光興(江戸・享和)　河野春明(安政六)(宗珉門)　萩谷勝平(水戸・明治十九)
(鐔工)	岡本尙茂(京・安永九)(鐵屋源兵衞)	
(鑄工)	龜女(長崎・延享・天明頃)	鍋屋長兵衞(京・文政八)(佛具師)　村田整珉(天保九)(蠟形鑄物)　四方安平(京・天保十二・62)(龍文堂)　栗原貞乘(江戸・天保・嘉永)　秦　藏六(京・明治二三・68)
(甲冑)	26 明珍宗政……………	
陶工	【萬古燒】弄山・沼波五左衞門(桑名・元文天明中)(古萬古) 【備前燒】雲貞(正德中) 木村甚七(延享) 平四郎(寶暦) 【布志名燒】船木與次兵衞(出雲燒)(明和創) 三代錦光山茂兵衞(寶暦中) 【淸水燒】淸水六兵衞(京都・寛政十一・62) 奧田潁川(粟田燒) 【三田燒】神田宗兵衞(攝津・天明八) 【志度燒】平賀源内(讚岐・安政八)	【美濃燒】西川茂兵衞(文化中) 靑木木米(京都・天保四・67)(京燒) 【永樂燒】善五郎保全(京都・化政中)(十一代) 初代高橋道八(京都・文化元)(淸水燒) 大橋秋二(尾張・安政四・63)(秋二燒) 【淡路燒】加集珉平(天保・文久頃) 宮本屋理右衞門(天保中)(九谷燒) 初代淸風與兵衞(京・文久元)(淸水燒) 飯田屋八郎右衞門(嘉永五)(九谷燒) 眞淸水藏六(山城?) 【豐樂燒】大喜豐助(尾張・天保・安政) 【赤膚燒】奧田木白(大和・天保中) 【乾也燒】三浦乾也(江戸・明治廿・)
漆工	○小川破笠(江戸・延享四・84)(破笠細工) 二宮桃亭(江戸・寛政中)(沈金彫) 谷田忠兵衞(江戸・寶暦、明和)(色漆繪) 小原治五右衞門(越中・文化二)(城端蒔繪) ○山本利兵衞(京・明和三・79) 仙田元輔(靑貝細工) 飯塚桃葉(江戸・明和頃)(印籠蒔繪)	原羊遊齋(江戸・弘化二) 大村玉山 玉楮象谷(讚岐・明治二・64) 山本正之(六代) 植田光正(三代) 柴田是眞(明治廿四・85) 小原稀雄・一白父子 古滿寛哉(天保六) 佐野長寛 橋本市藏(明治十五・66) 中山胡民(武藏・明治三・6[illegible])
染色工	【西陣織】金田忠兵衞(京・元文頃)(四代)	【綴錦】天野房義(京・文政頃) 石田九郎(桐生・文政・天保) 【段通織】藤井庄左衞門(堺・天保頃) 【西陣帯子】伊達彌助(京・幕末)
木工		小林如泥(松江・文化十)

【備考】(1)無印ハ當初ノ儘現在　(2)△ハ後世再建　(3)×ハ燒失朽廢　(4)下線ヲ施セルハ建築史上特ニ著名ノモノ
(5)〔唐〕〔和〕〔天〕ハ唐様、和様、天竺様

時代	紀元	年號
江戸時代	2263	慶長八
	〃75	元和
	〃84	寛永
	2304	正保
	〃08	慶安
	〃12	承應
	〃15	明暦
	〃18	萬治
	〃21	寛文
	〃33	延寶
	〃41	天和
	〃44	貞享
	〃48	元祿
	〃64	寶永
	〃71	正德
	〃76	享保

摘要

○公共建築ノ勃興(劇場・旅館)
○靈廟建築ノ創始(工藝裝飾ノ粋ヲ盡ス)
○權現風ノ延長、傑作多シ(當代初期)
○和様唐様ノ混淆(佛寺建築)
○當代ノ一大傑作(清水寺本堂)
○權現造完成(神社建築)
○德川中期ノ佳作(善光寺本堂)
○桃山式大建築(長谷寺本堂)
○世界最大ノ木造建築(東大寺大佛殿)
○明式黄檗建築ノ輸入

神社建築

(社名)　(所在)　(年代)　(美術)

〔註〕桃山時代參照

鹿島神宮本殿　茨城【建彫】
元和元　一說元和五

貫前神社本殿　群馬
寛永十二

男山八幡宮　京都
寛永十八　2301

【祇園造】八坂神社本殿　京都
承應三　2314

日枝神社社殿　東京
萬治二　2319

根津神社社殿　東京
寶永三　再建

住吉神社本殿　大阪
寶永五　再建

氷川神社社殿　東京
享保十五　2390

廟建築【權現造】

〔註〕括弧内ハ祭祀者

×豐國廟　(秀吉)　慶長四

久能山東照宮　(家康)【建彫】
元和三落成

日光東照宮　(家康)【建彫】
秀忠創建元和三落成・家光大改造寛永十三竣工　2296

芝　臺德院　(秀忠)
寛永九起工寛永十二成

日光大猷院　(家光)【建彫】
承應二成　2313

上野大猷院　(家光)【建彫】

仙臺瑞寶殿　【建彫】
伊達政宗以下三代廟
寛永十四　2297

上野嚴有院　(家綱)
元祿十二　後ニ十代浚明院・十一代文恭院ヲ合祀

上野常憲院　(綱吉)
寶永六　後ニ八代有德院十三代温恭院合祀

芝　文昭院　(家宣)【建彫】
正德三　後ニ十二代愼德院十四代照德院合祀

芝　有章院　(家繼)
享保二　後ニ九代惇信院合祀

佛寺建築

相國寺法堂　(慶長十)
教王護國寺金堂　(慶長十一)
高臺寺開山堂　(慶長十二)
}重出【桃山參照】

×東叡山寛永寺本堂
上野　寛永四創

同　五重塔
同　寛永十六　2298

南禪寺三門　京都・寛永四・再建

清水寺本堂　京都・寛永十・再建

大德寺法堂　〔唐〕寛永十三

同　本堂　〔唐〕寛文四再建

仁和寺本堂　京都天正造營紫宸殿寛永十四移建

知恩院本堂　京都　寛永十六

教王護國寺五重塔　京都
寛永十八再建　2301

延暦寺大講堂　〔唐〕寛永十九・再建

同　根本中堂　寛永七

淺草寺觀音堂　〔和〕慶安二2309【建彫】
昭和七大修繕

同　五重塔　同上

長谷寺本堂　奈良　慶安三再建(壁畫)

瑞龍寺佛殿　富山　萬治二

萬福寺佛殿　宇治　寛文八2328　【彫】

東大寺大佛殿　〔天〕奈良　元祿十　【彫】
立柱・寶永五・再建成　【工】

護國寺本堂　東京　元祿十建

善光寺本堂　長野・寶永四・再建

城廓建築

彦根城　慶長九

駿府城　慶長十二

名古屋城　慶長十五

二條城　慶長七——寛永元

江戸城　寛永十三竣工

和歌山城天守　(嘉永三)

松山城天守　(安政三)

〔宮殿建築〕

皇居御造營
慶長十七・2272

修學院離宮
承應三・2313

邸宅建築

名古屋城
上洛城

二條城
大書院

江戸城
大書院

【方丈建築】
大德寺方丈
眞珠庵通僊院
孤蓬庵書院

知恩院大方丈

妙心寺方丈

公共建築

×猿若座　江戸
寛永元

×村山座　江戸
寛永十一

×河原崎座
江戸　慶安元

×森田座　江戸
萬治三

代 (紀元二二六三――二五二七)

○建築界ノ堕落(木割法ノ墨守ト彩色・彫刻ノ濫用)
○萬福寺(異國情調横溢)
○佛寺建築衰ヘ宮室邸宅建築空前ノ發達
○儒教興隆ト聖堂建築
○古濟様七堂伽藍ノ復活(四天王寺)

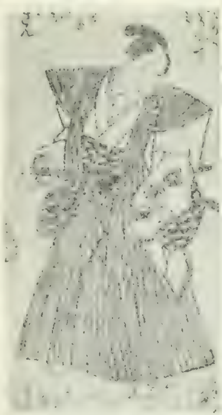
皇紀	年號	(神社建築)	(佛寺建築)	(宮殿建築)	(邸宅建築)	(公共建築)
2396	元文					
2401	寛保					
〃04	延享	出雲大社 島根 延享元・再建 大社造				
〃08	寛延					
〃11	寶暦					
〃24	明和		△增上寺本堂 東京芝 寶暦十一 2421 (繪) 同 三門 寛永元 2284			
〃32	安永					
〃41	天明					【遊興建築】角屋 京都 天明頃?
〃49	寛政			△寛政皇居御造營 將軍家齊ノ命ニ依リ松平定信計劃シ 寛政元年起工・同二年成ル 凡テ平安朝ノ規模		
〃61	享和	香椎宮本殿 福岡 享和元・再建 香椎造				
〃64	文化		四天王寺金堂 大阪 文化九・再建 2472 (繪) 同 五重塔 同上			
〃78	文政		日光東照宮五重塔 文政元・再建 2478			
〃90	天保		妙心寺佛殿 京都 天保元 2490			
2501	弘化					
〃08	嘉永	宇佐八幡宮 大分 文久元・再建 八幡造		安政皇居御造營 現在京都御所 安政三年成ル 2516		
〃14	安政	春日神社 奈良 文久二・再建 春日造				
〃20	萬延	加茂御祖神社本殿 京都 文久三・再建 流造				
〃21	文久					
〃24	元治	加茂別雷神社本殿 京都 文久三・再建 流造				
〃25	慶應					
2527	慶應三					

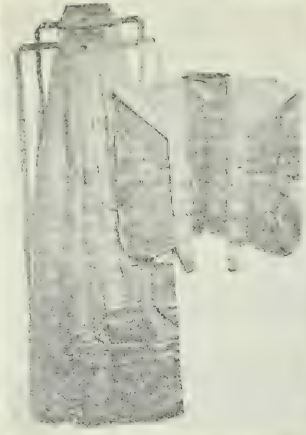
儒教建築

×湯島聖堂(大成殿) 東京寛永中創建(稱先聖殿) 寛政十一・再建 大正十二・燒失

 【備考】(6)(繪)【彫】【建彫】【工】(書)ハ繪畫、彫刻、建築彫刻、工藝、書道ノ名作ヲ所藏 (7)數字ハ建築年代ヲ示ス皇紀

江戸時代





半上下着用圖｛繪卷物 今様姿(黒衣)｝　　長上下

上下ノ變遷　肩衣ノ形式ハ前代同樣デアルが、前ノ左右ニ襞ヲトルヤウニナリ、肩幅ヲ廣クシ、鯨鬚ヲ肩ニ入レテ一文字ニナシ、糊ヲ强クスル等漸次變化シテキタ。正式ニハ長袴ヲ用ヒ之ヲ長上下ト云フ。切袴ノヲ半上下、肩衣ト袴ト別裂ノモノヲ繼上下ト云フ。

〔地質〕　錦・繻子・緞子・が寛永頃マデ行ハレ後ニハ𧝒(モヂ)・絹・琥珀・麻・芭蕉布・絽・小倉木綿・葛布等が主デ、裏ハ甲斐絹・茶丸・珀琥等。

〔色〕　褐・淺黄・藍鼠・茶・藍・黒等

〔文樣〕　初期ニハ唐團扇・蔦唐草等ヲ金銀箔ニシタモノモアツタが後ニハ無地が多ク又小紋モ流行シ更ニ家紋ヲツケルコトモ行レタ。

〔袴〕　丹後縞・茶字縞・絽・平等。

羽織　起原ハ道服トモ十徳トモ云フ、初ハ乗領廣袖デアツタが後袖口小サクナリ小袖ニ合セテ丸クナツタ、襟ハ裏返シデ脇人がアル、丈ノ長サ初ハ身長ト同ジク、元祿頃カラ短クナリ、元文頃又長クナリ、天保頃カラ又短クナツタ。

〔地質〕　羅紗・天鵞絨・縮緬・絹・龍文・八丈・紗・綾・羅・絽等

〔色〕　黒・茶・鼠等。

〔文樣〕　無地・小紋・縞物等、家紋ハ五ツ三ツ一ツ等。

〔羽織ノ種類〕　ぶつさき羽織（背ノ縫目が腰ノ邊デ切レテ刀ノ鞘ノ出ルヤウニシタモノ）・革羽織・紙子羽織・鳥毛羽織・雨羽織・火事羽織等アリ、用途ニヨリ種々ノ地質ヲ用フ。

〔女羽織〕　初ハ男服、深川藝妓着用以後一般女子モ羽織ヲ着ルヤウニナツタ。

袴　羽織ト共ニ着スル袴ハ江戸初期ニハ襠が窄ンデ居タが明暦頃カラ廣がツテキタ。

〔地質〕　初ハ金襴・革・麻・木綿等が用ヒラレ、享保頃カラ冬ハ本茶字小倉・夏ハ精好平・茶字絹平・縞子平等。

〔色〕　茶・納戸・花色等。

〔袴ノ種類〕　馬乗袴（寸法が乗馬ニ便利ノヤウニ出來テキル、裾ニ黒天鵞絨ノ縁ヲツケル）・野袴(旅行用)・輕衫(袴ノ下部が脚絆ニナツテキル)・裁着（タツツケ）・踏込(フンゴミ)等皆少シヅツ形が變ツテ居ルが夫々勞働ノ際便利ノヤウニ作ラレテアル。



半　合　羽



引廻シ着用圖

合羽　葡萄牙・西班牙等カラ來朝シタキリシタンバテレンノ着シタオーバーニ倣ツタモノデアル桐油紙デ作ツタノヲ坊主合羽・木綿製ノヲ引廻シト云ツタ、之等ニ袖ヲツケタ長合羽・半合羽等が出來タ。

武士ノハ大小ノ爲ノ孔庶民ノハ脇差ノ爲ノ孔がアル、羅紗八丈等ノ黒イ裂デ襟ヲ立テ上前ト下前トヲ合ス爲ノ裝置ヲ裝束ト云フ。

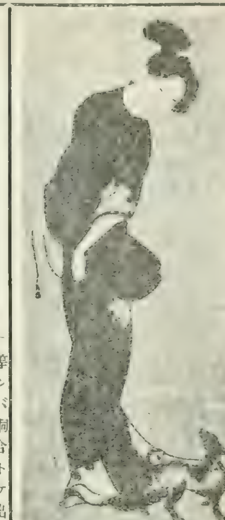
〔地質〕　木綿・桟留・毛兎羅綿等。

〔色・縞〕　花色・藍・海松・茶等、無地・縞物等初男用、後女子小兒モ着シ旅行防寒等ニ用フ。

披風　合羽ニ似テ襟ノ後ニ涎掛ノヤウナモノヲツケタ、茶人俳人僧侶及女子が用ヒタ。

半天　羽織ニ似テ脇入・紐ナク黒ノ半襟ヲカケル江戸末期下級人ノ防寒着デアル。

〔種類〕　長半天・印半天・革半天・蝙蝠半天・ねんねこ半天・龜子半天等。



兵庫髷振袖姿(ナギ形)　彦根屏風

小袖　貴族モ上着ニ用ヒルヤウニナリ、袖丈・袖口・袂ノ丸味・身幅・衿等ノ寸法が時代ニヨツテ變ツタ、桃山時代ニ振袖が出來タがなぎ形デアル、江戸ノ初期ニハ袘(フキ)が出來タ、身丈ヲ長クシ家ニ居ル時ハ引ズリ外出時ニハカラゲル。

打掛ハ小袖ト同ジ形デ上ニ被ク着ル被衣(カヅキ)モ亦小袖が用ヒラレタ

〔地質〕　西陣綾・緞子・繻子・紗綾・縮緬・絹・八丈・木綿・麻等が主デ諸國ニ様々ノ織物が出來タ。

〔文樣〕　1織文様・2染文様・3摺・4刺繡・5描・6切附等デ絞リ・金銀箔押・金銀絲刺繡・友禪染等ノ華美ナモノモ行ハレタ。

〔色〕　桃山時代ニハ原色デ白・黒・赤綠等デアツタが後ニハ紫・淺黄・藤色水色・卵色等が用ヒラレタ。

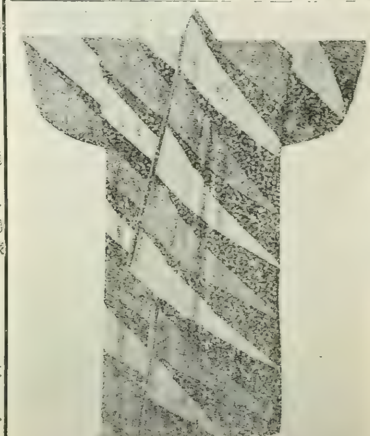
〔下着　胴着　繻絆　ぱつち　脚布〕

下着ハ小袖ノ下ニ重ネ着ル、無地・小紋・縞物等

胴着・繻絆ハ現代使用ノモノト同ジデ女子ニハ胴着ノ代リニ長繻絆がアル。

ぱつちハ股引ノ長キモノデ全脚ヲ蓋フ男子用(モトノ股引ハ膝マデ)。

脚布ハ女子ノ腰卷。



天文小袖　風俗志林

〔丹前・どてら〕

冬衣服ノ上ニ着ス廣袖ノ綿入レニテ黒キ襟ヲカケルどてらニハ綴糸がナイ。

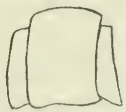
〔浴衣〕

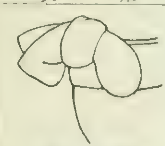
湯帷子ノ略稱デ浴場ノ服　廣袖白地ニ藍紺ノ絞リ模様が始メニ行ハレタ。

江戸時代


前巻結


駒下駄結


文庫


吉彌

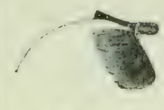
帶 モトハ紐ノ如キモノデ地質モ生絹、色モ白赤ノ如キ單純ナモノデアツタ。江戸時代初期ニハ二寸三寸位ノ巾ニナリ、緞子・綸子・綾・羽二重等、色モ茶・藍・黄・黒・纁・染分・緂（ダンダラ）等ニナツタ。文様ハナイノガ主デ、アレバ石疊・唐草位デアル、女子ハ巾二ツ割位ヨリ漸次一尺五分位マデニナツタ、後ニハ厚板・糸錦・繻珍・博多・琥珀等様々ノ種類ガ出來、男物ハ博多・紗・綾等ガ主デアル。

〔抱ヘ帶〕 帶ノ下ニしごきトシテ結ビ外出ノ時之デ衣服ヲカラゲル。

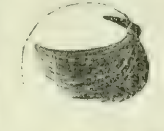
〔附帶〕 附帶ハ女官ヤ御殿女中ガ夏帷子ヲ着タ時ニ用ヒル、巾三寸位ノ袋ニクケ長四尺兩端ニ心ヲ入レ後ニ結ブ、錦・金襴等デ作ル、冬ハ四寸巾位ノ緞子等ノ帶ヲ前ニ結ビ上ニ搔取ヲ着ル。

〔結ビ方〕 前巻結ハ中年ノ女子ニ限ラレ、武士ハ駒下駄結、町人ハ貝ノ口、僧侶ハ挾ミ帶、女官御殿女中ハ丸結ビ文庫ハ品位アル中年婦人、其他やの字・はさみ・さらり・吉彌等種々アリ


郎君髷 大名


小銀杏 町人


大銀杏 武士


チヨン髷 田舎年寄


儒者天窓


小姓髷


浪人銀杏


竹の節 丁稚


垂髪打掛ノ貴婦人 繪本淺香山(享保頃)

男髷 上下着用ノ場合ハ儀式ニモ烏帽子ヲ被ラナイ、平常ハ武家庶民一切露頂トナツタ、結ビ方ハ男髷ト云ヒ皆似タ形式デアルガ身分階級ニヨツテ少異アリ大名・小名・武士・儒者・浪人・町人・百姓・力士・侠客・職人・丁稚等各獨特ノ形ガ定メラレ各ノ内ニモ年齢其他ニヨリ亦多少ノ變化ガアル。

女子結髪 〔垂髪ノ三形式〕1.十二單ヲ着スル場合ハおすべらかしト云ヒテ髪ヲ油デ堅メテ張リタル垂髪ニナセドモ平常ノ小袖打掛姿ノ場合ハソレト異ナル 2.初期ノモノハ平安朝風ニ近ク前髪ガ少シ出ル 3.末期ニハたぼヲ出シ前髪ニ櫛ヲサスヤウニナツタ。

〔兵庫髷〕 初期ニ行ハレタモノ(振袖姿ノ畫參照)。

〔笄髷〕 御殿女中ガ垂髪ニスベキヲ假ニ結ビ置ク形デ片はづしトモ云フ、笄ヲヌケバたぼノ出タ垂髪ニナル。

〔島田〕 往古埴輪土偶ニアル如ク古ヨリノ結髪法デ此時代ニハ廣ク行ハレタ。

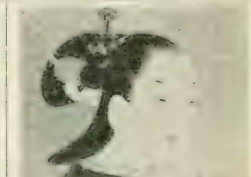
〔勝山〕 初期遊女ガ結ビ初メ簪ヲサ・ナカツタガ中期ニハ簪ヲサスヤウニナツタ、下ヨリ上ヘ有平糖ノヤウニ曲ゲテ結ブ。

〔丸髷〕 形ハ勝山ヨリ出デ笄ヲサスハ笄髷ニ由ル。

〔燈籠鬢〕 初メ京都ニ行ハレ後江戸ニ流行、著シク鬢ヲ膨ラシテ結ブ形デ初ハ町人、後ニハ上流ニモ行ハレタ。


前髪ノ出タル垂髪


島田髷


勝山髷

籠 身分高キ人ノ乘ルノヲ「乘物」ト稱シ庶民用ノヲ籠ト云ツタ、文祿四年ニハ身分高キ者ノミ許サレタノデアルガ漸次下級ニ及ビ天和ニハ町人モ許サレ元祿ニハ江戸中ニ辻籠・道中用ノ宿籠ガ生來タ。
將軍公卿等ハ網代・黒漆、女乘物ハ蒔繪、大名及夫人ノ御忍籠、武士公用ノ節ノ權門籠、庶民用あんぽつ、四手、囚人ニ雞籠(トウマル)等其他種々アツタ。

食物 〔主食〕 中流以上ハ白米飯ヲ貧者ハ米ト麥又ハ米ト稗又ハ麥又ハ麥ト粿ヲ用フ、物資豐富ナラザル地方ハ粥又ハ雑炊ヲ用ヒル。
〔副食物〕 獸肉ヲ穢物トシテ殆口ニセザルガ通例ナレド山村ノモノハ猪鹿ノ類ヲ食シ其他狸、兎、獺（かわうそ)、熊、犬マデ食スモノモアツタ。
〔料理ト酒〕 汁、煮物、浸物、和物、炙物、生酢、鍋物、漬物、天ぷら等。酒ハ清酒ノ外濁酒、燒酎、白酒等出來、清酒ハ攝津ノ池田、伊丹ガ名ヲ得其他諸國ニ各種ノ風味ノ酒ガ釀造サレタ、料理及酒ノ發達ニヨリ料理店ガ出來、酒間ヲ斡旋スル藝妓等モ出來タ、淡白ナ會席料理ガ珍重サレタ。
〔菓子〕 外國製ノ菓子ガ輸入サレ、砂糖ヲ用ヒルヤウニナリ、金米糖、有平糖、カステラ、ビスケット等ノ南蠻菓子ト云ツタ、日本風ノ菓子モ種々風雅ニ發達シタ其名稱等ハ倒底擧ゲツクサレナイ。
〔果物〕 西瓜、枇杷、甘藷、南瓜等モ此時代ニ新シク用ヒラレタモノ。
〔牛乳〕 平安朝ノ頃用ヒラレ中絶シ又此時代ニ醫藥トシテ用ヒラレタ。

財政難ト貨幣ノ改鑄

〔初期ノ貨幣制度〕 德川氏ハ文祿四年ニ墨書ノ小判ヲ鑄造シ慶長六年ニ大判・小判・分判・丁銀・豆板銀等ヲ制定シタ、コノ時ノ大判ハ墨書デアルガ小判ハ刻印ニ改メタ、鑄造地ノ名ヲ冠シテ江戸吹小判・京吹・駿河吹・佐渡吹等ト稱シタ、大判ハ四十四匁小判ハ四匁八分品位ニ等差ガアツタ、金一兩ハ純金四匁ヲ含有シ價ハ銀ノ五十匁ニ當ル、銀五十匁中ニハ純銀四十匁ヲ含有シ銅錢四貫文ニ相當シタ。
銅錢ハ〔慶長通寶〕〔元和通寶〕〔寛永通寶〕等ヲ鑄造シタ、之等ノ鑄造所ヲ金座・銀座・錢座ト云フ。
〔元祿寶永ノ改惡〕 元祿ニ至ツテ幕府財政ノ窮乏ニヨリ金貨ノ品位劣惡ナモノニ改鑄シ引換ニヨツテ一時財政ノ急ヲ凌イダ、此悪策ヲ繼續シテ〔二寶字銀〕〔四寶字銀〕ノ如キ劣惡ナモノヲモ鑄造シタ更ニ寶永ニ至リ〔乾字金〕ト稱スル小判・一分金ヲ鑄造シタガ之等ノ爲ニ金融緊縮シ經濟界ノ混亂物價騰貴等ニヨリ人心ガ動搖スルニ至ツタ。
〔正德ノ復古〕 正德四年新井白石ノ獻言ニヨリ慶長ノ制ニ復古シタガ經濟界ハ理論ノ如クユカズ再ビ元文ニ改惡ヲ試ミタ〔文字金〕〔文字銀〕ト云フ、明和ニ至リ〔二朱銀〕ヲ鑄造シ爾來銀ノ秤量ハ廢止セラレタ。
〔頻々タル改惡〕 文政ニハ十二年間ニ七回ノ新鑄改鑄ヲ行ヒ天保ニモ五兩判ヲ新鑄其他ヲ改鑄シ、嘉永・安政・萬延・文久ニ夫々金銀銅貨ヲ新鑄シタ。

明治後期

【御歌所】明二一
- 明21 御歌所長 高崎正風 ― 同上 黒田清綱 ― 同上 久我建通 ― 同上 入江爲守

【歌學會】
- 明25 歌學：久米幹文　落合直文　小中村義象　金子元臣

【淺香社】明二六
- 落合直文　與謝野鐵幹　大町桂月　金子薫園　服部躬治　久保猪之吉

【新詩社】明三三
- 明32 明星 I：與謝野鐵幹　平野萬里　茅野蕭々　吉井勇　北原白秋　石川啄木　與謝野晶子　茅野雅子　山川登美子　窪田空穂　水野葉舟
- 明42 スバル I：與謝野鐵幹　與謝野晶子　平野萬里　茅野蕭々　茅野雅子　北原白秋　吉井勇　石川啄木　窪田空穂　水野葉舟　相馬御風　橋田東聲
- 明44 ザンボア：北原白秋

【大日本歌道奬勵會】
- 明37 歌
- 明41 わか竹

大正前期

【國民文學十月會】大三
- 大4 國民文學 I：窪田空穂　水野葉舟　松村英一　半田良平　對島完治　丸山芳良　宇都野研　氏家信　豐島晃
- 太白：吉井勇
- 大3 地上巡禮：北原白秋
- 大7 秦皮：河野愼吾　村野次郎　酒井廣治
- 大8 たばこの花：北原白秋

大正後期

- 大9 地上 I：對島完治
- 大9 朝の光：宇都野研　氏家信
- 美穂：豐島晃
- 大11 ごぎやう：中河幹子
- 黎明：田邊駿一
- 大13 新園：丸山芳良
- 大13 國歌
- 大14 白檮
- 大14 國民文學 II：村野次郎　酒井廣治　杉浦翠子
- 大12 香蘭
- 大11 明星 II：與謝野寛　同 晶子　平野萬里　長島豐太郎　茅野雅子　中原綾子　深尾須磨子

【中央歌道會】
- 大11 國の花
- 大13 吾妹：生田蝶介　楠田敬二郎　矢島歡一

昭和期

- （國民文學）窪田空穂　松村英一　半田良平　植松壽樹　川崎杜外　小田切涙彦
- 窪田空穂　宇都野研　氏家信　對島完治
- 昭4 地上 II：對島完治
- 昭4 勁草：宇都野研　氏家信
- 豐島晃　豐島逃水
- 中河幹子
- 昭6 いづかし：中原綾子
- 河野愼吾　松本松五郎　北原白秋　村野次郎
- 昭5 冬柏：與謝野寛　同 晶子
- 昭5 相聞
- 昭6 スバル II：吉井勇　中原綾子　西村醉香　榛禎吉
- 昭2 文珠蘭：生田蝶介　松本仁　楠田敬二郎　矢島歡一

備考
- 【　】ハ社名・會名
- □ ハ雜誌名
- ─ ハ直接關係
- ┈ ハ間接關係

明、二六【白菊會】
金子薫園　平井晚村　田波御白　土岐哀果　武山英子　佐瀬蘭舟　吉植庄亮

明、三三【若菜會】
尾上柴舟　久保猪之吉　服部躬治　齋藤確助

明、三七【車前草社】

明40 車前草
尾上柴舟　若山牧水　前田夕暮　金澤種美　岩谷莫哀

明42 創作 *I*
若山牧水　前田夕暮　北原白秋　石川啄木　吉井勇　土岐哀果

明43 創作 *II*

明44 詩歌 *I*
前田夕暮　熊谷武雄　中島哀浪　矢代東村

大3 生活と藝術
石川啄木　土岐哀果　西村陽吉

大3 水甕
尾上柴舟　岩谷莫哀　石井直三郎　和氣朝庭　金澤種美

大4 創作 *III*
若山牧水

大7 光
金子薫園　山田葩夕　早川幾忠

大11 橄欖
吉植庄亮

大12 火乃久爾
中島哀浪

尾上柴舟　岩谷莫哀　山中登　上田英夫　岡本かの子

大11 ポトナム
小泉苳三

大12 眞人
細井魚袋

大14 青樹
石井直三郎

大14 草の實

大14 藝術と自由 *I*
石原純　西村陽吉　花岡謙二

大、一五【新短歌協會】

昭4 藝術と自由 *II*
西村陽吉

昭3 高嶺
早川幾忠

金子薫園

昭2 ぬはり
菊池知勇

若山喜志子　平賀春郊　神原克重

昭3 詩歌 *II*
前田夕暮　熊谷武雄　矢代東村

尾上柴舟　石井直三郎　上田英夫　細井魚袋　松田常憲

連作
木田翠明　岡山巖

蒼穹
岡野直七郎

水町京子　長岡とみ子　川上小夜子　北見志保子

明治後期

- 明27 いさゝ川 — 佐々木信綱
- 明31 心の花 — 佐々木信綱
- 明36 鵜川 — 香取秀眞　伊藤左千夫　長塚節　蕨眞　奥島欣人　山下愛花
- 明、三二【根岸短歌會】
- 明、三一『日本新聞』 — 正岡子規　香取秀眞　岡麓　赤木格堂　伊藤左千夫　長塚節　蕨眞　桃澤茂春　大橋約房　安江不空　森田義郎　柘植潮音　民部里靜
- 明36 馬醉木
- 明41 アカネ — 三井甲之　増田八風　花田比露思
- 明41 アラヽギ — 伊藤左千夫　蕨眞　平福百穗　石原純　岡千里　長塚節　民部里靜
- 明41 比牟呂 — 柿村人　胡桃澤勘内　望月光　堀内卓　湯本禿山　森山汀川
- 明、三三【この花會】
- 明40 同人 — 太田水穗　矢ヶ崎柴垣　川崎杜外　四賀光子　太田喜志子　山田邦子

大正前期

- （心の花）佐々木信綱　石榑千亦　印東昌綱　川田順　木下利玄　新井洸　下村宏　九條武子　柳原白蓮　片山廣子　角鷗東
- 【武庫短歌會】しほさゐ — 花田比露思
- （アララギ）岡麓　齋藤茂吉　平福百穗　土屋文明　石原純　望月光　島木赤彦　中村憲吉　堀内卓　釋迢空（折口信夫）　平瀨泣崖　古泉千樫
  - 門間春雄　結城哀草果　加納曉　杉浦翠子　土田耕平　藤澤古實　高田浪吉　竹尾忠吉　辻村直　今井邦子　築地藤子　久保田不二子　松倉米吉　並木秋人　原阿佐緒　三ヶ島葭子　大熊長次郎　水町京子
- 大4 潮音 — 太田水穗　小田觀螢　山下秀之助　野澤柿葺　峯村國一

大正後期

- 日本及日本人 — 三井甲之
- 大10 あけび — 花田比露思
- 大10 常春 *I* — 並木秋人
- 泰山木

昭和期

- 青玉
- （心の花）佐々木信綱　石榑千亦　印東昌綱　川田順　小花清泉　齋藤劉
- 角鷗東
- （アララギ）岡麓　齋藤茂吉　中村憲吉　土屋文明　平福百穗
- 昭2 みづがき — 中村水穗
- 昭3 常春 *II* — 松岡貞總　矢部道氣
- 昭3 ひとばえ — 並木秋人
- あしかび — 土屋靜男　山下陸奧
- 昭5 現代生活 — 宮崎茂
- （潮音）太田水穗　四賀光子　小田觀螢

明38 「光」 三浦直正

明、二六【わかば會】
「筆の花」 金子元臣 塙忠雄 水原慶夫

明、一六【花雨吟社】
明17 「筆の花」 水原赤瑳子 金子元臣

明、一九 「大八洲學會雜誌」 本居豐穎 久米幹文 小杉榲邨 木村正辭 飯田武郷

明、二六 「大八洲雜誌」 → 「大八洲」

備考
【　】ハ社名・會名
「　」ハ雜誌名
『　』ハ新聞名
──ハ直接關係
……ハ間接關係

大5 「短歌雜誌」 尾山篤二郎 西村陽吉 松村英一 → 松村英一

大6 「珊瑚礁」 中山雅吉 今村沙人 四海多實三 森園天涙 橋田東聲 白井大翼 渡邊湖畔

大8 「行人」 今村沙人 森園天涙

大8 「覇王樹」 橋田東聲 白井大翼 今中楓溪

大8 「自然」 尾山篤二郎 岡山巖 日比野道男 三田澪人 矢澤孝子

「氣象臺」 「靜脈」 「曠野」 「露臺」

大12 「郷愁」 清水信

大13 「日光」 北原白秋 吉植庄亮 前田夕暮 土岐善麿 木下利玄 石原純 川田順 古泉千樫 釋迢空

大13 「白珠」

大14 「鴿」

大、四【曙會】
大4 「あけぼの」 金子元臣 植松成言

大3 「白壺」 棚橋古刀雄 → 大5 「ナゴヤ」 → 大8 「胎動」 → 大12 「短歌」 棚橋古刀雄

昭4 「白光」 三浦直正

昭4 「短歌藝術」 南正胤 高橋福太郎 → 昭5 「プロレタリア短歌」

昭4 「歌と評論」 藤川忠治

白井大翼 今中楓溪 桐田蓮村 飯田莫哀

尾山篤二郎

昭5 「短歌建設」 清水信

馬場靜涙 穂積忠

昭2 「まるめら」 大熊信行

昭2 「青垣」 大熊長次郎

釋迢空

金子元臣 橘宗利 栗原彌孝 見尾勝馬 菊池猶喜 川島つゆ子

昭6 「あざみ」 菊池猶喜 松井定之

歌集（波線前ハ歿年順、後ハ略系統表順）

僧 辨玉　13歿　明治一二 瑲々室集

福田行誡　21歿　明治二〇 於知葉集　三一 後於知葉集

税所敦子　33歿　明治二三 御垣の下草

天田愚庵　37歿　明治三七 愚庵遺稿　昭和三 同 全集

小出粲　41歿　明治二七 久知なしの花

高崎正風　45歿　大正一五 たづがね集

海上胤平　大5歿　大正五 椎園歌集

黒田清綱　大6歿　明治三〇 濾園歌集（一）　三五 同（二）、同（三）

大口鯛二　大9歿　昭和二 大口鯛二翁歌集

坂 正臣　昭5歿　昭和二 三拙集

落合直文　36歿　明治三七 萩之家遺稿　三九 萩之家歌集

〜〜〜〜〜〜

與謝野鐵幹　明治二九 東西南北　三〇 天地玄黄　三四 鐵幹子（詩・歌・文）　〃 紫（詩歌）　三五 うもれ木（詩歌文）　三七 毒草（詩歌句文）（晶子共著）　四三 相聞　〃 檞の葉（詩歌）　大正四 鴉と雨（詩歌）　〃 灰の音　昭和五 霧島の歌（晶子共著）

與謝野晶子　明治三四 みだれ髪　三七 小扇　三九 舞姫、夢の華　四〇 黒髪　四一 常夏　四二 佐保姫　四三 花（歌文）

四四 春泥集　四五 青海波　大正五 朱葉集　八 火の鳥　一〇 太陽と薔薇　〃 旅の歌　一一 草の夢　一三 流星の道　一四 瑠璃光　〃 人間往來　昭和三 心の遠景

金子薫園　明治三四 片われ月（歌文）　三八 小詩國　〃 凌霄花　三九 伶人　四〇 わが思ひ　四三 覺めたる歌　四四 山河　大正三 草の上　五 自然と愛　六 星空　九 靜まれる樹　一二 濃藍の空

服部躬治　明治三四 伽具土

若山牧水　明治四一 海の聲　四三 ひとり歌、別離　四四 路上　四五 死か藝術か　大正二 みなかみ　三 秋風の歌　四 秋の落葉、砂丘　〃 行人行歌　五 旅とふるさと　〃 朝の歌　七 溪谷集　〃 さびしき樹木　一〇 くろ土　一一 路行く人々の歌　一二 山櫻の歌　一四 野原の郭公

若山喜志子　大正四 無花果　六 白梅集（牧水共著）　昭和四 筑摩野

尾上柴舟　明治三七 銀鈴（詩歌）　四〇 靜夜　四二 永日　大正三 白き路　四 還樹　八 空の色　一四 朝ぐもり　昭和五 間歩集　〃 行きつゝ歌ひつゝ

窪田空穗　明治三八 まひる野　三九 明暗　四〇 白露集　大正四 濁れる川　五 鳥聲集　七 泉のほとり　九 朴の葉　一〇 青水沫　一四 槻の木　一五 鏡葉

前田夕暮　明治四一 哀樂　四三 收穫　四五 陰影　大正三 生くる日　四 黑曜集　五 深林　六 前田夕暮集　一四 原生林　昭和三 虹　六 朝青く描く

土岐哀果（善麿）　明治四三 Nakiwarai　四五 黄昏に　大正二 不平なく（詩歌）　〃 佇みて　四 街上不平、石ころ　五 雜音の中　七 緑の地平　一三 緑の斜面　一四 空を仰ぐ　昭和三 初夏作品　五 柚子の種

吉井勇　明治四三 酒ほがひ　大正二 戀愛小品（歌文）　〃 昨日まで、戀人　四 片戀、戀慕流し　〃 初戀、祇園歌集　五 黑髪集、みれん　〃 東京紅燈集　七 毒うつぎ　八 旅情　九 河原蓬　一三 夜の心　昭和三 玉蜻　五 鸚鵡杯

相馬御風　明治三九 睡蓮　大正六 田園春秋（歌文）　一三 雜草苑

石川啄木　明治四三 一握の砂　四五 悲しき玩具　大正一二 啄木歌集

北原白秋　大正二 桐の花（歌文）　三 眞珠抄（詩歌）　四 雲母集　一〇 雀の卵　昭和三 花樫

岩谷莫哀　大正四 春の反逆　一四 仰望

西村陽吉　大正五 都市居住者　八 街路樹　一三 第一の街

生田蝶介　大正五 長旅　八 寶玉　一〇 凝視　一一 渦潮　一二 旅人

宇都野研　大正八 十姉妹の前に立ちて

半田良平　大正七 野づかさ

橋田東聲　大正一〇 地懐

飯田莫哀　昭和七 山火

植松壽樹　大正一〇 庭燎

石原純　大正一一 靉日

丸山芳良　大正一一 栴檀

松村英一　大正一三 やますげ　一五 春かへる日に

楠田敏郎　大正一一 流離

田邊駿一　大正一五 青木集

石井直三郎　大正七 椎葉集（外十人）　昭和六 青樹

- 岡野直七郎　昭和三　溪水集
- 佐々木信綱　明治二九　めざまし草／三六　思草／四五　新月／大正一一　常磐木／昭和四　豐旗雲／六　鶯
- 正岡子規　明治三七　竹の里歌／〃　竹の里人選歌／大正五　花枕／一〇　正岡子規選集
- 伊藤左千夫　大正一〇　伊藤左千夫選集
- 長塚節　大正六　長塚節選集／昭和四　鍼の如く
- 島木赤彥　大正二　馬鈴薯の花（中村憲吉共著）／四　切火／九　氷魚／一三　太虛集／一四　十年／一五　柹蔭集
- 中村憲吉　大正五　林泉集／一三　しがらみ／一四　杉の芽
- 木下利玄　大正三　銀／八　紅玉／一三　一路／一四　立春／〃　李青集
- 齋藤茂吉　大正二　赤光／一〇　あらたま／昭和一四　朝の螢／五　つゆじも
- 尾山篤二郎　大正二　さすらひ／四　明る妙／七　野を歩みて／一〇　曼殊沙華／一三　處女歌集／昭和三　白圭

- 石榑千亦　大正四　潮鳴／〃　かもめ
- 新井洸　大正五　微明
- 川田順　大正七　伎藝天／一〇　陽炎／一一　山海經／昭和五　青淵／六　鷲
- 今井邦子　大正五　光を慕ひつゝ／昭和六　紫草
- 九條武子　大正九　金鈴／一四　白孔雀／昭和四　薰染
- 柳原白蓮　大正四　踏繪／一〇　幻の花／一四　紫の梅／昭和三　流轉／四　戀歌懺悔
- 原阿佐緖　大正二　涙痕／五　白木槿／〃　死をみつめて
- 太田水穗　大正一一　雲鳥
- 土田耕平　大正一一　青杉
- 古泉千樫　大正一四　川のほとり
- 土屋文明　大正一四　ふゆくさ／昭和五　往還集
- 釋迢空　大正一四　海山のあひだ／昭和五　春のことぶれ
- 吉植庄亮　寂光／昭和三　煙霞集
- 中原綾子　昭和三　深淵／四　みをつくし
- 角鷗東　大正一三　いしずゑ
- 並木秋人　大正一四　穗秋
- 矢部道木　大正一四　白空木
- 土屋靜男　大正一五　秦山木
- 岡本かの子　大正一四　浴身／昭和五　わが最終歌集
- 松田常憲　大正一五　ひこばえ／昭和五　好日
- 三木行雄　昭和五　抗爭（プロレタリヤ歌集）
- 田中一郎　昭和五　勞働手帖

歌學書

- 明治二二　長歌改良論辯駁　海上胤平
- 明治二四　新撰歌典　落合、小中村、萩野、増田共著
- 明治二五　歌の栞　佐々木信綱
- 明治三〇　詠歌自在　佐々木弘綱　佐々木信綱補
- 明治三〇　國歌新論　末松謙澄
- 明治三三　霓裳歌話　武島羽衣
- 明治三四　歌まなび　大和田建樹編
- 明治三五　新派和歌大要　與謝野鐵幹
- 明治四一　歌學論叢　佐々木信綱
- 明治四四　文話歌話　金子薰園
- 明治四五　牧水歌話　若山牧水
- 大正三　歌話と評釋　前田夕暮
- 大正四　短歌新講　尾上柴舟
- 大正四　日本詩歌論　野口米次郎
- 大正四　歌の作りやう　與謝野晶子
- 大正五　短歌朧朧　尾上八郎
- 大正六　和歌講話　若山牧水
- 大正八　童馬漫語　齋藤茂吉
- 大正八　晶子歌話　與謝野晶子
- 大正八　短歌私鈔　齋藤茂吉
- 大正一〇　短歌立言　太田水穗
- 大正一一　竹里歌話　古泉千樫編
- 大正一三　歌道小見　島木赤彥
- 大正一三　國歌の胎生及び發達　五十嵐力
- 大正一三　歌論歌話及評論（子規全集卷五）　正岡子規
- 大正一三　短歌隨見　窪田空穗
- 大正一四　萬葉集の鑑賞及び其批評　島木赤彥
- 昭和四　短歌寫生の說　齋藤茂吉
- 昭和四　歌論歌話（節全集卷四）　長塚節
- 昭和四　左千夫歌論集（一、二、三）　伊藤左千夫
- 昭和五　隨緣抄　古泉千樫
- 昭和六　日本詩歌のリズム　相良守次
- 昭和七　短歌論　土田杏村

東京

明治17 — 明治38 — 明治44

詩集

- 15 新體詩抄 (外山・矢田部・井上)
- 〃 新體詩歌 第一篇 (竹内節編)
- 20 明治新體詩歌撰(佐藤雄治編)
- 〃 孝女白菊の歌 (直文)
- 22 いさり火 (建樹)
- 24 蓬萊曲 (透谷)
- 26 天地初發の詩 (牟月)
- 26 湖處子詩集(雨江編)
- 27 湖上の美人 (雨江)
- 28 深山の美人 (同上)
- 28 新體詩歌集 (正一・秋香・萬年・正臣)
- 〃 可兒大尉 (外山)
- 29 比沼山の歌 (巽軒)
- 29 若菜集 (藤村)
- 〃 東西南北 (鐵幹)
- 31 一葉舟 (藤村)
- 31 星落秋風五丈原(晩翠)
- 32 天地有情 (晩翠)
- 32 萬里長城 (晩翠)
- 〃 暮笛集 (泣菫)
- 34 落梅集 (藤村)
- 34 ゆく春 (泣菫)
- 36 獨吟哀歌 (有明)
- 36 心中おさよ新七(白星)
- 〃 霓裳微吟 (羽衣)
- 37 出廬 (露伴)
- 38 睡蓮 (御風)
- 38 春鳥集 (有明)
- 39 東海遊子吟 (晩翠)
- 〃 白羊宮 (泣菫)
- 41 有明詩集
- 41 御風詩集
- 〃 鬩の杯盤 (泡鳴)
- 42 邪宗門 (白秋)
- 42 痩犬 (御風)
- 〃 草山の詩(青山霞村)
- 44 思ひ出 (白秋)

詩論

- 23 詩歌論一斑 (大西操山)
- 26 詩歌改良の方針 (井上哲次郎)
- 〃 新體詩學 (大和田建樹)
- 28 新體詩論 (中村秋香)
- 30 新體詩の形式 (外山、山)
- 〃 新體詩に就て (上田萬年)
- 39 日本詩歌に韻のなき理由 (芳賀矢一)
- 40 新體詩論 (藤岡東圃)
- 41 口語詩論 (島村抱月)
- 42 新體詩の研究 (吉野臥城)

主要雜誌

- 大7 新進詩人 (正富汪洋)
- 大10 日本詩人 (詩話會)
- 大11 詩と音樂 (北原白秋)
- 大11 帆船 (多田不二)
- 大12 詩と人生 (生田春月)
- 大15 愛誦 (西條八十)
- 〃 地上樂園 (白鳥省吾)
- 昭2 河 (宮崎丈二)
- 〃 詩集 (井上康文)
- 3 詩と詩論 (春山行夫)
- 4 東方 (尾崎喜八)
- 〃 潤葉樹 (中西悟堂)
- 5 蠟人形 (西條八十)
- 〃 詩・現實 (淀野隆三)

譯詩

- 26 ウイリアムテル (湯谷紫苑)
- 27 欧米名家詩集 (大和田建樹輯)
- 34 ハイネの詩 (尾上柴舟)
- 38 海賊 (木村鷹太郎)
- 〃 野薔薇 (秋元蘆風)
- 〃 ウオルズウオルスの詩 (蒲瀬白雨)
- 〃 海潮音 (上田敏)
- 39 シエレーの詩 (小原無弦)
- 〃 失樂園 (土井晩翠)
- 40 シエレーの含羞草 (木村鷹太郎)
- 〃 バイロン詩集 (兒玉花外)
- 42 セニリア (仲田勝之助)
- 44 將軍の戀 (牧田勝)
- 〃 イノツクアーデン (長谷川康)

時代

大正 大正元

詩集

2 果樹園（健）
3 かなたの空（柳虹）
〃 世界の一人（省吾）
5 正義の兜（惣之介）
6 狂へる歌（同上）
〃 靈魂の秋（春月）
7 自分は見た（元麿）
8 はつ戀（柳虹）
〃 わすれな草（白秋）
9 靜かなる眉（八十）
〃 悲しき愛（碎花）
〃 白秋詩集
10 彌生集（醉茗）
〃 小猫の鈴（葛原）
〃 野天の光（元麿）
〃 黒衣の聖母（耿之介）
11 沈默の血潮（米次郎）
12 哀唱（八十）
〃 琉球詩集（惣之介）
〃 蝶を夢む（朔太郎）
〃 醉茗詩集
13 嘆の孔雀（正夫）
14 心のほころび（香月）

3 道程（光太郎）
〃 眞砂子抄（白秋）
〃 最初の一人（宗治）
5 一人と全體（同上）
6 輕身の頌（耿之介）
8 大地の憂（省吾）
〃 白秋小唄集
〃 地の子（碎花）
9 滿月の川（惣之介）
〃 宗治詩集
10 柳虹詩集
〃 樂園の途上（省吾）
〃 別後（雨情）
11 日本社會詩人詩集（豐彥等）
12 災禍の上（詩話會）
〃 山上に立つ（米次郎）
〃 砂上の夢（雨情）
13 現代抒情詩傑作集（井上、畑撰）

詩論

1 新體詩の押韻法に就て（近重眞澄）
3 詩形論（時枝誠之）
4 日本詩歌論（野口米次郎）
7 散文詩の要求（白鳥省吾）
〃 詩語論（齋藤勇）
9 詩と韻律（矢野峰人）
10 近代神秘說（日夏耿之助）
13 現代詩研究（白鳥省吾）

童謠

9 トンボの目玉（白秋）
10 兎の電報（白秋）
〃 鸚鵡と時計（八十）
〃 雲雀の巢（省吾）
〃 眞珠島（露風）
〃 千代田のお城（雨情）
〃 全國兒童傑作童謠一千選
〃 祭の笛（白秋）
〃 螢の燈臺（雨情）
12 銀の鈴（御風）
13 靑い目の人形（雨情）

10 十五夜お月さん（雨情）
〃 日本童謠集（八十、西川勉）
〃 合歡の搖籃（まさを）
〃 からたちの花（白秋）
〃 赤い月夜（雨情）

譯詩

4 テニスンの詩（入江花錦）
7 ダンテ神曲（上田敏）
8 泰西名詩譯集（生田春月）
〃 ヴェルレーヌ詩集（川路柳虹）
〃 ホイツトマン詩集（白鳥省吾）
〃 草の葉（富田碎花）
9 白孔雀（西條八十）
〃 ワイルド詩集（日夏耿之助）
〃 ツラウベル詩集（福田正夫）
〃 失はれたる寶玉（堀口大學）
10 ユキルレエヌ選集（竹友藻風）
〃 エウゲニーオネーギン（岡上守道）
〃 サンマ選集（堀口大學）
〃 明るい時（高村光太郎）
〃 バイロン シェリー 二詩人詩集（正富汪洋）
11 月下の一群（堀口大學）
〃 現代佛蘭西詩集（柳澤健）
12 シェリー詩集（牛山充）
〃 エマスン詩集（中村詳一）
〃 パアンズ詩集（生田春月）
13 ハイネ名詩選集（松山敏）

今上 昭和元

詩集

3 春月詩集
〃 鶴（犀星）
4 侯爵の服（深尾須磨子）
5 吉江喬松詩集
〃 木下杢太郎詩集
〃 新興農民詩集（全國農民藝術聯盟）
6 麗女（春夫）
〃 西藏美人（惣之助）
7 草原の夢（吉地）
〃 技巧（池田圭）

3 我求める道（露風）
〃 堀口大學詩集
5 馴鹿（藻風）
〃 象徵の烏賊（春月）
6 はいぷの中の家族（宗治）
7 ナツプ七人集（中野編）
〃 東洋の春（英美子）

詩論

3 詩論と感想（萩原朔太郎）
〃 詩學及詩論（金星堂編）
6 現代詩論集（詩文學社編）
〃 詩法（堀口大學譯）
7 プロレタリヤ詩の諸問題（森山啓）

童謠

5 赤い鳥童謠集（白秋）
7 日本幼兒詩集（〃）
〃 宵二童謠集（宵二）
〃 雀の木（佐藤義美）

譯詩

3 佛蘭西詩集（大木篤夫）
4 キツプリング詩集（中村為治）
5 靑白赤（堀口大學）
〃 ハーデー詩集（吉原重雄）
〃 マルチネ詩選（上田秋雄）

東京

明治元　明治17　明治38　明治44

俳句

舊派

- 12 明治八十歌仙（永機）
- 26 俳諧名家談（永機）
- 28 是空俳話（是空）
- 31 新五元集（永機）
- 32 俳諧自在（永機）

新派

筑波會

- 30 風流蕪村（洒竹）
- 〃 連俳小史（鼠骨）
- 〃 俳諧略史（洒竹）（俳諧文庫附錄）
- 38 新風（瓊音）
- 〃 俳諧花濤集（筑波會）
- 40 俳論史（瓊音）

秋聲會

- 29 雜誌 秋の聲 刊（竹冷等）
- 32 中興五傑集（松宇）
- 36 秋の聲 改 卯杖
- 39 新俳句帖（望東）
- 40 紅葉句帖（婆人）
- 41 卯杖 改 木太刀
- 28 俳諧風聞錄（知十）
- 30 俳諧論（竹冷）
- 34 俳諧年表（望東・婆人）
- 42 俳諧年代記（望東）

日本派

- 28 寒山落木（子規）
- 29 俳句二十四體（同上）
- 30 新俳句（三川）
- 31 雜誌ホトトギス刊（虚子等）
- 33 蕪村遺稿（露石）
- 34 春夏秋冬（子規等）
- 35 獺祭書屋俳句帖抄（虚子）
- 37 妻木（青々）
- 39 續春夏秋冬（碧梧桐）
- 41 虚子句集（一葉）
- 41 新春夏秋冬（虚子）
- 41 雜誌アカネ刊（乙字等）
- 42 日本俳句抄（碧梧桐）
- 25 獺祭書屋俳話（子規）
- 26 芭蕉雜談（同上）
- 28 俳諧大要（同上）
- 29 俳句問答（同上）
- 〃 俳人蕪村（同上）
- 31 俳句入門（虚子）
- 32 俳句評釋（碧梧桐）
- 37 俳句論（虚子）
- 〃 俳諧評論（同上）
- 39 俳句作法（紅綠）
- 〃 俳諧馬の糞（虚子）
- 〃 蚊帳釣草（碧梧桐）
- 40 俳句問答（鳴雪）
- 42 俳句作法（鳴雪）

俳文

- 25 高尾紀行（子規）
- 26 はてしらずの記（同上）
- 32 寫生文（ホトトギス誌上）
- 34 墨汁一滴（子規）
- 35 俳諧漫話（碧梧桐）
- 38 明治俳文集（答朗）
- 39 一日一信（碧梧桐）
- 〃 帆立貝（虚子・四方太）
- 40 三千里（碧梧桐）

時代

大正（大正元）

〔筑波・秋聲系其他〕

- 1 聽雨窓俳話（竹冷）
- 2 瓊音句集（瓊音）
- 6 木太刀句集（麥人）
- 12 芭蕉研究（功）
- 14 一茶と良寛と芭蕉（御風）

新傾向派

- 明44 雜誌層雲刊（井泉水等）
- 2 日本俳句抄〔第二〕（碧梧桐）
- 4 新傾向句集（碧梧桐）
- 4 雜誌海紅刊（碧梧桐等）
- 9 湧出るもの（井泉水）
- 10 井泉水句集（井泉水）
- 11 俳壇十年（井泉水）
- 12 八年間（碧梧桐）
- 12 雜誌碧刊（碧梧桐）
- 12 旅人芭蕉（〃）
- 13 俳句に入る道（〃）
- 〃 芭蕉とその自然觀（〃）
- 14 碧改三昧

新復古派

- 明45 アカネ改人生と表現
- 大4 雜誌石楠刊（亞浪等）
- 6 炬火（亞浪）
- 8 蛙鼓（露石）
- 10 乙字俳論集（乙字）
- 10 乙字遺稿（乙字）

子規直系

- 4 虛子句集（虛子）
- 4 ホトヽギス雜詠集（〃）
- 6 漱石俳句集（漱石）
- 6 月並研究（虛子）
- 7 進むべき俳句の道（虛子）
- 9 俳句雜感（青々）
- 11 日本俳諧史（秋旻）
- 11 ホトヽギス雜詠集（虛子）
- 14 京鹿子第一句集

〔俳文〕

- 2 此一筋（瓊音）
- 3 續三千里（碧梧桐）
- 4 佐野の和多里（宗碩）
- 4 そゞろ言（道彥）
- 9 旅衣（重繼）
- 10 聽蛙亭雜筆（露石）

代

今上（昭和元）

句集

- 昭和元 松宇家集 伊藤松宇
- 鳴雪俳句集 内藤鳴雪
- みづおと集 荻原井泉水
- 昭和二 ゆふぐも集 荻原井泉水
- 溫亭句集 篠原英喜
- 昭和三 草城句集 日野草城
- 京鹿子第二句集 日野克修
- 丁卯句鈔 野田別天樓
- 海紅句集 中塚一碧樓
- 芋畝 石田雨圃子
- 虛子句集 高濱虛子
- 詠史句集 鶴田東皐
- 昔懺悔 荻原井泉水
- しひの葉集 同上
- 昭和四 ひぐらし集 荻原井泉水
- 雨滴集 春雨會編
- 鹿子の渡 松宇竹冷文庫刊行會
- 草山 横山うさぎ
- 昭和五 九萬字句集 島田九萬字
- 京鹿子第三句集 鈴鹿野風呂
- 葛飾 水原秋櫻子
- 曲水俳句集 曲水社
- 日本名所俳句集 五味松塘編
- まつの葉集 荻原井泉水
- 馬醉木俳句集 水原秋櫻子編
- 昭和六 あさぼらけ 勝峯晋風編
- 露座 畑耕一
- 秋櫻子句集 水原秋櫻子
- 雲海 同上選
- ゆけむり集 荻原井泉水
- 昭和七 草笛 星野麥人
- 零餘子句集 長谷川かな女
- 梵行品 荻原井泉水
- 水之句集 神谷水之

俳論・俳話・俳史

- 昭和元 詩人芭蕉 荻原蘿月
- 井泉水俳話 荻原井泉水
- 昭和二 俳諧哲理 船山草花
- 俳諧讀本 森川朝陽
- 昭和三 俳諧の研究 廣島高師國漢文會
- 連句史 樋口功
- 連俳史論 佐々醒雪
- 昭和四 奥の細道を尋ねて 荻原井泉水
- 俳壇傾向論 同上
- 新興俳句の道へ 河東碧梧桐
- 昭和五 談林時代 野田別天
- 俳句讀本 島田青峯
- 俳諧史概説 佐藤一三
- 一茶の研究 藤本秋圃
- 昭和六 閑さ かへで同人
- 芭蕉入門 荻原井泉水
- 俳人讀本（上） 同上
- 芭蕉に參ずる心 二瓶一次
- 俳句三十講 黎明居士葉舟
- 現代俳句（岩波講座） 志田義秀
- 昭和七 音韻上より見たる俳諧文法論 淺野信
- 俳句文法六十講 松本仁
- 新俳句提唱 荻原井泉水
- 俳文學の考察 志田義秀
- 俳諧史要 馬場蕗臺

主要俳句雜誌

	主要俳句雜誌	主幹
〔子規直系〕	ホトヽギス	高濱虛子
	俳星	岩動炎天（平川霞溪）
	曲水	渡邊水巴
	倦鳥	松瀬青々
	同人	青木月斗
	鹿火屋	原石鼎
	京鹿子	鈴鹿野風呂
	早春	水尾宋斤
	雲母	飯田蛇笏
	ぬかご	水野六山
〔新復古派〕	石楠	臼田亞浪
	懸葵	大谷句佛
	草上	伊藤月草
	獺祭	吉田冬葉
〔新傾向派〕	層雲	荻原井泉水
	三昧	河東碧梧桐
	海紅	一碧樓
〔其他諸派〕	木太刀	星野麥人
	筑波	伊藤松宇
	南柯	横山うさぎ
	初冠	森無黄
	黃橙	勝峯晋風
	高潮	服部畊石
	東炎	志田素琴

東京

年代	摘要	新作民謡	新作民謡
明治 1 明治維新	伊豫節流行	菊は咲く咲く葵は枯れる	
	よさこい節流行	えいじゃないか	
		トコトンヤレ節	
		ぎつちよんちよん	
		こちやえ節	
		野毛の山からノーエ	
	大津繪節流行	緣かいな節	
		しよんがへ節	
		ひよこほい節	
明治 10 西南戰爭		世の中開化節	
		書生節	
		おやまかちやんりん	
		梅ヶ枝の手水鉢	
	お竹さん節流行	ヘラヘラヘ	すててこ
明治 18		ドンガラガン節	自由の歌
	宮津節流行	閻の地藏さん節	
	仙臺節流行	ノルマントン號沈沒の歌	
明治 22 憲法發布		改良節	推量節
		ダイナマイト節	
		オツペケペー節	
明治 27 日清戰爭	軍歌流行	やつつけろ節	愉快節
	さんさ時雨流行		
	博多節流行		
	立山節流行	劍舞節	淡々節
	伊豫節再流行	京の四季	ホーカイ節
明治 37 日露戰爭	宮津節再流行	麗風戀風の歌	さのさ節
	軍歌流行	ストライキ節	
	磯節流行		
明治 39	おけさ節東京ニ傳ハル	ラッパ節	
		夜半の追憶(男三郎の歌)	
		松の聲	殘月一聲
		チヤカホイ節	
		不如歸	どんどん節
		ハイカラ節	デカンショ
		何て間がいゝ節	

舊作民謡（江戸時代）

〔發生地〕	〔發生地〕	〔發生地〕
さんさ時雨〔仙臺〕	深川節〔江戸〕	磯節〔常陸〕
伊豫節〔伊豫〕	お竹さん〔〃〕	おけさ節〔佐渡〕
よさこい節〔土佐〕	立山節〔越中〕	木曾節〔信濃〕
都々逸〔江戸〕	米山甚句〔越後〕	新潟節〔越後〕
大津繪節〔近江〕	鎌倉節(木遣)	草津節(湯もみ唄)
おん琴々〔江戸〕	金比羅船〔四國〕	信濃追分〔信濃〕
宮津節〔丹後〕	かつほれ〔江戸〕	松前追分〔北海道〕
本調子甚句〔江戸〕	奴さん〔〃〕	安來節〔出雲〕
角力甚句(二上り)〔〃〕	槍さび〔〃〕	仙臺節〔陸前〕
二上り新内〔〃〕	名古屋甚句〔尾張〕	串本節〔紀伊〕
潮來節〔常陸〕	伊勢音頭〔伊勢〕	

唱歌

唱歌	(作者)
故郷の空	(大和田建樹)
小楠公	
皇國の守	(外山正一)
孝女白菊の歌	(落合直文)
郡司大尉千島遠征歌	
福島中佐シベリヤ遠征歌	
大楠公	(落合直文)
義士の歌	
ワシントン	
港	(旗野十一郎)
鐵道唱歌	(大和田建樹)
川中島	(旗野十一郎)
美しき天然	(武島羽衣)
春爛漫の花の色〔一高西寮歌〕	(矢野勘治)
世界一週唱歌	(池邊義象)
嗚呼玉杯に花うけて〔一高東寮歌〕	(矢野勘治)
陸奥の吹雪〔八甲田山遭難歌〕	(落合直文)
ダニューブ河の漣	(田中貞一)
綠もこ濃き柏葉の〔一高東寮歌〕	(柴淺茅)
早稻田大學校歌	(相馬御風)
眞白き富士の根〔逗子短艇遭難歌〕	(三角錫子)

軍歌

軍歌	(作者)
拔刀隊	(外山正一)
敵は幾萬	(山田美妙齋)
ますらたけを	(東宮鐵眞呂)
道は六百八十里	(石黑行平)
元寇	(永井建子)
今度このたび	
豐島の戰	(池邊義象)
膺てや懲せや	(横井忠直)
往け往け日本男子	(外山正一)
喇叭の響	(菊間義淸)
黄海の大捷	(明治大帝)
雪の進軍	(永井建子)
勇敢なる水兵	(佐々木信綱)
婦人從軍歌	(菊間義淸)
日本海軍	(大和田建樹)
日本陸軍	(同上)
橘中佐	(鍵谷德三郎)
戰友	(眞下飛泉)

時代	年・事件	流行	流行歌 (作者)	民謡〔發生地〕(作者)	演劇・映畫主題歌〔劇名〕(作者)	軍歌
時	大正 3 世界大戰 日獨戰爭	安來節大阪ニ流行	奈良丸くづし	鴨緑江節〔滿鐵附屬地〕	カチューシャの歌〔復活〕(抱月・御風)	乃木大將の歌 (吉丸一昌)
			まつくろけ節	大漁節〔銚子港〕	眼のない鳩さん〔その前夜〕(楠山正雄)	征獨の歌
			青島節(一名ナツチヨラン)		ゴンドラの唄〔〃〕(吉井勇)	テイパレリーの歌 } 歐洲戰爭軍歌
					戀はやさしい〔ボッカチオ〕(小林愛雄譯)	薔薇の歌 } 歐洲戰爭軍歌
		鴨緑江節大連ニ流行	どこまでも節	新磯節〔東京〕	さすらひの歌〔生ける屍〕(北原白秋)	
			よりをもどして		今度生れたら〔〃〕(〃)	
					にくいあん畜生〔〃〕(〃)	海の向ふへ 同上
		串本節東京ニ傳ハル	金色夜叉		煙草のめのめ〔カルメン〕(〃)	
		安來節東都ヲ風靡ス	美少年		戀の鳥〔〃〕(〃)	
		大漁節流行	船頭小唄(一名枯れすゝき)(野口雨情)		酒場の歌〔〃〕(〃)	
			流浪の旅		カルメンの唄〔〃〕(川村花菱譯)	
			籠の鳥	城ケ島の雨 (北原白秋)	別れの歌〔〃〕(北原白秋)	
			青春の歌	鐘がなります (〃)	森の娘〔沈鐘〕(抱月・楠山)	
	大正 12 關東震災	鴨緑江節内地ニ流行	復興節	出船の港 (時雨音羽)	水藻の花〔〃〕(〃)	
			月は無常	波浮の港〔大島〕(野口雨情)	緑の朝の歌〔春曙夢〕(薫・幹彦)	
			すととん節	鉾をおさめて (時雨音羽)	コロッケの唄〔帝劇女優劇〕(太郎冠者)	
				旅人の歌 (野口雨情)		
	昭和 元	串本節大流行	ヴェニスの船頭		モンパリ〔同題〕(岸田辰彌)	
		草津節大流行	ヴアレンシア (堀内敬三譯)		東京行進曲〔同題〕(時雨音羽)	
		佐渡おけさ大流行	道頓堀行進曲 (日比繁次郎)	須坂小唄 (野口雨情)	君戀し〔同題〕(西條八十)	
			浅草行進曲 (〃)		紅屋の娘〔同題〕(野口雨情)	
			アラビアの歌 (堀内敬三譯)		沓掛小唄〔沓掛時次郎〕(長谷川伸)	
			私の青空 (〃)	ちやつきり節 (北原白秋)	祇園小唄〔繪日傘〕(長田幹彦)	
			當世銀座節 (西條八十)		唐人お吉〔同題〕(西條八十)	
代	昭和 6 日支事變	軍歌流行	テイテイナ (堀内敬三譯)		愛して頂戴〔同題〕(〃)	肉彈三勇士 (中野力)
			羊飼の歌 (花澤渓泉)		巴里の屋根の下〔同題〕(〃)	同上 (渡邊榮)
			マノンレスコオの唄 (西條八十)			肉彈三勇士の歌 (與謝野寛)
			黒い眸よ今何處 (堀内敬三)			肉彈三勇士 (長田幹彦)
			銀座の柳 (西條八十)			空中艦隊の歌 (同上)
						あゝ空閑少佐 (今村少佐)
						歩兵三聯隊歌 (北原白秋)
						皇軍の歌 (德富・佐々木)

東京

2582 明治元 ／ 17 ／ 38 ／ 44

〔時代物〕

(年代)	(作品)	(作者)
2	桃山譚	(默阿彌)
〃	日蓮記	(〃)
3	慶安太平記	(〃)
6	酒井の太鼓	(〃)
10	黄門記	(〃)
12	鏡山錦楓葉	(〃)
14	土蜘	(〃)
16	茨木	(〃)
18	船辨慶	(〃)
19	高時	(三世新七)
22	那智瀧祈誓文覺	(竹柴其水)
〃	蔦模様血染御書	(三世新七)
24	高田馬場	(〃)
30	大森彦七	(福地櫻痴)
32	山田長政暹羅記	(竹柴其水)

〔世話物〕

(年代)	(作品)	(作者)
6	髮結新三	(默阿彌)
〃	東京日々新聞	(〃)
7	三人片輪	(〃)
11	勸善懲惡孝子譽	(〃)
〃	西南戰爭	(〃)
13	霜夜鐘十字辻筮	(〃)
〃	木間星箱根鹿笛	(〃)
14	島鵆月白浪	(〃)
〃	天衣紛上野初花	(〃)
18	水天宮利生深川	(〃)
〃	四千兩小判梅葉	(〃)
19	盲長屋梅加賀鳶	(〃)
23	皐月晴上野朝風	(竹柴其水)
〃	神明惠和合取組	(〃)
25	鹽原多助一代記	(三世新七)
〃	牡丹燈籠	(〃)
28	指物師名人長次	(〃)
30	侠客春雨傘	(福地櫻痴)
31	江戸育お祭佐七	(三世新七)
38	櫻時雨	(高安月郊)
44	箕輪心中	(岡本綺堂)

新派劇

(年代)〔上演〕	(作品)	(作者)〔小說原作者〕
21	豪膽の書生	(角藤定憲)
21	戰爭餘談上野曙	(〃)
21	政黨美談淑女操	(依田學海)
24	經國美談	(矢野文雄)
〔〃〕	板垣君遭難實記	(川上音二郎)
〔〃〕	佐賀暴動記	(久保田彦作)
25	平野次郎	(福地櫻痴)
27	又意外	(川上音二郎)
〔〃〕	日清戰爭	(〃)
〔〃〕	戰地見聞日記	(〃)
28〕	威海衞陷落	(〃)
〔31〕	夏小袖	〔尾崎紅葉〕
〔〃〕	金色夜叉	〔 〃 〕
〔〃〕	畜生腹	〔廣津柳浪〕
〔36〕	不如歸	〔德富蘆花〕
〔〃〕	己が罪	〔菊池幽芳〕
〔38〕	目黒巷談	〔廣津柳浪〕
〔39〕	破戒	〔島崎藤村〕
〔〃〕	侠艶錄	(佐藤紅綠)
〔〃〕	吾輩は猫である	〔夏目漱石〕
〔40〕	無花果	〔中村春雨〕
〔〃〕	雲のひゞき	(佐藤紅綠)
〔43〕	寄生木	〔德富蘆花〕

飜譯劇

(年代)	(作品)	(作者)
17	自由太刀餘波鋭鋒	(坪内逍遙)
22	調高矣洋絃一曲	(森鷗外)
〃	折薔薇	(〃)
26	社會の敵	(高安三郎)
〃	人形の家	(〃)
36	闇と光	(高安月郊)
〃	瑞西義民傳	([illegible]山人)
〔36〕	オセロ	(江見水蔭)
39	ヹニスの商人	(坪内逍遙)
〃	モンナヴンナ	(山岸荷葉)
40	ハムレット	(坪内逍遙)
41	出發前半時間	(森鷗外)
42	ボルクマン	(〃)
43	夜の宿	(小山内薫)
〃	人形の家	(島村抱月)
〃	ロミオとジュリエット	(坪内逍遙)
44	寂しき人々	(森鷗外)
〃	檢察官	(楠山正雄)
〃	運命の人	(〃)

史劇

(年代)	(作品)	(作者)
20	吉野拾遺名歌譽	(依田學海)
22	文覺上人勸進帳	(依田學海・川尻寶岑)
24	泉三郎	(宮崎三昧)
〃	春日局	(福地櫻痴)
25	關原擧凱歌	(〃)
27	桐一葉	(坪内逍遙)
29	牧の方	(〃)
30	沓手鳥孤城落月	(〃)
35	玉篋兩浦島	(森鷗外)
36	江戸城明渡	(高安月郊)
37	日蓮上人辻說法	(森鷗外)
39	霙破柴田	(山崎紫紅)
40	歌舞伎物語	(〃)
41	由井正雪	(佐野天聲)
〃	袈裟と盛遠	(松居松葉)
〃	修禪寺物語	(岡本綺堂)
42	靜	(森鷗外)
43	出雲阿國	(靑々園)
〃	生田川	(森鷗外)
〃	平維盛	(永井荷風)
44	運命の丘	(島村抱月)

樂劇

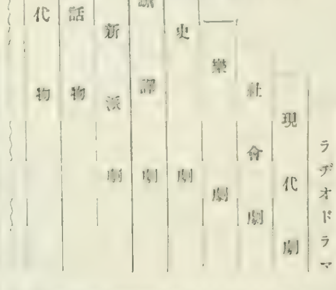
(年代)〔上演〕	(作品)	(作者)
37	新曲浦島	(坪内逍遙)
38	新曲赫映姫	(〃)
〃	女那智	(山崎紫紅)
〔〃〕	露營の夢	(北村季晴)
39	常闇	(坪内逍遙)
〔〃〕	羽衣	(小松玉巖)
〔〃〕	靈鏡	(小林愛雄)
40	鉢かづき姫	(坪内逍遙)
41	新曲金毛狐	(〃)
〃	お夏狂亂	(〃)
42	和歌の浦	(〃)
〃	南蠻寺門前	(木下杢太郎)
44	寒山拾得	(坪内逍遙)
〃	お七吉三	(〃)
〔〃〕	胡蝶の夢	(松居松葉)

社會劇

(年代)	(作品)	(作者)
40	大野	(佐野天聲)
〃	第一人者	(眞山靑果)
41	意志	(佐野天聲)
〃	不死の誓	(〃)
〃	生れざりせば	(眞山靑果)
43	牧師の家	(中村春雨)

現代劇

(年代)	(作品)	(作者)
42	假面	(森鷗外)
〃	午後三時	(吉井勇)
43	紀念會の前夜	(〃)
44	幻影と夜曲	(秋田雨雀)
〃	和泉屋染物店	(木下杢太郎)



本圖ノ如キ展開ヲナセルモノナルガ紙面ノ都合ニヨリ空白ヲ利用シテ現代劇ハ時代物欄ニラヂオドラマハ新派劇欄ニ記入シタリ

時代

大正元

2 戀を知る頃（谷崎潤一郎）
3 女　親（山本有三）
4 飢　渇（長田秀雄）
〃 その妹（武者小路實篤）
5 屋上の狂人（菊池　寛）
6 死とその前後（有島武郎）
〃 父帰る（菊池　寛）
7 津村教授（山本有三）
8 嬰兒殺し（〃）
〃 生命の冠（〃）
10 愛すればこそ（谷崎潤一郎）
11 ども又の死（有島武郎）
〃 故郷の家（清見陸郎）
12 斷　橋（有島武郎）
〃 愛なき人々（谷崎潤一郎）
13 戀愛病患者（菊池　寛）
〃 人生の幸福（正宗白鳥）
14 愛　慾（武者小路實篤）
〃 父　親（山本有三）
〃 短　夜（久保田万太郎）

昭和元

1 勝者敗者（廣津和郎）
2 門を出づ（水木京太）
〃 生きてゆく（廣津和郎）
〃 夜　鴉（久保田万太郎）
4 九條武子夫人（北村小松）
6 青蛙神（岡本綺堂）
〃 女優奈々子の裁判（小林宗吉）

1 名工柿右衛門（榎本虎彦）
3 本　山（〃）
4 三柏葉樹頭夜嵐（永井荷風）
〃 鳥邊山心中（岡本綺堂）
〃 茨木屋幸齋（池田大伍）
〃 尾上伊太八（岡本綺堂）
〃 傾城三度笠（岡村柿紅）
5 番町皿屋敷（岡本綺堂）
7 淀屋辰五郎（中村吉藏）
8 藤十郎の戀（菊池　寛）
10 俳諧師（岡本綺堂）
11 お國と五平（谷崎潤一郎）
〃 深與三玉兎横櫛（岡鬼太郎）
〃 冬木心中（額田六福）
13 生きてゐる小平次（鈴木泉三郎）
14 新四谷怪談（瀬戸英一）

4 朝鮮屏風（岡本綺堂）
7 東京の昔話（岡本綺堂）

ラヂオドラマ

（年代）（作品）（作者）
14 盲の高利貸（長田秀雄）
〃 悲しき遍路（長田幹彦）
〃 炭坑の中（小山内薫）

2 カンバル氏の實驗（岸田國士）
〃 彼等の希望（菊池　寛）
〃 霧の中（山本有三）
〃 すきあり（上田ふみ）
〃 或る夫婦（里見　弴）
3 迷子になつた上等兵（岸田國士）
4 女に負けた男等（中村吉藏）
〃 水車小屋（秋田雨雀）
5 渡り鳥（吉井　勇）
6 ベビーゴルフ（北村壽夫）
〃 雨　室（久保田万太郎）

1 故　郷（島村抱月）
〃 二十世紀（松居松葉）
2 シーザー（坪内逍遙）
〃 ファウスト（森　鷗外）
〃 櫻の園（瀬沼夏葉）
〃 モンナヴンナ（島村抱月）
〃 サロメ（中村吉藏）
3 熊（楠山正雄）
〃 復　活（島村抱月脚色）
〃 シーザーとクレオパトラ（楠山正雄）
4 罪と罰（坪内士行）
〃 アントニーとクレオパトラ（坪内逍遙）
5 マクベス（〃）
〃 エヂポス王（中村吉藏）
7 沈　鐘（楠山正雄）
8 信　仰（小山内薫）
〃 カルメン（川村花菱脚色）
14 人　間（小山内薫）
〃 生活の河（關口次郎）
〃 皇帝ジョンス（本田滿津二）

2 質屋と花嫁と紳士（北村小松）
3 自由の重荷（岸田國士）
〃 二階師（前田河廣一郎）
4 ファウスト（池田大伍）
〃 タレルキンの死（大隈俊雄）
5 檢察官（〃）
〃 塵芥の如き人々（八住利雄）
7 ボーギイ（菅原　卓）

2 室町御所（岡本綺堂）
〃 髑髏尼（吉井　勇）
3 瀧口時頼（池田大伍）
〃 清盛と佛御前（島村抱月）
5 項羽と劉邦（長與善郎）
6 出家とその弟子（倉田百三）
〃 名殘の星月夜（坪内逍遙）
7 義時の最後（〃）
〃 淀君と三成（松居松翁）
〃 忠直卿行狀記（菊池　寛）
9 俊　寛（倉田百三）
〃 伊井大老の死（中村吉藏）
10 坂崎出羽守（山本有三）
12 石山開城記（長田秀雄）
〃 楠正成（武者小路實篤）
13 西鄉吉之助（吉田絃二郎）
〃 玄朴と長英（眞山青果）
〃 洛北の秋（九條武子）
14 平將門（眞山青果）

1 森有禮（小山内薫）
2 韓信の死（長與善郎）
3 源義朝（永田衡吉）
〃 坂本龍馬（眞山青果）
4 唐人お吉（〃）
〃 道元と時頼（中村吉藏）
5 天保演劇史（岡本綺堂）
7 西園寺公望（木村　毅）
〃 山田長政（中村吉藏）

〔1〕熊　野（杉谷代水）
〔〃〕江口の君（右田虎彦）
1 墮天女（坪内逍遙）
〃 釋　迦（松居松葉）
〃 妻（佐々木繁）
〃 燈籠大臣（松居松葉）
2 空　華（長谷川時雨）
〃 猶太の娘（宗司　生）
〃 舞踏の花（小林愛雄）
〃 マルタ（〃）
〔3〕春れ達磨（本居長世）
4 京丸牡丹（杉谷代水）
〃 役者の運命（森脇白夜）
7 厩戸王子（小林一三）
〔9〕頼　風（松長照夫）
〔10〕忠　度（〃）
〔11〕雁風呂（〃）
12 浮　世（坪内士行）
〃 人と波（坪内逍遙）
13 小さな娘になつた猫（〃）

〔7〕鐘秋　嚴（久松一聲）
〔〃〕古淡巴こ女（青蕪滿子）

3 剃　刀（中村吉藏）
〃 毒よりも甘し（倉田啓明）
4 代議士の家（木下杢太郎）
〃 飯（中村吉藏）
5 眞人間（〃）
〃 阿武隈心中（久米正雄）
6 帽子ピン（中村吉藏）
7 柿實る村（仲木貞一）
8 三浦製絲場主（久米正雄）
11 洗濯屋と詩人（金子洋文）
〃 孤（〃）
12 理髪師（〃）
〃 手投彈（秋田雨雀）
〃 投げ捨てられた指輪（金子洋文）
〃 義民甚兵衛（菊池　寛）
13 妖怪時代（藤井眞澄）

1 磔茂左衛門（藤森成吉）
〃 犠　牲（〃）
2 スカートをはいたネロ（村山知義）
〃 何が彼女をさうさせたか（藤森成吉）
3 相戀記（〃）
〃 信州義民錄（永田衡吉）
4 飛ぶ唄（金子洋文）
〃 暴力團記（村山知義）
5 蜂　起（藤森成吉）
6 勤勞學校（村山知義）
7 佐倉宗五郎（金子洋文）

〓統小説

- 西洋膝栗毛（魯文）
- 安愚楽鍋（〃）
- 胡瓜圖解（〃）
- 春雨物語（春〓）
- 新増補西國立志
- 白〓譚（錦〓）（完結）
- 明良〓草（〓〓）
- 〓なら竹（鳥村）
- 掘出し物（〃）
- かくれんぼ（緑雨）
- 油地獄（〃）
- 鎌倉武士（〓〓）
- 門三味線（緑雨）
- 〓〓館（〃）
- 糸瓜の水（〓〓）

通俗小説

〔人情小説〕	〔[illegible]小説〕	〔探偵小説〕	〔歴史小説〕
21 [illegible]月[illegible]（南翠）	23 三日月（浪六）	22 [illegible]術の[illegible]（涙香）	27 滝口入道（樗牛）
22 [illegible]月夜（〃）	25 鬼奴（〃）	〃 有罪無罪（〃）	〃 山崎合戦（逍遥）
23 [illegible]路[illegible]（〃）	26 井筒女之助（〃）	25 死美人（〃）	〃 菅丞相（[illegible]）
25 [illegible]一（南翠）	〃 奴の小萬（〃）	〃 大[illegible]塊（〃）	30 北條早雲（逍遥）
29 日の出島（弦斎）	〃 深編笠（〃）	26 [illegible]小説（〃）	〃 由井正雪（〃）
	27 [illegible]の自休（〃）	〃 鉄仮面（〃）	40 渡辺崋山（霞亭）
			〃 葵と桐（逍遥）
			〃 木村重成（〃）
			41 真田幸村（〃）
			〃 水野越前守（〃）
			〃 大石良雄（〃）
			42 [illegible]親鸞（南翠）

自然主義

- 〓〓語家
- はやり唄（風葉）
- 酒中日記（独歩）
- 第三者（〃）
- 青春（風葉）
- 其面影（二葉亭）
- 運命（独歩）
- 〓ざめ（風葉）
- 平凡（二葉亭）
- 濤聲（独歩）
- 世間師（風葉）
- 竹の木戸（独歩）

30 源をぢ（独歩）　31 [illegible]流し（風葉）　33 はつ恋（天外）
33 武蔵野（〃）　34 醒めたる女（〃）　34 恋と恋（〃）
〃 牛肉と馬鈴薯（〃）

〔藤村・花袋〕	〔秋聲・白鳥〕	〔其他〕
35 重右衛門の最後（花袋）	35 春光（秋聲）	35 地獄の花（荷風）
37 水彩画家（藤村）	40 塵埃・紅塵（白鳥）	40 南小泉村（青果）
39 破戒（〃）	〃 凋落（秋聲）	〃 青果集（〃）
40 緑葉集（〃）	41 出産（〃）	〃 少年行（星湖）
〃 蒲団（花袋）	〃 二家族（白鳥）	41 寄生木（蘆花）
41 生・一兵卒（〃）	〃 何処へ（〃）	42 別れた妻（秋江）
〃 春（藤村）	42 新世帯（秋聲）	〃 耽溺（泡鳴）
42 生（〃）	〃 落日（白鳥）	43 放浪（〃）
〃 妻（花袋）	43 黴（〃）	
〃 田舎教師（〃）	〃 足迹（秋聲）	
43 縁（〃）	44 泥人形（白鳥）	
〃 家（藤村）	〃 黴（秋聲）	

准自然主義

〔新浪漫派〕	〔享楽派〕	〔情話派〕
39 千鳥（三重吉）	42 刺青（潤一郎）	44 [illegible]（幹彦）
40 樹の雨（〃）	〃 麒麟（〃）	
41 緑髪（未明）	〃 隅田川（荷風）	
42 煤煙（草平）	〃 ふらんす物語（〃）	
〃 大川端（薫）	43 冷笑（〃）	
43 小猫（三重吉）	〃 歓楽（〃）	
〃 小鳥の巣（〃）	44 悪魔（潤一郎）	
44 鳥・赤い鳥（〃）		
〃 山の手の子（龍太郎）		
〃 朝顔（万太郎）		

反自然主義

〔余裕・高踏派〕	〔写生文派〕
28 我輩は猫である（漱石）	38 団栗（冬彦）
39 草枕（〃）	39 野菊の墓（左千夫）
〃 坊ちゃん（〃）	
40 虞美人草（〃）	
41 三四郎（〃）	41 俳諧師（虚子）
42 それから（〃）	〃 花物語（冬彦）
〃 沼〓（鷗外）	〃 芋掘り（節）
43 青年・あそび（〃）	43 土（〃）
44 門（漱石）	44 朝鮮（虚子）

時代	年
東京	明治元
	17
京	38
	44

翻訳物

〔文学的〕
- 文久2 和蘭美政録 （孝 平）
- 明治5 通俗伊蘇普物語 （[illegible]）
- 11 花柳春話 （純一郎）
- 12 [illegible] （春 松）
- 13 春風情話 （逍 遥）
- 〃 ガリバル回島記 （[illegible]）
- 16 [illegible] （勤 [illegible]）
- 16 全世界一大奇書 （勤）
- 17 春窓綺話 （[illegible]）
- 〃 春 鶯 囀 （[illegible]）
- 18 慨世士伝 （逍 遥）
- 〃 [illegible] （[illegible]）
- 19 [illegible]
- 20 [illegible]
- 21 [illegible]
- 〃 [illegible] （〃）
- 〃 [illegible] （〃）
- 22 [illegible] （思 軒）
- 23 [illegible] （鷗 外）
- 〃 [illegible] （〃）
- 25 [illegible] （[illegible]）
- 〃 [illegible] （鷗 外）
- 28 [illegible] （思 軒）
- 29 [illegible] （二葉亭）
- 〃 [illegible] （〃）
- 30 [illegible]
- 24 [illegible] （[illegible]）
- 〃 [illegible] （[illegible]）
- 〃 即興詩人 （鷗 外）
- 35 [illegible] （[illegible]）
- 36 [illegible] （[illegible]）
- 〃 [illegible] （[illegible]）
- 38 [illegible] （[illegible]）
- 41 チエホフ傑作集 （[illegible]）
- 42 心 （[illegible]）
- 〃 猟人日記 （[illegible]）
- 43 アラビアンナイト （[illegible]）
- 〃 ドン・キホーテ （英語中学記者訳注）
- 44 何処へゆく （[illegible]）

〔科学的〕
- 11 新未来記 （[illegible]）
- 〃 八十日間世界一周 （忠之助）
- 13 月世界旅行 （勤）
- 16 アフリカ内地三十五日間空中旅行 （同上）
- 17 六万英里海底紀行 （同上）
- 20 鉄世界 （思軒）
- 〃 北極旅行 （[illegible]）
- 〃 [illegible] （勤）

〔政治的〕
- 14 [illegible] （兆民）
- 15 自由の凱歌 （夢柳）
- 〃 西洋血潮小暴風 （[illegible]）
- 16 民約訳解 （兆民）
- 〃 鬼啾々 （夢柳）
- 19 [illegible] （[illegible]）
- 20 [illegible] （勤）
- 21 政党情話 （[illegible]）
- 22 [illegible] （岩太郎）

政治小説

- 16 経国美談 （[illegible]）
- 18 佳人之奇遇 （東海散士）
- 19 国会未来記 （[illegible]）
- 〃 雪中梅 （[illegible]）
- 20 花間鶯 （〃）
- 〃 新装の佳人 （[illegible]）
- 〃 [illegible] （〃）
- 〃 [illegible]美人 （[illegible]）
- 24 [illegible]中政治家 （[illegible]）

写実主義

〔先駆諸家〕
- 18 当世書生気質 （逍遥）
- 20 浮雲 （二葉亭）
- 22 [illegible] （逍遥）
- 〃 舞姫 （鷗外）
- 〃 文づかひ （〃）
- 〃 うたかたの記 （〃）
- 〃 初[illegible] （[illegible]）
- 〃 流[illegible] （〃）

〔硯友社一派〕
- 21 [illegible] （美妙）
- 22 色懺悔 （紅葉）
- 〃 いちご姫 （美妙）
- 〃 [illegible] （眉山）
- 23 [illegible] （〃）
- 24 伽羅枕 （紅葉）
- 〃 二人女房 （〃）
- 26 心の闇 （〃）
- 28 不言不語 （〃）
- 30 金色夜叉 （〃）
- 22 [illegible] （美妙）
- 〃 [illegible]心 （[illegible]）
- 〃 [illegible] （小波）
- 〃 [illegible] （[illegible]）
- 23 つゆ小袖 （乙羽）
- 24 新色懺悔 （紅葉）
- 26 [illegible] （眉山）
- 28 [illegible] （[illegible]）
- 〃 [illegible]日記 （小波）
- 33 多情多恨 （紅葉）

新写実主義

観念小説
- 28 夜行巡査 （鏡花）
- 〃 外科室 （〃）
- 〃 書記官 （眉山）
- 〃 うらおもて （[illegible]）
- 〃 女房殺し （[illegible]）
- 29 [illegible] （風葉）
- 〃 [illegible] （[illegible]）
- 〃 [illegible] （鏡花）
- 31 [illegible] （〃）
- 32 [illegible] （〃）

〔悲惨小説〕
- 28 [illegible] （小波）
- 〃 [illegible] （柳浪）
- 〃 [illegible] （〃）
- 29 今戸心中 （〃）
- 〃 河内屋 （〃）
- 〃 [illegible] （〃）
- 〃 [illegible]さん （〃）
- 30 [illegible] （〃）

心理小説
- 28 にごり江 （一葉）
- 〃 十三夜 （〃）
- 〃 われから （〃）
- 〃 わかれ道 （〃）
- 〃 たけくらべ （〃）
- 〃 [illegible] （花[illegible]）
- 29 闇のうつつ （[illegible]）
- 30 めをさまし草 （[illegible]）
- 〃 [illegible] （眉山）
- 31 [illegible] （[illegible]）
- 〃 女仕人 （柳浪）

〔抒情的、詩趣的〕
- 28 水車小屋 （[illegible]）
- 〃 小[illegible] （〃）
- 〃 山家[illegible] （〃）
- 〃 お千代 （美妙）
- 〃 [illegible] （〃）
- 29 若白髪 （〃）
- 〃 可憐狂 （美妙）
- 30 [illegible]の畑 （[illegible]）
- 〃 [illegible] （〃）

神秘小説
- 34 高野聖 （鏡花）
- 37 風流線 （〃）
- 44 三味線堀 （〃）
- 大正9 伯爵の釵 （〃）
- 11 りんごうさなでし子 （〃）

社会小説
- 30 通俗人の一生 （[illegible]）
- 31 [illegible]の廿八日 （〃）
- 〃 [illegible]枕 （[illegible]）
- 32 かた[illegible] （〃）
- 35 [illegible]くづれ （〃）
- 36 黒潮 （蘆花）
- 37 火の柱 （尚江）
- 38 良人の自白 （〃）
- 40 霊か肉か （尚江）
- 41 乞食 （〃）
- 42 労働 （〃）

家庭小説
- 32 不如帰 （蘆花）
- 33 己が罪 （[illegible]）
- 〃 乳母が家 （[illegible]）
- 34 思出の記 （蘆花）
- 〃 [illegible]花果 （[illegible]）
- 〃 [illegible]木 （[illegible]）
- 36 乳姉妹 （[illegible]）
- 37 比日の[illegible] （[illegible]）
- 39 波よ嵐よ （〃）
- 〃 月に立つ影 （〃）

年
17
38
44

伝統小説

- 3 西洋道中膝栗毛 （魯文）
- 4 安愚楽鍋 （〃）
- 〃 胡瓜図解 （〃）
- 7 [illegible]物語 （[illegible]）
- 8 新増補西国奇談
- 16 [illegible] （[illegible]）（完結）
- 18 [illegible] （[illegible]）
- 22 むら竹 （[illegible]）
- 〃 [illegible]物 （〃）
- 23 かくれんぼ （[illegible]）
- 24 [illegible]地獄 （〃）
- 〃 [illegible]武士 （[illegible]）
- 28 門三味線 （[illegible]）
- 29 [illegible] （〃）
- 〃 [illegible]の水 （[illegible]）

通俗

〔人情小説〕
- 21 [illegible] （[illegible]）
- 22 [illegible] （〃）
- 23 [illegible] （〃）
- 25 [illegible] （[illegible]）
- 29 [illegible]の出[illegible] （[illegible]）

（[illegible]）
- 23 [illegible]
- 26 [illegible]
- 26 [illegible]
- 〃 [illegible]
- 〃 [illegible]
- 27 [illegible]

理想主義

- 22 露団々 （露伴）
- 〃 一刹那 （〃）
- 〃 風流仏 （〃）
- 23 対髑髏 （〃）
- 〃 一口剣 （〃）
- 25 五重塔 （〃）
- 〃 血紅星 （〃）
- 26 風流微塵蔵 （〃）
- 27 有福詩人 （〃）
- 28 新浦島 （〃）
- 29 [illegible] （〃）
- 31 [illegible]物語 （〃）
- 36 天うつ浪 （〃）

新理想（人道）主義

〔社会主義的〕
- 43 雑誌「白樺」創刊
- 44 お目出度人々（[illegible]）

〔宗教的〕

〔芸術的〕

自然

胎生期（明治[illegible]〜[illegible]）・[illegible]盛

〔先駆諸家〕
- 34 はやり唄 （[illegible]）
- 35 [illegible] （[illegible]）
- 36 [illegible] （〃）
- 38 [illegible] （[illegible]）
- 39 其面影 （二葉亭）
- 〃 運命 （独歩）
- 〃 [illegible]ざめ （[illegible]）
- 40 平凡 （二葉亭）
- 〃 [illegible] （独歩）
- 〃 [illegible] （[illegible]）
- 41 竹の木戸 （独歩）
- 30 [illegible] （独歩）
- 33 武蔵野 （〃）
- 〃 牛肉と馬鈴薯 （〃）

〔藤村・花袋〕
- 35 [illegible] （花袋）
- 37 水彩画家 （藤村）
- 39 破戒 （〃）
- 40 [illegible] （〃）
- 〃 蒲団 （花袋）
- 41 [illegible] （〃）
- 〃 春 （藤村）
- 42 生 （〃）
- 〃 妻 （花袋）
- 〃 田舎教師 （〃）
- 43 縁 （〃）
- 〃 家 （藤村）

（秋[illegible]）
- 31 [illegible]
- 34 [illegible]
- 35 [illegible]
- 40 [illegible]
- 〃 [illegible]
- 41 [illegible]
- 〃 [illegible]
- 42 [illegible]
- 〃 [illegible]
- 43 [illegible]
- 〃 [illegible]
- 44 [illegible]
- 〃 [illegible]

時代		新現實主義 〔赤門派〕	〔早稲田派〕	〔三田派其他〕	〔閨秀作家〕
大正元	1 みれん（鴎外）	5 鼻・手巾・芋粥（芥川）	7 刑棘の路（泰三）	7 田園の憂鬱（春夫）	5 新しき生命（彌生子）
	〃 犠牲（草平）	〃 善心惡心（里見）	8 失はれたる指輪（星湖）	8 小さい菜畑（水守）	〃 貧しき人々の群（百合子）
	2 女の一生（和郎）	6 恩を返す話（菊池）	〃 微の音（加納）	〃 地上（島田）	6 日は輝けり（〃）
	〃 アンナカレニナ（御風）	〃 ゼラール中尉（〃）	〃 神經病時代（廣津）	〃 子をつれて（葛西）	7 地は饒なり（〃）
	3 戰爭と平和（抱月）	7 無名作家の日記（〃）	〃 苦の世界（宇野）	9 美しき氷河（室生）	9 藤戸（彌生子）
	〃 春のめざめ（白川）	〃 地獄變（芥川）	〃 迷へる魂（〃）	〃 雨雲（久保田）	11 海神丸（〃）
	〃 結婚（齊）	〃 開化の殺人（〃）	〃 みぢめな戀（武雄）	12 渦潮（武羅夫）	〃 火のついた踵（百合子）
	4 湖上の美人（吉信）	〃 陸奥直二郎（長與）	12 鋼焼屋騒動（宇野）	〃 水いらず（茂索）	12 澄子（彌生子）
	〃 懺悔錄（長江・大杉榮）	9 秋（芥川）	〃 惡霊（星湖）	〃 返らぬ春（南部）	〃 蓄音機（てい子）
	〃 お菊さん（白川）	〃 眞珠夫人（菊池）	〃 祭の夜の事（武雄）	〃 侘しすぎる（春夫）	〃 脂粉の顔（千代）
	5 彼等（秃木）	〃 理想の女（豐島）	〃 二つの遺稿（加納）	〃 都會の憂鬱（〃）	13 心の河（百合子）
	〃 カルメン（石川剛・實麿）	10 夜來の花（芥川）	13 土塊（湯淺）	13 眞晝の出來事（生馬）	〃 或道化役（つ宇）
	〃 シヤロツクホルムス（朝鳥）	〃 和霊（久米）	〃 指（廣津）	〃 旅びと（春夫）	〃 幸福（千代）
	6 闇の力（吉藏）	11 破船（〃）	〃 養母（精二）	14 百姓錬悪（大田）	〃 小さい雲（百合子）
	7 サフオ（無想庵）	〃 直輔の夢・おせつかい（里見）	〃 白鬼（於菟吉）		〃 崖の上（〃）
	9 ジヤンクリストフ（與志雄）	12 黛（芥川）	14 氷る舞踏場（中河）		〃 流れるまゝ（順子）
	〃 櫻の園（正雄）	〃 變な男（豐島）	〃 戀の同意語（牧野）		
	〃 アンドレーフ傑作集（曙夢）	〃 姉弟の牛乳配達（犬養）			
	11 煙（紹夫）	〃 靜物（十一谷）			
	12 サイノスマアナ（浦次郎）	〃 日輪（横光）			
	13 ゴーフ（甚之助）	13 一塊の土（芥川）			
	〃 五月の花（壯一）	〃 陸の人魚（菊池）			
	14 勞農露西亞小説集（正夫）	〃 人間警策（豐島）			
14	15 小泉八雲全集	14 海のほとり（芥川）			
昭和元	3 世界文學全集（新潮社）	1 天と地と（久米）	2 聖火（岡田）	2 結婚前（武羅夫）	2 よしや逆さに（千代）
	〃 「近代劇全集」（第一書房）	〃 大道無門（里見）		〃 うるさき人々（楚人冠）	3 晩唱（〃）
	〃 大トルストイ傳（原）	〃 大津順吉（直哉）		3 放浪時代（龍膽寺雄）	〃 毒花（米澤順子）
	〃 ドストトン（前田河）	3 波（有三）			
	4 西部戰線異狀なし（秦）	〃 あの道この道（十一谷）			
	〃 ニイチエ全集（新潮社）	5 虹一色（久米）			
	〃 ゲーテ全集（大村書店）	〃 風（有三）	5 女給（廣津）	5 相寄る魂（春月）	6 彼女の履歴（芙美子）
	〃 ルーソン全集（平凡社）	〃 鳥・靴・機械（横光）			
	〃 ゴルキー全集（共生社）	〃 時の敗者（十一谷）	6 ラグーザお玉（木村）	6 咲きの都（武羅夫）	6 眞知子（彌生子）
	〃 ゴーリキイ全集（改造社）	6 安城家の兄弟（里見）			
	〃 トルストイ全集（岩波書店）	〃 有憂華（菊池）			
	5 ゾラ全集（春秋社）	〃 心の日月（〃）			
	〃 眞鍮の貞操切符（早坂）		7 暴風帶（千秋）	7 虹と兜虫（龍膽寺雄）	7 三宅やす子全集（やす子）

大正九　明〜漸衰期

6 残　雪（花袋）
〃 懺悔の奇蹟（〃）
7 櫻の實の熟する時（藤村）
8 新　生（〃）
14 伸び仕度（藤村）
1 嵐（藤村）
7 夜明け前（藤村）

1 爛　れ（秋聲）
〃 蟋　蟀（〃）
4 あらくれ（秋聲）
〃 奔　流（〃）
9 孔雀の様な女（白鳥）
10 人さまざま（〃）
13 人生の幸福（白鳥）
14 未解決のまゝ（秋聲）
1 元の枝へ（秋聲）
2 春来る（〃）

1 發　展（泡鳴）
〃 森（葉舟）
疑　惑（秋江）
2 青　草（〃）
〃 鶴の皮（小剣）
〃 宣　言（俊子）
〃 ほくち（泡鳴）
3 東　京（小剣）
〃 父の婚禮（〃）
4 男性　姫（〃）
8 征服者被征服者（泡鳴）
13 子の愛の爲めに（秋江）
14 第二の出生（〃）
2 子 病 む（秋江）
3 モ（潤一郎）

新歴史小説

4 羅　生　門（芥川）
6 或日の大石内藏之助（〃）
〃 高　瀬　舟（鷗外）
7 忠直卿行狀記（菊池）
8 恩讐の彼方（〃）
9 藪の中（芥川）
10 蘭學事始（菊池）
〃 入　れ　札（〃）
「藝術向」
7 高杉晋作（霞亭）
12 大楠公夫人（〃）
〃 高野長英（〃）
13 井伊大老（〃）
13 源　義　朝（花袋）
14 流　矢（〃）
1 大石良雄（鴎生子）
4 吉良家の人々（草平）
7 大石良雄（寛岱）

1 淺　草（万太郎）
〃 返らぬ日（三重吉）
〃 物言はぬ顔（未明）
〃 少年の悩（〃）
2 桑の實（三重吉）
〃 霧（幹彦）
8 市場のほんち（梧平）
13 輪　廻（草平）
〃 枯　野（万太郎）

1 新橋夜話（荷風）
2 蓼（潤一郎）
5 異端者の悲しみ（〃）
6 ハッサンカンの妖術（〃）
7 わかめ筍（荷風）
8 富美子の足（潤一郎）
13 痴人の愛（潤一郎）
14 赤い屋根（〃）
6 つゆのあとさき（荷風）

1 [illegible]
3 舞鶴心中（秋江）
4 お艶殺し（潤一郎）
〃 お才と巳之介（〃）
〃 小夜ちどり（幹彦）
5 舞妓殺し（〃）
9 祇園情話（〃）
11 黒　髪（秋江）
〃 御　目（〃）
1 青塚氏の話（秋江）

1 [illegible]
2 行　人（〃）
3 心（〃）
4 道　草（〃）
5 明　暗（〃）

2 [illegible]（〃）
〃 柿　一　つ（〃）
5 十五代將軍（〃）

フロレタリア小説

7 溺水の彼方へ（藤森）
8 煤煙の臭（〃）
〃 新しき地（〃）
〃 禊（宮地）
11 三等船客（前田河）
〃 日傭食料會社（藤井）
〃 死刑囚と裁判長（中西）
12 脱走者・地主（藤森）
〃 牧笛の行方（木則）
〃 懲さ牢獄（江口）
〃 虚　無（一夫）
〃 雨の八號室（新井）
〃 地　獄（中河）
14 骸骨の舞踏（藤森）
〃 淫賣婦（葉山）
〃 地平に現るゝもの（[illegible]）
2 太陽の黒點（前田河）
〃 鷗（黒島）
〃 月夜の煙畑（新居格）
3 大井裏の善公（金子）
4 支　那（前田河）
〃 鐵（岩藤）
〃 蟹工船（小林）
〃 太陽のない街（徳永）
5 綜合反曲線（林）
〃 一人の女（片岡）
〃 不在地主（小林）
〃 脈打つ血行（武田）
〃 工場労働者・那須（青野）
〃 眞理の保（民材）

大衆小説

2 大菩薩峠（介山）
13 富士に立つ影（白井）
〃 新　撰　組（〃）
〃 落花の舞（曙山）
〃 清水次郎長（拜雲）
14 心理試驗（亂歩）
〃 屋根裏の散歩者（〃）
2 萬花地獄（吉川）
〃 沙繪呪縛（土師）
〃 太　閤　記（拜雲）
3 赤穗浪士（大佛）
〃 幾煙衛門（國枝）
4 愛の十字街（宮地）
6 南國太平記（直木）
〃 江戸城心中（吉川）
〃 吸　血　鬼（亂歩）
7 鍔鳴休之助（直木）
7 鼠小僧次郎吉（大佛）

時代

大正[illegible]
1 [illegible] (鷗外)
〃 [illegible] (草平)
2 [illegible] (秋聲)
〃 [illegible] (露伴)
3 [illegible] (荷風)
〃 [illegible] (白鳥)
〃 [illegible] (〃)
4 [illegible]の美人 (吉井)
〃 [illegible] (長江・大杉榮)
〃 [illegible] (白鳥)
5 [illegible] (花袋)
〃 [illegible] (有明・寶鈴)
〃 [illegible] (朝鳥)
6 [illegible] (白鳥)
7 [illegible] (無想庵)
9 [illegible] (有島)
〃 [illegible] (不二夫)
〃 [illegible]傑作集 (暁夢)
11 [illegible] (鷗夫)
12 [illegible] (浦之島)
13 [illegible] (鏡之助)
〃 五月の花 (淳一)
14 [illegible]小說集 (仁夫)
15 小泉八雲全集

昭和元
3 世界文學全集 (新潮社)
〃 近代劇全集 (第一書房)
〃 大トルストイ傳 (原)
〃 [illegible] (新潮社)
4 [illegible] (春)
〃 [illegible]全集 (新潮社)
〃 ゲーテ全集 (大村書店)
〃 [illegible]全集 (春秋社)
〃 [illegible]全集 (共生社)
〃 [illegible]全集 (改造社)
〃 トルストイ全集 (岩波書店)
5 [illegible]全集 (春秋社)
〃 [illegible] (早 牧)

新現實主義

(赤門派)

6 鼻・手巾・芋粥 (芥川)
〃 善心惡心 (里見)
6 恩を返す話 (菊池)
〃 ゼラール中尉 (〃)
7 無名作家の日記 (〃)
〃 地獄變 (芥川)
〃 開化の殺人 (〃)
〃 [illegible] (長與)
9 秋 (芥川)
  眞珠夫人 (菊池)
  理想の女 (豐島)
10 夜來の花 (芥川)
〃 [illegible] (久米)
11 [illegible] (〃)
〃 [illegible] (里見)
12 [illegible] (芥川)
〃 [illegible]男 (豐島)
〃 [illegible] (久米)
〃 [illegible]物 (十谷)
〃 日輪 (橫光)
13 一塊の土 (芥川)
〃 [illegible] (菊池)
〃 [illegible] (豐島)
14 湖のほとり (芥川)
1 大と地と (久米)
  大道無門 (里見)
〃 大津順吉 (直哉)
3 波 (有三)
〃 あの道この道 (十谷)
5 紅[illegible]色 (久米)
  風 (有三)
〃 [illegible]・[illegible]・機械 (橫光)
〃 時の敗者 (十谷)
6 安城家の兄弟 (里見)
  有憂華 (菊池)
〃 心の日月 (〃)

(早稻田派)

7 荊棘の路 (精二)
8 失はれたる指輪 ([illegible])
〃 春の音 (加納)
〃 神經病時代 (廣津)
〃 苦の世界 (宇野)
〃 迷へる魂 (〃)
〃 みじめな戀 (武雄)
12 [illegible] (宇野)
  [illegible] ([illegible])
〃 祭の夜の事 (武雄)
〃 二つの道程 (加納)
13 土塊 ([illegible])
〃 指 (廣津)
〃 義母 (精二)
〃 白兒 ([illegible])
14 氷る舞踏場 (中村)
〃 [illegible] (牧野)
2 [illegible]火 (岡田)
5 女給 (廣津)
6 [illegible]王 (木村)
7 暴風帶 (千秋)

(三田派其他)

7 田園の憂鬱 (春夫)
8 [illegible] (水守)
〃 地上 (島田)
〃 子をつれて (葛西)
9 美しき氷河 (室生)
〃 [illegible] (久保田)
12 [illegible] (武羅夫)
〃 [illegible] (茂索)
〃 返らぬ春 (南部)
〃 [illegible] (春夫)
〃 都會の憂鬱 (〃)
13 眞晝の出來事 (生馬)
〃 旅びと (春夫)
14 [illegible] (大田)
2 結婚前 (武羅夫)
〃 うるさき人々 (楚人冠)
3 放浪時代 (龍膽寺雄)
5 相寄る魂 (春月)
6 [illegible]の都 (武羅夫)
7 [illegible] (龍膽寺雄)

(閨秀作家)

6 新しき生命 (彌生子)
〃 貧しき人々の群 (百合子)
6 日は輝けり (〃)
7 地は饒なり ( )
9 砂丘 (彌生子)
11 海神丸 (〃)
〃 火のついた踵 (百合子)
12 澄子 (彌生子)
〃 蓄音機 (てい子)
〃 脂粉の顔 (千代)
13 心の河 (百合子)
〃 或道化役 ([illegible])
〃 幸福 (千代)
〃 小さい雲 (百合子)
〃 崖の上 ( )
〃 流れるまゝ ([illegible]子)
2 よしや逢さに (千代)
3 晩唱 (〃)
〃 落花 (米澤順子)

6 彼女の履歴 ([illegible])
6 眞知子 (彌生子)
7 三宅やす子全集 (やす子)

1 世間知らず (實篤)
3 或青年の夢 (〃)
5 小さき運命 (〃)
〃 燃えざる火 (〃)
6 不幸人の手紙 (武郎)
〃 カインの末裔 (〃)
7 幸福者 (實篤)
〃 新しき村の生活 (〃)
〃 小さき者へ (武郎)
〃 生れ出る惱み (〃)
8 或る女 (〃)
11 第二の[illegible]の運命 (實篤)
12 或施療患者 (武郎)
14 彼等と彼女達 (實篤)
1 母と子 (〃)

2 佛と[illegible] (長田)
1 大[illegible] ([illegible])
5 出家と其弟子 (百三)
6 [illegible]の出家 (武郎)
10 死線を越えて (豐彦)
〃 [illegible] (小劍太)
〃 [illegible] (〃)
11 布施太子の入山 (百三)
12 超人日蓮 ([illegible])
〃 法城を護る人々 ([illegible])
13 [illegible]の[illegible]く時 (豐彦)
〃 光明皇后 (百三)
6 改作人間親鸞 ([illegible])
〃 [illegible] ([illegible])
〃 天界地界 (片桐記子)
〃 [illegible] ([illegible])
〃 [illegible]の妻 (豐彦)

1 [illegible] (直哉)
〃 [illegible] (〃)
2 [illegible]の犯罪 (〃)
〃 [illegible] (〃)
〃 [illegible] (〃)
5 [illegible] (善郎)
6 和解 (直哉)
〃 好人物の夫婦 (〃)
〃 城の崎にて (〃)
〃 [illegible] (〃)
9 小僧の神様 (〃)
11 暗夜行路 (〃)
〃 [illegible] (善郎)
12 [illegible] (新[illegible]二郎)
13 雨蛙 (直哉)

大正
明～新實期

6 [illegible] (花袋)
〃 [illegible] (〃)
7 [illegible]時 (藤村)
8 新生 (〃)
14 [illegible] (藤村)
1 嵐 (藤村)
7 夜明け前 (藤村)

1 [illegible]
〃 [illegible]
1 [illegible]
〃 [illegible]
9 [illegible]
10 人[illegible]
13 人生[illegible]
14 [illegible]
1 [illegible]
2 [illegible]

東京時代（明治十七年―明治四十五年）

日記・紀行

年	書名	著者
24	かけはしの記	（正岡子規）
〃	若葉かげ	（樋口一葉）
25	旅の旅の旅	（正岡子規）
26	不二の高根	（遲塚麗水）
27	日記ちりの中	（樋口一葉）
〃	[illegible]日風談	（平田禿木）
28	欺かざるの記	（國木田獨歩）
31	ふところ日記	（川上眉山）
34	遊海島記	（柳田國男）
37	不二山に登る記	（小島烏水）
39	御嶽山の兩面	（吉江孤雁）
40	雲表	（小島烏水）
〃	木曾より五箇山へ	（柳田國男）
〃	[illegible]	（大和田建樹）
〃	[illegible]水[illegible]式	（寒川鼠骨）
42	滿韓ところどころ	（夏目漱石）
〃	山陽道中草村日記	（伊藤銀月）
43	[illegible]峠より白河へ	（柳田國男）
〃	[illegible]谷の白百合	（小島烏水）
〃	高原行	（吉江孤雁）
〃	東奧紀行	（西村茂樹）
〃	南國記	（竹越與三郎）
〃	三千里	（河東碧梧桐）
44	七十八日遊記	（德富蘇峰）
45	旅より旅へ	（吉江孤雁）

隨筆・小品

年	書名	著者
23	[illegible]者	（宮崎湖處子）
25	[illegible]錄	（樋口一葉）
27	[illegible]水園雜記	（　〃　）
〃	薄[illegible]記	（平田禿木）
〃	うすむらさき	（　〃　）
28	こゝろごと	（樋口一葉）
29	松蘿玉液	（正岡子規）
33	自然と人生	（德富蘆花）
〃	仰臥漫錄	（正岡子規）
34	長語	（幸田露伴）
〃	墨汁一滴	（正岡子規）
35	病牀六尺	（　〃　）
36	筆のしづく	（大町桂月）
38	碩鼠漫筆	（黑川春村遺稿）
〃	病間錄	（綱島梁川）
39	潮待草	（幸田露伴）
41	三太郎日記	（阿部次郎）
43	波の音	（篠原溫亭）
〃	新片町より	（島崎藤村）
44	龍溪隨筆	（矢野文雄）
〃	思ひ出す事ども	（夏目漱石）

歷史

年	書名	著者
5–21	[illegible]	[illegible]
22	日本制度通	（萩野・小中村義象）
23–26	[illegible]	[illegible]
29	千五百年史	（竹越與三郎）
〃	古事類苑	（神宮司廳編）
30	國史大系	（經濟雜誌社）
32	大日本通史	（萩野由之）
〃	大日本維新史	（重野安繹）
33	故實叢書	（弘文館編）
〃	國史學の栞〔再刊〕	（小中村清矩）
34	大日本古文書	（史料編纂所）
〃	大日本史料	（　〃　）
35	續國史大系	（經濟雜誌社編）
36	日本史籍年表	（小泉安次郎編）
〃	日本近世史	（內田銀藏）
39	東洋讀史年表	（生田徳太郎・吉野高男）
〃	日本中世史	（原勝郎）
〃	日本大年表	（歷史研究會）
40	大日本歷史	（有賀長雄）
〃	大日本時代史	（早大出版部）
41	國史の研究	（黑板勝美）
〃	近世世相史	（齋藤隆三）
42	鎌倉文明史論	（日本歷史地理學會）

東京時代（大正元年―昭和）

日記・紀行

年	書名	著者
大正元 1	箱根山	（大町桂月）
2	死の蔭に	（德富蘆花）
〃	富士と足柄	（橫井春野）
3	[illegible]の旅	（吉江孤雁）
〃	天龍川	（小島烏水）
〃	熊野路の旅	（柳田國男）
4	雪線踏破七日記程	（河東碧梧桐）
〃	山東遍路	（遲塚麗水）
〃	旅かゞみ	（　〃　）
5	丹波市記	（柳田國男）
〃	日記及斷片	（夏目漱石）
6	雲のゆくへ	（大町桂月）
〃	順禮紀行	（德富蘆花）
7	支那漫遊記	（德富蘇峰）
8	[illegible]の足跡	（關清拙）
〃	滿鮮遊記	（大町桂月）
10	熊野の旅	（德川義親）
13	みなかみ紀行	（若山牧水）
14	支那游記	（芥川龍之介）
15	ヨセミテ谷と上高地	（小島烏水）
昭和 3	歌御會始參列記	（武島羽衣）
〃	雪國の春	（柳田國男）
〃	[illegible]	（五十嵐力）
〃	最後の日記〔下〕	（有島武郎）
4	旅のまた旅	（荻原井泉水）
5	奧の細道を尋ねて	（　〃　）
〃	滿蒙遊記	（與謝野寛・晶子）
6	祖國を出で、	（井上[illegible]）
〃	山と渓谷	（大泉黑石）

隨筆・小品

年	書名	著者
1	東海道五十三次	（芳賀矢一）
2	[illegible]	（五十嵐力）
〃	[illegible]	（大町桂月）
〃	みゝずのたはこと	（德富蘆花）
〃	大窪多與里	（永井荷風）
3	へちまのかは	（杉村楚人冠）
4	筆のまにまに	（芳賀矢一）
〃	がらす戸の中	（夏目漱石）
〃	日和下駄	（永井荷風）
5	圓了隨筆	（井上圓了）
6	八重むぐら	（五十嵐力）
7	[illegible]妾のピヤノ	（篠原溫亭）
〃	新春	（德富蘆花）
〃	鏡花隨筆	（泉鏡花）
8	樹かげ	（相馬御風）
9	[illegible]	（森田草平）
10	[illegible]	（永井荷風）
11	飯倉だより	（島崎藤村）
12	[illegible]	（吉江孤雁）
〃	秋江隨筆	（近松秋江）
13	淺草だより	（島崎藤村）
〃	[illegible]雜記	（阿部次郎）
〃	[illegible]	（五十嵐力）
〃	[illegible]	（戶川秋骨）
14	南蠻廣記	（新村出）
〃	南蠻更紗	（　〃　）
〃	[illegible]隨筆	（三田村鳶魚）
昭和 1	烟れる田園	（前田夕暮）
2	無憂華	（九條武子）
〃	からすかご	（關根正直）
〃	旅客より觀たる大阪	（馬場孤蝶）
〃	煙霞になづみて	（　〃　）
3	野草集	（五十嵐力）
4	[illegible]	（　〃　）
〃	羅生門の鬼	（島津久基）
〃	さし潮ひき潮	（下村海南）
5	南天莊雜筆	（井上通泰）
〃	飴ん棒	（下村海南）
6	春うらゝか	（小笠原長生）
〃	市井にありて	（島崎藤村）
〃	樹下石上	（藤田德太郎）
〃	山川行佐	（荻原井泉水）
〃	[illegible]客漫談	（下村海南）
〃	卓上小話	（德富蘇峰）
〃	書窓雜記	（　〃　）
	梅白し	（永田青嵐）
7	[illegible]湖畔吟	（杉村楚人冠）
〃	酒・歌・煙・句	（田中貢太郎）
〃	讀書放浪	（內田魯庵）
〃	文藝遊狂	（土岐善麿）

歷史

年	書名	著者
2	倒敍日本史	（吉田東伍）
〃	大日本歷史	（岡部精一・高橋興惣 共）
〃	國史の研究〔訂正〕	（黑板勝美）
3	維新後大年表	（妻木忠太）
〃	奈良時代史論	（日本歷史地理學會編）
4	安土桃山時代史論	（　〃　）
〃	江戶時代史論	（　〃　）
5	日本近世史	（中村孝也）
〃	日本交通史論	（日本歷史地理學會編）
7	國史研究年表	（黑板勝美）
〃	近世日本國民史	（德富猪一郎）
8	神祇史綱要	（宮地直一）
〃	神道沿革史論	（清原貞雄）
〃	日本佛教史の研究	（辻善之助）
9	日本史講話	（萩野由之）
〃	日本經濟史の研究	（竹越與三郎）
〃	經濟史研究	（本庄榮治郎）
10	日本經濟史の研究	（內田銀藏）
〃	日本文明史	（大川周明）
〃	大日本全史	（大森金五郎）
11	國民の日本史	（早大出版部編）
〃	日本文化史	（大鐙閣編）
〃	南北朝時代史	（田中義成）
12	足利時代史	（　〃　）
〃	武家時代の研究	（大森金五郎）
〃	史料綜覽〔續刊中〕	（史料編纂所編）
13	織田時代史	（田中義成）
14	豐臣時代史	（　〃　）
1	綜合日本史大系	（內外書籍株式會社編）
〃	中世に於ける精神生活	（平泉澄）
3	大日本史〔覆刊〕	（雄辯社）
〃	日本法制史	（瀧川政次郎）
〃	日本甲冑の新研究	（山上八郎）
4	明治維新史	（井野邊茂雄）
〃	日本社會史	（瀧川政次郎）
5	日本史の研究〔第二輯〕	（三浦周行）
〃	日本文化史概說	（西村眞次）
6	更訂國史の研究	（黑板勝美）
7	國史學の骨髓	（平泉澄）
〃	史學概論	（大類伸）
〃	元寇の新研究	（池內宏）
〃	日本農民史	（柳田國男）

時代	年代	〔神社・教派〕	〔祭祀・制度沿革・其他〕	〔寺院・宗派〕	〔名僧・傳道事蹟〕	〔典籍〕
東京	明治元 ～ 明治17	1 **神佛分離** 　別當・社僧ヲ復飾 2 鎌倉宮創建 〃 靖國神社創建 5 井伊谷宮創建 9 **神道十三派宗教的獨立** 〃 黑住派 獨立 〃 修成派 獨立 15 神宮派 獨立 〃 大社派 獨立 〃 扶桑派 獨立 〃 實行派 獨立 〃 大成派 獨立 〃 神習派 獨立 〃 御嶽派 獨立	1 天皇東幸ニ際シ諸社ニ奉幣セラル 〃 孝明天皇祭制定 〃 神祇官八神殿復興 〃 五ケ條ノ御誓文 2 神宮造營 〃 祈年祭復興 3 神武天皇祭制定 〃 **大教ヲ宣布シ政教相關ヲ詔ス** 〃 神祇官中ニ宣教使ヲ置ク 4 大嘗祭ヲ東京ニ行フ 〃 神祇官ヲ神祇省ト改稱 5 元始祭制定 〃 宣教使ヲ廢シ教導職ヲ設ク 6 紀元節制定 8 神社祭式制定 9 大教院ヨリ分離神道事務局設置 10 神宮明治祭式制定 11 春秋二季ノ皇靈祭制定	1 **神佛混淆ヲ禁ズ** 4 門跡・院家・院室ノ稱ヲ廢ス 　普化宗ヲ廢ス 5 修驗宗ヲ廢ス ? **佛教保護ノ傾向** 7 融通念佛宗獨立ス 9 黄檗宗獨立ス 　日蓮宗不受不施派獨立ス ? **佛教ノ復活**	2 各宗同盟會ヲ組織ス 4 全國社寺領ヲ返上 5 諸宗管長ヲ置キ教學人事ヲ委任ス 〃 大教院ヲ設置 〃 僧侶ノ洋行 　梅上澤融・島地默雷・赤松連城等渡歐 10 教部省ヲ廢シ社寺局ヲ置ク 12 原坦山(曹洞)帝國大學講師トナル 　社寺局長(櫻井能監)青巒ト和敬會組織 ? 島田蕃根・大内青巒等佛教ヲ外護ス	17 縮刷大藏經完成 　(京都弘教書院)
	明治17 ～ 明治38	23 丸山教會 組織 27 禊教 獨立 〃 神理教 獨立 32 神宮教解散シテ神宮奉齋會ヲ設立 33 金光教 獨立 〃 臺灣神社創建	22 憲法發布ヲ神祇列祖ニ報告 26 熱田神宮ヲ準國庫造營トス 27 日清戰爭ヲ神祇列祖ニ報告 31 神宮衛士ヲ置ク 33 社寺局ヲ神社局・宗教局ニ分ツ 37 日露戰爭ヲ神祇列祖ニ報告	18 舊門跡寺院ニ限リ復稱ヲ許ス 28 眞言律宗獨立ス 32 日蓮宗不受不施派 　本門宗ト改稱獨立	19 管長ヲ勅任官待遇トス 21 增上寺福田行誡(淨土)寂 22 信教ノ自由ヲ許ス 25 大日本佛教青年會ヲ組織 26 米國開催萬國宗教大會ニ出席 　土宜法龍・釋宗演・八淵蟠龍等渡米 33 東京ニ佛教徒大會開催 　宗教法案反對決議 〃 佛骨奉迎 　大谷光演(眞宗)・日置默仙(曹洞)等渡暹	29 佛教小史 　二卷(藤井宣正) 30 日本佛教史綱 　二卷(村上專精) 31 和漢佛教年契 　一卷(村上專精) 32 佛教聖典史論 　一卷(姉崎正治) 33 巴利語佛教文學讀本 　一卷(高楠順次郎) 34 佛教統一論(第一編) 　四卷(村上專精) 35 日本校訂大藏經 　(京都藏經書院) 36 大乘佛教批判論 　一卷(村上專精) 36 日本佛家人名辭書 　一卷(鷲尾順敬) 38 大日本續藏經 　(京都藏經書院) 〃 佛教原論 一卷(雲照)
	明治38 ～ 明治44	41 天理教 獨立 43 樺太神社創建	43 韓國併合ヲ神祇列祖ニ報告		42 雲照(眞言律宗)寂 43 島地默雷(眞宗)寂	42 佛教大年表 　一卷(望月信亨) 43 根本佛教 　一卷(姉崎正治)

大正 大正元

4 明治神宮起工（大正九年竣工）

5 朝鮮神宮創建（大正十四年竣工）

キリスト敎

2209 天文十八年天主敎ノ宣敎師フランシスコ、ザヴイエル（イスパニヤ人）鹿兒島ニ來リ迫害ヲ忍ビテ傳道シ大ニ信徒ヲ得テ大友・有馬・大村各藩主ノ改宗ニヨリ九州一體ニ天主敎ガ行渡ツタ。

2228 信長佛敎ノ勢力ヲ牽制セントシテ宣敎師ウルカンノ爲ニ永祿寺（後ニ南蠻寺ト改稱）ヲ京都ニ建テソノ傳道ヲ奬勵シタ。

2247 秀吉ハ山陽・南海・關東・東北ニ及ブ天主敎ノ勢力トソノ弊害ニ驚キ壓迫政策ヲトリ南蠻寺ヲ廢シ宣敎師ノ日本退去ヲ命ジ、信徒ノ大多數ハ殉敎者トナツタ、此頃宣敎師ヲバテレン、信徒ヲキリシタン、神ヲデウストナツタ。

2271 江戸時代ニハ慶長ノ頃信徒ヲ磔刑ニ處シ、寛永六年「踏繪令」ヲ發シキリシタンコロビ（轉宗）ヲ要求シテ天主敎ノ絶滅ヲ期シ天草ノ亂後ハ全ク衰ヘタ。

2490 天保頃法王グレゴリー十六世再ビ日本傳道ヲ開始シタが鎖國思想普及ノ爲殆其効果ガナカツタ。

2533 明治六年岩倉具視外遊ノ結果基督敎ノ禁制ヲ解キ以來各所ニ敎會ガ組織サレ植村正久・本多庸一・井深梶之助・新島襄・内村鑑三・海老名彈正・小崎弘道等ノ名士ガ輩出シタ。

2549 憲法發布ニヨリ信敎ノ自由ガ宣言サレテ以來新約全書ノ飜譯、基督敎主義學校ノ創立、基督敎文學ノ刊行等ニヨリ急速ニ普及シタ。

2570 保守主義・國粹主義・自然主義等及ビユニテリアンノ自由神學ニヨリ信仰ハ微弱トナツタ。

2575 世界大戰前後トルストイズムニヨリ再ビ宗敎運動ヤ文學ガ盛ニナツタが社會科學ノ勃興ニヨリ稍衰ヘタ。

2580 救世軍青年會ノ組織發展シ社會事業、矯風事業ニ貢献スル所多シ。

4 佛敎聯合會成立

5 日比谷ニ各宗聯合釋尊花祭修行

〃 佛敎護國團設立

6 東大文科ニ佛敎講座開設

7 大内靑巒沒

〃 聖德太子奉賛會設立

8 井上圓了寂

11 全國佛敎少年團設立

12 シルバン・レギ來朝

13 清浦内閣三敎代表ト思想善導ヲ議ス

〃 支那ニ世界佛敎徒大會開催 木村泰賢・佐伯定胤等渡支

〃 蒙古喇嘛僧來朝

14 東京ニ東亞佛敎大會開催

1 佛敎辭林 一卷（藤井宣正・島地大等）

2 梵本法華經 一卷（南條文雄）

3 印度哲學宗敎史 一卷（高楠・木村）

〃 佛敎大辭彙 四卷（佛敎大學編）

4 大日本佛敎全書（佛書刊行會編）

〃 朝鮮・海印寺新裁藏經刊行

〃 印度六派哲學 一卷（木村泰賢）

5 大日本寺院綜覽 刊行

6 佛敎大辭典 一卷（織田得能編）

〃 國譯大藏經 創刊（國民文庫刊行會編）

8 佛敎概論 一卷（金子大榮）

11 原始佛敎思想論 一卷（木村泰賢）

12 禪學思想史 上卷 一卷（忽滑谷快天）

13 大正新修大藏經 刊行着手（同刊行會）

14 佛敎文學概論 一卷（小野玄妙）

〃 國文東方佛敎叢書 刊行着手（鷲尾順敬編）

今上 昭和元

6 朝鮮ニ博文寺建立

2 京都帝大文科ニ佛敎講座開設

〃 南條文雄寂

3 佛敎聯合會暹羅皇帝ニ使節派遣

4 詩聖タゴール來朝

〃 村上專精寂

7 齋藤内閣佛敎各派代表ニ敎化運動ヲ依囑ス

1 神佛分離史料 刊行（辻・村上・鷲尾編）

〃 國文東方佛敎叢書 第一輯刊了

2 支那佛敎史講話 上卷（境野黄洋）

〃 三階敎の研究 一卷（矢吹慶輝）

〃 國文東方佛敎叢書 第二輯刊行着手

4 大正新修大藏經 第一期完成

5 佛敎大年表再版 一卷（望月信亨）

〃 續日本大藏經刊行着手

〃 朝鮮禪敎史 一卷（忽滑谷快天）

6 眞宗大年表 一卷（守山聖眞等）

7 佛敎大辭典 第一卷（望月信亨編）

〃 模範佛敎辭典 一卷（東方書院編）

〃 綜合日本佛敎史 一卷（鷲山 正）

神道十三派	敎祖	本部所在地
黒住敎	黒住宗忠	岡山縣今村
修成敎	新田邦光	東京市本郷區
神宮敎	田中頼庸	宇治山田市
大社敎〔神宮奉齋會〕	千家尊福	島根縣大社村
扶桑敎	長谷川角行	東京市世田谷區
實行敎	長谷川角行	東京市牛込區
大成敎	平山省齋	東京市小石川區
神習敎	芳村正秉	東京市世田谷區
御嶽敎	富士小角	東京府大崎町
禊敎	井上正鐵	東京市下谷區
神理敎	佐野經彦	福岡縣企救町
金光敎	金光大陣	岡山縣金光町
天理敎	中山ミキ	奈良縣丹波市町

佛敎十三宗	開祖	本山及所在地
華嚴宗	良辨	奈良、東大寺
法相宗	慈恩	同、興福寺 外一寺
天台宗	最澄	近江、延暦寺 外二寺
眞言宗	空海	紀伊、金剛峯寺 外二寺
律宗	鑑眞	奈良、唐招提寺 外一寺
淨土宗	源空	京都、知恩院 外四
眞宗	親鸞	同、本願寺 外九
臨濟宗	榮西	同、建仁寺 外十三
曹洞宗	道元	越前、永平寺 外一
黄檗宗	隱元	宇治、萬福寺
融通念佛宗	良忍	攝津、大念佛寺
時宗	一遍	藤澤、清淨光寺
日蓮宗	日蓮	身延、久遠寺 外一八

時代	年	支那（作品）（筆者）（年代）（所在）	唐様（作品）（筆者）（年代）（所在）	和様（作品）（筆者）（年代）（所在）	金石文（作品）（筆者）（年代）（所在）
東京	明治元	清　三崎新道碑〔王　韜〕（光緒五 2539） 篆書金人銘〔楊沂孫〕（光緒六 2540）河井荃廬 秦泰將軍之像碑〔楊守敬〕（光緒八 2542 楷書千字文〔同　上〕 臨九成宮醴泉銘〔黄自元〕（光緒八 2542）	書　状〔三條實美〕（明治元）三條公 文天祥正氣歌〔佐瀬得所〕（同　6） 消　息〔岩倉具視〕（同　7）岩倉公 松菊先生遺墨集（昭和3刊） 南洲先生遺墨集（大正15刊） 甲東先生遺墨集（昭和2刊） 楷書歸去來辭〔長　三洲〕（明治12） 王羲之聖敎序〔成瀬大域〕（〃）	古今集序〔佐瀬得所〕	安井息軒先生碑銘〔鳴鶴〕（明治11）東京市
	明治15	箴　言〔張廉卿〕（光緒一七 2551）	後出師表〔長　三洲〕（明治18） 楠公湊川帖〔巖谷一六〕（同　19） 隷書赤壁賦〔湯川梧窓〕（同　23） 行書東湖正氣歌〔巖谷一六〕（同　25） 三體千字文〔同　上〕（〃）	色紙帖〔多田親愛〕（明治20） 和歌御懐紙〔明治天皇〕（同　23）東山文庫 古今集序〔小野鵞堂〕（同　23） 明倫歌集〔同　上〕（同　上）	水道碑記〔金井之恭〕（明治18）東京市
	明治25	時	草書前赤壁賦〔西川春洞〕（同28刊） 天長節恭賦〔市川塔南〕（同　28） 草書千字文〔日下部鳴鶴〕（同　31）	和歌懐紙〔近衛忠熙〕近衛公 斯華帖〔小野鵞堂〕（明治28） 小ぐら帖〔小野鵞堂〕（同　25）	谷川氏碑〔鳴　鶴〕（明治26）奈良東大寺 熾仁親王墓誌銘〔巖谷一六〕（明治28）東京市 贈従一位毛利公偉勲銘〔野村素介〕（明治29）周防
	明治35		白樂天地上編〔巖谷一六〕（明治36） 三體千字文〔玉木愛石〕（同　38） 楷書鴻毛帖〔日下部鳴鶴〕（同　40） 桃李園序〔小野鵞堂〕（〃）	堀江物語〔多田親愛〕（明治37）	木戸公神道碑〔野村素軒〕（明治39）京都東山 山田検校之碑〔小野鵞堂〕（同　40）江ノ島 鹽釜神社道路改修記念碑〔同上〕（同　41）

〔研究書・集帖〕

（作品）	（作者）	（年代）
[illegible]	〔傳兼明親王〕	
麒麟抄	〔傳藤原行成〕	
弘法大師書流系圖	〔傳藤原定種〕	
才葉抄	〔藤原教長〕	1837
夜鶴庭訓抄	〔藤原伊行〕	
入木抄	〔尊圓法親王〕	2016
墨池擧譜	〔尊朝法親王〕	
筆道秘傳抄	〔小籔幽照〕	2352
執筆[illegible]法	〔細井廣澤〕	2379
觀鵞百譚	〔同　上〕	2385
書法發揮	〔河原保壽〕	
書　話	〔澤田東江〕	2429
墨道私言	〔細井九皐〕	2435
觀鵞百譚批考	〔中山高陽〕	〃
學書捷徑	〔鳩谷孔平〕	
書道訓	〔森　尹祥〕	2451
能書事蹟	〔穂積　保〕	
書法類釋	〔卷　菱湖〕	
書　訣	〔市川米庵〕	
墨　談	〔同　上〕	
墨蹟祖師傳	〔藤野宗部〕	2465
本朝能書傳	〔橘　行精〕	2516
帖　史	〔中山　獻〕	明治13
大日本美術史	〔小杉榲邨〕	同 28
書法要訣	〔湯川梧窓〕	同 33
書學全書	〔前田　圓〕	同 38
天朝墨談	〔五十嵐篤好〕	同 39
大日本能書傳	〔横井時冬〕	〃
書法自在	〔大橋又五郎〕	同 41
新書道之研究	〔木村剛石〕	同 43
書法集成	〔干河岸貫一〕	同 44
書道三角論	〔諸井春畦〕	同 45
碑碣法帖談	〔樋口銅牛〕	〃
習字新法	〔岡田起作〕	大正 2
六朝書道論	〔中村不折 井土霊山〕	同 3
書道講話	〔玉木愛石 小野鵞山〕	〃
楷書恰好論	〔諸井春畦〕	同 4
書道之新研究	〔齋藤　胖〕	同 6
書　訣	〔日下部鳴鶴〕	〃

時代：代｜明治44 大正元 大正元｜中華民國｜今上 昭和元

支那

（代）
- 南岸集字〔鄭孝胥〕(光緒三四 2568)
- 千字文〔同 上〕(同 上)

（中華民國）
- 臨詒晉齋帖〔溥親王〕 白須[illegible]
- 臨石鼓文〔吳昌碩〕(中華民國 2575)
- 千字文〔張季直〕(同 2576) 五
- 四時讀書樂〔同 上〕

唐様

- 隷書唐詩帖〔小野鵞堂〕(明治41)
- 蘭亭叙〔日下部鳴鶴〕(同上) 鈴木雲洞
- 丹青引及飲中八仙歌〔中村不折〕(同 44)

- 七體いろは帖〔中村不折〕(大正元)
- 聖教帖〔高田竹山〕(〃)
- 楷書歸去來辭〔武田霞洞〕(〃)
- 楷書赤壁賦〔近藤雪竹〕(同 6)
- 川槃閣帖〔諸井春畦〕(同5刊)
- 明治天皇聖諭帖〔安本春湖〕(同6刊)
- 楷書前赤壁賦〔豐道春海〕(同 6)
- 三體千字文〔山口半峯〕(同 11)
- 臨唐太宗溫泉銘〔比田井天來〕(同12)
- 四時讀書樂帖〔近藤雪竹〕(同 13)
- 崔子玉座右銘〔丹羽海鶴〕(同 14)
- 老子〔松田南溟〕(同 15) 高島菊次郎

- 草書播公表川帖〔中村春堂〕(昭和 5)

和様

- 小倉百人一首色紙帖〔坂 正臣〕(明治44)
- 和漢朗詠抄〔同 上〕(〃)

- 明治天皇御製百首〔中村春堂〕(大正元)
- 紫舟かな帖〔尾上八郎〕(同 6)
- 御製帖〔小野鵞堂〕(同 8)
- 貫之集〔高塚竹堂〕(同 11)
- 三十六歌選〔比田井小琴〕(同14刊)

- 萬葉之歌〔坂 正臣〕(昭和 2)
- 女子消息帖〔中村春堂〕(同 5)
- かな帖〔坂 正臣〕(同 6)

金石文

- 旅順表忠塔〔鹽谷青山〕(明治42)
- 大久保公神道碑〔日下部鳴鶴〕(同 43) 東京市
- 從三位嚴谷君碑〔同 上〕(同 44) 近江
- 川路大警視銅像〔西川春洞〕(同 44) 東京市
- 谷口藍田翁碑〔中林梧竹〕(同 45) 肥前
- 青木昆陽碑銘〔野村素介〕(同 45) 東京目黑

- 孝子茜吉之碑〔岡山高蔭〕(大正 3) 三重縣
- 齋藤拙堂先生碑〔岡田起作〕(同 4) 三重縣
- 鹽谷宕陰翁碑〔鹽谷時敏〕(同 4) 東京谷中
- 小野湖山翁碑銘〔日下部鳴鶴〕(同 7)
- 三條公神道碑〔杉溪六橋〕(同 9)
- 西川春洞之碑〔豐道春海〕(同 10) 東京目黑
- 淺岡先生頌德碑〔比田井天來〕(同10) 長野市
- 一葉女史碑〔岡山高蔭〕(同 11) 山梨縣
- 石川啄木歌碑 (同 11) 岩手縣
- 相馬郡治水碑〔岩田鶴皐〕(同 15) 茨城縣
- 岩倉公神道碑〔杉溪六橋〕(同 15) 東京府

- 山村暮鳥詩碑 (昭和 2) 茨城縣
- 島崎藤村詩碑 (同 〃) 長野縣
- 若山牧水歌碑 (同 4) 沼津
- 北村透谷記念碑 (同 〃) 小田原
- 相馬御風歌碑 (同 〃) 新潟縣
- 良寛詩碑 (同 5) 新潟縣
- 仙覺記念碑〔菅虎雄〕(同〃) 鎌倉町
- 谷文晁碑〔正木直彥〕(昭和6) 上野公園
- 櫻之碑〔高田忠周〕(同 〃) 函館公園
- 尾上柴舟歌碑 (同 6) 伊東町
- 金子薫園歌碑 (同 7) 鎌倉町
- 良寛詩碑 (同 〃) 岡山縣

研究書

- 能書術〔西脇吳石〕大正 6
- 漢字書法通解〔中村春堂〕〃
- 我書道觀〔野呂[illegible]〕同 7
- 書學指梯〔入澤丙江〕〃
- 現代書法論〔[illegible]蘭石〕同 8
- 書道及書蹟〔[illegible]、黑木欽堂〕同 10
- 列帖體女子書道史〔[illegible]〕〃
- 大日本金石史〔木崎愛吉〕〃
- 日本金石年表〔奧田抱生〕〃
- 書道習字法〔田口米舫〕〃
- 學書要訣〔比田井天來〕〃
- 書體の沿革〔山崎源吉〕同 12
- 國分日本金石年表〔作野葵山〕同 13
- 文字及書道〔溢川空耳〕同 14
- 和漢書道史〔松本芳一〕〃
- 歌と草假名〔尾上柴舟〕〃
- 平安朝時代の草假名の研究〔尾上柴舟〕〃
- 關八洲名墨談〔時山彌八〕〃
- 日本書道史〔奧山錦洞〕昭和 2
- 書道史大觀〔川谷 賢〕同 3
- 名家筆蹟考〔森 繁夫〕〃
- 和漢書道史〔藤原楚水〕〃
- 書學の方法論〔黑木欽堂〕同 4
- 支那金石書談〔藤原楚水〕〃
- 書道講座〔雄山閣〕〃
- 支那書道史概說〔有ケ谷靜堂〕同 5
- 古今書畫名家全傳〔小林雲山〕6

集帖

- 古筆手鑑〔古筆了佐〕
- 月影帖〔田中親美〕明治41
- 古筆名卷集〔同 上〕同 〃
- 支那墨蹟集〔[illegible]〕〃
- 日蘇帖〔吉田知光〕大正11
- 神品百碑〔溢川空耳〕同 14
- 月儀帖〔大口周魚〕〃
- 古文書時代鑑〔史料編纂掛〕〃
- 百代草〔佐々木信綱〕〃
- 古筆新選〔尾上柴舟〕〃
- いそのかみ〔美術書院〕同 15
- 夏蔭帖〔[illegible]〕〃
- 日本名筆全集〔雄山閣〕昭和 5
- 書道全集〔平凡社〕〃

明治時代

紀元 年號
2528 明治元 / 〃32 五 / 〃37 一〇 / 〃42 一五 / 〃47 二〇 / 〃52 二五 / 〃57 三〇 / 〃62 三五 / 〃67 四〇 / 2572 大正元

摘要
- ○震災ノ恩人フェノロサ來朝(11)
- ○文人畫盛
- ○闇黒時代(明治初期)
- ○日本美術協會(20)
- ○東京美術學校創立(21)
- ○帝室技藝員制(23)
- ○日本繪畫協會(岡倉・雅邦・大觀等)(29)
- ○明治ノ二大家芳崖・雅邦
- ○日本美術院(岡倉・大觀・觀山・春草等)(31)
- ○京都市立繪畫專門學校創立(40)
- ○文展開設(40)
- ○文展日本畫一科二科ニ分ル(大正元)
- ○國畫玉成會成ル(41)

狩野派
(歿年) (年齡)
- 21◉狩野芳崖(六一)
- 22 河鍋曉齋(再出)
- 24◉狩野永悳(七八)
- 41◉橋本雅邦(七四)

南畫(文人畫)

(東京派) (歿年) (年齡)
- 3 鈴木鷲湖(五五)
- 7 佐竹永海(七二)
- 16 安田老山(五五)
- 19 藤堂凌雲(七八)
- 20 渡邊小華(九三)
- 20 福島柳圃(七〇)
- 20 松岡環翠(五八)
- 27 服部波山(七三)
- 31 菅原白龍(六六)
- 大2 奥原晴湖(七六)
- 大8◉寺崎廣業(九四)
- 大13◉富岡鐵齋(八九)

(京阪・九州) (歿年) (年齡)
- 高橋草坪(再出)
- 2 日根對山(再出)
- 17 帆足杏雨(七五)
- 17 中西耕石(七二)
- 26 平野五岳(八五)
- 22 谷口藹山(八四)
- 40 田能村直入(九四)
- 大2 信州 兒玉果亭(七三)
- 大6◉野口小蘋(七一)

(技巧派) (歿年) (年齡)
- 10 鹽川文麟(七〇)
- 31◉田崎草雲(八四)
- 31◉野口幽谷(七四)
- 34◉瀧 和亭(七二)
- 大4◉荒木寛畝(八五)

京都諸派

(圓山・四條) (歿年) (年齡)
- 4 中島來章(七六)
- 24◉柴田是眞(八五)
- 27◉森 寛齋(八一)
- 29◉幸野楳嶺(五二)
- 30◉岸 竹堂(七二)
- 41◉野村文擧(五八)
- 大2◉熊谷直彦(八六)
- 大2◉川端玉章(七二)
- 大7◉菊池芳文(五七)

(東京派) (歿年) (年齡)
- 24 鈴木百年(六七)
- 39 久保田米僊(五九)
- 大4 望月金鳳(六六)
- 大7 鈴木松年(六九)
- 大13◉今尾景年(八〇)

土佐派
(歿年) (年齡)
- 11 菊池容齋(九一)
- 25◉守住貫魚(八五)
- 35◉山名貫義(六七)
- 35 川崎千虎(六八)
- 38 川邊御楯(六九)
- 大7 渡邊省亭(六八)
- 大12 松本楓湖(八四)

浮世繪諸派
(歿年) (年齡)
- 22 河鍋曉齋(五九)
- 25 月岡芳年(五四)
- 37 落合芳幾(六二)
- 41 水野年方(四三)
- 大4 小林清親(六九)

明治初期秀作
- 芳崖〔悲母觀音〕〔不動明王〕〔仁王捉鬼圖〕〔鍾馗〕
- 是眞〔茨木童子
- 雅邦〔龍虎圖屛風〕〔虎溪三笑圖〕〔三井寺
- 曉齋〔地獄變相圖
- 鐵齋〔瀛洲仙境群仙圖
- 玉章〔雨後〕〔墨堤春曉〕〔櫻花
- 竹堂〔猫〕〔唐崎

40 文展(文部省主催美術展覽會)

回				
40 ❶	竹内栖鳳〔雨霽	下村觀山〔木間の秋	菱田春草〔菩薩	安田靫彦〔豐公
	上村松園〔長夜	木島櫻谷〔しぐれ	野田九浦〔辻說法	寺崎廣業〔大佛開眼
41 ❷	山元春擧〔雪松	菊池契月〔名士弔喪	栖鳳〔飼はれたる猿と兎	
42 ❸	尾竹國觀〔油斷	春草〔落葉	栖鳳〔あれ夕立	春擧〔鹽原の奥
43 ❹	菊地芳文〔若竹	尾竹竹坡〔おとづれ	川合玉堂〔細雨	契月〔供燈
44 ❺	結城素明〔囀	大觀〔山路	廣業〔夏の一日	櫻谷〔若葉の山
元 ❻	今村紫紅〔近江八景	前田青邨〔御輿振	土田麥僊〔島の女	小林古徑〔極樂の井
	小坂芝田〔秋爽	津端道彦〔火牛	靫彦〔夢殿	廣業〔瀟湘八景

41 國畫玉成會展
41 下村觀山〔大原御幸繪卷　安田靫彦〔守屋大連

內國勸業博覽會
23 岸 竹堂〔乳虎圖　平福穗庵〔乳虎圖　荒木寛畝〔孔雀圖　橋本雅邦〔白雲紅樹

26 **日本繪畫共進會**
小堀鞆音〔經正竹生島參詣圖　渡邊省亭〔雪中鷄圖

28 野口少蘋〔青綠山水　橋本雅邦〔龍虎圖〔十六羅漢　瀧 和亭〔猫蝶圖〔老松鶴鹿

40 **東京勸業博覽會**
川合玉堂〔二日月　寺崎廣業〔王慶詰　町田曲江〔佛陀の光

時代	年	事項
大正時代	2573 大正二	○院展第一回(3) ○文展日本畫部ノ分科ヲ廢ス(3) ○日本美術院系ノ文展脱退、日本美術院再興(3)
	三	
	四	
	五	○文展、賞ヲ廢シ特選トス(5)
	六	
	七	○麥僊等文展ヨリ分裂シ、國畫創作協會設立(7) ○吉川霊華ノ金鈴社第一回展(10)
	八	○帝國美術院新設、帝展第一回(8)
	九	
	2581 一〇	
	一一	
	一二	
	一三	○帝國美術院賞制定(13)
	一四	
	一五	○東京府美術館成ル(15) ○聖徳太子奉讃展(15)
昭和時代	2587 昭和二	○明治大正名作展(2)
	三	
	四	○國展解散(4) ○龍子院展脱退、青龍社展第一回ヲ開ク(4)
	五	○日本畫海外進出(5) ○新興大和繪會解散(5)
	六	
	2592 七	

文展

2 (7) 松林桂月〔松林仙閣　橋本關雪〔遲日　田中頼璋〔木曾山中殘雪　玉堂〔夕月
廣業〔千紫萬紅　契月〔鐵凝蜻蛉　素明〔相思樹下把金絲圖　芝田〔幽邃

3 (8) 上村松園〔舞したく　川村曼舟〔比叡山三題　鏑木清方〔墨田川舟遊　都路華香〔閑雲野鶴
平福百穂〔七面鳥　廣業〔高山清秋　契月〔ゆふべ

4 (9) 池上秀畝〔秋晴　池田輝方〔木挽町今昔　平井楳仙〔夏京　麥僊〔大原女

5 (10) 松岡映丘〔室ぎみ　西山翠嶂〔未笄の女　村上華岳〔阿彌陀　池田蕉園〔こぞのけふ
小村大雲〔畫舫　川崎小虎〔花合せ　小野竹喬〔島二作　關雪〔寒山拾得

6 (11) 池田桂仙〔武陵桃源　百穂〔豫譲　清方〔黒髪　映丘〔道成寺

7 (12) 蔦谷龍岬〔御宿の朝　石崎光瑤〔熱國妍春　栖鳳〔川口　契月〔夕至
映丘〔山科の宿　百穂〔牛　秀畝〔四季花鳥　翠嶂〔落梅

8 帝展（帝國美術院展覽會）

8 (1) 荒木十畝〔黄昏　廣島晃甫〔青衣の女　飛田周山〔神泉　矢澤弦月〔朝陽
關雪〔郭巨　翠嶂〔春宵　契月〔庭の池　清方〔ためさる、日

9 (2) 中村大三郎〔靜夜聞香　龍岬〔富の大原　關雪〔木蘭詩　清方〔妖魚
素明〔薄光　晃甫〔夕暮の春　契月〔少女

10 (3) 福田平八郎〔鯉　堂本印象〔調鞠圖　契月〔鶴　龍岬〔浦の御座船

11 (4) 吉田秋光〔秋のけはひ　根上富治〔鈎鷹　吉村忠夫〔清吟絲腸　水田硯山〔秋二題
清方〔春の夜の怨み　松園〔楊貴妃　大三郎〔燈籠のおさゝ　翠雲〔海寧觀濤

12 (休止)

13 (5) 玉堂〔雨後　春擧〔天馬奮迅　鞆音〔定朝神技　契月〔立女
印象〔乳の願

14 (6) 山口蓬春〔神苑春雨　福田惠一〔豐公　栖鳳〔鯖　印象〔華嚴
映丘〔伊香保沼　關雪〔粗牛　玉堂〔幽谷の秋　平八郎〔閑庭待春

15 (7) 宇田荻邨〔淀の水車　蓬春〔三熊野の那智の御山　百穂〔荒磯　靈華〔離騷
栖鳳〔南清風物　契月〔赤童子
鞆音〔大納言公任　映丘〔千草の丘

昭和2 (8) 登内微笑〔多武之峰春雪　大河内夜江〔たにまの春　伊東深水〔羽根の音　金島桂華〔鳴九皐
山口華楊〔鹿　田村彩天〔鳳池春宵　清方〔築地明石町　百穂〔新冬

3 (9) 高木保之助〔はまなすの花　服部有恒〔大塔宮　山川秀峰〔阿倍野　畠山錦成〔秋
宋本一洋〔悠春　小川翠村〔老圃逢春　望月春江〔迎春　矢野橋村〔暮色蒼々

4 (10) 幸松春浦〔樵歌出幽林　西澤笛畝〔閑庭　百穂〔堅田の一休　映丘〔平治の重盛
印象〔木華開耶姫　深水〔秋晴れ

5 (11) 岩田正巳〔高野草創　板倉星光〔春雨　永田春水〔雪晴れ　小松均〔くぬぎ林
吉岡堅二〔奈良の鹿　榎本千花俊〔後苑散歩　池邊鈞〔踊　清方〔三遊亭圓朝

6 (12) 福田翠光〔はぐくみ　穴山勝堂〔夕映の松　小泉勝爾〔清爽　印象〔大原詠義

7 (13) 長山はく子〔草原　村島酉一〔日午　野添平米〔奥山の朝　三谷十糸子〔女
杉山寧〔磯

3 院展（日本美術院展覽會）

3 (1) 横山大觀〔遊刃有餘地　安田靫彦〔御産の祈り
今村紫紅〔熱國の巻　小林古徑〔異端者

4 (2) 下村觀山〔弱法師　前田青邨〔朝鮮の巻
大觀〔竹雨　古徑〔阿彌陀堂

5 (3) 川端龍子〔靈泉由來　靫彦〔項羽
大觀〔作右衛門の家
觀山〔春雨

6 (4) 速水御舟〔洛外六題　大觀〔遊刃「雲上來
古徑〔竹取物語
龍子〔神戰ひ巻

7 (5) 富田溪仙〔獅子傳性　大觀〔千與四郎
古徑〔いでゆ

8 (6) 古徑〔麥　龍子〔土
大觀〔壽撰山　觀山〔東坡先生

9 (7) 靫彦〔五合庵の春　青邨〔秋風五丈原
大觀〔棉紅葉　御舟〔京の舞妓

10 (8) 小川芋錢〔山澤の谷　青邨〔遊魚
大觀〔老子
古徑〔罌粟

11 (9) 近藤浩一路〔番小屋　大觀〔夜
觀山〔天心先生
靫彦〔二少女

12 (10) 中村岳陵〔吾光經　大觀〔生々流轉
龍子〔賭博者

13 (11) 御舟〔田園八圖　龍子〔龍安泉石
大觀〔早春　青邨〔大火出見尊繪巻
古徑〔犬と遊ぶ　觀山〔維摩默然

14 (12) 大觀〔山四題　觀山〔夕月
靫彦〔日食　龍子〔印度更紗
青邨〔伊太利所見　岳陵〔薔薇

15 (13) 龍子〔使徒所行讃　古徑〔機織
大觀〔龍膽・曉靄　岳陵〔梭

昭和2 (14) 龍子〔一天護持　青邨〔羅馬使節
大觀〔瀟湘八景　岳陵〔貴妃賜浴

3 (15) 大觀〔鶴　觀山〔魚籃觀音
古徑〔鶴と七面鳥　御舟〔翠苔
龍子〔神變大菩薩

4 (16) 青邨〔洞窟の頼朝　靫彦〔雷神
大觀〔有明の月　觀山〔朝
古徑〔琴　御舟〔名樹散椿

5 (17) 古徑〔日高川

6 (18) 大觀〔紅葉　古徑〔髪

7 (19) 太田聽雨〔お産　中村貞以〔朝の傍
青邨〔石橋　御舟〔花

7 國展
（國畫創作協會）
（大正七年—昭和四年）

7 (1) 土田麥僊〔湯女
榊原紫峰〔青梅

8 (2) 麥僊〔三人の舞妓
紫峰〔赤松
村上華岳〔日高川

9 (3) 麥僊〔春
紫峰〔奈良の森
華岳〔裸婦

15 華岳〔松山雲烟

昭和2 麥僊〔大原女

3 小野竹喬〔冬日帖

4 青龍社展

4 (1) 川端龍子〔鳴門

5 (2) 龍子〔魚紋

6 (3) 落合朗風〔華鬘像

7 (4) 福田豐四郎〔山菜賣る人達

10 南畫展（小室翠雲）大正十年始 → 繼續

10 新興大和繪會（松岡映丘）大正十年始 — 昭和九年終

時代・紀元年號・摘要

時代	紀元	年號	摘要
明治時代	2528	明治元	○[illegible]出　○洋畫草創時代
		五	
	2537	一〇	
		一五	
	2547	二〇	○最初ノ洋畫團體明治美術會（22）
		二五	
	2557	三〇	○東京美術學校洋畫科新設（29）　○白馬會生ル（29）
		三五	○明治美術會ノ分身太平洋畫會（35）　○白馬會太平洋畫會ノ對立
	2567	四〇	○文展開設—白馬會太平洋畫會ノ合流（40）　○アカデミズムト印象主義最モ振フ
	2572	大正元	

明治初期洋畫諸派

【實地派】
ワーグマン　五姓田芳柳
横山文六　山本芳翠

【學理派】
川上冬崖
高橋由一

22 明治美術會

淺井　忠　小山正太郎　下村爲山
中村不折　松岡　壽　渡邊文三郎
松井　昇　長沼守敬

（明治三三年解散）

29 白馬會

黒田清輝　久米桂一郎
岩村　透

白瀧幾之助　和田英作
藤島武二　北　蓮藏
湯淺一郎　小林万吾

35 太平洋畫會

中村不折　中川八郎
石川寅治
石井柏亭
吉田　博
滿谷國四郎
鹿子木孟郎

（昭和七年現在迄繼續）

40 文展（文部省美術展覽會）

松岡　壽　淺井　忠　小山正太郎　中村不折
滿谷國四郎　岩村　透　黒田清輝　岡田三郎助
和田英作　久米桂一郎　松井直吉

和田三造　山本森之助　中川八郎　中澤弘光
小林万吾　橋本邦助　吉田　博　高村眞夫
岡　吉枝　村上天流　跡見　泰

石橋和訓　石川寅治　九里四郎　三宅克己

山下新太郎　青山熊治　小杉未醒　中村　彝
南　薫造　平岡權八郎　坂本繁二郎

辻　永　佐藤哲三郎　池田治三郎

主要家塾

【聽香讀畫塾】 川上冬崖
〔門人〕高橋由一　近藤正純　中丸精十郎　松岡　壽　松井　昇　小山正太郎

6 **【天繪社】** 高橋由一
〔門人〕高橋源吉　安藤仲太郎　原田直次郎

【五姓田芳柳塾】 五姓田芳柳
〔門人〕五姓田義松　二世芳柳　山本芳翠　渡邊文三郎　幽香女史

【横山文六塾】 横山文六

7 **【彰技堂】** 國澤新九郎
〔門人〕本多錦吉郎　淺井　忠　守住勇魚

20 **【生巧館】** 山本芳翠

28 **【天眞道場】** 山本芳翠
北　蓮藏　湯淺一郎　白瀧幾之助　岡田三郎助　和田英作　小林万吾

年代	年	事項
大正時代	2573 大正二	○歐洲近代藝術ノ新潮輸入サル(フォーヴ・グレコ・セザンヌ・マチス)
	三	○アカデミズムニ反抗シ二科會生ル(3)
	四	
	五	
	六	
	七	○文展廢止、帝展創設(8)
	八	
	九	
	2581 一〇	○院展洋畫部員新ニ春陽會ヲ組織ス(11)
	一一	
	一二	
	一三	
	一四	
	一五	
昭和時代	2587 昭和二	○現在洋畫壇ノ三大勢力――帝展・二科・春陽會
	三	
	四	
	五	
	六	
	2592 七	

石井柏亭　藤島武二　矢島千代二　五味清吉
河合新藏　太田三郎　永地秀太　寺松國太郎

白瀧幾之助　太田喜二郎　長原孝太郎　大野隆德
柚木久太　牧野虎雄　田邊至　金山平三

大久保作次郎　齋藤與里　關口隆嗣　清水良雄
保田龍門　片田德郎　高間惣七　多々羅良雄

8 帝展 (帝國美術院展覽會)

黑田清輝　岡田三郎助　和田英作　中村不折
滿谷國四郎　藤島武二

和田三造　吉田博　石川寅治　三宅克己
石橋和訓　田邊至　熊岡美彥　牧野虎雄
片田德郎　大久保作次郎　高間惣七　太田三郎
辻永　柚木久太　金山平三　太田喜二郎
中澤弘光　南薰造　庭子木孟郎　白瀧幾之助

相馬基一　藤田嗣治　安宅安五郎　新井完
權藤種男　森脇忠　富田溫一郎　小柴錦侍

吉田苞　菅一郎　佐竹德次郎　中村研一
河井清一　遠山五郎

前田寛治　吉村芳松　奥瀬英三　松村巽
寺内萬次郎　北島淺一　鈴木千久馬　金澤重治
小磯良平　有馬さとゑ　阿以田治修

中野和光　草光信威　上野山清貢　井垣嘉平
池邊鈞　濱地清松　片岡銀藏　坪井一男

後藤工志　小寺健吉　江藤純平　三上知治
伊原宇三郎　矢島堅士　鈴木誠

小絲源太郎　三田康　橋本八百二

野口謙藏　松下春雄　佐分眞

橋本はな　山下繁雄　佐藤敬

3 二科會

石井柏亭　有島生馬
山下新太郎　田邊至
柳敬助　梅原龍三郎
坂本繁二郎　齋藤與作
津田青楓　正宗得三郎

藤川勇造　小出楢重
熊谷守一　國枝金三
黑田重太郎　鍋井克之
中川紀元　安井曾太郎
横井禮市

田口正吾　木下義謙
兒島善三郎　林重義
東郷青兒　古賀春江
里見勝藏　埴原久和代
鈴木亞夫

岡田謙三　鈴木信太郎
小出卓二　伊藤久三郎
中村眞　橋本徹郎
山本直治　長谷川利行

院展洋畫部

小杉未醒
森田恒友
山本鼎
倉田白羊
長谷川昇
足立源一郎

――大正九年解散――

11 春陽會

山本鼎　小杉未醒
森田恒友　長谷川昇
倉田白羊　足立源一郎

木村荘八　中川一政
齋藤與里　萬鐵五郎
石井鶴三

小山敬三　椿貞雄
山崎省三　今關啓司
田中善之助　林倭衛
木下孝則　硲伊之助
鬼頭甕二郎　小林德三郎
小林和作　岡本一平

長谷川潔　小山敬三
河野通勢

13 槐樹社――

11 國畫會――

15 一九三〇年展――

時代	紀元 年號	摘要
明治時代	2528 明治元	○明治維新ト彫刻界ノ衰亡
	五	○唯一ノ活路——貿易品トシテ歐米輸出(象牙彫刻興ル)
	2537 一〇	○日本美術尊重論ノ勃興ト工藝美術發達奬勵策——博覽會ノ開催
	一五	○洋風彫刻ノ濫觴(伊人ラグーザト其門弟大熊・藤田・佐野・菊地等)
	2547 二〇	○東京美術學校彫刻科設立(22 高村・石川・竹內等教授)
	二五	
	2557 三〇	○東京美術學校塑造部新設(31 長沼守敬教授)
	三五	
	2567 四〇	○文展開設(40 彫刻發展時代ニ入ル)
	2572 大正元	

主要美術團體及所屬作家

10 內國勸業博覽會

第一回(明治十年)

高村東雲　今戶辨司
伊豆長八　旭　玉山
松本喜三郎　安本龜八

第二回(明治十四年)

石川光明　島村俊明
山田鬼齋

第三回(明治廿三年)

竹內久一　山田鬼齋

23 佛國萬國博覽會

石川光明

26 シカゴ萬國博覽會

高村光雲　竹內久一
石川光明

33 巴里萬國博覽會

高村光雲　竹內久一
山田鬼齋

10 競技會(象牙彫刻)

旭　玉山　石川光明
川本洲樂　島村俊明
竹內久一

12 龍池會

15 觀古會

20 東京彫工會

40 東京勸業博覽會

高村光雲　石川光明
山崎朝雲　米原雲海
新海竹太郎　北村四海
毛利敎武

40 文展(文部省美術展覽會)

石川光明　白井雨山
高村光雲　新海竹太郎
竹內久一　大熊氏廣
長沼守敬　新納忠之介

朝倉文夫　毛利敎武
荻原守衞　北村四海
米原雲海　建畠大夢
山崎朝雲

藤井浩祐

平櫛田中

內藤　伸

41 日本彫刻會展覽會

米原雲海　山崎朝雲

吉田芳明　平櫛田中
瀧澤天友　加藤景雲
吉田白嶺　森　鳳聲

主要個人作家

大熊氏廣
藤田文藏
佐野　昭
菊池鑄太郎
小倉惣二郎
荒川鬼齋
後藤貞行
金田兼次郎
大村西崖
白井雨山

渡邊長男
武石弘三郎
水谷鐵也
高村光太郎

青木外吉
本保義太郎

時代	年	事項
大正時代	2573 大正二	○日本美術院ノ再興ト彫刻部開設（文展院展ノ二大系統並立）
	三	○文展ノ年中行事化―惰勢ト文展型（アカデミックナ寫生的大作）
	四	
	五	
	六	
	七	○文展廢止、帝展創設（8）
	八	
	九	
	2581 一〇	○院展大イニ振フ（10 石井・吉田・佐藤）
	一一	
	一二	
	一三	
	一四	
	一五	
昭和時代	2587 昭和二	
	三	
	四	
	五	
	六	
	2592 七	

小倉右一郎

北村西望　長谷川榮作　北村正信

堀　進二　池田勇八

齋藤素巖　吉田三郎

8 帝展（帝國美術院展覽會）

高村光雲　朝倉文夫　新海竹太郎　北村四海　米原雲海　建畠大夢　山崎朝雲　北村西望

關野聖雲　柴田桂華　大國貞藏　佐々木大樹　堀江尙志　後藤良　吉田久繼

安藤照　陽咸二　川崎繁夫　國方林三

小室達　松尾朝春　矢野誠一　赤堀信平　三木宗策

新田藤太郎　横江嘉純　村田勝四郎

中川清　加藤顯清　松田尙之　開發芳光　澤田寅　山根八春　羽下修三　三國慶一

中野桂樹　小笠原貞弘　木村咸夫　上野直次　三澤寬　雨宮治郎

津上昌平　岡本金一郎　橋本朝秀　杉浦藤太郎　黑田坊也　佐崎霞村　中島東洋

一色五郎　大須賀力　服部仁郎　畝村直久　橋本高昇　安達貫一　富永朝堂　佐伯量良

3 院展彫塑部

平櫛田中　藤井浩祐

川上邦世　中原悌次郎

下村晴時

石井鶴三　佐藤朝山　吉田白嶺

保田龍門　清水多嘉示　大内青圃　木村五郎　武井直也　牧雅雄

喜多武四郎　宮本重良　松村秀太郎　杉本宗一　新海竹藏　中村直人

山本豐一　小林章　村田德次郎　林是

3 二科展

藤川勇造　ザツキン　・三浦舜太郎

渡邊義知　早川巍一郎　笠置季男　新海覺雄　三浦阿次郎　飯島三四二

15 構造社展

齋藤素巖　日名子實三

濱田三郎　清水三重三　中牟田三治郎

寺畑助之丞

（昭和七年解散）

時代	紀元 年號	摘要	金工〔彫金〕	金工〔鑄金〕	金工〔鎚起〕	金工〔刀劍其他〕	陶工〔製陶〕	陶工〔七寶〕	漆工・螺鈿工	染・織・刺繍工	圖案工	雜	學校・團體
明治時代	2528 明治元	○工藝品ノ海外進出、起立商工會社(7) ○民工藝ノ歐洲ニ紹介ス(維納萬國博6) ○横濱開港ト根付目貫ノ輸出 ○武士階級ノ沒落ト工藝ノ衰退	初代 海野美盛				竹本隼太 三代道八 三浦乾也		◎柴田是眞 橋本市藏 玉楮象谷	◎伊達彌助			
	五		荒木東明	秦 藏六									
	2537 一〇						永樂和全 ◎清風與平	安藤重兵衛					東京彫工會 日本漆工會
	一五	○工藝界ノ一大光明第一回内國勸業博(10) ○廢刀令ト金工ノ不況(9)							小川松民 ◎川之邊一朝	二代彌助 西村總左衛門 同 治兵衛			
	2547 二〇		◎加納夏雄 ◎香川勝廣	◎鈴木長吉			錦光山宗兵衛	◎濤川惣助	植松抱民 五十嵐他次郎 澤田次作				日本漆業協會 京都美術工藝學校 21東京美術學校
	二五	○各種工藝ノ勃興(明治中期)									◎岸 光景		
	2557 三〇	○帝室技藝員ノ任命(23)	◎海野勝珉	寶子山宗民 岡崎雪聲	鈴木長翁齋 同 長二齋	〔刀劍〕◎宮本包則	◎宮川香山(初代)	◎並河靖之	◎池田泰眞	二代 ◎川島甚兵衛 飯田新七		◎小川一眞〔寫眞〕	石川縣工業學校 富山縣工藝學校 香川縣工藝學校 有田陶器學校
	三五						◎伊東陶山				福地復一	◎中井敬所〔篆刻〕	33日本金工協會
			◎塚田秀鏡 鹿島一布	久野留之助 平塚駒吉	山田長三郎	◎月山彌五郎	清水六兵衛 ◎諏訪蘇山 石野龍山	服部唯三郎	◎白山松哉 柴田令哉				
	2567 四〇	○第一回圖案及應用作品展覽會開催(大正2) ○セセッション式ノ影響亦著シ ○工藝圖案ニ於ケル「アール・ヌーボー」式ノ影響(34巴里博)											41東京鑄金會 瀬戸陶器學校
											井手馬太郎	前田健次郎〔批評家〕 大森維中〔批評家〕	
			海野美盛 山田宗美	阿部胤齋 本間琢齋	◎平田宗幸 黑川榮勝				伊東眞文				
				大島如雲 宮崎寒雉 大國柏齋	平田重光		二代竹泉 四代六兵衛			菅原直之助		今泉也軒〔批評家〕 鹽田眞〔批評家〕	
	2572 大正元												

時代	年	事項	金工				陶工		漆工	染織	雑		團體
大正時代	2573 大正二	○東京大正博覧會(3) ○第四九回美術工藝展覧會(大正元)	岡部覺彌 黒川義勝	鈴木嘉幸 櫻岡三四郎				服部唯七	辻村松華		神坂雪佳		日本水産工藝協會 京都美工院 遊陶
	三												
	四												
	五												
	六		關口一也 伊藤正見	天岡均一			板谷波山 宮川半山		由木尾雪 植松包美				日本漆工會 時習 道樂
	七	○商工展(第一部圖案、第二部工藝)											
	八		清水龜藏 船越春民	香取秀眞 津田信夫			沼田一雅 小川三知	安藤重兵衛	六角紫水 赤塚自得				
	九												商工省工藝審査委員會
	2581 一〇									龍村平藏	島田佳矣		
	一一												
	一二						◎宮川香山(二代) ◎清風成山	◎濤川惣助(二代)					
	一三												
	一四		桂光春				河井寛次郎 宮本憲吉		迎田秋悦 推朱陽成 戸島光孚				
	一五												
			2 帝展第四部(美術工藝)										
			【金工】				【陶工】		【漆工】	【染織】	【雑】		
昭和時代	2587 昭和二	○初メテ帝國美術院會員出ヅ(秀眞・波山)(昭和4) ○帝展第四部(工藝)ノ設置(昭和2)	津田信夫 石田英一	清水龜藏	香取秀眞	海野清	板谷波山	清水六兵衛	赤塚自得 六角紫水		堆朱楊成		
	三		高村豐周	佐々木象堂	北原千祿	岩田藤七			森川紫山 山形駄太郎 山崎覺太郎	山鹿清華			
	四		二橋美衡 前大峰	内藤春治 磯崎美夫	杉田禾堂 北原三佳	香取正彦 村越道守	澤田宗山			廣川松五郎 龍村平藏	仰木政齋		
	五		豐田勝秋				清水正太郎 宮之原謙		平館酉 松田權六 吉田源十郎 吉田醇一郎	櫻井霞洞	飯塚琅玕		
	六		海野健夫						高井白陽 高野松山 竹園自耕	熊谷重太郎 岸本景春 皆川月華	植松弼吉		
	2592 七												

時代	紀元年號	摘要	神社佛寺建築 (社寺名)(所在)(年度)	宮殿建築	官衙建築	公共建築	文化建築	劇場建築
明治時代	2528明治元	○專ラ欧米技術家活躍ス ○日本建築ヨリ洋風建築ニ移ル過渡時代 ○先ヅ伊佛式輸入サレ次デ古典式・ゴシック式行ハル ○神社佛寺建築衰ヘ官衙公共文化建築擡頭		濱離宮(三)	横濱外人應接所(四)			
	五			赤坂離宮(五)	△英國大使館(五) 大阪造幣局(〃)	△新橋停車場(五) ×三井組爲換座(〃)	×工學寮(六)	△新富座(五)
	2537 一〇			新宿御苑(?)	△内務省(九) 參謀本部(一一)(現在陸地測量部) 外務省(一二)		×鹿鳴館(一三) △東京帝室博物館(一四) 九段遊就館(〃)	
	一五			桂離宮(一六) 修學院離宮(一七) 二條離宮(〃)		△第十五銀行本店(一五)	△東京帝大法文科本館(一六)	
	2547 二〇	○明治時代ノ傑作日本銀行 ○日本古建築ノ研究興ル(伊東・塚本・關野博士) ○邦人建築家輩出(辰野・高原・高山・新家・渡邊) ○鐵筋混凝土建造ノ先驅(愛國生命・三菱貸事務所) ○木造建築ノ秀作本願寺殿堂 ○鐵材建築ノ先驅三井銀行(横河民輔設計)		宮城御造營(二二)		△偕行社(二二)	△東京帝大工學部本館(二〇) ×華族女學校(二二) 東京帝室博物館參考館(〃)	△市村座(二〇)
	二五		平安神宮拜殿 京都(二八) 西本願寺御影堂 同(〃) 同 阿彌陀堂 同(〃)		△農商務省(二四) 東京府廳(二六) 海軍省(二七) 司法省(二八) 日本銀行本店(二九)	△帝國ホテル(?)	△ニコライ會堂(二四) 奈良帝室博物館(二七) 京都帝室博物館(二八)	△明治座(二六) 南座(?)
	2557 三〇		天龍寺 同(三〇) 豐公廟 同(三一) 靖國神社拜殿 東京(三四) 臺灣神社 臺灣(〃)			△勸業銀行本店(三〇) 東京商業會議所(三二) △三井銀行本店(三五)	東京帝大衞生學教室(三四) △東京高等工業學校(三五)	
	三五		南禪寺本堂 京都(三七)	霞關離宮(三七)	臺灣總督府廳舍(?)	△横濱正金銀行本店(三七)	上野帝國圖書館(三九)	中座(三九)
	2567 四〇		樺太神社 樺太(四二) 札幌神社 北海道(?) 日向宮崎宮 宮崎(?)	東宮御所(四二) 赤坂離宮内	△遞信省(四二) △警視廳(四四)	△兩國國技館(四二) 奈良ホテル(〃)	日比谷圖書館(四一) 南葵文庫(〃) 早稻田大學恩賜記念館(四四)	△有樂座(四一) △歌舞伎座(四四) 帝國劇場(〃)
	2572大正元					日本赤十字社本社(元) 愛國生命保險會社(〃)	慶應義塾記念圖書館(元) 東京帝大正門(〃)	

			(神社佛寺建築)	(宮殿建築)	(官衙建築)	(公共建築)	(文化建築)	(劇場建築)
大正時代	2573 大正二	○洋風建築ノ模倣時代 ○アメリカ現代式建築ノ輸入(東京海上保險)						
	三		不忍辨天堂天龍門 東京(三)			東京驛(三) 三越呉服店(〃)		
	四							
	五							
	六					東京海上保險會社(六)		
	七	○ライト式新建築(帝國ホテル) ○平安時代建築ノ復活純日本趣味ノ發揮(明治神宮)						
	八					如水會館(八)		
	九		明治神宮 東京(九)					
	2581 一〇		明治神宮寶物殿 同(一〇)					
	一一	○表現派(東京朝日・白木屋) ○新様式續々輸入——分離派(中央電信局)				帝國ホテル(一一)		
	一二					丸の内ビルデイング(一二)		寶塚劇場(一二
	一三							築地小劇場(一三) 歌舞伎座(〃)
	一四						東京帝大大講堂(一四)	新橋演舞場(一四)
	一五				東京中央電信局(一五) 大阪府廳(〃)		明治神宮繪畫館(一五	明治座(一五
昭和時代	2587 昭和二	○圖書館建築ノ白眉 帝大圖書館					東京朝日新聞社(二	
	三				首相官邸(三)	三菱銀行本店(三	東京帝大圖書館(三	新宿武蔵野館(三 寶生會能樂堂(〃)
	四				小菅刑務所(四)	東京市公會堂(四) 三井銀行本店(〃	東京齒科醫專學校(四)	
	五		震災記念堂 東京(五)			甲子園ホテル(五)		
	六				警視廳(六)	白木屋呉服店(六		
	2592 七							

年代	分類	年	書名	著作者
明治	通史	二三	日本文學史	三上参次・高津鍬三郎
明治	通史	二五	日本文學史略	鈴木弘恭
明治	通史	二五	和文學史	大和田建樹
明治	通史	二六	日本文學小史	三上・高津
明治	通史	二七	歷代文學	關根正直
明治	通史	三二	國文學史十講	芳賀矢一
明治	通史	三三	A History of Japanese Literature	W. G. Aston
明治	通史	三三	日本大文學史	大和田建樹
明治	通史	三四	國文學小史	和田萬吉等
明治	通史	三五	本邦文學史講義	杉敏介
明治	通史	三六	國文學史	落合直文
明治	通史	三六	國文學史	永井一孝
明治	通史	三八	日本文學史	林森太郎
明治	通史	三九	日本文學史	武島又次郎
明治	通史	四一	日本文學史（アストン原著）	芝野六助譯補
明治	通史	四一	國文學史講話	藤岡作太郎
明治	通史	四二	大日本文學史	鈴木暢幸
明治	通史	四三	日本文學史要	佐藤修範
明治	通史	四五	新國文學史	五十嵐力
明治	時代史・平安時代	三八	國文學全史【平安朝編】	藤岡作太郎
大正	通史	一	國文學發達史	永井一孝
大正	通史	二	國文學史概論	芳賀矢一
大正	通史	三	日本文學新史	尾上八郎
大正	通史	四	日本文學史	萩野由之
大正	通史	四	奈良朝及平安朝文學講話	窪田空穗
大正	通史	四	徳川時代〃	徳田秋江
大正	通史	四	明治文學變遷史〃	島村抱月
大正	通史	五	文學に現れたる我國民思想の研究　貴族文學の時代	津田左右吉
大正	通史	六	武士文學の時代	〃
大正	通史	一〇	平民文學の時代	〃
大正	通史	八	評釋國文史	五十嵐力
大正	通史	九	國民文學史	鈴木暢幸
大正	通史	一一	文學序說	土居光知
大正	通史	一三	綜合日本文學全史	三浦圭三
大正	通史	一三	國文學史概說	阪倉篤太郎・島田退藏
大正	通史	一四	國文學史綱要	錦織宗壽
大正	通史	一五	國文學史總說	藤村作
大正	通史	一五	國文學通史	坂井衡平
大正	通史	一五	新講日本文學史	岩城準太郎
大正	通史	一五	概觀日本文學史潮	鈴木敏也
大正	通史	一五	新修日本文學史（室町まで）	鈴木暢幸
大正	通史	一五	やさしい國文學史	大澤重夫
大正	通史	一五	日本文學史要	飯野哲二
大正	通史	一五	日本文學思潮（國文教育四卷二號 昭五刊國文學體系第一篇）	垣内松三等
大正	通史	一五	日本文學體系（國文教育四卷八號 昭五刊國文學體系第三篇）	同前
大正	時代史・大和時代	二	神代史の新しい研究	武田祐吉
大正	時代史・大和時代	八	古事記日本書紀の新研究	津田左右吉
大正	時代史・大和時代	一〇	上代國文學の研究	武田祐吉
大正	時代史・大和時代	一三	神と神を祭る者との文學	武田祐吉
昭和	通史	二	日本文學史總說	千葉惣治
昭和	通史		日本文學聯講	藤村作編
昭和	通史	二	第一期　上代	
昭和	通史	二	第二期　中世	
昭和	通史	三	第三期　近世（上・下）	
昭和	通史	三	國文學史の概要	小林善八
昭和	通史	三	國文學史概說	植松安
昭和	通史	四	日本文學史	謝六逸
昭和	通史	五	國文學史	末松寂仙
昭和	通史	六	系統的國文學史解說	鬼澤福次郎
昭和	通史	七	國文學史新講	次田潤
昭和	通史	七	日本文學史概說	藤村作
昭和	通史	七	新體國文學史要	金子彦二郎・河津啓太郎
昭和	時代史・大和時代	三	上代日本文學の研究	久松潜一
昭和	時代史・大和時代	四	古代文學研究	倉野憲司
昭和	時代史・大和時代	五	古代中世日本文學十二講	高須芳次郎
昭和	時代史・大和時代	五	上代日本文學史	武田祐吉
昭和	時代史・大和時代	五	原始國文學考	徳田淨
昭和	時代史・大和時代	七	上代の國語國文學	橘純一

時代史

鎌倉室町時代

年	書名	著者
三九	五山文學小史	上村觀光
四	鎌倉室町時代文學史	藤岡作太郎
八	禪林文藝史譚	上村觀光
一一	鎌倉時代文學新論	野村八良

江戸時代

年	書名	著者
二六	元祿時代の國文學	關根正直
三〇	近世文學史論	内藤湖南
三六	近世俗文學史	坂本健一
四二	德川時代の文學	千河岸貫一
四四	近世國文學史	佐々政一
一〇	江戸文學研究	藤井乙男
一一	上方文學と江戸文學	藤村作
一二	德川文學と武士生活	藤村作
一二	近世文學十二講	高須芳次郎
二	近世國文學序說	藤村作
二	德川時代の文學思潮	麻生磯次
三	江戸時代文學考說	石田元季
三	近代國文學の研究	前島春三
四	日本文藝復興史	高安三郎
四	江戸文學史	永井一孝
五	日本文藝近代史	高安三郎
六	江戸文學叢說	藤井乙男
六	爛熟期頽廢期の江戸文學	高須芳次郎
七	名古屋文學史（江戸時代）	川島丈内

東京時代

年	書名	著者
二七	明治文學史	大和田建樹
三九	明治文學史	岩城準太郎
三九	時代文學史	高橋淡水
四	明治文學内容發達史	田山花袋
一〇	近代文藝史論	高須芳次郎
一二	作家を中心として見たる最近の日本文學	水毛生伊作
一三	日本現代文學十二講	高須芳次郎
一四	明治大正新文學史觀	小島德彌
一四	明治大正の國文學	岩城準太郎
一四	明治文學十二講	宮島新三郎
一五	明治大正文學の輪廓	加藤武雄
一五	大正文學十四講	宮島新三郎
二	自己中心明治文壇史	江見水蔭
三	明治文學展望	木村毅
三	明治大正文學史	橘文七
四	明治文學襍考	日夏耿之助
四	明治文學史	永井一孝
五	明治文學史抄	鹽田良平
五	日本プロレタリヤ文藝運動史	山田清三郎
六	明治大正史（藝術篇）	土岐善麿
七	史的唯物論より見たる近代日本文學史	篠田太郎
七	現代日本文學序說	唐木順三
七	明治文學史集說	日本文學社編
七	明治文學序說	藤村作・久松潜一

特殊史

分類	年	書名	著者
和歌史	明治四一	歌學論叢	佐々木信綱
和歌史	四二	帝國歌學史	神谷保眼
和歌史	四三	日本歌學史	佐々木信綱
和歌史	大正二	日本短歌史	山内素行
和歌史	一二	和歌史の研究	佐々木信綱
和歌史	一二	近世和歌史	佐々木信綱
和歌史	一三	國歌の胎生及び發達	五十嵐力
和歌史	一四	日本詩歌の體系	兒山信一
和歌史	一五	大日本歌學史	福井久藏
和歌史	昭和四	明治歌壇史	尾山篤二郎
和歌史	四	和歌讀本	太田水穗
和歌史	五	近世和歌史	福井久藏
和歌史	六	近江吉備和歌史	野田實
和歌史	六	新講和歌史	兒山信一
和歌史	六	歌壇史稿	安部忠三
和歌史	七	日本和歌史	生田蝶介
和歌史	七	德川時代和歌の研究	（窪田空穗・松村英一）
近代詩史	明治四一	新體詩作法	河井醉茗
近代詩史	四二	新體詩作法	岩野泡鳴
近代詩史	四二	雜誌より見たる新體詩發達史	吉野臥城
近代詩史	大正一五	日本新詩史	福井久藏
近代詩史	昭和三	日本現代詩史	川路柳虹
近代詩史	三	日本近代詩の發達	湯地孝
近代詩史	四	明治大正詩史概觀	北原白秋
近代詩史	四	明治大正詩史	日夏耿之助
近代詩史	六	新しい詩及詩人とその變遷	井上康文
連俳史	明治二六	俳諧史談	山崎庚午太郎
連俳史	三〇	連俳小史	佐々政一
連俳史	三〇	俳諧略史（俳諧文庫附錄）	大野酒竹
連俳史	三五	俳句小史	佐藤紅綠
連俳史	三八	蕉風	沼波瓊音
連俳史	四〇	俳論史（大正三、再刊）	同上
連俳史	四四	俳諧二百年史	齋藤溪舟
連俳史	大正八	俳句小史	荻原井泉水
連俳史	一一	日本俳諧史	池田秋旻
連俳史	一一	近代俳句史論	長谷川零餘子
連俳史	昭和三	連俳史	樋口功
連俳史	三	連俳史論（連俳小史增補）	佐々政一
連俳史	五	連歌の史的研究	福井久藏
連俳史	五	俳句讀本	島田靑峯
連俳史	五	俳諧史概說	佐藤一三
連俳史	七	明治大正俳句史	井手逸郎
連俳史	七	俳諧史要	馬場蕗臺
歌謠史	明治二一	歌舞音樂略史（三二年、改版）	小中村淸矩
歌謠史	大正三	流行唄變遷史	藤澤衛彦
歌謠史	四	歌舞音曲考說	高野辰之
歌謠史	一三	日本歌謠史講話	坂井衡平
歌謠史	一三	日本民謠の研究	高野辰之
歌謠史	一五	日本歌謠史	高野辰之
歌謠史	昭和四	明治流行歌史	藤澤衛彦

特殊史

小說史

年	書名	著者
二三	小說史稿	關根正直
二七	江戸時代戯曲小說通志	雙木園主人
三〇	列傳體小說史	水谷不倒
三六	古代小說史	長谷川福平
六	近代小說史	藤岡作太郎
一一	近世日本小說史 蠱惑と幻妖との文藝	鈴木敏也
一五	近世日本小說史 啓蒙から歡樂への文藝	鈴木敏也
四	近古小說新纂	島津久基
六	近世文藝志	笹川種郎
七	江戸時代小說史	鈴木暢幸
七	日本小說評論史	原田芳起

戯曲史

年	書名	著者
二〇	演劇史	谷口政德
二七	淨瑠璃史	寺山啓介
三三	淨瑠璃史	高野辰之
三七	日本演劇史	伊原敏郎
二	近世日本演劇史	伊原敏郎
三	日本淨瑠璃史（アカギ叢書）	小山龍之輔
三	女歌舞伎（アカギ叢書）	龍居松之助
五	繪入淨瑠璃史	水谷不倒
七	劇壇五十年史	關根默庵
一〇	日本演劇史論	吳文炳
一一	竹本劇と其作家	岡本綺堂
一五	簡易なる日本國劇史	濱村米藏
二	歌舞伎劇の經濟史的研究	山本勝太郎・藤田儀三郎
三	近世日本演劇の源流	原田亨一
三	日本演劇の研究	高野辰之
三	歌舞伎概論	飯塚友一郎
三	演劇論叢	小山內薰
四	日本演劇の起原	吳文炳
四	日本演劇の研究	吳文炳
四	近世演劇考說	黑木勘藏
四	歌舞伎演劇講話	高野辰之
六	近世文藝志	笹川種郎
六	日本近世舞踊史	小寺融吉
七	近世戯曲研究	守隨憲治
七	國劇要覽	演劇博物館
七	大日本演劇史	灰野庄平
七	演劇史研究	東京帝大演劇史研究會

日記紀行

年	書名	著者
二	宮廷女流日記文學	池田龜鑑

女流文學史

年	書名	著者
三四	女流文學史	小森甚作・上地信成
六	國文學史上の婦人の事業	佐々木信綱
二	日本女流文學史	石橋健夫

文章史

年	書名	著者
（安永三）	（國ツ文世々の跡）	（伴蒿蹊）
二三	國文沿革史	小中村義象
四〇	日本文章史	大町桂月
四	明治小說文章變遷史	德田秋聲
八	評釋國文史	五十嵐力
一四	日本文章史	德田秋聲

筆禍史

年	書名	著者
四四	筆禍史	廢姓外骨
一三	近世文藝筆禍史	齋藤昌三
一三	明治大正筆禍史	芳賀策造

國學史

年	書名	著者
三〇	國學三遷史	中野虎三
三三	國學史概論	芳賀矢一
三七	國學者傳記集成	大川茂雄・南茂樹
四四	國學史（東圃遺稿）	藤岡作太郎
一五	國學者史傳	逸見仲三郎
二	國學發達史	清原貞雄
二	近世史の發展と國學者の運動	竹岡勝也
三	國學全史	野村八良
七	國學の研究	河野省三
七	國學の史的考察	伊東多三郎

參考書類

部門	年號	年	書名	著者
國語學史	明治	三二	國語學小史	保科孝一
國語學史		四〇	國語學史	保科孝一
國語學史		四〇	日本文法史	福井久藏
國語學史		四一	日本語學史	長連恒
國語學史		四三	國語學精義	保科孝一
國語學史	大正	二	奈良朝文法史	山田孝雄
國語學史		二	平安朝文法史	同前
國語學史		三	平家物語の語法	同前
國語學史		一三	古代國語の研究	安藤正次
國語學史	昭和	三	近世國語學史	伊藤愼吾
國語學史		四	國語學史の研究	鬼澤福次郎
評論・鑑賞	明治	四四	日本評論史（東圃遺稿）	藤岡作太郎
評論・鑑賞	大正	五	東西文學比較評論	高安三郎
評論・鑑賞		一三	表現と觀賞	岩城準太郎
評論・鑑賞		一三	國文學の觀賞	小山正
評論・鑑賞		一三	國文學の本質	齋藤清衞
評論・鑑賞		一四	國語鑑賞の心境	加茂學而
評論・鑑賞		一五	國文學の傾向	齋藤清衞
評論・鑑賞		一五	國文學研究史	野村八良
評論・鑑賞		一五	鑑賞（日本文學講座第十四卷）	新潮社編
評論・鑑賞	昭和	三	國文學の諸相	岩城準太郎
評論・鑑賞		三	現代文學の觀賞	新屋敷幸繁
評論・鑑賞		四	現代文藝評論	正宗白鳥
評論・鑑賞		五	文藝評論集	文藝協會
評論・鑑賞		七	國文學の批評的研究	峯岸義秋
文學概論	明治	四〇	文學論	夏目金之助
文學概論		四四	文學概論	太田善男
文學概論	大正	二	文學研究	鹽井雨江
文學概論		四	文學の本質	松浦一
文學概論		六	新文學概論	本間久雄
文學概論		一二	文學の絶對境	松浦一
文學概論		一二	文學形態論（モルトン原著）	蘆田正喜譯
文學概論		一三	文學の白光	松浦一
文學概論		一四	綜合國文學概說	三浦圭三
文學概論		一四	國文學序說	齋藤清衞
文學概論		一五	文學概論	大和資雄
文學概論		一五	ハドスン文學概論	益田道三
文學概論		一五	文學論	土田杏村
文學概論		一五	文學概論	本間久雄
文學概論		一五	文學論	竹友藻風
文學概論	昭和	二	文藝の彼岸	松浦一
文學概論		三	體系的國文學概論	佐々木幹夫
文學概論		三	國文學の哲學的研究〔1〕國文學序論〔2〕文學の發生〔3〕上代の歌謠	土田杏村
文學概論		四	詩學概論	外山卯三郎
文學概論		四	文藝學概說	石山徹郎
文學概論		五	日本文學本質（國文學體系第三編）	垣內松三編
文學概論		五	文學總論	竹友藻風
文學概論		六	國文學概論	篠田太郎
文學概論		六	文學汎論	佐藤清
文學概論		七	日本文學概論	新屋敷幸繁・峯岸義秋
文學概論		七	生き行く力としての文學	松浦一
文學概論		七	文學の近代的研究（モルトン原著）	本多顯彰譯

參考書類

解題

三〇	國書解題	佐村八郎
三一	國文註釋書解題	永井一孝
三三	國史學の栞	小中村清矩
三五	國語學書目解題	赤堀又次郎
三六	古今歌文書綱要	金子元臣・花岡安見
四二	近古小說解題	平出鏗二郎・藤岡作太郎
一	俳書解題	角田竹冷
一五―昭和三	大日本歌書綜覽	福井久藏
一五	續群書一覽（明治二五年西村兼文編）	補訂 入田整三
三	俳書解題	角田竹冷
五	明治大正歌書解題	木美鐵三
五	國文學書目集覽	垣內松三・毛利昌
六	群書一覽（文政十二年尾崎雅嘉編）	補訂 入田整三
六	名著解題大辭典	太陽堂編輯部
七	源氏物語研究書目要覽	藤田德太郎

文學年表

二三	德川時代文學者年表	上田萬年
二五	文學者年表	芳賀矢一
三四	俳諧年表	角田竹冷
三五	日本文學者年表	赤堀又次郎
三七	世界文學者年表	芳賀矢一
三九	小說年表	朝倉無聲
四二	俳諧年代記	牧野望東
三	座右年表	芳賀矢一
八	日本文學者年表續編	森治藏・今園國貞
一二	新撰俳諧年表	平林鳳二・大西一外
一四	俳書年表（子規全集十二卷）	正岡子規
一四	明治全小說戲曲大觀	高木文
一五	續明治全小說戲曲大觀	高木文
一五	新修日本小說年表	朝倉無聲
二	日本文學者年表（增補）	赤堀又次郎
二	近世邦樂年表	東京音樂學校編纂
二	明治初期戲作年表	石川巖
三	明治初期文學年表	齋藤昌三
四	日本文化史年表	清原貞雄
四	世界對照日本文學の展望	村木清一郎
四	日本小說年表	山崎麓
六	現代日本文學大年表	改造社編

辭典・索引

三四	大日本隨筆索引	太田爲三郎
三七	假作人名辭彙（日本人名辭典附錄）	栗島山之助
三九	日本文學史辭典	佐々政一・山內素行
四二	文藝百科全書	早稻田文學社
五	群書索引	物集高見
一四	日本隨筆索引	太田爲三郎
一四	日本作者辭典	前島德太郎
二	江戸時代小說脚本淨瑠璃隨筆翻刻物索引	尾崎久彌
三	日本文學辭典	三浦圭三
三	最新國文學史辭典	東里將建
六	國語國文雜誌研究論文索引（昭和四年十月號「國語國文の研究」の複刻）	京都國文學會
六	佛教論文總目錄	佛典研究會
七	續日本隨筆索引	太田爲三郎
七	日本文學大辭典	藤村作

【講座目錄】

日本文學講座　初刊一九卷　再刊一五卷
（初刊大正15—昭和3）（再刊昭和3——4）　新潮社

第一卷　日本文學總說

日本文學研究の新意義　藤村作
語源より觀たる日本文學　吉澤義則
日本文學の言語學的考察　保科孝一
日本語法の變遷　春日政治
國語及國字問題の經過　保科孝一
國史上に映ずる日本文學　平泉澄
日本文學の出發　武田祐吉
日本文學の唱導的發生　折口信夫
日本文學に現れたる神話　松村武雄
世界に於ける日本文學の地位　野口米次郎
支那文學と日本文學との交渉　幸田露伴
日本文學に及ぼしたる歐洲文學の影響　内田魯庵

第二卷　日本文學と社會生活

日本文學に現れた社會問題　瀧本誠一
日本文學に現れた農民問題　小野武夫
日本文學に現れた經濟生活　山本勝太郎
日本文學に現れた犯罪問題　尾佐竹猛
日本文學に現れた婦人問題　白柳秀湖

第三卷　古代及奈良朝時代

古代及奈良朝文學概說　久松潜一
古事記・日本書紀研究　次田潤
祝詞及宣命の研究　武田祐吉
記紀歌謠の研究　井手淳二郎
萬葉集研究　折口信夫
萬葉集研究　澤瀉久孝
懷風藻研究　岡田正之

第四卷　平安朝時代（上）

平安朝時代文學概說　尾上八郎
伊勢物語研究　窪田空穗
竹取物語研究　手塚昇
宇津保・落窪物語研究　宮田和一郎
源氏物語研究　島津久基
源氏物語研究　山岸德平
堤中納言物語　藤田德太郎
藤原文學の背景と環境　楠山正雄

第五卷　平安朝時代（下）

枕草紙研究　窪田空穗
王朝時代の日記文學　池田龜鑑
大鏡研究　五十嵐力
榮華物語研究　和田英松
今昔物語研究　島田退藏
平安朝勅撰集研究　石井直三郎
古今和歌集研究　尾上八郎
宗教讚歌研究　志田義秀
梁塵祕抄研究　志田義秀

第六卷　鎌倉時代

鎌倉時代文學概說　沼澤龍雄
戰記物語研究　高木武
方丈記研究　後藤丹治
新古今和歌集研究　松浦貞俊
山家集研究　齋藤清衞
金槐集研究　齋藤茂吉
拾遺愚草研究　風卷景次郎
鎌倉時代の歌論　久松潜一
鎌倉時代の日記文學　佐佐木信綱
鎌倉時代の佛教文學　松原致遠

第七卷　室町時代

室町文學概說　笹川種郎
太平記研究　魚澄惣五郎
徒然草研究　中村直勝
神皇正統記研究　平泉澄
お伽草子研究　佐成謙太郎
幸若舞曲研究　高野辰之
謠曲研究　野々村戒三
狂言研究　林若樹
五山文學研究　笹川種郎
宗祇を中心とせる室町文學　小島吉雄

第八卷　江戸時代（上）

江戸時代文學概說　藤井乙男
假名草紙研究　水谷不倒
西鶴武家物研究　片岡良一
西鶴町人物研究　片岡良一
西鶴好色本研究　山口剛
八文字屋物研究　水谷不倒
古淨瑠璃研究　水谷不倒
近松研究　加藤順三
近松の時代物　黑木勘藏
近松の世話物

第九卷　江戸時代（中）

怪異小說研究　山口剛
洒落本研究　朝倉無聲
江戸の落語　林若樹
講談・實錄物研究　三田村鳶魚
近世の俳論　樋口功
連句研究　萩原蘿月
近世の歌論　佐佐木信綱
近世諸歌人　佐佐木信綱
武家時代の歌謠　高野辰之
狂歌・狂文研究　野崎左文
雜俳及川柳研究　阪井久良岐
江戸時代の漢詩漢文　佐久節

第十卷　江戸時代（下）

芭蕉研究　太田水穗
蕪村研究　河東碧梧桐
一茶研究　勝峰晋風
京傳研究　高須芳次郎
馬琴研究　藤村作
三馬研究　笹川種郎
一九研究　藤村作
春水研究　山口剛
紀海音研究　黑木勘藏
並木五瓶研究　伊原青々園
南北研究　渥美清太郎

第十一卷　明治時代（上）

明治文學概說　生田長江
寫實主義以前の小說　石川巖
明治の小說（寫實主義と自然主義）　田山花袋
政治小說研究　齋藤昌三
社會小說研究　木村毅
明治の歷史小說研究　柳田泉
明治新詩の展開　日夏耿之介
明治の短歌　土岐善麿
明治の俳句　高濱虛子
寫生文研究　島田青峰
明治の挿繪　鏑木清方

第十二卷　明治時代（中）

明治の飜譯文學研究　柳田泉
明治の戲曲　長田秀雄
明治の演劇　松居松翁
明治大正新劇運動史　中村吉藏
明治の史論・史傳　高須芳次郎
明治の探偵小說及大衆物　小酒井不木
歐化主義・國粹主義の文學　高須芳次郎
社會史的觀點より見たる明治文學　平林初之輔
自然主義文學研究　宮島新三郎
新聞小說研究　千葉龜雄

第十三卷　明治時代（下）

默阿彌研究　岡本綺堂
坪內逍遙研究　高須芳次郎
森鷗外研究　小島政二郎
紅葉研究（附、硯友社）　德田秋聲
幸田露伴研究　柳田泉
二葉亭四迷研究　藤森成吉
樋口一葉研究　久保田万太郎
國木田獨步研究　吉江喬松
夏目漱石研究　森田草平
樗牛研究（附、赤門派）　高須芳次郎
正岡子規研究　河東碧梧桐

第十四卷　鑑賞附補遺

萬葉集鑑賞　土岐善麿
今昔物語鑑賞　芥川龍之介
源氏物語鑑賞　吉井勇
大鏡鑑賞　小島政二郎
方丈記鑑賞　正宗白鳥
徒然草鑑賞　生田春月
能樂鑑賞　野口米次郎
謠曲詞章鑑賞　能勢朝次
西鶴五人女鑑賞　加藤武雄
西鶴俳諧鑑賞　佐藤鶴吉
芭蕉鑑賞　島崎藤村
馬琴鑑賞　近松秋江
一茶鑑賞　吉田絃二郎
歌謠文學鑑賞　宇野浩二

江戸時代補遺

馬琴の生涯　和田萬吉
種彥研究　山口剛
太祇研究　穎原退藏

第十五卷　特殊研究

日本文學の傍系としての琉球文學　伊波普猷
アイヌ文學研究　金田一京助
朝鮮文學研究　高橋亨
南蠻文學概觀　新村出
ローマ字日本語文獻　土岐善麿
方言研究と方言文學　東條操
民謠の今と昔　柳田國男
日本の童謠童話　西條八十
江戸文學と浮世繪　織田一磨
操芝居の發生と演劇史上の地位　小澤愛圀
少年文學の發達　安倍季雄
昔話解說　柳田國男
「天狗の內裏」と「イニード」　島津久基
傾城買の二大派別　三田村鳶魚
遊里文學研究　尾崎久彌

岩波講座日本文學（昭和6—8）　岩波書店

【一般項目】

- 文學論　土居光知
- 日本文學概說　久松潜一
- 日本文學思潮※　岡崎義惠
- 日本文學研究法　垣内松三
- 日本文學書目解說
  - 1 大和時代　澤瀉久孝
  - 2 平安時代　池田龜鑑
  - 3 鎌倉時代　山岸德平
  - 4 室町時代　後藤丹治
  - 5 上方・江戸時代　潁原退藏
- 日本文學史概說
  - 1 大和時代　折口信夫
  - 2 平安時代　池田龜鑑
  - 3 鎌倉・室町時代　齋藤清衛
  - 4 上方・江戸時代　近藤忠義
  - 5 明治時代　片岡良一
  - 6 現代　谷川徹三
- 言語學概論　新村出
- 國語學概論　橋本進吉
- 國語學書目解說　土井忠生
- 日本文法要論　山田孝雄
- 國風暗黒時代に於ける女子をめぐる國語上の諸問題　吉澤義則
- 國語學史　時枝誠記

【特殊項目】

- 日本文學評論史　久松潜一
- 和歌史の研究　西下經一
- 歌學史の研究　久松潜一
- 日本歌謡の展開　藤田德太郎
- 古代民謡史論　高木市之助
- 連歌及び連歌史　山田孝雄
- 俳諧史の研究　潁原退藏
- 日本詩の押韻　九鬼周造
- 日本小說の展開　鈴木敏也
- 近世戲曲史論　守隨憲治
- 日本漢文學史　小野機太郎
- 軍記物語研究　五十嵐力
- 新聞文學　長谷川如是閑
- 現代文學鑑賞　西尾實
- 現代階級鬪爭の文學（古典より現代文學に至る）　三木清
- 現代新興文學※　三木清
- 新興童謡と兒童自由詩　北原白秋
- 鷗外の歌　幸田露伴
- 近世歌人評傳　齋藤茂吉
- 近世和歌史　佐佐木信綱
- 芭蕉と傳統和歌　太田水穗
- 南朝三帝の源氏物語御研究　和田英松
- 歐米に於ける日本文學研究※　村岡典嗣
- 日本に於ける英文學研究　豐田實
- 日本文學と外來思潮との交渉
  - 1 佛教思想　和辻哲郎
  - 2 南蠻文學　新村出
  - 3 支那文學　青木正兒
  - 4 西洋文學　野上豐一郎
- 比較文學　阿部次郎
- アイヌ文學　金田一京助
- 琉球文學　伊波普猷
- 國語音聲學　安藤正次
- 國語教育論　藤村作
- 方言研究の概觀　東條操
- 支那文字學　武内義雄
- 書狀の變遷　伊木壽一
- 假名發達史　春日政治
- 點本書目　吉澤義則
- 金剛寺藏寶篋印陀羅尼を因由とせる平安朝時代の草假名と文學との關係　尾上八郎
- 古筆學※　松井簡治

【作品及び作家】

—大和時代—

- 古事記の研究　倉野憲司
- 日本書紀　津田左右吉
- 記紀の歌謡　次田潤
- 延喜式祝詞要論　千田憲
- 風土記に現れた古代世活　折口信夫
- 萬葉集の研究　森本治吉
- 萬葉集研究　藤森朋夫
- 萬葉集の研究　五味保義

—平安時代—

- 神樂・催馬樂　武田祐吉
- 平安朝時代の詩　吉田增藏
- 古今和歌集の基礎的研究　三條西公正
- 竹取物語の再檢討　橘純一
- 伊勢物語　大津有一
- 宇津保物語　宮田和一郎
- 落窪物語　橋本佳
- 倭漢朗詠集　山田孝雄
- 平安朝の日記紀行　西下經一
- 和泉式部　岡田希雄
- 清少納言と其作品　池田龜鑑
- 源氏物語系統論序說　池田龜鑑
- 源氏物語評論　島津久基
- 紫式部　石村貞吉
- 私家集の研究　松田武夫
- 堤中納言物語　藤田德太郎
- 菅原孝標女　松尾聰
- 狭衣物語　入江相政
- 榮華物語　三條西公正
- 大鏡概說　山岸德平
- 今昔物語集概說　山岸德平
- 佛教文學研究　筑土鈴寬
- 西行　松浦貞俊

—鎌倉・室町時代—

- 新古今的なるもの、範圍　風卷景次郎
- 家長本新古今和歌集の形態　德本正俊
- 藤原定家　谷鼎
- 源實朝　齋藤茂吉
- 鴨長明と方丈記　佐藤幹二
- 住吉物語の形態に關する研究　西下經一
- 鎌倉時代の小說　野村八良
- 鎌倉時代の日記紀行　玉井幸助
- 梁塵祕抄　志田延義
- 平家物語の考察　友枝照雄
- 平曲　沼澤龍雄
- 增鏡　中村直勝
- 徒然草※　垣内松三
- 新葉和歌集　大野木克豐
- 神皇正統記の研究　小島吉雄
- 太平記　龜田純一郎
- 義經記　島津久基
- 謡曲　佐成謙太郎
- 花傳書　能勢朝次
- 世阿彌元清　西尾實
- 能狂言　笹野堅
- お伽草紙　藤井乙男

—上方・江戸時代—

- 假名草子　潁原退藏
- 近松の藝術　近藤忠義
- 近松の國語學的研究　佐藤鶴吉
- 井原西鶴　山崎麓
- 芭蕉　小宮豐隆
- 蕉門十哲　志田義秀
- 海音・半二・出雲　守隨憲治
- 鶴屋南北　渥美清太郎
- 蕪村　岩田九郎
- 一茶序說　各務虎雄
- 俳文の研究　岩田九郎
- 浮世草子　山崎麓
- 洒落本　山崎麓
- 雨月物語　鈴木敏也
- 南總里見八犬傳　和田萬吉
- 假名手本忠臣藏について　增田七郎
- 膝栗毛研究　麻生磯次
- 狂歌の研究　野崎左文
- 川柳　岡田朝太郎

—明治時代—

- 默阿彌　河竹繁俊
- 自然主義以前の作家　岩城準太郎
- 自然主義の作家　谷川徹三
- 坪内逍遙　本間久雄
- 森鷗外　木下杢太郎
- 尾崎紅葉　片岡良一
- 幸田露伴　齋藤茂吉
- 樋口一葉　湯地孝
- 北村透谷　鹽田良平
- 國木田獨歩　鹽田良平
- 石川啄木　湯地孝
- 正岡子規　齋藤茂吉
- 夏目漱石　小宮豐隆
- 島崎藤村　木枝增一
- 白樺の運動　武者小路實篤

—現代—

- 現代俳句　志田義秀
- 現代短歌　土屋文明
- 現代詩　茅野蕭々

【關係項目】

- 日本精神と國文學　藤村作
- 日本文化史概說※　村岡典嗣
- 國學史概說　竹岡勝也
- 日本風俗史概說　櫻井秀
- 古代傳說の比較研究　土居光知
- 上代人の民族信仰　宇野圓空
- 上代文學に於ける社會性　津田左右吉
- 日本文學の發生　折口信夫
- 王朝文學に現はれたる庶民生活　西岡虎之助
- 宮廷の文化と生活　櫻井秀
- 近古文學と時代精神　高木市之助
- 明治思想界の潮流（文藝評論を中心として）　安倍能成
- 日本文學と農民・町人・遊女・僧侶の生活※　平泉澄
- 上方・江戸文學を産める社會的環境　麻生磯次
- 法律より見たる日本文學　勝本正晃
- 口承文藝大意　柳田國男
- 神話學より見たる國文學　松村武雄
- 繪卷物概說　福井利吉郎
- 現代藝術概論　兒島喜久雄
- 日本音樂　兼常清佐
- 日本演劇の展開　高野辰之
- 雅樂・伎樂　田邊尚雄
- 能の舞踊的特質　野上豐一郎
- 歌舞伎　小宮豐隆
- 映畫藝術　寺田寅彦
- 日本に於ける洋風畫の沿革　石井柏亭
- 水墨畫　福井利吉郎
- 浮世繪　田中喜作
- やまと繪序說　田中一松
- 武器の研究※　成瀨一三
- 茶道　小宮豐隆
- 花道※　小宮豐隆

備考　※ハ本書出版マデニ未刊ノモノ

短歌講座　一二巻

（昭和6―7）　改造社

俳句講座　一〇巻

（昭和7—8）　改造社

音韻

時代	書名	著者	年代
平安時代	文鏡秘府論	空海	
	悉曇藏	安然	
鎌倉室町時代	聚分韻略	虎關	
	倭片假名反切義解	明覺	
	管絃音義	北山隱倫涼金	
江戸	悉曇三密抄	覺彦	天和 2
	和字正濫抄	契沖	元祿 6
	東音譜	新井白石	享保 4
	磨光韻鏡	文雄	延享 1
	同餘論	文雄	
	三音正譌	文雄	寶暦 2
	和字大觀抄	文雄	〃 4
	語意考	賀茂眞淵	明和 6
	字音假字用格	本居宣長	安永 4
	漢字三音考	本居宣長	天明 4
	呵刈葭	本居宣長・秋成	〃 7
	五十音辨誤	村田春海	寛政 5
	地名字音轉用例	宣長	〃 12
	古言清濁考	石塚龍麿	享和 1
	漢語音圖	太田全齋	文化12
	於乎輕重義	東條義門	文政10

假名遣

時代	書名	著者	年代
鎌倉室町時代	下官抄		
	定家假名遣	行阿	
	定家卿口傳	藤原定家	
	人丸秘抄		
	行能假名遣		
	耕雲口傳	明魏	
	仙源抄跋文	成俊	
	牡丹花假名遣歌	肖柏	
	假名遣近道	夢翁	
江戸	類字假名遣	荒木田盛徴	寛文 6
	一歩	著者未詳	延寶 4
	假名字例	橘成員	〃 4
	初心假名遣	著者未詳	元祿 4
	和字正濫抄	契沖	〃 6
	倭字古今通例全書	橘成員	〃 9
	和字正濫抄通妨抄	契沖	〃 10
	和字正濫抄要略	契沖	〃 11
	和字解	貝原益軒	〃 12
	持明院假名遣	基輔	寶永 3
	假名遣書	林永喜	〃 4
	假名遣拾芥抄	佐々井祐清	〃 5
	假名遣秘解	水溪居秀	享保 4
	假名遣問答抄	服部吟照	元文 5
	古言梯	揖取魚彦	明和 1
	古言梯標註	揖取魚彦	
	正誤假名遣	加茂季鷹	天明 8
	わかかづら	村田春海	寛政 8
	靈語通	上田秋成	〃 9
	奥の山路	石塚龍麿	〃 10

語法

時代	書名	著者	年代
鎌倉室町時代	八雲御抄	順徳天皇	
	天爾波大概抄	傳藤原定家	
	天爾波大概抄之抄	宗祇	
	歌林良材集	一條兼良	
	姉小路式		
	飛鳥井家和歌式		
	歌道秘藏録	傳細川幽齋	
江戸	春樹顯秘増抄	有賀長伯	
	和歌八重垣	有賀長伯	元祿13
	挿頭抄	富士谷成章	明和 4
	語意考	賀茂眞淵	〃 6
	紐鏡	本居宣長	〃 8
	脚結抄	富士谷成章	安永 2
	詞の玉緒	本居宣長	〃 8
	詞の秋草	栂井一室	〃 9
	御國詞活用抄	本居宣長	天明2以前
	詞の八衢	本居春庭	文化 2
	指出の磯	東條義門	〃 12
	泊洦筆話	清水濱臣	
	詞の道しるべ	東條義門	文政 1
	弖爾乎波倭之字環	牛尾養庵	〃 2
	磯の洲崎	東條義門	〃 3
	友鏡	東條義門	〃 6
	言語四種論	鈴木朖	〃 7
	山口栞	東條義門	〃 7
	皇國の言靈	林圀雄	〃 8
	詞の玉橋	富樫廣蔭	〃 9
	紐鏡中の心	太田豐年	〃 10
	詞の通路	本居春庭	〃 11
	詞の玉襷	富樫廣蔭	〃 12

辭書　語源

時代	書名	著者	年代
平安時代	新撰字鏡	昌住	寛平 4
	倭名類聚抄	源順	承平
	類聚名義抄	傳菅原是善	
	伊呂波字類抄	橘忠兼(天養—治承)	
鎌倉室町時代	詞林采葉抄	由阿	應安 2
	字鏡集	菅原爲長	應永24
	平他字類抄		
	類字源語抄	筌源	永享 3
	下學集		文安 1
	撮壤集	飯尾永祥	享徳 3
	桑家漢語抄		文明 1
	歌林山かづら	宗祇	延徳 2
	節用集	林宗二	明應 5
	運歩色葉集		天文17
	元龜字叢	宗珠藏主	元龜 2
江戸	詞林三知抄		寛永12
	和句解	松永貞徳	寛文 2
	日本釋名	貝原益軒	元祿13
	和漢三才圖會	寺島良安	正徳 2
	東雅	新井白石	享保 2
	南留別志	荻生徂徠	元文 3
	和訓栞	谷川士清	安永 6
	詞葉新雅	富士谷御杖	寛政 4
	雅言音聲考	鈴木朖	文化13
	語林類葉	清水濱臣	
	雅言通載	榎並隆璉	
	雅語譯解	鈴木朖	文政 4
	雅言集覽	石川雅望	〃 9
	箋註倭名抄	狩谷棭齋	〃 10
	俚言集覽	村田了阿(一說太田全齋)	
	嬉遊笑覽	喜多村信節	〃 13
	古今要覽稿	屋代弘賢等	
	言元梯	大石千引	〃 13

時代

音韻

書名	著者	年代
男信（奈萬信奈）	東條義門	天保 6
古史本辭經	平田篤胤	〃 10
五十音小說	橘守部	〃 13
音韻假字用例	白井寬蔭	萬延 1
音韻考證	黑川春村	文久 2

假名遣

書名	著者	年代
假名大意抄	村田春海	享和 1
假名拾要	村田春海	
雅言假字格	市岡猛彥	文化 4
倚古假字格	山本明清	文政 5
古言梯拾遺	田中延香	天保15
手束杖	寺田長興	弘化 4
古言梯韻鏡對照	足代弘訓	
古言梯補遺	岡本保孝	

語法

書名	著者	年代
語學新書	鶴峯戊申	天保 2
玉の緒繰分	東條義門	〃 6
助辭本義一覽	橘守部	〃 6
詞の正道	大國隆正	〃 7
詞の緒環	林圀雄	〃 9
活語雜話	東條義門	〃 9-13
活語指南	東條義門	〃 11
活語餘論	東條義門	〃 13
脚結抄考	保田光則	
新撰裝抄	保田光則	
結詞例	鹿持雅澄	
玉の緒末分櫛	長野義言	〃 14
活語四等辨	黑川春村	〃 15
詞の捷道	鈴木重胤	弘化 2
天爾乎波係辭辨	萩原廣道	〃 3
詞玉緒補遺	中島廣足	嘉永 5
言靈のしるべ	黑澤翁滿	〃 6
詞の八衢補遺	中島廣足	〃 6
八衢大略	佐々木弘綱	安政 4
用言變格用例	鹿持雅澄	
辭格考抄本	物集高世	

辭書

書名	著者	年代
雅語纂解	菅原種文	天保 5
靈の宿	高橋殘夢	〃 7
古言譯通	鹿持雅澄	〃 8
詞の敷波	足代弘訓	〃 12
雅言通載抄	城戸千楯	〃 13
音圖大全解	堀秀成	
增補雅言集覽	中島廣足	
雅言集覽增補	岡正武	弘化 2
古言譯解	萩原廣道	嘉永 1
雅言集覽增補	保田光則	文久 3
同上續編	保田光則	〃 3

東京時代

音韻

書名	著者	年代
音韻啓蒙	敷田年治	明治 7
音圖略說	堀秀成	〃 11
音韻漫錄	大島正健	〃 31
國語聲音學	平野秀吉	〃 35
音韻口語法取調ニ關スル事項	文部省國語調査會	〃 36
音韻調査報告書	同上	〃 38
音韻新論	伊澤修二	〃 39
正音法	同上	〃 41
變聲音符	片岡哲	〃 43
日本古代語音組織考	北里闌	大正14
日本語源の心理的解釋	安井洋	昭和 5
國語音韻論	金田一京助	〃 7
國語音調論	高橋龍雄	〃 7

假名遣

書名	著者	年代
假名つかひ	落合直文	明治23
國語假名遣新法	大島正健	〃 27
中學音訓かなつかひ	中村秋香	〃 31
新撰假名遣活法	大和田建樹	〃 32
音訓かなつかひ教科書	大森惟中	〃 33
假名遣及假名字體沿革史料	大矢透	〃 42
疑問假名遣	國語調査會	大正 1
假名遣法	大島正健	〃 2
假名遣送假名早わかり	芳賀矢一	〃 7
假名遣の歷史	山田孝雄	昭和 4
發音式假名遣と其の文法	河津啓太郎	〃 7

語法

書名	著者	年代
日本小文典	チヤンバーレン	明治20
語法指南	大槻文彥	〃 22
國語學	關根正直	〃 24
廣日本文典	大槻文彥	〃 31
同別記	同上	〃 31
中等國文典	三土忠造	〃 31
日本文法論	山田孝雄	〃 35
明治文典	芳賀矢一	〃 37
中古文典	芳賀矢一	〃 38
日本口語法	吉岡郷甫	〃 39
日本文法史	福井久藏	〃 40
高等日本文法	三矢重松	〃 41
文語口語對照語法	吉岡郷甫	〃 45
日本文法新論	金澤庄三郎	大正 1
奈良朝文法史	山田孝雄	〃 2
平安朝文法史	山田孝雄	〃 2
敬語法の研究	山田孝雄	〃 13
標準日本文法	松下大三郎	〃 13
國語國文法要義	小林好日	昭和 2
國語法概說	安田喜代門	〃 3
文法論	芳賀矢一遺著	〃 3
言語學的日本文典	岡澤鉦次郎	〃 5
解說日本文法	湯澤幸吉郎	〃 6
文法論と國語學	三矢重松遺著	〃 7

辭書

書名	著者	年代
言海	大槻文彥	明治22
日本大辭林	物集高見	〃 27
ことばの泉	落合直文	〃 31
辭林	金澤庄三郎	〃 40
能樂大辭典	正田章次郎	〃 41
新撰俳諧辭典	岩本・宮澤	〃 42
大日本國語辭典	上田萬年・松井簡治	大正4-8
ローマ字で引く國語辭典	上田萬年	〃 4
ABC引日本辭典	井上吉次郎	〃 6
萬葉集辭典	折口信夫	〃 8
言泉	落合・芳賀	大10—昭4
新式辭典	芳賀矢一	〃 11
廣辭林	金澤庄三郎	〃 14
元祿文學辭典	佐藤鶴吉	昭和 3
日本古語大辭典	松岡靜雄	〃 4
新辭典	藤村作	〃 4
近松語彙	上田萬年・樋口慶千代	〃 5
大言海	大槻文彥	〃 7—

【備考】略字 (1) BEFEO=Bulletin de l'Ecole Française d'Extrême-Orient, Hanoi.
(2) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

凡例

1. 本表ハ國文學ノ外國語ニ飜譯セラレタルモノノ集錄ヲ主眼トナスモ其ノ他ノモノニテ國文學ニ關係深キモノハ「文學史研究等」欄ニ記入セリ。
2. 配列ハ原作成立年代順ニヨリ英・獨・佛・露語等言語別ニ一括シタリ。
3. 飜譯ナラザルモノ（梗概紹介等）ハ上記ノ言語別ニ分チ發行年代順トセリ。
4. 露語ノ羅馬字書キハ活字ノ關係上英語式ニヨレリ、ch, sh, j 等ハ皆英語風ニ讀マレタシ、又 y ハ場合ニヨリ露語特有ノ母音ヲモ示ス、kh ハ獨語 ach, ch ノ如キ音ヲ表ハス、又 ' 符ハ其ノ前ノ音ノ硬口蓋化ヲ示スモノナリ。
5. 飜譯書名未詳ナルモ原作成立年代判明セルモノ及ビ原作發表年代未詳ナルモ飜譯書名判明セルハ記入シ置キタリ。
6. 分類ハ嚴密ナルモノニアラズ、便宜ニ從ヘルモノ多シ。
7. 誤脫多カルベシ、切ニ大方諸賢ノ御敎示ヲ仰グ。

	詩歌	物語・小説	戲曲	隨筆・日記・評論	文學史・研究等
大和	萬葉 Manyōshū T. Okasaki. 明治 32-33 The Orient Hansei Zasshi transformed Vols. 14. & 15. The Manyoshu J. Ingram Bryan. 大正 2-3 The Japan Magazine. Vol. 4. Some Lyrics from the Manyoshu MacWellon, 昭和 6 English Society Review. Gedichte a. d. Zentausend Blätter A. Pfizmaier. 明治 5 Man-jeô-siù A. Pfizmaier. 明治 5 Denkschriften d. Philos.-Histor. Classe d. Kais. Akademie. Bd. 21. Die Gedichte Hitomaro's aus dem Manyōshū Alfred Lorenzen. 昭和 2 Hamburg Man-yeo-siu Warau imamura. 明治 7 Compte-Rendu du Congrès International des Orientalistes à Paris en 1873. Nr. 1. Man-yô-siù Masanobu Matunami. 明治 18-21 Memoires de la Société des études jap. etc. Nr. 4. & 7. Manyôsiû J. L. Pierson 譯 Book I 昭和 4 Leyden 〃 II 〃 6 〃 〃 III 〃 8 〃 Tanka'oj el Manjoosûu 三宅史平 昭和 3 La Revuo Orienta. Jaro. 8.	神話傳說 Myths and Legends of Japan F. H. Davis. 大正 1 London A Story of Hikohohode-mi no Mikoto 馬場武義 明治 29 明輝社 Zu der Sage von Fo-wo-de-mi-no Mikoto August Pfizmaier. 慶應 3 Kais. Akademie d. Wissensch. Philos.-Hist Classe Sitzungsb. Bd.55. Zu der Sage von Owo-kuni-nushi A. Pfizmaier. 慶應 3 Kais. Akademie d. Wissensch. Philos.-Hist. Classe Sitzungsb. Bd.54. Mythen en legenden van Japan B. Goudsmit. 大正 6 Voor Nederland bewerkt. B. Goudsmit 2. 古 Kojiki Bacil Hall Chamberlain. 明治 15 Chrysanthemum. Vol. 2. Kojiki or Records of Ancient Matters B. H. Chamberlain. 明治 16 TASJ.Vol. 10. Kojiki B. H. Chamberlain. 明治 39		祝詞 Ancient Japanese Rituals Part I. & II. Ernest Mason Satow. 明治 12 同 Part III 明治 14 Ancient Japanese Rituals Karl Florenz. 明治 32 Asiatic Society of Japan Ancient Japanese Rituals Part 1-3 - Earnest Mason Satow. 〃 4 - Karl Florenz. 昭和 2 TASJ. ReprintsVol. 2.	［文學史］ A History of Japanese Literature W. G. Aston. 明治 32 昭和 5 New York & London Geschichte d. Japanischen Literatur Karl Florenz. 明治 38 Leipzig Geschichte d. Japanischen National Literatur Tomitsu Okasaki. 大正 11 Leipzig La Littérature historique du Japon des origines aux Ashikaga Cl. E. Maistre. 明治 36 BEFEO. Nr. 3. Die japanische Literatur im Spiegel der Geschichte Kressler. 昭和 3 Deutsche Gesellschaft für Natur-und Völkerkunde Ostasiens, Nachrichten aus der Gesellschaft. Bd. 16. 1928. 日本文學概說 Yaponskaya literatura v obraztsakh i ocherkakh N. J. Konrad. 昭和 2 Leningrad An Outline History of the Japanese Drama F.A. Lombard. 昭和 3

時代 (一)

El ,, Man-joo " kaj c. t.
小泉 潔
昭和 5
La Revuo Orienta. Jaro. 11.

萬葉梁塵秘抄 Some Poems from the Manyoshu and Ryojin Hissho
Arthur Waley.
大正 10
Journal of the Royal Asiatic Society of Great Britain & Irland.1921.

萬葉・古今

Ancient Japanese Poetry
明治 3
Westminster Review. Oct. 1870.

The Plum in Japanese Poetry
齋藤秀三郎
明治 43
The Japan Magazine. Vol. 1.

Japanese Poetry : the " Uta "
Arthur Waley.
大正 8 London

Moons of Nippon
Edna Worthley Underwood.
大正 8 Chicago

Little Poems from Japanese Anthology
Evaleen Stein.

Japanische Dichtungen
Karl Florenz.
明治 27 Leipzig

Dichtergrüsse aus dem fernen Osten
Karl Florenz.
明治 31 Leipzig

Die japanische Dichtung
Otto Hauser.
Brandes. G., hrsg. Die Literatur. Bd. 5.

Anthologie Japonaise
L. de Rosny.
明治 4

和歌集 Poetical Greetings from the Far East
萬葉, 神樂歌, 催馬樂, 古今, 現代の歌
Arthur Lloyd.
明治 30 東京

和漢名家英譯詩歌集 Open Seasame
萬葉, 古今, 俳句, 民謠等
村山敏雄
明治 36 東京堂, 博文館

原文對照英譯詩歌集 Flowers of the Orient
河上 清
明治 39 東京

事記

Kojiki
B. H. Chamberlain.
昭和 3 世界文庫刊行會

The Story of Ancient Japan or Tales from the Kojiki
磯邊彌一郎
昭和 3 三角社

Futono Yaçu-Maro, Ko-zi-ki ou Furu-kotono-bumi
L. Metchnikoff.
明治 13 Genève

Ko-zi-ki
L. de Rosny.
明治 16
Publications de l'Ecole des langues orientales vivantes. 2nd Ser. Vol. 9.

Japana Mito Laŭ Kojîki
岡本好次
大正 14-15
La Revuo Orienta. Jaro. 6. & 7.

日本書紀

Nihongi
W. G. Aston.
明治 29 London

Nihongi
Karl Florenz.
明治 25-27
M D Ges Ostasien. 1892-94

同
同
明治 36 東京

Le Nihongi
L. de Rosny.
明治 17 Paris

A Classical Literature
C. A. White.
明治10 New York

The Popular Literature of Old Japan
C. Pfoundes.
明治14
Transactions Royal Society of Literature. 1881.

The Classical Literature of Japan
W. G. Aston.
明治 32
TPJS. Vol. 4.

Erklarungen zu den Nachrichten von der Ankunft Fiko-fo-no-ni-ni-gi-no Mikoto's in Japan
A. Pfizmaier.
明治 2
Kais. Akad. d. Wissensch. Phil.-Hist. Classe. Denksch. Bd. 16.

Die Literatur Alt-Japans
A. Baumgartner.
明治 30
Stimmen aus Maria-Laach. Bd. 52.

Sur l'ancienne littérature japonaise
Masanobu Matunami.
明治 18
Mémoires de la Société des études japon. Nr. 4.

Eary Japanese Poetry and Romance
F. V. Dickins.
大正 2

Ancient Japanese Poetry
Westminster Review. Vol. 94.

Sur des Livres Japonaises
山田菊子
大正 14 Paris

Die Seele Japans
L. H. Schütz.
昭和 4

【備考】 略字 (1) M D Ges Ostasien=Mitteilungen der Deutschen Gesellschaft für Natur-und Volkerkunde Ostasiens, Tōkyō.
(2) TPJS=Transactions and Proceedings of the Japan Society, London.

大 正 時 代 (二)

〔詩 歌〕

著名歌人集 The Master Singers of Japan
萬葉, 古今, 土佐日記, 平家物語中の和歌, 蟬丸, 西行, 實朝の歌 俳句 (守武, 貞德, 芭蕉) 契沖, 宣長 明治天皇御製等
Clara A. Walsh.
明治 43 London

英譯和歌集 Songs of Japan Translated
雜歌, 相馬御風, 稅所敦子
Arthur Lloyd.
大正 2
Open Court. Vol. 27.

和歌集 The Daybreak
額田王, 大伴坂上郎女, 笠女郎, 小野小町, 伊勢, 紫式部, 和泉式部, 赤染衞門, 式子内親王, 宮内卿, 建禮門院右京大夫, 園女, 千代女, 佐文子, 野村望東尼, 大田垣蓮月, 高畠式部, 稅所敦子, 與謝野晶子等
豐田 實
大正 8

日本の詩歌 Japanese Poetry
記紀歌謠, 萬葉, 古今, 百人一首, 俳句 (芭蕉, 鬼貫, 千代女)等
Curtis Hidden Page.
大正 12 Boston & New York

日本詩歌の精髓 The Spirit of Japanese Poetry
阿倍仲麿, 參議篁, 紀友則, 壬生忠見, 平兼盛, 西行法師, 式子内親王, 殷富門院大輔, 後京極攝政太政大臣, 入道前太政大臣, 二條院讚岐, 嵐雪, 其角, 蕪村, 芭蕉, 若菜集, 朝顔日記の一節
野口米次郎

和歌集 Japanischer Frühling
雄略天皇, 萬葉(11), 古今(14), 額田皇子, 人麿, 憶良, 赤人, 虫麿, 家持, 僧正遍昭, 業平, 友則, 伊勢, 貫之, 和泉式部 西行, 兼盛, 宣長等
Hans-bethge.
明治 44 Leipzig.

〔物 語 · 小 說〕

戲曲

〔隨 筆 · 日 記 · 評 論〕

Japanische Volkslieder und Sagen
Anna Schwabacher-Bleichröder.
昭和 4
Japanische-Deutsche Zschr. Neue Folge. Bd. 1.

Golden Legends of Old Japan
Mary Saiki.
昭和 4 Boston

Man-yô-Shû
下位春吉
大正 9-10
Sakura. Nr. 1.

〔文 學 史 · 研 究 等〕

Altjapanische Lyrik
明治 41
Grenzboten. Bd. 67.

Altjapanisch Lyrik
大正 1
Die Wage. Bd. 14.

Etwas über altjapanische Lyrik
E. V. Zenker.
明治 45
Die Wage. Bd. 12.

La poësie archaïque du Japon
Karl Florenz.
明治 36
Compte-Rendu du Congrès International des Études d' Extrême Orient à Hanoi. 1902. Nr. 1.

Poèmes du Vieux Japon
Baronesse de Brimont.
大正 15
Revue des Arts Asiatiques. Nr. 3.

A Literary Lady of Old Japan
T. A. Purcell. & W. G. Aston.
明治 21
TASJ. Vol. 16.

Altjapanische Frauenlyrik
E. V. Zenker.
大正 13
Freie Welt Bd. 4.

Tales of Old Japan
A. B. Mitford.
明治 4 London
同 16 十字屋

On Some Japanese Legends
C. W. Goodwin.
明治 8
TASJ. Vol. 5.

Ein altjapanischer Roman
J. D. Gennerich.
明治 45 Hamburg

平安時代（一）

詩歌

六歌仙 The Rokkasen
秋山愛三郎
明治 27　東京

古今

The Kokinshu
Ariel.
大正 1-2
The Japan Magazine. Vol. 3.

Early Japanese Poets
若目田武次
大正 11　London

Altjapanische Frühlingslieder aus der Sammlung Kokinwakashu
R. Lange.
明治 17　Berlin

Sommergedichte aus der Sammlung Kokinwakashu
R. Lange.
明治 24
Toung Pau. Bd. 2.

Altjapanische Winterlieder aus dem Kokinwakashu
A. Gramatzky.
明治 25
Toung Pau. Bd. 2.

Die altjapanische Jahreszeitenpoesie aus dem Kokinshu
Alexander Chanoch.
昭和 2
Asia Major. Bd. 4. 1927.

同
昭和 3　Leipzig.

Altjapanische Liebespoesie aus dem Kokinshû
Alexander Chanoch.
昭和 5
Asia Major. Bd. 6. 1930.

Nocturnes japonais
Claude Maitre.
大正 12
Japon et Extrême Orient. Nr. 1. 1923.

Quelques Poésies d'Amour extraites du Kokinshu
D. Fedtchenko.
昭和 3
Revue des Arts Asiatiques. Nr. 5.

物語・小説

古語拾遺 The Kogoshui or Gleanings from Ancient Stories
加藤玄智・星野彦四郎
大正 13　明治聖徳記念學會

竹取物語

Taketori no Okina no Monogatari (Story of the Old Bamboo Hewer)
F. V. Dickins.
明治 20
Journal Royal Asiatic Society London New Series. Vol. 19.

The Old Bamboo-Hewer's Story (Taketori no Okina Monogatari)
Victor Dickins.
明治 21　London

The Taketori Monogatari
Ariel.
大正 1-2
The Japan Magazine. Vol. 3.

Taketori Monogatari
R. Lange.
明治 12　横濱

La légende du Také Tori
吉田義靜
明治 30-31
The Far East. Tokyo, 1897-98. Vols.2. & 3.

Taketori Monogatari (la fiala del Nonno Tagliabambù)
A. Severini.　Firenze.

Doch Luny
A. Tsvetinovich.
大正 3
Mir prikl'ucheniy. No. 10. 1915.

Taketori Monogatari
O. Pletner.
大正 13
Vostochnye sborniki. No. 1. 1924.

あそび Asobi
竹取物語
住吉物語
Paul Kuhnel.
大正 12
Meisterwerke Orientalischer Literaturen. Bd. 6.

伊

Aufzeichnungen aus dem Reiche I-se
August Pfizmaier.
明治 9
Sitzungsberichte der Phil.-Hist. Classe der Kais. Akademie der Wissenschaften. Bd. 83.

戲曲

隨筆・日記・評論

土佐日記

An Ancient Japanese Classic "The Tosa Nikki" or Tosa Diary　紀貫之
W. G. Aston.
明治 11
TASJ. Vol. 3.

Logs of a Japanese Journey from the Province of Tosa to the Capital
F. B. Harris.
明治 24　Meadville.

Tosa Nikki
F. B. Harris.
明治 43　敎文館

The Tosa Diary
William N. Porter,
明治 45　London

Tosa Nikki by Tsurayuki
Flora Best Harris.
明治 45—大正 2
The Japan Magazine, Vol. 2.

Das Tossa Nikki
A. v. Bosse.
大正 12

枕草

Makura-no-Soshi　清少納言
Arthur Waley. London
昭和 3

The Sketch Book of the Lady Sei Shonagon
小林信子
昭和 5
The Wisdom of the East Series.

Die aufzeichnungen der Japanischen Dichterin Sei-Seô-Na-Gon
A. Pfizmaier.
明治 8
Sitzungsberichte d. Philos. Hist. classe d. Kais. Akademie. Bd. 81.

研究等

Die aufzeichnungen der japanischen Dichterin Sei Seô-na-gon
August Pfizmaier.
明治 9
Kais. Akad. d. Wissensch. Phil.-Hist. Classe Denksch. Bd. 81.

Der schöne Narihira
O. Hauser.
明治 44
Tou und Wort. Bd. 1.

Note sur la poëtesse Ko-mati
L. de Rosny.
明治 20
Mémoires de la Société des études jap. etc. Nr. 6.

Prugno Rasso (鶯宿梅)
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 1

Dreams from China and Japan
駒井權之助
大正 7　London.

Ise Monogatari
J. Ingram Bryan. & N. Nagai.
大正 2
The Japan Magazine. Vol. 3.

Ise Monogatari
J. Isozaki.
大正 15
La Revuo Orienta. Jaro.7

The Genji Monogatari
J. Ingram Bryan.
明治 44-45
The Japan Magazine. Vol. 2.

【備考】略字 (1) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

【備考】 略字 (1) 日本エス學會＝日本エスペラント學會
(2) TASJ＝Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

平安

〔詩　歌〕

Pesni Yamato (Tanka)
A. E. Gluskina.
大正 15　Leninrgad

Sword and Blossom Poems
古今集, 楠木正行, 武田信玄, 上杉謙信
太田道灌, 德川光圀, 僧清狂. 頼山陽,
蓮月尼等
木村正太郎 & Charlotte Peak.
明治 41　東京

Poemas Japoneses
Gutiérrez Alfaro.
昭和 3

蜻蛉集 Poemes de la Libelluer
貫之, 躬恒, 興風, 千里, 重之, 業平,
紫式部, 清輔等
Judith Gautier. & 西園寺公望
明治 17　Paris

僧侶の和歌 Poems by Buddhist Priests of Japan
Arthur Lloyd.
明治 45
Open Court. Vol. 26.

綠葉集 Verde Parnaso
俳句—芭蕉, 蕪村, 一茶, 子規, 青々
和歌—貫之, 僧正遍照, 後醍醐天皇,
伏見天皇, 啄木
萬葉集—額田王, 大津皇子, 石川郎女,
赤人, 憶良, 大伴卿, 人麿
昭和 7　日本エス學會

〔物　語 ・ 小　說〕

伊勢物語

Das Ise Monogatari
F. Rumpf.
昭和 7　Berlin

Une scene de l'Ise Monogatari
大正 12
Japon et Extrême Orient. Nr. 1. 1923.

Ise Monogatari
I. Konrad.
大正 12　Petrograd

大和物語 Yamato Monogatari
B. H. Chamberlain.
明治 11
TASJ. Vol. 6.

源氏物語

Genji Monogatari 紫式部
(桐壺—繪合)
末松謙澄
明治 14　丸善
同　15　London
同　30
Hansei Zasshi. Vol. 12.

Parting (賢木の一部)
Oswald White.
大正 11
TASJ. Vol. 50.

Arthur Waley. 譯 源氏物語
I　The Tale of Genji
(桐壺—葵) 大正 14　London
II　The Sacred Tree
(賢木—松風) 〃 15　〃
III　A Wreath of Cloud
(薄雲—野分) 昭和 2　〃
IV　Blue Trousers
(行幸—幻) 〃 3　〃
V　The Lady of the Boat
(匂宮—宿木) 〃 7　〃
VI　The Bridge of Dreams
(宿木(續)·夢浮橋) 〃 8　〃

Die Abenteuer des Prinzen Genji
Maximilian Müler-Jabufch.
明治 44　München

Die Genji Monogatari
M. W. de Visser.
大正 7

Le Roman de Genji Nr. 5.
昭和 3　Paris

〔戲曲〕

〔隨　筆・日　記・評　論〕

枕草紙

Une Poétesse japonaise et son oeuvre
石川　剛
明治 43
Bulletin Société Franco. Japonaise. Nr. 18.

Les Notes de l'oreiller
松尾邦之助 & Steinilber-Oberlin.
昭和 3　Paris

和泉式部日記 和泉式部
Erklarung des Tagebuches Idzumi-Siki-Bu
August Pfizmaier.
明治 18
Denkschriften d. Philos.-Hist. classe d. Kais. Akademie. Bd. 35.

宮廷女流日記文學
Diaries of Court Ladies of Old Japan
菅原孝標女—更級日記
紫式部—紫式部日記
和泉式部—和泉式部日記
大森安仁子 & 土居光知
大正 9　Boston

〔研　究　等〕

Neuere japanische Erzahlungsliteratur
A. Lloyd.
明治 37
Die Wahrheit. Bd. 5.

Worterbuch zur alt-japanischen Lieder-sammlung Kokinshū
K. Florenz.
大正 14
Abhandlungen aus dem Gebeit der Auslands-kunde. Bd. 18.

時代（二）					
		Becherniy lik (Yugao) N. Konrad. 大正 14 Bostok. No. 5. 1925. 扶桑拾葉集 Fu-sò-siû-jeô-siù (伊勢家集の內) August Pfizmaier. 明治 4 Sitzungsberichte d. Philos.-Hist. Classe de Kais. Akademie. Bd. 67. Fu-sò-siû-jeô-siù A. Pfizmaier. 明治 13 Denkschriften d. Philos.-Hist. Classe d. Kais. Akademie. Bd. 31.			

【備考】 略字 (1) MD Ges Ostasien=Mitteilungen der Deutschen Gesellschaft für Natur-und Völkerkunde Ostasiens, Tōkyō. (2) Ostasiatische Zschr=Ostasiatische Zeitschrift (3) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

鎌倉室

詩歌

百人一首

H'yak-Nin Is'shiu
A Medical Officer of the Royal Navy
慶應 1
Chinese, Japanese Repository. Vol. 3.

Hyaku Nin Is'shu
F. V. Dickins.
慶應 2　London

Hyaku-nin-isshu
F. V. Dickins.
明治 31

Hyakunin-isshu
Clay MacCauley.
明治 32　Asiatic Society of Japan.

A Hundred Verses from Old Japan
William N. Porter.
明治 42　London & New York

A Translation of the Japanese Anthology Known as Hyakunin Isshiu, or Hundred Poems by a Hundred Poets
F. V. Dickins.
明治 42
Journal of the Royal Asiatic Society. 1909.

Gems of Japanese and Chinese Poetry Translated Line for Line into English
齋藤秀三郎
明治 43　興文社

Die Lieder der hundert Dichter
P. Ehmaun.
明治 32
M D Ges Ostasien. Bd. 7.

物語・小説

宇治拾遺物語 Some Tales from the Uji Shui Monogatari
Miss. S. Ballard.
明治 33
TASJ. Vol. 28.

保元物語 Hogen Monogatari
E. R. Kellogg.
大正 6
TASJ. Vol. 45.

平家物語

The Heike Monogatari
A. L. Sadler.
大正 7
TASJ. Vol. 46.

The Heike Monogatari from Vol. VI, Chapter VIII to the End.
A. L. Sadler.
大正 10
TASJ. Vol. 49.

Heike Monogatari
F. Turrettini.
明治 4
Atsume Gusa. Vol 1.
(あつめ草)

Nit-pon-Gwai-si (Second part of Heike Monogatari)
F. Turrettini.
明治 7-8
Atsume Gusa. Vol. 3 & 4.
(あつめ草)

La mort d' Atu-mori
C. Valenziani.
明治 24-26　Genève

Épisodes du Heiké Monogatari
Suéo Goto, & M. Prunier.
昭和 3
Journal Asiatic. Vol. 213.

太

Dai-hei-ki
C. Valenziani.
明治 7-8
Atsume Gusa. Vols. 2.&3.
(あつめ草)

戯曲

謠曲

安宅 The Kanjinchō
Yoshitaro Negishi.
明治 29
The Far East. Vol. 1.

一角仙人 Monoceros the Rishi (Ikkaku Sennin)
和田垣謙三
明治 31
The Far East. Vol. 3.

隅田川 The Sumida River
櫻井博士
明治 43-44
英語青年 Vol. 23.

Plays of Old Japan
求塚, 景清, 隅田川, 田村
Marie C. Stopes. & 櫻井錠二
大正 2　London
昭和 2

日本能舞 The No Plays of Japan
敦盛, 生田, 經政, 熊坂, 烏帽子折, 景清, 橋辨慶, 鉢木, 卒都婆小町, 鵺司, 綾鼓, 葵上, 邯鄲, 放下僧, 羽衣, 谷行, 生贄, 鵜, 初雪, 白樂天, 井筒, 花筐, 女郎花, 松風, 俊寬, 海女, 竹雪, 鳥追, 丹後物狂, 一角仙人, 山姥, 佛原, 融, 舞車, 熊野, 杜若, 狂言一餌差十王
Arthur Waley.
大正 10

鉢木 Hachinoki
皆川正禧
大正 14-15
The Young East. Vol. 1.

山姥 The Mountain Dame
皆川正禧
大正 15
The Young East. Vol. 2.

松風村雨
野口米次郎
大正 7
英語文學

松風 Matsukaze
D. F. Waugh.
大正 15
TASJ. 2nd Series. Vol. 3.

橋辨慶 Hashi Benkei
H. Wada.　東京

隨筆・日記・評論

A Translation of Hojio-ki 鴨長明
夏目漱石
明治 24
漱石全集 Vol. 20.

方丈記

A Japanese Thoreau of the XIIth century
南方熊楠 & F. Victor Dickins.
明治 38
Journal of the Royal Asiatic Society. 1905.

Ho-Jo-Ki
F. V. Dickins.
明治 40　London

Ho-Jo-Ki (Notes from a Ten Foot Square Hut)
F. V. Dickins.
大正 10
Gowan's International Library. No. 15.

A Description of My Hut
J. M. Dixon.
大正 14
TASJ. Reprints Vol. 1.

方丈記, 平家物語
The Ten Foot Square Hut and Tales of the Heike
A. L. Sadler.
昭和 3

Eine Kleine Hütte
Daiji Ichikawa.
明治 35　Berlin

Aufzeichnungen in einer Kleinen Hütte (Hôjôki)
Alexander Chanoch.
昭和 5
Ostasiatische Zschr. N. F. Jg. 6.

獨譯方丈記
下野遠光

研究等

Notes on the Japanese Drama
Arthur Lloyd.
明治 41
TASJ Vol. 35.

Translations from the "No"
G. B. Sansom.
明治 44
TASJ. Vol. 38.

Noh
E. F. Fenollosa. & E. L. Pound.
大正 6

The Nō
Arthur Waley.
大正 7-9

What is the Noh?
C. Dupont.
大正 9

The "Noh" Dance
Mark King.
大正 9-11
The Japan Magazine. Vol. 11.

Some Observation on the Noh Drama
野上豐一郎
大正 10-11
The Japan Magazine. Vol. 12.

Plays of Old Japan
L. Duran.
大正 10

謠曲の英譯
戸川秋骨
大正 13
英語青年 Vol. 50.

Note on the Names Kwanze, Kongo, etc.
Arthur Waley.
昭和 2
Ostasiatische Zschr. Bd.14.

Prose-Poem of the "No"
山本全一
昭和 3
The Japan Magazine. Vol. 18.

町 時 代 (一)

Distiques populaires de Nippon
L. de Rosny.
明治 11
Mém. de la Soc. des études Japon, Chin. etc. Nr. 2.

Uta-garuta
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 1.

平記

Tai-fei-ki (Geschichte des grossen Friedens)
August Pfizmaier.
明治 9
Sitzungsberichte der Philos.-Hist. Classe d. Kais. Akademie. d. Wissenschaften. Bd. 83.

Tai-hei-ki
L. de Rosny.
明治 6 Paris.

住吉物語

The Sumiyoshi Monogatari
T. Paulett.
明治 34
TASJ. Vol. 29.

Monogatari-Tamayori Hime
D. Ishikawa, & A. Vogel.
明治 34 Berlin

御伽草子

日本之武士—そのほか
Warriors of Old Japan and Other Stories
御曹子島渡り，物臭太郎，浦島太郎等
Yei Theodora Ozaki.
明治 42

酒顚童子 The Story of Shiuten Dôji
F. V. Dickins.
明治 18
Journal Royal Asiatic Society Great Britain & Ireland, New Ser. Vol. 18.

安宅，船辨慶，櫻川
Translations of Ataka, Funa Benkei & Sakuragawa
G. B. Sansom.

"Noh" or Accomplishment
卒都婆小町，通小町，須磨源氏，熊坂，猩々，田村，經政，錦木，砧，羽衣，景淸，葵上，杜若，張良，弦上
Ernest Fenollosa. & Ezra Pound.

熊坂 Kumasaka the Robber
皆川正禧
昭和 2
The Young East. Vol. 2.

Certain Noble Plays of Japan
錦木，羽衣，熊坂，景淸
Ernest Fenollosa. & Ezra Pound.

松山鏡 Der Spiegel aus Matsuyama
巖谷小波
明治 39
Tägliche Rundschau. Beilage 229.

Japanischen Dramen
老松，松山鏡，曲部，曾根崎心中，菅原傳授手習鑑，きみこ（小泉八雲小説より）
Wolfgang von Gersdoff.
大正 15 Jena.

七騎落 Shichiki-Ochi
Hidenori Abe.
昭和 3
Ostasiatische Rundschau. Jahrg. 9.

忠信 Tadanobu
Hidenori Abe.
昭和 3
Dis Brücke. Jahrg. 4.

夕顔 Yugao
Théodore von Rommel.
昭和 4
Frauen der Liebe. Bd. 125.

Choix de pièces du théâtre lyrique japonais
Bd. 26—鞍馬天狗，弱法師，夜討曾我
Bd. 27—鶴龜（月宮殿），養老，景淸，井筒，藤戸
Bd. 29—八島，船辨慶，融，鷺
Renondeau.
昭和 2-4
BEFEO. Nr. 26, 27, & 29.

無名抄 "Nameless Selection" 鴨長明
Karel Jan Kora.
明治 40
TASJ. Vol. 34.

徒然草

In Floral Japan 兼好
K. Hori.
明治 38-39
Light of Dharma. Vol. 5.

From the Tsure-Dsure-Gusa
武信由太郎
明治 42
英語青年 Vol 18. No. 5. & 6.

The Tsuredzure Gusa of Yoshida no Kaneyoshi
G. B. Sansom.
明治 44
TASJ. Vol. 39.

The Miscellany of the Japanese Priest
William N. Porter.
大正 2 London

The Idle Thoughts of Recluse
若目田武次
大正 3 泰平館書店

The Journal of Kenkō
Herbert H. Gowens.
昭和 2
University of Washington Chapbooks. No. 11.

The Harvest of Leisure
Ryukichi Kurata.
昭和 6
Wisdom of the East Series.

Aphorismen aus dem Tsurezuregusa des Yoshida Kenkô
W. Gundert.
昭和 4
Yamato. Jahrgang 1.

おもひのまゝの日記 藤原良基
Werke aus den Zeiten der Zweitheilung Japans
August Pfizmaier.
明治 15

The No or Mask Play of Japan
野口米次郎
昭和 4
The China Journal. Vol. 10.

Masks and Dramas of Old Japan
S. Ichikawa.
昭和 4
Natural History. Vol. 29.

Nōgaku, Japanese Nō Plays
B. L. Suzuki.
昭和 7
The Wisdom of the East Series.

Ein Klassisches Drama der Japaner
A. von Janson.
明治 39
Deutsche Rundschau. 33 Jahrg. Bd. 126.

Der Schintoismus in Japanischen Nô-Drama
Wilhelm Gundert.
大正 15
M D Ges Ostasien. Bd. 19.

Gedanken über das japanische No-Drama
Wilhelm Gundert.
昭和 2
Transactions of the Meiji Seitoku Kinen Gakkai. Vol. 27.

Le Nô Drame lyrique du Japon
Heikuro Miyamori.
明治 44
Bulletin de la Société Franco-Japonaise. Nr. 23. & 24.

Le Drame Lyrique japonais le Nô
A. Gérard.
大正 7
Bulletin Société Franco. Japonaise Nr. 40. & 41.

Le prêtre et son bourdon. (Nô)
大正 11
Bulletin Société Franco-Japonaise. Nr. 51.

【備考】 略字 (1) BEFEO=Bulletin de l' Ecole Française d' Extrême-Orient, Hanoi (2) MDGes Ostasien=Mitteilungen der Deutschen Gesellschaft für Naturund Völkerkunde Ostasiens, Tōkyō. (3) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

【備考】 略字 (1) BEFEO=Bulletin de l'Ecole Française d'Extrême-Orient, Hanoi.
(2) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.
(3) TPJS=Transactions and Proceedings of the Japan Society, London.

鎌倉室町時代 (二)

〔詩歌〕

〔物語・小說〕

↓

狂言十五番 15 Kyogen
子盜人, 茶壺, 柿山伏, 井礑, 内沙汰, 以呂波, 三人片輪, 止動方角, 伯母酒, 末廣, 瓜盜人, 墨塗女, 胸突, 川上地藏, 靱猿
下位春吉
大正 9　Napoli

Farces japonaises
Nr. 4—惣八, 八尾地藏
Nr. 5—附子　墨塗女, 鎌腹
Nr. 6—骨皮, 花子
Nr. 7-8—仁王
Nr. 9—布施無
大正 12-13
Japon et Extrême Orient. Nr. 4. 5. 6. 7-8. 9.

神鳴 Kaminari (Thunder-God)
昭和 7
The Tourist. Vol. 20. No. 9.

韓座頭 Du Kripluloj
高石綱
昭和 7
La Revuo Orienta. Jaro. 13.

〔戲曲〕

El drama Lirico Japones
Las Danzas no Nogaku
羽衣, 隅田川, 景清, 仲光, 求塚
Francisco Rivas Vicuña.
大正 8　福田會

敦盛 Atsumori
F. R. Vicuña.
大正 10　東京

通小町 The Wooing of Komachi
皆川正禧
昭和 7
The Tourist. Vol. 20. No. 7.

狂言

狂言十番 Ten Kyogen in English
瓜盜人, 抜殼, 墨塗女, 井礑, 鬼楢, 狐塚, 伯母酒, 土産鏡, 仁王, 鬼瓦
野口米次郎
明治 40　東西社

瓜盜人
- The Melon Thief
Shigeyoshi Obata.
- The Melon Thief
津田梅子
大正 1-2
英語青年 Vol. 28.

三人片輪 The Three Deformed Men
津田梅子
大正 2
英語青年 Vol. 29.

狐塚 The Fox's Grave
Michio Itow. & Louis V. Ledoux.
大正 2
The Outlooks. Vol. 133.

二人大名 Ninin, Daimyo
大正 12
Tayfun. 1923 No. 1. (4)

花子 Hana-ko
大正 13
Querschnitt. Bd. 4.

↓

〔隨筆・日記・評論〕

熊野紀行　釋增基
Kuma-no-no-ki-gio
August Pfizmaier.
明治 4
Sitzungsberichte d. Philos.-Histor. Classe d. Kaiserl Akademie. Bd. 68.

富士紀行(後半)　堯孝
Die Reise zu dem Berge Fu-Zi
August Pfizmaier.
明治 13
Sitzungsberichte d. Kais. Akademie d. Wissenschaften. Philos.-Hist. Classe. Bd. 96.

↓

道灌と山吹
Tristi sono i fiori di Yamabuki
下位春吉　大正 9
Sakura. Nr. 1.

Notes on Kamo Chomei's Life and Work
Karel Jan Hora
明治 39
TASJ. Vol. 34.

淨瑠璃十二段草子
Jōruri Gozen Junidan-zoshi
R. Kunze.
明治 39
Die Wahrheit. Bd. 7.

謠曲硏究
Études sur le drama lyrique japonais
I. 能の研究
II. 老松
III. 敦盛
IV. 卒都婆小町, 大原御幸, 綾鼓
V. 三輪, 田村, 江口, 礎, 松山鏡
Noël Peri.
明治 42—大正 9
BEFEO.

Tai-hei-ki
C. Valenziani.
明治 6　羅馬

〔研究等〕

Le Nô
F. Challaye.
昭和 2
Revue de Paris. Jahrg. 34.

Le Livre de Nô
Steinilber-Oberlin. & 松尾邦之助
昭和 4

英和對譯狂言
第四卷—草紙洗, 賺, 放下僧, 墨塗, 伯母酒
第五卷—成陽宮, 松風, 國栖, 道成寺, 安宅
雜誌社同人
能樂　第四・五卷

Some Comic Medieval Plays of Japan
Oswald T. Tuck.
大正 13 TPJS. Vol. 21.

Un Kyôgen
下位春吉 & Rodolfo Vingiani.
大正 9 Sakura. Nr. 1.

Kyôgen
下位春吉　大正 9
Sakura. Nr. 1.

小栗判官一代記
Tales of the Samurai. Oguri Hangwan ichi-daiki
J. S. Bennivelle.
大正 4　橫濱

英文史劇, 楠公父子訣別
The Loyal Kusunoki
水戸部茂野
大正 8　大鐙閣

Shizouka
山田菊子　昭和 4　Paris

俊寬僧都物語
The Story of Shunkan
岡田千代　昭和 5
The Tourist. Vol. 18. No. 3.

七騎落
Shichiki Ochi
建石治左衛門
昭和 5
The Tourist. Vol. 18.

↓

江戸時代 (一)

詩歌

四季の俳句
A Year of Japanese Epigrams
宗鑑，守武，紹巴，貞德，貞室，宗因，季吟，芭蕉，來山，其角，丈草，去來，嵐雪，許六，野坡，越人，凡兆，尚白，曾良，信德，乙由，野水，支登，也有，古道，奇仙，露沾，園女，秋色，千代，蕪村，召波，太祇，蓼太，闌更，白雄，一茶，大江丸，士朗，素丸，五朗，適月，子規，鳴雪，漱石，井泉水，青々，月斗，碧梧桐，左衞門，句佛，甲山，曲翠，成美，道彥，舟泉，別天樓，花叟，蛾眉，北枝，鶴女，瓊音等
William N. Porter.
明治 44 London

發句 Japanese Hokkus
蕪村，嵐雪，芭蕉，紀友則，西行
野口米次郎
大正 9 Boston

近松とシエークスピヤ並傑作俳句の英譯
一休，守武，貞德，貞室，季吟，信長，秀吉，家康，芭蕉，其角，丈草，嵐雪，支考，許六，北枝，越人，凡兆，凉菟，信德，乙州，乙由，流水，千代，蕪村，太祇，一茶，泥芹，士朗，紋水，貝錦，子規，漱石，墨水，素堂，鬼貫，
宮森麻太郎
昭和 4 同文社

英譯古今俳句一千吟
OneThousand Haiku, Ancient and Modern
芭蕉以前の俳壇
定家，智蘊，宗鑑，守武，紹巴，貞室，宗因，季吟，一休，卜養等
元祿の俳壇
芭蕉，其角，丈草，去來，嵐雪，支考，許六，松風，野坡，北枝，越人，智月尼，千代，諸九尼等

物語・小說

胡蝶 The Emperor Go-Mizuno-In's Kocho
W. L. Sadler.
大正 11 金尾文淵堂

醒醉笑 Dal "Sei-Sui-Shô"
安樂庵策傳
下位春吉 & R. Vingiani.
大正 9
Sakura. Nr. 1.

好色五人女 西鶴
Die Geschichte von Taruya Osen
昭和 5
Yamato. Jahrgang 2.

雨月物語

青頭巾
The Blue Hood
Alf. Hansey.
昭和 2
The Young East. Vol. 2. 1927.

Blua Kufo
村上知行
昭和 3
La Revuo Orienta. Jaro. 9.

蛇性の婬
Manago the Serpent
H. Tarao.
昭和 2
The Young East. Vol. 3, 1927.

Amo de Serpento
村上知行
昭和 3
La Revuo Orienta. Jaro. 9.

吉備津の釜 The Kettle of Kibitsu
伊藤鎮
昭和 4
The Tourist. Vol. 17.

和荘兵衞
Wasaubiyauwe, the Japanese Gulliver
B. H. Chamberlain.
明治 12
TASJ. Vol. 7.

戯聞鹽
Two Wives Exchange Spirit and Other Tales 馬琴
戯聞鹽梅餘史，烹雜記，靑砥藤綱

戲曲

淨瑠璃物語 Tales from Old Japanese Dramas
紀海音一小野小町都年玉
近松柳一繪本太功記
近松半二一お染久松新版歌祭文
並木宗輔一一谷嫩軍記
山中案山子一朝顏日記
近松德三一箱根靈現躄仇討
平賀源内一神靈矢口渡
近松門左衞門一國性爺合戰
宮森麻太郎
大正 4

英譯近松傑作集 近松門左衞門
Masterpieces of Chikamatsu, the Japanese Shakespeare
おさん茂兵衞戀八卦柱暦
娘歌加留多
梅川忠兵衞冥土の飛脚
心中天の網島
博多小女郎浪枕
國八州繋馬
宮森麻太郎 & Nichols.
大正 15 London

曾根崎心中 (韻文譯)
橘健二
大正 14
La Revuo Orienta Jaro. 6.

博多小女郎浪枕 近松門左衞門
The Love of Soshich and Kojoro
蘆川忠雄
昭和 4
The Tourist. Vol.17. No.4,6.

心中宵庚申 近松門左衞門
The Story of "Shinju Yoigoshin"
岡田千代
昭和 5
The Tourist. Vol.18. No.8.9.

菅原傳

Terakoya or the Village School 竹田出雲
井上十吉
明治 2 東京

松の木 The Pine-tree
M.C. Marcus.
大正 5 London

隨筆・日記・評論

折焚く柴の記
Autobiography of Arai Hakuseki
G. W. Knox.
明治 35
TASJ. Vol. 30.

駿臺雜話 室鳩巢
From the "Shundai Zatsuwa"
愚公の山一Vol. 18. No. 7&9
杉田壹岐一Vol. 21. No. 2. 3. 4.
武信由太郎
明治 42
英語青年

鳩翁道話 柴田亨
Kiu-ô Dau-wa
Ch. de Montblanc.
明治 11
Mémoires de la Société des études jap. etc. Nr. 2.

士規七則 吉田松陰
Seven Articles of Samurai's Code
武信由太郎
明治 41
英語青年 Vol. 18. No. 34.

研究等

Basho and Japanese Poetical Epigram
Basil Hall Chamberlain.
明治 35
TASJ. Vol. 30.

Japanese Epigrams
Arthur Lloyd.
明治 45
Open Court. Vol. 26.

Beitrag zur Kenntniss der aeltesten japanischen Poesie
A. Pfizmaier.
嘉永 2
Sitzungsberichte d. Philos.-Hist. Classe der Kais. Akademie. Bd. 3.

Epigrammes Japonaises ou choix de Pièces Fugitives des Poètes de l'ancien Japon
Renée de Brimont.
大正 15

Senryû
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 1.

Kazuma's Revenge
尙榮堂

The Loves of Gompachi and Komurasaki
明治 25 尙榮堂

Short Sketch of Japanese Literature in Tokugawa Period
J. Yamagata.
明治 33
The Orient Hansei Zasshi transformed Vol. 15.

Un romancier japonais du XVII e siècle
Karl Florenz.
明治 36
Compte-Rendu du Ie Congrès International des Études d'Extrême Orient à Hanoi, 1902. Nr. 1.

【備考】略字 (1) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

【備考】略字 (1) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.
(2) MDGes Ostasien=Mitteilungen der Deutschen Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasien, Tokyo.

江戸

〔詩　　歌〕

天明 俳壇
蕪村, 几董, 太祇, 蓼太, 一茶, 星布女, 古友尼, 暁台等
明治 俳壇
子規, [illegible], 紅葉, 漱石, [illegible], 鳴雪等
昭和 俳壇
[illegible], 井泉水, [illegible], 鬼城, 東洋城, 蛇笏, 泊雲, 月斗, 四方太, 碧梧桐, 青嵐等
宮森麻太郎
昭和 5　同文社

傑作俳句英譯
No. 1. 蕪村(1) 無名氏(1) 子規(1) 芭蕉(1) 園水(1) 桃源(1) 一茶(2)
No. 3. 一茶(1) 芭蕉(8) 三允(1)
宮森麻太郎
昭和 6
Living English. Vol. 1.

芭蕉の俳句英譯
豐田 實
昭和 6　九大英文學會々報

俳句英譯
芭蕉(4) 蕪村(1)
西村 稠
昭和 6
英語青年 Vol. [illegible].

其角の俳句　其角
Les Haikai de Kikaku
松尾邦之助 & Steinilber-Oberlins.
昭和 2　Paris

川柳名句選　柄井川柳
Senryus; Short Witty Odes
成見延組・上床新助
大正 13　東京

獨文和歌集
Japanese Poesie
Karl Florenz.
明治 29　東京

Japanese Jingles
Mae St. John Bramhall.
明治 25

Three Popular Ballads
Lafcadio Hearn.
明治 27
TASJ. Vol. 22.

〔物　語・小　說〕

歴史その他

[illegible]
A. L. Gowans.
昭和 5
Gowans's International Library. No. 5.

The Tears of Same-bito
Yei Theodora Ozaki.
明治 43
The Japan Magazine. Vol. 1.

東海道中膝栗毛　十返舍一九
Hizakurige
Thomas Satchell.
昭和 4　Chronicle Press, Kōbe.

優曇華物語　山東京傳
Fortune's Wheel
昭和 3-4
The Japan Magazine. Vols. 18, 19, & 20.

善知鳥安方忠義傳　山東京傳
Der treu Ritter Uto Yasukata
明治 24
M D Ges Ostasien. Bd. 5.

三七全傳南柯夢　馬琴
Osan and Hanshichi
J. Ingram Bryan. & Shinichi Takaki.
大正 5-6
The Japan Magazine, Vol. 7.

雲妙間雨夜之月

A Captive of Love　曲亭馬琴
Edward Greey.
明治 19　Boston
同 44
Gowans's New Sixpenny Series. No. 4.

Kumo-no taje-ma ama-jo-no tsuki
August Pfizmaier.
明治 9-10
Sitzungsberichte d. Philolog.-Hist. Classe d. Kais. Akademie. Bd. 83. & 86.

In Liebesbanden
H. Werner.
明治 20　Stuttgart

夢想兵衛胡蝶物語　曲亭馬琴
Glimpses of Dreamland
L. Mordwin.

〔戲　　曲〕

授手習鑑

The Terakoya-School
A. H. Sakai.
昭和 3
The Young East. Vol. 4. 1928.

Terakoya (Die Dorfschule)
Wolfgang von Gersdorff.
明治 40　Leipzig

淨瑠璃, 菅原傳授手習鑑と朝顏日記
Japanischen Dramen, Terakoya und Asagao.
竹田出雲ー菅原傳授手習鑑
山田案山子ー朝顏日記
Karl Flornz.
明治 33　東京

假名手本忠臣藏

Chiushingura
F. V. Dickins.
明治 8　橫濱
明治 9　New York

Chiushingura or the Loyal Retainers of Akao
井上十吉
明治 28　東京

Chushingura 英文忠臣藏
井上十吉
明治 43　中西屋書店

Chiushingura or the Loyal League
F. V. Dickins.
明治 43
Gowans's New Sixpenny Series. No. 1.

ScenesfromChiushingura
和田垣謙三　東京

Vasallentreue
F.A.Junker von Langegg.
明治 13
Mizuho-Gusa. Vol. 1. (瑞穗草)

Tchou-Chin-Goura ou une Vengeance Japonais
Dousdebès.
明治 19　Paris

Tchûsin-goura ou "le trésor des vassaux fidelès"
信夫淳平
大正 7　大鐙閣

〔隨　筆・日　記・評　論〕

〔研　究　等〕

O-Sici
W. Sieroszewski.
明治 43
Gutenbergs Illustriertes Sonntagsblatt. Bd. 57.

Ballades et promenades
小督, 高尾, お七
山田菊子
大正 8　光琳堂

佐倉宗五郎之傳
The Ghost of Sakura
A. B. Mitford.
明治 25　東京

佐倉義民傳
Life of Sogoro
George Braithwaite.
明治 30　橫濱

Stories of O-Oka, Mayer of Yedo.
Yei Theodora Ozaki.
明治 43
The Japan Magazine. Vol. 1.

L'affaire Ten Ichi Bo
Roger Brylinski.
明治 43-44
Bulletin Société Franco-Japonaise. Nr. 18,19,20,21.

~~~~~~~~

The Old Japanese Drama
矢部八重吉
大正 11
The Tourist. Vol. 10. No. 6.

Ebara Saikaku
Ken Sato.
昭和 2

Intimate Tales of Old Japan
西鶴の評傳, 諸國話等
Harold Huggins. & Osam Shimizu.
昭和 4　東京

The Shakespeare of Japan
H. Kazumi.
大正 1-2
The Japan Magazine. Vol. 4.
~~~~~~~~

時代（二）

Yokohama Garland and Other Poems
A. E. Copard.
大正 15

民謠 Minyō, Folksongs of Japan
松原 巖
昭和 2　新生堂

明治 14-15
Chrysanthemum. Vols. 1&2.

常夏草紙　曲亭馬琴
Der Nebel der Klage (Nageki-no kiri)
August Pfizmaier.
明治 10-11
Denkschriften d. Philos.-Hist. Classe d. Kais. Akademie. Bd. 26 & 27.

糸櫻春蝶奇緣　曲亭馬琴
Strange Chances
若日田武次
大正 9-10
The Japan Magazine. Vols 9-11

四十八癖　式亭三馬
Shiju-Hakkuse
明治 45
大正 3
英語青年 Vols. 27 & 31.

綟手摺昔木偶　柳亭種彥
Lacquered Butterfries
昭和 2-3
The Japan Magazine. Vols. 17 & 18

浮世形六枚屛風
- 英文浮世形六枚屛風 柳亭種彥
  松園 茉
  明治 2
- Wandschirme
  August Phizmaier.
  弘化 4　Wien
- Komats et Sakitsi ou le recontre de deux nobles coeurs dans une pauvre existence (Uki yo gata roku mai byau bou)
  F. Turrettini.
  明治 8-9
  Ban Zai Sau. Vols. 2 & 3 (晚採草)
- Uomini e Paraventi
  A. Severini.
  明治 5　Firenze
- Komats and Sakiti
  A. Severini.
  明治 9-10
  Bolletino italiano degli studii orientali. Nr. 1.

↓

Tchou-Chin-Goura
A. Dousdebès.
明治 19　Paris.

伽羅先代萩
Sendaihagi
A. H. Sakai.
昭和 3
The Young East. Vol. 3.

一谷嫩軍記　Theatre japonaise, Atsumori
Arthur Arrivet.
明治 28
Revue française du Japon. Nr. 4.

近頃河原達引
- 淨瑠璃英譯—お俊傳兵衞堀河の段
  武信由太郎
  明治 41-42
  英語青年 Vol. 20.
- Horikawa
  下位春吉
  大正 9
  Sakura. Nr. 1.

繪本太閤記十段目
A Japan Drama, Taikōki judanme
古谷蒔三
明治 30 橫濱

↓

八丈綺談
- Okoma　曲亭馬琴
  Félix Régamey.
  明治 16　Paris
- Le roman japonais "Okoma"
  明治 22
  L'Art. No. 469.

斐彈匠物語
- The Story of Hida Craftsman　六樹園
  明治 45　London
- Fi-da-no takumi mono-gatari
  August Pfizmaier.
  明治 10　Wien

いろは文庫
- The Loyal Ronins　爲永春水
  齋藤修一郎 & Edward Greey.
  明治 13　New York
- Chiushingura
  A. Hensel.
  明治 28　Stuttgart.
- Chiushingura
  明治 38
  Aus fermden Zungen. Bd. 15.
- Les fidèles ronins
  B. H. Gausseron.
  明治 15　Paris

Misawo the Japanese Girl
S. C. Malan.　柳亭種彥
明治 3-4
Phoenix. Vol. 1.

箱根草 Hakoné Gusa
大正 6-7　藏亭鯉丈
The Japan Magazine. Vol.8

雙巴 Futa-tsu-domo-e
August Pfizmaier.
明治 10-11
Sitzungsberichte der Philosoph.-Hist. Classe d. Kaiserl Akademie d. Wissenschaften. Bd.88, 90 & 92.

赤穗義人錄
Akau-gi-zin roku　室鳩巢
Ogura Yemon.
明治 6
Mémoires de l'athénée Oriental. Nr. 1.

Chikamatsu, the Shakespeare of Japan
B. Abraham.
大正 11
The Tourist. Vol.10. No.4.

An Eighteenth Century Poetess(Kaga no Chiyo)
Ariel.
昭和 4
The Japan Magazine. Vol. 20.

Kyokutei Bakin
Essad-Bey.
昭和 3
Die Literarische Welt. Bd.4.

Ein japanischer Jonathan Swift
Witte.
大正 3
Z M R. Bd. 29.

Sulla vita e sulle opere di Takizawa Ba-kin
C. Valenziani.
Rendiconti dei Lincel. 5th Ser. Nr. 1.

Kawatake Mokuami
大正 13
The Japan Magazine. Vol. 14.

【備考】略字 (1) ZMR=Zeitschrift für Missionskunde und Religionswissenschaft, Berlin.

東京

詩歌

孝女白菊の歌
White Aster
Arthur Lloyd.
明治 30 東京
Japanische Dichtungen: Weissaster
Karl Florenz.
明治 28 東京 & Leipzig

鐵道唱歌
Das Eisenbahnlied
T. Kumagai.
明治 34
Die Wahrheit. Bd. 2.

和歌 明治13年–33年
Japanische Lyrik von 1880–1900
O. Hauser.
明治 37 Grossenhain.

第七高等學校々歌
Lied der "Dai Shichi Kōtōgakkō Zoshikwan"
A. Gramatzky.
明治 35 Leide

日露戰爭の歌
The Russo Japanese War Song
橋口治平
明治 37 New York

軍歌集
The Light of Japan
H. Uji. & J. Umezawa.
明治 37 東京

出廬 蘆花
Leaving the Hermitage (Shutsuro)
Jiro Nagura.
大正 15 London

英和對譯帝國歌集 (明治天皇御製)
Imperial Songs
Arthur Lloyd.
明治 38 東京

御製集
Imperial Songs
末松謙澄
明治 38
Nineteenth Century. Vol. 57.

小說

舞姬
My Lady of the Dance 鷗外
F. W. Eastlake.
明治 40 東京
Die Tänzerin, der London Tower
鷗外—舞姬
漱石—倫敦塔
小池秋草
大正 6 南江堂

現代文藝傑作集
Representative Tales of Japan
Vol. I. 谷崎潤一郎—刺青 / 塚原澁柿園—振武軍
Vol II. 漱石—夢十夜 / 花袋—一兵卒 / 鈴木三重吉—黑髮
Vol. III. 荷風—狐 / 紅葉—文ながし / 小杉天外—回想記
Vol. IV. 後藤宙外—のこる光
Vol. V. 獨步—第三者 / 正宗白鳥—久さん
Vol. VI. 德田秋聲—背負揚 / 三島霜川—解剖室
Vol. VII. 小栗風葉—凉炎 / 鷗外—杯 / 小川未明—越後の冬
Vol. VIII. 島崎藤村—母 / 小山內薰—病友
Vol. IX. 大塚楠緒子—客問 / 森田草平—水死
宮森麻太郎
大正 6 三光書店

文使・十五代將軍 鷗外・高濱虛子
Der geheime Briefträger, der 15 Shogun
小池秋草
大正 9
Taschenbuechlein aus Japans Literatur. Bd. 3.

二人女房 紅葉
Zwei Frauen
Y. Yoshino. & K. Mischke.
明治 38
Die Wahrheit. Bd. 4.

戲曲

孚源氏陸奥日記 (伊勢三郎野州岩茶隱家の段)
Ise no Samuro
明治 22 東京

壺坂 The Tsubosaka Temple
A. H. Sakai.
昭和 3
The Young East. Vol. 3.

羽衣 Hagoromo or the Robe of Feathers
明治 30
The Far East. Vol. 3.

新曲浦島 Ourashima 逍遙
吉江喬松
大正 10
Bulletin Société Franco-Japonaise. Nr. 48.

現代問題劇 心
A Modern Japanese Problem Play
Arthur Lloyd.
明治 38
TASJ. Vol. 33.

桐一葉 逍遙
Kiri-hitoha
Arthur Lloyd.
明治 30
The Far East. Vol. 3.

ガラシヤ Gracia 藤澤古雪
畑正世・村上知行
日本エス學會

假面と遊學
Maske und Studienreise nach Tokyo
鷗外—假面
二葉亭—遊學(平凡,21—31)
小池秋草
大正 7
Taschenbuechlein aus Japan Literatur. Bd. 2.

修善寺物語
Dramas d'amour 岡本綺堂
修善寺物語, 鳥邊山心中, 切支丹屋敷
松尾邦之助 & E. Steinilber-Oberlin.
昭和 4
Epizodo en Ŝuzenji
三宅史平
昭和 6 エス研究社

隨筆・日記・評論

天地悠々 蘇峰
Eternal are Heaven and Earth
伊藤太郎
昭和 4
英語と英文學

富嶽の詩神を思ふ 北村透谷
In Eulogy of Mt. Fuji
磯邊彌一郎
大正 10
中外英語 Vol. 28. No. 2.

利根川だより 島崎藤村
A Journey in Spring
磯邊彌一郎
大正 10
中外英語 Vol. 28. No. 3.

思ひ出の記一節 蘆花
Swift.
明治 42
英語青年 Vol. 22. No. 24.

自然と人生
Nature and Man 蘆花
灰燼, 自然に對する五分時, 寫生帖, 湘南雜筆
大正 2 弘學館書店
利根の秋曉
An Autumn Morning at the Tone
武信由太郎
明治 41
英語青年 Vol. 19.
可憐兒 The Poor Child
藤野武男
明治 42
英語青年 Vol. 22.
El „Naturo kaj Homo"
自然に對する五分時
下村芳司
昭和 6-7
La Esperantisto. Jaro. 6-7

倫敦塔
Der London Tower 漱石
小池堅治(秋草)
大正 6 東京
La turo de Londono
西成甫
昭和 2 日本エス學會

研究等

Japanese Modern Literature
Walter Dening.
明治 26
Transactions of the IXth International Congress. London. Vol. 2.
同
IXth International Congress of Orientalists. Transactions. Vol. 8.
大正 2
TASJ. Vol. 41.

Modern Literatur japans
Maybon.
大正 12
Die Wage. Neue Folge. Bd. 4.

Zeitgenossische japanische Literatur
A. Gramatzky.
明治 20
Monatschrift für neue Literatur und Kunst. Bd. 1.

Neues aus der japanischen Literatur
Baronin Babo-Vivenot.
明治 39-40
Ost-Asien. Bd. 9.

La littérature moderne du Japon
A. de Banzemont.
明治 31
Rev. des Rev. et Rev. d'Europe et d'Amerique. Ser. 3. Nr. 26.

La lttérature Japonaise dans l'Ere du Meiji
Marquis de la Mazelière.
大正 2
Bulletin de la Société Franco-Japonaise de Paris. Nr. 29.

Sovremennaya yaponskaya literatura
Konstantin Polynov.
大正 1
Zapiski Priamursk.Otdela Imper. Obshchestva Vostokovedeniya. No. 2.

時代 (一)

椰子の實　島崎藤村
A Cocoa-Nut
若月田武次
昭和 7
上級英語 Vol. 7. No. 6.

皇國ぶり　下田歌子
A Japanese Poetess
Arthur Lloyd. & 松浦文學士
明治 43　春陽堂

明治天皇御製集
Imperial Songs of Japan
Arthur Lloyd.
明治 44
Open Court. Vol. 25.

雲上の一聲
A Voice Out of the Serene
齋藤秀三郎
大正 1

花びら Patals
Mrs. Douglas Adam.
大正 2　ジャパンガゼット社

英和對照明治・昭憲兩陛下御製集
Imperial Japanese Poems of the Meiji Era
Frank Alanson Lombard.
大正 4　警醒社書店

闇櫻　樋口一葉
Kirschblüte in der Dämmerung
Shigeko Matsuno.
大正 14
Das Junge Japan. Bd. 2.

花くもり Lenzsturn　尾崎紅葉
R. Kunze.
明治 38-39
Der Ferne Osten. Bd. 3.

紀文大盡　村井弦齋
Kibun daizin
M. Yoshida.
明治 39　東京

近江聖人　村井弦齋
The Sage of Omi
T. Takayanagi.
明治 35　東京

五重塔 The Pagoda　露伴
鹽谷　榮
明治 42　大倉書店

花かつら Hanakatsura
中島湘煙―花かつら
三宅花圃―曙ぞめ
樋口一葉―大つごもり
梶田薄氷―鬼千匹
大塚楠緒子―しのびね
藤生　貞
明治 36　東京

取舵 Larboard　尾崎紅葉
T. Kimoto.
明治 32
The Orient Hansei Zasshi. transformed Vol. 14.

濁江
Palude Mortifera　樋口一葉
下位春吉
大正 10
Sakura. Nr. 7.
Nigori ike
A. N.
大正 7
Priroda i l'udi Dal'nego Bostoka. 1918.

金色夜叉
The Golden Demon　尾崎紅葉
Arthur & Marry Lloyd.
明治 38　東京
Konjikiyasha
大正 6　誠文堂
同 12　同
昭和 2　同

信西 Shinzei　谷崎潤一郎
Glenn W. Shaw.
大正 10
東京日々 7.10.―13.

後に來るもの　武者小路實篤
He That Comes After
安藤貫一
大正 15
英語青年 Vol. 55.

夢十夜
Ten Dreams　漱石
記　者
大正 11
The Japan Magazine.
Vol. 13.
Traüme der zehn Nächte
Heinz Brasch.
昭和 6
Yamato. Jahrgang 3.
Songo
西　成甫
大正 15
La Revuo Orienta. Jaro.7.

漱石小品 Zwei Skizzen　漱石
漱　石―クレーグ先生, 倫敦塔
谷崎潤一郎―刺　青
小池堅治
大正 6　南江堂

ある女の悲劇
A Woman's Tragedy
Lafcadio Hearn.
明治 39

月夜の美感　高山樗牛
高橋一知
昭和 4
英語青年 Vol. 60.

武藏野日記　獨歩
高橋一知
昭和 5
英語青年 Vol. 62.

雪前雪後　露伴
高橋一知
昭和 4
英語青年 Vol. 62.

近松とシェイクスピア　逍遙
Chikamatsu and Shakespeare
高橋一知
昭和 4
英語青年 Vol. 61.

Navaya Yaponskaya literatura
A. Popov.
大正 2
Vestnik Azii. No. 25.-27.

Proletarskaya literatura v Yaponii
H. Fel'dman.
昭和 3
Krasunaya Panorama. No. 32.

Navaya literatura v Yaponii
H. Fel'dman.
昭和 4
Vestnik Inostrannoy Literatury. No. 1.

Imperial Japanese Poems of the Meiji Era
大正 4

The Mikado
William Elliot Griffis.
大正 4

Study and Translation of Far Eastern Poetry
A. Neville J. Whymant.
大正 11
The Japan Magazine.
Vol. 13.

Appreciation of Nature in Japanese Poetry
S. H. Wainright,
大正 14
TASJ. 2nd Series. Vol. 2.

The Japanese Lyric
J. Ingram Bryan.
昭和 3
The Japan Magazine.
Vol. 19.

鴨綠江節 Songs of the Yalu River
記　者
昭和 3
The Japan Magazine.
Vol. 18.

大阪スケツチ
Osaka Sketch
Glenn W. Shaw.
昭和 4　北星堂

【備考】略字 (1) TASJ=Transactions of the Asiatic Society of Japan, Tōkyō.

東京

〔詩歌〕

〔小說〕

忘れ得ぬ人々　獨步
Men I Shall Never Forget
Athur Lloyd.
明治 43
The Japan Magazine.
Vol. 1.

武藏野
- Musashi-No　獨步
  山本供平
  昭和 7
  Living English. Vol. 2.
- 武藏野
  S-ro Kon.
  大正 14
  La Revuo Orienta. Jaro.6.

戀慕流　小栗風葉
宇高兵作
大正 6

鹿狩　獨步
Doppo's "Shikagari"
名原廣三郎
昭和 7
新英米文學 Vol. 1-

不如歸
- Namiko　蘆花
  鹽谷　榮
  明治 37　Boston
- Namiko
  E. F. Edgett. & 鹽谷 榮
  明治 37　有樂社
- Hototogisu
  鹽谷　榮 & E. F. Edgett.
  明治 38　誠文堂
- The Heart of Nami-San
  Issac Goldberg.
  大正 7　Boston
- Hototogisu
  Reh am Rheinberg.
  明治 38　Wolfenbüettel
- Plutôt la mort
  Olivier la Paradin.
  Paris
- Nami-ko
  J. N. Cañizares.
  明治 37
- Kyyneleitä
  明治 39　Helsinki
- Nami e Takeo
  明治 42 Mailand Treves.

〔戯曲〕

〔隨筆・日記・評論〕

〔研究等〕

日本雜草記
Japanese Scrap-Book
俳句,川柳,和歌,都々逸,流行唄
Glenn W. Shaw.
昭和 7　北星堂

Moderne Lyrik
Otto Hauser.
明治 37-38
Nord und Süd. 28th year.

Le roman japonais moderne
J. Hitomi.
明治 33
La rev. et rev. d. rev. sér. 3. Nr. 35.

Le roman japonais en 1900 et 1901
J. Hitomi.
明治 35
Rev. d. rev. sér.3. Nr. 11.

O sovremennoi Yaponskoy literature
R. Kim.
大正 15
Zapad i Vosteoke.No. 1.-2.

Out of the East
Lafcadio Hearn.
明治 28

Shadowings
Lafcadio Hearn.
明治 33　Boston

The Romance of the Milky Way and Studies and Stories
Lafcadio Hearn.
明治 38　London, New York, & Boston
同 43　Leipzig

- Kwaidan
  Lafcadio Hearn.
  明治 37　Boston
  大正 12　東京
- Seltsame Geschichte und Studien aus Japan
  Berta Franzos.
  明治 41

時代 (二)		Hototogisu I. Gueich. 大正 1 獨歩集 Dopposhu 獨歩 富岡先生，牛肉と馬鈴薯，女難，湯ケ原より 大正 3 望みの星 中村春雨 Nozomi no Hoshi A. Wendt. 明治 37 Halle a/s. 運命論者 獨歩 Fatalisto 中村精男・鷲見良彥 昭和 2-3 La Revuo Orienta. Jaro. 8. & 9. 黑潮 Kuroshio 蘆花 Nichech. 馬上の友 獨歩 A Friend on Horseback 伊藤太郎 昭和 4 大阪毎日 破戒 島崎藤村 Narushenny Zavet N. Fel'dman. 昭和 6 Leningrad 風流士官の一節英譯 匿名柳浪 Swift. 明治 38 英語青年 Vol, 13. 吾輩は猫である 漱石 I Am a Cat 安藤貫一 明治 42 服部書店 英文阿古屋物語 村井弦齋 A Tale of Akoya 川井運吉 明治 38 報知新聞社 豈岡らんや 石川文吾 Anihaka Ranya 變哲氏 明治 38 英語青年 Vol. 13. 良人の自白 木下尚江 The Confession of a Husband Arthur Lloyd. 明治 38 東京			Kwaidan M. Logé. 明治 43 Paris Yaponskiya skazki Kwaidan S. Lorie. 明治 44 Moskva Fornaretto giapponese a Roma 下位春吉 大正 9-10 Sakura. Nr. 1. Più que la Vendetta 下位春吉 （青の洞門） 大正 10 Sakura. Nr. 5. The Modern Drama of Japan Genichiro Fukui. 明治 29 The Far East. Vol.1. No.7. The Fiction and Drama of Modern Japan C. Nakamura. 明治 31 The Japan Evangelist. Vol. 5. Kan Ryôsai J. Barth. 昭和 4 Yamato. Jahrgang 1. Yaponskiy teatr（日本の劇場） N. I. Konrad. 編 昭和 3 Moskva & Leningrad Modern Men of Letters 記者 明治 44 The Japan Magazine. Vol. 2. The George Meredith of Japan Ariel. 大正 2-3 The Japan Magazine. Vol. 4.

東京

〔小　説〕(1)

國木田獨歩集 Opere
武蔵野, 波の音, 空知川の岸邊, 岡本の手帳
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 4.

朝飯
The Breakfast 島崎藤村
Osamu Nakamura. & H. P. Holt.
大正 2-3
英語青年 Vol. 31.
同
安藤貫一
大正 12
大阪毎日 11. 2-5.

坊っちゃん
Botchan (Master Daring) 漱石
毛利八十太郎
大正 7 誠文堂
Botchan
佐々木梅次
大正 11 東京
Botchan (Ein Reiner Tor)
Alexander Spann.
大正 14 大阪共同出版社
Botchan
小方直人
大正 12 丸善

草枕
Unhuman Tour 漱石
高橋一知
昭和 2
英譯現代文藝叢書
Kusamakura and Buncho
草枕, 文鳥
佐々木梅次
昭和 2 東京

その面影 二葉亭
Sono Omokage or an Adopted Husband
三井武八郎 & Gregg M. Sinclair.
大正 5 英語研究社

二百十日 Nihyakutôka 漱石
T. Johnes. & 吉米地英俊
大正 5-7
英語青年 Vol. 36.-39.

泣き笑ひ 獨歩
松原 鎮
昭和 2
英語青年 Vol. 58.

虞美人草 Red Poppy 漱石
記者
大正 6 8
The Japan Magazine. Vols. 8.&9.

〔小　説〕(2)

色の褪めた女 小山内薫
Das Bleiche Mädchen
Alexander Spann.
昭和 2
Die Brücke. Jahrg. 3. Nr. 31.& 32.

窮死 Driven to Death 獨歩
松原 鎮
大正 13
東京日々 10. 24.-25.

春の鳥 獨歩
A Spring Bird
Glenn W. Shaw.
大正 12
The Student's Journal.

正直者 獨歩
Der Biedermann
Heinz Brasch.
昭和 6
Yamato. Jahrgang 3.

肱の侮辱 獨歩
Insult by the Elbows
松原 鎮
昭和 5
英語研究 Vol. 23.

平凡
Heibon 二葉亭
鈴木芳松
大正 11
英語青年 Vol. 47. Nr. 2.
Mediocrity
Glenn W. Shaw.
昭和 2 北星堂
Storia di un Cagnolino(小犬の話)
下位春吉
大正 9
Sakura.Nr. 1.

Human Bullets 櫻井忠温
本田増次郎 & Alice Mebel Bacon.
明治 40 丁未出版社
同 Boston & New York
昭和 6 誠文堂 (全集 I.)

Niku-dan Menschenopfer
A. Schinzinger.
明治 44
大正 2
昭和 6 誠文堂 (全集 I.)

佛譯肉彈

〔小　説〕(3)

肉彈
伊譯肉彈
バルビ大尉
露譯肉彈 (1)
同 (2)
同 (3)
同 (4)
同 (5)
希譯肉彈

金五圓 Five Yen
熊本謙二郎
明治 40
英語青年 Vol. 16. No. 7.

三四郎 Sanshiro 漱石
C. Scharschmidt.
大正 6-7
Der Neue Orient. Bd. 1.

狐 Le Renard 荷風
S. Elisséev.
大正 13
Japon et Extrême-Orient. Nr.3.

親子 Vater und Tochter 獨歩
大正 14
Das Junge Japan. Bd. 2.

網走まで 志賀直哉
On Way to Abashiri
C. S. Bavier.
昭和 7
The Pen. No. 4.

〔小　説〕(4)

黒髪 Die Locke 鈴木三重吉
Heinz Brasch.
昭和 6
Yamato. Jahrgang 3.

牡丹の客 荷風
Le Jardin des Pivoines
Serge Elisséev.
昭和 2 Paris

杯 Pokaloj 鷗外
杞
大正 13 同
La Revuo Orienta. Jaro. 5.

剃刀 The Razor 志賀直哉
鶴岡盈治 & Eric S. Bell.
昭和 2
Japan Times. 6. 5.

花子 鷗外
野口米次郎
大正 7
英語文學

刺青 谷崎潤一郎
Irezumi
伊知地純正
大正 12
Herald of the Asia.
Heinz Brasch.
昭和 5
Yamato. Jahrgang 2.
Le Tatouage
Serge Elisséev.
大正 13
Japon et Extrême-Orient. Nr. 2.

門 La Porte 漱石
R. Martinie.
昭和 2 Paris

或る女
Cette femme-là 有島武郎
好富正三郎 & Albert Maybon.
大正 15 Paris
Eta jenshchina
F. E. & G. P. Blok.
昭和 2

英譯現代小説三人集
Tokyo People
長田幹彦—母の手
森鷗外—かのやうに
正宗白鳥—泥人形
Gregg M. Sinclair. & 吹田佳三
大正 14 教文館

時代（三）

〔詩　歌〕

明治天皇奉悼歌
Elegy on the Demise of Meiji Tenno
齋藤秀三郎
大正 1

大正天皇御即位式の歌
Lines on the Accession to the Throne of H. I. J. M. Yoshihito, 122nd Emperor of Japan
Charlotte M. Salwey.
大正 5
The Asiatic Review. New Series. Vol.8.

天馬の道に　土井晩翠
Su le orme dell' ippogrifo
下位春吉
大正 9　Neapel

晶子歌集
Onde del Mare Azzurro
下位春吉 & Elpidio Jenco.
大正 9
Collana dei Rami Fioriti di "Sakura." Nr. 1.

秋蟬　大町桂月
Cicada in Early Autumn
飯塚陽平
昭和 4
英語研究 Vol. 22.

高原の處女　福田正夫
Selections from the Highland Maid
Glenn W. Shaw.
大正 11-12
The Student's Journal.

日夏耿之介詩集
Poèms de Konosuke Hinatz
Kunito Higuchi. & 堀口大學
大正 12　Paris

〔小　說〕

泥人形　正宗白鳥
The Clay Doll
Sadler.
大正 10
The Far East.

三日 Les trois jours　岡田八千代
Serge Elisséev.
大正 12
Japon et Extrême-Orient. Nr. 5.

日蓮上人「龍の口」　從川臨風
上山作次郎
大正 10
實用英語

行人 Mon Camarade　漱石
Raymond Martinie.
大正 12-13
Japon et Extrême-Orient. Nr. 4.-9.

初夏　久保田万太郎
L'été qui commence
Serge Elisséev.
大正 12
Japon et Extrême-Orient. Nr. 6.

清兵衛と瓢簞
Seibei and His Gourds　志賀直哉
伊藤太郎
昭和 4
上級英語 Vol. 4.
Seibei kaj la Kujetoj
平岡　昇
昭和 2
La Revuo Orienta. Jaro.8.

伊譯銃後　櫻井忠溫
バルビ大尉

范の犯罪
Le Crime du Jongleur　志賀直哉
Serge Elisséev.
大正 12
Japon et Extrême-Orient. Nr. 1.
Krimode Fan
梶　眞知子
大正 15　エス研究社

大菩薩峠　中里介山
Dai-bosatsu tōge (Great Bodhisattva Pass)
C. S. Bavier.
昭和 4　春秋社

〔戲　曲〕

亞米利加の使　岡本綺堂
The American Envoy
井上正直
昭和 6　神戶

細川忠興の妻　岡本綺堂
Tales of the Samurai and "Lady Hosokawa"
宮森麻太郎
大正 11

わしも知らない　武者小路實篤
Eĉ Mi Tion Ne Scias
東宮豐達
大正 15—昭和 2
La Revuo Orienta. Jaro. 7. & 8.

一日の一休
A Days Episode in Ikkyu's Life　武者小路實篤
田中文一
昭和 4
大阪每日 6. 9.-11.
Ein Tag aus Ikkyu's Leben
Alexander Spann.
大正 13
Das Junge Japan. Bd. 1.
Unu tago el la vivo de Ikkjû
桑原利秀
昭和 4
La Revuo Orienta. Jaro.10.

出家とその弟子
The Priest and His Disciples
Glenn W. Shaw.　倉田百三
大正 11　北星堂
Le Prêtre et ses disciples
松尾邦之助 &
Steinilber-Oberlin.
昭和 7　Paris

父歸る　菊池　寬
La Patro Revenas
梶　弘和
昭和 2　エス研究社

地藏經由來　久米正雄
Die Begründung des Jizo-Glaubens
大正 15
Das Junge Japan. Bd. 2.

〔隨筆・日記・評論〕

雷雨（みゝずのたはごと）　蘆花
磯邊彌一郎
大正 9
中外英語 8 月號

硝子戶の中
Within My Glass Doors　漱石
松原　巖 & E. T. Iglehart.
昭和 3　新生堂
「硝子戶の中」より
Childhood
井上思外雄 & John Clark.
昭和 4
英語研究 Vol. 22.

虱
Lice　芥川龍之介
Glenn W. Shaw.
大正 11
英語青年 Vol. 47.
Läuse
Yotaro Ishida.
大正 13-14
Das Junge Japan. Bd. 1.

平家物語　山崎　麓
Heike Monogatari
記　者
大正 4-5
The Japan Magazine. Vol. 6.

方丈記　山崎　麓
The Hojoki
記　者
大正 5-6
The Japan Magazine. Vol. 7.

雜誌「層雲」より　荻原井泉水
自然 Naturo
—Jaro. 8. N-ro. 10.
子供 Infanoj
—Jaro. 8. N-ro. 11.
心は土 Koro estas Tero
—Jaro. 8. N-ro. 13.
一年の計 Plano por la Jaro
—Jaro. 9. N-ro. 1.
本當の生 Vera Vivo
—Jaro. 9. N-ro. 2.
博物館で
—Jaro. 9, N-ro. 3.
慈善 Bonfaro
—Jaro. 9. N-ro. 4.

〔研　究　等〕

Mr. Anesaki and a Zen Poem
Arthur Waley.
大正 10
Bulletin of the School of Oriental Studies. Vol. 2.

Roka Tokutomi
記　者
昭和 2
The Japan Magazine. Vol. 18.

Takeko Kujô
手塚　雄
昭和 6
The Japan Magazine. Vol. 22.

Die Dichterin Higuchi Ichiyo
Teizaburo Uchiyama.
大正 13
Das Junge Japan. Bd. 1.

Kan Kikuchi und seine Kunst
Teizaburo Uchiyama.
大正 13
Das Junge Japan. Bd. 1.

Kunikida Doppo
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 1.

Mori Ogai
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 1.

Tsuchii Bansui
下位春吉
大正 9
Sakura. Nr. 1.

Yosano Akiko
Elpidio Jenco.
大正 9
Sakura. Nr. 1.

Ichiyô, la meteora (Profilo)
下位春吉
大正 9-10
Sakura. Nr. 1.

Sovremennye Yaponskie poety
V. Mart.
大正 7
Priroda i l'udi Dal'nego Vostoka. No. 2.

東京

〔詩歌〕

〔小說〕

次の一戰 水野廣德
大正 4-6
英語青年 Vol. 34-36

お艶殺し 谷崎潤一郎
A Spring Time Case
岩堂全智
昭和 2
英譯現代文藝叢書

新菅と石童丸 德富元隆
"Ishidomaru"
植木孝之助
昭和 4
上級英語 Vol. 4. No. 1.-9.

鼻
Die Nase 芥川龍之介
Alexander Spann.
昭和 2 上海
Le Nez
鼻，おぎん，三つの寶
老ひたる素戔嗚尊
丸山順太郎
昭和 2 白水社

羅生門
羅生門その他 芥川龍之介
Tales Grotesque and Curious
羅生門，煙草と惡魔，鼻，手巾，虱，蜘蛛の絲，酒虫，煙管，毛利先生
Glenn W. Shaw.
昭和 5 北星堂
Rajomon
Heinz Brasch.
昭和 7
Yamato. Jahrgang 4.

身投げ救助業 菊池寬
The Trade of Rescuing Drowning Men
安藤貫一
大正 14
英語青年 Vol. 53.

惜みなく愛は奪ふ 有島武郎
Senbedaŭre Amo Rabas
東宮豐達
昭和 6 日本エス學會

死の蔭に 蘆花
本田增次郎
大正 6-7
英語研究 Vol. 18.

幼きものに 島崎藤村
黃色い海 —Vol.2. No. 3.
お釋迦樣の煙火 —同 No. 4.
東洋の港々 —同

〔戲曲〕

現代戲曲集
New Plays from Japan
有島武郎—死
志賀直哉—ある家庭
鈴木泉三郎—火あぶり
Yozan T. Iwasaki. & Glenn Hughes.
昭和 5 London

役の行者 逍遙
L' Ermite
吉江喬松
大正 9 Paris

藤十郎の戀その他 菊池寬
Tojuro's Love and Four Other Plays
藤十郎の戀，恩讐の彼方に，屋上の狂人，父歸る，奇跡
Glenn W. Shaw.
大正 14 北星堂

嬰兒殺し 山本有三
落林生之助
昭和 2
上級英語
Infan-Murdo
下村芳司
昭和 5 エス研究社

生命の冠 山本有三
The Crown of Life
Glenn W. Shaw.
大正 13
東京日々 11. 5.-27.

藤戶 Fujito 野上彌生子
M. Muschamp.
昭和 2
大阪每日 2. 17.-20.

一日の素盞嗚尊 武者小路實篤
名原廣三郎
大正 15
上級英語 Vol. 1. No. 4.-6.

俊寬 "Shunkan" 倉田百三
安藤貫一
大正 12 研究社

井伊大老の死 中村吉藏
The Death of Ii Tairo
城谷默
昭和 2
英譯現代文藝叢書

〔隨筆・日記・評論〕

謙遜 Humileco
—Jaro. 9. N-ro. 5.
眞直に目的へ Rekte Al La Celo
—Jaro. 9. N-ro. 6.
兩手 Per Ambaŭ Manoj
—Jaro. 9. N-ro. 9.
佐々城松榮
昭和 2-3
La Revuo Orienta.

愚庵和尙共他
玉屋の椿 相馬御風
The Story of Tamaya the Wealthy Merchant
松原巖
昭和 7
英語研究 Vol. 25. No. 5.

鳩と老婆 相馬御風
The Doves and the Old Woman
增田綱
昭和 3
英語と英文學 11 月號

自己の姿(名人氣質より) 村松梢風
The Manifestation of Self
增田綱
昭和 4
英語と英文學 5 月號

愛の科學 賀川豐彥
Love the Law of Life
J. Fullerton Gressitt.
昭和 5 London

鎌倉室町時代日本文學概說 山崎麓
Glimpses of Japanese Literature during the Kamakura and Muromachi Period
記者
大正 14
The Japan Magazine. Vol. 15.

〔研究等〕

Yaponskiy Gor'kiy
G. Gauzner.
Vestnik Inostrannoy Literatury. No. 8.

時代（四）

駱　　駝 一 同 No. 5.
銀杏の樹 一 同 No. 6.
天文臺の時計 一 同
雪は踊りつゝある 一 同 No. 7.
お　別　れ 一 同
名原廣三郎
昭和 2
上級英語

子供のために　島崎藤村
桃の子供
藻林生之助
昭和 2
上級英語 Vol. 1. No. 10.
古い時計 一No. 1.
雀のおやじ 一No. 2.
名原廣三郎
昭和 2
上級英語 Vol. 2.
愚かな馬の話
武信由太郎
大正 14
英語研究

重荷　花袋
宮原知久
大正 7
英語文學 No. 8.-12.

死せる一點　長與善郎
The Dead Spot
安藤貫一
大正 15
英語青年 Vol. 55 No. 8. & 9.

カインの末裔　有島武郎
The Descendant of Cain
毛利八十太郎
大正 14　神戸　理文閣

二つの手紙　芥川龍之介
Du Leteroj
星　弘和
大正 14
La Revuo Orienta. Jaro. 6.

夜の光 Un Vieillard　志賀直哉
M. Haguenauer.
大正 13
Japon et Extrême-Orient.
Nr. 3.

高瀬舟
Takasebune　鷗外
K. Takahashi.
昭和 7
Yamato. Jahrgang 4.
Le Takasebune
Moïse Haguenauer.
大正 13
Japon et Extrême-Orient.
Nr. 11. & 12.

愛すればこそ　谷崎潤一郎
Puis-ce que je l'aime
Charles Jacob.
大正 14

洗濯屋と詩人　金子洋文
Lavisto kaj Poeto
東宮豐達
昭和 5　エス研究社

悪夢　中田信子
安田勇吉
カニヤ

七夕祭　倉田百三
Das Tanabata-Fest
Kiyoshi Sasaki.
大正 13
Das Junge Japan. Bd. 1.

二人小町　芥川龍之介
Futari Komachi
橋口治平
大正 15
東京日々 5. 15.-18.

義民甚兵衛　菊池　寛
Jimbei, the Good Subject
Glenn W. Shaw.
昭和 3-4
週刊朝日 Vols. 13. & 14.

いれ眼　野村万介
A Dealer in Eyes
青木常雄
大正 14
英語青年 Vol. 53.

新魔王　藤井眞澄
櫻田一郎
カニヤ

だるま
Daruma　武者小路實篤
W. A. Richards.
昭和 2
英語青年 Vol. 57.
Dharma
G. Ogura.
昭和 3
Japan Times. 10. 28.

海彦山彦　山本有三
Umihiko, Yamahiko
T. Uchiyama. & Alexander Spann.
大正 13
Das Junge Japan. Bd. 1.

	〔詩歌〕	〔小説〕	〔戯曲〕	〔随筆・日記・評論〕	〔研究書〕
東京		小説集 Paulownia 鷗 外―高瀬舟，花子，桟橋 荷 風―掛取り，浮世繪 藤 村―家畜，津輕海峽 竹友虎雄 大正 7　New York 尾生の信　芥川龍之介 Kredo de "Bisei" 長坂雄二郎 昭和 5 La Revuo Orienta. Jaro. 11. 新春　蘆 花 Na grani noboy gizni Ch. P. 大正 2 Mars. No. 8. 1914. 蜘蛛の絲 La Fadeno de Araneo　芥川龍之介 堀内恭二 大正 15 La Revuo Orienta. Jaro. 7. Araneajo 梶 眞知子 昭和 7 月刊エスペラント Jaro. 2. 魚の李太白　谷崎潤一郎 The Piscatorial LiTai-Po Glenn W. Shaw. 大正 10 英語青年 Vol. 46. No. 4-9 十一月三日午後の事　志賀直哉 An Incident on the Afternoon of November Third 松原 巖 大正 14 大阪毎日 11. 29-12. 2. ある敵打の話　菊池 寛 A Katakiuchi S. Okabe. 大正 8 The Tourist. Vol. 7. No. 6. 恩讐の彼方に The Serene Realm Beyond the Passion 安藤貫一　菊池 寛 大正 11　東京 Jenseits von Hass und Liebe Das Junge Japan. Bd. 2.	小野小町 Ono no Komachi　菊池 寛 橋口治平 大正 12 東京日々 4. 12.-13. Ono no Komachi Alexander Spann. 昭和 2 Die Brücke. Bd. 3. 戀愛病患者　菊池 寛 L'Amour est une Maladie 丸山順太郎 昭和 2　白水社 無明と愛染　谷崎潤一郎 Mumyo et Aizen 丸山順太郎 昭和 2　白水社 嫉妬 Eifersucht　里見 弴 Alexander Spann. 大正 13 Das Junge Japan. Bd. 1. 呑氣な離別　武者小路實篤 The Man Who Would be Great 大正 15 Japan Advertiser. 10. 3. スダラの泉その他　秋田雨雀 Fonto de sudroj ; Danco de Skeletoj ; Nokto ĉe landolimo スダラの泉，骸骨の舞跳，國境の夜 守隨 一・須々木 要 昭和 2　日本エス學會 出帆　金子洋文 Weighing Anchor 山田和男 昭和 5 英語青年 Vol. 23. No. 7.& 8. 父親 Väterchen　山本有三 昭和 6 Yamato. Jahrgang 3. その妹　武者小路實篤 Seine Schwester Alexander Spann. 大正 14 Das Junge Japan. Bd. 1.		

時代 (五)

〔小　說〕(1)

秋 Autumn　芥川龍之介
大宮英之助
昭和 2
英語青年 Vol. 58.

沼地　芥川龍之介
The Picture of A Quagmire
鈴木芳松
大正 9-10.
英語青年 Vol 44.

蜜柑　芥川龍之介
西羅友和
昭和 5
Corona Australis. 1930.

まどつく先生　菊池 寛
Murdock Sensei
Glenn W. Shaw.
大正 14-15
Engish. Vol. 2.

お舟　大村嘉代子
La Fille du Passeur
Raymond Martinie. & Claude Gévél.
大正 13
Japon et Extrême-Orient. Nr. 3.

小僧の神様　志賀直哉
Die Gottheit des Burchen Senkichi
Heinz Brasch.
昭和 5
Yamato. Jahrgahg 2.

極短い小說二種　芥川龍之介
Dva rasskaza Akutagawa Ryunosuke
P. Kim.
大正 13

杜子春
Tu Tzuchun　芥川龍之介
E. S. Bell. & Yoshinobu Tada.
大正 15
東京日々 11. 27.-12. 3.
To-sisun
[illegible] 弘和
昭和 6
LaEsperantisto. Jaro. 6.

〔小　說〕(2)

南京の基督　芥川龍之介
The Christ of Nankin
W. W. Bickerton.
昭和 6
英語青年 Vol. 65.

山鴫 La Becassine 芥川龍之介
堀口大學
大正 13
Japon etExtrême-Orient. Nr. 7. & 8.

妙な話　芥川龍之介
A Strange Story
伊藤太郎
昭和 4
英語と英文學

アグニの神　芥川龍之介
God Agni
伊藤太郎
昭和 3
英語研究 Vol. 21.

嘘の果　有島生馬

常子の手紙
佐藤　生
大正 12
新英語 2 月號

川波の音　里見 弴
Le bruit des vagues de la rivièr
Serge Elisséev.
大正 13
Japon et Extrême-Orient. Nr. 10.

島原心中　菊池 寛
Le double suicide de Shimabara
Serge Elisséev.
大正 13
Japon et Extrême-Orient. Nr. 9.

老僧と三人の弟子　秋田雨雀
山本供平
昭和 7
Living English. Vol. 2. No. 5.

死線
Across the Death-line　賀川豐彥
I. Fukumoto. & T. Satchell.
大正 11　神戸

〔小　說〕(3)

死線を越えて
Before the Dawn
大正 14
Asia. Vol. 25. No. 1.-4.
Before the Dawn
I. Fukumoto. &
T. Satchell.
大正 14　London
Jenseits der Todeslinie
Devaranne.
大正 14　Berlin

冬の贈物 Winter's Gift 藤村
神崎保太郎
大正 10
英作文雜誌 Vol. 6. No. 1.

三匹の蟻　小川未明
The Three Ants
神崎保太郎
大正 10
英作文雜誌 Vol. 6. No. 2.

松吉の悲しみ　吉田絃二郎
The Sorrow of Matsukichi
神崎保太郎
大正 10
英作文雜誌 Vol. 6. No. 7.

たけのこ人形　野尻抱影
The Bamboo-Dolls
神崎保太郎
大正 10
英作文雜誌 Vol. 6. No. 9.

六兵衛の災難　上司小劍
The Adventure of Rokubei
神崎保太郎
大正 11
英作文雜誌 Vol. 6. No. 10.

めくら梟 A Blind Owl 茅野雅子
神崎保太郎
大正 11
英作文雜誌 Vol. 7. No. 3.

黑猫の遠足　三宅やす子
A Black Cat on Her Picnic
神崎保太郎
大正 11
英作文雜誌 Vol. 7. No. 7.

子燕の暇乞ひ（白い子兎より）小野政方
Farewell of the Young Swarrows
神崎保太郎
大正 14
英語研究 Vol. 17. No. 7.

〔小　說〕(4)

お喋り婆さん　鈴木三重吉
石原綠治
大正 11
英學生之友 4 月號

お喋り松子　水野葉舟
Matsuko the Chatter-box
神崎保太郎
大正 12
英語研究 Vol. 15.

天の配劑　菊池 寛
The Dispensation of Heaven
Glenn W. Shaw.
大正 14
English. Aug. & Sept.

藪の中　芥川龍之介
A banbukovoy chashche
大正 15
Zapad i Vostoka. No.1.-2.

トロッコ
The Track　芥川龍之介
西羅友和
昭和 5
English Society Review.
Torokko
Heinz Brasch.
昭和 4
Yamato. Bd. 1.

魚河岸　芥川龍之介
Bordo de Fiŝvendejoj
昭和 3
La Revuo Orienta.Jaro.9.

太陽を射るもの（死線を越えて、中卷）
A Shooter at the Sun
T. Satchell.
大正 15　神戸

雛 Les poupées　芥川龍之介
Serge Elisséev.
大正 12
Japon et Extrême-Orient. Nr. 4.

盗み Stealing　谷崎精二
安藤貫一
大正 13-14
英語青年 Vol. 52.

戀と牢獄　江口 渙
L'ulov' i tur'ma
E. Ternovskoy.
昭和 2

〔小　說〕(5)

蠅
The Fly　横光利一
Glenn W. Shaw.
昭和 6
週刊朝日 Vol.20. No.1.&2.
A Fly
築井 賢
昭和 7
新英米文學 Vol.1. No.1.&2.
Muso
城内忠一郎
昭和 7
La Revuo Orienta. Jaro. 13. N-ro. 13.

農夫喜兵衛の死　中西伊之助
Smert' Kiheya
N. Fel'dman.
昭和 2

刺靑お妙　澤田撫松
Confession of a Tattooed Woman
安藤貫一
大正 12
東京日々 8. 20-29

押し花　室生犀星
A Pressed Flower
Max Bickerton.
昭和 7
英語青年 Vol. 66-68

痴人の愛　谷崎潤一郎
L'ulov'gluptsa
G. G. Inneran.
昭和 4

伸び仕度　島崎藤村
The Awakening
Eitaro Sayama. & Eric. S. Bell.
昭和 2
大阪每日 3. 10-11

一枚の切符　江戸川亂步
Une Bileto
下村芳司
昭和 5　エス研究社

象やの象さん　長谷川如是閑
Le Cornac
Serge Elisséev.
大正 13
Japon et Extrême-Orient. Nr. 7.-8.

荒野 Dezerto　甲賀三郎
南 晶世
昭和 7

東京

〔詩　歌〕

大正天皇御製歌英譯　芳賀矢一
Wm. H. Erskine.
昭和 [illegible]
英語青年 Vol. [illegible]

海[illegible]：英譯
西村 [illegible]
昭和 5
英語青年 Vol. [illegible]

この道　北原白秋
Tiun ĉi vojon
安井義雄
昭和 6
月刊エスペラント Jaro. 1. N-ro. 4.

洋をさきめて
Viro de l'Maro
安井義雄
昭和 6
月刊エスペラント Jaro. 1. N-ro. 5.

現代女流三歌人集
Three Women Poets of Modern Japan
與謝野晶子, 柳原白蓮, 九條武子
Glenn Hughes.& Yozan. T. Iwasaki.
昭和 6
University of Washington Chapbook. No. 9.

現代十五歌人集
Fifteen Poets of Modern Japan
Glenn Hughes. & Yozan T. Iwasaki.
昭和 6
University of Washington Chapbook. No. 17.

紅顔の花　與謝野晶子
Death of the Student Soldiers
西村 [illegible]
昭和 7
英語青年 Vol. 67.

國際オリムピツク選手應援歌　齋藤 [illegible]
The Japanese Champions Going to the International Olympic
若目田武次

〔小　說〕

村に襲ふ波　加藤一夫
Pod natiskom Voln
N. I. Fel'dman.
昭和 7　Moskva

鶺 A Moorhen　志賀直哉
Haruo Endo. & Eric S. Bell.
昭和 2
大阪毎日 1. 23.

リュ・ド・リイル二十八番地まで
28 Rue de Lille　武林無想庵
花園兪定
大正 15
東京日々 1. 13-17

セメント樽の中の手紙　葉山嘉樹
Pis'mo iz tsementnoy bochki
E. Ternovskoy.
昭和 2
Yapono-Sovetskoe Iskusstvo. No. 2.

住むべき處を求めて　葉山嘉樹
Vpoiskakh pristaneshcha
昭和 3
Krasnaya Panorama. No. 32.

人と土地の話　小川未明
A Story of People and Land
Glenn W. Shaw.
昭和 6
週刊朝日 Vol. 19. No. 3.-7.

繪のない繪本
Kniga kartin bez kartinok　林 房雄
A. Leyfert.
昭和 3

Bildlibro sen Bildoj
梶 弘和・須藤 —
昭和 7
La Esperantisto. Jaro. 7. No. 5.

火を戀ふ Geisha Eiko　谷崎精二
A .A. Leyfert.
昭和 4　Leningrad

人間椅子 Homa Seĝo　江戸川亂步
弓山重雄
昭和 3
La Revuo Orienta. Jaro. 9.

茶料理 Tea Flavour　野上彌生子
Muriel Muschamp. & A. Otaki.
大正 15
大阪毎日 12. 14.-

〔戲　曲〕

三現代劇集
Three Modern Japanese Plays
中村吉藏 —剃　刀
菊池　寛 —屋上の狂人
Y. Iwasaki —成　金
Yozan Iwasaki. & Glenn Hughes.
Cincinnati

霧の中(ラヂオドラマ)　山本有三
En la Nebulo
露木清彥
昭和 6　日本エス學會

西鄕と大久保　山本有三
Saigo and Okubo
高橋知一
昭和 2 Japan Times. 7. 17.

午後の客　正宗白鳥
The Guest of One Afternoon
昭和 3
Japan Times. 12. 23.

長柄の人柱　岡本綺堂
The Human Piller
Zoe Kincaid. & Hanzo Tarao.
昭和 3

奴隸船　中村吉藏
The Slave Ship
昭和 4
Japan Times. 3. 31.

夢魔　岡田禎子
The Nightmare
昭和 4
Japan Times. 2. 17.

彼の誕生　武者小路實篤
His Birth
昭和 4
Japan Times. 9. 15.

〔隨筆・日記・評論〕(1)

或る舊友へ送る手記　芥川龍之介
Akutagawa's Last Note "To My Old Friends"
John Matsumura.
昭和 2
Japan Times. 7. 26.

ドナゥ河の船上にて　土岐善麿
En la Ŝipo sur "La Donau"
松本清彥
昭和 4
La Revuo Orienta. Jaro. 10.

美しい馬鹿　長谷川如是閑
Beautiful Stupidity
手塚　雄
昭和 6
英語研究 Vol. 24.

小泉八雲先生追憶いろいろ　大谷繞石
Reminiscences of Lafcadio Hearn
松田介三
昭和 4
Japan Times. 12. 4.

修善寺行　吉田絃二郎
山本供平
昭和 4
英語と英文學

虛妄の正義　萩原朔太郎
Justo de Falseco
南　孝夫
昭和 7
La Esperantisto. Jaro. 7.

細田民樹作「眞理の春」　正宗白鳥
大宮英之助
昭和 6
英語青年 Vol. 66.

山を思ふ　吉田絃二郎
I Lust Forthe Mountain
C. S. Bavier.
昭和 7
英語青年 Vol. 67.

東西相觸れて　新渡戸稻造
East and West in Contact
C. G. Elder. & 須貝清一
昭和 5
英語青年 Vol. 64.

〔隨筆・日記・評論〕(2)

乃木大將と怪談　井上哲次郎
General Nogi and Ghost Stories
高橋一知
昭和 6
英語研究 Vol. 23.

波瀾を越えて　武藤山治
After a Stormy Life
高橋一知
昭和 6
英語研究 Vol. 24.

劍とインク　櫻井忠溫
The Sword and Ink
高橋一知
昭和 6
英語研究 Vol. 23.

春の旅日記
Spring Travel Diary
志賀直哉, 里見　弴, 吉田絃二郎, 室生犀星, 小川未明, 正木不如丘, 谷崎潤一郎等
Glenn W. Shaw.
昭和 7
週刊朝日 Vol. 22.

時代（六）

昭和 7
上級英語 Vol. 7. No. 4.

都々逸英譯
宮森麻太郎
昭和 3
英語青年 Vol. 60.

小唄英譯
大關五郎
昭和 4
東京日々 5. 23.

俗謠の翻譯
Japanaj Popolkantoj
小坂狷二
大正 13
La Revuo Orienta. Jaro. 5.

日本の流行唄（第一集）
Popularaj Kantoj en Japonio
牢獄のうた—不詳
籠の鳥—同
ピエロ—同
離れ小島の—北原白秋
お手々つないで—野口雨情
お家忘れた—鹿島鳴秋
渡りやんせ—野口雨情
流浪の旅—不詳
リゴレット—
今地治夫
昭和 2　國際研究社

大島節
Oosîmabuŝi
宍戸圭一
昭和 7
La Revuo Orienta. Jaro. 13.

〔小說〕(1)

薔薇と巫女その他　小川未明
Rose and Witch and Other Stories
薔薇と巫女,赤い指,歩けぬ日,赤い蒂
Myrtle B. McKenney. & N. Yoshioka.
大正 14　San Francisco

公衆電話　木内高音
Publika Telefono
宍戸圭一
昭和 2
La Revuo Orienta. Jaro. 8.

老彫刻家の道德心　武者小路實篤
Moraleco de Maljuna Skulptisto
弓山重雄
昭和 2
La Revuo Orienta. Jaro. 8.

唐人お吉（鶴の章）　十一谷義三郎
Tōjin Okichi
Glenn W. Shaw.
昭和 6
週刊朝日 Vol. 19. No. 8.-20.

深山の怪美人　鈴木善太郎
La Stranga Belulino en Montaro
南　晶世
昭和 6
La Revuo Orienta. Jaro. 12.

眼の動く人形　甲賀三郎
La Pupo kun Moviĝantaj Okuloj
南　晶世
昭和 6-7
La Esperantisto. Jaro. 6. &7.

星史郎懺悔錄　大下宇陀兒
Konfeso de Ŝirô Hoŝi
南　晶世
昭和 7
La Esperantisto. Jaro. 7.

凡愚列傳　長谷川如是閑
A Man Who was Fooled by God.
記　者
昭和 3
東京日々 4. 29-5. 1.

〔小說〕(2)

失業者救濟事業　橋本英吉
Unemployment Relief of Work
築井　賢
昭和 7
新英米文學 Vol. 1. No. 3.-5.

眞の勇者 A Moral Hero
伊藤太郎
昭和 4
上級英語 Vol. 3.

上杉謙信 Uesugi Kenshin
伊藤太郎
昭和 4
上級英語 Vol. 4. No. 7. & 8.

淺草の出來事　澤田撫松
Unu Okazaĵo en la Kvartalo Asakusa
下村芳司
昭和 3
La Revuo Orienta. Jaro. 9.

活動であつた女　澤田撫松
La Virino en Kinematografejo
南　晶世
昭和 6
La Revuo Orienta. Jaro. 12.

日本プロレタリア小說作家選集 Sbornik rasskazov yaponskikh proletalskikh pisateley
E. Ternovskaya.
昭和 4　Moskva & Leningrad

月の兎（良寛坊物語より）相馬御風
The Hare in the Moon
山田和男
昭和 7
英學生 Vol. 1. No. 1.

母 Mother　鶴見祐輔
鶴見祐輔
昭和 7　New York

青バスの女　辰野九紫
Virino de Verda Aŭtobuso
樺山尚純
昭和 6
La Esperantisto. Jaro. 6.

明治天皇と大津事件　矢田挿雲
Emperor Meiji and the Otsu Incident
昭和 4
Japan Times. 2. 17.

〔小說〕(3)

追跡 Persekuto　大下宇陀兒
南　晶世
昭和 6
La Revuo Orienta. Jaro. 12.

黃金佛　服部耊外
The Golden Buddha
松宮　巖
昭和 6-7
英語研究 Vol. 24.

蟹工船　小林多喜二
Die Krabbenfischer
昭和 6　Berlin

太陽のない街
Die Srasse ohne Sonne
德永　直
昭和 5　Leipzig
Ulica bez solnca
V. C. Toper.
昭和 7　Moskva & Leningrad

山の湯の挿話　酒井眞人
Le Edziĝo eu Kiubei
柴田潤公
大正 15
La Revuo Orienta. Jaro. 7.

情獄　大下宇陀兒
Infero de Pasio
三宅史平
昭和 6
La Esperantisto. Jaro. 6.

何處へ行く？　德永　直
Wither ?
Glenn W. Shaw.
昭和 6
週刊朝日 Vol. 20. No. 22.-28.

不自由な人々　片岡鐵兵
Neliberaj Homej
山田　弘
昭和 6
La Revuo Oienta. Jaro. 12.

隱れ家 Kaŝejo　江馬　修
友の會
昭和 6
La Esperantisto. Jaro. 6.

〔小說〕(4)

正岡子規と看護婦　都　利武
Shiki Masaoka and His Nurse
高橋一知
昭和 5
英語研究 Vol. 23. No. 5.

氣の永い友達　菅澤恒夫
A Slow-Witted Fellow
西羅友和
昭和 6
English Society Review.

由比眞保子　永井龍雄
Mahoko Yui
高橋一知
昭和 5
英語研究 Vol. 23. No. 9.

黃金假面　江戸川亂步
Ora Masko
下村芳司
昭和 6　日本エス會

女給　廣津和郎
The Cage Girl
Glenn W. Shaw.
昭和 6
週刊朝日 Vol. 19.

豐年飢饉　德永　直
Malsato en Riĉa Rikolto
中垣虎兒郎
昭和 7　鐵塔書院

安城家の兄弟　里見　弴
The Brothers Anjo
Glenn W. Shaw.
昭和 6
週刊朝日 Vol. 20. No. 3.-21.

芝居　池谷信三郎
Make Belief
山田和男
昭和 7
英語研究 Vol. 25. No. 9.

譯書名	譯者	年代	發行所
The Classical Poetry of the Japanese　萬葉，古今集，羽衣，殺生石，邯鄲，仲光　骨皮，堂律	B. C. Chamberlain.	明治 13	Traebner's Oriental Series.
日出小說文集 Sunrise Stories　萬葉集，土佐日記大要，源氏物語（雨夜の品定め其の他）方丈記，赤穗四十七士，雲妙間雨夜之月	R. Riordan. & Tozo Takayanagi.	〃 29	New York
骨董 Kotto　新著聞集，百物語，宇治拾遺物語抄	Lafcadio Hearn.	〃 35	〃
The Spirit of Japan　古事記，日本書紀，傳說，膝栗毛	安孫子貞治郎編	〃 38	有樂社
Primitive and Medieval Japanese Text　古事記，日本書紀，萬葉，古今集，百人一首，竹取物語，高砂	F. Victer Dickins.	〃 39	
Manyoshu Anthology ; Taketori Monogatari ; Chushingura ; Medieval Japanese Texts　萬葉集，竹取物語，忠臣藏，鎌倉室町時代作品等	同	〃 39	
花がたみ Leaves from Japanese Literature　平家物語（那須與一，敦盛，小督）貝原益軒訓抄，樂訓常山紀談 小欄寶五右衛門と會津中將，家康の聰明）德富蘇峰—靜思餘錄，柳澤淇園—姉妹の孝女，新撰日本外史伏見の里，狂言（清水）源平盛衰記 重衡東下）太平記（正行吉野行宮に詣るの條）南洲遺訓の中，明治昭憲兩陛下御製	津田梅子	〃 39 〃 41	東京 英文新誌社
The Literature of Primitive Japan　憶良，人麿，額田皇子，小野小町等の和歌	F. V. Dickins.	〃 40	Transactions & Proceedings of Japan Society, London. Vol. 7.
おちばかご Stray Leaves　明治天皇御製，昭憲皇太后御歌，德川家康箴言，五疑惑，忠臣藏六段目勘平腹切，一谷嫩軍記，天海僧正箴言，謠曲（一角仙人）等	和田垣謙三	〃 41	東京
Japanese Poetry　萬葉，古今集，謠曲（殺生石，邯鄲，仲光）芭蕉と俳句	B. H. Chamberlain.	〃 43	横濱
落穗 Gleanings from Japanese Literature　和歌（明治昭憲兩陛下，乃木希典，高崎正風，井上通泰，與謝野晶子，海上胤平，福羽美靜等）俳句（芭蕉，去來，一茶，子規，蕪村）俗謠（24）教訓（家康箴言，天海僧正箴言，十牛之歌，鍾馗夢寐覺傳，養公壽碑，深草元政の壁書）戲曲（一谷嫩軍記，一角仙人，五疑惑，忠臣藏六段目勘平腹切）和歌（34）	和田垣謙三	大正 8	南北社
Japanese Classics Reprints from the Transactions of the Asiatic Society of Japan　土佐日記，大和物語（うなひ乙女）和莊兵衞，方丈記，住吉物語，芭蕉と俳句		〃 14	The Asiatic Society of Japan.
英譯日本文學選　短篇と一幕劇 Eminent Authors of Contemporary Japan One Act and Short Stories Vol. I.　谷崎潤一郎—白狐の湯　山本有三—嬰兒殺し　島崎藤村—伸び支度　芥川龍之介—首が落ちた話・杜子春　志賀直哉—剃刀・荒絹	Eric S. Bell. & 鵜飼盈治	昭和 5	開拓社
同　Vol. II　谷崎潤一郎—お國と五平　岸田國士—明日は天氣　芥川龍之介蜘蛛の一絲・秋・鼻　志賀直哉—小僧の神様・范の犯罪・鵠	同	〃 6	同
Japanische Novellen und Gedichte　竹取物語，平家物語，古代の物語，小松と佐吉　萬葉，古今集，現代の和歌，臺灣，アイヌ民謠	Paul Enderling.	明治 38	Leipzig
Les principaux monuments de la littérature japonaise	G. de Claubry.	〃 7	Compte Rendu du Congrès International des Orientalistes à Paris en 1873. Nr. 1.
Anthologie de la Litérature Japonaise des Origines au XXe Siècle　古事記，祝詞，萬葉，古今，新古今，詞花，金葉，後撰，拾遺，後拾遺，千載集，いろは歌，土佐日記，竹取物語，伊勢物語，大和物語，源氏物語（桐壺，帚木，若紫）今昔物語，枕草紙，榮花物語，大鏡，新勅撰集，百人一首，平家物語，源平盛衰記，方丈記，太平記，神皇正統記，徒然草，謠曲（羽衣）狂言（三人片輪）貝原益軒—樂訓・女大學　新井白石—折焚く柴の記・讀史餘論・藩翰譜　駿臺雜話，本居宣長—玉勝間・菅笠日記　一代女，膝栗毛，浮世風呂，俳句（宗鑑，守武，貞德，貞室，宗因，芭蕉，蕉門十哲，智月尼，秋色女，園女，千代女，蕪村，一茶等）俳文（横井也有）狂歌句（曾呂利新左衞門，蜀山人，石川雅望等）夕霧阿波鳴門，忠臣藏勘平腹切，不如歸，御製	Michel Revon.	大正 12	Paris
晚採草 Ban Zai Sau (I-IV)　古事記，浮世形六枚屛風	F. Turrettini.	明治 6-13	Genève
Proizvedeniya sobremennykh yaponskikh pisateley　（現代日本文學選集）		〃 42	Irkutsk

原作名	作者	年代	飜譯書名	飜譯者	年代	發行所	備考
			Nebesnoe schast'e i zemnoe schast'e (天の幸福, 地の幸福)	N. Obidiev.	大正 6	Sbornik statey professorov i studentov Vostochnogo instituta. 1917.	
			Zastenok (上田ケンシ選集)	E. Spal'vin.	〃 6	同	
心の美しさ	武者小路實篤			大熊與吉	〃 9	中外英語	
	高濱虛子		Eiko	安藤貫一	〃 13	英文大阪毎日 6. 26.-29.	
			Heimwärts	Alexander Spann.	〃 14	Das Junge Japan. Bd. 1.	
藤十郎の戀	菊池寛		Tojuros Liebe	Naoto Yonezawa. & A. Spann.	〃 14	同 Bd. 2.	
	谷崎潤一郎		Otsuya	Toyo Takeshima.	〃 15	英文大阪毎日 7. 10.-15.	
姫島の燈臺	巖谷小波		The Light-House on Princess' Island	伊藤太郎	昭和 3	上級英語 Vol.3. No.4.&5.	
	中西伊之助		Serdtse materi (母の心)		〃 3	Krasnaya Panorama. No. 32.	
	同		Oseki, doch Seiroku (清六の娘おせき)		〃 3	Vestnik Inostrannoy Literatury. No. 9.	
	大岡龍雄		The Hundredth Memorial Day	山崎文子	〃 4	Japan Times. 3. 3.	
義民甚兵衛	菊池寛		Podvig Dzimbeya		〃 4	Projektor. No. 24.	
汽車	安部磯雄			山縣五十雄	〃 6	Living English. Vol.1. No. 3.	

Ode from the Japanese　文久 7　Blackwood's Edinburgh Magazine. Vol. 8.
Japanese Sonnets　明治 4-5　The Poenix. Vol. 3.
Japanese Miniature Odes　明治 7　Cornhill Magazine. Vol. 36.
Verses from Japan　W. G. Thomson.　明治 11　明治 17　London
Japanese Poetry　Clay MacCauley.　明治 32　TASJ. Vol. 27.
Japanese Poetry　E. Balch.　明治 36　Poet-Lore. Vol. 14. No. 3.
Japanese Poetry　G. J.　明治 38　English Illustrated Magazine. Vol. 33.
Japanese Poetry　J. C. Balet. & L. Defrance.　明治 38　Fortnightly Review. Vol. 83. (New Series. Vol. 77.)
A Lay of Japan and Other Poems　Annie Colenso Symons.　明治 42　London
Japanese Poetry　B. H. Chamberlain.　明治 43　横濱　明治 44　London
Japanese Poetry　野口米次郎　大正 3　TPJS. Vol. 12.
Japanese Lyrics　Lafcadio Hearn.　大正 4　London
Japanese Poetry　Arthur Waley.　大正 9
Japanese Poetry　C. H. Page.　大正 12
New Style Japanese Poems 800 Years Ago　大正 13　The Japan Magazine. Vol. 15
A Little Poems from the Japanese　L. Binyon.　大正 14
Tankas (Japanese Poems)　堀口大學　大正 14
Poetry of the Orient　Eunice S. H. Tietjens.　昭和 3　New York
On the Single Verse Poems of the Japanese　Charlotte M. Salwey.　昭和 3　Transactions of the Meiji Japan Society. Vol. 29.
The Japanese Lyric　J. Ingram Bryan.　昭和 4　TASJ. Vol. 26.
Japanese Miniature Odes　Ectectic Magazine. Vol. 89.
Japanese Bouquet of Japanese Verses　C. A. de Kay.　Scribner's Monthly. Vol. 9.
Dichtergrüsse aus dem japanische Dichtungen　Karl Florenz.　明治 27　東京
Bunte japanischer Poesie　Karl Florenz.　明治 29　東京
Japanische Kinderlieder　R. Lange.　明治 33　Mitteilugen des Seminars für orientalische Sprachen in Berlin. Bd. 3.
Zur Volkstumlichen japanischen Lyrik　R. Kunze.　明治 35　Mitteilungen d. Seminars für Orientalische Sprachen zu Berlin. Bd. 5.
Die japanischen Dichtung　Otto Hauser.　明治 37　Die Literatur.
Japanische Lyrik aus 14 Jahrhunderten　J. Kurth.　明治 42　Die Fruchtschale. Bd. 17.
Japanische Utas　Otto Hauser.　明治 44　Aus fermden Gärten. Bd. 3.
Die japanischen Lyrik　H. Brethge.　明治 45　Hamburger Korrespondent Beilage.
Japanischen Lyrik　Max Büsings.　大正 2-3　Geist des Ostens. Bd. 1.
Japanische Dichtungen　Klubund.　昭和 4

Les trois soirées de la poésie japonaise　A. Pfizmaier.　明治 7　Compte Rendu Congrès International des Orientalistes à Paris en 1873. Nr.1.
La poésie japonaise　J. Léclercq.　明治 44
Trois chansons japonaises　Léon Uhl.　大正 7　Bulletin Société Franco Japonaise Nr. 40. & 41.
Tankas, petits poèmes japonais　堀口大學　大正 13　Paris
Japansk Lyrik　E. Kruuse.　大正 2　Ord och Bild. Bd. 22.
Tanka　Vermer.　大正 4
Yaponskie pesni　N. Anursky.　大正 10
Yaponskiya Liriki　A. Prandt.　大正 11　Petrograd
Fragment yaponskoy poetiki　N. I. Konrad.　昭和 2　Vostochnye Zapiske. No. 1.

Account of a Japanese Romance　W. W. Turner.　嘉永 4　Journal American Oriental Society. Vol. 2.
A Japanese Romance　D. Wedderburn.　明治 12　Fortnightly Review. Vol. 31.
Japanese Story　明治 14　Cornhill Magazine. Vol. 44.
A Tale of Japan　J. S. Martin.　明治 37　Cornhill Magazine. Vol. 16.
Japanese Monographs Nr. 12.　Charlotte M. Salwey.　明治 41　Asiatic Quarterly Review. 3 Series. Vol. 26.
Four Japanese Tales　J. Havlasa.　大正 8　The Library of Czechoslovakian Authors. I.
Story of Japan　R. van Bergen.　大正 11　New York
Dai Nihon　Graham Martyr.　大正 14　London
Romance in Japan　National Review. Vol. 12.
Japanese Love Story　London Society. Vol. 31.
Something about Japanese Novels　Mrs. E.M. Davy.　Belgravia. Vol. 75.
Japanische Novellen　Hoffner.　明治 9　Westermann's Monatshefte. Bd. 40.
Van Japan　Verbargenheden.　明治 3　Amsterdam
Yaponskie skazki　S. G. Eliseev.　大正 10
Yoponskiy rasskaz　V. Pil'n'ak.　昭和 2　Narodny Uchitel'. No.7.& 8.

Japanese Plays　T. R. H. McClatchie.　明治 12　横濱　明治 23　London
Japanese Drama　鄙 虎彥　大正 7　TPJS Vol. 16.
Schauspiele der Japanesen　J. L. Klein.　慶應 1—明治 9　Leipzig
Die wichtigeren Charaktertypen der japanischen Komödie　K. Florenz.　大正 3　Deutsche Japan-Post. Bd. 13.
Die japanische Komödie und ihre charaktertypen　Karl Florenz.　昭和 2

The Literature　L. North.　明治 21　The Churchman 1888, April 21 st.
A Glance at the Literature of Japan　R. Riordan. & Tozo Takayanagi.　明治 29　New York
Japanese Literature　明治 33　Quarterly Review. Vol. 192.
Japan : its History, Arts, and Literature　Frank Blinkley.　明治 34　Oriental Series.-Japan and China. Vol. 1.-8.
Japanese Literature　E. Wilson.　明治 41　New York
Japanese Goverment and New Literature　野口米次郎　明治 44　The Academy. Vol. 2.
Japanese Prints, Imagist Poems　J. J. Fletcher.　大正 6
Eastern Art and Literature　E. E. Ross.　昭和 3　Benn's 6d Library. No.3.
The Literature of Japan　J. Ingram Bryan.　昭和 4　The Home University Library. No. 142.
Japanese Literature and Art　Art Journal. Vol. 23.
Japan und seine Literatur　E. von Kudriaffsky.　明治 6　Ausland 1873. No. 38.
Japanische Literatur der Gegenwart　K. A. Florenz.　明治 25　MD Ges Ostasien. Bd. 5.
Japanische Literatur　Adler Ravon.
Geschichte der Weltliteratur　Alexander Baumgartner.　明治 30　Freiburg
Geschichte der japanischen Nationalliteratur von den altesten zeiten bis zur Gegenwart　T. Okasaki.　明治 32　Leipzig
Zur Geschichte der japanischen Nationalliteratur　A. v. Siebold.　明治 32-33　Ostasien. Bd. 2. & 3.
Zur japanischen Literatur　M. von Brandt.　明治 32-33　Deutsche Rundschau. Bd. 104.
Über eine neue Richtung der japanische Literatur　森鷗外　Von West nach Ost. No. 3.
Zur japanische Literatur　S. P. Imthurm.　Gegenwart. Bd. 50. Nr.31.
Die japanische Literatur　W.Gundert.　昭和 4
La littérature japonaise　E. Falingan.　明治 10　Revue de Monde catholique 1887. Sept.
Le Japon Littéraire　G. du Bousquet.　明治 11　Paris
La littérature des Japonais　L. de Rosny.　明治 13　Revue de linguistique. Nr. 13. April 15th.
Littérature japonaise　H.D. Davray.　明治 35　Paris
La vie littéraire au Japon　De Bansémont.　明治 44　La Revue 15 Okt. & 15 Dez.
Neuf nouvelles japonaises　S. Elisséev.　大正 13　Paris
Storia della litteratura giapponese　Ett. Allodoli.　明治 38　Biblioteca del popolo. Nr. 369.
Litteratura e crestomazia giapponese　P. Arcengell.　大正 4　Mailand Hoepli
Yaponskaya literatura　S.G. Eliseev.　大正 10

Po yaponskoy literature　N. I. Konrad.　昭和 3　Sihirskie Ogni.No. 3.
Die japanische Literatur　F. Puscenko.　昭和 2　Schidnij Svit. No. 1.

Japanese Women in Literature　野口米次郎　明治 38　Poet-Lore.Vol.15.
Japanese Women Authors　野口米次郎　明治 38　Critic. Vol. 44.
The Literary Women of Japan and Their Works　E. B. Mitford.　明治 44　Book Monthly.
The Poet Laurate of Japan　Arthur Lloyd.　明治 45　Open Court.Vol.26.
The Imperial Poetess of Japan　J. Ingram Bryan.　明治 45—大正 2　The Japan Magazine. Vol. 3.
A Japanese Don Juan and Other Poems　John Paris.　大正 15

La curiositã di Jókohama　A. Severini.　明治 11-17　Collezione scolastica della Academia Orientale di R. Instituto di Studi Superioñ. Pratici.
The Cherry Blossom of Yedo and Other Poems　Mrs. M. Arther.　明治 15
Fushimi 1862　A. H. Cole.　明治 16　Chrysanthemum and Phoenix.Vol.3.
Storia universále della litteratura　Conte de A. Gubernatis.　明治16-18　Milano
Die beiden Maler　C. Nicolay.　明治 17　Aus allen Zeiten und Landen Bd.2.
Kami Yo-no Maki　L. de Rosny.　明治 17　École des lang.-orient viv. 2 Sér. Nr. 16. & 17.
Aka-ho gi-si den is-seki wa　Dr. Legrand.　明治 18　Mémoires de la Société des études japon etc. Nr. 4.
Bulgrische und japanische Dichtungen　Der geraubte Schleier.　明治 19　Wissenschaftliche Beilage der Leipziger Zeitung. No. 41. & 42.
The Tale of Forty Seven Ronins　A. B. Mitford.　明治 22　十字屋
Honda the Samurai (a story of modern Japan)　Griffis.　明治 23　Boston
Mito Yashiki　A. Maclay.　明治 23　G. P. Putnam's Sons.
Ayamesan　G. Murdoch.　明治 25　横濱
Belles du matin　G. Yoshida.　明治 25　Paris
Japanese Proverbs & Some Figurative Expression of the Japanese Language　N. Okoshi.　明治 28　TPJS. Vol. 2.
The Voices of the Valley　野口米次郎　明治 30　San Francisco
Die Sprichwörter und bildlichen Ausdrucke der Japanischen Sprache　P. Ehmann.　明治 30　MD ges Ostasien. Bd. 7.
The Folk-lore of Japan　W. E. Griffis.　明治 31　Arch. Internat. Folk-lore Accoc. Vol. 1.
The Power of Love　M. F. A. Fraser.　明治 31-32　China Review.Vol.23.
Der japanische Teegarten　Fr. Blel.　明治 33　Die Insel 1st year. Bd.2.
The Flower of Old Japan　A. Noyes.　明治 36　London
Gems of Eastern Stories　Complied by the "Kobunsha"　明治 37　東京
The Japanese Man with the Hoe　Paul Carus.　明治 39　Open Court.Vol.20.
Die Tochter des Holzhäuers　S. Mano.　明治 40-41　Ost-Asien. Bd. 10.

【備考】略字　(1) MD Ges Ostasien＝Mitteilungen der Deutschen Gesellschaft für Natur-und Völkerkunde Ostasiens, Tōkyō.
(2) TPJS＝Transactions and Proceedings of the Japan Society, London.

The Japanese Spy L. Lawton. 明治 41 London
Gedichte von einer Weltreise und andere Lieder Ch. Strasser. 明治 41 Zürich, Rascher & Co.
Die japanischen Geschichtenerzähler R. Kunze. 明治 41 Ostasiatischer Lloyd. Bd. 22.
The Land of Yellow Spring and Other Stories F. Hadland Davis. 明治 43 London
Through Japanese Eyes (杉村楚人冠) Arthur Lloyd. 明治 43 The Japan Magazine. Vol. 1.
A Birthday Book of Japanese Verse, Old and New Arthur Lloyd. 明治43
In Lust und Leid C. Eberhard. 明治 43 Hamburg
Taifun A. J. Lux. 明治 43 Teater. Bd. 1.
Taifun Witte. 明治 43 Protestantenblatt. Bd. 43.
Die acht Gesichter an Biwasee M. Dauthendey. 明治 44 München
Der Richter H. Lambertz. 明治 44 München
Morning Glory 明治 44-45 The Japan Magazine. Vol. 2.
Old Stories and Sayings of Japan and China Isa Fyvie Mayo. 明治45 London
Tsunami Myrra Tunas. 明治 45 Zürich Ketner.
Molly und die Maus R.A. Raffay. 大正 2 Licht und Schatten. Bd.4.
Onoto Watanno (日本の鶯) 大正 2 Vestnik Inostrannoy Literatury. No.1.
Ein Adoptivkind Katharina Zitelmann. 大正5 Stuttgart, Engelhorn Nachf.
Romance of Old Japan E. & F. Champney. 大正 6 New York
Heart of Sano San E. Cooper. 大正 6 New York
Die Abenteuer der Japanirin Kolilee Helene v. Mühlau. 大正 6 Berlin
Die Geisha O-sen Klubund. 大正 7 München
Printsessa pionov (Yaponskaya skazka) Ml'un. 大正7 Velikiy okean.No.3.
O-Himé-Hotaru Filn. Marie-Madeleine Valet. 大正 8 Bulletin Société Franco-Japonaise. Nr. 40. & 41.
Literary Statesmen S. Makino. 大正 8-9 The Japan Magazine. Vol. 10.
Kreuz und Chrysanthemum J. Spillmann. 大正 9
Contes et légendes de l'Extrême Orient R. Basset. 大正 9 Revue d'Ethnographie et des Traditions Populaires Nr. 1.
Nella Natura (自然の中に) Inô Dan. 大正 9 Sakura. Nr. 1.
Absalom and Other Plays and Poems 那 虎彥 大正 9 London
Il "Nòstro Antonio" (我等のアントニオ) 下位春吉 大正 9 Sakura. Nr.1.
Cuòre Campano 下位春吉 大正 9 Sakura. Nr. 1.
Versificazione Giapponesi 下位春吉 大正 9 Sakura. Nr. 1.
Duello di Poesia 同 同 同
Hito-bashira "la colonna umana" 同 大正 9-10 同

Tales of the Takugawa II. Bakemono Yashiki Jas. S. Benneville. 大正 10 橫濱
The Toils of Yoshitomo 那 虎彥 大正 11
La littérature japonaise contemporaine, l'École dilettante et artiste A. Maybon. 大正 11 Bulletin de l' Association Française des Amis de l'Orient.
Honorable Miss Cherry Blossom L. T. Bussenius. 大正 13 New York
Yumeji Y. Suma. 大正 13
Itos Klage Y. Suma. 大正 13
Ameno Kamato A. Lebey. 大正 13 Paris
Little Pictures of Japan Olive Beaupré Miller. 大正 14
Sanny-San Onoto Watanna. 大正 14
Neues über die Fruhgeschichte des japanischen Dramas Frhv. W. v. Gersdorff. 大正 14 Die Deutsche Bühne. Bd. 17.
Masako 山田菊子 大正 14 Paris
Romance of Japan through the Ages J. A. B. Scherer. 大正 15
Momoshiki and Atago Arthur Waley. 昭和2 Ostasiatische Zeitschrift.Bd.14.
Le cycle terrestre de Komachi 山田菊子 昭和 2 Mercure de France. Nr. 199.
Lotus and Chrysanthemum J. L. French. 昭和 3
Picture Tales from the Japanese Chiyono Sugimoto. 昭和 3 New York
A Fortune Made out of a Straw S. Tachibana. 昭和 3 The Young East. Vol. 4.
Humours Unreconciled Sherard Vines. 昭和 3 London
Otani Pierre Valmigere. 昭和 3
Yaponskoe leto V. Leont'evoy. 昭和 3 Jurnal dl' a vsekh.No. 3.
Cloud-Men of Yamato E. V. Gatenby. 昭和 4
A Daughter of the Samurai E. I. Sugimoto. 昭和 4
Dlinnoe Im'a A.Leyfert. & Ya Meksin. 昭和 4
Okino borets'a s iskusheniem (神野誘惑と闘ふ) Okunep. 昭和 4 Vestnik Innostrannoy Literatury. Nr. 1.
Esida 昭和 4 30.dney. No. 10.
Die rote Blume S. Barinkay. 昭和 4-5 Das Blatt der Hausfrau 45 Jahrg. Nr. 4.
Realism in Romantic Japan M. Beard. 昭和 5
Two Literary Masterpieces on Japan 加藤玄智編 昭和 5 明治聖德記念學會
A Daughter of the Narikin E. I. Sugimoto. 昭和 7
Kyō Ningyō H. Wada. 東京
Yamato Nishiki H. Wada. 東京
Der Geheime Briefträger K. Koike.

國文學叢書目錄

目次

【現代文學】

書名	冊數	年代	發行所	頁
名家小說文庫	10	(明42—44)	博文館	[illegible]
現代日本文學全集	63	(昭1—6)	改造社	〃
現代大衆文學全集	60	(昭2—7)	平凡社	〃
明治大正文學全集	60	(昭3—7)	春陽堂	〃
現代長篇小說全集	24	(昭3—5)	新潮社	二四
日本探偵小說全集	20	(昭4—5)	改造社	〃
日本文學大全集		(昭6—現)	同上	〃

【和歌附新詩】

書名	冊數	年代	發行所	頁
日本歌學全書	12	(明23—24)	博文館	〃
續日本歌學全書	12	(明31—33)	同上	〃
國歌大觀	2	(明34—36)	致文社	〃
續國歌大觀	2	(大14—15)	紀元社	〃
歌文珍書保存會叢刊	19	(明42—大9)	正宗敦夫編	二五
歌學文庫	6	(明43—44)	一致堂書店	〃
校註和歌叢書	7	(大1)	博文館	〃
校註國歌大系	28	(昭3—6)	國民圖書株式會社	〃
現代短歌全集	22	(昭4—6)	改造社	〃
現代詩人全集	12	(昭4—5)	新潮社	〃

【俳諧】

書名	冊數	年代	發行所	頁
俳諧叢書	10	(明24—26)	筒井民次郎發行	二六
俳諧文庫	24	(明30—34)	博文館	〃
俳諧叢書	28	(明32—43)	俳書堂	〃
俳句入門叢書	12	(明36—39)	大學館	〃
初學俳句叢書	23	(明39—大3)	同上	〃
俳諧叢書	7	(大2—5)	博文館	〃
大正校訂俳諧名著文庫	10	(大5—6)	俳書堂	〃
古俳書文庫	20	(大13—15)	天青堂	二六
日本俳書大系	16	(大15—昭3)	春秋社	〃
校註俳文學大系	12	(昭4—5)	大鳳閣書房	〃
俳人眞蹟全集	12	(昭5—現)	平凡社	〃

【演劇】

書名	冊數	年代	發行所	頁
演劇文庫	6	(大3—4)	演劇珍書刊行會	二七
現代戲曲全集	20	(大3—15)	國民圖書株式會社	〃
元祿歌舞伎傑作集	2	(大14)	早稻田大學出版部	〃
日本戲曲大全	25	(昭2—4)	東方出版株式會社	〃
日本戲曲全集	68	(昭3—現)	春陽堂	〃

【隨筆】

書名	冊數	年代	發行所	頁
近古文藝溫知叢書	12	(明24—25)	博文館	二八
百家說林	7	(明38—39)	吉川弘文館	〃
珍書文庫隨筆大觀	6	(明43—44)	圖書出版協會	二九
珍書文庫百家叢說	3	(明44—45)	田邊勝哉編	〃
日本隨筆全集	20	(昭2—5)	國民圖書株式會社	〃
未刊隨筆百種	23	(昭2—4)	米山堂	〃
日本隨筆大成	37	(昭2—6)	吉川弘文館	三〇

【歌謠】

書名	冊數	年代	發行所	頁
音曲叢書	6	(大3—4)	演劇珍書刊行會	三一
日本音曲全集	15	(昭2—3)	誠文堂	〃
日本歌謠集成	12	(昭3—4)	春秋社	〃

【群書】

書名	冊數	年代	發行所	頁
存採叢書	133	(明13—20)	近藤圭造編	〃
我自刊我書	120	(明13—17)	甫喜山景雄編	〃
百萬塔	22	(明25—　)	金港堂	〃
群書類從	19	(明26—27)	經濟雜誌社	三二
續群書類從	70	(大12—昭3)	同完成會	[illegible]
續々群書類從	16	(明39—42)	國書刊行會	〃
新群書類從	16	(明39—42)	同上	〃
古事類苑	50	(明29—大3)	神宮司廳編	〃
丹鶴叢書	8	(明45—大3)	國書刊行會	〃

【歷史風俗】

書名	冊數	年代	發行所	頁
國史大系	17	(明33—34)	經濟雜誌社	〃
續國史大系	15	(明35—36)	同上	〃
改定史籍集覽	33	(明33—36)	近藤出版部	〃
故實叢書	168	(明32—39、昭8—6)	吉川弘文館	〃
燕石十種	3	(明40—41)	國書刊行會	三三
續燕石十種	2	(明42)	同上	〃
新燕石十種	5	(明45—大2)	同上	〃

【註釋書】

書名	冊數	年代	發行所	頁
校正補註國文全書	12	(明30)	國文館	〃
國文註釋全書	20	(明40—43)	國學院大學	〃
全譯王朝文學叢書	12	(大14—15)	文獻書院	三四
國文學註釋叢書	19	(昭4—5)	名著刊行會	〃

【佛教】

書名	冊數	年代	發行所	頁
國文東方佛教叢書	17	(大14—昭5)	同刊行會	〃

【複製叢書】

書名	冊數	年代	發行所	頁
稀書複製會本		(大7—現)	米山堂	〃
扶桑珠寶	38	(大3—昭6)	竹柏會	三六
古典保存會本		(大12—現)	西東書房	〃
尊經閣叢刊		(大15—現)	育德財團	三七
貴重圖書影本刊行會本		(昭5—現)	便利堂	〃
成簣堂叢書	14	(大2—12)	民友社	三八
新成簣堂叢書	5	(昭6—現)	民友社	〃

—終—

日本文學全書　二四篇

(明治23—25)　博文館

1 竹取物語　伊勢物語　紫式部物語　住吉物語　徒然草
2 土佐日記　枕草子　更科日記　方丈記
3 十六夜日記　落窪物語　辨内侍日記
4 さりかへばや物語　堤中納言物語　四季物語
5 中務内侍日記　蜻蛉日記　讃岐典侍日記　和泉式部日記
6 濱松中納言物語　大和物語　唐物語
7 宇治拾遺物語　多武峰少將物語
8—12 源氏物語
13—15 榮華物語
16—18 太平記
19 保元物語　平治物語　秋夜長物語　鴉鷺合戰物語
20 平家物語
21 古今著聞集
22 公事根源　十訓抄
23 水鏡　大鏡
24 増鏡

帝國文庫　五〇卷

(明治26—30)　博文館

1—4 眞書太閤記
5 源平盛衰記
6—8 南總里見八犬傳
9 東海・岐蘇・奥羽道中膝栗毛
10 梅暦　春告鳥
11 12 通俗三國誌
13 三馬傑作集
14 柳澤・越後・黑田・加賀・伊達騒動實記
15 京傳傑作集
16 種彦傑作集
17 星月夜顕晦録　北條九代記
18 通俗十二朝軍談　通俗武王軍談　通俗明清軍談
19 甲越軍記
20 通俗呉越軍談　通俗漢楚軍談
21 楠廷尉祕鑑
22 風來山人傑作集
23 24 西鶴全集
25 26 滑稽名作集
27 28 其磧・自笑傑作集
29 34 人情本傑作集
30 氣質全集
31—33 珍本全集
35 赤穗復讐全集
36 37 水滸傳
38 忠臣藏淨瑠璃集
39 41 四大奇書
40 續氣質全集
42 近松時代淨瑠璃
43 大岡政談
44 佛教各宗高僧實傳
45 仇討小說集
46 馬琴傑作集
47 淨瑠璃名作集
48 俠客傳全集
49 續仇討小說集
50 近松世話淨瑠璃

續帝國文庫　五〇卷

(明治32—36)　博文館

1 眞田三代記　日本武士鑑
2 近世説美少年録
3 4 日本歌謠類聚
5 偐紫田舍源氏
6 竹田出雲淨瑠璃集
7 朝夷巡島記
8 兒雷也豪傑譚　自來也說話
9 江戸作者淨瑠璃集
10 前々太平記　前太平記
11 太平記
12 紀海音淨瑠璃集
13 續近松淨瑠璃集
14 近松半二淨瑠璃集
15 後太平記　北條五代記
16 39 脚本傑作集
17 京山全集
18 落語全集
19 並木宗輔淨瑠璃集
20 紀行文集
21 一九全集
22 漂流奇談全集
23 都鄙諸國物語
24 續紀行文集
25 續水滸傳
26 傾城水滸傳　風俗金魚傳
27 文耕堂淨瑠璃集
28 29 白縫譚
30 北雪美談時代鏡　附拾遺
31 常山紀談　武將感狀記
32 萬物滑稽合戰記
33 續一九全集
34 黄表紙百種
35 俳優全集
36 俗曲大全
37 續々紀行文集
38 續馬琴傑作集
40 續京傳・三馬傑作集
41 42 釋迦八相倭文庫
43 種彦短篇傑作集
44—46 俊傑神稻水滸傳
47 近世奇談全集
48 名家短篇傑作集
49 佛教各宗續高僧實傳
50 名家漫筆集

國文大觀　一〇卷

(明治36—37)　板倉屋書房

1 2 源氏物語
3 竹取物語　伊勢物語　堤中納言物語　濱松中納言物語　落窪物語　さりかへばや物語
4 大和物語　多武峯少將物語　住吉物語　宇治拾遺物語　唐物語　今物語　鳴門中將物語　鳥部山物語　松帆浦物語　秋の夜の長物語　吉野拾遺物語
5 宇津保物語
6 狹衣　古今著聞集
7 土佐日記　蜻蛉日記　枕草子　紫式部日記　和泉式部日記　更科日記　讃岐典侍日記　方丈記　四季物語　艶詞　野守鏡　十六夜日記　轉寢記　東關紀行　中務内侍日記　徒然草　藤河記　小夜寢覺　いほぬし　無名草子
8 大鏡　水鏡　今鏡　増鏡
9 保元物語　平治物語　平家物語　神皇正統記
10 索引

國民文庫　三六卷

(明治42—44)　同刊行會

1 2 萬葉集略解
3 4 八代集
5 山家和歌集　定家和歌集　金槐和歌集　新葉和歌集
6 俳諧俳文集
7 8 源氏物語
9 竹取物語　伊勢物語　土佐日記　枕草子　落窪物語　狹衣物語
10 水鏡　大鏡　今鏡　増鏡　方丈記
11 徒然草　十訓抄　古今著聞集
12 13 謠曲全集
14 狂言全集
15 源平盛衰記
16 平家物語　承久記
17 保元物語　平治物語　曾我物語　義經記
18 太平記
19 信長記　太閤記
20 21 元祿時代小說集
22—24 近松戲曲集
25 出雲戲曲集
26 半二戲曲集
27 海音・文耕堂・鬼外戲曲集
28—31 里見八犬傳
32 雨月物語　椿說弓張月
33 和莊兵衞　夢想兵衞胡蝶物語　昔話質屋庫　三七全傳南柯夢

34 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
假名文章[illegible]用
35 [illegible]世風呂
浮世床
[illegible]毛
36 [illegible]集

續國民文庫　一八卷
（明治45—大正2）同　刊行會

1 隨筆集
2・3・11・17・18 眞書太閤記
4 北條九代記
重篇應仁記
5 常山紀談
武林名譽錄
6 雜史集
7 狂歌狂文集
8・13・14 水滸傳
9 滑稽本集
10 廣益俗説辯
俗説贅辯
大和事始
12 川柳集
14 水滸傳
西遊記
15 近世説美少年錄
16 高僧傳集

校註 國文叢書　一八卷
（大正1—3）博文館

1 すみれ草
源氏物語（上）
2 源氏物語（下）
源氏奥旨
紫女七論
3 太平記
4 太平記
曾我物語
5 保元物語
平治物語
平家物語
6 竹取物語
落窪物語
土佐日記
徒然草
伊勢物語
枕草子
紫式部日記
7—8 源平盛衰記
9 水鏡
大鏡
今鏡
增鏡
10 榮華物語
11 宇治拾遺物語
池の藻屑
松蔭日記
12 蜻蛉日記
更科日記
濱松中納言物語
さりかへばや物語
方丈記
月のゆくへ
13 宇津保物語
14 宇津保物語 附年立系圖
住吉物語
堤中納言物語
狹衣
15 義經記
承久記
北條九代記
16 今昔物語
17 今昔物語
古今著聞集
18 神皇正統記
梅松論
櫻雲記
吉野拾遺
十訓抄
大和物語
唐物語
和泉式部日記
十六夜日記

有朋堂文庫　一二一册
（大正2—5）有朋堂

第一部
古事記
祝詞
風土記
萬葉集
古代歌謠集
宇津保物語
源氏物語
狹衣物語
枕草子
方丈記
徒然草
平安朝物語集
平安朝日記集
古今和歌集
後撰和歌集
金葉和歌集
詞花和歌集
千載和歌集
拾遺和歌集
後拾遺和歌集
新古今和歌集
新葉和歌集
水鏡
大鏡
增鏡
山家和歌集
拾遺愚草
金槐和歌集
平家物語
太平記
謠曲集
狂言記
宇治拾遺物語
賀茂翁家集
六帖詠草
桂園一枝
琴後集
うけらが花
新撰名家詩集
新撰名家俳句集
新撰川柳狂詩集
古今夷曲集
萬載狂歌集
德和歌後萬載集
近代歌謠集
近松淨瑠璃集
西鶴文集

第二部
詔勅集
源平盛衰記
保元物語
平治物語
北條九代記
義經記
曾我物語
神皇正統記
讀史餘論
山陽史論
古今著聞集
御伽草紙
日記紀行集
東西遊記
北窓瑣談
直毘靈
馭戎慨言
靈能眞柱
心學道話集
禪林法話集
日蓮上人文集
親鸞聖人文集
益軒十訓
山鹿素行文集
中江藤樹文集
集義和書
常山紀談
名家隨筆集
閑田耕筆
年々隨筆
遊京漫録
花月草紙
骨董集
燕石雜誌
用捨箱
上田秋成集
太田南畝集
平賀源内集
石川雅望集
風俗文選
和漢文叢
鶉衣
先哲像傳
近世畸人傳
百家琦行傳
百人一首一夕話
醒睡笑
一休咄
曾呂利狂歌咄
窓のすさみ
武野俗談
江戸著聞集
新撰書翰集
江戸名所圖會
黄表紙十種

第三部
雅文小説集
南總里見八犬傳
椿説弓張月
近世説美少年錄
昔話稻妻表紙
本朝醉菩提
通俗漢楚軍談
通俗三國志
繪本西遊記
新編水滸畫傳
八文字屋本五種
正史實傳伊呂波文庫
東海道中膝栗毛
浮世風呂
浮世床
花暦八笑人
滑稽和合人
妙竹林話七偏人
修紫田舍源氏
娘節用
敎草女房形氣
大久保武藏鐙
大岡政談
護國女太平記
金澤實記
伊達顯秘錄
海音・半二・出雲・宗輔傑作集
淨瑠璃名作集
脚本集
總索引總解題書

新釋 日本文學叢書　一二卷
（大正11—12）同　刊行會

1—3 源氏物語
紫家七論
4 竹取物語
伊勢物語
大和物語
落窪物語
土佐日記
蜻蛉日記
5 紫式部日記
和泉式部日記
更科日記

十六夜日記
枕草子
方丈記
徒然草
6 萬葉集
古今和歌集
7 古事記
大鏡
水鏡
8 今鏡
増鏡
9 平家物語
10 神皇正統記
梅松論
讀史餘論
11 謠曲百番
12 奥の細道
鶉衣
芭蕉七部集
蕪村七部集

校註 日本文學大系　二五卷

（大正14—昭和3）　國民圖書株式會社

1 古事記
風土記
祝詞
壽詞
宣命
高橋氏文
日本書紀（神代卷）
2 竹取物語
伊勢物語
大和物語
濱松中納言物語
無名草子
とりかへばや物語
堤中納言物語
3 土佐日記
蜻蛉日記
和泉式部日記
紫式部日記
更級日記
東關紀行
十六夜日記
枕草子
方丈記
彰考館本方丈記
徒然草
4 宇津保物語
5 落窪物語
狹衣
住吉物語
石清水物語
6 7 源氏物語 附忍草・薫草
8 9 今昔物語
10 宇治拾遺物語
古今著聞集
11 榮華物語
12 水鏡
大鏡
今鏡
増鏡
13 月のゆくへ
池の藻屑
嬰鏡
義經記
14 保元物語
平治物語
平家物語
15 16 源平盛衰記
17 太平記
18 太平記
吉野拾遺
神皇正統記
19 お伽草子
松帆浦物語
鳴門中將物語
鳥部山物語
秋の夜の長物語
鵜鷺合戰物語
20 21 謠曲
古曲拾遺
22 狂言記
23 本朝文粹
24 懷風藻
凌雲集
文華秀麗集
經國集
續本朝文粹
25 國文學研究資料
國文學研究書目
和歌索引
本文索引
總目錄

近代 日本文學大系　二五卷

（大正15—昭和4）　國民圖書株式會社

1 假名草子集
2 舞の本及古淨瑠璃集
3 井原西鶴集
4 浮世草子集
5 八文字屋集
6 7 近松門左衛門集
8 9 名作淨瑠璃集
10 脚本集
11 洒落本代表作集
12 黄表紙集
13 怪異小說集
14 山東京傳集
15 16 曲亭馬琴集
17 式亭三馬集
18 十返舍一九集
19 柳亭種彥集
20 爲永春水集
21 人情本代表作集
22 落語滑稽本集
23 狂文俳文集
24 川柳狂歌集
25 日本小說年表
索引
總目錄

日本名著全集　三〇卷

（大正15—昭和4）　同 刊行會

江戸文藝之部

1 2 西鶴名作集
3 芭蕉集
4 5 近松名作集
6 7 淨瑠璃名作集
8 歌舞伎脚本集
9 浮世草子集
10 怪談名作集
11 黄表紙二十五種
12 洒落本集
13 讀本集
14 滑稽本集
15 人情本集
16—18 南總里見八犬傳
19 狂文狂歌集
20 21 修紫田舍源氏
22 23 膝栗毛其他
24 25 和文和歌集
26 川柳雜俳集
27 俳文俳句集
28 歌謠音曲集
29 謠曲三百五十番集
30 風俗圖繪集

日本古典全集

（昭和2—現）　同 刊行會

第一期 五〇冊

古風土記集
萬葉集略解
本草和名
懷風藻
凌雲集
文華秀麗集
經國集
本朝麗藻
源氏物語
榮華物語
赤染衛門歌集
御堂關白記
御堂關白歌集
平家物語
吾妻鏡
曾我物語
法然上人集
易林本節用集
西鶴全集（一—五）
芭蕉全集
玉かつま
狩谷棭齋全集（一—三）
大隈言道全集

第二期 五〇冊

古事記
增訂採輯諸國風土記
延喜式
竹取物語
大和物語
唐物語
住吉物語
古今和歌集
後撰和歌集
拾遺和歌集
藤原公任歌集
和泉式部全集
枕草子
紫式部日記
紫式部家集
清少納言家集
敎訓抄
信西古樂圖
保元物語
平治物語
承久記
宇治拾遺物語
長秋詠藻
山家集
義經記
土佐日記
蜻蛉日記
更級日記
帝室御物 徒然草 附活字本「徒然草」
帝室御物 謠曲百番
古代數學集
妙貞問答
顯僞錄
破提宇子
ぎや・ど・ぺかどる
西鶴全集（六—十一）
讀史餘論
賀茂眞淵集
與謝蕪村集
西遊日記
狩谷棭齋全集（四—九）
萬葉集品物圖繪

第三期 五〇冊

日本書紀
伊勢物語
後拾遺集
金葉集
詞花集
千載集
新古今集
寶德物語
古今著聞集
伊呂波字類抄
人倫訓蒙圖彙
古押譜
五畿內志
物類品隲
雲根志
重訂本草綱目啓蒙
假字遣奥山路
歌儀品目

歌舞伎年代記
近世畸人傳
集古畫帖
埋麝發香
羇旅日誌

第四期

倭名類聚鈔
同索引
歌舞集
今昔物語
江家次第
體源鈔
神皇正統記
元元集
歌林樸樕
片言
物類稱呼
東海道名所記
分間繪圖
萬葉集私考
同誤字愚考
書目集

袖珍名著文庫　五〇冊
(明治36―大正元)　富山房

1 芭蕉翁繪詞傳 附句集
2 近松淨瑠璃三種
3 雨月物語
4 曲山人娘節用
5 今昔物語選
6 近江縣物語
7 狂言二十番
8 西山家集
9 風流志道軒傳
10 春花五大力
11 俳諧水滸傳
12 よものあか
13 國姓爺合戰
14 謠曲二十番
15 世間娘氣質
16 日本永代藏
17 日本新永代藏
18 萬載集才藏集選
19 花月草紙
20 鳩翁道話
21 [illegible]手摺昔木偶
22 夢想兵衛胡蝶物語
23 同 後編
24 假名手本忠臣藏
25 慶長見聞集
26 源氏物語忍草
27 松の葉
28 春雨物語
29 世間用心記
30 をり〳〵草
31 和漢朗詠集
32 松浦佐用媛石魂錄前編
33 同 後編
34 東遊記
35 落語選
36 續々鳩翁道話
37 古今奇談英草紙
38 笑談五種
39 他我身の上
40 保元物語
41 平治物語
42 太平記忠臣講釋
43 芭蕉翁文集
44 因果物語
45 神皇正統記
46 南畝前後草
47 海道記迴國雜記
48 忠臣藏皮肉論 外一種
49 近世畸人傳
50 川柳選

新型名著文庫
第一期　二五冊
(大正15―現)　富山房

1 鳩翁道話全集
2 國姓爺合戰
百合若大臣野守鏡
3 評釋名曲選
4 舞の本
5 源氏物語忍草
紫女七論
6 芭蕉翁繪詞傳
俳句俳文集
7 戯曲義士篇
8 謠曲五十番
9 狂言五十番
10 古今和歌集遠鏡
11 新古今和歌集新抄
12 お伽草子
13 寶物集
14 撰集抄
15 繪本和漢朗詠集
新撰朗詠集
16 繪本徒然草
17 戯曲義士篇
18 秋成傑作集
19 分間繪圖 東海道中膝栗毛
20 赤本・黒本・青本
21 繪入柳樽
22 23 繪巻枕草子
24 西鶴傑作集
25 新譯古事記

近世文藝叢書　一二冊
(明治43―45)　國書刊行會

1 2 名所記
3 5 小說
6 實話
7 擬物語
8 9 川柳
10 風俗
11 俳諧
12 日記

葵文庫　一五冊
(明治43―45)　葵文會

東海道名所圖繪(上下)
繪本西遊記(一―三)
椿說弓張月(一―四)
都名所圖會(一―三)
東海道中膝栗毛(上下)
朝顏日記(全)

文藝叢書　一二卷
(大正1―3)　博文館

1 忠臣藏文庫
2 椿說弓張月
俊寬僧都島物語
賴豪阿闍梨怪鼠傳
3 西鶴文集
4 道中膝栗毛全集
5 俠客傳
6―8 南總里見八犬傳
9 演劇脚本集
10 忠義復讐傳
11 紀行文編
12 世話淨瑠璃名作集

德川文藝類聚　一二冊
(大正3―4)　國書刊行會

1 事實小說
2 教訓小說
3 遊歷小說
4 怪談小說
5 洒落本
6 7 脚本
8 淨瑠璃
9 10 俗曲
11 雜俳
12 評判記

江戸時代文藝資料　五冊
(大正5)　國書刊行會

1 洒落本
2―5 浮世草紙

近代文藝叢書　一八卷
(大正6―8)　文藝書院

滑稽文學全集(一―十二)
滑稽繪本全集(上下)
女流文學全集(一―四)

女流文學全集　四卷
(大正7―8)　文藝書院

1 理慶尼の記
おあん物語
山路の露
松蔭日記
東海紀行
江戸日記
歸家日記
桐の葉
富士の岩屋
2 月のゆくへ
池の藻屑
濱千鳥
怪世談(アヤシノヨガタリ)
3 伊香保記
初午の日記
後午の日記(ノチノウマ)
4 五[illegible]
庚子道の記
桃の園生
奥の荒海
藻屑
伊香保の道ゆきぶり
ゆきかひ
涼月遺草
旅の命毛
以曾都堂比
奥州波奈志
上京日記
夢かぞへ
女流文集
往事集
梶の葉
佐遊李葉
室八島
散のこり
杉のしづ枝
筑波子家集
佐保河
けぶりのすゑ
麥の舍集
海人の刈藻
四女句集
秋色女句集
園女句集
智月尼句集
捨女句集
千代尼發句集
花讃女句集
晴霞句集
女流狂歌集

洒落本集成

(昭4—現)　春陽堂

1 郭中掃除(外廿一種)
2 三幅對(外廿五種)
3 放蕩虚誕傳(外廿四種)

洒落本大系　一二卷

(昭和5—7)　六合館

1 両巴巵言(外廿五種)
2 無量談(外廿九種)
3 一事千金(外卅一種)
4 大通俗一騎夜行(外卅一種)
5 風俗問答(外廿六種)
6 彙軌本紀(外廿六種)
7 女郎買糠味噌汁(外廿六種)
8 養漢裸百貫(外廿六種)
9 南遊記(外廿三種)
10 見通三世相(外廿三種)
11 戯作評判花折紙(外廿一種)
12 當世空言の河(外廿一種)

名家小説文庫　一〇編

(明治42—44)　博文館

1 2 露伴叢書
3 澁柿叢書
4 5 柳浪叢書
6 花袋叢書
7 水蔭叢書
8 小波叢書
9 秋聲叢書
10 鏡花叢書

現代日本文學全集　六三篇

(昭和1—6)　改造社

1 明治開化期文學集
2 坪内逍遙集
3 森鷗外集
4 德富蘇峰集
5 三宅雪嶺集
6 尾崎紅葉集
7 廣津柳浪集
齋藤緑雨集
川上眉山集
8 幸田露伴集
9 樋口一葉集
北村透谷集
10 二葉亭四迷集
嵯峨の屋御室集
11 正岡子規集
12 德富蘆花集
13 高山樗牛集
14 泉鏡花集
15 國木田獨歩集
16 島崎藤村集
17 田山花袋集
18 德田秋聲集
19 夏目漱石集
20 上田敏集
厨川白村集
阿部次郎集
21 正宗白鳥集
22 永井荷風集
23 岩野泡鳴集
上司小劍集
小川未明集
24 谷崎潤一郎集
25 志賀直哉集
26 武者小路實篤集
27 有島武郎集
有島生馬集
28 島村抱月集
中澤臨川集
吉江孤雁集
生田長江集
片上伸集
29 里見弴集
佐藤春夫集
30 芥川龍之介集
31 菊池寛集
32 近松秋江集
久米正雄集
33 少年文學集
34 歴史家庭小説集
35 現代戯曲名作集
36 紀行隨筆集
37 現代日本詩集
現代日本漢詩集
38 現代短歌集
現代俳句集
39 社會文學集
40 伊藤左千夫集
長塚節集
高濱虚子集
41 長谷川如是閑集
内田魯庵集
武林無想庵集
42 鈴木三重吉集
森田草平集
43 岡本綺堂集
長田幹彦集
44 久保田万太郎集
長與善郎集
室生犀星集
45 石川啄木集
46 山本有三集
倉田百三集
47 吉田絃二郎集
藤森成吉集
48 廣津和郎集
葛西善藏集
宇野浩二集
49 戰爭文學集
50 新興文學集
51 新聞文學集
52 宗教文學集
53 小杉天外集
山田美妙集
54 巖谷小波集
石橋思案集
江見水蔭集
菊池幽芳集
55 小栗風葉集
柳川春葉集
佐藤紅綠集
56 田村俊子集
野上彌生子集
中條百合子集
57 小泉八雲集
ケーベル集
野口米次郎集
58 新村出集
吉村冬彦集
柳田國男集
齋藤茂吉集
59 賀川豐彦集
60 大佛次郎集
61 新興藝術派文學集
62 プロレタリア文學集
別卷 現代日本文學大年表
(附社會略年表)

現代大衆文學全集　六〇卷

(昭和2—7)　平凡社

1 19 白井喬二集
2 江見水蔭集
3 江戸川亂歩集
4 正木不如丘集
5 30 前田曙山集
6 33 國枝史郎集
7 小酒井不木集
8 長谷川伸集
9 37 吉川英治集
10 36 矢田挿雲集
11 岡本綺堂集
12 春田能爲集
13 14 松田竹の島人集
15 松本泰集
16 下村悦夫集
17 本山荻舟集
18 村上浪六集
20 白柳秀湖集
21 澤田撫松集
22 平山蘆江集
23 24 本田美禪集
25 伊原青々園集
26 38 土師清二集
27 高桑義生集
28 行友李風集
29 39 大佛次郎集
31 直木三十五集
32 40 三上於菟吉集
34 村松梢風集
35 新進作家集

續篇

1 林不忘集
2 佐々木味津三集
3 木下宇陀児集
4 白井喬二集
5 平山蘆江集
6 三上於菟吉集
7 行友李風集
8 直木三十五集
9 土師清二集
10 吉川英治集
11 長谷川伸集
12 前田曙山集
13 國枝史郎集
14 大佛次郎集
15 野村胡堂集
16 本田美禪集
17 生田蝶介集
18 新撰探偵小説集
19 村松梢風集
潮山長三集
20 江戸川亂歩集

明治大正文學全集　六〇卷

(昭和3—7)　春陽堂

1 東海散士篇
矢野龍溪篇
2 末廣鐵腸篇
丹羽純一郎篇
成島柳北篇
假名垣魯文篇
饗庭篁村篇
幸堂得知篇
3 坪内逍遙篇
4 二葉亭四迷篇
山田美妙篇
矢崎嵯峨の舍篇
5 尾崎紅葉篇
6 幸田露伴篇
7 森鷗外篇
8 黒岩涙香篇
森田思軒篇
9 廣津柳浪篇
廣津和郎篇
10 齋藤緑雨篇
若松しづ子篇
後藤宙外篇
巖谷小波篇
11 高山樗牛篇
樋口一葉篇
川上眉山篇
12 泉鏡花篇
13 德富蘆花篇
14 村上浪六篇
塚原澁柿園篇
15 江見水蔭篇
村井弦齋篇
16 小杉天外篇
17 小栗風葉篇
18 菊池幽芳篇
19 佐藤紅綠篇

柳川春葉篇
20 正岡子規篇
21 長塚節篇
高濱虛子篇
吉村冬彦篇
22 國木田獨歩篇
23 田山花袋篇
24 島崎藤村篇
25 德田秋聲篇
葛西善藏篇
26 短歌俳句篇
27 夏目漱石篇
28 鈴木三重吉篇
29 森田草平篇
30 岩野泡鳴篇
小川未明篇
中村星湖篇
31 永井荷風篇
32 上司小劍篇
正宗白鳥篇
33 長田幹彦篇
野上彌生子篇
34 武者小路實篤篇
長與善郎篇
35 谷崎潤一郎篇
36 詩篇
37 有島武郎篇
有島生馬篇
38 久保田万太郎篇
水上瀧太郎篇
39 倉田百三篇
吉田絃二郎篇
40 志賀直哉篇
佐藤春夫篇
41 藤森成吉篇
加能作次郎篇
松岡讓篇
豐島與志雄篇
田村俊子篇
42 近松秋江篇
宇野浩二篇
43 里見弴篇
44 久米正雄篇
小山内薫篇
45 芥川龍之介篇
室生犀星篇
46 菊池寛篇
47－50 戯曲篇
51 短篇集
52 細田民樹篇
細田源吉篇
下村千秋篇
牧野信一篇
53 加藤武雄篇
中村武羅夫篇
54 大佛次郎篇
牧逸馬篇
55－60 現代作家篇
56 江戸川亂歩篇
小酒井不木篇
甲賀三郎篇
大下宇陀兒篇
57 佐々木邦篇
辰野九紫篇
中村正常篇
正木不如丘篇
58 長谷川伸篇
白井喬二篇
59 佐々木味津三篇
直木三十五篇

現代長篇小説全集　二四巻

（昭和3－5）　新潮社

1 菊池寛篇
2 長田幹彦篇
3 里見弴篇
4 中村武羅夫篇
5 菊池幽芳篇
6 島崎藤村篇
7 加藤武雄篇
8 谷崎潤一郎篇
9 三上於菟吉篇
10 德田秋聲篇
11 吉田絃二郎篇
12 佐藤紅綠篇
13 久米正雄篇
14 泉鏡花篇
15 吉井勇篇
16 上司小劍篇
17 田山花袋篇
18 吉屋信子篇
19 小杉天外篇
20 佐藤春夫篇
宇野浩二篇
21 賀川豐彦篇
沖野岩三郎篇
22 小山内薫篇
谷崎精二篇
23 細田民樹篇
三宅やす子篇
24 島田清次郎篇
江馬修篇

日本探偵小説全集　二〇篇

（昭和4－5）　改造社

1 小酒井不木集
2 森下雨村集
3 江戸川亂歩集
4 甲賀三郎集
5 谷崎潤一郎集
6 岡本綺堂集
7 松本泰集
8 保篠龍緒集
9 大下宇陀兒集
10 横溝正史集
11 夢野久作集
12 角田喜久雄集
13 水谷準集
14 平林初之輔集
橋本五郎集
15 山下利三郎集
川田功集
16 久山秀子集
濱尾四郎集
17 長谷川伸集
山本禾太郎集
18 國枝史郎集
渡邊溫集
19 牧逸馬集
城昌幸集
20 佐藤春夫集
芥川龍之介集

日本文學大全集

（昭和6－現）　改造社

二葉亭四迷全集
樋口一葉全集
正岡子規全集
國木田獨歩全集
泉鏡花全集
菊池幽芳全集
田山花袋全集
岩野泡鳴全集
島村抱月全集
内田魯庵全集
近松秋江全集
鈴木三重吉全集
谷崎潤一郎全集
志賀直哉全集
武者小路實篤全集
有島武郎全集
石川啄木全集
岡本綺堂全集
長田幹彦全集
中村吉藏全集
里見弴全集
佐藤春夫全集
久米正雄全集
菊池寛全集
山本有三全集
久保田万太郎全集
厨川白村全集
豐島與志雄全集
廣津和郎全集
葛西善藏全集
藤森成吉全集
岸田國士全集
横光利一全集
川端康成全集
片岡鐵兵全集
池谷信三郎全集
龍膽寺雄全集

日本歌學全書　一二巻

（明治23－24）　博文館

1 古今和歌集
貫之家集
躬恒家集
友則家集
忠岑家集
2 後撰和歌集
元輔家集
能宣家集
順家集
天德歌合
3 拾遺和歌集
公任家集
紫式部家集
清少納言家集
4 後拾遺和歌集
相模家集
經信卿母集
高陽院歌合
5 金葉和歌集
詞花和歌集
堀河百首
6 千載和歌集
永久百首
忠度集
後京極歌合
7 新古今和歌集
鴨長明集
自讚歌
8 後德大寺大臣集
西行法師家集
源三位頼政集
9－11 萬葉集
12 悦目抄
無名抄
にひまなび
新學異見
歌がたり
歌袋
詞の直路

續日本歌學全書　一二巻

（明治31－33）　博文館

1 2 賀茂眞淵翁全集
3 本居宣長翁全集
4 5 香川景樹翁全集
6 小澤蘆庵翁全集
7 8 近世名家々集
9 近世長歌今樣歌集
10 桂園門下家集
11 12 明治名家々集

國歌大觀　二册

（明治34－36）　教文社

二十一代集
萬葉集
新葉和歌集
歴史歌集
日記草紙歌集
物語歌集

續國歌大觀　二册

（大正14－15）　紀元社

六家集

歌仙歌集
諸家集
私撰集並歌合
和泉式部集

歌文珍書保存會叢刊　一九册
（明治42—大正9）

1 詞瓊綸綠接
2 蘚の露
3 北邊成章家集
4 歌文綱要
用語大成
活語捷徑標識
尙平語格之說抄
5 秋園古香家集
二葉草
6 穗井田忠友集
7 假名沿革
8 久貝正典歌集
9 犬鶏随筆　上
10 12 14 15 言道翁歌集
11 犬鶏随筆　下
書紀雜考
13 答問雜稿
16 歌林雜考
續萬葉異本考
17 名家書簡集抄
18 19 名歌詞の珠衣

歌學文庫　六編
（明治43—44）一致堂書店

1 奥儀抄
袖中抄
2 俊秘抄
井蛙抄
綺語抄
無名抄
悦目抄

載恩記
3 袋草紙及遺編
秀歌之體大略
歌袋
大ぬさ
老のすさび
詠歌大概抄
歌枕
新撰髄脳
4 細川幽斎聞書
歌林良材集
續歌林良材集
耳底記
新學異見辨
正風體抄
三體和歌
今來風體抄
和歌肝要
かりねのすさみ
5 和歌色葉集
和歌紀聞
歌の大武根
磯の浪
6 詠歌聚要考
歌學提要
席語抄

校註 和歌叢書　七巻
（大正1）博文館

1 2 萬葉集
3 4 八代集
5 三十六人集
6 近代名家歌選
7 和歌作法集

校註 國歌大系　二八卷
（昭和3—6）國民圖書株式會社

1 古歌謠集
2 萬葉集
3 4 八代集
5—8 十三代集
9 撰集・歌合
10 御集・六家集
11 六家集
12 三十六人集
六女集
13 中古諸家集
14 近古諸家集
15—19 近代諸家集
20 明治初期諸家集
21 22 大木和歌抄
23 校註風葉和歌集
新修作者部類
和歌史年表
24—28 總合索引

現代短歌全集　二一卷
（昭和4—6）改造社

別卷 明治天皇御製集
昭憲皇太后御歌集
1 八田知紀集
井上文雄集
高崎正風集
黒田清綱集
福田行誡集
天田愚庵集
2 税所敦子集
小出粲集
山縣有朋集
大口鯛二集
井上通泰集
阪正臣集
入江爲守集
3 落合直文集
佐々木信綱集
4 正岡子規集
長塚節集
5 與謝野寛集
與謝野晶子集
6 伊藤左千夫集
岡麓集
7 尾上柴舟集
窪田空穂集
8 金子薫園集
太田水穂集
9 北原白秋集
吉井勇集
10 石川啄木集
土岐善麿集
11 若山牧水集
前田夕暮集
12 齋藤茂吉集
島木赤彦集
13 古泉千樫集
釋迢空集
石原純集
14 石榑千亦集
木下利玄集
川田順集
15 土屋文明集
中村憲吉集
16 尾上篤二郎集
松村英一集
吉植庄亮集
17 山川登美子集
茅野雅子集
九條武子集
岡本かの子集
杉浦翠子集
18 今井邦子集
柳原燁子集
若山喜志子集
原阿佐緒集
四賀光子集
19 相馬御風集
三井甲之集
平野萬里集
外山且正集
片山廣子集
20 岩谷莫哀集
橋田東聲集
植松壽樹集
半田良平集
三ケ島葭子集
21 口語歌集
新興短歌集

現代詩人全集　一二卷
（昭和4—5）新潮社

1 初期詩人集
2 島崎藤村集
土井晩翠集
薄田泣菫集
3 蒲原有明集
岩野泡鳴集
野口米次郎集
4 河井酔茗集
横瀬夜雨集
伊良子清白集
5 北原白秋集
三木露風集
川路柳虹集
6 石川啄木集
三富朽葉集
山村暮鳥集
7 日夏耿之介集
西條八十集
加藤介春集
8 佐藤春夫集
堀口大學集
生田春月集
9 高村光太郎集
室生犀星集
10 萩原朔太郎集
千家元麿集
佐藤惣之助集
福士幸次郎集
11 白鳥省吾集
福田正夫集
12 野口雨情集
柳澤健集
富田碎花集
百田宗治集

俳諧叢書、俳諧文庫、俳諧叢書、俳句入門叢書、初學俳句叢書、俳諧叢書、大正校訂俳諧名著文庫、古俳書文庫、日本俳書大系、俳書大系、校註俳文學大系、俳人眞蹟全集

俳諧叢書 一〇册 (明治24—26) 今井民次郎發行

1 風俗文選
2 俳諧寂栞
3—5 俳諧一葉集
6 芭蕉翁一代集
7 本朝文選
8 うづら衣
9/10 七部集大鏡

俳諧文庫 二四卷 (明治30—34) 博文館

1 芭蕉全集
2/3 芭蕉以前俳諧集
4 其角全集
5 許六全集
6 也有全集
7 嵐雪全集
二世雪中庵吏登全集
8 支考全集
9 蕉門十哲集
10 元祿名家句集
女流俳句集
11 一茶・大江丸全集
12 蕪村・曉臺全集
13 俳諧論集
14 素堂・鬼貫全集
15 續俳諧論集
16 俳諧句合集
17 蓼太全集
18 俳諧珍本集
19 俳諧文集
20 俳諧逸話全集
21 付合作法全集
22/23 俳書類題句集
24 俳書紀行全集

俳諧叢書 二八編 (明治32—43) 俳書堂

1 俳諧大要
2 俳人蕪村
3 俳諧三佳書
4 太祇全集
5 几董全集
6 召波樗良句集
7—10 類題句集春夏秋冬
11/12 俳句問答
13 俳句界四年間
14 元祿俳家々集
15—18 類題句集讀春夏秋冬
19/20 老梅居俳句問答
21—24 類題句集新春夏秋冬
25—28 故人春夏秋冬

俳句入門叢書 一二編 (明治36—39) 大學館

1 俳句獨習
2 蕪村俳句評釋
3 其角俳句評釋
4/5 春夏秋冬芭蕉俳句評釋
6 俳句新歲時記
7/10 春夏秋冬大家選範俳句集
8 初學自修俳句案内
9 芭蕉七部集俳句評釋
11 大家俳句練習談
苦心
12 明治大家俳句評釋

初學俳句叢書 二三編 (明治39—大正3) 大學館

1 俳句會必用全集
2 芭蕉蕪村俳句集
3 四季分類芭蕉七部集蕪村七部集俳句全集
4 四季分類芭蕉十哲俳句全集
5/6 春夏秋冬蕪村七部集俳句評釋
7/8 春夏秋冬明治四大家俳句集
9/10 春夏秋冬明治名家俳句集
11 模範滑稽俳句集
12/13 春夏秋冬子規俳句評釋
14/15 春夏秋冬芭蕉十哲俳句評釋
16 續蕪村俳句評釋
17 俳句熟語字彙
18 五畿八道名所旅行俳句集
19/22 太祇俳句評釋
20 明治選者句集
21 續芭蕉俳句評釋
23 模範滑稽俳句評釋

俳諧叢書 七卷 (大正2—5) 博文館

1/2 俳諧註釋集
3 名家俳句集附附合集
4 俳論作法集
5 名家俳文集
6 俳人逸話紀行集
7 芭蕉翁全集

大正校訂 **俳諧名著文庫** 一〇編 (大正5—6) 俳書堂

1 おらが春
2 去來抄
3 花屋日記
4 新花摘
5 新五子稿
6 芭蕉書簡集
7 陸奥千鳥
8 雪まろげ
附 奥の細道
9 俳諧芭蕉談
10 合本正續今宮草

古俳書文庫 二〇編 (大正13—15) 天青堂

1/2 菟玖波集
3 芭蕉翁全傳
芭蕉行狀記
4 新雜談集
5 其雪影
續明烏
6 奇談夢の棧
附 高點俳軍記
7 遊子行
よし野紀行
8 冬の日注解
9 步月の草
うき草日記
10 秋存分
常盤の香
11 隨齋諧話
12 正續今宮草
13 東山萬句
14 不猫蛇
削りかけの返事
賭露川狀
猪の早太
15 夢の猪名野
16 在岡俳諧逸士傳
鉢扣
17 風羅念佛
もゝちどり
あきの余波
18 白扇集
蓮化上人發句集
19 幻之庵
雪の葉
20 秋風記
篇外、芭蕉翁眞蹟集
篇外、芭蕉門古人眞蹟集

日本俳書大系 一六卷 (大正15—昭和3) 春秋社

俳書大系 三四卷 (昭和2—5) 春秋社 〔前書改訂增補本〕 舊版卷數

1/2 芭蕉一代集 一
3/4 蕉門俳諧前集 二
5/6 蕉門俳諧後集
7/8 蕉門俳諧續集 三
9/10 蕉門俳話文集 四
11/12 元祿名家句選 五
13/14 貞門俳諧集 六
15/16 談林俳諧集 七
17/18 蕪村一代集 八
19/20 中興俳諧名家集 九
21/22 中興俳話文集 一〇
23/24 天明名家句選 一一
25/26 一茶一代集 一二
27/28 近世俳諧名家集 一三
29/30 近世俳話句集 一四
31/32 俳諧系譜逸話集 一五
33 俳書人名地名索引 一六
34 全句索引

校註 **俳文學大系** 一二册 (昭和4—5) 大鳳閣書房

1—4 七部集總覽
5/6 註釋編
7/8 作法編
9 俳論編
10 隨筆編
11 紀行編
12 俳文編

俳人眞蹟全集 一二卷 (昭和5—現) 平凡社

1 貞門時代
2 談林時代
3 芭蕉
4/5 元祿時代
6 享保時代
7 蕪村
8/9 天明時代
10 一茶
11 化政時代
12 明治時代

演劇文庫　六編
(大正3―4)　演劇珍書刊行會

1 戲場一覽三座例遺誌
三賀之津俳優素顏夏の富士
珍說正話多話戲草
三都戲場役者用文章直指南
三都役者世々の接木
2 澤村家賀見
俳優茶話
狂歌評判俳優風
役者大系圖
3 八代目市川團十郞集
當世役者學藝論
劇場一觀顯微鏡
蓮猿狂句集
4 賀久屋壽々免
月雪花寢物語
古今役者名物大全
忠臣藏岡目評判
5 梅玉餘響
作者名目
なゝゑびそ
野﨟安誌
田舍芝居樂屋雜談
忠臣藏偏痴氣論
6 歌舞伎相續年表
花競芝居話 並 璉寬話
古今役者發句合
三都戲場役者・口商
月雪花寢物語(殘篇)

現代戲曲全集　二〇卷
(大正13―15)　國民圖書株式會社

1 坪内逍遙
2 岡本綺堂
3 松居松翁
高安月郊
山崎紫紅
伊原青々園
岡鬼太郞
4 中村吉藏
5 菊池寬
6 谷崎潤一郞
7 武者小路實篤
8 倉田百三
長與善郞
9 吉井勇
里見弴
10 長田秀雄
11 小山内薫
久保田万太郞
木下杢太郞
12 久米正雄
13 山本有三
14 秋田雨雀
仲木貞一
藤井眞澄
15 正宗白鳥
灰野庄平
近藤經一
小寺融吉
田島淳
島村民藏
16 池田大伍
額田六福
關口次郞
岡榮一郞
金子洋文
17 眞山青果
18 坪内逍遙
長谷川時雨
右田寅彥
岡村柿紅
中内蝶二
岡鬼太郞
山崎紫紅
坪内士行
生田葵
久松一聲
佐竹守一郞
勝本清一郞
茂都陸平
19 郡虎彥
鈴木泉三郞
20 森鷗外
島村抱月
岩野泡鳴
有島武郞

元祿歌舞伎傑作集　二卷
(大14)　早稻田大學出版部

上卷 (江戸の部)
椀久浮世十界
參會名護屋
兵根元曾我
關東小祿
源平雷傳記
一心女雷師
景政雷問答
和國五翠殿
薄雪今中將姫
傾城王昭君
傾城三鱗形
出世隅田川
三世道成寺
賴政萬年曆
鬼城女山人
信田會稽山
傾城淺間曾我
成田山分身不動
小栗鹿目石
小栗十二段
傾城角田川
早咲隅田川
賴政五葉松
中將姫京雛

下卷 (上方の部)
百夜小町
丹波與作手綱帶
水木辰之助餞振舞
佛母摩耶山開帳
武道達者
面向不背玉
五道冥官
日本月蓋長者
萬歲丸
和國風流兄弟鑑
大雜書伊勢白粉
關東小六今樣姿
傾城淺間嶽
京ひながた
傾城壬生大念佛
鳥邊山心中
女人結緣灌頂
閏正月吉書始
けいせい曉の鐘
加州櫻谷血達磨

日本戲曲大全　二五卷
(昭和2―4)　東方出版株式會社

1 巢林子世話全集
2 3 紀海音全集
4―6 千前軒(竹田出雲)全集
7 8 文耕堂全集
9 長谷川千四全集
10 竹田小出雲全集
11 12 淺田一鳥全集
13 14 竹田外記・若竹笛躬全集
15 豐竹應律全集
16 福内鬼外全集
17 竹田三郞兵衞・奈川七五三助全集
18 近松柳全集
19―21 菅專助全集
22 松貫四全集
23 紀上太郞・森羅萬象全集
24 司馬芝叟・梅野下風全集
25 山田案山子全集

日本戲曲全集　六八卷
(昭和3―現)　春陽堂

歌舞伎篇
1 中古江戸狂言集
2 不破名古屋狂言集
3 石川五右衞門狂言集
4 並木正三集
5 並木五瓶時代狂言集
6 並木五瓶世話狂言集
7 寬政期京坂時代狂言集
8 寬政期京坂仇討狂言集
9 寬政期京坂世話狂言集
10 初世櫻田治助集
11 鶴屋南北怪談狂言集
12 鶴屋南北世話狂言集
13 顏見世狂言集
14 曾我狂言集
15 赤穗義士劇集
16 伊達騷動狂言集
17 寬政期江戸世話狂言集
18 化政度江戸世話狂言集
19 化政度京坂仇討狂言集
20 化政度江戸仇討狂言集
21 滑稽狂言集
22 幕末江戸狂言集
23 天保嘉永度狂言集
24 お家狂言集
25 小說脚色狂言集
26 義太夫狂言時代物集
27 舞踊狂言集
28 續義太夫狂言時代物集
29 義太夫狂言世話物集
30 31 河竹默阿彌集
32 三世新七・竹柴其水集
自33至50追加續刊
33 探偵狂言集
34 太閤記狂言集
35 俠客狂言集
36 情話狂言集
37 續々義太夫狂言時代物集
38 双蝶々狂言集
39 武勇傳狂言集
40 續赤穗義士劇集
41 續化政度江戸狂言集
42 京坂世話狂言集
43 京坂二の替狂言集
44 維新狂言集
45 一幕物狂言集
46 顏見世狂言・一番目集
47 續舞踊劇集
48 近世大坂狂言集
49 中古大坂狂言集
50 初期歌舞伎狂言集

現代篇
33―┐ 歌舞伎篇[illegible]
33 坪内逍遙篇
34 依田學海篇
福地櫻痴篇
榎本虎彥篇
右田寅彥篇
岡村柿紅篇
松居松翁篇
大森痴雪篇
35 岡本綺堂篇
36 岡鬼太郞篇
山崎紫紅篇
高安月郊篇
伊原青々園篇
長谷川時雨篇
岡田八千代篇

野上彌生子篇
木村富子篇
大村嘉代子篇
弘津千代篇
37 池田大佑篇
仲木貞一篇
灰野庄平篇
林和篇
清見陸郎篇
小寺融吉篇
額田六福篇
38 小說脚色集
39 川村花菱篇
瀨戸英一篇
行友李風篇
中内蝶二篇
木村錦花篇
曾我廼家五郎篇
曾我廼家十郎篇
40 森鷗外篇
永井荷風篇
小山内薫篇
41 長田秀雄篇
木下杢太郎篇
吉井勇篇
郡虎彥篇
42 谷崎潤一郎篇
里見弴篇
久保田万太郎篇
泉鏡花篇
43 中村吉藏篇
島村抱月篇
秋田雨雀篇
坪内士行篇
島村民藏篇
藤井眞澄篇
44 有島武郎篇
長與善郎篇
倉田百三篇
室生犀星篇
吉田絃二郎篇
近藤經一篇
45 武者小路實篤篇
正宗白鳥篇
46 菊池寛篇
山本有三篇
47 久米正雄篇
横光利一篇
邦枝完二篇
北尾龜男篇
鈴木泉三郎篇
48 岸田國士篇
佐藤春夫篇
犬養健篇
田島淳篇
水木京太篇
關口次郎篇
49 藤森成吉篇
村山知義篇
金子洋文篇
長谷川如是閑篇
前田河廣一郎篇
50 伊藤松雄篇
永田衡吉篇
河野義博篇
能島武文篇
北村小松篇
北村壽夫篇
田中總一郎篇
鈴木彥次郎篇
池谷信三郎篇
北村喜八篇

近古文藝 温知叢書 一二編

（明治24―25）　博文館

1 奴師勞之
老の樂
異本洞房語園
東海道名所記
2 白石小品
慕朝故事談
八水隨筆
後昔物語
俗耳鼓吹
用捨箱
3 松屋叢話
斯文源流
内安録
妙々奇談
近代世事談綺
戲場新話
4 閑なるあまり
野叟獨語
寛文見聞記
平賀鳩溪實記
くせ物語
竹本豐竹淨瑠璃譜
紫のゆかり
增補浮世繪類考
5 貨幣祕録
三絃考
近世物之本作者部類
南留部志の辨
寶永落書
遊女考
吉原十二時
6 神道獨語
赤裸々
瀨田問答
隅田川考
相撲傳書
洞房語園考異
賤のをだまき
さはずがたり
7 道成寺考
本朝世事談綺正說
浪華の風
窓の須佐美
8 奈良柴
猿樂傳記
そゞろ物語
望海毎談
狛犬考
近世奇跡考
9 本朝細馬集
塵塚談
見た京物語
近世江都著聞集
著作堂一夕話
北里戲場隣の疝氣
10 窓の須佐美追加
多摩川考
わが衣
三社託宣考
和歌三神考
軍神問答
當世武野俗談
江戸節根元記
11 病間長語
兎園會集說
奥州波奈志
磯通太比
蜑の燒藻
武藏鐙
12 牛馬問
菅像辯
猿樂沿革考
老の長咄
麓の花
吉原雜話
大盡舞考證
近世事物考
八木の談

百家說林 七卷

（明治38―39）　吉川弘文館

正編上卷
獨語
北邊隨筆
南留別志
和歌世話
筆のすさび
都のてぶり
雨窓閑話
傍廂
消酒筆話
玄洞放言
北里十二時
善庵隨筆
桂林漫録
おもひぐさ
奥の細道
圓珠庵雜記
昆陽漫録
輶軒小録
假名世說
關の秋風
鋸屑譚
茅窓漫録
春波樓筆記
蜘蛛の絲卷
しりうごと
難後言
正編下卷
梅園叢書
遊京漫録
世事百談
墳墓考
こがねぐさ
家屋雜考
續昆陽漫録
我宿草
訓蒙淺語
畫談雞肋
兎園小說
雲萍雜志
花月草紙
鳥おどし
金剛談
閑窓自語
人名考
遺居通三居考
骨法說
おはりみいはし
たはれぐさ
清閑雜記
梧窓漫筆拾遺
心の便紙
續編上卷
年山紀聞
錦所談
南向茶話
庖丁書録
梅園日記
醉中清話
蕉梧隨筆
織錦舍隨筆
ねざめのすさび
還魂紙料
下馬のおとなひ
松の落葉
河社
續編中卷
比古婆衣
骨董集
後松日記
烹雜の記
西洋畫談
近世逸人畫史
歷世女裝考
天朝墨談
遊藝園隨筆
磯山千鳥
續編下卷（一）
閑田耕筆
閑田次筆
年々隨筆
燕居雜話
松竹問答
筠庭雜考

難波江
續編下卷（二）
足薪翁記
柳亭記
柳亭雜記
柳葊隨筆初編
柳葊隨筆
梅窓筆記
別冊
索引

珍書文庫 隨筆大觀　六册
（明治43—44）圖書出版協會

1 榊巷談苑
夏山雜談
三餘叢談
天野政德隨筆
2 遊齋偶筆
愚雜俎
理齋隨筆
根南志倶佐
其蜩庵隨筆
南畝莠言
3 梅村載筆
遠碧軒記
風のしがらみ
4 こはずがたり
あふひつくり
溫古隨筆
淩雨謾錄
寢よとの鏡
酒話隨筆
秋齋隨筆
筆のたはぶれ
八水隨筆
5 蓮響錄
中陵漫錄
6 關祕錄
年山打聞
良齋間話

珍書文庫 百家叢說　三編
（明治44—45）田邊勝哉編

1 僞年號
松蟲鈴蟲考
（外廿五種）
2 榮花物語考
田樂考
（外廿二種）
3 日本紀の御局の考
稻負鳥考
（外廿一種）

日本隨筆全集　二〇卷
（昭和2—5）國民圖書株式會社

1 寸錦雜綴
南留別志
東囂子
善庵隨筆
思齋漫錄
秋苑日涉
睡餘小錄
2 圖珠菴雜記
河やしろ
著作堂一夕話
文會雜記
松屋叢話
3 三養雜記
駿臺雜話
烹雜の記
孝經樓漫筆
猿著聞集
4 花街漫錄
嚶々筆語
北窻瑣談
擁書漫筆
南屏燕語
湖亭涉筆
5 燕石雜志
たはれぐさ
漫畫隨筆
蒹葭堂雜錄
常山樓筆餘
6 好古小錄
年山紀聞
秉燭譚
閑田耕筆
提醒紀談
7 好古日錄
閑田次筆
南嶺子
柳葊隨筆
茅窓漫錄
坤齋日抄
8 南嶺遺稿
雅遊漫錄
玄同放言
聖學隨筆
柳葊雜筆
松亭漫筆
9 還魂紙料
橘窓茶話
北邊隨筆
閑窓瑣談
雲錦隨筆
10 用捨箱
閑際筆記
梅園日記
赤穗義士隨筆
宮川舍漫筆
11 近世奇跡考
比古波衣
愚雜俎
12 年々隨筆
理齋隨筆
難波江
13 骨董集
雲萍雜志
假名世說
14 夏山閑話
花月草紙
秋齋間語
四方の硯
退閑雜記
蜘蛛の絲卷
瓦礫雜考
積翠閑話
15 南畝莠言
松の落葉
良齋間話
鄰女晤言
翁草
16 玉かつま
輶軒小錄
17 梧窓漫筆
筆のすさび
梅窓筆記
塵塚物語
一宵話
18 桂林漫錄
にぎはひ草
玲瓏隨筆
比古波衣（續編）
19 雨窓閑話
遠碧軒隨筆
關祕錄
蒼梧隨筆
20 索引

未刊隨筆百種　二三卷
（昭和2—4）米山堂

1 岡場遊廓考
操曲入門口傳之卷
新役龍の庖丁
2 江戸拾葉
吉原春秋二度の景物
文政年間漫錄
慶應雜談
博奕仕方風聞書
3 享和雜記
俗事百工起源
淺草志
勝扂子
4 青樓年曆考
天明紀聞
寬政紀聞
濟生堂五部雜錄
小歌事文類聚
諺文選語心註
淨瑠璃通鑑綱目
歌舞伎始記評林
類聚世話百川合海
5 尾陽戲場事始
迂純
吉原矢嗒
村摘記
6 事々錄
文政天保改革雜談
業外記要集
7 傾城百人一首
古今東名所
かくやいかにの記
8 戲言養氣集
文化祕筆
七種寶納記
9 及瓜漫筆
天保風說見聞祕錄
10 東都一流江戸節根元集
藝界きくまゝの記
祕登利古刀
寬延雜祕錄
寶丙密祕登津
世のすがた
きゝのまに〳〵
11 豐島郡淺草地名考
白石先生寶貨事略追加
俗語問屋場始末
12 寶夢錄
關東潔競傳
江戸圖書目提要
家守杖
洛水一滴抄
13 鄙雜俎
江戸愚俗徒然噺
妻高世々之蹟
崎陽賊船考
高田雲雀
14 露草雙紙
楓林腐草
美話
文廟外記
・德物語
江戸自慢
15 柳營譜略
公鑑
水戸前中納言殿御系記
三十三ヶ條案文
御町中御法度御穿鑿遊女諸事出入書留
踊之著慕駒連
まさきのかつら
16 雜交苦口記
角力め組鳶人足一條
愚痴拾遺物語
頃日全書
使臭心得之事
17 公使熈績
享保通鑑
狩野五家譜
獄祕書
18 裏見寒話
小うた打聞
柳亭淨瑠璃本目錄
新徵組目錄
六圃刈香之辨
六園四季之火合
19 在京在坂中日記
貴賤上下考
文政雜說集

天狗騒動實錄
緑山砂子
十寸見編年集
20 雲のふる道
花柳古鑑
大江戸春秋
東雲見聞誌
寛政秘策
21 江戸芝居年代記
22 天保新政錄
川越松山之記
峽陽來書
身延攻
近世珍談集
23 難廼篤可話
門前地改更之會錄
桐竹紋十郎手記
玉川參登鯉傳
一本草

日本隨筆大成

（昭和2—6）　吉川弘文館

第一期　一二冊、別二冊

1 梅村載筆
筆のすさび
羇旅漫錄
仙臺間語
春波樓筆記
桂林漫錄
紙魚室雜記
瓦礫雜考
柳亭記
尚古造紙挿
2 雲錦隨筆
松屋棟梁集
橿園隨筆
近世女風俗考
蘿月庵國書漫抄
畫譚雞肋
煙霞綺談
柳亭筆記
磯山千鳥
橘窓自語
3 玄同放言
都の手ぶり
織錦舍隨筆
睡餘小錄
八水隨筆
歷世女裝考
書僧贅筆
槇の落葉物語
金曾木
4 鋸屑譚
上代衣服考
雨窓閑話
屋氣野隨筆
寸錦雜綴
半日閑話
泊洦筆話
5 排正衣服考
心の雙紙
過庭綺談
嚶々筆語
花街漫錄
遠碧軒記
風のしがらみ
著作堂一夕話
海人のくゞつ
遊藝園隨筆
善庵隨筆
6 古老茶話
秉燭譚
四方の硯
梅園叢書
野乃舍隨筆
おもひぐさ
閑窓瑣談（前篇）
還魂紙料
擁書漫筆
西洋畫談
7 思ひの儘の記
用捨箱
向岡閑話
撈海一得
松陰隨筆
槇の落葉信濃漫錄
蒹葭堂雜錄
文會雜記
閑窓瑣談（後篇）
巽菴隨筆
8 北邊隨筆
燕居雜話
骨董集
かしのしづ枝
幽遠隨筆
松屋叢考
宮川舍漫筆
駒谷芻言
9 古今沿革考
異說まち／＼
閑際筆記
獨語
又樂庵示蒙話
南嶺子
南嶺子評
世事百談
閑田耕筆
閑田次筆
天神祭十二時
10 筆の御霊
東牖子
嗚呼矣草
齊諧俗談
一宵話
昆陽漫錄
續昆陽漫錄補
南嶺遺稿幷評
秉穂錄
花街漫錄正誤
11 年々隨筆
嘉良喜隨筆
烹雜の記
三のしるべ
好古小錄
好古日錄
奇遊談
茅窓漫錄
庖丁書錄
こがねぐさ
12 耽奇漫錄
別巻 一話一言（上下）

第二期　一二冊、別二冊

1 兎園小說
草廬漫筆
松屋叢話
提醒紀談
圓珠庵雜記
假名世說
一時隨筆
梅の塵
當代江都百花物
2 筱舍漫筆
萍花漫筆
兎園小說外集
兎園小說別集
八十翁疇昔話
牟藝古雅志
雲萍雜志
畫證錄
閑なるあまり
3 兎園小說餘錄
兎園小說拾遺
保敬隨筆
梅園拾葉
新著聞集
雉岡隨筆
三養雜記
清風瑣言
尤の草紙
近世奇跡考
4 它山の石
筠庭雜錄
勇魚鳥
蜘蛛の絲卷
橘窓茶話
一簞博覽
莘の跡
筠庭雜考
目ざまし草
反古籠
閑窓自語
雜說嚢話
5 先進繡像玉石雜志
二川隨筆
飛鳥川
續飛鳥川
江戸雀
積翠閑話
尾崎雅嘉隨筆
閑窓筆記
梅翁隨筆
6 櫻の林
新增補浮世繪類考
笈埃隨筆
十八大通
本朝世事談綺
玲瓏隨筆
河社
7 多波禮草
本朝世事談綺正誤
桑楊庵一夕話
隣女晤言
蓴葉草紙
足薪翁記
奴勞師之
比古婆衣
西山公隨筆
8 南留別志
可成三註
非なるべし
南留別志の辨
あるべし
ざるべし
北窓瑣談
閑中清話
三省錄
火浣布略說
年山紀聞
9 遊京漫錄
胡蝶庵隨筆
柳菴隨筆初編
柳菴隨筆
柳菴隨筆餘編
華風雜話
曲肱漫筆
北國奇談巡杖記
立路隨筆
南屏燕語
答問雜稿
楓軒偶記
淺草小言
10 銀鶏一睡南柯の夢
猿著聞集
燕石雜志
靜軒痴談
閑散餘錄
於路加於比
只今御笑草
夏山雜談
折々草
11 難波江
下馬のおとなひ
松の落葉
筐の焼薬の記
閑の曙
12 卯月園漫錄
雅遊漫錄
赤穗義士隨筆
思齋漫錄
南畝莠言

語
書軒小錄
芋野茗談
なゐの日並
諸國里人談
別卷 嬉遊笑覽（上下）
第二期 一二冊
1 傍廂
傍廂糾繆
ねざめのすさび
理齋隨筆
花月草紙
浪華百事談
異本洞房語園
洞房語園後集
洞房語園異本考異
筆のすさび
おほうみのはし
2 中陵漫錄
柳庵雜筆
古今雜談思出草紙
俗耳鼓吹
消閑雜記
賤のをだまき
醒睡笑
近世商賈盡狂歌合
3 天朝墨談
蒼梧隨筆
梅窓筆記
閑の秋風
浪華の風
嗜癖談
三餘叢談
こはずがたり
近來見聞噺の苗
駿臺雜話
むさしあぶみ
4 南向茶話
後松日記
妙々奇談

見た京物語
天野政德隨筆
淩雨漫錄
莛響錄
訓蒙淺語
榊巷談苑
5 百草
我宿草
愚雜俎
松亭漫筆
鳥おどし
孝經樓漫筆
金剛談
關祕錄
牛馬問
春雨譚
春湊浪話
松竹問答
6 百草露
蘆の花
しりうごと
難後言
梅園日記
瀬田問答
後は昔物語
白石先生紳書
桃岡雜記
7 8 甲子夜話（上下）
9 10 鹽尻（上下）
11 12 13 翁草（上下）

音曲叢書　六編

（大正3—4）　演劇珍書刊行會編

1 竹本播磨少掾音曲口傳
古今外題年代記
斷絃餘論
絲竹大全
大薩摩杵屋系譜
2 淨瑠璃祕曲抄

音曲道智編
聲曲類纂補遺
常磐津年表
増補淨瑠璃大系圖
3 音曲道しるべ都のにしき
三味線早稽古老の戯言
はなわらひ
増補淨瑠璃大系圖
4 娘淨瑠璃藝品定
増補淨瑠璃大系圖
5 6 増補淨瑠璃大系圖

日本音曲全集　一五卷

（昭和2—3）　誠文堂

1 長唄全集
2 10 義太夫全集
3 清元全集
4 端唄・小唄・歌澤全集
5 琵琶全集
6 箏唄及地唄全集
7 俗曲全集
8 常磐津全集
9 富本及新內全集
11 古曲全集（河東・一中・薗八・荻江）
12 謠曲全集
13 續義太夫全集
14 臺詞全集 附合方
15 續長唄全集

日本歌謠集成　一二卷

（昭和3—4）　春秋社

1 上古篇（古謠）
2 中古篇（古謠・神樂・郢曲）
3 中古篇（朗詠）
4 中古近古篇（佛會歌謠）
5 近古篇（延年・宴曲・田樂・歌・舞曲・小歌）
6 7 近世篇（流行歌・踊歌・歌舞伎歌）
8 近世篇（上方唄・箏歌・歌祭文）
9 近世篇（江戸長唄・江戸端唄）
10 近世篇（淨瑠璃）
11 近世篇（淨瑠璃・流行歌）
12 近世篇（各府縣現存俚謠）

存採叢書　一三三冊

（明治13—20）　近藤圭造編

1—6 續東大寺正倉院文書
7 新抄格勅符抄
8 逸傳六種
9—11 曾我物語
12—18 帝王編年記
19 叢思記
20—25 國造本紀考
26—30 皇居年表
31—42 和名抄諸國郡鄉考
43 44 御本日記附注
45 46 御本日記續錄
47 御寫本譜附慶長勅版考
48—51 松蔭の日記
52 配所殘筆
53 道の幸
54 居龍工隨筆
55 昔々物語
56 春湊浪話
57 58 白河結城氏歷世事實
59 寓簡
60—74 古今要覽稿抄
75 76 水の一すぢ
77 國文句讀考
78 79 長等の山風
80—82 長等の山風附錄
83—88 比古婆衣
89—111 嬉遊笑覽
112—116 歷代和歌勅撰考
117—125 拾聞集
126—130 四述奇附航海述奇
131 時憲書內閣書
132 翁草
133 存採叢書總目

我自刊我書　一二〇冊

（明治13—17）　甫喜山景雄編

鴉鷺合戰物語
江戸名園記
嘉永明治年間錄
川角太閤記
鎌倉大草紙脫漏
嬉遊笑覽
昨日は今日の物語
清正朝鮮記
皇都午睡
慶長年中卜齋記
雞林拾葉
兼好法師物見車
古今要覽稿
碁盤太平記
正續三王外記
鹽尻
色音論
諸國盆踊唱歌
史料目錄
續日本史
德川氏御實記附錄
二老略傳
信長公記
羽倉考
武江年表
文恭公實錄
鑓の權三重帷子

百萬塔　四三種

（明治25—）　金港堂

御ひいき勸進帳
役者評判
金紋五三の桐
丹波與作無間鐘
鎌倉諸藝袖日記
三十石艠始
愛護初見女筆始
五光其響忠信
大猷公御上洛中の詠歌
文教溫故
醒睡笑
古朽木
根南志具佐
梅松論
櫻雲記
吉野拾遺
南方紀傳
北州列女傳
伊達傳毛の記
北海異談
長門本平家物語（卷一—四）
紫の一本
ひともと草
江戸繁昌記
繁昌後記
新潟繁昌記
北條分限帳郡村附略考
當時珍說要秘錄
近世公實嚴秘錄
文鳧寓談
舊幕府御定書
舊幕府定書例書
舊幕府公事方御定書
幕府時代屆申渡抄錄
享保度法律類寄
そしり草
[illegible]隨筆
尾日物語
玉川砂利
視聽草
信友隨筆
昔物語
小島のすさみ

群書類從 一八輯 附目錄索引
(明治26—27) 經濟雜誌社
(大正12—昭和5) 續群書類從完成會
備考 一、內ノ數字ハ完成會本ノ輯、全二九輯

1 「1 2」神祇部(七〇種)
2 「3」帝王部(三〇種)
3 「4」補任部(三九種)
4 「5」系譜部(一八種)
傳部(三三種)
官職部(六種)
「6」律令部(五種)
5 「6 7」公事部(五九種)
6 「8」裝束部(二三種)
「8 9」文筆部(一四種)
「9」消息部(二〇種)
7—10 「10—16」和歌部(四四種)
「17」連歌部(九種)
11 「17」物語部(二〇種)
「18」日記部(六種)
紀行部(五九種)
12 「19」管絃部(三三種)
蹴鞠部(六種)
鷹部(一〇種)
遊戲部(一七種)
飲食部(一三種)
13 「20 21」合戰部(六九種)
14 「22 23」武家部(七七種)
15 「24」釋家部(七八種)
16—18 「25—29」雜部(一七六種)
附 總目錄書名索引略解題
續類從總目錄書名索引
1—10 補遺(御湯殿の上の日記) 昭和七・十一月ヨリ

經濟雜誌社本明治二十六年—大正元年マデニ出版。「」內ノ數字ハソノ輯ノ卷ヲ示ス
一上—「1—3」神祇部(一六種)
四上 「4」帝王部(二〇種)
四上下 補任部(四九種)
五上—「5—7」系譜部(三三種)
八上—「8 9」傳部(一九種)
一〇上 「10」官職部(二種)
律令部(三種)
一一下 公事部(二六種)
一二下 「11」裝束部(一〇種)
一二上—「12」文筆部(五〇種)
一三下 「13」消息部(七種)
一四上—「14 15」和歌部(三六種)
一七上—「16」連歌部(六六種)
一八上—「17」物語部(二四種)
一八下 「18」日記部(三種)
一八下 紀行部(八種)
一九上 「19」管絃部(三種)
一九中 蹴鞠部(七種)
鷹部(一五種)
遊戲部(三種)
一九下 飲食部(一三種)
——(以下完成會新刊)——
二〇上—二三上 合戰部(一三種)
二三下—二五上 武家部(二九種)
二五下—二六下 釋家部(六三種)
二九上—三三下 雜部(二七種)
一—三 補遺(滿濟准后日記)
三—四 補遺(看聞御記)

續群書類從 三三輯 六七冊 補遺四冊
(大正12—昭和5) 同 完成會
備考 飲食部マデ十九輯經濟雜誌社本ニアリ

續々群書類從 一六冊
(明治39—42) 國書刊行會
1 神祇部
2—4 史傳部
5 記錄部
6—7 法制部
8—9 地理部
10 教育部
11—12 宗教部
13 詩文部
14—15 歌文部
16 雜部

新群書類從 一〇冊
(明治29—41) 國書刊行會
1—4 演劇
5—6 歌曲
7 書目
8 舞曲(幸若舞の本)
9 曲(金平本)
10 狂歌

古事類苑 五〇冊
(明治29—大正3) 神宮司廳編
天部
歲事部
地部
神祇部
帝王部
官位部
封祿部
政治部
法律部
泉貨部
稱量部
外交部
兵事部
武技部
方技部
宗教部
文學部
禮式部
樂舞部
人部
姓名部
產業部
服飾部
飲食部
居處部
器用部
遊戲部
動物部
植物部
金石部
總目錄索引

丹鶴叢書 八冊
(明治45—大正3) 國書刊行會
1 日本書紀
春記
2—3 今昔物語
4—5 草根集
萬代和歌集
6 正中御飾記
內宮御神寶記
北山抄
雜筆要集
擇食供物圖
諸陵雜事注文
諸LL日記
擬弓篳割次第
九條家車圖
西園寺家車圖
基盛朝臣鷹狩記
後水尾院當時年中行事
三條中山口傳
7 和歌一字抄
九條右大臣集
御堂關白集
家經朝臣集
大納言經信卿集
前參議教長卿集
信實朝臣家集撰
源重之むすめの集
小侍從集
殷富門院大輔集
和泉式部續集
濱松中納言物語
しのびね物語
8 蒙古襲來繪詞
繪師草紙
乙寺緣起
紫式部日記繪卷
室町殿春日詣記
古事談
武藏國風土記

國史大系 一七卷
(明治23—34) 經濟雜誌社
1 日本書紀
2 續日本紀
3 日本後紀
續日本後紀
文德實錄
4 三代實錄
5 日本紀略
6 日本逸史
扶桑略記
7 古事記
舊事本紀
神道五部書
釋日本紀
8 本朝世紀
9—11 公卿補任
12 令義解
類聚三代格
類聚符宣抄
續左丞抄
13 交替式
延喜式
14 百錬抄
愚管抄
元亨釋書
15 古事談
古今著聞集
十訓抄
榮華物語
16 今昔物語
17 宇治拾遺物語
水鏡
大鏡
今鏡
增鏡

續國史大系 一五卷
(明治35—36) 經濟雜誌社
1—3 續史愚抄
4—5 吾妻鏡
6—8 後鑑
9—15 德川實記

改定**史籍集覽** 三三冊
(明治33—36) 近藤瓶城編
1—8 通記類
9—11 纂錄類
12—16 別記類
17 雜類
18—22 通記類
23 纂錄類
24—26 別記類
27 雜類
1—5 篇外
總目解題

故實叢書 一六八冊
(明治32—39) 吉川弘文館

增訂**故實叢書** 四一卷
「4」等八增補
(昭和3—6) 吉川弘文館
1 歷世服飾考

2 貞丈雜記
3・7・10・14・16・25・27・31 武家名目抄
〔4〕內裏儀式
同疑義辨
內裏式
儀式
北山抄
5 輿車圖
輿車圖考
6 建武年中行事略解
御代始抄
公事根源愚考
日中行事略解
嘉永年中行事
同　考證
8 女官裝束着用次第
近代女房裝束抄
服色圖解
〔9〕鳳闕見聞圖說
安政御造營記
宮殿調度沿革
調度圖會
室町殿屋形私考
家屋雜考
服飾管見
11 禁祕抄考註
拾芥抄
12 大內裏圖
中古京師內外地圖
中昔京師地圖
〔13〕禁中方名目抄校註
有職袖中抄
續有職問答
官職知要
故實拾要
光臺一覽
15 20 續文圖會
〔17〕江家次第
18 22 安齋隨筆
安齋雜攷
19・23・33 大內裏圖考證
21 本朝軍器考
同集古圖說
軍用記　同附圖
武器袖鏡
24 裝束織文圖會
〔26 29〕筆の御靈　同附圖
28 倚古鎧色一覽
〔30 35〕刀劍圖考
武器考證
32 裝束集成
34 冠帽圖會
裝束着用圖
禮服着用圖
鎧着用次第
36 舞樂圖
舞樂圖說
〔37 40〕西宮記
〔38 39〕標註令義解校本
41 總索引

燕石十種　三冊

（明治40―41）　國書刊行會

1 高尾考
遊女考
猿樂傳記
江戶眞砂
我衣
賤のをだまき
塵塚談
後は昔物語
瀨田問答
奴師勞之
戲作者小傳
戲作六家撰
後見草
事蹟合考
南向茶話　附追考
墨水消夏錄
蜘蛛の絲卷
浪花五侠傳
猿樂沿革考
三升屋二三治戲場書留
2 獨寢
神代餘波
俗耳鼓吹
竹本豐竹淨瑠璃譜
平賀源內實記
無名翁隨筆
新吉原略說　附玉菊考
劇場新話
江戶眞砂六十帖廣本
當世武野俗談
華府物語　附馬琴の評
夢の浮橋
江戶節根元記
三座家狂言幷由緒書
中古戰場說
近世江都著聞集
相撲傳書
吾妻めぐり
葛飾記
駿河臺志
3 異本洞房語園
大盡舞考證
吉原雜話
北里戲場隣の疝氣
老のたのしみ抄
寬天見聞記
夢の浮橋附錄
江戶塵拾
望海每談
戲作外題鑑
江戶往古圖說
慶長年間江戶圖考　附御曲輪內圖說
麓の花
鹿の卷筆
繪そらごと
なら柴
吉野傳
道成寺考
吉原町定書
芝居町へ御觸書

續燕石十種　二冊

（明治41―42）　國書刊行會

1 書證錄
式亭雜記
釣客傳
莘野茗談
過眼錄
反古染
洞房語園後集
武江年表補正略
博戲犀照
國字小說通
京攝戲作者考
一蝶流謫考
柳淇園先生一筆
深川珍者錄
浪速人傑談
戲財錄
わすれ殘り
德永種久紀行
反古籠
俳諧古文庫
2 異聞雜稿
吉原源氏五十四君
筠庭雜錄
淸神祕錄
十八大通
山東京傳一代記
江都百花物
金杉日記
京山高尾考
紙屑籠
須須美草
壺すみれ
舞曲扇林
改過筆記
柳亭遺稿
其昔がたり
無垢衣考
疑問錄
只今御笑草
色道大鏡

新燕石十種　五冊

（明治45―大正2）　國書刊行會

1 飛鳥川
續飛鳥川
親子草
近來見聞噺の苗
天言筆記
於路加於比
傳書晴記壺おほへ
けんどん爭
浪華百事談
元吉原の記
ひともと草
2 五月雨草紙
なゐの日並
にぎはひ草
了阿遺書　附花鳥日記
東都紀行
獨考論　附附加、餘論
落語家奇奴部類
營中刃傷記
江戶砂子補正
壽十八番歌舞伎狂言考
3 花街漫錄正誤
百戲述略
四いろ草
茂睡考
東作遺稿
怪談老の杖
寫山樓記
麗游
4 卯花園漫錄
見世物雜誌
下谷通志
相撲今昔物語
伊波傳毛乃記
聲曲類纂補遺
雅俗隨筆
兎園小說外集
兎園小說別集
兎園小說餘錄
兎園小說拾遺
5 天和笑委集
寢ぬ夜のすさび
本所雨やどり
二國連壁談
吉原十四ケ條
秀鶴隨筆
膽大小心錄
攝陽落穗集
攝陽見聞筆拍子
大奧祕記

校正補註 國文全書　一二冊

（明治23）　國文館

1―8 源氏物語湖月抄
1 竹取物語抄
土佐日記考證
童話長編
2・3 徒然草文段抄
4 鳴戶中將物語考證
四十二物語提要
源平拾遺
百人一首改觀抄
秋夜長物語

國文註釋全書　二〇冊

（明治40―43）　國學院大學

1 平家物語抄
平家物語考證

全譯 王朝文學叢書　一二卷
（大正13—昭和2）文獻書院

國文學註釋叢書　一九卷
（昭和4—5）名著刊行會

國文 東方佛教叢書　一七卷
（大正14—昭和5）同刊行會

【複製叢書】

稀書複製會本
（大正7—現）米山堂

扶桑珠寶（大正8—昭和6）　佐々木信綱博士編　竹柏會刊行

〔祕卷〕　〔所在〕

南部祕笈

聖武天皇宸翰雜集（御物）　一卷　正倉院
光明皇后御筆樂毅論（御物）天平十六年　一卷　同上
同　杜家立成（御物）　一卷　同上
詩序（御物）　慶雲四年　一軸　同上
隋經（御物）　一帙　聖語藏
老子（御物）　鎌倉時代　一軸　同上
蒙求（御物）　鎌倉時代　一軸　同上
南京遺文　一冊
南京遺芳　一冊
天平餘光　一帖

萬葉祕林

桂本萬葉集（御物）　平安中期　一軸
藍紙本萬葉集　藤原伊房？　二軸　原富太郎
金澤本萬葉集（御物）　藤原定信筆　一帖
天治本萬葉集　一軸　福井氏
元暦萬葉集　六帖　高松王府
元暦萬葉集大成本　一五帖
春日本萬葉集殘簡　寛元元・二年　一帖
類聚古集　平安末期　十六冊　中山侯爵
古葉略類聚鈔（國寶）　建長二年　五冊
仙覺律師奏狀　建長五年　一軸
桂の落葉　一軸

藝帙祕芳

小野道風筆秋萩歌卷　一軸　高松王府
藤原道長筆神樂和琴祕譜（國寶）　一軸　近衞公爵
信義本神樂歌　一帖　安倍貞
重種本神樂歌　一帖　安倍貞
宗尊親王筆催馬樂　一帖　鍋島侯爵
藤原行成筆倭漢朗詠集（御物）「原本粘葉」二帖
同　筆倭漢朗詠集（同上）「原本二軸」一帖
同　筆白樂天詩卷　一軸　高松王府
堀川左府筆七德舞（御物）　一帖
承德本古謠集　一軸　近衞公爵
俊忠忠家筆亭子院歌合　一軸　木村德衞
西行寂蓮寂念等筆・品經懷紙和歌　一帖　福井氏
定家手澤本西行上人歌集　一帖　伊達伯爵
定家筆更級日記（御物）　一帖
同　近代秀歌　一帖　有賀長文
定家所傳本金槐和歌集　一帖　松岡忠良
百代草　一帖

古典保存會本（大正12—現）　西東書房

第一期

眞福寺本古事記（國寶）　應安四年書寫本　三帖　名古屋寶生院
古事記上卷抄　古寫本　一卷　同上
古事記裏書　應永三十一年本　一卷　神宮文庫
日本國見在書目錄　室生寺舊藏本　一帖　東京帝室博物館
將門記（國寶）　承德三年書寫本　一卷　名古屋寶生院
法曹類林零卷　金澤文庫舊藏本　一卷　前田侯爵
大鏡零本　鎌倉時代書寫本　一帖　千葉胤明
方丈記（國寶）　鎌倉時代書寫本　一卷　京都大福光寺
水言鈔零本（國寶）　平安朝末書寫本　一帖　醍醐寺
日遊（國寶）　弘長三年書寫本　一冊　名古屋寶生院

第二期

上宮聖德法王帝說（國寶）　法隆寺舊藏本　一卷　知恩院
元興寺緣起（國寶）　建永年間書寫本　一帖　醍醐寺
播磨風土記　平安朝寫本　一卷　三條西伯爵
琴歌譜　天元三年書寫本　一卷　近衞公爵
催馬樂譜（御物）　天治本　一卷　東京帝室博物館
松浦の能　應永三十年世阿彌自筆本　一卷　觀世左近
打聞集　長承三年本　一帖　山口光圓
倭名類聚鈔零本及紙背文書（國寶）　三十三葉　名古屋寶生院
色葉字類抄　三卷本　三冊　黑川眞前
漢書食貨志（國寶）　顏師古注　一卷　名古屋寶生院
白氏文集　嘉承二年書寫 天永四年加點本　一卷　神田喜一郎
遊仙窟　康永三年書寫本　一卷　醍醐寺

第三期

春瑜本古事記上卷　應永三十三年書寫本　一冊　御巫清白
貞永式目　康永二年書寫本　一卷　平林治德
傳良經筆伊勢物語　鎌倉時代書寫本　一帖　守屋孝藏
傳著者自筆本寶物集　鎌倉時代書寫本　一卷　宮內省圖書寮
高山寺本江談抄　平安朝末寫本　一卷　神田喜一郎
連理祕抄　室町時代寫本　一帖　猪熊信男
古文孝經（國寶）　建治三年書寫本　一卷　三千院
白氏文集卷四　天永四年加點本　一卷　神田喜一郎
祕府略卷第八百六十四　平安朝寫本　一卷　德富猪一郎
世俗諺文卷上（國寶）　平安朝末寫本　一卷　東寺觀智院

第四期

應永本日本書紀私記　應永卅五年寫本　一冊　御巫清白
時賴本伊勢物語　鎌倉時代書寫片假名本　一帖　最明寺
片假名本後撰集（卷一—十）鎌倉時代寫本　三帖　田中四郎
知連抄　宣胤卿連歌　寶德四年寫本　一冊　宮內省圖書寮
連歌新式　天文十四年寫本　一冊　鹿兒島圖書館
節用文字　鎌倉時代寫本　一冊　德富猪一郎
春秋經傳集解卷十　保延九年清原賴業自筆點本　一卷　澤　伯爵
琱玉集卷十二（國寶）　天平十九年寫本　一卷　名古屋寶生院
唐大和上東征傳（鑒眞傳）　元永二年文書裏寫本　一卷　東寺觀智院
君臺觀左右帳記　永祿二年寫本　一卷　東北帝國大學

尊經閣叢刊（大正15－現）　前田侯爵家内 育德財團刊行

〔備考〕＊印十種ハ育德財團成立以前（明治35－大正4）前田侯爵家ノ刊行セルモノナリ
甲・乙二種ハ再度刊行ノモノ

甲＊傳菅原文時筆仁和寺御室御物實錄（國寶）天暦四年寫　一軸（後ニ再刊）
乙＊豐太閤三國處置太早計　天正二十年書　一軸（同　）
＊[illegible]高野詣　一軸
＊豐太閤與高山國書　一軸
＊加藤清正書翰（木下半介宛）　一軸
＊楠正成奉判文書　延元元年書　一枚
＊豐太閤書翰（前田利家宛）　一枚
＊小野道風眞蹟白居易詩　一枚
＊遼東志　一冊（活版本）
＊日本書紀卷第十二（國寶）贈太政大臣能信筆　一軸

乙
古語拾遺　元弘四年寫　一軸
色葉字類抄　治承養和頃寫　二冊
豐太閤三國處置太早計　天正二十年書　一軸
前田本枕草子　鎌倉中期寫　四冊
四季物語歟之由之書　同　一冊
重廣會史　宋版　二〇冊（百卷二缺）
定家筆土佐日記　蓮華王院藏貫之自筆本により文曆二年寫　一冊
西宮記（抄）　平安末－鎌倉初期　一軸
（傳）清輔筆古今集　保元二年寫　二冊
桂川地藏記　弘治四年寫　一冊
足利尊氏筆寶積經要品　興國五年（北朝康永三年）　一折
世說新語　宋版　三冊
同　敍錄　同　一冊
同　人名譜　同　一冊
傳土佐光重筆紫式部繪卷殘　一軸
心蓮院本山水并野形圖　文正元年寫本　一軸
吉田兼好筆自撰家集　一冊
高麗版[illegible]千百　恭愍王三年版　日本正平九年　二冊
傳二條爲親筆新古今和歌集　吉野朝古寫　四冊

師世本年中行事秘抄　延應以後寶治以前寫　一軸
鶴岡本貞永式目　一冊
心蓮院本日本靈異記卷下（上中缺）嘉禎二年寫　一冊
甲
傳菅原文時筆仁和寺御室御物實錄（國寶）天暦四年寫　一軸
明板老子億　明朝嘉靖萬曆間版　二冊
類聚國史卷百六十五　平安朝－鎌倉初期寫　一軸

貴重圖書影本刊行會本（昭和5－現）　便利堂

第一期
承德本古謠集　承德三年寫　一軸　近衞公爵
百萬塔陀羅尼　天平寶字八年版　十卷　法隆寺
小竹集（西鶴編淨瑠璃拔萃）貞享三年刊　一冊　京都帝大
長崎紀聞　文化頃田澤春房寫？　二冊　久原文庫
長恨歌琵琶行　後陽成天皇勅版　一冊　林　泰太郎
古今集　註　藤原教長著仁治二年寫　二帖　京都帝大
野山獄讀書記（安政元－四年）吉田松陰手記　一冊　山口縣前原諟八
法華經音訓　至德三年版　一冊　岩崎文庫
淋敷座之慰（自寛永至延寶）（はやり小うた）三馬舊藏　一冊　帝國圖書館
注十疑論（春日版）建曆元年版　一帖　愛知縣稱樂寺

第二期
山家心中集　西行著古寫　一帖　宮内省圖書寮
寶篋印陀羅尼經　嘉應二年寫　一軸　河内國金剛寺
醫　貞享二年刊　一冊　故遠藤大夫藏本
尼崎本萬葉集　平安朝－鎌倉中期寫　一帖　京都帝大

成簣堂叢書（大正2—12）

德富蘇峰氏藏書
民友社發行

1 淮海挐音　南宋・釋元肇　二冊
2 櫟翁稗說　高麗・李齊賢　一冊
3 白隱和尚垂示　自筆草稿　一冊
4 酒餅論　繪入刊本貞享元祿頃　一冊（滑稽本）
5 月江和尚語錄　室町時代寫本　一冊
6 戸田左門覺書　新井白石自筆　一冊
7 帝範臣軌　寛文刊本　一冊
8 茂睡考　山東京山自筆稿本　一冊
9 大梅夜話　一絲和尚　一冊
10 論語抄　室町中期寫本　五冊
11 襟帶集　永祿十三年玄昌自筆　一冊（一名江湖風月集）
12 卜養狂歌集　繪入刊本三馬舊藏　二冊
13 平洲先生小語　細井德民自筆稿本　一冊
14 杜樊川夾注　朝鮮古刊本　五冊

新成簣堂叢書（昭和6—現）

德富蘇峰氏藏書
民友社發行

1 聽雨紀談　明・都元敬　一冊（隨筆）
2 癸人太平記　貞享五年刊　一冊（滑稽小說）
3 新撰和歌論語　元祿十三年刊　二冊
4 明惠上人臨終記　弟子義林房喜海記　孫弟子仁眞寫　一冊
5 日本書籍目錄　永仁以前成　一冊
（本朝書籍目錄）　新井白石自筆本
（御室書籍目錄）

ろ

わ

り

る

れ

よ

ら

ゆ

め

も

や

ま

へ

ほ

ふ

ひ

ぬ

ね

の

に

な

て

そ

せ

日本文學史表覽索引（し）す

日本文學史表覽索引（し）

し

さ

け

か

お(を)

え

う

あ

通増安宅關　トホリマスアタカノセキ
通鳧寝子の美女　カヨヒケリネコノワザクレ
這奇的見勢物語　コハメヅラシイミセモノガタリ
御傘　ゴサン
御存商賣物　ゴゾンジノシヤウバイモノ
御摂勧進帳　ゴヒキクワンジンチヤウ
娼妓絹籭　シヤウギキヌブルヒ
啌多鴈取帳　ウソシツカリガントリチヤウ
婦女今川　ヲンナイマガハ
面向不背御年玉　メンカウフハイノオントシダマ
宿無團七時雨傘　ヤドナシダンシチシグレノカラカサ
貧福蜻蛉返　ヒンプクトンボガヘリ
莫切自根金生木　キルナノネカラカネノナルキ
皐月晴上野朝風　サツキバレウヘノヽアサカゼ

十二畫

曽波可理　ソバカリ
喜夜來大根　キヨクダイコ
蛙合　カハヅアハセ
幾人水主　イクタリカコ
朝夷巡島記　アサヒナジユンタウキ
閑情末摘花　カンジヤウスヱツムハナ
棠大門屋敷　カラナシダイモンヤシキ
善知鳥安方忠義傳　ウトウヤスカタチユウギデン
最須敬重繪詞　サイシユキヤウジユウヱコトバ
絲櫻春蝶奇緣　イトザクラシユンテフキエン
須磨都源平躑躅　スマノミヤコゲンペイツヽジ
雅莚醉狂集　ガエンスヰキヤウシフ
雲妙間雨夜月　クモノタヘマアマヨノツキ
焦尾琴　セウビキン
隅田川續俤　スミダガハゴニチノオモカゲ
隅田春藝者容氣　スミダノハルゲイシヤカタギ
虚栗集　ミナシグリシフ
無彈砂子　ムダスナゴ
黒酒　クロキ
插頭花　カザシ
駁戎慨言　カラヲサメノウレタミゴト
博多織戀錦　ハカタオリコヒノオモニ

十三畫

傾城買談客物語　ケイセイカヒダンキヤクモノガタリ
楠無益委記　クスノキムダイキ
椿説弓張月　チンセツユミハリヅキ
稗史億説年代記　クサザウシコジツケネンダイキ
稜威道別　イツノチワキ
稜威言別　イツノコトワキ
新板色讀販　シンパンウキナノヨミウリ
當世大通佛買帳　タウセイダイツウブツカヒチヤウ
聖遊廓　ヒジリノイウクワク
奥義抄　アウギセウ
奥州波奈志　アウシフバナシ
園塵　ソノノチリ
愛護稚名歌勝閧　アイゴノワカメイカノカチドキ
照子淨頗梨　カガミノヂヤウハリ
照妙　テルタヘ
琴後集　コトジリシフ
酩酊氣質　ナマヱヒカタギ
裲襠　ウチカケ

十四畫

與話情浮名横櫛　ヨワナサケウキナノヨコグシ
臺頭霞彩幕　ダイガシラカスミノイロマク
舞正語磨　ブシヤウゴマ
壽の門松　ネビキノカドマツ
壽詞　ヨゴト
夢中の印嘶　ムチユウノホシバナシ
嫗山姥　コモチヤマウバ
鼻峯高慢男　ハナガミネカウマンヲトコ
盡用而二分狂言　ツカヒハタシテニブキヤウゲン
綟手摺昔木偶　モヂテズリムカシニンギヤウ
嫩寮葉相生源氏　ワカバノミドリアヒオヒゲンジ
瑜々室集　ユラムロシフ
漉返柳黒髪　スキカヘスヤナギノクロカミ

十五畫

敵討蚤取眼　カタキウチノミトリマナコ
敵討優曇華龜山　カタキウチウキギノカメヤマ
敵討檻褸錦　カタキウチツヅレノニシキ
寛居長歌集　ユタヰチヤウカシフ
寛濶役者氣質　クワンクワツヤクシヤカタギ
箱根靈驗躄仇討　ハコネレイゲンキザリノアダウチ
憎口返答返　ニクマレグチヘンタウガヘシ
潮來婦誌(志)　イタコブシ
盤領　アゲクビ

十六畫

頭陀物語　ヅダモノガタリ
龜山人家妖　キサンジンイヘノバケモノ
澤瀉威　オモダカオドシ
醒醉笑　セイスキセウ
諸道聽耳世間猿　シヨダウキヽミミセケンザル
親敵討腹鼓　オヤノカタキウテヤハラツヾミ
鋸屑譚　オガクズバナシ
獨道中五十三驛　ヒトリタビゴジフサンツギ
鴉鷺合戰物語　アロカツセンモノガタリ

十七・十八・十九畫

齋瓶　イハヒベ
齋宮　イツキノミヤ
謠増抄　ウタヒノゾウセウ
鷹獅子集　コモジシシフ
繁々千話　シゲシゲチワ
癇癖談　クセモノガタリ
隱家集　カクレガシフ
舊事記　クジキ
轉寢記　ウタタネノキ
藤簍冊子　ツヾラブミ
韻塞　キンフタギ
繰返開花婦美月　クリカヘスカイクワノフミヅキ
鵲尾冠　シヤクビクワン
獺祭　ダツサイ
勸善懲惡覗機關　クワンゼンチヨウアクノゾキカラクリ
曠野　アラノ
廬生夢魂其前日　ロセイノユメソノゼンジツ
廬主　イホヌシ
蘆屋道滿大内鑑　アシヤダウマンオホウチカヾミ
辭鬪戰新根　コトバタヽカヒアタラシイノネ

廿一・廿二・廿四・廿九畫

櫻鍔恨鮫鞘　サクラノツバウラミノサメザヤ
鑓の權三重帷子　ヤリノゴンザカサネカタビラ
鑄掛松　イカケマツ
籠釣瓶花街醉醒　カゴツルベサトノヨヒザメ
艷容女舞衣　ハデスガタヲンナマヒギヌ
靈能眞柱　タマノミハシラ
鹽梅餘史　アンバイヨシ
驪山比翼塚　メグロヤマヒヨクヅカ

八　畫

九　畫

十　畫

十 一 畫

難訓索引

一・二・三畫

一谷嫩軍記　イチノタニフタバグンキ
一雅話三笑　イチカワサンセウ
乙州　オトクニ
十八大通百手枕　ジフハチダイツウヒヤクタマクラ
人心覗機關　ヒトゴコロノゾキカラクリ
人間萬事吹矢的　ニンゲンバンジフキヤノマト
人間萬事虚誕計　ニンゲンバンジウソバカリ
人遠茶懸物　ヒトヲチヤカケモノ
二日酔巵觶　フツカヨヒオホサカヅキ
三十石艠始　サンジツコクヨブネノハジマリ
三人吉三廓初買　サンニンキチサクルワノハツガヒ
三千世界商往來　サンゼンセカイヤリクリワウライ
三蟲拇戰　ムシケン
大内裏大友眞鳥　ダイダイリオホトモノマトリ
大前張　オホサイバリ
大通多名於呂志　ダイツウタナオロシ
大塔宮曦鎧　オホタフノミヤアサヒノヨロヒ
寸南破良意　スナハライ
小墾田舞　ヲハリダマヒ
弓勢智勇湊　ユンゼイチユウノミナト

四畫

五大力戀緘　ゴダイリキコヒノフウジメ
五車反古　ゴシヤホウゴ
井蛙抄　セイアセウ
天降言　アモリゴト
天道浮世出星操　テンダウウキヨノデヅカヒ
天滿宮菜種御供　テンマングウナタネノゴクウ
文月恨鮫鞘　フミヅキウラミノサメザヤ
文武二道萬石通　ブンブニドウマンゴクドホシ
文選臥座　ブンゼンゴザ
壬二集　ミニシフ
不猫蛇　フビヤウダ
太平記曦鎧　タイヘイキアサヒノヨロヒ
犬夷評判記　イヌエビスヒヤウバンキ
夬從以來記　ソレカライライキ
水蛙眼目　スヰアガンモク
日吉丸稚櫻　ヒヨシマルワカキノサクラ
月代　サカヤキ
月氷奇緣　ゲツピヨウキエン
升鯉瀧白旗　ノボリコヒタキノシラハタ
心謎解色絲　コヽロノナゾトケタイロイト
双蝶々曲輪日記　フタツテフテフクルワニツキ
手段詰物娼妓絹籭　テクダツメモノシヤウギキヌブルヒ
化競丑滿鐘　バケクラベウシミツノカネ
孔子縞于時藍染　コウシジマトキニアキゾメ
引倍木　ヒキヘギ

五畫

百羽搔　モヽハガキ
以曾都堂比　イソヅタヒ
半化句集　ハンゲクシフ
正本製　シヤウホンジタテ
生寫朝顔話　シヤウウツシアサガホバナシ
玉藻前曦袂　タマモノマヘアサヒノタモト
出衣　イダシギヌ
比古婆衣　ヒコバエ
古今奇談英草紙　ココンキダンハナブサザウシ
古契三娼　コケイサンシヤウ
加賀見山廓寫本　カガミヤマサトノキヽガキ
加々見山舊錦繪　カガミヤマコキヤウノニシキヱ
令子洞房　ムスコベヤ
丼礑　ドブカツチリ
由良牟呂集拾遺　ユラムロシフシユウヰ
石上私淑言　イソノカミサヽメゴト
石之上三之助辛抱　イシノウヘニモサンノスケガシンボウ
卯月の潤色　ウヅキノイロアゲ
奴袴　サシヌキ
奴勝山愛玉丹前　ヤツコカツヤマムスメタンゼン

六畫

江戸生艶氣樺燒　エドウマレウハキノカバヤキ
江戸蛇鮓　エドジヤノスシ
江戸紫由緣十徳　エドムラサキユカリノジツトク
江鮭子　アメコ
伊波傳毛乃記　イハデモノキ
伊勢音頭戀寢刃　イセオンドコヒノネタバ
伊達競阿國戯場　ダテクラベオクニカブキ
伊達娘戀緋鹿子　ダテムスメコヒノヒガノコ
竹流金　タケナガシキン
有人(山々亭)　アリンド
多波禮具佐　タハレグサ
扨化狐通人　サテモバケタリキツネツウジン
色葉字類抄　イロハジルキセウ
色競かしく紅翅　アダクラベカシクノベニガキ
安養三卷集　アンヤウサングワンシフ
朱樂菅公　アケラクワンコウ
早替胸機關　ハヤガハリムネノカラクリ
耳底記　ニテイキ
有耶無耶關　ウヤムヤノセキ
自來也物語　ジライヤモノガタリ
曲舞集　クセマヒシフ
老乃久理言　オイノクリゴト
仲街艶談　チウガイエンダン
此奴和日本　コイツハニホン
牟藝古雅志　ムギコガシ

七畫

赤木柄　アカギヅカ
位襖　ヰアヲ
兵根元曾我　ツハモノコンゲンソガ
言塵集　ゴンヂンシフ
吾吟我集　ゴギンワガシフ
呑込多靈寶緣起　ノミコンダレイホウエンギ
男色大鑑　ナンシヨクオホカガミ
男伊達初買曾我　ヲトコダテハツガヒソガ
私可多咄　シカタバナシ
佐遊李葉　サユリバ
杜撰集　ヅサンシフ
步月の章　ホゲツノシヤウ
皂羅　クリノウスバタ
皂縵　クリノカトリ
茜源氏陸奥日記　アカネゲンジムツニツキ
妓者呼子鳥　ゲイシヤヨブコドリ
初冠曾我皐月富士根　ゲンプクソガサツキノフジガネ

索　　引

凡　　例

1. 排列は五十音順にし、同じ漢字は一括した。
2. 假名遣
   a. 難訓索引は音訓とも歷史的
   b. 戲曲・小說類は平假名歷史的
   c. 書名・人名・件名は片假名表音式
3. 鎌倉・室町・江戸の小說類は作者名を掲げて、作品をば掲げず。
4. 現代の小說は外國語に飜譯された作品のみを掲ぐ。
5. 現代の人名は便宜音讀によつたものが多い（名を掲げ氏は括弧内に入れた）。

索引所用略號表

葵	葵文庫	新群	新群書類從
岩波	岩波文庫	新日文	新釋日本文學叢書
江戸	江戸時代文藝資料	新名著	新型名著文庫
燕石	燕石十種	深祕抄	和歌古語深祕抄
王朝	全譯王朝文學叢書	隨	隨筆大觀
溫知	溫知叢書	說林	百家說林
改史籍	改定史籍集覽	叢說	百家叢說
改造	改造文庫	續燕石	續燕石十種
歌學全	日本歌學全書	續歌學	續日本歌學全書
歌學文	歌學文庫	續群	續群書類從
歌文珍	歌文珍書保存會	續國歌	續國歌大觀
歌謠	日本歌謠集成	續國史	續國史大系
我自	我自刊我書	續國民	續國民文庫
戲曲全	日本戲曲全集	續史籍	續史籍集覽
戲曲大	日本戲曲大全	續々群	續々群書類從
稀書	稀書複製會叢書	續帝文	續帝國文庫
貴重	貴重圖書影本刊行會	尊經	尊經閣叢刊
近世文	近世文藝叢書	存採	存採叢書
近代文	近代文藝叢書	丹鶴	丹鶴叢書
近日	近代日本文學大系	註釋全	國文註釋全書
群	群書類從	註釋叢	國文註釋叢書
古典全	日本古典全集	帝文	帝國文庫
古典保	古典保存會本	東洋	東洋文藝全書
古俳	古俳書文庫	德川	德川文藝類聚
校國	校註國文叢書	日文	日本文學全書
校國歌	校註國歌大系	日名著	日本名著文庫
校日	校註日本文學大系	俳叢	俳諧叢書（筒井民次郎）
校補國	校正補註國文全書	*俳叢	俳諧叢書（俳書堂刊）
國歌	國歌大觀	俳大	俳書大系
國史	國史大系	俳文	俳諧文庫
國書	國書刊行會本	俳文學	俳文學大系
國文	國文大觀	俳名著	俳諧名著文庫
國民	國民文庫	百萬	百萬塔
史籍	史籍集覽	文叢	文藝叢書
袖	袖珍名著文庫	有朋	有朋堂文庫
女流	女流文學全集	列聖	列聖全集
新燕石	新燕石十種	和歌叢	校註和歌叢書

昭和九年六月十五日印刷
昭和九年六月二十日發行

日本文學史表覽(別册共)

定價金四圓五拾錢

編者 沼澤龍雄

發行者 東京市神田區錦町一丁目十番地 株式會社 明治書院 取締役社長 三樹退三

印刷者 東京市本所區厩橋一丁目廿七番地 守岡功

發行所 東京市神田區錦町一丁目十番地 株式會社 明治書院
電話神田(25)二一四七番(3)
振替東京四九九一番

東京本所　凸版印刷株式會社本所分工場印刷